

【表紙】	
【提出書類】	有価証券報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条第 1 項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2023年 6 月 2 日
【事業年度】	自 2022年 1 月 1 日 至 2022年12月31日
【会社名】	招商銀行股份有限公司 (China Merchants Bank Co., Ltd.)
【代表者の役職氏名】	業務執行取締役兼総裁兼最高経営責任者 王良 (Wang Liang, Executive Director, President and Chief Executive Officer)
【本店の所在の場所】	中華人民共和国深圳市福田区深南大道7088号 (7088 Shennan Road, Futian District, Shenzhen, People's Republic of China)
【代理人の氏名又は名称】	弁護士 島崎文彰
【代理人の住所又は所在地】	東京都千代田区神田小川町一丁目 7 番地 小川町メセナビ ル 4 階 島崎法律事務所
【電話番号】	(03) 5843-9631
【事務連絡者氏名】	弁護士 島崎文彰
【連絡場所】	東京都千代田区神田小川町一丁目 7 番地 小川町メセナビ ル 4 階 島崎法律事務所
【電話番号】	(03) 5843-9631
【縦覧に供する場所】	該当事項なし

- (注) 1. 本書に記載の「人民元」は中華人民共和国（以下「中国」という。）の法定通貨である人民元を、「円」は日本円を指す。本書において便宜上一定の人民元金額は、2023年5月5日の中国外貨取引センター公表の仲値である1人民元＝19.42円により円に換算されている。
2. 当行の会計年度は、1月1日に始まり12月31日をもって終了する1年間である。
3. 本書中の表において記載されている計数は、単位未満の数値を原則として四捨五入しているため、合計は計数の総和と必ずしも一致しないことがある。
4. 本書において、別段の記載がある場合を除き、下記の語は以下の意味を有するものとする。

「当行」または「招商銀 招商銀行股份有限公司  
行」

「当グループ」 招商銀行およびその子会社

「CBIRC」 中国銀行保険監督管理委員会

「CIGNA & CMAM」 招商信諾資産管理有限公司

「CIGNA & CMB生命保険」 招商信諾人寿保險有限公司

「CMBヨーロッパ」 チャイナ・マーチャンツ・ヨーロッパS.A.

「CMBFL」 招銀金融租賃有限公司

「CMBIC」 招銀国際金融控股有限公司

「CMBネットワーク・テクノロジー」 招銀網絡科技（深圳）有限公司（当行が間接的に100%の持分を保有している。）

「CMB ウェルスマネジメント」 招銀理財有限責任公司

「招商永隆銀行」 招商永隆銀行有限公司

「CMB雲創」 招銀雲創信息技術有限公司（当行が間接的に100%の持分を保有している。）

「CMFM」 招商基金管理有限公司

「CSRC」 中国证券監督管理委員会

「香港上場規則」 香港証券取引所の証券上場規則

「IFRS」 国際財務報告基準

「MOF」または「財政部」 中華人民共和国財政部

「MUCFC」 招聯消費金融有限公司

「PBOC」、「中央銀行」または「中国人民銀行」 中国人民銀行

「中国GAAP」 中国において一般に公正妥当と認められる会計基準

「報告期間」 2022年1月1日から2022年12月31日までの期間

「香港証券取引所」 香港聯合交易所有限公司

「上海証券取引所」 上海証券交易所

5. 本書には、当グループの財政状態、経営成績および事業の展開に関する一定の将来の見通しの記述が含まれている。当行は、将来の見通しの記述を示すため、「予定である」、「可能性がある」、「予想している」、「しようとする」、「努めている」、「計画している」、「予測している」、「目指している」といった用語および類似の表現を用いている。かかる記述は、現在の計画、見積りおよび予想に基づくものである。当行は、かかる将来の見通しの記述に反映された予想が合理的なものであると考えているが、かかる予想が実現するかまたは正確であると判明する保証はない。そのため、かかる予想を当グループの約束であるとみなすべきではない。投資家は、かかる記述に過度に依拠すべきではなく、投資リスクについて注意を払うべきである。かかる将来の見通しの記述は、将来の事由または当グループの将来の財政状態、事業もしくはその他業績に関連するものであり、実際の結果とは大きく異なる原因となる可能性のあるいくつかの不確実性に影響されるものであることに留意されたい。

## 第一部【企業情報】

### 第1【本国における法制等の概要】

#### 1【会社制度等の概要】

##### (1)【提出会社の属する国・州等における会社制度】

中国で設立され、かつ香港証券取引所における上場を目指している有限株式会社は、主に以下の3つの中国法令の適用を受ける。

- ・ 1993年12月29日の全国人民代表大会の常任委員会において制定され、1994年7月1日に施行され、1999年12月25日、2004年8月28日、2005年10月27日、2013年12月28日および2018年10月26日に改正された中国の会社法（以下「中国会社法」という。）
- ・ 1998年12月29日の全国人民代表大会の常任委員会において制定され、1999年7月1日に施行され、2004年8月28日、2005年10月27日、2013年6月29日、2014年8月31日および2019年12月28日に改正された中国の証券法（以下「中国証券法」という。）
- ・ 2023年2月17日にCSRCによって制定され、2023年3月31日に施行された国内企業の海外における証券発行及び上場に関する管理試行措置および5つのガイドライン（以下「海外上場試行措置」と総称する。）

以下は、中国会社法、中国証券法および海外上場試行措置の規定の概要である。「会社」とは、海外上場外資株を有する中国会社法に基づき設立された株式会社を意味する。

#### 設立

「株式会社」とは、中国会社法のもとで設立された法人であり、等しい額面金額を有する株式に分割される登録資本を有する会社である。株式会社の株主の責任はその引き受けた株式の範囲に限定され、会社はその所有する資産総額に等しい金額を限度に債権者に対して責任を負う。会社は、2人以上200人以下の発起人により設立することができ、発起人の半数以上は、中国国内に居住する者でなければならない。

中国会社法のもとで、会社は、適用ある法律およびその定款に従って他企業に投資することができる。

発起人は、関連する拠出金が全額払い込まれた後30日以内に会社の創立総会を招集し、総会の15日前に会社の株式のすべての引受人に対して通知を行うかまたは会日を公告するものとする。創立総会は会社の株式資本の50%超を有する発起人および引受人の出席によって開催することができる。創立総会では、発起人が提案した定款の採択、取締役の選任および監査役の選任等の事項が決定される。総会の決議には、出席した引受人の有する議決権の過半数の賛成を要する。

創立総会の終了後30日以内に、会社の取締役会は、登記当局に対し会社の設立登記を申請しなければならない。会社が正式に設立され法人格を有するのは、会社登記当局により営業許可証が発行された後である。募集設立の方法により設立された会社は、国务院の関連する証券規制当局の承認書を会社登記当局に提出しなければならない。

会社が設立されなかった場合に、会社の発起人は、以下の事項について連帯責任を負う。

- ( ) その手続きに関連して発生した全費用および負債の支払
- ( ) 引受人に対する申込金および同一期間の銀行預金金利に相当する利息の返還の連帯債務

さらに、発起人は、会社の設立過程における発起人の義務不履行の結果、会社が被った損害について責任を負う。

#### 登録資本金

中国会社法によれば、有限株式会社が発起設立された場合、その登録資本金は、会社登記当局で登録された全発起人の引受株式資本総額に等しい。

発起人は、金銭または非金銭資産、工業所有権、非特許技術、土地使用権もしくは法的に譲渡可能で、その評価額に基づいて金銭で評価しうるその他の財産等の現物を拠出することにより、資本出資を行うことができる。

#### 株式の割当ておよび発行

株式発行は、平等および公正原則に基づいている。同一の種類の株式は等しい権利を有する必要がある。株式の発行毎に、払込金額を含むそれぞれの株式の割当条件は同一種類の他の株式と同じでなければならない。会社は、株式を額面金額でまたはそれを上回る金額で発行することができるが、額面金額を下回る金額でこれを発行することはできない。会社が、過去に有価証券の募集および上場を行ったことのある市場と同一の海外市場において、その後に有価証券の募集を行う場合、募集完了後3営業日以内にCSRCに申請しなければならない。会社が、過去に募集および上場を行ったことのある市場以外の海外市場において、その後に有価証券の募集および上場を行う場合、海外での関連申請から3営業日以内にCSRCに申請しなければならない。

## 記名式または無記名式株式

会社が発行する株式は、記名式または無記名式で登録することができる。ただし、会社が発起人または法人に発行する株式はすべて、記名式でなければならない。

会社は、記名式で発行された株式全部について株主名簿を作成しなければならない。各株主の仔細、各株主が保有する株式の数および各株主が当該株式の所有者となった日などの情報は、株主名簿に記載しなければならない。

会社はまた、発行済みの無記名式株式の金額、各無記名式株式の記番号および各無記名式株式の発行日を記載しなければならない。

## 登録資本金の増加

会社は、新株式を発行することにより登録資本金を増加させることができる。かかる発行に関する以下の事項は、かかる会社の株主総会の承認が必要である。

- ・募集される新株式の数および種類
- ・募集価格
- ・募集の開始および終了日
- ・既存株主に募集される新株式の数および種類

会社が国务院の関連証券規制当局により承認された株式公募を実施する場合、会社は財務諸表が記載された目論見書を発行し、申込簿を作成しなければならない。会社が新株式の払込手続を完了した場合は、会社は、会社登記当局に登録資本金の増加を登記し、公告を行わなければならない。

## 登録資本金の減少

会社は以下の手続にしたがい、その登録資本金を減少させることができる。

- ・会社は、その時点の貸借対照表およびその財産目録を作成しなければならない。
- ・登録資本金の減少は、株主総会において、株主により承認されなければならない。
- ・会社は、登録資本金の減少を承認する決議の採択後、債権者に対して10日以内に減資を通知し、30日以内に減資の新聞公告を行わなければならない。
- ・会社の債権者は、法令により定められた期間内において、会社に対し、債務の弁済または当該債務を補填する担保の供与を要求することができる。
- ・会社は、会社登記当局で登録資本金の減少を登記しなくてはならない。

## 株式の買戻し

会社は、(i)会社の登録資本金を減少させるため、(ii)自己株式を有する他の会社との合併するため、(iii)従業員持株制度または株式報奨制度のために自己株式を従業員に交付するため、(iv)会社の合併もしくは分割承認決議に反対票を投じ、その後自らが保有する株式の買戻しを会社に要求する株主から、(v)上場会社が発行する転換社債の転換のために株式を利用するため、または(vi)(上場会社の場合にのみ)企業価値および株主の利益を維持するためにのみ、自己株式を買い戻すことができる。

会社が上記(i)および(ii)の場合に自己株式の買戻しを行う場合には、株主総会決議を要する。会社が上記(iii)、(v)または(vi)のいずれかの場合に自己株式の買戻しを行う場合には、会社は、その定款に従って、または株主総会による授權に従って、取締役会会議に出席した取締役全体の3分の2以上により採択された決議によってかかる買戻しを行うことができる。

自己株式の買戻しが上記(i)によるものである場合は、買い戻された自己株式についてこれを10日以内に消却することを要し、またもし買戻しが上記(ii)または(iv)の理由でなされる場合は、6ヵ月以内に自己株式の当該部分を譲渡するもしくは消却しなければならない。自己株式の買戻しが上記(iii)、(v)または(vi)によるものである場合は、買い

戻される自己株式は、その合計が会社の発行済株式総数の10%を上回ることができず、また3年以内に譲渡または消却されなければならない。

自己株式を買い戻す上場会社は、中国証券法に従って情報公開義務を履行しなければならない。上記(iii)、(v)または(vi)のいずれかの場合に自己株式の買戻しを行う上場会社は、中央公開取引によって行わなければならない。

会社は、担保物件として自己株式を受け入れることはできない。

## 株式の譲渡

会社の株式は、中国会社法および中国証券法などの関連法令にしたがって譲渡することができる。

会社の取締役、監査役および上級役員は、これらの者が保有する当該株式とその変動を会社に申告しなければならない。任期中、これらの者のいずれかにより各年に譲渡される株式は、これらの者の保有株式総数の25%を超えることができない。これらの者により保有される当該株式は、当該株式が証券取引所に上場および取引される日から1年以内にこれを譲渡することができない。これらの者のいずれかがその職でなくなった後半年以内は、かかる者はその保有株式を譲渡してはならない。

中国会社法は、個人株主の株式保有割合について制限を課していない。

## 株主

中国会社法に基づき、株主は以下の権利を有する。

- ・株主総会に本人として出席して議決権を行使し、または自らに代わって出席して議決権を行使するために代理人を選任すること
- ・その株式保有割合に応じて配当およびその他の形の分配される利益を受け取ること
- ・定款、株主総会議事録、取締役会決議、監査役会決議および財務報告書を閲覧および謄写し、提案をし、会社の業務について質問を行うこと
- ・適用法令にしたがい株式の譲渡を行うこと
- ・その保有割合に応じて解散時に会社の残余資産を受け取ること
- ・適用ある法律、規則および会社の定款に定めるその他の株主の権利を行使すること

株主の義務には、(i)会社の定款を遵守する義務、(ii)引き受けた株式に関する払込金の支払義務、(iii)各株主が引き受けた株式の金額の範囲で会社の負債およびその他債務に責任を有すること、ならびに(iv)関連法令および会社の定款に指定された株主の義務が含まれる。

## 株主総会

中国会社法に基づき、株主総会は以下の権限を行使することができる。

- ・会社の事業方針および投資計画を決定すること
- ・取締役または監査役（従業員代表監査役を除く。）を選任および解任し、取締役または監査役の報酬を決定すること
- ・取締役会および監査役会の報告書を審議および承認すること
- ・年次予算案および決算を審議および承認すること
- ・利益分配案および損失補填案を審議および承認すること
- ・登録資本金の増加または減少を承認すること
- ・社債発行を承認すること
- ・合併、分割、企業形態の変更、解散または清算を承認すること
- ・定款の変更を承認すること

株主総会は、年次株主総会と臨時株主総会からなる。年次株主総会は、毎年1回開催されるものとする。中国会社法に基づき、取締役会は、以下のいずれかの事由の発生後2ヵ月以内に臨時株主総会を招集する必要がある。

- ・取締役の数が中国会社法に規定される数を下回るかまたは定款に規定される数の3分の2を下回る場合
- ・会社の累積損失額が、その総払込資本金の3分の1に達する場合
- ・会社の株式の合計10%以上を有する株主による請求がある場合
- ・取締役会が当該会議を必要と判断する場合

- ・ 監査役会が当該会議を提案する場合
- ・ 定款に規定されるその他の場合

株主総会は、取締役会により招集され、取締役会会長が議長となる。中国会社法に基づき、会社は、年次株主総会の20日前および臨時株主総会の15日前までに総会の目的事項および総会の日時場所を記載した通知を行うことを要する。会社の株式総数の3%以上を有する株主は、中国会社法に基づき、株主総会において審議されるべき暫定動議を提出する権利を有する。

株主総会に出席する各株主は、その保有する株式1株につき1議決権を有する。株主は、自らの代わりに株主総会に出席し、議決権を行使する代理人を任命することができる。株主総会で提案された普通動議は、本人または代理人による出席株主の議決権の過半数の賛成によってのみ採択されうるものとする。ただし、特別決議の可決については本人または代理人による出席株主の議決権の3分の2以上の賛成を要する。特別決議には、以下が含まれる。

- ・ 定款の改正
- ・ 合併、分割または解散
- ・ 登録資本金の増加もしくは減少、会社のいずれかの種類の株式、社債およびその他有価証券の発行
- ・ 株主総会が会社としての会社に重大な影響を及ぼす可能性があり、特別決議により承認されるべきだと普通決議により決定したその他の事項

## 取締役会

会社は、5名から19名の構成員により構成される取締役会を有するものとする。中国会社法に基づき、取締役の任期は3年を超えることができない。取締役は、再選された場合、連続して任期を務めることができる。中国会社法に基づき、取締役会は以下の権限を行使することができる。

- ・ 株主総会を招集し、株主に対して報告を行うこと
- ・ 株主総会において株主により決議された事項を実行すること
- ・ 事業計画および投資計画を決定すること
- ・ 年間予算案および決算を作成すること
- ・ 利益分配案および損失補填案を作成すること
- ・ 合併、分割、企業形態の変更または解散についての計画を作成すること
- ・ 登録資本金の増加もしくは減少案または社債発行案を作成すること
- ・ 会社の内部管理組織を決定すること
- ・ 会社のマネージャーの選任または解任、マネージャーの推薦に基づく会社の副マネージャーおよび最高財務責任者の選任または解任ならびにこれらの者の報酬を決定すること
- ・ 会社の基本運営システムを決定すること

## 取締役会会議

中国会社法に基づき、会社の取締役会は、少なくとも毎年2回定例会議を開催しなければならない。定例の取締役会会議の通知は、当該会議の会日の10日前までになされる。取締役会は、臨時取締役会を招集するための通知期間および方法を決定することができる。

中国会社法に基づき、取締役会会議の開催のためには取締役の過半数が出席しなければならない。取締役は、取締役会会議に自ら参加するか、または自己に代わって参加する別の取締役を任命することができる。すべての取締役会の決議は、取締役の過半数の賛成により可決されることを要する。取締役会会議で可決された決議はすべて当該会議の議事録に記録され、会議に出席した取締役によって署名されることを要する。取締役会の決議が適用ある法令、定款または株主総会決議に違反し、その結果、会社に重大な損害をもたらす場合、決議の可決に参加した取締役（決議に反対し、当該議事録にその反対の投票が記録されている者を除く。）は、会社に対して個人として責任を負う。

## 取締役会会長

取締役会会長は、取締役会の議決により選任され、過半数の取締役から承認されなければならない。会長は、次の権限を行使することができる。

- ・ 株主総会の議長を務め、取締役会会議を招集し、その議長を務めること
- ・ 取締役会の決議の実施を調査すること

## 取締役の資格

中国会社法に基づき、以下に定める者は、取締役を務めることはできない。

- ・ 民事行為能力を有しないか、または民事行為能力が制限されている者
- ・ 贈収賄、汚職、財産の横領または社会主義市場経済秩序破壊の罪を犯し、刑事処分を受けた者であり、かつ、その刑期満了日から5年以上が経過していない者
- ・ 犯罪により政治的権利を剥奪されていた者で、かつ、かかる剥奪の完了日から5年以上が経過していない者
- ・ 破産し清算された会社または企業の実務取締役、工場長またはマネージャーで、かかる会社または企業の破産または清算に個人として責任を負い、かつ、かかる会社または企業の清算の完了日より3年以上が経過していない者
- ・ 違法業務により営業許可を取り消された企業の法的代表者で、個人として当該取消について責任を負い、かつ、当該取消日より3年以上が経過していない者
- ・ 比較的高額の不履行債務を有する者

## 監査役会

会社は、3名以上の構成員からなる監査役会を設置しなければならない。監査役会は、以下の権限を行使する。

- ・ 会社の財務の状況を調査すること
- ・ 取締役および上級役員を監督し、かかる者が法令および定款を遵守してその職務を行っていることを確保すること
- ・ 取締役および上級役員に対して、会社の利益に悪影響を与える行為の是正を要求すること
- ・ 臨時株主総会に議案を提出すること
- ・ 株主総会招集の提案を行うこと
- ・ 法令または定款に違反する行為をなす取締役または上級役員に対して訴えを提起すること
- ・ 定款に規定されるその他の職務を遂行すること

監査役会の構成員には、会社の従業員および株主から選出された代表者が含まれる。取締役および上級役員は、監査役を務めることができない。監査役の任期は3年だが、再選された場合、監査役は連続して任期を務めることができる。中国会社法に基づいて取締役になることのできない欠格事由は、監査役に対しても適用される。

## 総経理および役員

会社は、取締役会により選任または解任される総経理を有することが求められている。会社の総経理は、取締役会に対して責任を負い、以下の権限を行使することができる。

- ・ 会社の事業を監督および管理し、取締役会決議を実行すること
- ・ 会社の年間の事業および投資計画の実行を組織化すること
- ・ 会社の内部管理システムの構築案を起草すること
- ・ 会社の基本管理システムを策定すること
- ・ 会社の内部規則を策定すること
- ・ 副総経理および最高財務責任者の任命および解任を提案し、他の役員（取締役会により任命または解任されることを要する者を除く。）を任命または解任すること
- ・ 取締役会または定款により付与されるその他の権限を行使すること

中国会社法に基づく取締役の欠格事由は、総経理およびその他上級役員に対しても適用される。

会社の定款は、会社、会社の株主、取締役、監査役、総経理およびその他の役員に対して拘束力を有するものである。かかる者は、会社の定款にしたがって、権利の行使、仲裁の申請および法的手続の申立てを行う権限を有する。

## 取締役、監査役およびその他の上級役員の義務

会社の取締役、監査役、総経理およびその他の上級役員は、中国会社法に基づき、関連法令および定款を遵守し、会社に対して忠実義務および注意義務を負わなければならない。

会社の取締役、監査役、総経理または上級役員がその職務を履行するに当たり何らかの法令または定款に違反し、その結果会社が損失を蒙った場合、かかる者は会社に対して個人として責任を負う。

## 財務および会計

会社は、関連法令および国务院の財務規制当局により規定される規則を遵守した財務会計システムを構築しなければならない。

会社はまた、各事業年度の終了時に財務書類を作成しなければならない。会社は、会社の年次株主総会の少なくとも20日前までに、会社の財務書類を株主の閲覧に供しなければならない。上場会社はまた、会社の財務書類を公告により公表しなくてはならない。

会社は、適用ある中国法令により、株主に利益を分配する前に会社の税引後利益について以下の引当を行う必要がある。

- ・ 会社の税引後利益の10%を会社の法定準備金に繰り入れること。ただし、会社の法定準備金の累計額が会社の登録資本金の50%を上回る場合は当該繰入れは不要である。
- ・ 会社の株主総会の承認を条件に、かつ法定準備金への所要金額の繰入れ後に会社の税引後利益から任意の金額を任意積立金に繰り入れることができる。

会社の法定準備金が過年度からの累積損失を補填するのに十分でない場合、当期の利益は法定準備金に繰り入れる前に当該損失を補填するために充当されなければならない。

累積損失（もしあれば）の補填ならびに法定および任意一般準備金への繰入れ後の税引後利益の残高は、定款により別段に規定されていない限り、株主にその持株数に応じて分配されることができる。

会社の準備金は、法定準備金、任意積立金および資本準備金からなる。会社の資本準備金は、株式の額面金額超過金および国务院の関連金融規制当局により要求されるその他の金額からなる。

会社の準備金は、以下の目的のためにのみ充当することができる。

- ・ 損失の補填
- ・ 事業拡張
- ・ 増資。ただし法定準備金が登録資本金に振り替えられる場合は、当該振替後の法定準備金は会社の登録資本金の25%を下回ることができない。

## 会計監査人の任命および解任

会社は、各会計年度末現在の財務報告書を作成し、会計事務所による監査を受けなければならない。

会社の監査人としての会計事務所の任命案または解任案は、定款の規定に従い、株主総会または取締役会の決議を経なければならない。

監査人として会計事務所を解任することを決議する株主総会または取締役会会議は、会計事務所がその意見を表明することを許可しなければならない。

## 利益配当

海外市場で有価証券を上場している会社は、外貨建てまたは人民元建てで配当金を支払うことができる。会社の海外上場に関連する通貨換算および国境を越えた送金は、国境を越えた投融資、外国為替管理および国境を越えた人民元管理に関する国家の法令を遵守しなければならない。

## 定款の変更

会社の定款は、株主総会に出席している議決権の3分の2以上の賛成をもってのみ変更することができる。定款の変更により会社登記当局における会社の登録情報が変更される場合、会社はかかる変更を登録しなければならない。

## 合併および分割

すべての合併および分割は、株主総会において会社の株主の承認を受けなければならない。会社はまた、合併または分割について政府の承認を求めなければならない。中国法に基づき、合併は、取得会社を買収対象会社を吸収した後に買収対象会社が解散される方法または取得会社および買収対象会社の合併による新設会社の設立後に取得会社および買収対象会社が解散される方法のいずれかの方法により実施することができる。

株主総会において会社の株主が合併案を承認する場合、会社は合併契約を締結し、会社の貸借対照表および財産目録を作成しなければならない。会社は、合併承認決議から10日以内に合併について債権者に通知して、30日以内に新聞において合併の公告をしなければならない。債権者は、一定の期間内に、残債務の弁済または当該債務に係る担保の提供を会社に対して請求することができる。

分割の場合、会社は同様に、当行の貸借対照表および財産目録を作成し、債権者に通知しなければならない。



## 解散および清算

中国会社法に基づき、会社は、以下のいずれかの事由が生じた場合において解散および清算される。

- (i) 定款に規定する営業期間が満了したかまたは会社の解散事由として定款で規定する事由が発生した場合
- (ii) 株主総会が特別決議により解散を承認する場合
- (iii) 会社の解散または分割をもたらす合併または分割の発生
- (iv) 会社が法律または行政規則の違反により閉鎖命令を受けた場合
- (v) 会社が事業または経営上の一定の重大な困難を経験し、これにより、もし会社が引続き存在し、当該困難が他の方法により解決できないと株主の利益が重大な損失を受けるとの理由による株主からの申請により、人民法院が会社の解散を宣言した場合

会社が上記(i)、(ii)、(iv)および(v)の事由により解散される場合、株主総会において、会社は、当該事由の発生から15日以内に清算委員会の委員を任命しなければならない。清算委員会が指定された時までに設置されないときは、会社の債権者は、清算を実施するための清算委員会の委員を任命するために人民法院に申請することができる。

清算委員会は、解散する会社の債権者に対して、その設置から10日以内に会社の解散を通知し、その設置から60日以内に会社の解散の新聞公告を行わなければならない。債権者は、法律の定める期限内に清算委員会に対してその債権を届け出なければならない。

清算委員会は、清算期間中以下の権限を行使する。

- ・ 会社の資産を精査し、貸借対照表および財産目録を作成すること
- ・ 債権者に通知し、または公告を行うこと
- ・ 会社の未成事業の清算
- ・ すべての未払税金および清算過程で発生した税金の支払
- ・ 会社の金銭債権債務の決済
- ・ 会社の債務を弁済した後の残余財産の処理
- ・ 民事訴訟において会社を代表すること

解散の場合、会社の資産は、清算関連の全費用、雇用者賃金、雇用者保険・法律上の補償、税残債務および一般債務の支払に充当される。残余財産は、会社の株主にそのそれぞれの持分に応じて分配される。会社の資産がその負債の弁済または消滅に十分でない場合、清算委員会は人民法院に破産の申立てを行い、清算手続を人民法院に移行させる。

会社が清算手続にある場合、会社は清算に関連しない事業に従事することができない。

清算手続終了により、清算委員会は、株主総会または人民法院に確認のため清算報告書を提出することを要する。清算委員会はまた、会社登記当局に登録の抹消を申請し、当該抹消による解散の公告を行わなければならない。

清算委員会の委員は、誠実かつ適用ある法律を遵守してその職務を遂行しなければならない。清算委員会の委員は、その故意または重大な義務の不履行から生じる損失について会社およびその債権者に対して責任を負う。

## 海外上場

以下のいずれかに該当する場合は、有価証券の海外における募集および上場を行ってはならない。すなわち、(i)法律、行政規則および関連する国家規則の規定によって、当該有価証券の募集および上場が明示的に禁止されている場合、(ii)企図された有価証券の募集および上場が安全保障を脅かす可能性があると法律に従って國務院の管轄当局が審査し、判断した場合、(iii)有価証券の募集および上場を企図する国内会社またはその支配株主および実質支配者が、直近の3年間に汚職、贈収賄、横領、財産の不正な流用または社会主義市場経済の秩序破壊などの犯罪を犯している場合、(iv)有価証券の募集および上場を企図する国内会社に犯罪または重大な法令違反の疑いがあり、法律に従って捜査中であるがまだ結論に至っていない場合、ならびに(v)国内会社の支配株主または支配株主および／もしくは実質支配者に支配されているその他の株主により保有されている株式について重大な所有権紛争が存在する場合。

海外市場において有価証券を上場しようとする会社は、外国投資、サイバーセキュリティ、データセキュリティなどの分野における国家安全保障に関する関連する法律、行政規則および規則を遵守し、国家安全保障を保護する義務を適切に履行しなければならない。企図された海外上場について国家安全保障上の審査が必要である場合、当該上場申請書を証券規制機関および証券取引所などの海外の当事者に提出する前に、法律に従って関連する安全保障審査手続きを完了していなければならない。

## 株券の喪失

中国会社法に基づき、記名式株券が喪失、盗取または破損した場合、その株主は中国民事訴訟法の関連規定にしたがって、人民法院に対し、かかる株券の無効宣言の申立てを行うことができる。当該宣言がなされた場合、株主は、会社に対して、代替株券の発行を申請することができる。

## (2)【提出会社の定款等に規定する制度】

以下は、当行の定款の主要な規定を要約したものである。

### 当行取締役およびその他の役員

#### 当行株式の割当ておよび発行を行う権限

当行定款には、株式の割当ておよび発行を行う権限を当行取締役に付与する条項はない。

当行資本を増加させるには、当行取締役会は、株主総会における特別決議による承認のため増資案を提出しなければならない。

#### 株式投資を行う権限

それぞれが当行の直近の監査済財務書類に基づく純資産価値の10%以下相当額を伴う株式投資またはその他社外投資および固定資産またはその他資産の購入または処分は、当行取締役会により承認されるものとし、単独の購入または処分がそれを超える金額を伴う場合は当行の株主総会により承認されるものとする。上級役員による資産の投資および処分は、取締役会の授權を要する。

#### 当行または当行の子会社の資産を処分する権限

当行取締役会は、株主総会に対して説明責任を負う。

取締役会が固定資産を処分する際、処分を予定する固定資産の予想価額と、当該処分案の直前4ヵ月間に処分された固定資産価額との合計額が、株主総会において検討された直近の貸借対照表に示される当行の固定資産価額の33%を超える場合、当行取締役会は株主総会の承認を得ずに当該固定資産を処分してはならず、または処分に同意してはならない。

当行定款にいう固定資産の取得および処分とは、資産に対する権利の移転を含むが、保証のための担保としての固定資産の差し入れは含まない。

固定資産処分に関連して当行が行った取引の有効性は、当行定款に規定された要件の違反による影響を受けない。

#### 報酬および職位の喪失に対する補償金

当行は、株主総会における株主の事前の承認を得た上で、各当行取締役または各当行監査役とそれぞれの報酬に関する契約を書面により締結する。かかる報酬には、以下が含まれる。

- ・当行の取締役、監査役または上級役員としての業務に対する報酬
- ・当行の子会社の取締役、監査役または上級役員としての業務に対する報酬
- ・当行および当行の子会社の経営に関するその他業務の提供に対する報酬
- ・取締役または監査役の職位の喪失または退職に対する補償金としての、またはそれらに関連する支払

上述の契約に基づく場合を除き、当行取締役または当行監査役は、上記事項に関して自らに支払われるはずであった利益につき、当行に対していかなる訴訟も提起することはできない。

報酬に関する当行と当行の取締役または監査役との間の契約には、当行が買収された場合、当行の取締役または監査役が、株主総会における株主の事前の承認を得ることを条件として、職位の喪失または退職による補償金その他の支払金を受領する権利を有する旨が規定される。本項における「当行の買収」は、以下のいずれかの意味を有する。

- ・何者かによる、当行の全株主に対する株式公開買付け
- ・何者かによる、支配株主となることを見込んだ株式公開買付け。「支配株主」の定義は、当行定款における定義と同一の意味を有する。

該当する取締役または監査役が上記規定に従わない場合、同人がそのように受領した一切の金額は、当該買収申込を受けて所有する株式を売却した株主に帰属する。かかる金額を当該株主に対して按分比例により分配する上で生じた費用は該当する取締役または監査役が負担し、当該金額からは控除されない。

## 当行取締役、当行監査役およびその他役員に対する貸付

当行は、信用融資を関連当事者に提供してはならない。当行は、貸付の条件が通常の商業的条件である場合のみ、貸付または保証を関連当事者に提供することができ、また、関連当事者に担保貸付を提供する条件が、他の借入人に対する同種の貸付の条件より有利であってはならない。上記の関連当事者とは、

- ・ 当行の取締役、監査役、経営陣、当行の与信業務担当者およびかかる各人の近親者
- ・ 上記のいずれかの者が投資しているかまたは上級管理職を務めている会社、企業またはその他経済組織を意味する。

近親者とは、配偶者、親、成人した子、兄弟姉妹、配偶者の親、子の配偶者、兄弟姉妹の配偶者、配偶者の兄弟姉妹および利益移転を伴うその他の家族をいう。

上記規定に違反して当行が提供した貸付は、貸付期間にかかわらず、当該資金を受領した者により直ちに返済されるものとする。

## 株主に対する貸付

当行株主が当行から貸付を受ける場合の条件は、他の借入人に対して当行が提供する類似の貸付の条件より有利であってはならない。

当行が主要株主、支配株主、実質支配者、関連当事者、共同で行為する者または最終受益者などの個々の主体に付与する与信残高は、当行の純資本の10%を上回ってはならない。当行が個々の主要株主、支配株主、実質支配者、関連当事者、共同で行為する者および最終受益者に付与する与信残高の合計は、当行の純資本の15%を上回ってはならない。

前段落に述べた与信には、貸付（貿易金融を含む。）、手形受入および割引、当座貸越、債券投資、特別目的事業体投資、信用状の発行、ファクタリング、保証、貸付約定ならびにその信用リスクを当行または当行が発行した資産運用商品が実質的に負うその他業務が含まれる。当行は、浸透の原則に従って最終債務者を特定する。

## 当行株式の買戻しに対する資金援助

当行定款の例外に服するものの、当行（その支店を含む。）および当行の子会社（その附属企業を含む。）は、いかなる時も、贈与、資金の立替、保証、補償または貸付けなどによって、当行株式を購入するかまたは購入を予定している者に対して、いかなる種類の資金援助（以下に定義する。）も行わない。かかる当行株式の購入者は、株式の購入により直接的もしくは間接的に義務（以下に定義する。）を負担する者も含む。当行および当行の子会社は、いかなる時も、いかなる手段によっても、上記の債務者が負う債務を軽減または免除する目的での資金援助を一切行わない。

以下の行為は、禁止行為とはみなされない。

- ・ 当行が当行の利益のために関連する金融支援を善意で提供し、その主たる目的が当行株式の購入ではない場合、または資金援助が当行の計画全体の付随的な一部となっている場合の当行による資金援助
- ・ 法律に従った配当としての当行の資産の分配
- ・ 株式の形での利益分配
- ・ 当行定款に従った減資、当行株式の買戻しまたは株式構成の調整
- ・ 事業の範囲内および通常の業務における当行による貸付の提供（ただし、当行の純資産の減少を招いてはならず、または純資産がこれにより減少する場合には、資金援助は分配可能利益から支出されなければならない。）。
- ・ 従業員持株制度への当行による資金の提供（ただし、当行の純資産の減少を招いてはならず、または純資産がこれにより減少する場合には、資金援助は分配可能利益から支出されなければならない。）。

上記規定に関して、

- ・ 「資金援助」とは以下の意味を含む（ただし、これらに限定されない。）。
  - 贈与
  - 保証（債務者の債務の履行を保証するための保証人による責任負担または財産の提供を含む。）、補償（当行の債務不履行に起因する補償を除く。）または免責もしくは権利放棄
  - 貸付の供与または当行が先履行義務を負う契約の締結、かかる貸付もしくは契約の当事者の変更またはかかる貸付もしくは契約に基づく権利の譲渡
  - 当行が支払不能に陥ったときもしくは純資産を有さないとき、または当行の純資産の著しい減少につながるであろうときに当行によって付与されるその他の形態での資金援助
- ・ 本項にいう「義務の負担」には、債務者の財務状態の変更、契約または取決めの締結（それらが執行可能か否か、およびそれらが単独でもしくはその他の者と共同で負担するものであるか否かを問わない。）またはその他の方法による債権者の義務の負担が含まれる。

## 当行または当行の子会社との契約における利害関係の開示

当行の取締役、監査役、総裁およびその他の上級役員が、締結されたかまたは提案されている当行の契約、取引または取決め（ただし、当該者自身に関する当行との役務提供契約を除く。）につき、直接または間接に何らかの重大な利害関係を有する場合、当該者は、かかる契約、取引、取決めまたはそれらの提案が通常の状態において当行取締役会の承認を要するか否かにかかわらず、当該利害関係の性質および程度を可及的速やかに当行取締役会に開示しなければならない。

香港上場規則の規定または香港証券取引所が許可する例外に服するものとして、取締役は、自らまたはその関係者（香港上場規則に定義される。）が重大な利害関係を有する契約、取引、取決めまたはその他の提案の承認に関する取締役会決議に投票してはならない。また、かかる取締役は、会議への定足数の出席を判断する際に集計に含められないものとする。利害関係を有する当行の取締役、監査役、総裁およびその他の上級役員が、当該利害関係を当行定款に従い開示しており、かつかかる契約、取引または取決めが、当該者が定足数に算入されず、かつ議決権を行使していない当行取締役会において承認を受けた場合を除き、当行はかかる契約、取引または取決めを取り消すことができる。ただし、相手方がかかる取締役、監査役、総裁およびその他の上級役員の義務違反を了知していない善意の当事者である場合にはこの限りではない。

当行の取締役、監査役、総裁およびその他の上級役員の関連当事者または関係者が契約、取引または取決めに関し利害関係を有する場合、かかる取締役、監査役、総裁およびその他の上級役員も利害関係を有するとみなされる。当該契約、取引または取決めの締結が当行によって最初に検討されるよりも前に、当行の取締役、監査役、総裁またはその他の上級役員が、通知に明示された理由によって契約、取引または取決めについて利害関係を持つ旨記載した書面による一般的な通知を当行取締役会へ提出している場合、かかる取締役、監査役、総裁またはその他の上級役員は、その通知に記載の範囲内において、前段落に記載の開示を行ったとみなされる。

## 報酬

当行取締役の報酬については、株主総会において株主による承認を受けなければならない。上記「報酬および職位の喪失に対する補償金」を参照されたい。

## 任命、解任および退任

当行の取締役の任期は3年とする。取締役の任期は、国务院の銀行業監督管理当局により承認された日から開始するものとする。取締役は、任期満了時に再選および再任されうる。取締役の任期満了時に新たな取締役が任命されない場合、新たに任命された取締役が就任するまで、法律、行政規則、部門規則および当行定款の規定に従って前取締役が引き続き職務を果たすものとする。

取締役は、株主総会において任免され、株主総会において任期満了前に解任することができる。取締役の指名および選任の要件は以下のとおりである。

- ・取締役候補者は、当行定款に規定された取締役の人数の範囲内で、取締役候補予定者の人数に従って当行取締役会の指名委員会が指名することができる。取締役候補者は、当行の議決権付発行済株式総数の3%以上を単独または共同で保有する株主が指名することもできる。
- ・取締役会の指名委員会は取締役候補者の資格および条件の予備審査を行い、適格な候補者を審査のために取締役会に提案し、当行取締役会による審査および承認後、書面による決議により、株主総会に提案する。当行定款に従って当行の議決権付発行済株式総数の3%以上を単独または共同で保有する株主により指名された取締役候補者については、取締役会の指名委員会が、関連する法律、行政規則および当行定款に従って取締役としての資格および条件について予備審査を行い、審査結果を株主総会の招集者に報告し、適格な候補者を審査のために株主総会に提案する。
- ・各取締役候補者は、株主総会招集前に、書面による誓約を行い、指名に対する同意を表明し、公開開示された自身の情報の真実性および完全性を確認し、選任時にはその職務を適切に履行する旨を誓約する。
- ・取締役会は、株主が投票の際に候補者に関する十分な知識を有していることを確保するために、法律、行政規則および当行定款に従って、株主総会招集前に取締役候補者の詳細な情報を当行のすべての株主に開示する。
- ・追加取締役が一時的に指名される場合、取締役会の指名委員会またはかかる指名を行う条件を満たす株主は、候補者を、検討のために取締役会に、および選任または置換のために株主総会に対して提案することができる。
- ・同一の株主およびその関連当事者は、株主総会において取締役候補者と監査役候補者を同時に指名してはならない。同一の株主およびその関連当事者により指名された取締役（または監査役）候補者が既に取締役（または監査役）として職務に就いている場合、かかる株主は、かかる取締役（または監査役）の任期が満了し、当該者が置換されるまでは監査役（または取締役）候補者を指名してはならない。原則的に、同一の株主およびその関連当事者が指名する取締役候補者の人数は、国家により別段に規定されない限り、取締役全体の3分の1を上回ってはならない。

当行取締役会は、11名ないし19名の取締役により構成され、業務執行取締役の合計人数は取締役の合計人数の3分の1を超えてはならない。当行取締役会は、会長を1名および副会長を1名ないし2名置く。取締役会の構成は、法律、行政規則、部門規則および当行定款の関連規定を遵守する。会長および副会長は、当行取締役全体の過半数により選任および解任される。取締役会会長および取締役会副会長の任期は3年とし、再選および再任される。

以下の者は、当行の取締役、監査役、総裁またはその他の上級役員を務めることができない。

- ・ 法的能力のない者または法的能力が制限されている者
- ・ 汚職、贈収賄、財産の侵害もしくは不正な流用によりまたは社会主義経済秩序を乱したことにより処罰を受けた者であり、かつ、かかる刑期終了日から5年以上が経過していない者、または政治的権利を剥奪されていた者であり、かかる剥奪の終了日から5年以上が経過していない者
- ・ 支払不能となり清算された会社または企業の元取締役、元工場長または元マネージャーであり、かかる会社または企業の破産に対して個人的に責任を負い、かつ、かかる会社または企業の破産または清算の完了日から3年以上が経過していない者
- ・ 法律違反により営業許可の取消を受けたかまたは閉鎖を命じられた会社または企業の法律上の代表者を務め、かつかかる違反に対して個人的に責任があり、かつかかる営業許可の取消日より3年以上が経過していない者
- ・ 相当程度の額の債務を有し、かかる債務について不履行である者
- ・ 国務院の証券監督管理機関から証券市場への参入を禁止され、かつその期間が終了していない者
- ・ 刑法違反により司法当局の犯罪捜査下にあり、かつ当該捜査が終了していない者
- ・ 法律および行政規制により、企業の指導者として行為できない者
- ・ 自然人以外の者
- ・ 関連管轄当局により有価証券関連法令の規定に違反したとの宣告を受けた者で、かかる宣告が詐欺行為または不誠実行為の判明を含んでおり、かつかかる宣告から5年以上が経過していない者

法律に従って国務院銀行業監督管理当局から資格を剥奪された者は、当行の上級役員として行為してはならない。

当行の取締役、監査役、総裁またはその他の上級役員が善意の第三者に対して当行に代わってなす行為の有効性は、その現在の地位、選任における規則違反または資格の欠如により影響を受けることはない。

## 借入権限

中国の適用法令を遵守するとの条件に基づき、当行は、資金調達および借入れを行う権限を有する。かかる権限は、社債の発行、当行の事業または資産の一部または全部に関する抵当もしくは担保権設定ならびに中国の法律および行政規則により認可されるその他の権利を含むがこれらに限定されない。当行定款には、(a)当行による社債の発行を提案する権限を当行取締役に付与する規定および(b)社債の発行につき特別決議による株主総会での株主の承認を要する旨を定める規定以外に、取締役会が借入権限を行使する方法についての明確な規定がなく、またかかる権限を変更できる方法について明確な規定がない。

## 当行定款の変更

当行は、株主総会における特別決議により、その定款を変更することができる。変更が関連する中国の政府当局の承認に服する場合には、かかる変更は、承認の取得後に発効する。当行定款の変更が登記されなければならない場合、関連する法律に従いかかる登記が行われる。

## 発行済の株式または種類株式の権利の変更

いずれかの種類株式の株主に付与された権利（「種類株主の権利」）は、株主総会における株主の特別決議および当行定款に従い開催される当該種類株主の種類株主総会における承認を受けない限り変更または廃止することはできない。

以下の各号の状況に該当する場合、種類株主の権利は変更または廃止されたとみなされる。

- ・ 当該種類株式の増減または当該種類株式が享受するのと同等もしくはそれ以上の議決権、分配権もしくはその他特別な権利を伴う種類株式の増減。ただし、当行の国内株主名簿に記載された当行の国内普通株式が海外投資家に譲渡され、国務院証券当局の承認を得て、かかる譲渡株式が海外の証券取引所での上場および取引が可能となる場合を除く。
- ・ 当該種類株式の全部もしくは一部のその他の種類株式への交換、または別の種類株式の全部もしくは一部の当該種類株式への交換もしくは交換権の設定。ただし、当行の国内株主名簿に記載された当行の国内普通株式が海外投資

家に譲渡され、国务院証券当局の承認を得て、かかる譲渡株式が海外の証券取引所での上場および取引が可能となる場合を除く。

- ・当該種類株式に付される未払分配可能利益または累積分配可能利益に対する権利の解除または縮小
- ・当該種類株式に付される分配可能利益優先権または清算優先権の縮小または解除
- ・当該種類株式に付される転換権、オプション、議決権、譲渡権、引受権または当行有価証券の取得権の拡大、解除または縮小
- ・当該種類株式に付される、特定の通貨により当行から支払金を受領する権利の解除または縮小
- ・当該種類株式が享受するのと同様またはそれ以上の議決権、分配権その他特別な権利が付される新たな種類の株式の創出
- ・当該種類株式の所有権の譲渡に対する制限またはかかる制限の強化
- ・当該種類もしくは別種類の当行株式を引き受けまたは当該種類もしくは別種類の当行株式に転換する権利の発行
- ・別の種類の株式に対する権利または特別な権利の拡張
- ・提案された再編により異なる種類の株主に異なる程度の当行の負債に関する責任を負担させることとなる当行の再編
- ・当行定款に含まれる「種類株主決議の特別手続」に関する規定の変更または廃止

利害関係を有する株主（以下に定義する。）は、種類株主総会における議決権を有さない。

種類株主総会決議は、当該種類株主総会において出席する種類株主の議決権総数の3分の2以上の賛成をもって可決されるものとする。

当該種類の株主名簿に登録されているすべての種類株主に対して、当該種類株主総会における審議事項ならびに会日および会場を通知した種類株主総会の招集通知が、定款に従って書面により付与される。

種類株主総会の招集通知は、当該種類株主総会における議決権を有する種類株主に対してのみ送付すれば足りる。

種類株主総会は、全株主を対象とする株主総会の方法と可能な限り同じ方法により運営される。当行定款上の株主総会の運営方法に関する規定は、種類株主総会についても適用される。

国内上場内資株および当行H株式の株主は、異なる種類株式の株主とみなされる。普通株式の株主および優先株式の株主も、異なる種類株主とみなされる。

以下の各号のいずれかに該当する場合、種類株主総会における承認のための特別手続きは適用されない。

- ・株主総会において特別決議による株主の承認を受け、当行が、12ヵ月毎の間隔で個別または同時に国内上場内資株および海外上場株式を発行し、かつ発行される国内上場内資株および海外上場株式が当該時点におけるそれぞれの発行済株式数の20%以下に相当する場合
- ・内資株および海外上場株式を設定する際に作成された当行の発行計画が、国务院の証券規制当局による認可を受けた日から15ヵ月以内に実施される場合
- ・当行の国内株主名簿に記載された当行国内普通株式が海外投資家に譲渡され、国务院証券当局の承認を得て、かかる譲渡株式が海外の証券取引所での上場および取引が可能となる場合

当行定款の種類株主の権利に関する規定上、「利害関係を有する株主」とは以下の各号の株主をいう。

- ・当行の全株主を対象とする株式の買戻しまたは証券取引所における公開取引による株式の買戻しの場合は、当行定款の意味における支配株主
- ・相対契約による株式の買戻しの場合は、当該契約に係る株主
- ・当行の組織再編の場合は、再編案に基づき同一の種類株主に課せられた義務よりも軽い義務を負う株主、または同再編案において同一の種類株主の他の株主の一般的利害関係とは異なる利害関係を有する株主

## 決議 - 過半数を要する

株主総会における決議は、普通決議と特別決議とに区分される。

普通決議の採択には、当該総会に出席している議決権を有する株主（代理人を含む。）により表象される議決権の過半数の賛成票が投じられなければならない。

特別決議の採択には、当該総会に出席している議決権を有する株主（代理人を含む。）により表象される議決権の3分の2以上の賛成票が投じられなければならない。

## 議決権

当行の普通株式の株主は、株主総会に出席するかまたは出席する代理人を指名する権利および株主総会において議決権を行使する権利を有する。株主（代理人を含む。）は、株主総会において、保有する議決権付株式の数に応じて議決権を行使することができ、各議決権付株式には1個の議決権が付される。議決権が復活した優先株式の株主の議決権は、発行条件において合意された方法で計算される。

株主総会が少数株主（優先株式の株主を除く。）の利益に影響する可能性のある重要事項を審議する場合、少数株主の票は別途計算され、かかる別途の計算結果は直ちに開示される。

株主総会においては、適用ある法律、行政規則および香港上場規則に基づき議決権数により決議が採決されるものとし、当行は採決結果を公表するものとする。

総会議長の選出または総会の延会について議決権数による採決が要求された場合は、直ちにこれを実施する。その他の件について議決権数による採決が要求された場合は、議長が指示する時点においてこれを実施し、それ以外の議事の審議を処理することができる。議決権数による採決の結果は、当該議決権数による採択が要求された事項についての総会の決議とみなされる。

総会での議決権数による採決においては、2議決権以上有する株主（株主の代理人を含む。）は、すべての票を統一的に行使する必要はない。

## 年次株主総会の要件

当行取締役会は、会計年度終了後6ヵ月以内に年次株主総会を招集しなければならない。

## 会計および監査

当行は、法律、行政規則ならびに管轄当局によって策定された規則に従い、財務会計制度および内部監査制度を確立する。

当行取締役会には、監査委員会および関連当事者取引管理・消費者権利保護委員会を置き、当該委員会は当行取締役会に報告を行い、当行取締役会に対して責任を負う。監査委員会および関連当事者取引管理・消費者権利保護委員会はそれぞれ3名以上の委員からなり、当行定款に規定される授權事項の範囲内で行為し、かつかかる責任および権限を有するものとする。監査委員会の委員は、財務、監査、会計または法律に関する一定分野の専門知識および実務経験を有し、原則として、当行の日常業務および経営から独立していなければならない。

当行取締役会は、法律、行政規則および部門規則により要求される当行が作成した年次財務報告書を年次株主総会において株主に提出する。

当行の年次財務報告書は、年次株主総会の開催日の20日前に当行において株主の縦覧に供される。各株主は、財務報告書の写しを入手する権利を有する。

当行の年次財務書類は、中国の会計基準および法令に従って作成されるほか、国際会計基準または海外の当行株式の上場地の証券取引所の会計基準に従って作成することができる。二種類の会計基準に従って作成された年次財務書類間に重大な相違がある場合は、かかる相違についてそれらの年次財務書類の注記に記載する。当行が税引後利益を分配する際には、中国の会計基準に従って作成された財務書類に記載された税引後利益からのみ分配することができる。

当行が公表もしくは開示する中間決算または中間財務情報の作成および提示もまた、中国の会計基準および法令に従って作成されるほか、国際会計基準または海外の当行株式の上場地の証券取引所の適用ある会計基準のいずれかに従って作成することができる。

当行は、各会計年度に、年次財務報告書を一度および中間財務報告書を一度公表および開示する。年次財務報告書は、当該会計年度の終了後4ヵ月以内に公表される。中間財務報告書は当該会計年度の上半期終了後2ヵ月以内に公表される。

## 株主総会の招集通知および総会における議事

株主総会は、年次株主総会と臨時株主総会とに分類される。株主総会は当行取締役会により招集される。

当行は、以下の状況のいずれかの発生から2ヵ月以内に臨時株主総会を招集する。

- ・当行取締役の人数が中国会社法に規定された人数または当行定款が要求する人数の3分の2を下回った場合
- ・当行の未補填損失額が当行の払込資本金総額の3分の1に達した場合
- ・当行の議決権付株式の10%以上を保有する株主が書面により臨時株主総会の招集を要求した場合
- ・独立取締役の半数以上かつ2名以上が要請した場合
- ・当行取締役が必要と判断した場合または当行監査役会が要求した場合
- ・法律、行政規則、部門規則または当行定款に規定されるその他の場合



当行が株主総会を招集するときは、法令およびその他の規制書類に別段の規定がない限り、年次株主総会開催日の少なくとも20営業日前（通知日および株主総会開催日を除く。）および臨時株主総会開催日の少なくとも15日前または10営業日前（いずれか長い方とし、通知日および株主総会開催日を除く。）までに、当該総会の審議事項ならびに会日および会場を通知する書面による招集通知を株主名簿に記載された株主全員に対して付与する。法律、行政規則およびその他の規制書類が別段に規定する場合には、かかる規定に従うものとする。総会に出席する意思を有する株主は、会日の20日前までに、書面により当行に総会出席の旨を回答する。

当行が株主総会を招集する場合、当行取締役会、当行監査役会または当行の発行済議決権付株式総数の3%以上を保有する株主は、新たな議案を書面により提出する権利を有するものとし、当行は、株主総会における株主の責務の範囲内の議案を株主総会の議案に含めるものとする。

当行は、株主総会会日の前までに株主より受領した書面による回答に基づき、当該総会に出席する意思を有する株主により表象される議決権付株式数を算定し、法令またはその他の規制書類の要件に従って、株主に対して当該総会の審議事項、会場および会日につき再度通知を行う。

株主総会の招集通知は、以下の要件を満たしていなければならない。

- ・書面によること
- ・株主総会の場所および日時を指定すること
- ・株主総会の議案を説明すること
- ・議案について、株主が十分な情報に基づき決定を下せるよう、必要な情報提供および説明を行うこと。上記の一般性を制限することなく、当行による他社との合併、株式の買戻し、株式資本の再編またはその他の組織再編に関する議案が提案された場合、提案された取引の条件の詳細を提案された契約（もしあれば）の写しとともに提示しなければならない、かつ当該提案の理由および効果を適切に説明しなければならない。
- ・議題に関して当行の取締役、監査役、総裁またはその他の業務執行役員が有する重要な利害関係の性質および範囲の開示、ならびにかかる利害関係がかかる者の株主としての能力に及ぼす影響が同一の種類の株主の利害関係と異なる場合は、その影響を記載すること
- ・総会における決議を提案する特別決議案の全文を記載すること
- ・総会に出席し議決権を行使することのできる普通株式の株主（議決権が復活した優先株式の株主を含む。）は、自身に代わり総会に出席し議決権を行使する1名以上の代理人を指名する権利を有し、かつ代理人は株主である必要がないことを明示すること
- ・当該総会に関する議決権行使委任状の提出時期および提出先を明示すること
- ・株主総会の出席資格を有する株主の基準日を記載すること
- ・総会について連絡先担当者の氏名および電話番号を記載すること

株主総会の招集通知に、インターネットまたはその他の方法による投票のための時刻および手順を明記しなければならない。

株主総会の招集通知は、手交または株主名簿に記載されている住所宛の料金支払済郵便により株主（株主総会において議決権を行使する権利を有するか否かを問わない。）に交付される。内資株の所有者については、公告を掲載することにより株主総会の招集通知を行うことができる。H株式の株主向けには、適用法および上場規則により許可される場合、株主総会通知および関連書類は当行および香港証券取引所のウェブサイトで公表することができる。優先株主の株主総会の通知に関連する事項が当行定款、適用法令および上場規則に規定される場合、かかる規定が優先する。

公告の時期について法律、行政規則およびその他の規制書類が別段に規定する場合には、かかる規定が優先されるものとする。

かかる公告がなされた場合、内資株の株主は当該株主総会の通知を受領したものとみなす。法律、行政規則およびその他の規制書類が別段に規定する場合には、かかる規定が優先されるものとする。通知を取得する権利を有する者に対して偶発的に招集通知が送達されなかったこと、または当該者が通知を受領していないことにより、当該株主総会決議が無効となることはない。

次の各号の事項は、株主総会において普通決議により決議される。

- ・当行取締役会および当行監査役会の業務報告
- ・当行取締役会により作成された利益処分案および損失処理案
- ・当行取締役会および当行監査役会の構成員の任命および解任、報酬ならびにその支払方法
- ・当行の年次予算案および最終予算、貸借対照表、損益計算書ならびにその他の財務書類
- ・当行の年次報告書

上記以外の事項は、適用ある法令に従って、または当行定款の別段の規定によって特別決議により採択される。

次の各号の事項は、株主総会において特別決議により決議される。



- ・増資または減資ならびにあらゆる種類の株式、新株引受権証書およびその他これらに準ずる有価証券の発行
- ・当行社債の発行
- ・当行の分割、合併、企業形態の変更、解散または清算
- ・当行定款の改正
- ・独立取締役の解任
- ・株式報奨制度の検討および承認
- ・直近の会計期間に係る当行の監査済の総資産の30%超の金額を有する当行の重要な資産の1年以内の購入もしくは売却または1年以内の保証の提供
- ・当行の優先株式の発行および発行された優先株式に関する事項の決定または取締役会による決定の授権（関連する買戻し、転換または配当分配の実施の有無に関する決定を含むがそれらに限定されない（ただし、配当分配の一部または全部の取消しに関する決定を取締役に授権してはならない。）。）
- ・その性質上当行に重大な影響を及ぼす可能性があるため特別決議により採択されるべき事項であるとして株式総会において普通決議により決定されるその他の事項
- ・法令、規制上の規定または当行定款の規定により特別決議による採択を要するその他の事項

## 株式譲渡

国务院証券当局の承認を条件として、当行の国内普通株主名簿に記載された当行株式は海外投資家に譲渡されることができ、かかる譲渡株式は、海外の証券取引所での上場および取引が可能となる。海外の証券取引所におけるかかる譲渡株式の上場または取引は、かかる海外の証券取引所の規制手続きおよび規則にも準拠するものとする。

当行定款に従って、全額払込済の当行H株式すべては自由に譲渡可能である。香港証券取引所に上場している当行H株式については、当行定款に規定されている要件が満たされない限り、当行取締役会は譲渡証書の受諾を拒否することができ、かつかかる拒否について理由の説明を行う必要はない。

株主名簿のいかなる部分に対する修正または改正も、かかる株主名簿が保持されている場所の法律に従って行われる。

当行の主要株主（以下に規定する。）は、株式の取得日から5年以内には当行株式を譲渡してはならない。CBIRCまたはその地方支部がリスク管理措置を講じることを承認するかもしれないが、かかる株式の譲渡を命令した場合、またはかかる株式が司法強制執行対象となる場合、またはかかる株式が同一の投資者の支配下にある主体間で譲渡される場合、またはその他の特定の状況においては、前段落の規定は適用されない。

当行定款の目的上、「主要株主」とは、当行の議決権付株式または議決権の5%以上を直接、間接もしくは共同で保有するかもしれないが支配し、または当行の議決権付株式または議決権の5%未満を保有するが当行の経営管理に重大な影響を与える株主をいう。

前段落の目的上、「重大な影響」とは、当行への取締役、監査役または上級役員の配備、協議またはその他の方法による当行の財務および経営上の意思決定への影響、ならびに国务院の銀行業監督管理当局またはその地方支部が認定するその他の状況をいう。

株式譲渡による株主名簿に対するいかなる変更も、当行の配当基準日前の5日以内には行うことができない。法律、行政規則、部門規則および当行株式の上場地の証券規制当局の関連規則が株主名簿の変更登録について別段に規定している場合には、かかる規定が適用されるものとする。

## 自己株式買戻しに関する当行の権能

当行は、以下のいずれかの状況においてのみ、当行株式の買戻しを行うことができる。

- ・当行の登録資本金を減少させる場合
- ・当行の株式を保有する他社と合併する場合
- ・従業員持株制度または株式報酬のために株式を使用する場合
- ・株主が当行の合併または分割に関する株主総会決議に異議を唱え、当該株主が保有する株式の買戻しを請求する場合
- ・当行が発行する株式に転換可能な社債の転換のために株式を使用する場合
- ・当行の価値ならびに当行株主の権利および利益を維持するために必要である場合
- ・適用ある法律または行政規則により認められたその他の状況

当行は、管轄規制当局の承認を受けて以下の方法のいずれかにより株式を買い戻すことができる。

- ・同種類の株主全員に対するその持分に応じた株式の買戻しの申し出
- ・証券取引所における公開集中取引による株式の買戻し
- ・相対契約による株式の買戻し
- ・適用ある法令により規定されるかまたは国务院証券規制当局に認められたその他の方法

当行定款の規定に基づき、当行が以下のいずれかの場合に自己株式を買い戻す場合には、公開集中取引により行うものとする。

- ・従業員持株制度または株式報酬のために株式を使用する場合
- ・当行が発行する株式に転換可能な社債の転換のために株式を使用する場合
- ・当行の価値ならびに当行株主の権利および利益を維持するために必要である場合

当行が相対契約によって自己株式を買い戻す場合、当行定款に従って、事前に株主総会の承認を得る必要がある。当行は、上記と同様に得られた株主の事前承認により、締結済みのかかる契約を解除もしくは変更し、またはかかる契約による権利を放棄することができる。

当行が買い戻した株式は、適用ある法律、行政規則または規制当局が規定する期間内に消却または譲渡されなければならない。

当行が清算手続中でない限り、当行は、当行発行済株式の買戻しに関して下記の条項に準拠しなければならない。

- ・当行が額面金額で自己株式を買い戻す場合、その支払いは当行の分配可能利益またはかかる目的で発行される新株式の発行手取金からなされる。
- ・当行が額面金額にプレミアムを付した額で自己株式を買い戻す場合、その額面金額分の支払については当行の分配可能利益またはかかる目的で発行される新株式の発行手取金からなされる。額面金額を超過する部分についての支払は、以下のように処理される。(i)買い戻される当行株式が額面金額で発行されていた場合には、かかる支払は当行の分配可能利益からなされる。あるいは、(ii)買い戻される当行株式が額面金額を超過する価額で発行されていた場合には、かかる支払は当行の分配可能利益またはかかる目的で発行される新株式の発行手取金からなされるが、新株式の発行手取金から支払われる金額は、買い戻された当行株式の発行時に当行が受領した超過金総額を上回ってはならず、また買戻し時点における当行の資本剰余金勘定（すなわち資本準備金勘定）の金額（新株式の額面超過金を含む。）を上回ってはならない。
- ・(i)当行株式の買戻権取得、(ii)当行株式の買戻契約の変更および(iii)株式買戻契約に基づく当行の義務の免除の対価としての当行による支払いは、当行の分配可能利益から行われる。
- ・当行の登録資本金が関連規則に従い消却済株式の額面総額分減じられた後、額面金額で株式を買い戻すために分配可能利益から控除した金額は、当行の資本剰余金勘定（すなわち資本準備金勘定）に振替えられる。

別段に規定されない限り、本項における上記規定は普通株式にのみ適用され、当行による優先株式の買戻しについては、法律、行政規則、部門規則、当行定款および当行の優先株式の発行計画の関連規定が適用される。

### **当行の子会社が当行株式を所有する権限**

当行定款に、当行の子会社による当行株式の保有を制限する条項はない。

### **普通株式の配当およびその他の利益分配方法**

「技術主導」戦略という原則を一貫して実行し、「デジタル・バンク」への転換を加速させるために、当行は引き続き、年間予算計画の作成に当たってフィンテックへの投資を増加させる。フィンテック投資の年間予算合計は、（当グループの統計基準で計算された）当行の前年度の監査済営業利益の3.5%を下回ってはならない。うち、取締役会の授権によって設置された「招商銀行フィンテック・イノベーション・プロジェクト基金」に割り当てられる予算は、原則的に、（当グループの統計基準で計算された）当行の前年度の監査済営業利益の1%を下回ってはならない。

当行の税引後利益は、以下の順序で割り当てられる。(A)前年度の損失の補填、(B)利益の10%の法定準備金への繰入れ、(C)一般準備金への割当て、(D)優先株式に対する配当の分配、(E)任意準備金への繰入れおよび(F)普通株式の株主への配当の分配。

当行は、以下のいずれかの方法で利益を分配することができる。

- ・現金
- ・株式
- ・現金と株式の組合せ

当行は、主に現金で利益を分配する。現行の適用法令、自己資本比率に関する規制当局の要件、ならびに当行の通常の事業活動、事業の発展ならびに主要な投資および買収に係る資本要件を満たすことを条件として、当行は、原則とし

て、当該年度について中国会計基準に従って監査された普通株式株主帰属税引後純利益の30%以上を現金で普通株式の株主に分配する。

内資株の所持人に支払われる当行が宣言した現金による利益分配またはその他支払金は、人民元により宣言および計算され、人民元により支払われる。当行H株式の所持人に支払われる現金による利益分配またはその他支払金は、人民元により宣言および計算され、香港ドルにより支払われる。

当行は、当行H株式の受取代理人を任命し、かかる受取代理人は当該株主の代理として、分配可能利益および当行H株式に関して支払われるその他すべての金員を受領する。当行H株式の保有者の代理として任命された受取代理人は、香港の「受託者条例」に基づく信託会社として登録された会社とする。

当行株式の上場地の証券規制当局の関連規則に従って、当行は未請求の配当を失権させる権利を行使することができるが、かかる権利は配当宣言日から6年目以降にのみ行使可能である。

当行は、会計年度の途中で配当を分配することができる。株主総会における別段の決議がない限り、当行取締役会は中間利益分配計画を承認する権限を有する。

当行が、前会計年度に利益を計上したが当行取締役会が前会計年度末の後に現金による利益分配を提案しなかった場合、当行取締役会は、利益分配を行わない理由および利益分配に充当されなかった留保利益の用途を定期報告書において詳細に説明するものとし、かかる定期報告書には、独立取締役の独立意見書が添付されるものとする。当行取締役会は、当行の株価が当行の株式資本の規模に相応でなくなったと考える場合、利益分配に関する上記の要件を満たすことを条件として、株式による利益分配計画を提案することができ、株主総会による承認後に実施するものとする。当行は、関連規定に従って、定期報告書に現金による利益分配方針の実施状況およびその他関連情報を開示しなければならない。

## 優先株式の配当分配方法

当行は、分配可能な税引後利益があれば、優先株式の株主に、発行関連書類における合意に従って計算された配当を分配する。ただし、当行は優先株式に係る配当の一部または全部の分配を取り消すことができる。

## 代理人

基準日に株主名簿に記載された当行普通株式および議決権が復活した優先株式の全株主は、関連法令および当行定款に従って株主総会に出席し、議決権を行使する権利を有する。当該株主は、自らが株主総会に出席することができ、また、その代理として出席して議決権を行使するための代理人を任命することもできる。当行の株主総会に出席しかつ議決権を行使できる株主は、自らに代わり出席しかつ議決権を行使する代理人として1名以上の者（株主であると否とを問わない。）を指名する権利を有する。かかる代理人は、

- ・株主総会において株主として発言する株主と同一の権利を有し、
- ・株主総会において議決権数により議決権を行使する権利を有する。

議決権行使代理人を任命する議決権代理行使委任状は、委任者または書面により正式に権限を付与された委任者の代理人の署名を付した書面によるものとする。委任者が法人である場合、議決権代理行使委任状には社印を押捺するかまたは適法に授權された代理人が署名を行うものとする。議決権行使代理人を任命する議決権代理行使委任状、またかかる議決権代理行使委任状に委任状に従い委任者に代わる者の署名が付されている場合は、かかる委任状またはその他の授權書の公証人による認証謄本を、議決権行使代理人が採決を提案する株主総会の開催時刻または議決権の行使の予定時刻の24時間以上前に、当行の所在地、または当該目的のために株主総会の招集通知に指定されたその他の場所に届けるものとする。

委任者が法人である場合、当該法人の法定代表者、または当該法人の法定代表者により授權された者が、委任者の代表者として当行の株主総会に出席することができる。

当行の株主総会に出席し議決権を行使する議決権行使代理人を任命するために株主が使用する目的で取締役が当該株主に対し発行する書式は、議決権行使代理人に対し、株主総会で決議される個々の議案に対する当該株主が自身の意思に基づく賛否または棄権の指示ができるようなものでなければならない。当該書式には、株主からの明示的な指示がなければ、議決権行使代理人が適当とみなすところに従い議決権を行使できる旨を記載するものとする。

議決権代理行使委任状の条件に従い付与された議決権は、委任者の死亡もしくは行為能力の欠如にかかわらず、または議決権代理行使委任状もしくは議決権代理行使委任状作成時の権限の取消しにかかわらず、または議決権代理行使委任状が交付された株式の譲渡にかかわらず、有効であるものとする。ただし、当行がかかる議決権代理行使委任状が使用される株主総会の開会に先立ち、かかる死亡、行為能力の欠如、取消しまたは譲渡について書面による通知を受領していないことを条件とする。

## 株式払込請求および失権手続

当行定款に、株式払込請求および失権手続に係る条項はない。

## 株主の権利(株主名簿閲覧の権利を含む。)

当行の普通株式の株主は、以下の権利を享受する。

- ・ 所有株式数に応じて分配可能利益その他分配を受領する権利
- ・ 株主総会を要求し、招集し、主宰し、株主総会に出席し、または株主総会に出席する代理人を任命する権利
- ・ 株主総会において所有株式数に応じて議決権を行使する権利
- ・ 当行の事業運営の管理を監督し、それに関して提案または質問を提起する権利
- ・ 法令、当行株式の上場地の規制当局の関連規則および当行定款に従い株式を譲渡、寄付、質入れまたは処分する権利
- ・ 以下の権利を含む、当行定款に従い関連情報を入手する権利
  - 費用の支払を条件として、当行定款の写しを取得する権利
  - 合理的な費用の支払を条件として、以下の書類を閲覧し複写する権利
    - (a) 株主名簿の全部
    - (b) 当行の取締役、監査役およびその他業務執行役員に関する情報
    - (c) 当行の株式資本
    - (d) 前会計年度末以降当行が買い戻した株式の種類毎の額面総額、株式総数、最高支払価格および最低支払価格、ならびにかかる目的上当行が支払った総額を示す報告書
    - (e) 株主総会議事録、取締役会決議および監査役会決議
    - (f) 当行社債の副本
    - (g) 当行の財務報告書
- ・ 当行の解散または清算時にその所有する株式数に応じて当行の残余資産の分配に参加する権利
- ・ 株主が当行の合併または分割に関する株主総会決議に異議を唱え、当該株主が保有する株式の買戻しを請求する場合
- ・ 適用ある法令または当行定款により付与されるその他の権利

当行の優先株式の株主は、以下の権利を有する。

- ・ 株主総会において特定の事項について種類別投票を行う権利
- ・ 利益分配における優先権
- ・ 残余財産の分配における優先権
- ・ 株主総会の招集の要請、主宰および株主総会への出席または株主総会に出席する代理人を指名する、復活した議決権を有する優先株式の株主の権利
- ・ 法律、行政規則、部門規則および当行定款が付与するその他の権利

法律、行政規則または当行定款が優先株式の株主による承認を求めている事項を除き、優先株式の株主は、株主総会の招集の要請、主宰および株主総会への出席または株主総会に出席する代理人を指名する権利ならびに株主総会で議決権を行使する権利を有さない。

ただし、当行が合計3会計年度または2会計年度連続で優先株式について配当を支払わない場合、当該年度について優先株式に係る所定の配当が支払われないという株主総会による承認の翌日から優先株式の株主の議決権は復活し、優先株式の株主は株主総会に出席して普通株式の保有者と共同で投票することができる。優先株式は1株につき、発行条件に合意された一定の割合の議決権を有する。当該年に当行が配当を全額支払うまで、優先株式の株主が有する議決権は復活し続けるものとする。

## 少数株主の権利

当行定款は、適用ある法律、行政規則または当行株式の上場地の規制当局の要件により支配株主に対して課される義務に加え、議決権行使の際に、下記のような当行の他の株主全般または当行の少数株主グループの利益を侵害する決定をなしてはならないことを規定している。

- ・ 当行取締役または当行監査役を、当行の最善の利益の下に誠実に行為しなければならないという義務から免除すること

- ・方法を問わず、当行取締役または当行監査役が、（本人の利益のためまたは他者の利益のために）当行資産（当行にとって利益となる機会を含むがこれに限定されない。）を剥奪することを承認すること
- ・当行取締役または当行監査役が、（本人の利益のためまたは他者の利益のために）他の株主の権利を剥奪することを承認すること。かかる権利には分配の権利および議決権を含むがこれらに限定されない（ただし、当行定款に従って株主総会における株主の承認を受けた当行の再編に基づく場合を除く。）。

上記の目的上、「支配株主」とは、当行の株式総数の50%以上を保有する者、または持株比率は50%未満であるが、当行株式に対する議決権に基づき株主総会決議に重要な影響力を有する者を意味する。法律、行政規則、部門規則および当行株式上場地の証券監督当局の関連規定が「支配株主」の定義および条件について別段に規定している場合は、かかる規定が優先する。

## 清算手続

当行は、以下のいずれかの事由が発生した場合、解散し、清算される。

- ・株主総会において解散決議が可決された場合
- ・当行の合併または分割に伴い解散が必要となった場合
- ・当行が、支払期限の到来した債務を弁済できず法律上の破産宣告を受けた場合
- ・当行が、法律または行政規則違反により事業免許の取消し、閉鎖または解散を命じられた場合
- ・当行が、中国会社法第182条（「会社が業務または経営において深刻な危機に陥り、引き続き存続することで株主利益に重大な損失をもたらし、かつ他の方法での問題の解決が不可能である場合には、かかる会社の発行済株式にかかる議決権の10%以上を保有する株主は人民法院にかかる会社の解散を請求することができる。」）に従って裁判所により解散された場合

当行の清算および解散は、中国会社法および中国の商業銀行法の関連規定に従って行わなければならない。

当行取締役会が、破産以外の理由で当行の清算を決定する場合、当行取締役会は、当該提案を審議するために招集される株主総会の通知に、当行の状況を精査した結果、当行取締役会は当行が清算の発表から12ヵ月以内にその債務を全額返済できると判断している旨の記述を記載する。

当行の清算決議が株主総会により採択されたときに、当行取締役会の職務および権限は直ちに停止する。

清算委員会は、株主総会の指示に従い、毎年最低1回株主総会に対し、清算委員会の収支、当行の事業および清算の進捗状況について報告し、かつ、清算完了時に株主総会に対し最終報告を提出すべく行わなければならない。

## 当行および当行株主にとって重要なその他の条項

### 総則

当行定款は、CBIRCによる承認日に効力が生じる。それ以降、当行定款は当行の組織および活動、ならびに当行と各株主の間の権利および義務、さらに株主間の権利および義務を規制する法的に拘束力を有する公文書となる。

当行は、普通株式および優先株式を発行する。普通株式の1株当たりの額面金額は1人民元であり、優先株式の1株当たりの額面金額は100人民元である。当行が発行する優先株式の株数は、普通株式の株数合計の50%を上回ってはならない。

当行はその業務上および事業展開上の必要性に鑑み、かつ当行定款の関連規定に従い、増資を承認することができる。

当行は、以下の方法により株式資本を増加させることができる。

- ・不特定の投資家に対する普通株式の募集
- ・既存株主に対する普通株式の発行
- ・既存株主に対する普通株式の交付
- ・特定の投資家に対する普通株式の募集
- ・資本準備金の株式資本への転換
- ・優先株式の普通株式への転換
- ・適用ある法律および行政規則により認められたその他の方法の利用

一切の新株式発行による増資は、当行定款に従い承認された後、適用ある法律および行政規則に規定される手続に従って行われる。

当行の各株主は、以下の義務を負うものとする。ただし、当行定款または適用ある法令もしくは当行株式上場地の上場規則によって優先株式の株主について別段に要求されるものについてはこの限りでない。

- ・法律、行政規則、規制要件および当行定款を遵守すること
- ・引受株式数および引受けの方法に応じて払込金額を支払い、法律、行政規則または規制要件によって別段に規定されない限り、委託資金、債務資金および自身の保有ではないその他の資金ではなく、合法的な資金源から得られた資金によって当行株式を購入すること
- ・適用ある法律および行政規則により許可されない限り、株式資本の払戻をしないこと
- ・当行の株主およびその支配株主、実質支配者は、株主の権利の濫用または関連当事者関係の利用により当行、他の株主もしくはステークホルダーの利益を損なわないこと、法人の有限責任の地位の悪用により当行の債権者に対して詐欺を働かないこと、または当行との不適切な関連当事者取引を行ってはならず、不正な利益を求めて当行の経営管理に影響力を行使してはならないこと。当行のいずれかの株主またはその支配株主、実質支配者がその株主の権利の不適切な利用または関連当事者関係の利用により当行または他の株主もしくはステークホルダーの権利に損害を与えた場合には、当該株主は当行または他の株主もしくはステークホルダーに対して補償を行う義務を負う。当行のいずれかの株主が、その有限責任の地位または法人としての当行の独立の地位の悪用により、その債務の支払を回避し、それが当行の債権者の利益を著しく損なう場合には、当該株主は当行のかかる債務に対して連帯責任を負う。
- ・提供する情報の真実性、完全性および有効性を確保するために合法的に信認義務を果たすこと
- ・持株比率および株式保有機関数が規制要件を遵守することを確保し、当行株式の保有を他のいかなる者にも委託せず、他のいかなる者からの当行株式の保有の委託も受諾しないこと
- ・当行と不適切な関連当事者取引を行わず、不正な利益を求めて当行の業務および経営に影響力を行使しないこと
- ・規制当局への承認申請義務または報告義務を果たすこと
- ・当行株式を譲渡するかもしくは担保に差し入れるか、または当行と関連当事者取引を行う株主は、法律および規制要件を遵守し、他の株主または当行の利益を損なってはならない。
- ・リスク事由または重大な規則違反が発生した場合、規制当局の調査およびリスク対応に協力すること
- ・適用ある法律および規制要件または当行定款により課されるその他の義務を負うこと

株主は株式引受時に当該株式の引受人が合意した以外に、株式資本にさらに拠出する義務を負わない。

投資者ならびにその関連当事者および共同で行為する者は、単独または共同で、当行の資本総額または株式総数の5%超を初めて保有するかまたはその持分を累積的に増加させることを意図する場合、事前にCBIRCまたはその地方支部に申請して承認を得なければならない。投資者ならびにその関連当事者および共同で行為する者は、単独または共同で当行の資本総額または株式総数の1%超5%以下を保有する場合、その持分の取得日から10営業日以内に、CBIRCまたはその地方支部に報告しなければならない。

金融商品が当行株式を保有することはできるが、単一の投資者、発行者または管理者およびその実質支配者、関連当事者ならびに共同で行為する者が支配する金融商品を通じて同一の商業銀行が累積的に保有する当行株式は、当行の株式総数の5%を上回ってはならない。

## 当行監査役会

当行は監査役会を設置するものとする。当行の取締役、総裁およびその他の業務執行役員は当行監査役を兼任してはならない。当行監査役会は、5名ないし9名の当行監査役から構成され、当行監査役のうち1名が議長を務める。当行監査役の任期は3年とし、再選により更新することができる。社外監査役の任期は合計6年以内とする。当行監査役会の議長の任免は、当行監査役の3分の2以上の同意により決定される。当行監査役会決議は、当行監査役の過半数の賛成票により決定される。

当行監査役会は、社外監査役、当行の従業員代表およびその他監査役で構成される。株主代表および社外監査役は株主総会において任免され、当行の従業員代表監査役は、従業員代表会議、従業員会議またはその他の民主的手続きにより任免される。

当行監査役会は、株主に対して説明責任を負い、法律に従って以下の権限を行使する。

- ・当行の財務活動、特に当行の発展戦略、経営に関する意思決定、内部統制およびリスク管理を検討・監督する。
- ・取締役会が採択した穩健な経営理念および価値基準ならびに当行の実情に沿った適切な発展戦略の策定を監督し、当行の発展戦略の科学性、合理性および健全性を評価し、評価報告書を作成する。
- ・当行取締役の選出および任命の手続きならびに当行取締役、総裁およびその他業務執行役員の職務の履行における行為を監督し、当行の取締役、監査役、総裁およびその他上級役員の職務履行状況の全体的な評価を行い、最終的な評価結果を國務院の銀行規制当局および当行の株主総会に報告し、適用ある法律、行政規則、部門規則または当行定款に違反する当行取締役、総裁またはその他業務執行役員に対して指定期間中の是正を要求し、かかる者に対して関連負債の請求を提案する。
- ・当行の報酬管理規則およびその実施ならびに上級役員の報酬案の客観性および合理性を監督する。

・内部監査業務を指導および監督し、監査関連情報の提供を取締役会および上級役員に請求する権利を有する。

- ・当行取締役、総裁またはその他業務執行役員に対して、必要に応じて書面または口頭で提案もしくは注意喚起を行い、面接もしくは照会を行い、または回答を要求し、当行取締役、総裁およびその他業務執行役員に対して、重要な財務上の決定およびその実施に関する不正行為を是正するよう要求し、必要に応じて監督当局に報告する。
- ・当行取締役会が作成した定期報告書を検討・精査し、当該報告書の真実性、正確性および完全性に関して書面による意見を提出する。また、当行取締役会が株主総会に提出することを企図する財務報告および営業報告等の財務情報を検討し、疑義があれば、当該情報の再検討を支援するため公認会計士または開業監査人を当行名義で任命する。また、利益分配計画を検討し、そのコンプライアンスおよび合理性に関する意見を提出する。
- ・臨時株主総会の招集を提案し、当行取締役会が当行定款に規定する株主総会の招集・主宰義務を履行しない場合には、当該株主総会を招集し、主宰する。
- ・株主総会に提案を行う。
- ・当行の取締役、総裁またはその他業務執行役員に関して当行を代理して質疑を行い、中国会社法に従って当行の取締役、総裁または業務執行役員に対して訴訟を提起する。
- ・当行の重要な決定に関する報告を事前に受け、当行の業務状況、財務状況、重要な契約、重要な事由および事例、監査上の問題ならびに人事の重要な変更に関する情報を要求する。また、当行の業務の不正の調査を行う。
- ・必要に応じて、辞職する当行取締役、総裁および業務執行役員に対する監査を行う。
- ・当行の状況に関して銀行規制当局またはその支部と定期的に連絡する。
- ・適用ある法律、行政規則、部門規則または当行定款に規定された権限ならびに株主総会により付与されたその他の権限を行使する。

各当行監査役は、毎年、当行監査役会会議および監査役会の現地会議の3分の2以上に自らが出席するものとする。

## 当行総裁

総裁は、当行取締役会に対して責任を有し、以下の権限を行使する。

- ・日常的な管理、業務および財務の責任者となり、職務を当行取締役会に報告する。
- ・当行取締役会決議、当行の年間計画および投資案の執行を組織する。
- ・当行の内部組織構造の設立計画を起草する。
- ・当行の基本的な経営システムを起草する。
- ・当行の具体的な規制システムを策定する。
- ・当行の業務執行副総裁および当行本店の最高財務責任者の候補者を指名してその任命または解任を当行取締役会に提案し、当行の社内部門および支店の責任者等の他の業務執行役員（取締役会による任免が必要な者を除く。）を任命または解任する。
- ・従業員の給与、厚生、報奨および懲罰制度を決定し、従業員の任免を決定する。
- ・他の業務執行役員ならびに社内部門および支店の責任者に対して、事業活動を行う権限を付与する。
- ・臨時取締役会会議の招集を提案する。
- ・支店の設立、解散および合併を決定し、支店長に日常的な業務および管理に従事する権限を付与する。
- ・取り付け騒ぎ等の重大な事由の発生に際して、緊急措置を講じ、その後、国务院の銀行規制当局を含む管轄政府当局、当行取締役会および当行監査役会に直ちに報告する。
- ・当行定款または当行取締役会により付与されたその他の権限を行使する。

当行の総裁は、当行取締役会会議に出席するものとする。ただし、総裁は、自らが取締役を兼任していない限り、かかる会議において議決権を有さない。

当行の総裁およびその他の業務執行役員は、適用ある法令、規制要件および当行定款の要件を遵守しなくてはならない。

## 当行取締役会

当行取締役会は、株主総会に対して説明責任を負い、当行の経営および管理に最終的な責任を負い、以下の権限を行使する。

- ・株主総会を招集する責任を負い、株主総会において自らの業務について株主に報告する。
- ・株主総会決議を執行する。



- ・ 当行の事業計画、投資計画および重要な資産処分計画を決定する。
- ・ 当行の発展戦略および資本管理戦略を策定し、人材戦略および情報技術戦略等の付随的戦略に特別に留意し、かかる戦略の実施を監督する。
- ・ 当行の年次予算案および最終年次予算を編成する。
- ・ 当行の利益分配案および損失補填案を策定する。
- ・ 当行の登録資本の増減、社債またはその他有価証券の発行および上場に関する計画を策定する。
- ・ 当行の重大な買収、当行株式の買戻し、当行の合併、分割、形態の変更または解散もしくは清算の提案を策定する。
- ・ 当行定款の規定および当行の株主総会の授権の範囲内で、株式投資およびその他社外投資、固定資産およびその他資産の売買、資産の処分および償却、資産の担保差入れ、社外補償、関連当事者取引ならびに外部寄付に関する事項を決定する。
- ・ 当行の内部管理枠組みの確立を決定する。
- ・ 当行の総裁および取締役会秘書役を任免し、総裁の勧告に従って当行の業務執行副総裁および最高財務責任者を含むその他業務執行役員を任免し、その報酬および懲戒処分に関する事項を決定し、当行の上級役員の経営義務の有効な履行を監督および確保する。
- ・ 当行の利益の総裁の報奨基金に充当される割合を決定する。
- ・ 当行の基本的な経営システムを確立する。
- ・ 当行定款の改正案を策定し、当行の株主総会および取締役会会議の議事規則を策定し、取締役会の専門委員会の実施規則を審議および承認する。
- ・ 当行の取締役および上級役員が遵守しなければならない職業規範および価値基準を策定する。
- ・ 当行の情報開示を担当し、当行の会計および財務報告の真実性、正確性、完全性および適時性に最終的な責任を負う。
- ・ 各株主総会において、当行の財務書類の定期的な監査を行う会計事務所の任命、解任または再任を提案する。
- ・ 総裁の業務報告を検討し、総裁の実績を精査する。
- ・ 当行のコーポレート・ガバナンスを定期的に評価し、改善する。
- ・ 当グループの連結財務会計管理に関する当行の戦略全般を策定し、連結財務会計管理の特定の実施計画を検討・策定し、定期的な検討（内部取引の検討を含む。）および評価機構を構築する。
- ・ 当行の資本計画を策定し、当行の資本管理、レバレッジ比率管理および支払能力管理に係る最終的な責任を負い、リスク選好および自己資本比率の目標を定め、資本計画の実施を検討・監督し、先進的資本測定方法の採択を検討・承認し、国务院銀行監督当局が要求する資本管理義務を履行する。
- ・ 当行のリスク許容度、リスク管理および内部統制に関する方針を策定し、包括的なリスク管理について最終的な責任を負う。
- ・ データ戦略を策定し、データガバナンス関連の主要事項の承認または承認の授権を行い、データガバナンスについて最終的な責任を負う。
- ・ 環境、社会およびガバナンス（以下「ESG」という。）発展戦略、基本管理体制および関連作業報告書を検討し、ESG関連の主要事項の承認または承認の授権を行う。
- ・ 貸倒引当金の管理制度およびその重要な変更を検討し、承認する。
- ・ 当行の重大な損失の説明責任機構を構築し、改善し、上級役員の説明責任制度を構築する。
- ・ 株主関連事項について最終的な管理責任を負い、当行と株主（特に主要株主）との間の利益相反の特定、検証および管理機構を構築する。
- ・ 金融消費者およびその他利害関係を有する当事者の正当な利益を保護する。
- ・ 株主総会の授権の範囲内で、当行の優先株式の発行および発行された優先株式に関する事項（関連する買戻し、転換または配当分配の実施の有無に関する決定を含むがそれらに限定されない（ただし、取締役会は配当分配の一部または全部の取消しに関する決定については授権されない。）。）を決定する。
- ・ 内部監査体制の構築、運用および維持ならびに内部監査の独立性および有効性について最終的な責任を負う。
- ・ 適用ある法律、行政規則および当行定款に規定されたその他の権限ならびに株主総会により承認された権限を行使する。

当行取締役会の定例会議は、四半期に1回以上開催されなければならないが、当行取締役会会長により招集される。各当行取締役は、毎年、当行取締役会会議の3分の2以上に自ら出席するものとする。すべての当行取締役および当行監査



役に対し、定例会議開催日の14日前までに会議の通知がなされるものとする。緊急事態の場合には、臨時取締役会を開催することができる。

当行取締役会会議は、当行取締役の過半数が出席する場合に限り開催される。各当行取締役は1議決権を有する。ある決議に対する賛成票と反対票が同数である場合、当行取締役会会長が決定票を有するものとする。

## 党委員会

当行は、中国共産党招商銀行股份有限公司委員会（以下「党委員会」という。）を設置する。当行の総裁が党委員会書記を務める。党委員会は、関連規則に従って規律検査委員会を設置する。

党委員会は、以下の職務を履行するものとする。

- ・党および国家の政策および指針の当行の実施を確保および監督し、党中央委員会および国務院の重要な戦略決定ならびに党の上部組織の重要な活動を実行する。
- ・標準、手続き、評価、推薦および監督に焦点を当てて人員の選任および任命過程を管理する上で主導権および監視上の役割を強化し、党が幹部を管理する際には、上級役員の合法的な選任における取締役会の機能と、上級役員の任命、昇進および降格に対する権限の合法的な行使という原則の統合を堅持する。
- ・当行の改革、発展および安定、経営管理上の重要事項ならびに従業員の利益に関する重要事項を研究および討議し、意見および提案を表明し、株主総会、取締役会、監査役会および上級役員の法律に従った職務の履行を支援し、従業員代表大会の活動を支援する。
- ・包括的かつ厳格な規律に則った党委員会の運営に主要な責任を負い、当行の思想的および政治的活動、統合戦線活動、文化・倫理上の進展、企業文化の推進ならびに当行の労働組合および共産主義青年団などの集団の活動を主導し、党の業務形態および清廉な運営の構築を主導し、監督責任の効果的な実行に当たって党の規律委員会を支援する。
- ・当行の草の根の党組織および党員団の構築を強化し、党支部の要塞としての役割および党員の先駆者および模範としての役割を十分に果たさせ、当行の改革および転換型発展に注力するように全行的に幹部および従業員を団結させ、主導する。
- ・党委員会の職務の範囲内のその他の重要な事項。

## 紛争解決

当行H株式の株主と当行の間、当行H株式の株主と当行の取締役、監査役、総裁もしくはその他の上級業務執行役員の間、または当行H株式の株主と当行の内資株の株主の間において、当行定款に基づき、または中国会社法もしくはその他の関連ある法令もしくは規制規則により付与されもしくは課される権利義務に基づいて、当行の業務に係る紛争または請求が発生した場合には、当事者はかかる紛争または請求の解決を仲裁機関に委ねるものとする。

申立人は、その仲裁を、中国国際経済貿易仲裁委員会においてその規則に従い実施するか、香港国際仲裁センターにおいてその証券仲裁規則に従い実施するかを選択することができる。申立人が紛争または請求を仲裁に付した後は、被申立人は申立人が選択した仲裁機関に従わなければならない。

申立人が香港国際仲裁センターにおける仲裁を選択した場合、紛争もしくは請求に係るいかなる当事者も、香港国際仲裁センターの証券仲裁規則に従い審理が深センで行われるべきことを申請することができる。

紛争または権利の請求が仲裁に付される場合、関連する法律および行政規則に別段の定めがない限り、中国法が適用される。

紛争または請求が仲裁に付された場合、当該請求または紛争の全部が仲裁に付されなければならない。また、同一の事由により請求原因を有する者または当該紛争もしくは請求の解決のためにその参加が必要となる者であって、当行の従業員または株主、取締役、監査役、総裁もしくはその他の上級業務執行役員である者は、仲裁に従わなければならない。株主の確定および株主名簿に関する紛争は、仲裁により解決される必要はない。

仲裁機関の裁定は、最終的かつ確定的であり、全当事者に対して拘束力を有する。

## 2【外国為替管理制度】

中国の法定通貨は人民元であり、外国為替管理の対象となっているため、外国為替に自由に交換することができない。PBOCの権限下にある国家外貨管理局は、外国為替管理規則の執行を含む、外国為替に関連する一切の事項を管理する機能を付与されている。

1994年、經常勘定項目における人民元の条件付交換が実施され、また、人民元の公式交換レートおよび人民元の市場交換レートが統一された。1996年1月29日、中国国務院は「中華人民共和国外国為替管理規則」(以下「外国為替管理規則」という。)を公布し、これは1996年4月1日に施行された。外国為替管理規則は、すべての国際的支払および移転を經常勘定項目および資本勘定項目に分類する。資本勘定項目とは異なり、經常勘定項目の取引は国家外貨管理局の承認を得る必要はない。続いて外国為替管理規則が、1997年1月14日に改正され、中国は国際的な經常勘定の支払いおよび移転を制限してはならないことが明確になった。

1996年6月20日、PBOCは「外国為替決済、売却および支払業務取扱管理規則」(以下「決済規則」という。)を公布し、これは1996年7月1日に施行された。決済規則は、經常勘定項目に関する外国為替の交換について残存する規制を廃止した。ただし、資本勘定項目に関する外国為替取引については、継続して既存の制限がなされる。

2006年12月25日、PBOCは、個人外国為替管理行政措置を公布し、これは2007年2月1日に施行された。同措置により、個人の外国為替管理に関する行政手続きが簡素化され、個人による外国為替の決算および購入が年間ベースの金額に従うこととなった。

1994年1月1日より、人民元についての従来の二重為替相場制は廃止され、需要および供給により決定される統制変動相場制となった。PBOCは、毎日、人民元対米ドルの為替レートを設定し、かつ公表した。この為替レートは、前日の銀行間外国為替市場における人民元および米ドルの取引価格を参照して決定された。PBOCはまた、国際外国為替市場の交換レートを参照して、他の主要通貨に対する人民元の交換レートを公表した。外国為替取引において、指定外国為替銀行は、特定の範囲内において、PBOCが公表した交換レートに従い、適用交換レートを自由に決定することができた。

2005年、PBOCは、2005年7月21日以降、中国は市場の需給に基づき、かつ通貨バスケットを参照した管理変動相場制を導入することを発表した。人民元の為替レートはこれにより、米ドルにペッグされたものではなくなった。PBOCは、各営業日ごとに、人民元に対して、銀行間外国為替市場で取引された外国通貨の終値を発表し、翌営業日の人民元に対する取引の中心レートを定める。

PBOCが2002年11月16日に公布した「指定外国為替銀行による外国為替決済および売却業務取扱管理暫定措置」に従って、中国の企業(外資系企業を含む。)のすべての經常勘定取引から生じる外国為替による収入(指定外国為替銀行における外国為替口座において保持し、預託することが認められている金額を除く。)は、指定外国為替銀行に対して売却しなくてはならなかった。中国国外の当事者からの借入れまたは債券および株式の発行による外国為替収入(例えば、当行が株式売却により受領した外国為替収入)は、指定外国為替銀行に対する売却を要求されなかったが、指定外国為替銀行の外国為替口座に預託されることがあった。

「指定外国為替銀行による外国為替決済および売却業務取扱管理暫定措置」は失効し、それに代わり「銀行による外国為替決済および売却業務取扱管理措置」が施行された。2014年6月22日に公布された「銀行による外国為替決済および売却業務取扱管理措置」および2014年12月25日に公布された「銀行による外国為替決済および売却業務取扱管理措置の施行細則」に従って、經常勘定項目における外国為替収入は、外国為替の売却または決済業務を行う適格金融機関に維持または売却することができる。經常勘定項目における外国為替支出は、有効な書類により、金融機関自身が保有する外国為替をもって、または国家外貨管理局の外国為替の支払および購入に関する管理規定に従って外国為替の売却もしくは決済業務を行っている金融機関から購入した外国為替をもって支払うものとする。金融機関は、外国為替の決済または売却業務を行う場合には、「自らの事業を知り、顧客を知り、デューデリジェンスを行う」という原則に従うものとする。

直接投資および資本拠出を含む資本勘定項目に関する外国為替の交換は、依然として規制対象となり、国家外貨管理局の事前の承認を取得しなければならない。

H株式の配当は、人民元建てで確定されるが、香港ドルにより支払われる。

### 3【課税上の取扱い】

H株式の保有者の所得に対する課税およびキャピタルゲインに対する課税は中国および当該保有者の居住する法域における法律および実務の適用を受け、課税の対象となる。以下は、現行の法律および実務に基づく一定の関連する税務上の取扱いを要約したものであるが、変更される可能性があり、法律意見および税務意見となるものではない。以下の議論はH株式への投資に関連して発生しうるあらゆる税務上の取扱いを網羅したものではない。従って、投資家は、H株式への投資の税務上の取扱いについて税務顧問と相談する必要がある。以下の議論は本書作成日時点において効力を有する法律および関連する解釈に基づいており、いずれも変更される可能性がある。

#### (1)中国における租税

以下は、グローバル・オフアリングに関連してH株式を購入し、これを資本資産として保有する投資家による当該H株式の保有および処分に関連した中国における一定の税務上の取扱いの概要である。当該概要は、H株式を保有することによる重大な税務上の取扱いすべてを扱うことを企図するものではなく、また特定の投資家個々の状況を考慮していない。本概要は、本書作成日現在効力を有している中国の税法に基づく。これらはすべて、今後変更される(または解釈が変更される)可能性があり、かかる変更は遡及的効力を有することがある。

##### 配当に対する課税

###### 個人投資家

「中国個人所得税法」(1993年10月31日、1999年8月30日、2005年10月27日、2007年6月29日、2007年12月29日、2011年6月30日および2018年8月31日改正)(以下「個人所得税法」という。)に基づき、中国に居住していない外国人に対して中国籍の企業が支払う配当は、適用される租税条約により軽減されるかまたは国務院の金融当局によって特別に軽減もしくは免除されない限り、通常、一律20%の税率で賦課される中国源泉所得税の課税対象となる。さらに、2006年8月21日付の中国本土と香港特別行政区の所得に対する二重課税および脱税の防止に関する取決めにおいて、香港の居住者である個人および法人に適用される源泉徴収税は10%の税率で課され、または当該個人もしくは法人が配当を支払う中国企業の株式の25%以上を保有する場合には5%とさらに軽減された税率で課されることが規定されている。

1993年7月21日に中国国家税務総局(以下「SAT」という。)は、中国の企業により、H株式等の外国人に対して外国証券取引所において上場されている株式に関連して支払われる配当は、中国の源泉所得税の課税対象にならない旨を規定する「外国投資企業、外国企業および外国人が受領する譲渡益ならびに株式(持分)配当に対する課税に関する国家税務総局通達」(以下「課税通達」という。)を發布した。課税通達に基づき、これまでのところ、税務当局は、他の中国企業のH株式を含む海外株式については配当の支払に対する源泉徴収課税を行っていない。しかしながら、2011年1月4日にSATは課税通達を撤回し、現時点では、課税通達に規定されたものと同様の免税を規定する有効な法令はない。従って、管轄税務当局により追加的に免除されなければ、当行が中国居住者ではない当行H株式の個人保有者に支払う配当につき20%または10%(場合により)の源泉所得税が課されることになる。

##### 企業

「外国投資企業および外国企業に関する中国所得税法」および「中国企業所得税法に関する暫定規則」を置換する「中国企業所得税法」(2017年2月24日および2018年12月29日改正)に基づき、中国に施設を有さない非居住者の法人に対して中国籍の企業により支払われる配当は、通常、一律20%の税率で賦課される中国源泉所得税の課税対象となる。2007年12月6日に国務院により制定され、2008年1月1日付で施行され、2019年4月23日付で改正された「企業所得税法補足規定」により、かかる非居住者の法人に適用される源泉所得税の税率は10%に引き下げられた。さらに、2008年2月5日にSATが公布した「新企業所得税法の精神に関する宣伝提綱」には、中国に施設を有さない非居住者の法人に対して中国籍の企業により支払われる配当には源泉所得税が課されることが明確に規定されている。上記に記載のとおり、中国企業の株式の25%以上を保有する香港の居住者は、5%の優遇税率で源泉徴収税を課されることができる。しかしながら、当行の株主のうち、25%以上を保有する株主はいないため、かかる5%の源泉徴収税率は、当行の株主には適用されない。したがって、非居住者の法人である当行H株式の株主は、当行の配当の分配時には10%の税率で源泉所得税を課される。

##### 租税条約

中国内に居住せず、中国との間に二重課税の防止に関する租税条約を締結している国に居住している当行H株式の保有者は、配当の支払につき課税される源泉所得税の軽減を受ける場合がある。中国は現在、多くの外国と二重課税の防止に関する租税条約を締結しているが、これには、オーストラリア、カナダ、フランス、ドイツ、日本、マレーシア、オランダ、シンガポール、英国および米国が含まれるがこれらに限定されない。

中国と日本との間の租税条約では、中国は当行が日本の居住者であるH株式保有者に対して支払った配当については、当該配当の10%を超えない範囲で租税を課することができる。

## 中国のその他の税務上の取扱い

### 印紙税

「中華人民共和国印紙税法」(2021年6月10日公布および2022年7月1日施行)に基づき、印紙税は、中国国内において作成または受領され、中国において法的拘束力を有し、かつ同国の法律の保護を受ける文書に対してのみ課税される。従って、中国人以外の投資家による中国国外でのH株式の取得・処分は、中国印紙税の適用を受けない。

### 遺産税

中国の法律に基づく遺産税の納税義務は、中国人でないH株式保有者については発生しない。

## (2) 香港における租税

### 配当

当行によって支払われる配当については、香港でいかなる税金も支払う必要がない。

### キャピタル・ゲイン税

香港には、キャピタル・ゲイン税は存在しない。ただし、香港で取引、専門職または事業を行い、かかる取引、専門職または事業から香港で所得を得る者による財産の売却の取引利益は、香港の利益税を課せられる。現在、法人の利益税は課税対象利益の17.5%の税率で課せられる。個人の利益税の最高税率は16%である。

香港証券取引所で行われたH株式の売却益は、香港において発生したとみなされる。従って、香港で証券の売買事業を行う者が認識した香港証券取引所で行われたH株式の売却益は、利益税に服する。

### 印紙税

香港の印紙税は、現在、H株式の対価またはH株式の市場価値のいずれか高い方に対する0.1%の従価税率で課税されており、H株式の売買は、買い手については購入毎に、売り手については売却毎に、香港の印紙税の納税義務がある（すなわち、現在、H株式の標準的な売買取引については、合計0.2%の税率で課税される。）。このほか、株式の譲渡証書毎に、現在5香港ドルの固定税が支払われる。売買当事者の一方が香港外の居住者であり、支払うべき当該従価税を支払わない場合、未払税は譲渡証書（もしあれば）に対して課され、譲受人が支払うものとする。印紙税が納税期日までに支払われない場合には、支払うべき印紙税の最大10倍の罰金が課されることがある。

### 遺産税

2005年歳入（遺産税の廃止）条例により、2006年2月11日以降に死亡した者について遺産税は廃止された。

## (3) 日本における課税

適用ある租税条約、所得税法、法人税法、相続税法およびその他の日本の現行の関連法令に従い、またこれらの法令上の制限を受けるが、日本の個人または日本法人の所得（および、個人に関しては相続財産）が上記の中国および／または香港税制に関する記述に述べられた中国および／または香港の租税の対象となる場合、かかる中国および／または香港の租税は、当該個人または法人が日本において支払うこととなる租税の計算上税額控除の対象となる場合がある。なお、「第8 - 2 日本における実質株主の権利行使方法 - (5)本邦における配当等に関する課税上の取扱い」も参照されたい。

## 4 【法律意見】

当行の社外法律顧問である君合律師事務所（Jun He LLP）により、以下の趣旨を含む法律意見が提出されている。

（１）当行は、中国法のもとで有限責任の会社として適法に設立され、有効に存続している。

（２）本書「第一部 企業情報」中の中国の法令に関する記述はすべて、あらゆる重要な点において正確である。

## 第2【企業の概況】

## 1【主要な経営指標等の推移】

(単位：別段の記載がない限り、百万人民元)

	12月31日現在/12月31日終了年度				
	2022年	2021年	2020年	2019年	2018年
正味営業収益 <sup>(2)</sup>	344,740	331,407	290,279	269,788	248,444
(百万円)	(6,694,851)	(6,435,924)	(5,637,218)	(5,239,283)	(4,824,782)
税引前利益	165,113	148,173	122,440	117,132	106,497
(百万円)	(3,206,494)	(2,877,520)	(2,377,785)	(2,274,703)	(2,068,172)
当行株主帰属純利益	138,012	119,922	97,342	92,867	80,560
(百万円)	(2,680,193)	(2,328,885)	(1,890,382)	(1,803,477)	(1,564,475)
資本金	25,220	25,220	25,220	25,220	25,220
(百万円)	(489,772)	(489,772)	(489,772)	(489,772)	(489,772)
当行株主帰属株主資本合計	945,503	858,745	723,750	611,301	540,118
(百万円)	(18,361,668)	(16,676,828)	(14,055,225)	(11,871,465)	(10,489,092)
総資産	10,138,912	9,249,021	8,361,448	7,417,240	6,745,729
(百万円)	(196,897,671)	(179,615,988)	(162,379,320)	(144,042,801)	(131,002,057)
1株当たり配当(税金を含む。)					
(単位：人民元)	1.738	1.522	1.253	1.20	0.94
(円)	(34)	(30)	(24)	(23)	(18)
1株当たり利益					
(単位：人民元) <sup>(3)</sup>					
- 基本的	5.26	4.61	3.79	3.62	3.13
(円)	(102)	(90)	(74)	(70)	(61)
- 希薄化後	5.26	4.61	3.79	3.62	3.13
(円)	(102)	(90)	(74)	(70)	(61)
営業活動による正味資金の流入/(流出)	570,143	182,048	421,328	4,432	(35,721)
(百万円)	(11,072,177)	(3,535,372)	(8,182,190)	(86,069)	(-693,702)
投資活動による正味資金の流入/(流出)	(513,926)	(19,697)	(240,753)	(70,571)	19,718
(百万円)	(-9,980,443)	(-382,516)	(-4,675,423)	(-1,370,489)	(382,924)
財務活動による正味資金の流入/(流出)	(297,032)	89,359	(211,787)	110,450	94,333
(百万円)	(-5,768,361)	(1,735,352)	(-4,112,904)	(2,144,939)	(1,831,947)
現金および現金同等物-12月31日現在	567,198	801,754	552,790	589,675	543,683
(百万円)	(11,014,985)	(15,570,063)	(10,735,182)	(11,451,489)	(10,558,324)
従業員数(人) <sup>(4)</sup>	112,999	103,669	90,867	84,683	74,590
当行株主帰属平均総資産利益率(%)	1.42	1.36	1.23	1.31	1.24

当行普通株主帰属平均自己資本利益率(%)	17.06	16.96	15.73	16.84	16.57
先進的測定手法による自己資本比率指標 <sup>(5)</sup>					
- コアTier1自己資本比率(%)	13.68	12.66	12.29	11.95	11.78
- Tier1自己資本比率(%)	15.75	14.94	13.98	12.69	12.62
- 自己資本比率(%)	17.77	17.48	16.54	15.54	15.68

注:

- (1) 上記の主要な経営指標は、当グループの統計基準に基づき計算されている。ただし、2018年12月31日現在の従業員数は、当行の統計基準に基づき計算されている。
- (2) 正味営業収益は、正味受取利息、正味受取手数料、その他正味収益ならびに合併事業および関連会社に対する持分利益の和である。
- (3) 当行は2017年に非累積優先株式を発行し、2020年および2021年に永久社債を発行したが、これらはいずれも「その他持分商品」に分類された。また、当行は2022年に優先株式の配当金および永久社債の利息を支払った。そのため、基本的1株当たり普通株主帰属利益および普通株主帰属平均自己資本利益率などの指標の計算においては、優先株式の配当金および永久社債の利息は「当行株主帰属純利益」から控除され、優先株式および永久社債は「平均株主資本」および「純資産」の双方から控除される。
- (4) 2022年および2021年12月31日現在の従業員数には、当行、招商永隆銀行およびその子会社、CMBFL、CMBICおよびその子会社、CMBウェルスマネジメント、CMFMおよびその子会社、CIGNA & CMB生命保険、CIGNA & CMAM、MUCFC、CMBネットワーク・テクノロジーならびにCMB雲創の従業員数が含まれている。2020年12月31日現在の従業員数には、当行、招商永隆銀行、CMBFL、CMBIC、CMBウェルスマネジメント、CMFM、CIGNA & CMB生命保険、MUCFC、CMBネットワーク・テクノロジーおよびCMB雲創の従業員数が含まれている。2019年12月31日現在の従業員数には、当行、招商永隆銀行、CMBFL、CMBIC、CMBウェルスマネジメント、CMFM、CIGNA & CMB生命保険およびMUCFCの従業員数が含まれている。2019年12月31日現在と同一の統計基準に基づき計算した場合、2018年12月31日現在の従業員数は82,241人であった。
- (5) 報告期間末現在の当グループの加重法によるコアTier1自己資本比率、Tier1自己資本比率および自己資本比率は、それぞれ11.52%、13.25%および14.68%であった。

## 2【沿革】

当行は、法人株主が100%所有する中国初の商業銀行として、1987年3月31日に中国の深圳経済特区で設立された。当行の設立時の登録資本金は100百万人民元であった。1989年に当行は登録資本金を400百万人民元に増加した。1994年および1999年に、当行はさらに私募による株式発行を2度行い、登録資本金を4.2十億人民元に増加した。1994年、当行は株式会社に組織を変更した。

2002年4月9日、当行は、当行の新規株式公開および上海証券取引所への上場に関連して当行A株式を1.5十億株発行した。かかる新規株式公開に先立ち当行の法人株主が所有していた4.2十億株は、自由に譲渡できない非流通株式の形態であった。2006年2月、当行は株式構造の改革を完了し、すべての非流通株式をその改革に関連して取決められた一定の売買制限に服する当行A株式に転換した。

2008年9月30日、当行は、招商永隆銀行の発行済株式持分の約53.12%の取得を完了した。招商永隆銀行は、1933年に設立され、最も早い時期から香港に所在している中国の現地銀行の1つである。同行は、「穏健な進展、誠実なサービス」のモットーに常に従ってきており、個々の顧客に応じた心のこもったサービスを顧客に提供している。同行およびその子会社の主要業務は、預金受入、貸付、クレジットカード、荷為替手形、外国為替、先物および有価証券仲介、ウェルスマネジメント・サービス、保険業、金融リース、不動産信託ならびに受託サービスからなる。

2008年10月8日、当行のニューヨーク支店が正式に営業を開始した。当行ニューヨーク支店は、ホールセール・バンキングの事業許可を付与されており、米中間の経済・貿易協力を促進するために国際決済および貿易金融に注力する銀行として位置づけられた。

2009年1月15日、当行は招商永隆銀行の強制取得を完了し、招商永隆銀行は当行の完全所有子会社となった。招商永隆銀行は、2009年1月16日付で香港証券取引所における株式上場を廃止した。

当行は、CSRCおよび香港証券取引所の承認に基づき、2010年にA株式2,007,240,869株およびH株式449,878,000株を発行した。かかるA株式は2010年3月19日に、およびかかるH株式は2010年4月9日に、それぞれ上場および取引が開始された。

当行は、CSRCおよび香港証券取引所の承認に基づき、2013年にA株式2,962,813,544株およびH株式680,423,172株を発行した。かかるA株式は2013年9月11日に、およびかかるH株式は2013年10月2日に、それぞれ上場および取引が開始された。

当行は、CBIRCおよびCSRCの承認に基づき、2017年10月25日に非累積型永久国外優先株式50,000,000株を発行し、かかる優先株式は2017年10月26日に香港証券取引所に上場された。また、2017年12月22日には国内優先株式275,000,000株を私募によって発行し、かかる優先株式の上場および取引は、2018年1月12日に上海証券取引所の総合業務プラットフォームにおいて開始された。当行は、2022年10月25日に国外優先株式を完全償還した。

詳細については、「第5 - 1 - (2)発行済株式総数及び資本金の推移」を参照されたい。

### 3【事業の内容】

当行は1987年に設立され、中国の深圳に本店を置く商業銀行であり、中国において鮮明な業務上の特色および市場影響力を持つ。当行は、主に中国市場に重点を置いている。当行の支店は、主に中国本土の主要都市ならびに香港、ニューヨーク、ロンドン、シンガポール、ルクセンブルクおよびシドニーなどの国際金融センターをカバーしている。当行は、2002年4月に上海証券取引所に、2006年9月に香港証券取引所にそれぞれ上場した。

当行は、法人向けおよび個人向けの様々な銀行商品やサービスを顧客に提供しており、自己勘定での、また顧客を代理した資金運用業務を維持している。当行の数多くの革新的な商品とサービスは、市場で広く受け入れられている。リテール銀行業務には、多機能デビットカードである「オールインワン」、クレジットカード口座および決済サービス、「サンフラワー・ウェルスマネジメント」サービスおよび各種プライベートバンキング・サービスを含む階層型ウェルスマネジメント・サービス、個人向け与信サービス、招商銀行アプリおよび掌上生活アプリ、オンライン総合銀行サービス・プラットフォームである「オールインワン・ネット」ならびにその他のオンライン・サービスが含まれる。ホールセール銀行業務には、支払いおよび決済、ウェルスマネジメント、投資および融資、デジタル・サービス、キャッシュ・マネジメント、科学技術ファイナンス、グリーンファイナンス、金融包摂、サプライチェーン・ファイナンスおよびクロスボーダー金融サービス、資産管理、資産保管ならびに投資銀行業務が含まれる。当行は、顧客の生活やビジネスの場の開拓を継続的に進めて、顧客のサプライチェーンおよび投資チェーン向けにカスタマイズされ、インテリジェントかつ包括的なソリューションを顧客に提供している。

当行は、複数のオンラインとオフラインの販路を利用して商品やサービスを提供している。報告期間末現在、当行は中国本土において、支店143店舗、準支店1,756店舗、支店レベル専門機関2店舗（クレジットカード・センターおよび資金運用センター）、セルフサービス・バンク2,695ヵ所、現金セルフサービス機5,855台およびビジュアル・カウンター12,511台を有していた。また、当行は、香港支店、ニューヨーク支店および米国駐在員事務所、ロンドン支店、シンガポール支店、ルクセンブルク支店、台北駐在員事務所ならびにシドニー支店を有している。

当行の主要な業務は、リテール金融事業（ウェルスマネジメント、プライベートバンキング、クレジットカード、個人向け貸付および個人預金を含む。）ならびにホールセール金融事業（法人預金、法人向け貸付、手形業務、トランザクション・バンキング業務、クロスボーダー金融業務、包摂金融業務、投資銀行業務、金融機関向け金融業務、資産管理業務、資産保管業務および金融市場業務を含む。）からなる。

#### リテール金融事業

報告期間における当行のリテール金融事業の税引前利益は92.706十億人民元であり、前年から20.48%増加した。リテール金融事業による正味営業収益は前年から6.29%増の188.474十億人民元となり、当行の正味営業収益の60.01%を占めた。リテール金融業務による正味受取利息は、前年から11.51%増加して129.338十億人民元となり、リテール金融事業からの正味営業収益の68.62%を占めた。リテール金融業務による正味非利息収益は、前年から3.57%減の59.136十億人民元となり、リテール金融事業からの正味営業収益の31.38%を、また、当行の正味非利息収益の57.12%を占めた。報告期間中の当行の個人向けウェルスマネジメントからの受取手数料は29.583十億人民元であり、リテール金融事業からの正味受取手数料の52.10%を占めた。当行が計上した個人向けバンクカードからの受取手数料は21.266十億人民元であり、これは前年から10.60%の増加であった。

#### ホールセール金融事業

報告期間中の当行のホールセール金融事業からの税引前利益は、前年から1.70%増加して62.394十億人民元となった。当行のホールセール金融事業の正味営業収益は、前年から2.51%減少して127.851十億人民元となり、当行の正味営業収益の40.70%を占めた。うち、ホールセール金融事業による正味受取利息は前年から0.99%減少して86.534十億人民元となり、ホールセール金融事業の正味営業収益の67.68%を占めた。また、ホールセール金融事業の正味非利息収益は前年から5.55%減少して41.317十億人民元となり、ホールセール金融事業の正味営業収益の32.32%および当行の非利息収益の39.91%を占めた。



#### 4【関係会社の状況】

##### 親会社

当行には、親会社は存在しない。

##### 連結子会社および関連会社

名称	住所	登録資本	主たる事業内容	当行の 議決権割合
<b>主要な子会社</b>				
招銀国際金融控股有限公司 <sup>(1)</sup>	香港	4,129百万香港ドル	投資銀行業および 投資管理	100%
招銀金融租賃有限公司 <sup>(2)</sup>	中国上海市	12,000百万人民币元	ファイナンス・ リース	100%
招商永隆銀行有限公司 <sup>(3)</sup>	香港	1,161百万香港ドル	銀行業	100%
招商基金管理有限公司 <sup>(4)</sup>	中国深圳市	1,310百万人民币元	ファンド管理	55%
招銀理財有限責任 公司 <sup>(5)</sup>	中国深圳市	5,556百万人民币元	資産管理	90%
チャイナ・マー チャンツ・ヨー ロッパS.A. <sup>(6)</sup>	ルクセンブルク	50百万ユーロ	銀行業	100%
招商信諾資産管理 有限公司 <sup>(7)</sup>	中国北京市	500百万人民币元	資産管理	注(7)参照

名称	住所	登録資本	主たる事業内容	当グループの 議決権割合
<b>主要な合併事業</b>				
招商信諾人寿保險 有限公司 <sup>(8)</sup>	中国深圳市	2,800百万人民币元	生命保険業	50.00%
招聯消費金融有限 公司 <sup>(9)</sup>	中国深圳市	10,000百万人民币元	消費者金融	50.00%

注：

(1) CMBIC（旧江南財務有限公司および旧招銀国際金融有限公司）は、PBOCの銀覆[1998]405号文書により設立を承認された当行の完全所有子会社である。2014年、当行はCMBICに対して750百万香港ドルの追加資本拠出を行った。CMBICの資本金は1,000百万香港ドルに増加し、当行の持分に変化はなかった。2015年7月28日、当行の取締役会は「招銀国際金融控股有限公司の増資および再編に関する決議」を可決し、当行がCMBICに400百万米ドル（またはその相当額）を拠出することに合意した。かかる拠出は、2016年1月20日付で完了した。

(2) CMBFLは、CBIRCの銀監覆[2008]110号により設立を承認された当行の完全所有子会社であり、2008年4月に営業を開始した。2014年、当行はCMBFLに対して2,000百万人民币元の追加資本拠出を行った。CMBFLの資本金は6,000百万人民币元に増加し、当行の持分に変化はなかった。2021年8月、CMBFLは利益剰余金のうち6,000百万人民币元を株式資本に転換し、CMBFLの資本金は12,000百万人民币元に増加した。当行の持分に変化はなかった。

(3) 招商永隆銀行（旧永隆銀行有限公司）。2008年9月30日、当行は招商永隆銀行に対する持分53.12%を取得し、同行は2009年1月15日に当行の完全所有子会社になった。香港証券取引所における招商永隆銀行の株式の上場は、2009年1月16日付で廃止された。



- (4) 当行は、2012年に、当行の関連会社であったCMFMに対する21.60%の持分を、INGアセット・マネジメントB.V.から63,567,567.57ユーロの対価で取得した。上記の現金対価の決済後、CMFMに対する当行の持分は、2013年に33.40%から55.00%に増加した。その結果、当行はCMFMに対する支配権を獲得し、CMFMは2013年11月28日付で当行の子会社になった。2017年12月、当行はCMFMに対して605百万人民元の追加資本拠出を行い、CMFMの他の株主も各持分に応じて495百万人民元の資本拠出を行った。CMFMの資本金は1,310百万人民元に増加し、当行の持分に変更はなかった。
- (5) CMBウェルスマネジメントは、CBIRCの銀保監覆[2019]981号により設立を承認された当行の完全所有子会社である。同社は2019年11月1日付で正式に設立された。CBIRCの承認（銀保監覆[2021]920号）に基づき、JPモルガン・アセット・マネジメント（アジア・パシフィック）リミテッド（以下「JPモルガン・アセット・マネジメント」という。）は、2022年にCMBウェルスマネジメントに対する持分10%を2,667百万人民元の対価で引き受けた。資本注入の完了後、CMBウェルスマネジメントの登録資本金は5,000百万人民元から約5,556百万人民元に増加し、当行およびJPモルガン・アセット・マネジメントの持分比率はそれぞれ90%および10%となっている。
- (6) CMBヨーロッパは、CBIRCの銀保監覆[2016]460号により承認された当行の完全所有子会社である。当行は、2021年5月に、ルクセンブルクにおける同社の設立に対する承認を欧州中央銀行（ECB）から受領した。
- (7) CIGNA & CMAMは、CBIRCの銀保監覆[2020]708号により設立を承認され、2020年10月18日付で登録および設立された。同社は当行の間接支配子会社であり、当行の合併会社であるCIGNA & CMB生命保険が87.3458%の持分を、当行の子会社であるCMBICが12.6542%の持分を有している。
- (8) 当グループは、CIGNA & CMB生命保険に対する50.00%の持分を保有しており、シグナ・ヘルス・アンド・ライフ・インシュアランス・カンパニー（以下「CHLIC」という。）が残り50.00%の持分を保有している。当行とCHLICは、かかる合併事業のリスクおよび損益をそれぞれの持分比率に応じて分配する。当行のCIGNA & CMB生命保険に対する投資は、合併事業に対する投資として会計処理される。
- (9) 当グループの完全所有子会社の1つである招商永隆銀行と、中国聯通股份有限公司の子会社である中国聯合網絡通信有限公司（以下「CUNC」という。）は、MUCFCを共同で設立した。CBIRCは、2015年3月3日付でMUCFCの営業を承認した。招商永隆銀行とCUNCは、MUCFCに対する持分をそれぞれ50%保有しており、リスクおよび損益をそれぞれの持分比率に応じて分配する。2017年12月、当行およびCUNCはMUCFCにそれぞれ600百万人民元の資本拠出を行った。かかる資本注入後、MUCFCの資本金は2,859百万人民元に増加した。当行の持分が15%となり、招商永隆銀行の持分が35%となったことで、当グループの持分合計は依然として50%であった。2018年12月、当行はMUCFCに対して1,000百万人民元の追加資本拠出を行い、CUNCも同額の資本注入を行った。その後、MUCFCの資本金は3,869百万人民元となった。当該時点での当行および招商永隆銀行のMUCFCに対する持分はそれぞれ24.15%および25.85%であり、当グループの持分合計は依然として50%であった。
- 2021年7月、招商永隆銀行はその保有するMUCFCの全株式を当行に譲渡した。かかる譲渡後、当行とCUNCはMUCFCに対する持分をそれぞれ50%保有し、当グループの持分合計に変更はなかった。2021年10月、MUCFCは資本準備金から1,331百万人民元と利益剰余金から4,800百万人民元を株式資本に転換し、かかる転換後にMUCFCの資本金は10,000百万人民元に増加した。

## 5【従業員の状況】

2022年12月31日現在、当グループの従業員数は合計112,999人<sup>(注)</sup>（派遣社員を含む。）であった。

注：当行、招商永隆銀行およびその子会社、CMBFL、CMBICおよびその子会社、CMBウェルスマネジメント、CMFMおよびその子会社、CIGNA & CMB生命保険、CIGNA & CMAM、MUCFC、CMBネットワーク・テクノロジーおよびCMB雲創の従業員数が含まれている。

当グループの従業員の性別による内訳は、男性48,939人および女性64,060人であり、比較的バランスの取れた性別の比率となっていた。

当グループの従業員の職務別内訳は、ホールセール金融事業に18,746人、リテール金融事業に51,526人、リスク管理に6,495人、運営管理業務に16,478人、研究開発に10,846人、事務および販売支援に1,000人ならびに総合管理業務に7,908人である。

当グループの従業員の学歴別内訳は、大学院修了者が25,546人、大学本科卒業者が72,346人および大専卒業者以下が15,107人である。

当グループの従業員の地理的内訳は、長江デルタに28,555人、環渤海に13,941人、珠江デルタおよび台湾海峡西側経済圏に35,289人、中国東北部に5,114人、中国中部に11,691人、中国西部に15,332人および中国本土外に3,077人である。

当グループの研究開発部門の従業員の学歴別内訳は、大学院修了者が4,987人、大学本科卒業者が5,739人および大専卒業者以下が120人である。従業員の年齢別内訳は、30歳以下が6,379人、31歳以上40歳以下が3,665人、41歳以上50歳以下が685人および51歳以上60歳以下が117人である。

2022年に当グループが支払った給与および賞与は55,647百万人民元であった。

業績に基づく賞与およびその他の従業員福利制度については、「第6 - 1 財務書類」に掲げる財務書類に対する注記39を参照されたい。

## 第3【事業の状況】

### 1【経営方針、経営環境及び対処すべき課題等】

#### 発展戦略

##### 戦略的なビジョン：

当行は、イノベーションに牽引された発展、先導的なモデルおよび鮮明な特色を備えた「最高の価値を創出する銀行」となることに尽力している。

##### 戦略的目標：

価値を創出する銀行を構築する。

当行は、景気循環に左右されにくいリテール銀行業の優位性および「ライトモデル銀行」による資本の内発的成長の利点に鑑みて、価値を創出する銀行に成長するために、ウィンウィンのビジネスおよび公共利益のためのビジネスという理念を堅持している。当行は、顧客、従業員、株主、提携先および社会の総合的な価値の最大化ならびに質の高い成長の新たなパターンの創造に取り組んでおり、世界的な商業銀行になることを目指している。

##### 中核的価値：

顧客指向で、顧客のために価値を創造すること。

##### 戦略的焦点：

当行は、「ウェルスマネジメント、フィンテックおよびリスク管理」という3つの能力の構築に焦点を当てながら、組織文化の進化を促進している。また、中国および企業のニーズならびに当行の能力を踏まえて、ESGに関する責任を十分に果たし、実体経済に貢献し、人々の生活のニーズに応えて、質の高い成長の新たなステージを創造することを目指す。

##### 発展戦略：

**ウェルスマネジメント事業を拡大し、ビジネスモデルの転換を加速させる。**当行は、顧客層全体で形成された循環型顧客チェーンに基づき、階層と分類に基づく管理を特徴とする顧客サービス体制を改善し、社会の発展と国民経済の変革に沿った顧客構造を構築していく。当行は、その全商品に基づく商品ポートフォリオ・チェーンを利用して投資銀行業務と商業銀行業務を統合したサービス体制を構築し、顧客から選好される決済および資産管理の主要銀行、メインバンクおよび最初の相談先銀行となるよう努めていく。また、市場全体をリソースとした資産および資本組織チェーンを確固たるものとして、行内外の努力を組み合わせることで資産組織の体系化を推進し、全市場指向の資産管理能力を構築し、オンバランスとオフバランスで大量の資金を循環させる能力を強化していく。協同型の成長を目指して、当行は地域発展チェーンを構築し、多極的な発展を促進することで、全行的な統合と地域の差別化の双方によって発展環境を形成していく。

**フィンテックを最適化し、包括的なデジタルトランスフォーメーションを加速させる。**当行は、価値を創出する銀行を構築するための強力な原動力を生み出すために、オンライン、データ、インテリジェンス、プラットフォームおよびエコロジーに焦点を当てつつ、金融インフラおよび能力システム、顧客および販路、事業および商品、管理および意思決定のデジタル化を総合的に推進していく。

**リスク管理を強化し、要塞型の包括的なリスクおよびコンプライアンス管理体制を構築する。**当行は、慎重なリスク管理の理念を堅持し、フィンテックをツールとして利用し、慎重なリスク選好を保証としつつ、あらゆる顧客、あらゆる資産、あらゆるリスク、あらゆる機関、あらゆるプロセスおよびあらゆる要因を網羅した「6本柱」のリスク管理体制を構築して、価値を創出する銀行の業務を支援していく。

**中核的価値を追求し、価値を創出する銀行の文化および組織的基盤を構築する。**第一に、当行は開放性、統合性、公平性および包摂性を特徴とする文化体系を構築していく。第二に、当行は戦略を支援し、共に価値を創出するための組織チームを構築していく。第三に、当行は環境、社会およびガバナンスに係る社会的価値体系を構築していく。

#### 見通しおよび対策

2022年に中国の銀行業界は健全な経営を維持し、その規模は比較的急速に拡大し、資産の質は概ね安定していた。銀行業界は典型的な循環産業であり、その事業の発展は、中国経済が直面する需要の縮小、供給の混乱および期待の低下という3つの圧力を考慮に入れると、2021年より大きな圧力を受けている。ただし、銀行業界は、マクロ管理政策を積

極的に実施し、実体経済に対する貢献を強化し、経済市場全体の安定性を支援し、経済の構造転換と質の高い成長を推進し、グリーンおよび低炭素化を支援し、金融包摂の発展を促進し、地方の活性化を支援し、重点分野におけるリスク解消に取り組み、資産の質をさらに強化することで、システミックな金融リスクを伴わないというボトムラインを守っている。

2023年を展望すれば、国際情勢については、欧米経済の主な矛盾がインフレから景気後退へと徐々に移行し、金融政策のスタンスは引締めから緩和へと移行することが予想される。そのため、外部環境が中国経済に及ぼす影響は変化し、経常収支より資本収支から相対的に大きな影響が生じることとなるであろう。それに伴い、2023年には、中国の資本流出および為替レートの下押し圧力が緩和される見込みであるが、外需の縮小が中国経済にとって大きなリスクとなる可能性がある。さらに、中国の輸出がさらに縮小し、経済成長に対する牽引力が弱まる可能性がある。

国内情勢については、2023年の中国経済は、完全な再出発がテーマとなると予想される。外需の減衰を背景として、内需の回復が経済成長の主要な原動力となるであろう。第一に、オフラインの経済活動のシナリオの回復に伴い、消費（特にサービス消費）が経済成長の最大の原動力となるであろう。第二に、積極的な政策支援を受けて、インフラおよび製造業への投資は着実な成長が見込まれ、また、不動産投資の減少幅は大幅に縮小することが期待される。上記の要因から、2023年の中国の経済成長は、四半期ごとにさらに勢いを増すことが予想される。

当行は、現在の政策および経済予測分析に従って、2023年に貸付金を約10%増加させ、顧客預金を約11%増加させることで、貸付金と預金全体の着実な成長を維持する予定である。

2023年、当行は、価値を創出する銀行の構築という戦略的目標の下で、顧客、従業員、株主、提携先および社会のためにより大きな価値を創造して、共生、ウィンウィンおよび成果の共有という質の高い成長を実現していく。

**第一に、戦略的変革を加速させる。**当行は、体系化されたリテール金融事業の優位性を確立および拡大し、かかる優位性をコーポレート・ファイナンス、投資銀行業務および金融市場業務ならびにウェルスマネジメントおよびアセットマネジメントという3部門に拡大し、それによって相互シナジーと相互強化のフライホイール効果を強化していく。当行は、マリクの成長カーブを実現するため、商業銀行業務を基盤として、投資銀行業務、金融市場業務、ウェルスマネジメントおよびアセットマネジメントなどのキャピタルライト事業の展開を加速させていく。

**第二に、実体経済に対する貢献の質および効率性を高める。**当行は、経済成長の「技術＋産業＋金融」という新たな発展モードに適応することで、中国および企業のニーズならびに当行の能力に焦点を当て、リスクベースの価格設定の遵守を前提として製造業、グリーン経済、技術革新、金融包摂およびその他部門への支援を強化し、デジタル産業化および産業のデジタル化の推進に貢献していく。

**第三に、セグメント化された分野において新たな優位性を創出する。**当行は、セグメント化された商品およびセグメント化された事業のイノベーションを引き続き強化し、クロスボーダーファイナンス、手形、信用状および保証状事業、アセットマネジメント事業、科学技術ファイナンスおよび年金ファイナンスなどのセグメント化の進んだ分野で市場を先導していく。さらに、地域発展戦略の実施を加速させ、長江デルタ、珠江デルタ、成都・重慶地域、台湾海峡西側経済圏などの重点地域における支店の貢献度を高めていく。当行は、資源投資を増やし、様々な地域の市場、産業構造および顧客特性を深く研究し、地域の競争力のある産業および優良な顧客グループを中心として事業展開を行うことによって、地域のスケール効果、ネットワーク効果、先導効果および相乗効果を徐々に形成し、すべての市場関係者が繁栄するようなバランスのとれた合理的な地域発展パターンを構築していく。

**第四に、要塞型の包括的なリスクおよびコンプライアンス管理体制を構築する。**当行は能力開発を強化し、地域、産業および顧客に関する深い認識を牽引役として中国経済の変革の展開の流れに沿って地域構造、産業構造および顧客構造の「動的リバランス」を構築していく。さらに、当行は引き続き、制度およびメカニズムの構築を改善し、3つの防衛ラインを強化し、顧客のためのリスクエクスポージャー管理を強化し、与信方針の適応性を向上させ、子会社および海外機関のリスク管理を強化し、重点分野におけるリスクの予防および解決を推進していく。当行は、内部統制のコンプライアンス管理をさらに強化することで、「コンプライアンスが第一、コンプライアンスが価値を創造する、コンプライアンスはトップから始まる」というコンプライアンス文化を継続的かつ徹底的に構築していく。

**第五に、技術、人材およびイノベーションによる当行の発展を堅持する。**当行は、「デジタル化された招商銀行」の構築を目指して、主要事業分野のデジタル化を加速させ、支店のデジタル変革を推進していく。さらに、当行は、顧客エンパワーメントにおけるフィンテック能力を強化し、技術とビジネスおよび技術と商品の統合によってクロスイノベーションを推進していく。また、人材の専門能力の開発および「6つの能力」メカニズムを強化してチームをさらに活性化させていく。当行は、イノベーションの能力、推進力および情熱を常に維持し、制度、メカニズム、商品、サービス、技術およびビジネスモデルにおけるイノベーションの優位性を活用し続けることで、中核的能力としてのイノベーションの推進力をさらに発揮していく。

**第六に、経営およびサービスの水準を包括的に高める。**当行は、厳格な規則にさらに留意することで経営の精緻化を継続的に推進していく。また、商業銀行業務に立脚した投資銀行業務、金融市場業務およびアセットマネジメント業務の発展、国内業務に立脚した国際的なサービス能力の推進ならびに本店に立脚した子会社の発展を加速させていく。当行は、本店から支店および準支店へ、親会社から子会社へ、国内市場から国外市場へと総合的な管理能力を強化している。当行は、「サービス、進取の精神、実用主義、イノベーションおよび鋭敏さ」という5つの行動規範を強化することで経営改善を推進する予定である。さらに、「サービス品質向上年」の活動を着実に実施し、「あなたのための銀行」というサービス文化を引き続き発展させていく。

## 2【事業等のリスク】

当行は、「包括的、専門的、独立的かつ均衡のとれた管理」の原則の下で、堅牢かつ慎重なリスク文化およびリスク選好を堅持し、「増量 - 増収 - 効率の向上 - 価値の増加」という価値創造チェーンを軸とする要塞型の包括的なリスクおよびコンプライアンス管理体制の構築に専念した。本店のリスク・コンプライアンス管理委員会は、取締役会が承認したリスク選好、戦略、方針および権限に関する全行的な最重要のリスク管理方針を検討し、決定する責任を負っている。

報告期間中、複雑で変動性の高い国内外の経済環境および銀行業務のリスクの増大を背景として、当行は「6本柱」のリスク管理体制の要件を遵守し、リスク管理能力の強化に注力し、様々なリスクに積極的に対応し、予防した。

## 信用リスク管理

信用リスクとは、銀行の債務者または相手方が契約上の義務を履行しないことから発生するリスクをいう。当行は、「コンプライアンスおよびリスク管理に基づく品質第一主義」を経営理念とし、「リスク管理の一流銀行の育成」を目標として、「健全性、合理性、積極性および包括性を維持する」というリスク管理文化を推進し、バランスのとれたリターンとリスクという概念およびリスクを最終的に資本でカバーしうる慎重な事業戦略を堅持し、統一された信用リスク選好を実行し、ライフサイクルを通じた信用リスク管理プロセスを最適化し、信用リスク管理ツールを継続的に改善し、リスク管理水準を全面的に高めて、信用リスク損失の防止および削減に努めた。

報告期間中に、当行はマクロ経済および金融情勢に細心の注意を払い、リスクのボトムラインを厳守し、安定した資産の質を確保した。第一に、当行は、要塞型の包括的なリスクおよびコンプライアンス管理体制の構築のための要件を徹底して実行し、大規模な資産リスク管理体制の構築を絶えず改善し、業種別に差別化した管理を実施した。第二に、当行は業界に対する意識を継続的に高め、与信方針を改善し、合理的な顧客構造の構築を主導し、業界の自己組織化に立脚して、資産業務の「業界別の方針」のリスト制度の運用を実施し、新エネルギー、グリーン経済、高品質の軌道製造業、地域特性産業および自律制御型産業などの関連分野における優良資産への投資を全面的に推進し、顧客構造を最適化した。第三に、当行は重点分野のリスクを厳格に予防し、リスクのボトムラインを堅持し、大口顧客向けに本支店で連携したリスク監視システムを構築し、主要顧客グループに対する「区分別の方針」および主要顧客に対する「口座別の方針」に基づき体系的なリスク審査を実施し、リスク管理の精緻性を向上させ、資産の質の優位性を確保した。第四に、当行は不良資産の処理を強化し、現金決済、不良債権償却、減免および決済に関する戦略を実行し、重要案件のリスト管理を実施し、決済の質および効率を向上させた。第五に、当行は組織的なチーム構築を強化し、基礎的なリスク管理能力を高め、海外支店および子会社のリスク管理能力の構築を強化し、フロントオフィスにおける「神経末端メカニズム」の導入を推進し、リスク管理の基礎を引き続き固めた。第六に、当行はデジタルリスク管理の基盤を改善し、フィンテックの応用を深化させた。クレジット・クラウド・プロジェクトは成功裏に終了した。当行は、与信業務のデジタル化を包括的に推進し、リスク測定技術の応用を強化した。

当行の信用リスク管理の詳細については、「第6 - 1 財務書類」に掲げる財務書類に対する注記60(a)を参照されたい。

## 大規模なリスク・エクスポージャーの管理

CBIRCが公布した「商業銀行の大規模なリスク・エクスポージャーの管理措置」（銀保監会2018年1号令）によれば、大規模なリスク・エクスポージャーとは、商業銀行の正味Tier 1資本の2.5%を上回る、かかる銀行の単一の顧客または関連する顧客グループに対する信用リスク・エクスポージャー（銀行勘定およびトレーディング勘定における様々な信用リスク・エクスポージャーを含む。）をいう。当行は、顧客集中リスクを効果的に統制するために、大規模なリスク・エクスポージャーの管理を当行のリスク管理システム全体に組み込み、顧客の信用管理要件を引き続き改善し、リスク・エクスポージャー測定規則を引き続き精緻化し、フィンテックを利用して大規模なリスク・エクスポージャーの変動を動的に監視し、大規模なリスク・エクスポージャーの指標および関連する管理業務について定期的に規制当局に報告した。報告期間末現在、規制上免除されている顧客を除き、大規模なリスク・エクスポージャーの基準に達していた当行の単一の非金融機関顧客、非金融機関顧客グループ、単一の金融機関顧客および金融機関顧客グループはすべて、規制上の要件を遵守していた。

## カントリーリスク管理

カントリーリスクとは、ある国もしくは地域の借手もしくは債務者が銀行に対する義務を履行できないかもしくは履行を拒絶する原因となりうるか、またはかかる国もしくは地域における当行の業務上のプレゼンスに対する損失もしくはその他の損失を招く可能性がある、かかる国または地域における経済的、政治的および社会的な変化または状況のリスクをいう。

当行は、関連する規制要件を厳格に実行し、健全性および慎重性の原則に従い、戦略的目標、リスク構成および複雑性に適合したカントリーリスク管理体制を構築し、カントリーリスクの管理を当行のリスク管理システム全体に組み込んで、カントリーリスクの迅速な特定、測定、評価、監視、報告、管理および軽減を図り、カントリーリスク格付を定期的に評価し、限度額管理を行う一方で、低リスクの国または地域に向けて事業を展開するように誘導している。カントリーリスクの管理戦略および方針に関する主要な事項は、取締役会に提出されて審議および承認された。

報告期間中に世界的な地政学的対立が激化し、国際政治および経済情勢が一層複雑で不安定になる中で、当行は、リスクの変化に応じてカントリーリスク評価を動的に更新し、高リスク国に関する業務の成長を厳しく制限した。報告期

間末現在、当行のカントリーリスクに対するエクスポージャーは、主に低リスクおよび比較的 low リスクの国または地域に集中しており、規制要件に従って十分なカントリーリスク引当金が計算され、積み立てられた。カントリーリスクが当行の事業運営に重大な影響を与えることはない見込みである。

## 市場リスク管理

当行の市場リスクは、トレーディング勘定および銀行勘定から発生する。金利リスクおよび為替リスクが、当行が晒されている主な市場リスクである。

### 金利リスク管理

#### トレーディング勘定

当行は、トレーディング勘定の金利リスクの測定、監視および管理のために、定量的指標、市場リスク価値指標（トレーディング勘定業務に関連する様々な通貨および期間の金利リスク要因を対象とするVaR）、金利ストレステスト損失指標、金利感応性指標および累積損失指標を利用している。リスク測定に使用される金利リスク要因は、トレーディング勘定の中のすべての業務を網羅しており、約200の金利指標または債券のイールドカーブで構成されている。VaRには一般的なVaRおよびストレステストVaRが含まれ、双方ともヒストリカル・シミュレーション法を使用して計算され、信頼水準99%、観測期間250日および保有期間10日が採用されている。金利ストレステストのシナリオには、様々な程度の金利の平行移動、急激な変動および複雑な変動ならびに投資ポートフォリオの特性に基づいて設計された様々な不利な市場シナリオが含まれる。うち、極端な金利シナリオでは、最大300ベース・ポイントの変動および極端に不利な市場情勢が含まれることがある。主要な金利感応性指標は、債券の期間ならびに（金利が1ベース・ポイント不利な変動を示した場合の）債券および金利デリバティブの市場価値の増減（PV01）を反映する。日常的なリスク管理については、年初に取締役会のリスク許容度、業務計画およびリスク予想に従ってトレーディング勘定の下の金利リスク業務の年間承認額および市場リスク限度額が設定され、市場リスク管理部門がその日常的な監視および継続報告に責任を負う。

報告期間中に中国および米国の金利は乱高下し、人民元の金利は概ね低水準かつ狭い範囲で変動した。1年物の人民元建て定期預金の金利は低下したが、2022年11月にファンダメンタルズの予想が反転したことで上昇に転じた。米国における高インフレの持続を背景として、米国連邦準備制度理事会（以下「FRB」という。）による当年中の7回にわたる利上げのため米ドル金利が急騰し、長短金利が大きく逆転した。当行のトレーディング勘定の投資範囲は主に人民元建て債券であった。一般的に、当行は慎重な投資管理戦略を採用し、市場の変化に応じて債券取引やデリバティブのヘッジといった方法でリスク・エクスポージャーを動的に調整した。報告期間末現在、当行のトレーディング勘定のすべての金利リスク指標は目標範囲内に収まっていた。

## 銀行勘定

当行は、外部の規制要件および行内の銀行勘定金利リスク管理方針に従って、銀行勘定金利リスク管理体制を構築し、継続的に改善し、金利リスクのガバナンス構造を明確化し、金利リスクの特定、測定、監視、統制および報告に係る管理プロセスを確立した。当行は、銀行勘定の金利リスクを毎月測定し、分析するために、主にリプライシング・ギャップ分析、デュレーション分析、ベンチマーク相関分析、シナリオ・シミュレーションおよびその他の方法を採用している。リプライシング・ギャップ分析は、主に資産および負債のリプライシング期間の分布およびミスマッチを監視する。デュレーション分析は、主な種類の商品の期間および当行全体の資産と負債の期間のギャップの変化を監視する。ベンチマーク相関分析は、当行の内部モデルを用いて計算されたベンチマーク相関係数に基づいて、異なる価格設定ベンチマーク金利曲線の間および各曲線上の異なる期間の点の間に存在するベンチマーク・リスクを評価する。シナリオ・シミュレーションは、金利リスクの分析および測定を行うための当行の主要なアプローチであり、金利ベンチマークの影響、イールドカーブの平行移動や形の変化、実際に発生したことのある金利の極端な変動、将来において最も可能性が高いと専門家が判断した金利の変動を含む複数の通常のシナリオおよびその他のシナリオからなる。翌1年間の正味受取利息（NII）および資本の経済価値（EVE）の指標の変動は、金利変動シナリオのシミュレーションを通じて計算される。一定のシナリオのNII変動率およびEVE変動率は、当行全体の金利リスク限度額指標システムに含められている。さらに、内部限度額指標システムは、CBIRCが公布した「商業銀行の銀行勘定の金利リスク管理に関する指針（改訂）」が定める標準的な測定指標に含まれている。

当行は、中立的で慎重な金利リスク選好を堅持し、外部環境や行内の金利リスク・エクスポージャー構成の変化を監視し、マクロ定量モデルならびに専門家の研究および判断に基づいて金利の動向を予測および分析し、金利リスクの積極的な管理戦略を展開し、かかる戦略を柔軟に調整した。報告期間中、当行は、様々な金利リスク、特にローンプライムレート（以下「LPR」という。）の低下を背景とするギャップリスクおよび預貸金利の一貫性のない変動から生じるベンチマークリスクについて継続的に監視および分析を行い、オンバランスシート資産・負債構成の調整とオフバランスシートの金利デリバティブのヘッジを通じてリスクを管理した。報告期間末現在、当行のオンバランスおよびオフバランスシートの管理措置は計画どおりに実施され、金利リスク水準は年間の金利リスク制御目標の範囲内に収まっており、ストレステストの結果を含む様々な指標は限界値および早期警告値の範囲内に維持されていた。銀行勘定の金利リスクは概ね制御可能であった。

### 為替リスク管理

#### トレーディング勘定



当行は、リスクの測定および監視の管理のために、リスク・エクスポージャー指標、市場リスク価値指標（トレーディング勘定取引に関連する様々な通貨の為替リスク要因を対象とするVaR）、ストレステスト下の為替損失指標、オプション感応性指標および累積損失指標を利用している。リスク測定については、選定された為替リスク要因が、トレーディング勘定のあらゆる取引通貨建ての直物価格、先渡価格およびボラティリティに適用される。市場価値リスク指標は一般的な市場VaRおよびストレス市場VaRからなり、これらは信頼水準99%、観測期間250日および保有期間10日に基づいてヒストリカル・シミュレーションを使用して計算されている。為替ストレステストのシナリオは、人民元に対する各取引通貨の5%、10%、15%または15%超の不利な変動、為替オプションの変動性の変化などを網羅している。主なオプション感応性指標には、デルタ、ガンマ、ベガおよびその他の指標が含まれる。日常的な管理については、年初に取締役会のリスク許容度、業務計画およびリスク予想に従って、年間のトレーディング勘定の為替リスク関連業務権限および関連する市場リスク限度額が設定され、市場リスク管理部門がその日常的な監視および継続的な報告に責任を負う。

報告期間中、経済成長への圧力およびFRBの利上げに伴う米ドル指数の急上昇の影響により、2022年半ばには前年末に比べ15%近く人民元安が進んだ。しかしながら、2022年第4四半期以降、景気回復への市場の期待感が高まり、人民元の為替レートは安定化および反発し、年末には人民元安は9%にまで縮小した。当行は、主に顧客向けの外国為替業務からスプレッド収益を獲得しており、取引のエクスポージャーを動的に監視するシステムを活用し、感応性指標およびストップロスなどの限界指標値の変化の監視を強化している。報告期間末現在、当行のトレーディング勘定の為替リスク指標はすべて目標範囲内にあった。

## 銀行勘定

当行は、その銀行勘定の為替リスクの測定および分析のために主に外国為替エクスポージャー分析、シナリオ・シミュレーション分析、ストレステストおよびその他の手法を利用している。外国為替エクスポージャー測定では、短辺法、相関法およびアグリゲーション法を利用している。シナリオ・シミュレーションおよびストレステスト分析は、すべての通貨の為替レートの変動に係る為替リスクを管理するための当行の2つの重要な為替リスク管理ツールであり、標準シナリオ、ヒストリカル・シナリオ、フォワード・ルッキング・シナリオおよびストレス・シナリオを含み、これらには直物および先渡為替レートの変動ならびに様々な通貨の為替レートの過去の極端な変動などのシナリオが含まれ、各シナリオは当行の損益への影響をシミュレートすることができる。一定のシナリオが損益に与える影響および純資本に対するその比率は、限界指標として日常的な管理において参照されている。当行は、測定モデルの有効性を検証するために、関連するモデル・パラメータについてバックテストおよび評価を定期的実施している。

当行は、銀行勘定の関連する為替リスクを軽減するため、銀行勘定の為替エクスポージャーおよびシナリオ・シミュレーション結果を定期的に測定および分析し、限度額の枠組みの下で月次ベースで為替リスクを監視および報告し、為替動向に応じて為替エクスポージャーを調整している。当行の監査部門が当行の為替リスクの全般的な監査に責任を負っている。

報告期間中、当行は為替レートの変動に細心の注意を払い、国内外のマクロ経済情勢を踏まえて為替レート変動の影響を積極的に分析し、経営陣が意思決定を行うための科学的な参照情報として資産・負債の最適化計画を提案した。報告期間中、当行は為替リスク・エクスポージャーの監視および分析の取組みを強化し、為替リスク・エクスポージャーの規模の厳格な管理を課した。当行は、為替リスクを慎重に管理した。報告期間末現在、当行の為替エクスポージャーの銀行勘定の規模は比較的低い水準にあった。当行の為替リスクは概ね安定しており、コア限界指標、一般的なシナリオおよびストレステストの結果はすべて規制要件を満たしている。

当行の市場リスク管理の詳細については、「第6 - 1 財務書類」に掲げる財務書類に対する注記60(b)を参照されたい。

## オペレーショナル・リスク管理

オペレーショナル・リスクとは、社内手続きの不適切性もしくは欠陥、従業員もしくはITシステムの不備または外部の事象から生じる損失リスクを指す。オペレーショナル・リスクが多様な側面を有し、多岐にわたることを踏まえて、当行のオペレーショナル・リスク管理では、コストと収益のマッチングおよびインプットとアウトプットのバランスの原則に基づき、オペレーショナル・リスク管理体制の構築を積極的に強化し、内部統制制度を実施し、各業務を引き続き着実に遂行し、一定水準のコストをもってオペレーショナル・リスクによる損失を削減または防止していく。オペレーショナル・リスク管理において、当行は取締役会が定めたリスク限度内で、リスク管理体制のさらなる改善、重点分野におけるリスク防止および管理の強化、リスクの監視および事前警告の実施、評価の仕組みの改善ならびにオペレーショナル・リスク予防文化の醸成などの対策を通じて、オペレーショナル・リスク管理能力および有効性の一層の向上を図り、オペレーショナル・リスク損失の防止および削減に努める。

報告期間中、当行は、制度上のオペレーショナル・リスクおよび重大なオペレーショナル・リスクから生じる損失を防ぐためにオペレーショナル・リスク管理体制を絶えず改善した。第一に、パーゼル改革案の内容をベンチマークとして、新パーゼル オペレーショナル・リスク基準の導入をグループレベルで実施し、オペレーショナル・リスク管理水準をさらに高めた。第二に、重点分野におけるリスク防止および管理を強化し、資産保管、住宅ローンおよびその他業務について特別調査を実施し、管理策および提案を提示した。第三に、オペレーショナル・リスクの三大ツールを継続的に最適化し、オペレーショナル・リスク管理システムの基盤となる機能を更新した。第四に、外部委託リスク管理を強化し、アクセスの仕組みを強化し、全行的に外部委託の事後評価プロジェクトを実施した。第五に、オペレーシ

ナル・リスクの連結管理を強化し、子会社のオペレーショナル・リスク管理の仕組みの改善を推進し、オペレーショナル・リスク管理の水準を継続的に高めた。第六に、ITリスクの第二の防衛ラインと事業継続管理を強化し、事業継続性リスク評価およびITプロセス検査を組織した。第七に、国内外の支店および子会社のオペレーショナル・リスク管理担当者向けに様々な形の研修を実施してオペレーショナル・リスク管理技能の向上を図った。

## 流動性リスク管理

流動性リスクとは、当行が資産を成長させ、満期が到来した債務を返済し、その他の支払義務を履行するために必要な十分な資金を適時に合理的なコストで調達できなくなるリスクをいう。当行の流動性リスク管理は慎重さ、先見性および包括性の原則に基づいており、現在の当行の発展段階に適したものである。当行の現行の流動性リスク管理の方針および体制は、規制要件および当行自身の管理ニーズを基本的に満たしている。

当行は、流動性リスク管理の方針決定、戦略の実施および監督を分離するという原則に基づき、流動性リスク管理の有効性を確保するために、取締役会、リスク・資本管理委員会、監査役会、上級役員、専門委員会および関連部門の役割、責任および報告ラインが分離された管理枠組みを整備している。

報告期間中、中央銀行は慎重な金融政策を引き続き採用し、インターバンク市場は合理的かつ十分な流動性を維持した。当行は、マクロ経済および市場動向の分析に基づき、将来のリスク状況を動的に定量化および予測し、リスクとリターンのバランスを取るために資産・負債管理戦略を積極的に展開した。第一に、顧客預金の着実な増加を引き続き促進し、重要なタイミングの管理を強化した。第二に、資産の編成と支援を強化するために複数の措置を講じ、資産構成を継続的に最適化し、資産・負債の円滑的な運用を実現した。第三に、預金および貸付事業の運営ならびに流動性指標に基づいて自己勘定の積極的な負債管理を柔軟に実行し、多様な資金調達経路を拡大し、公開市場取引を積極的に行い、プライマリーディーラーとしての役割を果たした。第四に、適格債券および優良債券への投資を適度に拡大し、投資戦略管理を強化し、資本利用の効率性をさらに高めた。第五に、事業ライン、海外支店および子会社の流動性リスクの監視および管理を強化した。第六に、緊急事態管理を常に実施し、流動性危機管理計画の検証および改善を行い、定期的な流動性リスク緊急訓練を通じて流動性リスク事由への対応力を効果的に高めた。

報告期間末現在、当行のすべての流動性指標は規制要件を満たしており、当行は事業の持続可能で健全な発展のための所要額を満たす十分な資金源を有していた。中国人民銀行の規則によれば、当行の人民元建て法定準備率は7.5%であり、外貨建て法定準備率は6%である。当行の流動性指標は良好に推移していた。預金は引き続き安定的に成長している。流動性準備金は十分であり、全体的な流動性は安全な水準にある。

当行の流動性リスク管理の詳細については、「第6 - 1 財務書類」に掲げる財務書類に対する注記60(c)を参照されたい。

## レピュテーション・リスク管理

レピュテーション・リスクとは、当行およびその従業員の行動または外部の事件によって、関連するステークホルダー、一般大衆およびメディアから当行が否定的な評価を受け、それによって当行のブランド価値が損なわれ、当行の正常な営業、ひいては市場の安定および社会の安定が悪影響を受ける可能性があるリスクをいう。レピュテーション・リスク管理は、当行のコーポレート・ガバナンスおよびリスク管理制度全体の重要な部分であり、当行およびその子会社が行うすべての活動、業務および事業を網羅している。当行は、レピュテーション・リスク管理規則および体制を確立および策定し、損失および悪影響を可能な限り軽減するために、レピュテーション・リスクの効果的な予防およびレピュテーション事件への対処を先導した。

報告期間中、当行は、CBIRCが公布した「銀行・保険会社のレピュテーション・リスク管理措置」の要件を厳格に実行して、レピュテーション・リスク管理をさらに改善した。第一に、当行は引き続き、将来を見越した管理を行い、予防を最優先とするレピュテーション・リスク管理の考え方を堅持し、検査、早期警告および注意喚起を強化し、潜在的なレピュテーション・リスクを発生源から低減した。第二に、当行は統一された情報公開メカニズムを通じて、社会的な懸念に積極的に対応し、様々な世論に関わる事件を適切に処理した。第三に、当行は積極的な広報活動を組織し、当行が優位性を持つ事業および社会的責任を積極的に果たすための様々な取組みを中心にブランドイメージを高めた。第四に、当行は、研修、広報活動およびその他の手段を通じてエンパワーメントを強化し、支店および子会社のレピュテーション・リスク管理能力を向上させた。

## コンプライアンス・リスク管理

コンプライアンス・リスクとは、法律、規則および基準を遵守しなかった結果、法的制裁、規制上の処罰、重大な経済的損失およびレピュテーション上の損失を被るリスクをいう。当行の取締役会は営業活動のコンプライアンスに最終責任を負い、取締役会のリスク・資本管理委員会にコンプライアンス・リスク管理の監督を委任している。本店のリスク・コンプライアンス管理委員会は、上級経営陣の下で全行的なコンプライアンス・リスクを管理する組織である。当行は、コンプライアンス・リスクの効果的な制御を実現するために、リスク・コンプライアンス管理委員会、コンプライアンス監督者、コンプライアンス責任者、本店および支店の法務・コンプライアンス部門ならびに支店および準支店レベルのコンプライアンス監督者からなる管理組織構造の確立を通じてコンプライアンス・リスク管理の3つの防衛ラインおよび二重の報告メカニズムを構築し、リスク管理手法および管理手順を継続的に改善し、完全かつ効果的なコンプライアンス・リスク管理制度を確立した。

報告期間中に、当行は規制当局の方針および要件を厳格に実施し、体系的な内部統制およびコンプライアンス管理能力を包括的に改善した。第一に、「2022年の全行的内部統制およびコンプライアンス業務に関する指針」を策定および公表し、全行的な内部統制とコンプライアンス管理を統一的に展開した。第二に、外部規制の内部化を適時に実施し、当行内への新たな規制の導入を推進し、新商品、新事業および大規模プロジェクトのコンプライアンス・リスクを効果的に特定および評価し、それらに対応し、コンプライアンスの枠組みの中で事業革新を支援した。第三に、コンプライアンス文化の推進に重点を置き、経営陣、コンプライアンス責任者およびコンプライアンス監督者による「コンプライアンス教室」および「コンプライアンス文化推進期間」活動を実施し、コンプライアンスの概念を積極的に促進した。第四に、従業員の行動管理を強化し、科学技術手法および様々な従業員行動管理ツールを有効に活用し、従業員の異常行動調査を四半期ごとに行った。第五に、当行は監督・検査および是正のための説明責任を強化し、監督の主要点と内部管理の未解決の問題に焦点を当て、共同検査および監査の「鷹の目」システムツールを通じて内部監督および検査の質および効率を効果的に高め、検査で見つかった問題の原因を徹底的に分析し、一つの事例から推論を導き、是正と重大な説明責任を実行し、コンプライアンス管理の閉ループを形成した。第六に、内部統制とコンプライアンス管理システムの構築を強化し、内部統制とコンプライアンスのデータマートを構築し、内部統制およびコンプライアンスのデータ分析能力を高め、内部統制とコンプライアンス管理のデジタル化を全行的に推進した。

## マネーロンダリング・リスク管理

マネーロンダリング・リスクとは、当行が事業および経営活動を行う中で「マネーロンダリング」、「テロ資金供与」および「拡散金融」という3種類の活動に当行が利用される可能性があるというリスクをいう。当行は、比較的健全なマネーロンダリング・リスク管理の仕組みを構築しており、これには、当行の安定的かつ法令を遵守した業務を確保するために、取締役会と上級役員から一般従業員まで明確な責任を有するガバナンス構造、制度の包括的な網羅、効果的なリスク評価および監視システム、科学的なマネーロンダリング防止データガバナンス、ならびに高リスクの顧客または会社への絞った管理、効率的なマネーロンダリング防止自動化システムによる支援、独立した検査と監査および継続的で効果的なマネーロンダリング防止コンプライアンス研修などの要素が含まれる。

報告期間中、当行はマネーロンダリング防止義務を積極的に履行し、マネーロンダリング・リスク管理の実効性を高めた。第一に、マネーロンダリング・リスクと事業の発展の実態に応じてマネーロンダリング防止の内部統制体制をさらに改善し、マネーロンダリング防止に関する法令および規制要件を実施した。第二に、機関のマネーロンダリング・リスク評価を完了し、商品のマネーロンダリング・リスク評価および顧客のマネーロンダリング・リスク分類評価制度を最適化し、マネーロンダリング・リスク管理の水準を高めた。第三に、顧客および商品のマネーロンダリング・リスクの管理措置を継続的に最適化し、高リスク顧客および高リスク商品の精緻な管理を推進した。第四に、当グループのマネーロンダリング防止のコンプライアンス構築を強化し、海外の機関および子会社において当グループのマネーロンダリング防止方針の一貫した実施を確保した。第五に、マネーロンダリング防止分野に対する科学技術投資を引き続き拡大し、AI技術の徹底した応用を絶えず模索し、デューデリジェンスおよび取引監視などの主要分野でのシステムとプロセスの最適化を継続的に実施した。



### 3【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### 経営状況全般の分析

2022年、当グループは、「質・効率・規模」という動的にバランスのとれた発展を実現するとの理念を堅持しつつ、健全に様々な業務を行った。それによって、資産および負債の規模ならびに当期純利益が着実に成長し、資産の質は全般的に安定していた。

報告期間中に当グループが計上した正味営業収益は344.740十億人民元であり、前年から4.02%増加した。また、当行株主帰属純利益は138.012十億人民元であり、前年から15.08%増加した。正味受取利息は前年から7.02%増の218.235十億人民元となり、正味非利息収益は前年から0.77%減の126.505十億人民元となった。当行株主に帰属する平均総資産利益率（ROAA）および当行普通株主に帰属する平均自己資本利益率（ROAE）は、前年からそれぞれ0.06ポイントおよび0.10ポイント上昇して、それぞれ1.42%および17.06%となった。

報告期間末現在、当グループの資産合計は10,138.912十億人民元であり、前年末から9.62%増加した。顧客貸付金は合計6,051.459十億人民元であり、前年末から8.64%増加した。負債合計は9,184.674十億人民元であり、前年末から9.56%増加した。顧客預金合計は7,535.742十億人民元であり、前年末から18.73%増加した。

報告期間末現在、当グループの不良債権合計は58.004十億人民元であり、前年末から7.142十億人民元増加した。不良債権比率は0.96%であり、前年末から0.05ポイント上昇した。不良債権引当率は450.79%であり、前年末から33.08ポイント低下した。貸付金に対する引当率は4.32%であり、前年末から0.10ポイント低下した。

## 損益計算書の分析

## 主要な財務成績

報告期間中の当グループの税引前利益は、前年から11.43%増の165.113十億人民元であった。実効法人所得税率は15.64%であり、前年から2.81ポイント低下した。報告期間中の当グループの主な損益項目の増減を下表に示す。

	(単位：百万人民元)		
	2022年	2021年	増減
正味受取利息	218,235	203,919	14,316
正味受取手数料	94,275	94,447	(172)
その他の正味収益	29,705	29,011	694
営業費用	(122,061)	(116,879)	(5,182)
予想信用損失	(56,751)	(65,962)	9,211
その他の資産に対する減損損失	(815)	(393)	(422)
合併事業および関連会社に対する持分利益	2,525	4,030	(1,505)
税引前利益	165,113	148,173	16,940
法人所得税	(25,819)	(27,339)	1,520
当期純利益	139,294	120,834	18,460
当行株主帰属純利益	138,012	119,922	18,090

## 正味営業収益

報告期間において、当グループの正味営業収益は前年から4.02%増の344.740十億人民元であった。うち、正味受取利息が正味営業収益に占める割合は63.30%であり、正味非利息収益が正味営業収益に占める割合は前年より1.77ポイント低下して36.70%となった。

## 受取利息

報告期間において、当グループは、前年から8.05%の増加となる353.380十億人民元の受取利息を計上した。これは主に利付資産が増加したためであった。顧客貸付金からの受取利息は、引き続き当グループの受取利息の最大の構成要素であった。

**顧客貸付金からの受取利息**

報告期間における当グループの顧客貸付金からの受取利息は、前年から5.96%増加して265.601十億人民元となった。

表示期間における当グループの顧客貸付金の平均残高（日次平均残高、以下同様）、受取利息および平均収益率の区分別内訳を下表に示す。

（単位：百万人民元、%を除く。）

	2022年			2021年		
	平均残高	受取利息	平均 収益率(%)	平均残高	受取利息	平均 収益率(%)
法人向け貸付金	2,250,662	86,754	3.85	2,095,664	80,575	3.84
個人向け貸付金	3,089,371	168,174	5.44	2,869,358	159,124	5.55
割引手形	510,242	10,673	2.09	399,173	10,963	2.75
顧客貸付金	5,850,275	265,601	4.54	5,364,195	250,662	4.67

報告期間における当グループの顧客貸付金の満期構成から見れば、短期貸付の平均残高は2,184.862十億人民元であり、受取利息は105.009十億人民元であり、平均収益率は4.81%に達した。中長期貸付は、平均残高が3,665.413十億人民元、受取利息が160.592十億人民元および平均収益率が4.38%であった。短期貸付の平均収益率が中長期貸付の平均収益率を上回ったのは、主に短期貸付の中のクレジットカード債権および小規模金融ローンの収益率が比較的高く、また、かかる債権の割合が比較的大きかったためであった。

**投資からの受取利息**

報告期間において、当グループの投資からの受取利息は、前年から17.39%増加して65.808十億人民元となった。投資の平均収益率は、主に近年の市場金利の低下の累積的な影響で、前年から11ペーシス・ポイント低下して3.24%となった。

**銀行およびその他金融機関に対する預け金および債権からの受取利息**

報告期間において、当グループの銀行およびその他金融機関に対する預け金および債権からの受取利息は、前年から7.54%増加して13.489十億人民元となった。また、銀行およびその他金融機関に対する預け金および債権の平均収益率は前年から16ペーシス・ポイント増の2.09%となった。これは主に、FRBによる継続的な利上げの影響で、銀行およびその他金融機関に対する外貨建ての預け金および債権の収益率が前年より上昇したためであった。

## 支払利息

報告期間における当グループの支払利息は135.145十億人民幣元であり、前年より9.75%増加した。これは、主に顧客預金に対する支払利息の増加によるものであった。

### 顧客預金に対する支払利息

報告期間における当グループの顧客預金に対する支払利息は、前年から25.50%増加して105.836十億人民幣元となった。これは主に、顧客預金が引き続き急速に増加し、預金費用率が上昇したためであった。

表示期間における当グループの法人顧客および個人顧客の預金の平均残高、支払利息および平均費用率を下表に示す。

	(単位：百万人民幣元、%を除く。)					
	2022年			2021年		
	平均残高	支払利息	平均費用率 (%)	平均残高	支払利息	平均費用率 (%)
<b>法人顧客預金</b>						
要求払	2,631,389	27,749	1.05	2,396,802	21,873	0.91
定期	1,755,394	46,698	2.66	1,485,640	39,854	2.68
小計	4,386,783	74,447	1.70	3,882,442	61,727	1.59
<b>個人顧客預金</b>						
要求払	1,655,088	6,073	0.37	1,453,378	5,110	0.35
定期	913,786	25,316	2.77	637,653	17,495	2.74
小計	2,568,874	31,389	1.22	2,091,031	22,605	1.08
合計	6,955,657	105,836	1.52	5,973,473	84,332	1.41

### 銀行およびその他金融機関からの預金および短期借入金の支払利息

報告期間中の当グループの銀行およびその他金融機関からの預金および短期借入金に対する支払利息は16.309十億人民幣元であり、前年から9.81%減少した。これは主に、顧客預金の堅調な増加、銀行およびその他金融機関からの預金および短期借入金に対する需要の低下ならびに費用率の低下によるものであった。

### 発行債券に対する支払利息

報告期間中の当グループの発行債券に対する支払利息は、前年から22.90%減少して9.662十億人民幣元となった。これは主に、銀行間譲渡性預金証書の日次平均残高が減少し、その費用率が低下したためであった。

## 正味受取利息

報告期間における当グループの正味受取利息は218.235十億人民元で、前年から7.02%増加した。

表示期間における当グループの資産および負債の平均残高、受取／支払利息ならびに平均収益率／費用率を下表に示す。

(単位：百万人民元、%を除く。)

	2022年			2021年		
	平均残高	受取利息	平均 収益率(%)	平均残高	受取利息	平均 収益率(%)
<b>利付資産</b>						
顧客貸付金	5,850,275	265,601	4.54	5,364,195	250,662	4.67
投資	2,029,578	65,808	3.24	1,672,594	56,059	3.35
中央銀行預け金	557,031	8,482	1.52	533,863	7,792	1.46
銀行およびその他金融 機関に対する預け金および債権	644,938	13,489	2.09	649,046	12,543	1.93
合計	9,081,822	353,380	3.89	8,219,698	327,056	3.98
	2022年			2021年		
	平均残高	支払利息	平均 費用率(%)	平均残高	支払利息	平均 費用率(%)
<b>有利子負債</b>						
顧客預金	6,955,657	105,836	1.52	5,973,473	84,332	1.41
銀行およびその他金融 機関からの預金および 短期借入金	996,819	16,309	1.64	1,076,618	18,083	1.68
発行債券	322,784	9,662	2.99	410,711	12,532	3.05
中央銀行からの借入金	122,194	2,828	2.31	276,773	7,635	2.76
リース負債	13,408	510	3.80	13,977	555	3.97
合計	8,410,862	135,145	1.61	7,751,552	123,137	1.59
正味受取利息	/	218,235	/	/	203,919	/
正味利息スプレッド	/	/	2.28	/	/	2.39
正味利息収益率	/	/	2.40	/	/	2.48

報告期間において、当グループの利付資産の平均収益率は3.89%であり、前年から9ベース・ポイント低下した。有利子負債の平均費用率は1.61%であり、前年から2ベース・ポイント上昇した。正味利息スプレッドは2.28%であり、前年から11ベース・ポイント低下した。正味利息収益率は2.40%であり、前年より8ベース・ポイント低下した。

表示期間における当グループの金額および金利の変動による受取利息および支払利息の増減の内訳を下表に示す。金額の変動は平均残高の変動に基づいて測定され、金利の変動は平均金利の変動に基づいて測定された。金額と金利の双方の変動による受取利息および支払利息の増減は、金額の変動による受取利息および支払利息の増減に含まれている。

(単位：百万人民元)

	2022年対2021年		
	増加 / (減少) 要因		純増 / (減)
	金額	金利	
<b>利付資産</b>			
顧客貸付金	21,912	(6,973)	14,939
投資	11,589	(1,840)	9,749
中央銀行預け金	370	320	690
銀行およびその他金融機関に対する預け金および債権	(92)	1,038	946
<b>受取利息の増減</b>	<b>33,779</b>	<b>(7,455)</b>	<b>26,324</b>
<b>有利子負債</b>			
顧客預金	14,933	6,571	21,504
銀行およびその他金融機関からの預金および短期借入金	(1,343)	(431)	(1,774)
発行債券	(2,624)	(246)	(2,870)
中央銀行からの借入金	(3,562)	(1,245)	(4,807)
リース負債	(21)	(24)	(45)
<b>支払利息の増減</b>	<b>7,383</b>	<b>4,625</b>	<b>12,008</b>
<b>正味受取利息の増減</b>	<b>26,396</b>	<b>(12,080)</b>	<b>14,316</b>

表示期間における当グループの資産および負債の平均残高、受取／支払利息ならびに年間換算平均収益率／費用率を下表に示す。

(単位：百万人民元、%を除く。)

	2022年10月 - 12月			2022年 7 月 - 9 月		
	平均残高	受取利息	年間換算 平均収益率 (%)	平均残高	受取利息	年間換算 平均収益率 (%)
<b>利付資産</b>						
顧客貸付金	6,004,655	67,485	4.46	5,928,303	66,912	4.48
投資	2,209,149	18,044	3.24	2,067,350	16,742	3.21
中央銀行預け金	561,051	2,289	1.62	548,779	2,170	1.57
銀行およびその他金融機関 に対する預け金および債権	601,940	3,771	2.49	604,711	3,106	2.04
合計	9,376,795	91,589	3.88	9,149,143	88,930	3.86
	2022年10月 - 12月			2022年 7 月 - 9 月		
	平均残高	支払利息	年間換算 平均費用率 (%)	平均残高	支払利息	年間換算 平均費用率 (%)
<b>有利子負債</b>						
顧客預金	7,292,633	28,485	1.55	7,081,701	27,560	1.54
銀行およびその他金融機関 からの預金および短期借入金	1,008,086	4,395	1.73	990,687	3,954	1.58
発行債券	236,036	1,841	3.09	279,947	2,176	3.08
中央銀行からの借入金	118,681	656	2.19	113,830	674	2.35
リース負債	12,925	107	3.28	13,370	128	3.80
合計	8,668,361	35,484	1.62	8,479,535	34,492	1.61
正味受取利息	/	56,105	/	/	54,438	/
正味利息スプレッド	/	/	2.26	/	/	2.25
正味利息収益率	/	/	2.37	/	/	2.36

2022年第4四半期には、当グループの正味利息収益率は2.37%であり、正味利息スプレッドは2.26%であり、いずれも2022年第3四半期から1ベース・ポイントの上昇であった。

#### 正味非利息収益

報告期間において、当グループは、前年から0.77%減となる126.505十億人民元の正味非利息収益を計上した。その内訳は以下のとおりである。

正味受取手数料収益は、前年から0.18%減少して94.275十億人民元となった。うち、ウェルスマネジメントからの手数料収益は、前年から14.28%減少して30.903十億人民元となった。アセットマネジメントからの手数料収益は、前年から14.75%増加して12.457十億人民元となった。バンクカード手数料収益は、前年から10.44%増加して21.399十億人民元となった。決済および清算手数料収益は、前年から8.26%増加して15.051十億人民元となった。信用コミットメントおよび貸付業務からの手数料は、前年から8.99%減少して5.753十億人民元となった。保管業務からの手数料収益は、前年から6.59%増加して5.791十億人民元となった。その他からの収益は、前年から15.82%増加して12.018十億人民元となった。

その他の正味非利息収益は、前年から2.45%減少して32.230十億人民元となった。うち、投資純利益は、前年から1.07%増の18.013十億人民元であり、これは主に金融市場における取引のスプレッド収入の増加によるものであった。公正価値の変動による純損益は、前年から2.767十億人民元減少して-2.675十億人民元となった。これは主に、債券投資および非貨幣性ファンド投資の公正価値が減少したためであった。外国為替純利益は、前年から7.43%増加して3.600十億人民元となった。これは主に、外貨建て金融商品から生じる為替差益が増加したためであった。その他の正味収益



は、前年から39.00%増加して10.767十億人民幣元となった。これは主に、CMBFLのオペレーティング・リース事業から生み出された収益が増加した（8.785十億人民幣元となった。）ためであった。

事業セグメント別では、リテール金融事業からの正味非利息収益は前年から3.45%減の60.026十億人民幣元となり、当グループの正味非利息収益の47.45%を占めた。ホールセール金融事業からの正味非利息収益は前年から1.40%減の51.635十億人民幣元となり、当グループの正味非利息収益の40.82%を占めた。（当グループは、2022年からCMBFLをその他の事業セグメントからホールセール金融事業セグメントに変更したため、前年の比較数値が調整されている。）その他の事業からの正味非利息収益は前年から14.67%増の14.844十億人民幣元となり、当グループの正味非利息収益の11.73%を占めた。

(単位：百万人民元、%を除く。)

	2022年	2021年	増減(%)
<b>受取手数料(注)</b>	103,372	102,318	1.03
ウェルスマネジメントからの手数料	30,903	36,053	-14.28
アセットマネジメントからの手数料	12,457	10,856	14.75
バンクカード手数料	21,399	19,377	10.44
決済および清算手数料	15,051	13,902	8.26
信用コミットメントおよび貸付業務からの手数料	5,753	6,321	-8.99
保管業務からの手数料	5,791	5,433	6.59
その他	12,018	10,376	15.82
<b>支払手数料</b>	(9,097)	(7,871)	15.58
<b>正味受取手数料</b>	94,275	94,447	-0.18
<b>その他の非利息収益</b>	32,230	33,041	-2.45
その他の正味収益	29,705	29,011	2.39
投資純利益	18,013	17,822	1.07
公正価値の変動による純利益/(損失)	(2,675)	92	N/A
外国為替純利益	3,600	3,351	7.43
その他の正味収益	10,767	7,746	39.00
合併事業および関連会社に対する持分利益	2,525	4,030	-37.34
<b>正味非利息収益合計</b>	126,505	127,488	-0.77

注：ウェルスマネジメントからの手数料には、ファンドの代理販売からの収益、保険契約の代理販売からの収益、信託スキームの代理販売からの収益、ウェルスマネジメント・サービスの代理販売からの収益、証券仲介からの収益および貴金属の代理販売からの収益が含まれる。アセットマネジメントからの手数料には、主に子会社であるCMFM、CMBIC、CMBウェルスマネジメントおよびCIGNA & CMAMのファンド、ウェルスマネジメント・プランおよびアセットマネジメント・プランなどの様々なアセットマネジメント商品の発行および運用からの収益が含まれる。保管業務からの手数料には、基本的な資産保管サービスおよび付加価値サービスからの収益が含まれる。その他からの収益には、主に債券および株式の引受けからの収益、信用資産の証券化サービスからの手数料収益、諮問および助言サービスからの収益ならびにその他の仲介業務からの収益が含まれる。2022年、当グループは、「ウェルスマネジメントからの手数料」および「その他」の内訳項目の開示規準を最適化し、同基準に従って前年の比較データを調整した。

## 営業費用

報告期間中の当グループの営業費用は、前年より4.43%増加して122.061十億人民元となった。うち、人件費は前年より7.01%増加して70.657十億人民元となった。その他の営業費用（減価償却費、償却費、リース、税金および課徴金、保険請求引当金ならびにその他様々な管理費が含まれる。）は、前年より1.09%増加して51.404十億人民元となった。当グループは、当行を「最優秀フィンテック銀行」にすることを目標に掲げて、技術基盤を継続的に強化し、デジタルトランスフォーメーションのペースを加速させることで、フィンテック開発への投資規模を維持している。同時に、当グループは洗練された費用管理を堅持した。当グループは、インプットとアウトプットの監視および管理を強化しつつ、技術革新の生産性への転換を引き続き推進する一方で、費用の積極的な最適化によって、事業所運営費用を削減し、日常的な費用の合理化を進め、費用と資源の配分を精緻化することで費用効率の継続的な改善を図っている。報告期間中の当グループの費用収益比率は、前年から0.22ポイント減の32.89%であった。

表示期間における当グループの営業費用の主要な構成要素を下表に示す。

(単位：百万人民元)

	2022年	2021年
人件費	70,657	66,028
減価償却費、償却費および賃借料	15,720	14,519
その他一般管理費	32,319	33,249
保険請求引当金	360	311
税金および課徴金	3,005	2,772
<b>営業費用合計</b>	<b>122,061</b>	<b>116,879</b>

#### 予想信用損失

報告期間中の当グループの予想信用損失は、前年から13.96%減少して56.751十億人民元となった。

表示期間における当グループの予想信用損失の主な内訳を下表に示す。

(単位：百万人民元)

	2022年	2021年
顧客貸付金	45,157	37,020
金融投資	3,879	15,848
銀行およびその他金融機関に対する債権	(3,284)	6,110
金融保証および貸付コミットメントに関連する予想信用損失	7,112	5,639
その他	3,887	1,345
<b>予想信用損失合計</b>	<b>56,751</b>	<b>65,962</b>

当グループは、金融商品に関する会計基準を採用し、マクロ的な洞察力の調整を考慮に入れた上で、予想信用損失モデルならびに顧客のデフォルト確率およびデフォルト時損失率などのリスク定量化パラメータを用いることで、主要分野におけるリスク相殺能力を一貫して強化しつつ、信用リスク損失に対して慎重に引当金を繰り入れた。報告期間における当グループの顧客貸付金に係る予想信用損失は45.157十億人民元であり、前年から8.137十億人民元増加した。これは主に、経済成長の鈍化および不動産顧客リスクの一層の解放を考慮に入れた上で当グループが付与した貸付金に対する予想信用リスク損失の追加引当によるものであった。金融投資に係る予想信用損失は3.879十億人民元であり、前年から11.969十億人民元減少した。これは主に、報告期間中の具体的な信用リスク状況および従前の引当金基準に基づいて報告期間中に認識された引当金が前年より減少したためであった。銀行およびその他金融機関に対する債権に係る予想信用損失は-3.284十億人民元であり、前年から9.394十億人民元減少した。これは主に、売戻契約に基づく購入額が前年末から大幅に減少して信用リスク損失引当金の戻入れにつながったこと、また、他方では、銀行間融資業務の資産の質が比較的安定しており、報告期間中の実際のリスク状況に基づく信用リスク損失引当金の一部戻入れにつながったことによるものであった。その他の予想信用損失は3.887十億人民元であり、前年から2.542十億人民元増加した。これは主に、報告期間中にリース債権、受取手数料およびその他の債権に対する信用リスク損失について慎重な引当を行ったためであった。

## 貸借対照表の分析

## 資産

報告期間末現在、当グループの資産合計は10,138.912十億人民元で、前年末から9.62%増加した。これは主に、当グループの顧客貸付金および債券投資の増加によるものであった。

表示日現在の当グループの資産合計の構成要素を下表に示す。数値を比較可能とするために、本項「資産」においては、金融商品は引き続き、未収利息を除いた同一の統計基準で分析されている。ただし、下表では、実効金利法を用いて計算された未収利息が含まれている。

(単位：百万人民元、%を除く。)

	2022年12月31日現在		2021年12月31日現在	
	金額	割合(%)	金額	割合(%)
顧客貸付金(総額)	6,062,913	59.80	5,580,885	60.34
貸付金に対する減損引当金	(255,759)	(2.52)	(245,494)	(2.65)
顧客貸付金(純額)	5,807,154	57.28	5,335,391	57.69
投資証券およびその他金融資産	2,815,204	27.77	2,224,041	24.05
現金、貴金属および中央銀行預け金	605,989	5.98	571,847	6.18
銀行間取引 <sup>(1)</sup>	631,598	6.23	799,372	8.64
のれん	9,999	0.10	9,954	0.11
その他資産 <sup>(2)</sup>	268,968	2.64	308,416	3.33
<b>資産合計</b>	<b>10,138,912</b>	<b>100.00</b>	<b>9,249,021</b>	<b>100.00</b>

注：

(1)銀行およびその他金融機関に対する預け金および債権ならびに売戻契約に基づく保有額を含む。

(2)有形固定資産、使用権資産、無形資産、投資不動産、繰延税金資産およびその他資産を含む。

## 顧客貸付金

報告期間末現在の当グループの顧客貸付金の総額は6,051.459十億人民元で、前年末から8.64%増加した。顧客貸付金の総額が資産合計に占める割合は59.69%で、前年末より0.53ポイント低下した。当グループの顧客貸付金に関する詳細については、下記「貸付金の質の分析」を参照されたい。

## 投資証券およびその他金融資産

当グループの投資証券およびその他金融資産は、上場および非上場の人民元建ておよび外貨建ての金融商品により構成される。

当グループの投資証券およびその他金融資産の項目別内訳を下表に示す。

(単位：百万人民元、%を除く。)

	2022年12月31日現在		2021年12月31日現在	
	金額	割合(%)	金額	割合(%)
デリバティブ金融資産	18,671	0.67	23,390	1.06
損益を通じて公正価値で測定される金融投資	423,467	15.19	348,123	15.82
- 債券投資	215,081	7.72	176,764	8.03
- その他(注)	208,386	7.47	171,359	7.79
償却原価で測定される負債性投資	1,536,397	55.13	1,169,652	53.16
- 債券投資	1,452,499	52.12	1,078,888	49.03
- 非標準的信用資産投資	126,698	4.55	129,851	5.90
- その他	648	0.02	620	0.03
- 差引：減損損失引当金	(43,448)	(1.56)	(39,707)	(1.80)
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される負債性投資	771,271	27.67	628,355	28.56
その他の包括利益を通じて公正価値で指定される持分投資	13,416	0.48	6,995	0.32
合併事業および関連会社に対する投資	23,844	0.86	23,654	1.08
<b>投資証券およびその他金融資産合計</b>	<b>2,787,066</b>	<b>100.00</b>	<b>2,200,169</b>	<b>100.00</b>

注：持分投資、ファンド投資、ウェルスマネジメント商品、貴金属契約のロングポジションなどを含む。

## デリバティブ金融商品

報告期間末現在、当グループが保有していたデリバティブ金融商品の主な区分および金額を下表に示す。詳細については、「第6 - 1 財務書類」に掲げる財務書類に対する注記60(f)を参照されたい。

(単位：百万人民元)

	2022年12月31日現在			2021年12月31日現在		
	想定元本	公正価値		想定元本	公正価値	
		資産	負債		資産	負債
金利デリバティブ	1,543,237	6,428	(6,109)	2,641,846	11,877	(11,991)
通貨デリバティブ	874,230	11,376	(11,671)	1,186,030	10,041	(14,054)
その他デリバティブ	92,258	867	(856)	139,931	1,472	(1,237)
<b>合計</b>	<b>2,509,725</b>	<b>18,671</b>	<b>(18,636)</b>	<b>3,967,807</b>	<b>23,390</b>	<b>(27,282)</b>

上表は、各貸借対照表の日付現在の当グループのデリバティブ金融商品の想定元本および公正価値を示している。想定元本とは、貸借対照表の日付現在、満期が到来していないかまたは完了していない取引の金額のみを表しており、予想最大損失額を表すものではない。

報告期間中、人民元の為替レートの双方向の変動は拡大し、金利デリバティブ市場は全般的にレンジ内で変動した。当グループは、人民元および外国為替市場における総合的なインターバンクのマーケットメーカーとして、また、現地通貨市場におけるデリバティブの相場提示機関として、デリバティブの価格設定の有効性を高め、積極的に市場に流動性を提供することに努めた。また、当グループは、金融市場のデリバティブ取引における専門的優位性の継続的活用を

通じて為替リスクの中立的管理という概念および手法を広め、顧客のヘッジ取引の実行を支援し、様々な市場リスクを管理することに取り組んだ結果、顧客数および取引高が引き続き増加した。

### **損益を通じて公正価値で測定される金融投資**

報告期間末現在、当グループの損益を通じて公正価値で測定される金融投資残高は423.467十億人民元であり、債券およびファンド投資などがその主な項目であった。当グループは、市場における取引機会を捉えることで投資収益を得るために、とりわけ、マクロ経済、通貨・財政政策、産業政策および市場の需給状況といった要因の評価に基づきかかる投資を行った。報告期間中、資金調達は概ね安定しており、債券の利回りは低下し、金利は年末に反発した。当グループは、高利率の短・中期の中国国債のポジションを積極的に増やし、第3四半期末に利益確定のため売却し、多額の収益を得た。詳細については、「第6 - 1 財務書類」に掲げる財務書類に対する注記23(a)を参照されたい。

### **償却原価で測定される負債性投資**

報告期間末現在、当グループの償却原価で測定される負債性投資残高は1,536.397十億人民元であった。うち、債券投資は、主に中国政府および政策銀行が発行した債券に対するものであった。かかる種類の投資は、銀行勘定の金利リスク管理および流動性管理の必要性に基づき、また、リターンとリスクを考慮に入れつつ、当グループの資産および負債の戦略的配分のために長期保有された。詳細については、「第6 - 1 財務書類」に掲げる財務書類に対する注記23(b)を参照されたい。

### **その他の包括利益を通じて公正価値で測定される負債性投資**

報告期間末現在、当グループのその他の包括利益を通じて公正価値で測定される負債性投資残高は771.271十億人民元であった。債券投資の主要な区分には、中国国債および政策銀行債などの金利債と、優良な中・高格付社債がある。当グループは、市場での投資および配分機会を捉えることで投資収益を獲得し、資産配分構造を常に最適化するために、債券市場の調査および分析に基づいてかかる種類の投資を行った。詳細については、「第6 - 1 財務書類」に掲げる財務書類に対する注記23(c)を参照されたい。

### **その他の包括利益を通じて公正価値で指定される持分投資**

報告期間末現在、当グループのその他の包括利益を通じて公正価値で指定される持分投資残高は13.416十億人民元であった。かかる投資は主に、当グループが支配権、共同支配権または重大な影響力を有さない投資対象に対して当グループが保有する非トレーディング持分投資からなっていた。詳細については、「第6 - 1 財務書類」に掲げる財務書類に対する注記23(d)を参照されたい。

## 当グループの債券投資合計の発行者別内訳

(単位：百万人民元)

	2022年12月31日現在	2021年12月31日現在
公的機関	1,600,274	1,205,718
政策銀行	494,628	390,387
商業銀行およびその他金融機関	232,923	168,483
その他	111,026	119,419
<b>債券投資合計</b>	<b>2,438,851</b>	<b>1,884,007</b>

注：「公的機関」は、中国の財政部、地方政府および中央銀行などを含む。「その他」は主に企業をいう。

## 合併事業および関連会社に対する投資

報告期間末現在、当グループの合併事業および関連会社に対する投資は23.844十億人民元であり、前年末から0.80%の増加であった。報告期間末現在、当グループの合併事業および関連会社に対する投資にかかる減損引当金残高はゼロであった。詳細については、「第6 - 1 財務書類」に掲げる財務書類に対する注記25および26を参照されたい。

## のれん

IFRSに従い、報告期間末に、当グループは招商永隆銀行、CMFMおよびその他の会社の取得により生じたのれんについて減損テストを実施し、報告期間について減損引当は不要であると判断した。報告期間末現在、当グループののれんの減損引当金残高は579百万人民元であり、のれんの簿価は9.999十億人民元であった。



## 負債

報告期間末現在の当グループの負債合計は9,184.674十億人民元であり、前年末から9.56%増加した。これは主に、顧客預金の増加が加速したためである。

表示日現在の当グループの負債合計の構成要素を下表に示す。数値を比較可能とするために、本項「負債」においては、金融商品は引き続き、未払利息を除いた同一の統計基準で分析されている。ただし、下表では、実効金利法を用いて計算された未払利息が含まれている。

	2022年12月31日現在		2021年12月31日現在	
	金額	割合(%)	金額	割合(%)
顧客預金	7,590,579	82.64	6,385,154	76.16
銀行間取引 <sup>(1)</sup>	945,624	10.30	1,081,328	12.90
中央銀行からの借入金	129,745	1.41	159,987	1.91
損益を通じて公正価値で測定される金融負債およびデリバティブ金融負債	81,950	0.89	91,043	1.09
発行債券	223,821	2.44	446,645	5.33
その他 <sup>(2)</sup>	212,955	2.32	219,183	2.61
<b>負債合計</b>	<b>9,184,674</b>	<b>100.00</b>	<b>8,383,340</b>	<b>100.00</b>

注：

(1)銀行およびその他金融機関からの預金および短期借入金ならびに買戻契約に基づく売却額を含む。

(2)未払給与、未払税、契約負債、リース負債、予想負債、繰延税金負債およびその他負債を含む。

**顧客預金**

報告期間末現在、当グループの顧客預金合計は7,535.742十億人民幣元であり、前年度末から18.73%増加した。顧客預金は当グループの負債合計の82.05%を占め、当グループの主な資金源であった。

表示日現在の当グループの顧客預金の商品別および顧客別の内訳を下表に示す。

(単位：百万人民幣元、%を除く。)

	2022年12月31日現在		2021年12月31日現在	
	金額	割合(%)	金額	割合(%)
<b>法人顧客預金</b>				
要求払	2,762,671	36.66	2,652,817	41.80
定期	1,668,882	22.15	1,406,107	22.15
<b>小計</b>	<b>4,431,553</b>	<b>58.81</b>	<b>4,058,924</b>	<b>63.95</b>
<b>個人顧客預金</b>				
要求払	1,983,364	26.32	1,557,861	24.54
定期	1,120,825	14.87	730,293	11.51
<b>小計</b>	<b>3,104,189</b>	<b>41.19</b>	<b>2,288,154</b>	<b>36.05</b>
<b>顧客預金合計</b>	<b>7,535,742</b>	<b>100.00</b>	<b>6,347,078</b>	<b>100.00</b>

2022年には、当グループの顧客預金合計の日次平均残高に占める要求払預金の日次平均残高の割合は61.63%であり、前年から2.82ポイント低下した。うち、法人顧客の要求払預金の日次平均残高は法人顧客預金の日次平均残高の59.98%を占め、これは前年から1.75ポイントの低下に相当した。個人顧客の要求払預金の日次平均残高は個人顧客預金の日次平均残高の64.43%を占め、これは前年から5.08ポイントの低下に相当した。資本市場の変動の影響を受けて顧客が定期預金商品への投資を増加させたことで、要求払預金の割合が減少した。

**株主資本**

報告期間末現在、当グループの当行株主に帰属する株主資本は945.503十億人民幣元であり、前年末から10.10%増加した。うち、利益剰余金は、前年末から15.02%増となる492.971十億人民幣元であった。投資再評価準備金は、前年末から21.48%減少して11.815十億人民幣元となった。これは主に、その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産の評価額が前年末より減少したためであった。為替換算差額は、主に人民幣元の為替レートの変動によって、前年末から4.153十億人民幣元増加して2.009十億人民幣元となった。

## 貸付金の質の分析

## 5 区分の債権分類による貸付金の内訳

表示日現在における当グループの5区分の債権分類を下表に示す。

(単位：百万人民元、%を除く。)

	2022年12月31日現在		2021年12月31日現在	
	金額	割合(%)	金額	割合(%)
正常	5,919,985	97.83	5,472,563	98.25
要注意	73,470	1.21	46,609	0.84
破綻懸念	22,770	0.38	17,490	0.31
実質破綻	23,737	0.39	20,755	0.37
破綻	11,497	0.19	12,617	0.23
顧客貸付金合計	6,051,459	100.00	5,570,034	100.00
不良債権	58,004	0.96	50,862	0.91

注：5区分の債権分類制度においては、当グループの不良債権は、破綻懸念債権、実質破綻債権および破綻債権に分類される。

報告期間中、当グループは、資産の質を正確に反映させるために資産リスクの厳格な分類にこだわった。経済成長の鈍化および不動産顧客リスクの一層の解放の影響を受け、報告期間末現在の当グループの不良債権残高は、前年末から7.142十億人民元増加して58.004十億人民元となり、不良債権比率は、前年末から0.05ポイント上昇して0.96%となった。要注意債権残高は、前年末から26.861十億人民元増加して73.470十億人民元となり、要注意債権の割合は、前年末から0.37ポイント上昇して1.21%となった。

## 貸付金および不良債権の商品別内訳

(単位：百万人民元、%を除く。)

	2022年12月31日現在				2021年12月31日現在			
	貸付金 残高	割合 (%)	不良債権 不良債権 比率(%) <sup>(1)</sup>	不良債権 比率(%) <sup>(1)</sup>	貸付金 残高	割合 (%)	不良債権 不良債権 比率(%) <sup>(1)</sup>	不良債権 比率(%) <sup>(1)</sup>
<b>法人向け貸付金</b>	2,375,616	39.26	29,961	1.26	2,150,938	38.62	26,732	1.24
運転資本貸付金	821,269	13.57	9,562	1.16	729,999	13.11	16,755	2.30
固定資産貸付金	864,880	14.29	14,123	1.63	821,259	14.74	7,267	0.88
貿易金融	289,605	4.79	330	0.11	257,428	4.63	397	0.15
その他 <sup>(2)</sup>	399,862	6.61	5,946	1.49	342,252	6.14	2,313	0.68
<b>割引手形<sup>(3)</sup></b>	514,054	8.49	-	-	431,305	7.74	-	-
<b>個人向け貸付金</b>	3,161,789	52.25	28,043	0.89	2,987,791	53.64	24,130	0.81
小規模金融ローン	631,038	10.43	4,031	0.64	561,871	10.09	3,500	0.62
住宅ローン	1,389,208	22.96	4,904	0.35	1,374,406	24.68	3,821	0.28
クレジットカード・ローン	884,519	14.62	15,650	1.77	840,371	15.09	13,846	1.65
その他 <sup>(4)</sup>	257,024	4.24	3,458	1.35	211,143	3.78	2,963	1.40
<b>顧客貸付金合計</b>	6,051,459	100.00	58,004	0.96	5,570,034	100.00	50,862	0.91

注：

(1)各区分の不良債権の同区分の貸付金総額に対する百分率を表す。

(2)主にファイナンス・リース、M&amp;Aファイナンスおよび法人向け抵当貸付などのその他法人向け貸付金からなる。

(3)当行では、会計処理の目的上、延滞となった割引手形を法人向け貸付に振り替える。

(4)主に一般消費ローン、商業住宅ローン、自動車ローン、住宅リフォーム・ローン、教育ローンおよび金融資産を担保とするその他個人向け貸付金からなる。

当グループは、法人向け貸付金について、顧客構成の改善を着実に推進し、優良資産の組織化と投資を継続的に強化し、企業の信用資源を企業救済支援へと誘導することによって、全般的に資産の質を安定的に維持した。報告期間末現在、当グループの法人向け貸付金残高は、前年末から10.45%増加して2,375.616十億人民元となり、法人向け貸付金の割合は、前年末から0.64ポイント上昇して39.26%となった。多額の債務を抱えた一部の不動産会社および経営不振の個人事業主顧客の大きなリスク・エクスポージャーの影響を受け、法人向け貸付金の不良債権残高は、前年末から3.229十億人民元増加して29.961十億人民元となり、法人向け貸付金の不良債権比率は、前年末から0.02ポイント上昇して1.26%となった。

個人向け貸付金については、当グループは、商品およびビジネスモデルの革新を積極的に推進し、小規模および零細顧客への信用支援を確保し、住宅を緊急に必要とする顧客および住宅のグレードアップを希望する顧客を優先し、住宅ローンの合理的かつ穏やかな成長を維持するとともに、安定性と慎重さの原則を引き続き遵守し、優良な販売経路に焦点を当てた。また、価値ある顧客の獲得によってクレジットカード事業は着実に発展した。報告期間末現在、当グループの個人向け貸付金残高は、前年末から5.82%増加して3,161.789十億人民元となり、個人向け貸付金の割合は、前年末から1.39ポイント低下して52.25%となった。うち、小規模金融ローンは、前年末から12.31%増の631.038十億人民元であった。報告期間中、景気の下押し圧力の増大の影響を受けて、小規模金融ローン、住宅ローンおよびクレジットカード・ローンの不良債権比率は、いずれも前年度末より上昇した。報告期間末現在、個人向け貸付金の不良債権残高は、前年末から3.913十億人民元増加して28.043十億人民元となり、不良債権比率は、前年末から0.08ポイント上昇して0.89%となった。うち、クレジットカード・ローンの不良債権残高は、前年末から1,804百万人民元増加して15.650十億人民元となり、クレジットカード・ローンの不良債権比率は、前年末から0.12ポイント上昇して1.77%になった。

## 貸付金および不良債権の業種別内訳

(単位：百万人民元、%を除く。)

	2022年12月31日現在				2021年12月31日現在			
	貸付金 残高	割合 (%)	不良債権 不良債権 比率(%) <sup>(1)</sup>	不良債権 比率(%) <sup>(1)</sup>	貸付金 残高	割合 (%)	不良債権 不良債権 比率(%) <sup>(1)</sup>	不良債権 比率(%) <sup>(1)</sup>
<b>法人向け貸付金</b>	2,375,616	39.26	29,961	1.26	2,150,938	38.62	26,732	1.24
輸送・倉庫・ 郵便サービス	492,248	8.14	948	0.19	445,603	8.00	2,945	0.66
不動産開発	375,980	6.21	15,348	4.08	401,704	7.21	5,655	1.41
製造業	465,712	7.70	4,781	1.03	333,398	5.99	6,871	2.06
電力・熱供給・ ガス・水道	212,893	3.52	468	0.22	194,688	3.50	658	0.34
リース・ 商業サービス	161,750	2.67	1,784	1.10	174,758	3.14	4,054	2.32
卸売・小売	180,709	2.99	1,836	1.02	147,272	2.64	3,726	2.53
金融	112,114	1.85	440	0.39	95,333	1.71	90	0.09
建設	105,770	1.75	435	0.41	120,934	2.17	569	0.47
情報通信・ソフ トウェア・IT サービス	89,858	1.48	406	0.45	65,994	1.18	235	0.36
水保全・環境・ 公益事業	64,996	1.07	100	0.15	65,248	1.17	175	0.27
鉱業	40,495	0.67	521	1.29	34,505	0.62	786	2.28
その他 <sup>(2)</sup>	73,091	1.21	2,894	3.96	71,501	1.29	968	1.35
<b>割引手形</b>	514,054	8.49	-	-	431,305	7.74	-	-
<b>個人向け貸付金</b>	3,161,789	52.25	28,043	0.89	2,987,791	53.64	24,130	0.81
<b>顧客貸付金合計</b>	6,051,459	100.00	58,004	0.96	5,570,034	100.00	50,862	0.91

注：

(1) 各区分の不良債権の同区分の貸付金総額に対する百分率を表す。

(2) 主に農業、林業、畜産業、漁業、宿泊および飲食業、医療および社会福祉などからなる。

当グループは、国家政策および規制上の要件を誠実に実施し、実体経済のための当グループの金融サービスの質と効率を継続的に高めることで、マクロ経済の安定化に貢献し、新成長エンジン、グリーン経済、優良な製造業、地域的な優位性および特徴を有する産業、包摂金融、科学技術ファイナンスならびに自己管理型産業などの関連産業への融資をさらに拡大して、顧客と産業構造の調整を着実に推進した。報告期間末現在、当グループの製造業向け貸付残高は前年末から39.69%増の465.712十億人民元であり、顧客貸付金の7.70%に相当し、これは前年末から1.71ポイントの上昇であった。同時に、当グループは、内外の情勢の変化を注視し、不動産、地方自治体の資金調達プラットフォームおよび分類管理下にある産業（分類管理下にある産業とは当行の造語であり、石炭、石炭化学、石炭取引、鉄鋼、鉄鋼取引、基礎化学工業、一次金属鉱業・加工、非鉄金属製錬・圧延加工、板ガラス、繊維・化学繊維、化学肥料製造、合成素材製造を含む12の産業を指す。）などの重点分野におけるリスクの防止および管理を強化した。報告期間中、多額の債務を抱えた不動産会社および経営不振の個人事業主顧客のリスク・エクスポージャーによって、不動産産業、金融業、農業、林業、畜産業、漁業および情報通信・ソフトウェア・ITサービス産業に対する当グループの不良債権比率が上昇した。

## 貸付金および不良債権の地域別内訳

(単位：百万人民元、%を除く。)

	2022年12月31日現在				2021年12月31日現在			
	貸付金 残高	割合(%)	不良債権 比率(%) <sup>(1)</sup>	不良債権	貸付金 残高	割合(%)	不良債権 比率(%) <sup>(1)</sup>	不良債権
本店 <sup>(2)</sup>	942,006	15.57	17,811	1.89	910,281	16.35	17,862	1.96
長江デルタ	1,338,769	22.12	10,532	0.79	1,200,571	21.55	7,436	0.62
環渤海	828,311	13.69	5,118	0.62	719,187	12.91	4,479	0.62
珠江デルタおよび台 湾海峡西側	1,087,410	17.97	4,673	0.43	1,007,513	18.09	6,358	0.63
中国東北部	169,566	2.80	2,020	1.19	168,974	3.03	2,354	1.39
中国中部	641,554	10.60	8,048	1.25	569,787	10.23	5,766	1.01
中国西部	633,129	10.46	5,468	0.86	581,820	10.45	4,275	0.73
海外	78,567	1.30	544	0.69	94,153	1.69	218	0.23
子会社	332,147	5.49	3,790	1.14	317,748	5.70	2,114	0.67
<b>顧客貸付金合計</b>	<b>6,051,459</b>	<b>100.00</b>	<b>58,004</b>	<b>0.96</b>	<b>5,570,034</b>	<b>100.00</b>	<b>50,862</b>	<b>0.91</b>

注：

(1)各区分の不良債権の同区分の貸付金総額に対する百分率を表す。

(2)本店には、クレジットカード・センターが含まれる。

当グループは、国家戦略および重点地域への貢献に注力し、地域的な優位性のある産業および部門の研究を深めて、長江デルタ地域、広東・香港・マカオ大湾区および中国中部・西部の主要建設プロジェクトに対する信用政策支援および資源配分を強化した。また、「一行一策」の地域展開に関する研究およびリストに基づく運営を引き続き実施し、地域ごとに差別化された方針を策定し、重点地域に所在する支店の加速的な発展を推進した。報告期間末現在、環渤海、長江デルタおよび中国中部などの地域に対する当グループの貸付金残高の割合が増加した。一部の不動産顧客および経営不振の個人事業主顧客のリスク・エクスポージャーの影響を受け、中国中部、長江デルタ、中国西部、海外および子会社に対する当グループの不良債権比率は前年末から上昇した。

## 貸付金および不良債権の担保別内訳

(単位：百万人民元、%を除く。)

	2022年12月31日現在				2021年12月31日現在			
	貸付金 残高	割合(%)	不良債権 不良債権 比率(注)	不良債権 比率(注)	貸付金 残高	割合(%)	不良債権 不良債権 比率(注)	不良債権 比率(注)
無担保貸付	2,219,635	36.68	21,662	0.98	1,977,014	35.51	19,861	1.00
保証付貸付	836,550	13.82	16,698	2.00	752,744	13.51	13,272	1.76
抵当付貸付	2,132,337	35.24	14,246	0.67	2,075,639	37.26	12,684	0.61
質権付貸付	348,883	5.77	5,398	1.55	333,332	5.98	5,045	1.51
割引手形	514,054	8.49	-	-	431,305	7.74	-	-
<b>顧客貸付金合計</b>	<b>6,051,459</b>	<b>100.00</b>	<b>58,004</b>	<b>0.96</b>	<b>5,570,034</b>	<b>100.00</b>	<b>50,862</b>	<b>0.91</b>

注：各区分の不良債権の同区分の貸付金総額に対する百分率を表す。

報告期間末現在、当グループの抵当付貸付および質権付貸付の残高は前年末から3.00%増加した。保証付貸付残高は前年末から11.13%増加し、無担保貸付残高は前年末から12.27%増加した。うち、無担保貸付の不良債権比率が前年末から低下した一方で、その他の保証が付された貸付の不良債権比率は前年末から上昇した。

## 単一の借入人上位10社に対する貸付金

(単位：百万人民元、%を除く。)

借入人 上位10社	業種	2022年12月31日	(先進的測定 手法による)	貸付全体に 占める割合(%)
		現在の 貸付金残高	純資本に 占める割合(%)	
A	金融	20,800	2.00	0.35
B	輸送・倉庫・郵便サービス	19,509	1.88	0.32
C	輸送・倉庫・郵便サービス	15,300	1.47	0.25
D	輸送・倉庫・郵便サービス	11,944	1.15	0.20
E	不動産開発	11,934	1.15	0.20
F	輸送・倉庫・郵便サービス	11,500	1.11	0.19
G	不動産開発	11,370	1.10	0.19
H	輸送・倉庫・郵便サービス	11,280	1.09	0.19
I	不動産開発	10,544	1.02	0.17
J	輸送・倉庫・郵便サービス	9,900	0.95	0.16
合計		134,081	12.92	2.22

報告期間末現在、当グループの最大の単一借入人の貸付金残高は20.800十億人民元で、先進的測定手法による当グループの純資本の2.00%を占めた。当グループの単一の借入人上位10社に対する貸付金残高は合計134.081十億人民元で、先進的測定手法による当グループの純資本の12.92%、加重法による当グループの純資本の13.16%および当グループの貸付金合計の2.22%を占めた。



## 貸付金の延滞期間別内訳

(単位：百万人民元、%を除く。)

	2022年12月31日現在		2021年12月31日現在	
	貸付金残高	割合(%)	貸付金残高	割合(%)
3ヵ月未満の延滞	37,207	0.61	22,327	0.40
3ヵ月以上1年未満の延滞	26,669	0.44	16,339	0.29
1年以上3年未満の延滞	9,810	0.16	10,849	0.19
3年以上の延滞	4,599	0.08	7,911	0.14
<b>延滞貸付金合計</b>	<b>78,285</b>	<b>1.29</b>	<b>57,426</b>	<b>1.02</b>
<b>顧客貸付金合計</b>	<b>6,051,459</b>	<b>100.00</b>	<b>5,570,034</b>	<b>100.00</b>

報告期間末現在の当グループの延滞貸付金は78.285十億人民元であり、前年末から20.859十億人民元増加し、貸付金全体に占める割合は、前年末から0.27ポイント上昇して1.29%となった。不動産会社のリスク・エクスポージャーなどの要因の影響により、報告期間中に、3ヵ月未満の延滞債権の残高は前年末から14.880十億人民元増加し、その割合は前年末から0.21ポイント上昇した。延滞貸付金のうち、抵当付および質権付貸付の割合は28.08%であり、保証付貸付の割合は23.52%であった。無担保貸付の割合は48.40%であり、その大半はクレジットカードの延滞債権であった。当グループは、延滞貸付金について保守的な識別基準を適用しており、90日以上延滞貸付金に対する不良債権の比率は1.41であった。当行の60日以上延滞貸付金に対する不良債権の比率は1.25であった。

## 再編された貸付金

(単位：百万人民元、%を除く。)

	2022年12月31日現在		2021年12月31日現在	
	貸付金残高	割合(%)	貸付金残高	割合(%)
再編された貸付金(注)	12,076	0.20	16,517	0.30
うち、90日以上延滞している再編された貸付金	5,207	0.09	10,406	0.19

注：再編後の不良債権を表す。

当グループは、貸付金の再編を厳格かつ慎重に統制した。報告期間末現在、当グループの再編された貸付金が貸付金全体に占める割合は、前年末から0.10ポイント減の0.20%であった。

## 差押資産および減損引当金

報告期間末現在、当グループの差押資産残高(金融商品を除く。)は612百万人民元であった。減損引当金156百万人民元を控除後の正味簿価は456百万人民元であった。差押金融商品残高は、4.543十億人民元であった。

## 貸付金に対する減損引当金の増減

当グループの貸付金に対する減損引当金の増減を下表に示す。

(単位：百万人民元)

	2022年	2021年
前年末現在の残高	246,104	234,664
当期繰入れ / 戻入れ	45,157	37,020
減損貸付金割引の振戻し (注)	(386)	(247)
過年度に償却された貸付金の回収額	8,972	9,893
当期償却 / 処分	(39,087)	(35,105)
為替レート変動	716	(121)
期末現在残高	261,476	246,104

注：時間の経過に伴う現在価値の増大による、減損貸付に係る償却原価を表す。

当グループは、安定的かつ保守的な引当方針を引き続き採用した。報告期間末現在、当グループの貸付金に対する減損引当金残高は261.476十億人民元で、前年末から15.372十億人民元増加した。不良債権引当率は450.79%で、前年末に比べて33.08ポイント低下した。貸付金に対する引当率は4.32%であり、前年末から0.10ポイント低下した。

## 自己資本比率の分析

## 自己資本比率

報告期間末現在、先進的測定手法による当グループのコアTier 1自己資本比率、Tier 1自己資本比率および自己資本比率はそれぞれ13.68%、15.75%および17.77%と、前年末からそれぞれ1.02ポイント、0.81ポイントおよび0.29ポイント上昇した。

(単位：百万人民元、%を除く。)

当グループ	2022年12月31日	2021年12月31日	当期末現在の 前年末からの 増減(%)
<b>先進的測定手法による自己資本比率<sup>(1)</sup></b>			
コアTier 1自己資本純額	799,352	704,337	13.49
Tier 1自己資本純額	919,798	831,380	10.64
純資本	1,037,942	972,606	6.72
リスク加重資産(並行実施期間中のフロア要件を不適用)	5,491,072	5,037,500	9.00
うち：信用リスク加重資産	4,823,836	4,441,186	8.62
市場リスク加重資産	89,200	60,296	47.94
オペレーショナル・リスク加重資産	578,036	536,018	7.84
リスク加重資産(並行実施期間中のフロア要件を適用)	5,841,685	5,563,724	5.00
コアTier 1自己資本比率	13.68%	12.66%	1.02ポイント増
Tier 1自己資本比率	15.75%	14.94%	0.81ポイント増
自己資本比率	17.77%	17.48%	0.29ポイント増
<b>レバレッジ比率に関する情報<sup>(2)</sup></b>			
オンおよびオフバランスシート資産の調整後残高	11,569,842	10,394,899	11.30
レバレッジ比率	7.95%	8.00%	0.05ポイント減

注：

- (1)「先進的測定手法」とは、2012年6月7日に旧中国銀行業監督管理委員会(以下「旧CBRC」という。)が公布した「商業銀行資本管理規則(試行)」に規定された先進的測定手法を指す(以下も同様である。)。先進的測定手法の要件に従って、当グループの自己資本比率の計算のための事業体の範囲には、当行およびその子会社が含まれる。当行の自己資本比率の計算のための事業体の範囲には、当行の国内外の支店および準支店すべてが含まれる。報告期間末現在、自己資本比率の計算のための当グループの子会社には、招商永隆銀行、CMBIC、CMBFL、CMBウェルスマネジメント、CMFM、CIGNA & CMAMおよびCMBヨーロッパが含まれた。先進的資本測定手法が実施される並行実施期間中に、商業銀行は、自己資本比率の計算のために先進的測定手法とその他の手法の双方を使用し、また、資本フロア要件を遵守しなければならない。資本フロア調整係数は、並行実施期間中の1年目には95%、2年目には90%および3年目(すなわち2017年)以降は80%とされる。
- (2)2015年以降は、2015年2月12日に旧CBRCが公布した「商業銀行レバレッジ比率管理規則(改訂)」に基づいてレバレッジ比率が計算されている。2022年第3四半期末、2022年上半期末および2022年第1四半期末現在の当グループのレバレッジ比率は、それぞれ8.00%、7.64%および8.07%であった。

報告期間末現在、先進的測定手法による当行のコアTier 1自己資本比率、Tier 1自己資本比率および自己資本比率はそれぞれ13.23%、15.42%および17.51%と、前年末からそれぞれ1.08ポイント、0.83ポイントおよび0.28ポイント上昇した。

(単位：百万人民元、%を除く。)

当行	2022年12月31日	2021年12月31日	当期末現在の 前年末からの 増減(%)
<b>先進的測定手法による自己資本比率</b>			
コアTier 1自己資本純額	701,033	617,403	13.55
Tier 1自己資本純額	817,387	741,627	10.22
純資本	927,881	875,859	5.94
リスク加重資産(並行実施期間中のフロア要件を不適用)	4,925,532	4,530,952	8.71
うち：信用リスク加重資産	4,330,955	4,002,933	8.19
市場リスク加重資産	69,000	39,049	76.70
オペレーショナル・リスク加重資産	525,577	488,970	7.49
リスク加重資産(並行実施期間中のフロア要件を適用)	5,299,237	5,082,896	4.26
コアTier 1自己資本比率	13.23%	12.15%	1.08ポイント増
Tier 1自己資本比率	15.42%	14.59%	0.83ポイント増
自己資本比率	17.51%	17.23%	0.28ポイント増

報告期間末現在、加重法による当グループのコアTier 1自己資本比率、Tier 1自己資本比率および自己資本比率はそれぞれ11.52%、13.25%および14.68%と、前年末からそれぞれ0.35ポイントおよび0.06ポイントの上昇ならびに0.03ポイントの低下を示した。自己資本比率の低下は主に、報告期間中に当行が1十億米ドルの国外優先株式を償還したためであった。

(単位：百万人民元、%を除く。)

当グループ	2022年12月31日	2021年12月31日	当期末現在の 前年末からの 増減(%)
<b>加重法による自己資本比率<sup>(注)</sup></b>			
コアTier 1自己資本純額	799,352	704,337	13.49
Tier 1自己資本純額	919,798	831,380	10.64
純資本	1,018,678	927,277	9.86
リスク加重資産	6,941,350	6,303,544	10.12
コアTier 1自己資本比率	11.52%	11.17%	0.35ポイント増
Tier 1自己資本比率	13.25%	13.19%	0.06ポイント増
自己資本比率	14.68%	14.71%	0.03ポイント減

注：「加重法」とは、2012年6月7日に旧CBRCが公布した「商業銀行資本管理規則（試行）」の関連規定に従った、信用リスクについては加重法、市場リスクについては標準的測定手法、オペレーショナル・リスクについては基礎的指標手法をいう。以下も同様である。

報告期間末現在、加重法による当行のコアTier 1自己資本比率、Tier 1自己資本比率および自己資本比率はそれぞれ10.97%、12.79%および14.22%と、前年末からそれぞれ0.37ポイントおよび0.06ポイントの上昇ならびに0.04ポイントの低下を示した。

(単位：百万人民元、%を除く。)

当行	2022年12月31日	2021年12月31日	当期末現在の 前年末からの 増減(%)
<b>加重法による自己資本比率</b>			
コアTier 1自己資本純額	701,033	617,403	13.55
Tier 1自己資本純額	817,387	741,627	10.22
純資本	908,572	830,529	9.40
リスク加重資産	6,390,196	5,824,290	9.72
コアTier 1自己資本比率	10.97%	10.60%	0.37ポイント増
Tier 1自己資本比率	12.79%	12.73%	0.06ポイント増
自己資本比率	14.22%	14.26%	0.04ポイント減

## 信用リスク・エクスポージャー残高

報告期間中に、内部格付手法（以下「IRB手法」という。）に基づく当行の信用リスクは、以下の６種類のリスク・エクスポージャーに分類された。すなわち、ソブリン、金融機関、企業、個人、株式保有およびその他である。報告期間末現在の各種リスク・エクスポージャーの残高を下表に示す。

(単位：百万人民元)			
2022年12月31日現在			
	リスク・エクスポージャーの種類	法人	グループ
IRB手法の対象部分	金融機関	1,223,199	1,223,199
	企業	2,394,452	2,394,452
	個人	3,693,448	3,693,448
	うち：		
	住宅ローン	1,383,477	1,383,477
	個人向け適格リボルビング	1,703,749	1,703,749
	その他個人向け	606,222	606,222
IRB手法の対象ではない部分	オンバランスシート	3,983,915	4,489,602
	オフバランスシート	207,840	226,091
	相手方	11,648	12,479

## 市場リスク資本の測定

当グループは、市場リスク資本所要額の計算のために様々な手法を用いている。具体的には、当行（海外支店を除く。）の一般的な市場リスク資本所要額の計算には内部モデルに基づく手法を、当行の海外支店および子会社の一般的な市場リスク資本所要額ならびに当行およびその子会社の特定の市場リスク資本所要額の計算には標準的測定手法を用いている。報告期間末現在、当グループの市場リスク加重資産は89.200十億人民元であり、市場リスク資本所要額は7.136十億人民元であった。うち、内部モデルに基づく手法で計算された一般的な市場リスク資本所要額は4.972十億人民元であり、標準的測定手法により計算された市場リスク資本所要額は2.164十億人民元であった。

当グループの内部モデルに基づく手法による市場リスク資本所要額は、250日間の市場実績データ、99%の信頼区間および10日の保有期間に基づく市場リスク価値を用いて計算された。報告期間末現在の当グループの市場リスク価値指標を下表に示す。

(単位：百万人民元)			
2022年12月31日現在			
番号	項目	報告期間中の 圧力下にある 市場リスク価値	報告期間中の 一般的な 市場リスク価値
1.	平均価値	772	535
2.	最大価値	942	727
3.	最小価値	440	182
4.	期末価値	849	468

## セグメント別経営成績

当グループの主な事業セグメントには、リテール金融事業およびホールセール金融事業が含まれる。表示期間における当グループの各事業セグメントの経営成績の概要を下表に示す。

項目	2022年		2021年	
	(単位：百万人民元)			
	事業セグメント別 税引前利益	正味営業収益	事業セグメント別 税引前利益	正味営業収益
リテール金融事業	94,178	191,415	77,709	179,014
ホールセール金融事業	67,149	142,094	67,386	142,618
その他事業	3,786	11,231	3,078	9,775
合計	165,113	344,740	148,173	331,407

注：2022年以降、当グループはCMBFLをその他の事業セグメントからホールセール金融事業セグメントに変更したため、前年の比較数値が調整されている。

報告期間中、当グループのリテール金融事業の税引前利益は94.178十億人民元と、前年から21.19%増加し、また、当グループの税引前利益合計に占める割合は57.04%と、前年から4.60ポイント増加した。正味営業収益は前年から6.93%増の191.415十億人民元となり、当グループの正味営業収益に占める割合は55.52%と、前年から1.50ポイント増加した。報告期間中、当グループのリテール金融事業の費用収益比率は、前年から1.48ポイント低下して31.95%になった。

当グループの事業および地域セグメントの詳細については、「第6 - 1 財務書類」に掲げる財務書類に対する注記56を参照されたい。

## キャッシュ・フローの状況

2022年には、営業活動から570,143百万人民元のキャッシュ・インフローが生じた。2021年には、営業活動から182,048百万人民元のキャッシュ・インフローが生じた。かかる変動は、主に顧客預金の増加によるものであった。

2022年には、投資活動から513,926百万人民元のキャッシュ・アウトフローが生じた。2021年には、投資活動から19,697百万人民元のキャッシュ・アウトフローが生じた。かかる変動は、主に投資の購入のための支払いの増加によるものであった。

2022年には、財務活動によって297,032百万人民元のキャッシュ・アウトフローが生じた。2021年には、財務活動から89,359百万人民元のキャッシュ・インフローが生じた。かかる変動は、主に相対銀行間譲渡性預金証書の返済の増加および相対銀行間譲渡性預金証書の発行手取金の減少によるものであった。

2022年12月31日現在の現金および現金同等物の残高は567,198百万人民元であり、2021年12月31日現在から234,556百万人民元減少した。

## 4【経営上の重要な契約等】

当年度中、当行は、当行の事業に重要な影響を及ぼす契約を締結しなかった。

## 5【研究開発活動】

該当事項なし。



## **第4【設備の状況】**

### **1【設備投資等の概要】**

「第6 - 1 財務書類」に掲げる財務書類に対する注記28を参照されたい。

### **2【主要な設備の状況】**

「第2 - 3 事業の内容」および「第6 - 1 財務書類」に掲げる財務書類に対する注記28を参照されたい。

### **3【設備の新設、除却等の計画】**

該当事項なし。

## 第5【提出会社の状況】

### 1【株式等の状況】

#### (1)【株式の総数等】

##### 【株式の総数】

(2022年12月31日現在)

授權株数 <sup>(1)</sup>	発行済株式総数	未発行株式数 <sup>(1)</sup>
-	25,494,845,601株 <sup>(2)</sup>	-

注：

(1) 中国会社法は、授權株式の制度を定めていない。

(2) A 株式20,628,944,429株、H 株式4,590,901,172株および国内優先株式275,000,000株からなる。

##### 【発行済株式】

(2022年12月31日現在)

記名・無記名の別および 額面・無額面の別	種類	発行数	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
記名式額面1.00人民幣元	普通株式	25,219,845,601株	A 株式：上海証券取引所 H 株式：香港証券取引所	1 株当たり 1 個の議決権
記名式額面100.00人民幣元	国内優先株式	275,000,000株	上海証券取引所	(注)

注：優先株式の株主は通常、当行の株主総会を招集し、当行の株主総会に出席し、または株主総会において議決権を行使する権利を有さない。ただし、とりわけ所定の期間にわたって優先株式の株主に所定の配当が支払われない場合、ならびに優先株式に関連する定款の変更、当行の登録資本金の10%超の減少、当行の分割、合併、解散もしくは会社形態の変更、優先株式の発行ならびに法律、行政規則、部門規則および当行定款に規定されたその他の場合を含む状況においてはこの限りでない。

詳細については、「第1 - 1 - (2) 提出会社の定款等に規定する制度」および「第6 - 1 財務書類」に掲げる財務書類に対する注記46(a)も参照されたい。

#### (2)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項なし。

## (3)【発行済株式総数及び資本金の推移】

## A 株式

年月日	発行済株式総数（株）		資本金（人民币元）		摘要
	増減数	残高	増減額	残高	
2017年12月31日		20,628,944,429		20,628,944,429 (400,614百万円)	
2018年12月31日		20,628,944,429		20,628,944,429 (400,614百万円)	
2019年12月31日		20,628,944,429		20,628,944,429 (400,614百万円)	
2020年12月31日		20,628,944,429		20,628,944,429 (400,614百万円)	
2021年12月31日		20,628,944,429		20,628,944,429 (400,614百万円)	
2022年12月31日		20,628,944,429		20,628,944,429 (400,614百万円)	

## H 株式

年月日	発行済株式総数（株）		資本金（人民币元）		摘要
	増減数	残高	増減額	残高	
2017年12月31日		4,590,901,172		4,590,901,172 (89,155百万円)	
2018年12月31日		4,590,901,172		4,590,901,172 (89,155百万円)	
2019年12月31日		4,590,901,172		4,590,901,172 (89,155百万円)	
2020年12月31日		4,590,901,172		4,590,901,172 (89,155百万円)	
2021年12月31日		4,590,901,172		4,590,901,172 (89,155百万円)	
2022年12月31日		4,590,901,172		4,590,901,172 (89,155百万円)	

**優先株式**

年月日	発行済株式総数（株）		資本金（人民元）		摘要
	増減数	残高	増減額	残高	
2017年12月31日		325,000,000		0	
2018年12月31日		325,000,000		0	
2019年12月31日		325,000,000		0	
2020年12月31日		325,000,000		0	
2021年12月31日		325,000,000		0	
2022年10月25日	-50,000,000				(1)
2022年12月31日		275,000,000			

注：

(1) 当行は、2022年10月25日に国外優先株式を完全償還した。

**(4) 【所有者別状況】**

報告期間末現在、当行の普通株式の株主数は合計570,634名であった。うち、当行A株式の株主は541,363名であり、当行H株式の株主は29,271名であった。当行A株式の株主および当行H株式の株主のいずれも、譲渡制限に服する者はいない。当行は、それらの株主の所有者別状況に関する情報は保有していない。

報告期間末現在、当行の優先株式の株主（またはその名義人）の数は合計18名であり、その全員が国内優先株式の株主であった。

## (5)【大株主の状況】

## 普通株式

2022年12月31日現在の当行の普通株式の株主上位10位は以下のとおりである。

氏名	住所	株式数	持分（概算） （%）	株式の種類
HKSCC ノミニーズ・リミテッド	香港	4,553,256,923	18.05	H 株式
招商局輪船有限公司	中国北京市	3,289,470,337	13.04	A 株式
中国遠洋運輸有限公司	中国北京市	1,574,729,111	6.24	A 株式
香港中央結算有限公司	香港	1,506,791,186	5.97	A 株式
深圳市晏清投資發展有限公司	中国深圳市	1,258,542,349	4.99	A 株式
招商局金融控股有限公司	中国深圳市	1,147,377,415	4.55	A 株式
和諧健康保險股份有限公司 - 従来型 - 普通保險商品	中国北京市	1,130,991,537	4.48	A 株式
深圳市楚源投資發展有限公司	中国深圳市	944,013,171	3.74	A 株式
大家人寿保險股份有限公司 - ユニバーサル商品	中国北京市	804,907,835	3.19	A 株式
中遠海運（広州）有限公司	中国広州市	696,450,214	2.76	A 株式
合計		16,906,530,078	67.04	

注：

- (1)HKSCC ノミニーズ・リミテッドが保有する株式は、HKSCC ノミニーズ・リミテッドの売買プラットフォーム上で取引される当行H株式の保有者の口座内の株式合計数である。香港中央結算有限公司は、ノミニ株主の資格において第三者のために株式を保有するために第三者によって指定された機関であり、その保有する株式は、上海・香港ストックコネクト経由で投資家が取得した当行株式である。
- (2)報告期間末現在、上記の株主上位10位のうち、HKSCC ノミニーズ・リミテッドは香港中央結算有限公司の子会社である。招商局輪船有限公司、深圳市晏清投資發展有限公司、招商局金融控股有限公司および深圳市楚源投資發展有限公司は、いずれも招商局集団有限公司の子会社である。中国遠洋運輸有限公司および中遠海運（広州）有限公司は、いずれも中国遠洋海運集団有限公司の子会社である。当行は、その他の株主間の関係または協調行為については了知していない。
- (3)上記のA株式の株主は証券口座を通じて当行の株式を保有しておらず、また、代理人、受託者または議決権の放棄の事例もなかった。

## 優先株式

報告期間末現在の当行の国内優先株式の株主上位10位は以下のとおりである。

氏名	住所	期末現在 保有株式数	持分(%)
中国移动通信集团有限公司	中国北京市	106,000,000	38.55
建信資本 - 中国建設銀行オープンエンド型プライベートバンキング人民元建てウェルスマネジメント商品(日次計算)「乾元 - プライベート」 - 建信資本安シン・プライベート2号特別資産管理スキーム	中国上海市	40,000,000	14.55
中銀資産 - 中国銀行 - 中国銀行股份有限公司深圳市支店	中国深圳市	25,000,000	9.09
中国煙草総公司河南省公司	中国鄭州市	20,000,000	7.27
中国平安財産保険股份有限公司 - 従来型 - 普通保険商品	中国深圳市	20,000,000	7.27
中国煙草総公司安徽省公司	中国合肥市	15,000,000	5.45
中国煙草総公司四川省公司	中国成都市	15,000,000	5.45
光大証券資産管理 - 光大銀行 - 光大証券資産管理シン優2号集団資産管理スキーム	中国上海市	9,000,000	3.27
光大証券資産管理 - 光大銀行 - 光大証券資産管理シン優集団資産管理スキーム	中国上海市	7,200,000	2.62
長江養老保険 - 中国銀行 - 中国太平洋人寿保险股份有限公司	中国上海市	5,000,000	1.82
中国煙草総公司遼寧省公司	中国瀋陽市	5,000,000	1.82

注：

- (1)国内優先株式の株主の持分は、当行の優先株式の株主名簿に従って単一の口座で表示されている。
- (2)中国煙草総公司河南省公司、中国煙草総公司安徽省公司、中国煙草総公司四川省公司および中国煙草総公司遼寧省公司是、いずれも中国煙草総公司の子会社である。「光大証券資産管理 - 光大銀行 - 光大証券資産管理シン優2号集団資産管理スキーム」および「光大証券資産管理 - 光大銀行 - 光大証券資産管理シン優集団資産管理スキーム」は、いずれも光大証券資産管理有限公司によって管理されている。それ以外には、当行は、上記の優先株式の株主間の、または上記の優先株式の株主と普通株式の上位10位の株主の間の関係または協調行為については了知していない。
- (3)「持分」は、国内優先株式数合計に対する、優先株式の株主が保有する国内優先株式数の割合を表す。

## 2【配当政策】

当行取締役会は、当行の配当支払い（もしあれば）に関する提案を株主総会に提出して承認を求める責任を負う。当行の経営成績、キャッシュ・フロー、財政状態、自己資本比率、将来の事業の見通し、配当金の支払いに関する法制上の制約および当行取締役会が該当するとみなすその他要因に基づいて、配当実施の可否と配当金の金額が決定される。中国会社法および当行の定款に基づき、同種類の株式を保有する当行のすべての株主は、その株式持分に比例して、配当およびその他分配に対して平等な権利を有する。当行は通常、中国GAAPに基づいて決定された当行の税引後利益である当行の分配可能利益から以下を控除した上で、普通株式の株主に配当金を支払う。

- ・前年度の損失の補填
- ・法定一般準備金が当行の登録資本金の50%に達するまで、当行が義務づけられている中国GAAPに基づき決定された当行の分配可能純利益の、現在は10%に相当する法定一般準備金への割当て
- ・積立てを義務づけられている規制一般準備金
- ・優先株式の配当金の分配
- ・年次株主総会における株主の承認に従った任意一般準備金への割当て

財政部の規則に従い、当行は原則として、リスクおよび損失を有する増加した当行の資産の期末残高の1.5%の規制一般準備金を利益分配前に確保しなければならない。かかる規制一般準備金は当行の準備金の一部を構成する。

現行の法令、自己資本比率に関する規制当局の関連要件、ならびに当行の一般運転資金、事業の発展ならびに大規模な投資の必要性および合併買収計画に係る要件を満たすことを条件として、当行が年度ごとに分配する現金配当は、原則として、当該年度について中国の会計基準に従って監査された税引後当期純利益の30%を下回ってはならない。当行は、中間現金配当を支払うことができる。株主総会における別段の決議がない限り、当行の取締役会は、株主総会において中間配当分配方針を承認する権限を有する。当行が前会計年度に利益を計上したが取締役会が前会計年度末の後に現金利益分配を提案しなかった場合、当行は、利益分配を行わない理由および利益剰余金の使途を定期報告書で述べるものとし、独立取締役がかかる事項について独立意見を申述するものとする。当行取締役会が、当行の株価が当行の株式資本の規模に相応でないと考える場合、または取締役会が必要であるとみなす場合には、取締役会は、上記の現金配当分配方法に従うことを条件として、株式による配当分配計画を提案し、株主総会による審議および承認後にそれを実施することができる。

特定の年度において分配されなかった分配可能利益は留保され、翌年度以降の分配に利用することができる。ただし、通常、当行は分配可能利益のない年度には配当を支払わない。当行の配当の支払いは、株主総会においても承認されなければならない。

2021年について、当行は、1株当たり1.522人民元（税金を含む。）の現金配当を支払った。

2022年については、1株当たり1.738人民元（税金を含む。）の現金配当の宣言を提案した。

「第6 - 1 財務書類」に掲げる財務書類に対する注記52も参照されたい。

当行のH株式の株主名簿に記載された非居住者の法人株主（HKSCC ノミニーズ・リミテッドを含む。）に分配される配当に係る中国企業所得税の源泉徴収については、「第1 - 3 (1) 中国における租税 - 配当に対する課税」を参照されたい。

当行は、2016年度年次株主総会、2017年第1回A株式種類株主総会および2017年第1回H株式種類株主総会において審議され、承認された「国外優先株式の非公開発行計画に関する決議」の関連要件に従って、2022年10月25日に、関連する分配条件および分配手続きに則って、国外優先株式に係る配当を全額支払った。

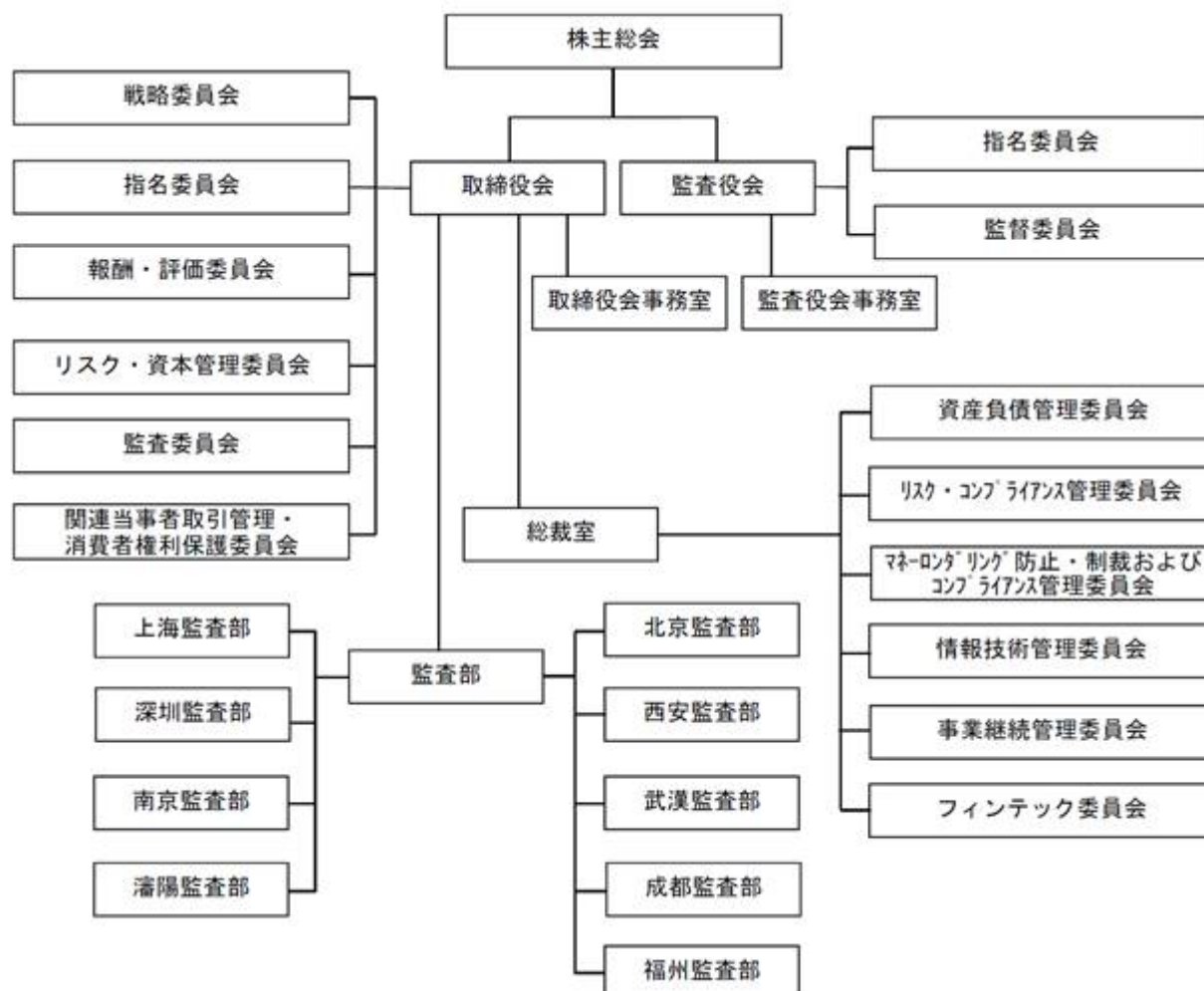
当行は、2016年度年次株主総会、2017年第1回A株式種類株主総会および2017年第1回H株式種類株主総会において審議され、承認された「国内優先株式の非公開発行計画に関する決議」の関連要件に従って、2022年12月19日に、関連する分配条件および分配手続きに則って、国内優先株式に係る配当を全額支払った。

優先株式に関する配当政策については、「第6 - 1 財務書類」に掲げる財務書類に対する注記46(a)を参照されたい。

### 3【コーポレート・ガバナンスの状況等】

#### (1)【コーポレート・ガバナンスの概要】

当行のコーポレート・ガバナンス構造は以下のとおりである。



報告期間中、当行は株主総会を1回開催した。株主総会では13件の議案が審議され、6件の報告が聴取された。

報告期間中、当行は取締役会会議を18回開催し、86件の議案を審議し、17件の報告を受けた。また、取締役会専門委員会の会議を35回開催し、104件の議案を審議し、33件の報告を受けた。また、非業務執行取締役会会議を1回開催し、1件の報告を受けた。報告期間中、当行の第11期取締役会は、第35回会議（1月7日）、第36回会議（3月16日）、第37回会議（3月18日）、第38回会議（4月18日）、第39回会議（4月22日）、第40回会議（5月19日）、第41回会議（5月20日）および第42回会議（6月22日）を開催し、また、第12期取締役会は、第1回会議（6月29日）、第2回会議（7月12日）、第3回会議（7月22日）、第4回会議（8月18日）、第5回会議（8月19日）、第6回会議（9月20日）、第7回会議（10月28日）、第8回会議（11月29日）、第9回会議（12月28日）および第10回会議（12月30日）を開催し、当行の年次報告書、利益分配計画、戦略実施評価報告書、グリーン発展計画、総合リスク報告書、リスク選好実施報告書、自己資本比率報告書、人材管理および人材戦略実施報告書、取締役会業務報告書、取締役会および取締役の職務履行評価報告書、総裁業務報告書、金融包摂の発展および業務計画に関する報告書、データ・ガバナンス業務総括および業務計画、関連当事者取引管理報告書、消費者権利保護報告書、持続可能な発展に関する報告書およびその他の関連議案を優先的に検討した。

報告期間中、当行は監査役会会議を14回開催し、監査役会会議では37件の議案が審議され、20件の報告が聴取された。また、監査役会専門委員会の会議を5回開催し、かかる会議では7件の議案が審議された。さらに、監査役会はグループ調査を4回実施した。

CSRCが公布した「上場会社のガバナンスに係る特別措置の実施に関する公告」（[2020]69号）およびCSRCの深圳支部が公布した「質の高い発展の実現に向けたガバナンス向上のための法域における上場会社の主要な責任の推進に関する通知」（[2020]128号）の関連要件に基づいて徹底した自己点検の実施後、当行は、上場企業のコーポレート・ガバナ



ンスを対象とした法律、行政規則およびCSRCの規制文書に定められた要件についてコーポレート・ガバナンス慣行のいかなる重大な違反も認識していない。

## 取締役会

取締役会は当行の独立した政策決定機関であり、株主総会決議を執行し、当行の主要な指針および政策（発展戦略、リスク選好、内部統制および内部監査制度ならびに報酬規則を含む。）を策定し、当行の業務計画、投資および資金調達案を決定し、年度予算、決算および利益処分計画を作成し、上級役員を任命および評価することに責任を負っている。当行は、取締役会の主導のもとで総裁が全面的に責任を負う制度を採用している。上級管理チームはその運営に裁量権を有しており、取締役会による授権の範囲内で日常業務および経営に関する決定を行う。取締役会は、当行の日常業務および経営におけるいかなる特定の事項にも干渉しない。

当行の取締役会は、多岐に亘った管理構造の構築を通じて科学的かつ合理的な意思決定を促進しており、専門委員会の効果的な運営を推進することで意思決定および業務効率を継続的に改善している。取締役会は重要な問題、方向性および戦略に焦点を当て、バランスのとれた健全で持続可能な発展という企業理念の強化を継続している。取締役会は、当行の戦略、リスク、資本、報酬、内部統制および関連当事者取引などの効果的な管理を通じて、当行が質、効率および規模の面において動的にバランスの取れた発展を遂げ、それによって当行が経営管理能力を高めるための確固たる基盤を提供することを確保している。

報告期間末現在、当行は15名の取締役を有しており、うち8名は非業務執行取締役、1名は業務執行取締役および6名は独立非業務執行取締役である。非業務執行取締役は8名全員が大手国有企業において取締役会会長、総経理、副総経理または最高財務責任者などの豊富な経験を有する経営幹部であり、企業経営や財務会計分野において広範な経験を有している。業務執行取締役1名は長年にわたって金融管理に従事しており、専門的な経験を広く有している。独立非業務執行取締役6名の中には、財務会計における著名な専門家、大学教授および国際的視野を有する金融専門家があり、全員が国内外の銀行業界の発展に関する深い知識を有している。香港出身の独立非業務執行取締役1名は、IFRSおよび香港の資本市場の要件に精通している。報告期間中、当行の取締役会には1名の女性の取締役が在籍しており、他の男性の取締役とともに、各自の分野において当行に専門的意見を提供している。

当行は取締役の多様性を維持することを極めて重視しており、当年度中には当行定款を改正して多様性に関する方針を定款に含めた。うち、「性別、年齢、文化、学歴および専門的経験を含む（がこれらに限定されない）取締役の多様性を促進し、多様性の実施状況を定期的に検討する」ことが、取締役会の指名委員会の新たな職務に追加された。当行の取締役会の構成が多様であることで、幅広い視野および高度に専門的な経験が当行にもたらされており、また、当行の取締役会が重要な問題を調査および検討するに当たって独立した判断や科学的な決定を効果的に行うことを確保する独立性の要素が維持されていた。

報告期間末現在、当行は、性別、専門的背景および業界経験の異なるメンバーで構成される取締役会を維持していた。取締役会の指名委員会は、年1回以上、当行の事業活動、資産規模および株式保有構造に応じて取締役会の構造、人数、構成および多様性の実施と有効性（性別、技能、知識および経験などの複数の側面を含む。）を評価し、当行の戦略に沿うように取締役会の変更について助言しなければならない。

## 独立非業務執行取締役による職務の遂行

当行の取締役会は6名の独立非業務執行取締役を有しており、取締役全体の3分の1以上を独立取締役とすることを求める要件を満たしている。独立非業務執行取締役の資格、人数および割合は、CBIRC、CSRC、上海証券取引所および香港上場規則の関連要件を遵守している。当行の独立非業務執行取締役は6名とも、その独立性に疑義を生じさせるような香港上場規則第3.13に規定された状況には関わっていない。当行は各独立非業務執行取締役から、香港上場規則第3.13に従って作成された独立非業務執行取締役の独立性の年次確認書を受領している。そのため、当行は、すべての独立非業務執行取締役が香港上場規則に規定された独立性の要件を満たしていると考えている。取締役会の指名委員会、報酬・評価委員会、監査委員会および関連当事者取引管理・消費者権利保護委員会の委員の過半数は独立非業務執行取締役であり、かかる委員会の委員長はすべて独立非業務執行取締役である。報告期間中、6名の独立非業務執行取締役は、会議、特別調査研究および会合への本人による出席をもって当行と継続的に意思疎通を行った。また、取締役会および各専門委員会の会議に熱心に参加し、積極的に意見を表明し、提案を行い、少数株主の利益や要請に対応することで、独立非業務執行取締役としての役割を有効に果たした。

## 取締役会専門委員会

当行の取締役会の下に、6つの専門委員会（すなわち、戦略委員会（2023年4月の定款の承認に伴い、戦略・持続可能な発展委員会に名称が変更された。）、指名委員会、報酬・評価委員会、リスク・資本管理委員会、監査委員会および関連当事者取引管理・消費者権利保護委員会）が設置されている。

2022年、当行のすべての取締役会専門委員会は、その専門的な強みを十分に発揮し、様々な職務を真摯に遂行し、戦略的指針、フィンテック、リスク管理、内部統制およびコンプライアンス、金融包摂、グリーンファイナンス、関連当事者取引管理、消費者権利保護、インセンティブおよび抑制メカニズムならびに取締役会の構築について取締役会に積極的に助言を行った。2022年に、かかる専門委員会は合計35回の会議を開催して137件の重要な問題を審議検討し、そ

の検討意見および助言を議事録の提出および現地会議の開催を通じて取締役会に報告することで、取締役会が科学的な決定を下すための支援を行う役割を全面的に果たした。

6つの取締役会専門委員会の構成および職務の概要は以下のとおりである。

### 戦略委員会

2023年3月24日現在の戦略委員会の委員は、繆建民氏（委員長）、故建華氏、孫雲飛氏、周松氏（いずれも非業務執行取締役）、王良氏（業務執行取締役）および李朝鮮氏（独立非業務執行取締役）であった。同委員会は、主に当行の業務および経営目標ならびに中長期発展戦略を策定し、年間経営計画および投資計画の実行を監督し、検討することに責任を負っている。

同委員会の主たる権限および職務は以下のとおりである。

- 1．当行の業務目標および中長期の発展戦略を策定し、戦略上のリスクを全般的に評価すること
- 2．重要な投資および資金調達計画を検討し、取締役会に提案すること
- 3．年間経営計画および投資計画の実施を監督および検討すること
- 4．取締役会決議の実施を評価および監視すること
- 5．取締役会で議論および決定される重要事項につき提案を行うこと
- 6．データ・ガバナンス戦略およびデータ・ガバナンスに関連する主要な問題を策定すること
- 7．ESG発展戦略および基本管理体制を見直し、ESG関連業務報告書を検討し、ESG発展戦略の実施状況を定期的に評価し、規則により要求されるその他のESG関連業務の実施を推進すること
- 8．取締役会が授権するその他一切の職務を実行すること

### 指名委員会

指名委員会の委員の過半数は独立非業務執行取締役であり、独立非業務執行取締役が委員長を務めている。2023年3月24日現在、同委員会の委員には、王仕雄氏（委員長）、李孟剛氏、劉俏氏（いずれも独立非業務執行取締役）、繆建民氏（非業務執行取締役）および王良氏（業務執行取締役）が含まれていた。同委員会は、主に取締役および上級役員候補者の選任基準および手続きを策定し、取締役および上級役員の任命のための資格の予備検証を行い、取締役会に対して提案を行うことに責任を負っている。

同委員会の主たる権限および職務は以下のとおりである。

- 1．当行の取締役会の構造、規模および構成（取締役の専門技能、知識および経験を含む。）を年1回以上見直し、当行の事業活動、資産規模および株主構造に応じて当行の戦略を実行するための取締役会の変更案について勧告すること
- 2．取締役および上級役員の選任基準および選任手続きを検討し、取締役会に提案すること
- 3．取締役および上級役員の有資格候補者を求めて広範な調査を行うこと
- 4．取締役および上級役員の候補者に関する予備審査を行い、取締役会に推薦すること
- 5．取締役会が授権するその他一切の職務を実行すること

### 報酬・評価委員会

報酬・評価委員会の委員の過半数は独立非業務執行取締役であり、独立非業務執行取締役が委員長を務めている。2023年3月24日現在、同委員会の委員には、李孟剛氏（委員長）、劉俏氏、李朝鮮氏（いずれも独立非業務執行取締役）、洪小源氏および陳冬氏（いずれも非業務執行取締役）が含まれていた。同委員会は、主に当行の報酬管理制度および方針を検討し、取締役および上級役員の報酬案を策定し、取締役会に対して提案を行い、かかる提案の実行を監督することに責任を負っている。

同委員会の主たる権限および職務は以下のとおりである。

- 1．取締役および上級役員の評価基準を検討し、当行の現状に基づき評価および提案を行うこと
- 2．当行の取締役および上級役員の報酬方針および報酬案を検討および審議し、取締役会に提案を行い、かかる提案の実施を監督すること
- 3．当行の報酬規則および方針を検討すること
- 4．取締役会が授権するその他一切の職務を実行すること

## リスク・資本管理委員会

2023年3月24日現在、リスク・資本管理委員会の委員は、洪小源氏（委員長）、張健氏、陳冬氏（いずれも非業務執行取締役）、王良氏（業務執行取締役）、劉俏氏および史永東氏（いずれも独立非業務執行取締役）であった。同委員会は、主に様々な重要なリスクについて当行の上級役員によるリスク管理状況を監督し、当行のリスク方針、リスク耐性および資本管理状況を定期的に評価し、当行のリスク管理および資本管理の改善案を提出することに責任を負っている。

同委員会の主たる権限および職務は以下のとおりである。

- 1．信用リスク、市場リスク、オペレーショナル・リスク、流動性リスク、戦略リスク、コンプライアンス・リスク、レピュテーション・リスク、カントリー・リスクおよびその他リスクに関する当行の上級経営陣によるリスク管理状況を監督すること
- 2．当行のリスク方針、経営状況、リスク耐性および資本の状況を定期的に評価すること
- 3．取締役会による授権に基づき、先進的資本測定手法に基づき関連職務を行うこと
- 4．当行のリスク管理および資本管理を改善するための提案を行うこと
- 5．取締役会による授権に基づき、リスク防止業務を手配し、指図すること
- 6．取締役会が授権するその他一切の職務を実行すること

## 監査委員会

監査委員会の委員の過半数は独立非業務執行取締役であり、独立非業務執行取締役が委員長を務めている。2023年3月24日現在、同委員会の委員は、田宏啟氏（委員長）、王仕雄氏、李孟剛氏、史永東氏（いずれも独立非業務執行取締役）および周松氏（非業務執行取締役）であった。このうち、当行の現在の監査人のパートナーを務めたことのある者はいない。同委員会は、主に当行の会計方針および財政状態の検査に責任を負い、当行の年次監査業務、社外監査人の任命またはその後任の提案ならびに当行の内部監査および内部統制状況の検討に責任を負っている。

同委員会の主たる権限および職務は以下のとおりである。

- 1．社外監査人の任命またはその後任を提案すること
- 2．当行の内部監査制度およびその実施を監視し、内部監査部門の業務手順および業務の有効性を評価すること
- 3．内部監査部門と社外監査人の間の連絡を調整すること
- 4．当行の財務情報およびその開示を監査し、当行の年次監査業務（監査済財務書類に記載された情報が真実、正確、完全かつ最新のものであることに関する最終報告書の発行を含む。）に責任を負い、かかる報告書を取締役に提出して検討を求めること
- 5．当行の内部統制制度を検討し、当行の内部統制改善のための助言を行うこと
- 6．当行が常に公正かつ独立の立場から内部告発問題を扱い、適切な措置を講じることを確保するために、当行の従業員が財務書類または内部統制などに関する不正行為を内部告発するための仕組みを見直し、監督すること
- 7．当行の会計方針、財務報告手続きおよび財政状態を検査すること
- 8．取締役会が授権するその他一切の職務を実行すること

## 関連当事者取引管理・消費者権利保護委員会

関連当事者取引管理・消費者権利保護委員会の委員の過半数は独立非業務執行取締役であり、独立非業務執行取締役が委員長を務めている。2023年3月24日現在、同委員会の委員は、李朝鮮氏（委員長）、王仕雄氏、田宏啟氏（いずれも独立非業務執行取締役）および蘇敏氏（2023年3月31日付で非業務執行取締役を辞任）であった。同委員会は、主に当行の関連当事者取引の調査、監督および検討ならびに消費者の正当な権利および利益の保護に責任を負っている。

同委員会の主たる権限および職務は以下のとおりである。

- 1．関連当事者を特定すること
- 2．重要な関連当事者取引および経常的な関連当事者取引を検査、監督および検討し、関連当事者取引に関連するリスクを統制すること
- 3．関連当事者取引に関する行政措置を検討し、当行の関連当事者取引管理制度の設置および改善を監視すること
- 4．関連当事者取引に関するアナウンスメントを検討すること
- 5．消費者権利保護業務の戦略、方針および目標を検討すること
- 6．消費者権利保護業務および関連決議に関する報告を検討すること

7. 当行の消費者権利保護業務の包括性、適時性および有効性、消費者権利保護における上級役員の職務履行ならびに消費者権利保護業務の情報開示を監督および評価すること
8. 取締役会が授権するその他一切の職務を実行すること

## 監査役会

監査役会は当行の監督機関であり、株主総会に対して説明責任を負っており、当行、当行の株主、従業員、債権者およびその他のステークホルダーの正当な権利および利益を保護するために、当行の戦略管理、財務活動、内部統制、リスク管理、法務、コーポレート・ガバナンスならびに取締役会および上級役員の職務履行を有効に監督する。

## 監査役会の構成

報告期間末現在、当行監査役会は9名の監査役からなり、うち3名は株主代表監査役、3名は従業員代表監査役、3名は社外監査役であった。監査役会における従業員代表監査役および社外監査役の割合は、それぞれ規制上の要件を満たしている。3名の株主代表監査役は大手国有企業において要職に就いており、企業経営の豊富な経験と財務会計の専門知識を有している。3名の従業員代表監査役は、銀行業の運営および管理に長く携わっており、財務の豊富な専門的経験を積み重ねてきた。3名の社外監査役は、コーポレート・ガバナンス、投資管理、応用科学およびその他の分野における専門知識および豊富な実務経験を有している。当行の監査役は、職務遂行のために必要な職業倫理および専門能力を有しているため、監査役会の監督の有効性が確保されている。

監査役会の下に、指名委員会および監督委員会が設置されている。

## 監査役会の監督職務の履行方法

監査役会は主に、監査役会会議および監査役会専門委員会会議を定期的に行い、株主総会、取締役会会議およびその専門委員会会議に出席し、上級役員が開催する業務および経営に関する主要な会議に出席し、当行の各種書類を検討し、上級役員の業務報告書および特別報告書を検討し、意見交換および議論を行い、当行の国内外の支店の特別調査および検査を包括的または個別に実施し、取締役および上級役員と年間の職務履行状況について協議し、定期的に社外監査人と連絡を取るなどによってその監督職務を履行している。そのようにして、監査役会は、当行の発展戦略、業務および経営状況、リスク管理状況および内部統制およびコンプライアンスの状況ならびに取締役および上級役員の職務履行状況を包括的に監視し、経営管理に関する建設的かつ具体的な助言および監督意見を提供している。

## 報告期間中の監査役会の職務履行

報告期間中、当行の監査役会は合計14回の会議（うち5回は現地会議および9回は書面決議により招集された会議）を招集した。かかる会議において、発展戦略、事業運営、財務活動、内部統制、リスク管理、関連当事者取引、連結管理、コーポレート・ガバナンス、データ・ガバナンス、社会的責任、マネーロンダリング対策、消費者権利保護、取締役、監査役および上級役員の職務履行の評価ならびに上級役員の離職監査に関する37件の議案が審議され、リスク選好の導入、不良資産の処分、自己資本比率、自己資本管理、内部監査、犯罪の防止および抑制ならびにグリーンファイナンスに関する20件の特別報告書が提出または検討された。

報告期間中、当行は株主総会を1回および取締役会の現地会議を8回招集した。監査役は株主総会に出席し、取締役会の現地会議すべてに出席し、株主総会および取締役会会議の招集、議決権行使手続き、かかる会議への取締役の出席、意見の表明および議決権行使内容の適法性および遵守状況を監督した。

報告期間中、3名の社外監査役は全員、監督職務を独立に履行することができた。社外監査役は、株主総会、監査役会会議および監査役会専門委員会会議への出席、取締役会または取締役会専門委員会会議への参加、監査役会が支店レベルで包括的または個別に実施した調査および検査への参加、当行の経営管理および戦略の実行の積極的な理解ならびに重要事項に関する研究および検討への積極的な参加によって監督職務を履行した。社外監査役は、取締役会および監査役会の会議の延会中に、当行の各種書類および報告書を検討し、関連する問題について取締役会および上級役員と適時に意見交換を行うことで、監査役会の監督職務の履行を可能とするに当たって積極的な役割を果たした。

報告期間中、当行の監査役会が異議を申し立てた監督事項はなかった。

## 監査役会専門委員会の運営

監査役会の下に指名委員会および監督委員会が設置され、それぞれ監査役4名からなっていた。かかる委員会の委員長はすべて社外監査役が務めていた。

## 監査役会の指名委員会

2023年3月24日現在、監査役会の指名委員会の委員には、蔡洪平氏（委員長）、彭碧宏氏、張翔氏および蔡進氏が含まれていた。指名委員会の主たる職務は、監査役会の規模および構成について監査役会に提案を行い、監査役の選任基準および手続きを検討してそれを監査役会に提案し、監査役の有資格候補者を求めて広範な調査を行い、株主が指名した監査役候補者の資格について予備審査を行って関連する推薦を行い、取締役選任手続きを監督し、取締役会、監査役会および上級役員ならびにそれらの構成員の職務履行状況を評価して監査役会に報告書を提出し、当行全体の報酬管理制度、業績連動報酬制度および方針ならびに上級役員の報酬が科学的かつ合理的であることを監督することである。

報告期間中、監査役会の指名委員会は会議を合計3回開催した。かかる会議において、同委員会は、2021年における取締役、監査役および上級役員の職務履行状況に関する監査役会の報告を検討および審議し、第12期監査役会の変更案ならびに第12期監査役会の株主代表監査役および社外監査役候補者リストを検討し、承認した。

## 監査役会の監督委員会

2023年3月24日現在、監査役会の監督委員会の委員には、徐政軍氏（委員長）、羅勝氏、吳珩氏および曹建氏が含まれていた。監督委員会の主たる職務は、監査役会の監督職務履行の監督計画を策定し、当行の財務活動の監督計画を策定して関連する検査を実施し、取締役会が穩健な経営理念および価値基準を採択して当行の実情に沿った適切な発展戦略を策定することを監督し、取締役会および上級役員による重要な財務上の決定およびその実施、内部統制のガバナンス構造およびリスク管理全般のガバナンス構造の構築および改善ならびに関連する当事者の職務分掌および職務履行状況を監督および評価し、必要に応じて監査役会の授権に基づいて当行の業務上の決定、内部統制およびリスク管理を見直すための具体的な計画を策定し、必要に応じて取締役、総裁およびその他上級役員の離職監査計画を策定することである。

報告期間中、監査役会の監督委員会は会議を合計2回開催した。かかる会議において、同委員会は、2022年の監査役会の業務計画および上級役員の離職監査などについて検討し、審議した。さらに、同委員会の委員は、取締役会のリスク・資本管理委員会および監査委員会が招集した様々な現地会議にも出席した。また、上記の専門委員会における当行の財務上の意思決定、リスク管理、資本管理、内部統制コンプライアンスおよび内部・外部監査などに関する審議および討論を検討し、その一部について意見および提案を提供した。

## 内部統制

報告期間中に、当行は、コンプライアンス、事例研究および行動規範に関する教育プログラムを引き続き実施する一方で、リスク、コンプライアンス、方針および全体的な状況に対する従業員の意識を常に高め、「コンプライアンス文化広報期間」のテーマ活動を積極的に行い、コンプライアンスの概念を強力に促進し、高潔、遵守および規律という職業倫理を継続的に推進し、「違反できない、あえて違反しない、違反したくない」というコンプライアンス文化を積極的に醸成した。当行は内部監督および検査業務をさらに強化し、共同立入り検査を秩序をもって推進し、本店の各事業部門および支店への監査の「鷹の目」システムの開放と共有をさらに推進し、データモデル、音声・映像、業務画像システムおよびその他の検査ツールを最大限に活用するように事業部門と支店を組織し、現場外検査とデータ検証の力を引き続き強化し、業務監督責任を誠実に遂行した。さらに、当行は、行内外の検査で発見された問題の是正作業を全面的に実施し、当行の事業の法令を遵守した運営および着実な発展を効果的に確保した。

当行は、2022年における当行全体の内部統制状況に関する評価活動を組織した。当行の取締役会が検討した結果、当行の内部統制制度に完全性、合理性および有効性の点で重大な欠陥は発見されなかった。

## (2)【役員の状況】

2023年5月31日現在、当行の取締役、監査役および上級役員は男性30名および女性2名からなり、女性の比率は6%であった。

(2023年5月31日現在)

### 当行取締役

役名 および職名	氏名 (生年月)	略歴	所有 株式数 (2022年12月 31日現在) (株)	報告期間中 に受領した 税引前報酬 総額 (万人民币元)
取締役会会長 兼非業務執行 取締役	繆建民 (MIAO Jianmin) (1965年1月)	繆氏は、中央财经大学で経済学博士号を取得しており、シニアエコノミストである。また、中国共産党第19期および第20期中央委員会の補欠委員である。同氏は招商局集团有限公司の取締役会会長であり、招商局金融控股有限公司および招商局仁和人寿保险股份有限公司の取締役会会長も兼任している。同氏は以前、中国人寿保険(集団)公司の取締役会副会長および総裁、中国人民保険集团股份有限公司(香港証券取引所上場会社)の取締役会副会長、総裁および取締役会会長、中国人民財産保険股份有限公司(香港証券取引所上場会社)の取締役会会長、中国人保資産管理有限公司の取締役会会長、中国人民健康保险股份有限公司の取締役会会長、中国人民保険(香港)有限公司の取締役会会長、人保資本投資管理有限公司の取締役会会長、中国人民養老保険有限責任公司の取締役会会長および中国人民人寿保险股份有限公司の取締役会会長を務めた。	-	-
非業務執行取 締役	故建華 (HU Jianhua) (1962年11月)	故氏は、南オーストラリア大学で経営管理学博士号を取得しており、優秀なシニアエンジニアである。同氏は現在、招商局集团有限公司の取締役および総経理を務めており、招商局金融控股有限公司の取締役会副会長および招商局仁和人寿保险股份有限公司の監査役会会長も兼任している。同氏は以前、招商局集团有限公司の副総経理、招商局港口控股有限公司(香港証券取引所上場会社)の取締役会副会長、Port de Djibouti S.A.の取締役会副会長、中国南山開発(集団)股份有限公司の取締役会会長、招商局物流集团有限公司の取締役会会長、招商局国際有限公司(後に招商局港口控股有限公司に社名変更)の取締役および総経理、Colombo International Container Terminals Limitedの取締役会会長、中国港湾工程有限責任公司の取締役および総経理、香港振華工程有限公司の総経理ならびに中投海外直接投資有限責任公司の独立取締役を務めた。	-	-



非業務執行取締役	孫雲飛 (SUN Yunfei) (1965年8月)	孫氏は、復旦大学管理学院で経営管理学修士号を取得しており、シニアエコノミスト（研究員レベル）である。同氏は現在、中国遠洋海運集团有限公司の副総経理および首席会計士を務めている。同氏は以前、滬東造船所の経済計画統計部副部長、企画計画部部長および副首席会計士、滬東造船（集団）有限公司の首席会計士、滬東中華造船（集団）有限公司の取締役および最高財務責任者、中国船舶工業集团公司の副首席会計士および首席会計士ならびに中国船舶工業集团有限公司の副総経理などを歴任した。	-	-
業務執行取締役兼総裁兼最高経営責任者	王良 (WANG Liang) (1965年12月)	王氏は、中国人民大学で貨幣銀行学修士号を取得しており、シニアエコノミストである。同氏は1995年6月に当行に入行し、当行北京支店の支店長補佐、副支店長および支店長を歴任した。また、2012年6月からは当行の総裁補佐兼北京支店支店長を務めた。同氏は2013年11月に北京支店支店長を退任した。また、2015年1月に当行の副総裁に就任し、2016年11月から2019年4月まで当行の取締役会秘書役を兼任した。また、2019年4月から2023年2月までは当行の最高財務責任者も兼任した。同氏は、2021年8月から、当行の業務執行常務副総裁兼取締役会秘書役兼会社秘書役兼香港上場関連事項担当授權代表者を務めていた。また、2022年4月18日より当行の事業全体を統括してきた。同氏は、2022年6月15日付で当行総裁に就任した。また、CMBICの取締役会会長、招商永隆銀行の取締役会会長、MUCFCの取締役会副会長、招商局金融控股有限公司の取締役、中国支付清算協会の副会長、中国銀行業協会中間業務専門委員会第4期理事、中国金融会計学会第6期常務理事および広東省第14期人民代表大会代表も兼任している。	300,000	362.46
非業務執行取締役	周松 (ZHOU Song) (1972年4月)	周氏は、武漢大学から世界経済修士号を取得している。同氏は、招商局集团有限公司の首席会計士であり、招商局金融控股有限公司の取締役、深圳市招商平安資産管理有限責任公司の取締役会会長、招商局集团財務有限公司の取締役会会長、招商局投資発展有限公司の取締役会会長および招商局蛇口工業区控股股份有限公司（深圳証券取引所上場会社）の監査役会会長も兼任している。同氏は以前、当行において、本店計画財務部副部長、武漢支店副支店長、本店計画財務部の副部長（業務責任者）および部長、従業員代表監査役、業務総監兼本店資産負債管理部部長、金融機関本部部長兼本店資産管理部部長兼本店業務総監、投資銀行業務・金融市場本部部長兼本店資産管理部部長および本店業務総監を歴任した。	-	-

非業務執行取締役	洪小源 (HONG Xiaoyuan) (1963年3月)	洪氏は、北京大学から経済学修士号を、オーストラリア国立大学から科学修士号を取得しており、シニアエコノミストである。同氏は、招商局集団（香港）有限公司の取締役、招商局集団有限公司の総経理補佐および招商局金融控股有限公司の取締役および総経理を務めている。また、招商局資本投資有限公司、招商局聯合発展有限公司および招商局創新投資管理有限責任公司の取締役会会長ならびに招商局仁和人寿保险股份有限公司および国新国際有限公司の取締役も兼任している。同氏は以前、招商証券股份有限公司（当時は上海証券取引所上場会社）の取締役、招商局中国基金有限公司（香港証券取引所上場会社）の取締役会会長、招商局金融集团有限公司の最高経営責任者および取締役会会長、深圳市招銀前海金融資産交易中心有限公司の取締役会会長ならびに招商局金融事業群/プラットフォーム執行委員会主任（常務）を務めた。	-	-
非業務執行取締役	張健 (ZHANG Jian) (1964年10月)	張氏は、南京大学経済学部から経済管理学学士号を、南京大学商学院から計量経済学修士号を取得しており、シニアエコノミストである。同氏は、招商局集团有限公司の最高デジタル責任者、デジタルセンター長、招商局金融控股有限公司の副総経理および招商局金融集团有限公司の取締役を務めており、招商局通商融資租賃有限公司および招商局金融科技有限公司の取締役会会長ならびに招商局創新投資管理有限責任公司、招商局創新投資（国際）有限公司、招商局創新投資ゼネラル・パートナーシップ（国際）有限公司および四源合股権投資管理有限公司の取締役も兼任している。同氏は以前、招商局仁和人寿保险股份有限公司の取締役、招商局保険控股有限公司の取締役、招商平安資産管理有限責任公司の取締役、招商局金融集团有限公司の副総経理、深圳市招銀前海金融資産交易中心有限公司の取締役、招商局集团有限公司の金融事業部長、招商局資本投資有限責任公司の取締役会副会長、招商局中国基金有限公司（香港証券取引所上場会社）の非業務執行取締役兼取締役会会長、招商局資本投資有限責任公司の取締役、粤港澳大湾区産業基金管理有限公司の取締役、招商局資本控股（国際）有限公司の取締役、招商局資本管理有限責任公司および招商局資本控股有限責任公司の取締役会副会長、招商局聯合発展有限公司の取締役、試金石信用服務有限公司の取締役ならびに招商局金融事業群/プラットフォーム執行委員会副主任（常務）を含む様々な役職を歴任した。	-	-



非業務執行取締役	陳冬 (CHEN Dong) (1974年12月)	陳氏は、上海財経大学で経済学修士号を取得しており、上級会計士である。同氏は現在、中国遠洋海運集团有限公司の財務管理本部長を務めており、中遠海運特殊運輸股份有限公司（上海証券取引所上場会社）、中遠海運国際（香港）有限公司（香港証券取引所上場会社）および中遠海運港口有限公司（香港証券取引所上場会社）の取締役も兼任している。同氏は以前、中海發展股份有限公司タンカー会社の財務会計部の部長補佐および副部長、中国海運（集団）總公司の企業管理部リスク管理センター副センター長、経理財務部リスク管理室副室長、財務室副室長、財務金融部財務・税務管理室上級主任、財務金融部の部長補佐および副部長ならびに中国遠洋海運集团有限公司の財務管理本部副部長などを歴任した。	-	-
独立非業務執行取締役	王仕雄 (WONG See Hong) (1953年6月)	王氏は、シンガポール国立大学から経営管理学士号を、香港科技大学から投資管理学修士号を、香港ペーテル神学院から変革的リーダーシップ学博士号を取得している。同氏は、シンガポール・フレイザーズ・ホスピタリティ・アセット・マネジメント・ピーティーイー・リミテッドおよびECワールド・アセット・マネジメント・プライベート・リミテッドの独立取締役ならびに香港管理学会財務管理委員会の委員である。同氏は以前、中国銀行（香港）有限公司の副総裁、ABNアムロ銀行の東南アジア地区主管、常務総経理および総裁、アジア金融市場部長、中銀保険集团有限公司の取締役、中銀集団信託人有限公司の取締役会会長、BOCIブルデンシャルMPFの取締役会会長、中銀香港資産管理有限公司の取締役会会長、シンガポール首相府公務員学院の理事ならびにトムソン・ロイターズ顧客諮問委員会の委員を務めた。	-	50.00
独立非業務執行取締役	李孟剛 (LI Menggang) (1967年4月)	李氏は、北京交通大学から経済学博士号と、交通運輸工学および理論経済学のポストドク学位をそれぞれ取得している。同氏は、北京交通大学の教授および博士課程学生の指導教官、北京交通大学国家経済安全研究院（NAES）の院長、国家経済安全事前警告プロジェクト北京実験室室長および国家社会科学基金重要入札プロジェクト首席専門家を務めている。また、中国人民資源開発研究会副会長および専門委員会副主任委員、人的資本研究院院長、光華工程科技奨励財団の副会長、中国上場会社協会独立理事委員会の副主任委員ならびに華電国際電力股份有限公司（香港証券取引所および上海証券取引所上場会社）の独立取締役でもある。また、以前は四川金頂（集団）股份有限公司（上海証券取引所上場会社）の独立取締役、裕興科技投資控股有限公司（香港証券取引所上場会社）の独立非業務執行取締役、電気電子技術者協会（IEEE）の物流情報化・産業安全システム専門委員会委員長ならびに湖南湘郵科技股份有限公司（上海証券取引所上場会社）および大秦鐵路股份有限公司（上海証券取引所上場会社）の独立取締役を務めていた。	-	50.00

独立非業務執行取締役	劉俏 (LIU Qiao) (1970年5月)	劉氏は、中国人民大学から経済応用数学理学学士号を、中国人民銀行金融研究所から経済学修士号を、カリフォルニア大学ロサンゼルス校から経済学博士号を取得しており、長江学者特聘教授である。同氏は、北京大学光華管理学院の院長、金融学および経済学の教授ならびに博士課程学生の指導教官を務めており、全国工商業聯合会シンクタンク委員会委員、中国国民党革命委員会経済研究センター委員、深圳証券取引所専門家評議会委員、深圳証券取引所ChiNextの上場委員会委員、CSRC、深圳証券取引所、中国金融先物取引所および中国民生銀行股份有限公司などの機構のポストドクター指導教官、中国企業改革・発展研究会副会長ならびに北京首創股份有限公司（上海証券取引所上場会社）の独立取締役を兼任している。同氏は以前、香港大学経済金融学院助教授、マッキンゼー・アンド・カンパニーのアジア太平洋コーポレート・ファイナンスおよび戦略実務センター顧問、香港大学経済工商管理學院の助教授および准教授（終身在職）、正商実業有限公司（旧正恒国際控股有限公司。香港証券取引所上場会社）の独立非業務執行取締役ならびに中信建投証券股份有限公司（香港証券取引所および上海証券取引所上場会社）の独立非業務執行取締役を務めた。	-	50.00
独立非業務執行取締役	田宏啟 (TIAN Hongqi) (1957年5月)	田氏は、上海海運学院から水運財務会計学学士号を取得しており、上級会計士である。また、招商局南京油運股份有限公司（上海証券取引所上場会社）の独立取締役も兼任している。同氏は以前、中遠海運散貨運輸有限公司の最高財務責任者および最高情報責任者、中遠集装箱運輸有限公司の財務部長、中遠日本株式会社の取締役および財務部長、コスコ・ホールディングス（シンガポール）ピーティイー・リミテッドの最高財務責任者、中遠集装箱運輸経営本部の財務部長および中遠総公司の財務課課長を務めた。	-	50.00
独立非業務執行取締役	李朝鮮 (LI Chaoxian) (1958年9月)	李氏は、中国人民大学で産業経済学博士号および統計学修士号を取得し、現在は北京工商大学の教授および博士課程学生の指導教官である。また、中国国際貿易中心股份有限公司（上海証券取引所上場会社）の独立取締役も兼任している。同氏は以前、北京商学院財政金融学部の副部長および部長、北京工商大学経済学院の副学部長および学部長、北京工商大学教務室室長、北京工商大学副学長ならびに北京華達建業工程管理股份有限公司（中小企業株式譲渡システム上場会社）の独立取締役を務めた。	-	50.00

独立非業務執行取締役	史永東 (SHI Yongdong) (1968年11月)	史氏は、東北財経大学で経済学博士号を、吉林大学で応用数学修士号を取得した。同氏は国家上級特別支援計画の指導的人材、国家文化名人および四大分野の一流人材の一人であり、国家社会科学基金の主要プロジェクトの首席専門家である。また、現在は東北財経大学金融科学技术学院の学部長、教授および博士課程学生の指導教官を務めている。また、中国金融学会の理事、中国金融学シンポジウムの常務理事、中国金融工程学シンポジウムの常務理事および金融システム工程・リスク管理国際シンポジウムの常務理事も兼任している。同氏は以前、東北財経大学の金融学院副学部長、応用金融研究センター所長、科学研究学科長および応用金融・行動科学学院の学部長、大連華鋭重工集团股份有限公司（深圳証券取引所上場会社）の独立取締役ならびに鞍山銀行股份有限公司の独立取締役を務めた。	-	50.00
------------	-------------------------------------	--	---	-------

## 当行監査役

役名 および職名	氏名 (生年月)	略歴	所有 株式数 (2022年12月 31日現在) (株)	報告期間中 に受領した 税引前報酬 総額 (万人民币元)
監査役会会長 兼従業員代表 監査役	熊良俊 (XIONG Liangjun) (1963年2月)	熊氏は、中南財経大学から経済学修士号を取得しており、シニアエコノミストである。同氏は、2000年4月から2003年7月まで、中国人民銀行深圳中心準支店の支店長補佐および副支店長を歴任した。また、2003年9月から2014年7月まで、中国銀行業監督管理委員会の深圳局副局長、広西局局長および深圳局局長を歴任した。また、2014年7月から2021年8月までは当行の規律委員会書記を、2021年8月からは当行の監査役会会長を務めている。	240,000	331.70
株主代表監査役	羅勝 (LUO Sheng) (1970年9月)	羅氏は、南開大学商学院からコーポレート・ガバナンス博士号を取得している。同氏は現在、大家保険集団有限責任公司の副總經理、大家人寿保險股份有限公司の取締役および金地（集団）股份有限公司（上海証券取引所上場会社）の取締役を務めている。同氏は以前、中国保險監督管理委員会において、政策法規部法規課主任職員、發展改革部市場分析課主任職員、發展改革部コーポレート・ガバナンス課の副課長および課長ならびに法規部副部長を務めた。また、中国保險信息技術管理有限責任公司の業務執行取締役、常務副總裁、取締役会秘書役および上海支店支店長ならびに中国保險監督管理委員会の發展改革部副部長なども歴任した。同氏は、2019年6月から2022年6月まで、当行の第11期取締役会において非業務執行取締役を務めた。	-	-

株主代表監査役	彭碧宏 (PENG Bihong) (1963年10月)	彭氏は、金融学を専攻して湖南財經学院を卒業し、武漢大学から経済学修士号を取得している。同氏は、中国公認会計士協会の非開業会員および講師である。同氏は現在、中国交通建設集団有限公司の首席会計士、中国国有企業構造調整基金股份有限公司の取締役、中国海洋発展財団の副理事長、中国交通会計協会の副会長、上海国家会計学院戦略諮問委員会の委員ならびに中国高校創新創業教育聯盟の共用財務専門委員会知的財務専門家も兼任している。同氏は以前、中国保利集団有限公司に20年近く勤務し、その財務部部長、保利財務有限公司の総経理、保利房地產（集団）股份有限公司の最高財務責任者、保利集団の首席会計士、保利財務公司および保利投資公司の取締役会会長ならびに江泰保険經紀股份有限公司の取締役会副会長を歴任した。また、2018年9月から2019年9月までは中国交通建設股份有限公司の最高財務責任者を務めた。	-	-
株主代表監査役	呉珩 (WU Heng) (1976年8月)	呉氏は、上海財經大会計学部の研究学生であり、管理学修士号を取得しており、上級会計士である。同氏は現在、上海汽車集団股份有限公司（上海証券取引所上場会社）の金融事業部部長、上海汽車集団金控管理有限公司の総経理、重慶銀行股份有限公司（香港証券取引所および上海証券取引所上場会社）の非業務執行取締役ならびに武漢光庭情報技術股份有限公司（深圳証券取引所上場会社）の取締役を務めている。また、2000年3月から2005年3月までは上海汽車集団財務有限責任公司において、計画財務部の副部長および部長ならびに固定収益部長を歴任した。また、2005年3月から2009年4月まで、上海汽車集団股份有限公司において、財務部財務会計課の課長、執行業務担当者補佐および経理を歴任した。また、2009年4月から2015年5月まで華域汽車系統股份有限公司（上海証券取引所上場会社）の最高財務責任者を務め、2014年5月から2015年5月までは華域汽車系統（上海）有限公司の取締役および総経理も兼任した。2015年5月から2019年8月まで、同氏は上海汽車集団股份有限公司の金融事業部副部長を務めた。	-	-
社外監査役	徐政軍 (XU Zhengjun) (1955年9月)	徐氏は、上海海事大学から水運管理修士号を取得しており、上級政工師である。同氏は現在、招商局仁和人寿保險股份有限公司の独立取締役および上海東昇公益財団の理事を務めている。同氏は以前、上海遠洋運輸公司の課長および部長、中遠集裝箱運輸有限公司の船員会社および不動産会社の総経理、中遠集裝箱運輸有限公司の総経理補佐、上海遠洋運輸公司の総経理、中遠集裝箱運輸有限公司の規律委員会書記、中遠（香港）工貿控股有限公司の総経理、深圳市廣聚能源股份有限公司（深圳証券取引所上場会社）の取締役会副会長、中遠（香港）集団有限公司の副総裁兼総法律顧問、True Smart International Limitedの取締役、中遠国際控股有限公司の総経理兼業務執行取締役およびコーポレート・ガバナンス委員会委員長ならびに中外運航運有限公司の独立取締役を務めた。	-	40.00

社外監査役	蔡洪平 (CAI Hongping) (1954年12月)	蔡氏は、復旦大学でジャーナリズムの学士号を取得している。同氏は、AGICキャピタルの取締役会会長であり、中国東方航空股份有限公司（上海証券取引所および香港証券取引所上場会社）、コスコ・ SHIPPING・ディベロップメント・カンパニー・リミテッド（上海証券取引所および香港証券取引所上場会社）、上海浦東発展銀行股份有限公司（上海証券取引所上場会社）、比亞迪股份有限公司（深圳証券取引所および香港証券取引所上場会社）および中国南方航空股份有限公司（上海証券取引所および香港証券取引所上場会社）の独立取締役も兼任している。また、以前には中泛控股有限公司（香港証券取引所上場会社）の独立取締役を務めていた。同氏は、1996年から1997年までペレグリン・インベストメンツ・ホールディングス・リミテッドの上級副社長および常務総経理を、1998年から2005年までBNPパリバ・キャピタル（アジア・パシフィック）リミテッドの中国会長を、2006年から2010年までUBS AGのアジア会長を、2010年から2015年までドイツ銀行の投資銀行アジア太平洋部門の執行会長をそれぞれ務めた。	-	20.22
社外監査役	張翔 (ZHANG Xiang) (1963年12月)	張氏は、カリフォルニア大学バークレー校で機械工学博士号を、南京大学物理学科で修士号を取得している。また、全米技術アカデミー会員、中国科学院外国人会員、中央研究院会員および香港大学学長である。同氏は以前、カリフォルニア大学バークレー校の初代アーネスト・S. クー冠教授および米国国立科学財団ナノスケール科学・工学センター長を務めた。また、1996年にペンシルベニア州立大学助教授、1999年から2004年までカリフォルニア大学ロサンゼルス校准教授および教授、2004年から2018年までカリフォルニア大学バークレー校の機械工学部および応用科学技術研究所の准教授および教授ならびに2014年から2016年までローレンス・バークレー国立研究所の材料科学部部長を歴任した。	-	20.22
従業員代表 監査役	蔡進 (CAI Jin) (1970年7月)	蔡女史は、湖南財経学院で金融学学士号を取得し、エコノミストである。また、現在、当行本店の労働組合の事務局長を務めている。同女史は、1992年8月に中国工商銀行湖北沙市支店に入行した。また、1995年5月に当行に入行し、2010年4月から2021年12月まで、本店人事部長補佐、本店営業部副部長および本店資産管理部の副部長を歴任した。	133,150	154.75
従業員代表 監査役	曹建 (CAO Jian) (1970年10月)	曹氏は、中国人民銀行金融研究院大学院で国際金融修士号を取得しており、中国公認会計士協会の非開業会員である。同氏は現在、当行監査部長およびCMBウェルスマネジメントの監査役を兼任している。同氏は2003年8月に当行に入行し、当行監査部の部長補佐および副部長を歴任した。また、2021年11月から2023年3月まで当行監査部の深圳事業部長を務めた。	127,000	-

## 上級役員



役名 および職名	氏名 (生年月)	略歴	所有 株式数 (2022年12月 31日現在) (株)	報告期間中 に受領した 税引前報酬 総額 (万人民元)
業務執行取締役兼総裁兼最高経営責任者	王良 (WANG Liang) (1965年12月)	上記「当行取締役」を参照されたい。	300,000	362.46
業務執行副総裁	王雲桂 (WANG Yungui) (1963年6月)	王氏は中共中央党校から修士号を取得しており、シニアエコノミストである。同氏は、2008年7月から2016年12月まで、中国工商銀行の教育部長および人事部長を歴任し、2016年12月から2019年3月まで国家開発銀行の規律委員会書記を務めた。同氏は、2019年6月から当行の業務執行副総裁を務めている。	210,000	294.28
業務執行副総裁	李徳林 (LI Delin) (1974年12月)	李氏は武漢大学から経済学博士号を取得しており、シニアエコノミストである。同氏は2013年10月に当行に入学し、当行の本店事務室室長、戦略顧客部長、戦略顧客部長兼機関顧客部長および上海支店支店長兼上海自由貿易試験区支店支店長を歴任した。また、2019年4月に当行の業務執行総裁補佐に就任し、2021年3月以降は当行の業務執行副総裁を務めている。同時に、同氏は、深圳上場会社協会の監査役会会長および中国銀行間市場交易商協会副会長を兼任している。	204,400	293.60
業務執行副総裁兼最高リスク責任者	朱江涛 (ZHU Jiangtao) (1972年12月)	朱氏は経済学修士号を取得しており、シニアエコノミストである。同氏は2003年1月に当行に入学し、2007年12月から2020年7月まで当行の広州支店の支店長補佐および副支店長、重慶支店支店長、当行の信用リスク管理部部長およびリスク管理部部長を歴任した。同氏は、2020年7月から当行の最高リスク責任者を、2021年9月から当行の業務執行副総裁を務めている。	198,800	293.90
規律委員会書記	熊開 (XIONG Kai) (1971年4月)	熊氏は、中国社会科学院大学院から法学理論博士号を取得している。同氏は、1994年から2006年まで中国公安部の副主任職員、主任職員および副課長を歴任し、2006年から2014年までは中国共産党中央弁公庁の副課長（研究員）、課長、副局長および局長を歴任した。同氏は2014年7月に当行に入学し、規律委員会事務室室長兼本店監察保安部部長、本店事務室室長兼資産保全部部長、鄭州支店支店長および北京支店支店長を歴任した。同氏は、2021年7月から当行の規律委員会書記を務めている。	225,600	293.90
業務執行総裁補佐	鐘徳勝 (ZHONG Desheng) (1967年7月)	鐘氏は、華中理工大学で外国経済思想史修士号を取得しており、シニアエコノミストである。同氏は1993年7月に当行に入学し、武漢支店の支店長補佐および副支店長、本店の国際業務部部長および貿易金融部部長、本店のオフショア金融センター長、広州支店支店長ならびに本店の法人金融本部部長兼戦略顧客部部長を歴任した。また、2021年10月から当行の業務執行総裁補佐を務めている。	177,300	256.10

業務執行総裁補佐	王小青 (WANG Xiaoqing) (1971年10月)	王氏は、復旦大学で政治経済学博士号を取得しており、エコノミストである。同氏は、2005年3月から2020年3月まで中国人保資産管理有限公司に勤務しており、リスク管理部副部長、ポートフォリオ管理部の副部長および部長、総裁補佐および副総裁を歴任した。同氏は2020年3月に当行に入学し、CMFMの総経理を務めた。また、2021年10月から当行の業務執行総裁補佐を務めており、深圳支店支店長ならびにCMFM、CIGNA & CMB生命保険およびCIGNA & CMAMの取締役会会長も兼任している。	-	-
業務執行総裁補佐	王穎 (Wang Ying) (1972年11月)	王女史は、南京大学で政治経済学修士号を取得しており、エコノミストである。同女史は1997年1月に当行に入学し、北京支店の支店長補佐および副支店長、天津支店支店長ならびに深圳支店支店長を歴任し、2023年2月より当行の業務執行総裁補佐を務めている。	200,000	-
業務執行総裁補佐兼最高財務責任者	彭家文 (Peng Jiawen) (1969年5月)	彭氏は、中南財経大学で国民経済計画学士号を取得しており、シニアエコノミストである。同氏は2001年9月に当行に入学し、本店の計画財務部の部長補佐および副部長、本店の個人向け総合管理部の副部長および部長、本店の個人向け金融本部の副部長および副総裁、同本部副総裁兼個人向け与信部部長、鄭州支店支店長ならびに本店の資産負債管理部部長を歴任した。同氏は、2023年2月から当行の業務執行総裁補佐兼最高財務責任者を務めており、本店の資産負債管理部部長も兼任している。	167,700	-
最高情報責任者	江朝陽 (Jiang Chaoyang) (1967年12月)	江氏は、上海交通大学で経営科学修士号を取得しており、シニアエコノミストである。同氏は2013年11月に当行に入学し、本店戦略顧客部長、本店個人向けネットワークバンキング部長ならびに本店ウェルスマネジメント部の副部長および部長を歴任し、2019年11月より当行の最高情報責任者を務めている。	198,100	277.53

注：

- (1) 報告期間中に任命された取締役、監査役および上級役員が受領した報酬は、報告期間中の在職期間に基づき計算されている。王小青氏は、報告期間中に当行の子会社であるCMFMから報酬を受領した。
- (2) 常勤の業務執行取締役、監査役会会長および上級役員の税引前報酬総額は未確定である。

当行の取締役、監査役および上級役員の報酬については、「第6 - 1 財務書類」に掲げる財務書類に対する注記11および12も参照されたい。

### (3)【監査の状況】

#### 監査部門の構成

上記(1)の「 - 取締役会専門委員会 - 監査委員会」および「 - 監査役会」を参照されたい。

#### 監査部門の職務履行状況

2022年に当行の取締役会の監査委員会は会議を8回開催した。すなわち、第11期取締役会の監査委員会が第17回会議(3月8日)、第18回会議(3月14日)、第19回会議(4月2日)、第20回会議(4月20日)および第21回会議(5月12日)を開催し、第12期取締役会の監査委員会が第1回会議(8月16日)、第2回会議(10月25日)および第3回会議(11月14日)を開催した。監査委員会は、四半期ごとの定例会議制度に基づき、定期報告書ならびに内部および外部監査業務報告書を出発点として、年次報告書、中間報告書および四半期報告書を検討および承認し、財務報告情報の真実性、正確性、完全性および適時性を監督および検証した。当行は、年間、中間および四半期内部監査計画および業務報

告、内部監査業務発展5ヵ年計画、内部監査規約の改正、会計事務所の任用およびその他の提案を検討および承認し、外部監査人の監査計画、監査結果、経営に関する提案およびその他の報告を受け、内部監査で発見された問題を適時に把握し、行内の自己点検および規制上の懸念事項の是正および説明責任を強化し、内部監査と外部監査との連絡を継続的に強化することで内部監査と外部監査の間の効果的な意思疎通の仕組みの形成を促進した。当行は、科学技術による監査体制の構築を極めて重視し、特別研究を行い、業務および管理を監視し、リスクおよび問題を明らかにし、経営レベルを向上させるに当たって重要な役割を十分に果たし、関連する責任を効果的に果たした。

当行の取締役会の監査委員会は、当行が採択した「取締役会の監査委員会の年次報告書に関する業務規程」に従って、2022年度年次報告書の作成および検討に当たって以下の職務を行った。

1. 監査委員会は、会計事務所の2022年に係る監査計画および当行の未監査財務書類を検討し、審議した。
2. 監査委員会は、年次監査の過程において、および年次監査を担当する監査人の予備的な監査意見の発行後、当行の2022年の業務報告書を検討し、年次監査を担当する監査人と重要事項および監査の進捗状況について意見交換を行い、当行の財務書類を検討した上で、上記事項について意見書を作成した。
3. 監査委員会は、取締役会の年次会議の招集前に、当行の2022年度年次報告書を検討して決議を行い、審議および承認を受けるために取締役会に提出した。また、監査委員会は、2022年における当行の監査業務に関して、年次監査を担当した監査人が作成した最終報告書を検討し、取締役会に提出した。

監査役会の職務履行状況については、上記(1)の「- 監査役会 - 報告期間中の監査役会の職務履行」および「- 監査役会 - 監査役会専門委員会の運営」を参照されたい。

## 内部監査

当行は、独立した垂直的な内部監査管理制度を導入している。取締役会は、内部監査の独立性および有効性について最終的な責任を負い、内部監査規約、監査組織体制、中長期監査計画および年次監査計画を検討および承認し、監査部の責任者を任命し、独立した客観的な内部監査の遂行に必要な支援を提供し、内部監査の独立性および有効性を評価しなければならない。本店には監査部が設置されており、監査部は、具体的な内部監査の責任を負い、本店の党委員会の指導に服し、取締役会および取締役会の監査委員会に対して説明責任を負い、それらに報告を行い、監査役会の指導を受けている。本店の監査部の下には、地域支店や組織に対する継続的な監査や是正の追跡を強化するために9つの監査部門がある。本店の監査部には、監査部門への支援および指導を強化するために9つのチームが、また、本店の各部門、海外組織、マネーロンダリング対策業務およびクレジットカード業務などに対する監査を強化するために対応する4つの監査チームが設置されている。

報告期間中、当行は、内部統制およびリスク管理をさらに強化し、内部監査業務を規制するために、当行の内部監査規約を改正した。当行は、国家経済金融政策の実施に重点を置き、戦略、リスクおよび監督の要点に従い、価値観および問題指向を堅持し、実体経済への貢献、グリーンファイナンス、金融包摂などの面を中心に監査検査を実施し、リスクを防止し、是正を促進し、基礎を固め、デジタル監査の構築を推進し、監査の是正を強化し、全行的な業務および管理の着実な発展を効果的に促進した。

## 会計事務所の任命

当行は、2021年度年次株主総会の承認に基づき、当行および当行の国内子会社の2022年度に係る国内監査人として徳勤華永会計師事務所を、当行および当行の海外子会社の2022年度に係る国際監査人としてデロイト・トウシュ・トーマツ（徳勤華永会計師事務所の海外関連組織）を任命した。それぞれの任用期間は1年間である。当行は、2016年からかかる会計事務所を監査人として任用している。

2022年度末に中国GAAPおよび当行の内部統制に基づき作成された当行の2022年度に係る財務書類は徳勤華永会計師事務所により監査されており、IFRSに基づき作成された当行の2022年度に係る財務書類はデロイト・トウシュ・トーマツにより監査されている。当グループの監査報酬総額は、約31.23百万人民元であった。うち、内部統制に関する監査報酬は約1.55百万人民元であった。当行は、2022年度について、徳勤華永会計師事務所およびデロイト・トウシュ・トーマツに対して合計約38.53百万人民元の非監査報酬を支払った。徳勤華永会計師事務所およびデロイト・トウシュ・トーマツは、かかる非監査役務の提供によって監査の独立性が損なわれるものではないことを確認した。

## (4)【役員の報酬等】

該当事項なし。

## (5)【株式の保有状況】

該当事項なし。



## 第6 【経理の状況】

1. 本書記載の当行および当行の子会社の連結財務書類は、香港証券取引所上場規則によって認められているIFRSに準拠して作成されたものである。かかる連結財務書類の作成に当たって当行の採用した会計原則および会計慣行と、日本において一般に認められている会計原則および会計慣行との間の主な相違点に関しては、「4 国際財務報告基準と日本における会計原則および会計慣行の主要な相違」に説明されている。

本書記載の連結財務書類は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）第131条第1項の適用を受けている。

2. 原文（英文）の連結財務書類は、外国監査法人等であるデロイト・トウシュ・トーマツから、「金融商品取引法」第193条の2第1項第1号に規定されている監査証明に相当すると認められる証明を受けている。
3. 原文（英文）の連結財務書類は、人民元で表示されている。日本円への換算に当たっては、専ら読者の便宜のために、金額は、2023年5月5日現在の中国外貨取引センター公表の中心値に基づく1人民元＝19.42円で日本円に換算されている。日本円の場合は、百万円単位で四捨五入して表示されている。
4. 上記の日本円で表示された主要な換算金額および「2 主な資産・負債及び収支の内容」、「3 その他」および「4 国際財務報告基準と日本における会計原則および会計慣行の主要な相違」の記載は、当行の原文の連結財務書類には含まれておらず、したがって、当行の独立監査人であるデロイト・トウシュ・トーマツによる監査の対象にもなっていない。

## 1【財務書類】

## 連結損益計算書

12月31日に終了した事業年度					
注記	2022年		2021年		
	(百万人民元)	(百万円)	(百万人民元)	(百万円)	
受取利息	6	353,380	6,862,640	327,056	6,351,428
支払利息	7	(135,145)	(2,624,516)	(123,137)	(2,391,321)
正味受取利息		218,235	4,238,124	203,919	3,960,107
受取手数料	8	103,372	2,007,484	102,318	1,987,016
支払手数料		(9,097)	(176,664)	(7,871)	(152,855)
正味受取手数料		94,275	1,830,821	94,447	1,834,161
その他の正味収益	9	29,705	576,871	29,011	563,394
- 償却原価で測定される金融商品の処分		170	3,301	(657)	(12,759)
営業収益		342,215	6,645,815	327,377	6,357,661
営業費用	10	(122,061)	(2,370,425)	(116,879)	(2,269,790)
減損損失および税控除前営業利益		220,154	4,275,391	210,498	4,087,871
予想信用損失	14	(56,751)	(1,102,104)	(65,962)	(1,280,982)
その他資産に対する減損損失		(815)	(15,827)	(393)	(7,632)
共同支配企業持分利益	25	1,710	33,208	2,877	55,871
関連会社持分利益	26	815	15,827	1,153	22,391
税引前利益		165,113	3,206,494	148,173	2,877,520
法人所得税	15	(25,819)	(501,405)	(27,339)	(530,923)
当期利益		139,294	2,705,089	120,834	2,346,596
以下に帰属する利益					
当行株主		138,012	2,680,193	119,922	2,328,885
非支配持分		1,282	24,896	912	17,711
1株当たり利益					
基本的および希薄化後（人民元）	17	5.26	102.15	4.61	89.53

注記はこれらの連結財務諸表の一部である。

## 連結損益およびその他包括利益計算書

注記	12月31日に終了した事業年度			
	2022年		2021年	
	(百万人民元)	(百万円)	(百万人民元)	(百万円)
<b>当期利益</b>	139,294	2,705,089	120,834	2,346,596
<b>当期その他包括利益（税引後）</b>				
当初認識後に損益に再分類される項目	1,285	24,955	5,856	113,724
- 持分法適用被投資会社 - その他包括（損失）／利益持分	(1,155)	(22,430)	133	2,583
- その他包括利益を通じて公正価値で測定される負債商品に係る正味公正価値（損失）／利益	(5,617)	(109,082)	4,156	80,710
- その他包括利益を通じて公正価値で測定される負債商品の予想信用損失の純変動額	3,471	67,407	3,036	58,959
- キャッシュ・フロー・ヘッジ準備金の純変動額	112	2,175	105	2,039
- 在外事業体の財務諸表に関する換算差額	4,429	86,011	(1,574)	(30,567)
- その他	45	874	-	-
将来、損益に再分類されない項目	38	738	1,333	25,887
- その他包括利益を通じて公正価値で測定される持分商品に係る正味公正価値利益	48	932	1,318	25,596
- 確定給付制度の再測定額	(10)	(194)	15	291
<b>当期その他包括利益（税引後）</b>	16 1,323	25,693	7,189	139,610
<b>以下に帰属：</b>				
当行株主	1,053	20,449	7,298	141,727
非支配持分	270	5,243	(109)	(2,117)
<b>当期包括利益合計</b>	140,617	2,730,782	128,023	2,486,207
<b>以下に帰属：</b>				
当行株主	139,065	2,700,642	127,220	2,470,612
非支配持分	1,552	30,140	803	15,594

注記はこれらの連結財務諸表の一部である。

## 連結財政状態計算書

		12月31日現在			
	注記	2022年		2021年	
		(百万人民币)	(百万円)	(百万人民币)	(百万円)
資産					
現金		15,209	295,359	13,310	258,480
貴金属		2,962	57,522	4,639	90,089
中央銀行預け金	18	587,818	11,415,426	553,898	10,756,699
銀行およびその他金融機関に対する預け金	19	91,346	1,773,939	80,350	1,560,397
銀行およびその他金融機関に対する貸付金	20	263,576	5,118,646	194,421	3,775,656
売戻契約に基づいて保有する金額	21	276,676	5,373,048	524,601	10,187,751
顧客に対する貸出金	22	5,807,154	112,774,931	5,335,391	103,613,293
損益を通じて公正価値評価される金融投資	23(a)	423,467	8,223,729	348,123	6,760,549
デリバティブ金融資産	60(f)	18,671	362,591	23,390	454,234
償却原価で測定される負債投資	23(b)	1,555,457	30,206,975	1,185,841	23,029,032
その他包括利益を通じて公正価値評価される負債投資	23(c)	780,349	15,154,378	636,038	12,351,858
その他包括利益を通じて公正価値評価する指定を受けた持分投資	23(d)	13,416	260,539	6,995	135,843
共同支配企業持分	25	14,247	276,677	14,779	287,008
関連会社持分	26	9,597	186,374	8,875	172,353
投資不動産	27	1,268	24,625	1,372	26,644
有形固定資産	28	99,919	1,940,427	80,415	1,561,659
使用権資産	29(a)	17,553	340,879	18,403	357,386
無形資産	30	3,402	66,067	4,066	78,962
のれん	31	9,999	194,181	9,954	193,307
繰延税金資産	32	90,848	1,764,268	81,639	1,585,429
その他資産	33	55,978	1,087,093	122,521	2,379,358
資産合計		10,138,912	196,897,671	9,249,021	179,615,988

注記はこれらの連結財務諸表の一部である。

## 12月31日現在

	注記	2022年		2021年	
		(百万人民元)	(百万円)	(百万人民元)	(百万円)
負債					
中央銀行からの借入金		129,745	2,519,648	159,987	3,106,948
銀行およびその他金融機関からの預かり金	34	645,674	12,538,989	753,018	14,623,610
銀行およびその他金融機関からの借入金	35	192,857	3,745,283	170,650	3,314,023
損益を通じて公正価値評価される金融負債	36	63,314	1,229,558	63,761	1,238,239
デリバティブ金融負債	60(f)	18,636	361,911	27,282	529,816
買戻契約に基づいて売却された金額	37	107,093	2,079,746	157,660	3,061,757
顧客からの預金	38	7,590,579	147,409,044	6,385,154	123,999,691
未払給とおよび福利厚生費	39(a)	23,866	463,478	19,761	383,759
未払法人所得税	40	19,458	377,874	22,491	436,775
契約負債	41	6,679	129,706	7,536	146,349
リース負債	29(b)	13,013	252,712	13,812	268,229
引当金	42	22,491	436,775	14,660	284,697
発行済負債証券	43	223,821	4,346,604	446,645	8,673,846
繰延税金負債	32	1,510	29,324	1,353	26,275
その他負債	44	125,938	2,445,716	139,570	2,710,449
負債合計		9,184,674	178,366,369	8,383,340	162,804,463

注記はこれらの連結財務諸表の一部である。

## 12月31日現在

	注記	2022年		2021年	
		(百万人民元)	(百万円)	(百万人民元)	(百万円)
<b>株主資本</b>					
資本金	45	25,220	489,772	25,220	489,772
その他持分商品	46	120,446	2,339,061	127,043	2,467,175
- 優先株式	46(a)	27,468	533,429	34,065	661,542
- 永久債	46(b)	92,978	1,805,633	92,978	1,805,633
資本準備金	47	65,435	1,270,748	67,523	1,311,297
投資再評価準備金	48	11,815	229,447	15,047	292,213
ヘッジ準備金	49	151	2,932	39	757
剰余準備金	50	94,985	1,844,609	82,137	1,595,101
一般準備金	51	132,471	2,572,587	115,288	2,238,893
利益剰余金		449,139	8,722,279	390,207	7,577,820
利益処分予定額	52(b)	43,832	851,217	38,385	745,437
為替準備金	53	2,009	39,015	(2,144)	(41,636)
<b>当行株主に帰属する株主資本合計</b>		<b>945,503</b>	<b>18,361,668</b>	<b>858,745</b>	<b>16,676,828</b>
非支配持分		8,735	169,634	6,936	134,697
- 非支配持分		5,948	115,510	3,300	64,086
- 永久債資本	62(a)	2,787	54,124	3,636	70,611
<b>株主資本合計</b>		<b>954,238</b>	<b>18,531,302</b>	<b>865,681</b>	<b>16,811,525</b>
<b>株主資本および負債合計</b>		<b>10,138,912</b>	<b>196,897,671</b>	<b>9,249,021</b>	<b>179,615,988</b>

注記はこれらの連結財務諸表の一部である。

2023年3月24日の取締役会において公表が承認された。

**繆建民**

取締役

**王良**

取締役

[次へ](#)

## 連結株主持分変動計算書

2022年12月31日に終了した事業年度															
当行株主帰属持分合計													非支配持分		
注記	その他持分商品			資本準備金	投資再評価準備金	ヘッジ準備金	剰余準備金	一般準備金	利益剰余金	利益処分予定額	為替準備金	小計	非支配持分	永久債資本	合計
	資本金	優先株式	永久債												
(百万人民元)															
2022年1月1日現在	25,220	34,065	92,978	67,523	15,047	39	82,137	115,288	390,207	38,385	(2,144)	858,745	3,300	3,636	865,681
当期持分変動額	-	(6,597)	-	(2,088)	(3,232)	112	12,848	17,183	58,932	5,447	4,153	86,758	2,648	(849)	88,557
(a) 当期純利益	-	-	-	-	-	-	-	-	138,012	-	-	138,012	1,080	202	139,294
(b) 当期その他包括利益	-	-	-	-	(3,212)	112	-	-	-	-	4,153	1,053	15	255	1,323
当期包括利益合計	-	-	-	-	(3,212)	112	-	-	138,012	-	4,153	139,065	1,095	457	140,617
(c) 株主からの資本の変動	-	(6,597)	-	(2,088)	-	-	-	-	-	-	-	(8,685)	1,832	(1,104)	(7,957)
( ) 非支配株主による拠出	-	-	-	(1,489)	-	-	-	-	-	-	-	(1,489)	1,842	-	353
( ) 非支配持分の減少	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(10)	-	(10)
( ) 優先株式の償還	-	(6,597)	-	(599)	-	-	-	-	-	-	-	(7,196)	-	-	(7,196)
( ) 永久債資本の償還	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(1,104)	(1,104)
(d) 利益処分	-	-	-	-	-	-	12,848	17,183	(79,100)	5,447	-	(43,622)	(279)	(202)	(44,103)
( ) 法定剰余準備金への充当	-	-	-	-	-	-	12,848	-	(12,848)	-	-	-	-	-	-
( ) 一般準備金への充当	-	-	-	-	-	-	-	17,183	(17,183)	-	-	-	-	-	-
( ) 2021年度に対する配当宣言額及び支払額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(38,385)	-	(38,385)	(279)	-	(38,664)
( ) 永久債資本への分配	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(202)	(202)
( ) 2022年度に対する配当提案額	-	-	-	-	-	-	-	-	(43,832)	43,832	-	-	-	-	-
( ) 優先株式に対する配当額	-	-	-	-	-	-	-	-	(1,675)	-	-	(1,675)	-	-	(1,675)
( ) 永久債への分配	-	-	-	-	-	-	-	-	(3,562)	-	-	(3,562)	-	-	(3,562)
(e) その他包括利益を通じて公正価値評価する指定を受けた持分商品の処分に伴う資本の部における振替	-	-	-	-	(20)	-	-	-	20	-	-	-	-	-	-
2022年12月31日現在	25,220	27,468	92,978	65,435	11,815	151	94,985	132,471	449,139	43,832	2,009	945,503	5,948	2,787	954,236

注記はこれらの連結財務諸表の一部である。

2021年12月31日に終了した事業年度

	当行株主帰属持分合計												非支配持分			
	注記	その他持分商品			資本準備金	投資再評価準備金	ヘッジ準備金	剰余準備金	一般準備金	利益剰余金	利益処分予定額	為替準備金	小計	非支配持分	永久債資本	合計
		資本金	優先株式	永久債												
(百万人民元)																
2021年1月1日現在		25,220	34,065	49,989	67,523	8,207	(66)	71,158	98,082	338,664	31,601	(693)	723,750	2,851	3,753	730,354
当期持分変動額		-	-	42,989	-	6,840	105	10,979	17,206	51,543	6,784	(1,451)	134,995	449	(117)	135,327
(a) 当期純利益		-	-	-	-	-	-	-	-	119,922	-	-	119,922	685	227	120,834
(b) 当期その他包括利益	16	-	-	-	-	8,644	105	-	-	-	-	(1,451)	7,298	8	(117)	7,189
当期包括利益合計		-	-	-	-	8,644	105	-	-	119,922	-	(1,451)	127,220	693	110	128,023
(c) 株主からの資本提出		-	-	42,989	-	-	-	-	-	-	-	-	42,989	-	-	42,989
永久債の発行	46(b)	-	-	42,989	-	-	-	-	-	-	-	-	42,989	-	-	42,989
(d) 利益処分		-	-	-	-	-	-	10,979	17,206	(70,183)	6,784	-	(35,214)	(244)	(227)	(35,685)
( ) 法定剰余準備金への充当	50	-	-	-	-	-	-	10,979	-	(10,979)	-	-	-	-	-	-
( ) 一般準備金への充当	51	-	-	-	-	-	-	-	17,206	(17,206)	-	-	-	-	-	-
( ) 2020年度に対する配当宣言額及び支払額		-	-	-	-	-	-	-	-	-	(31,601)	-	(31,601)	(244)	-	(31,845)
( ) 永久債資本への分配	62	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(227)	(227)
( ) 2021年度に対する配当提案額		-	-	-	-	-	-	-	-	(38,385)	38,385	-	-	-	-	-
( ) 優先株式に対する配当額		-	-	-	-	-	-	-	-	(1,638)	-	-	(1,638)	-	-	(1,638)
( ) 永久債への分配		-	-	-	-	-	-	-	-	(1,975)	-	-	(1,975)	-	-	(1,975)
(e) その他包括利益を通じて公正価値評価する指定を受けた持分商品の処分に伴う資本の部における振替		-	-	-	-	(1,804)	-	-	-	1,804	-	-	-	-	-	-
2021年12月31日現在		25,220	34,065	92,978	67,523	15,047	39	82,137	115,288	390,207	38,385	(2,144)	858,745	3,300	3,636	865,681

注記はこれらの連結財務諸表の一部である。



2022年12月31日に終了した事業年度

当行株主帰属持分合計													非支配持分		
注記	その他持分商品											小計	非支配持分	永久債資本	合計
	資本金	優先株式	永久債	資本準備金	投資再評価準備金	ヘッジ準備金	剰余準備金	一般準備金	利益剰余金	利益処分予定額	為替準備金				
(百万円)															
2022年1月1日現在	489,772	661,542	1,805,633	1,311,297	292,213	757	1,595,101	2,238,893	7,577,820	745,437	(41,636)	16,676,828	64,086	70,611	16,811,525
当期持分変動額	-	(128,114)	-	(40,549)	(62,765)	2,175	249,508	333,694	1,144,459	105,781	80,651	1,684,840	51,424	(16,488)	1,719,777
(a)当期純利益	-	-	-	-	-	-	-	-	2,680,193	-	-	2,680,193	20,974	3,923	2,705,089
(b)当期その他の包括利益	16	-	-	-	(62,377)	2,175	-	-	-	-	80,651	20,449	291	4,952	25,693
当期包括利益合計	-	-	-	-	(62,377)	2,175	-	-	2,680,193	-	80,651	2,700,642	21,265	8,875	2,730,782
(c)株主からの資本の変動	-	(128,114)	-	(40,549)	-	-	-	-	-	-	-	(168,663)	35,577	(21,440)	(154,525)
( )非支配株主による拠出	-	-	-	(28,916)	-	-	-	-	-	-	-	(28,916)	35,772	-	6,855
( )非支配持分の減少	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(194)	-	(194)
( )優先株式の償還	46(a)	(128,114)	-	(11,633)	-	-	-	-	-	-	-	(139,746)	-	-	(139,746)
( )永久債資本の償還	62(a)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(21,440)	(21,440)
(d)利益処分	-	-	-	-	-	-	249,508	333,694	(1,536,122)	105,781	-	(847,139)	(5,418)	(3,923)	(856,480)
( )法定剰余準備金への充当	50	-	-	-	-	-	249,508	-	(249,508)	-	-	-	-	-	-
( )一般準備金への充当	51	-	-	-	-	-	-	333,694	(333,694)	-	-	-	-	-	-
( )2021年度に対する配当宣言額及び支払額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(745,437)	-	(745,437)	(5,418)	-	(750,855)
( )永久債資本への分配	62	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(3,923)	(3,923)

( )	2022																
年度に 対する 配当提 案額	-	-	-	-	-	-	-	-	(851,217)	851,217	-	-	-	-	-	-	-
( )優先 株式に 対する 配当額	-	-	-	-	-	-	-	-	(32,529)	-	-	(32,529)	-	-	-	(32,529)	-
( )永久 債への 分配	-	-	-	-	-	-	-	-	(69,174)	-	-	(69,174)	-	-	-	(69,174)	-
(e)その他 包括利 益を通 じて公 正価値 評価す る指定 を受け た持分 商品の 処分に 伴う資 本の部 におけ る振替	-	-	-	-	(388)	-	-	-	388	-	-	-	-	-	-	-	-
2022年12月 31日現在	489,772	533,429	1,805,633	1,270,748	229,447	2,932	1,844,609	2,572,587	8,722,279	851,217	39,015	18,361,668	115,510	54,124	18,531,302		

注記はこれらの連結財務諸表の一部である。

2021年12月31日に終了した事業年度

	当行株主帰属持分合計													非支配持分		
	注記	その他持分商品			資本準備金	投資再評価準備金	ヘッジ準備金	剰余準備金	一般準備金	利益剰余金	利益処分予定額	為替準備金	小計	非支配持分	永久債資本	合計
		資本金	優先株式	永久債												
(百万円)																
2021年1月1日現在		489,772	661,542	970,786	1,311,297	159,380	(1,282)	1,381,888	1,904,752	6,576,855	613,691	(13,458)	14,055,225	55,366	72,883	14,183,475
当期持分変動額		-	-	834,846	-	132,833	2,039	213,212	334,141	1,000,965	131,745	(28,178)	2,621,603	8,720	(2,272)	2,628,050
(a) 当期純利益		-	-	-	-	-	-	-	-	2,328,885	-	-	2,328,885	13,303	4,408	2,346,596
(b) 当期その他包括利益	16	-	-	-	-	167,866	2,039	-	-	-	-	(28,178)	141,727	155	(2,272)	139,610
当期包括利益合計		-	-	-	-	167,866	2,039	-	-	2,328,885	-	(28,178)	2,470,612	13,458	2,136	2,486,207
(c) 株主からの資本拠出		-	-	834,846	-	-	-	-	-	-	-	-	834,846	-	-	834,846
永久債の発行	46 (b)	-	-	834,846	-	-	-	-	-	-	-	-	834,846	-	-	834,846
(d) 利益処分		-	-	-	-	-	-	213,212	334,141	(1,362,954)	131,745	-	(683,856)	(4,738)	(4,408)	(693,003)
( ) 法定剰余準備金への充当	50	-	-	-	-	-	-	213,212	-	(213,212)	-	-	-	-	-	-
( ) 一般準備金への充当	51	-	-	-	-	-	-	-	334,141	(334,141)	-	-	-	-	-	-
( ) 2020年度に対する配当宣言額及び支払額		-	-	-	-	-	-	-	-	-	(613,691)	-	(613,691)	(4,738)	-	(618,430)
( ) 永久債資本への分配	62	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(4,408)	(4,408)
( ) 2021年度に対する配当提案額		-	-	-	-	-	-	-	-	(745,437)	745,437	-	-	-	-	-
( ) 優先株式に対する配当額		-	-	-	-	-	-	-	-	(31,810)	-	-	(31,810)	-	-	(31,810)
( ) 永久債への分配		-	-	-	-	-	-	-	-	(38,355)	-	-	(38,355)	-	-	(38,355)

(e)その他 包括利 益を通 じて公 正価値 評価す る指定 を受け た持分 商品の 処分に 伴う資 本の部 におけ る振替	-	-	-	-	(35,034)	-	-	-	35,034	-	-	-	-	-	-
2021年12月 31日現在	<u>489,772</u>	<u>661,542</u>	<u>1,805,633</u>	<u>1,311,297</u>	<u>292,213</u>	<u>757</u>	<u>1,595,101</u>	<u>2,238,893</u>	<u>7,577,820</u>	<u>745,437</u>	<u>(41,636)</u>	<u>16,676,828</u>	<u>64,086</u>	<u>70,611</u>	<u>16,811,525</u>

注記はこれらの連結財務諸表の一部である。

[次へ](#)

## 連結キャッシュ・フロー計算書

	12月31日に終了した事業年度			
	2022年		2021年	
	(百万人民元)	(百万円)	(百万人民元)	(百万円)
<b>営業活動</b>				
税引前利益	165,113	3,206,494	148,173	2,877,520
<b>調整：</b>				
- 貸出金に対する減損損失	45,157	876,949	37,020	718,928
- 投資およびその他に対する減損損失	12,409	240,983	29,335	569,686
- 貸出金の引当金に対する割引のアンワイディング	(386)	(7,496)	(247)	(4,797)
- 有形固定資産および投資不動産の減価償却	10,279	199,618	8,857	172,003
- 使用権資産の減価償却	4,151	80,612	4,259	82,710
- その他資産の償却	1,193	23,168	1,389	26,974
- 負債証券および持分投資に係る正味利益	(14,722)	(285,901)	(15,388)	(298,835)
- 投資に係る受取利息	(65,808)	(1,277,991)	(56,059)	(1,088,666)
- 発行済負債証券に係る支払利息	9,662	187,636	12,532	243,371
- 関連会社持分利益	(815)	(15,827)	(1,153)	(22,391)
- 共同支配企業持分利益	(1,710)	(33,208)	(2,877)	(55,871)
- 有形固定資産およびその他資産の処分に係る正味利益	(282)	(5,476)	(113)	(2,194)
- リース負債に係る支払利息	510	9,904	555	10,778
<b>以下における変動：</b>				
中央銀行に対する預け金	(48,851)	(948,686)	12,874	250,013
顧客に対する貸出金	(508,891)	(9,882,663)	(564,924)	(10,970,824)
その他資産	63,611	1,235,326	(37,395)	(726,211)
顧客からの預金	1,188,664	23,083,855	718,742	13,957,970
銀行およびその他金融機関からの預かり金	(135,569)	(2,632,750)	73,321	1,423,894
当初満期3ヶ月超の銀行およびその他金融機関に対する預け金	(46,825)	(909,342)	2,160	41,947
中央銀行からの借入金	(30,073)	(584,018)	(170,100)	(3,303,342)
その他負債	(39,251)	(762,254)	16,596	322,294
<b>営業活動によって生じた資金（法人所得税支払額控除前）</b>	<u>607,566</u>	<u>11,798,932</u>	<u>217,557</u>	<u>4,224,957</u>
法人所得税支払額	<u>(37,423)</u>	<u>(726,755)</u>	<u>(35,509)</u>	<u>(689,585)</u>
<b>営業活動によって生じた正味資金</b>	<u>570,143</u>	<u>11,072,177</u>	<u>182,048</u>	<u>3,535,372</u>

注記はこれらの連結財務諸表の一部である。

		12月31日に終了した事業年度			
	注記	2021年		2020年	
		(百万人民元)	(百万円)	(百万人民元)	(百万円)
投資活動					
投資の購入に関する支出		(1,898,898)	(36,876,599)	(1,225,385)	(23,796,977)
投資の処分および償還による収入		1,334,013	25,906,532	1,160,739	22,541,551
投資収益受取額		79,122	1,536,549	71,197	1,382,646
子会社、関連会社、共同支配企業の取得に関する支出		(484)	(9,399)	(5,342)	(103,742)
有形固定資産およびその他資産の購入に関する支出		(34,892)	(677,603)	(24,160)	(469,187)
有形固定資産およびその他資産の処分による収入		6,750	131,085	2,399	46,589
子会社、関連会社、共同支配企業の処分による収入		463	8,991	855	16,604
投資活動に使用した正味資金		(513,926)	(9,980,443)	(19,697)	(382,516)
財務活動					
銀行間譲渡性預金の発行による収入	55(b)	78,666	1,527,694	319,707	6,208,710
譲渡性預金の発行による収入	55(b)	20,287	393,974	14,692	285,319
負債証券の発行による収入	55(b)	21,481	417,161	63,872	1,240,394
永久債の発行による収入		-	-	42,989	834,846
子会社の非支配持分からの収入		2,667	51,793	-	-
その他の財務活動による収入	55(b)	10,796	209,658	6,860	133,221
銀行間譲渡性預金の払戻	55(b)	(250,996)	(4,874,342)	(226,012)	(4,389,153)
譲渡性預金の払戻	55(b)	(16,504)	(320,508)	(21,363)	(414,869)
負債証券の払戻	55(b)	(78,735)	(1,529,034)	(55,771)	(1,083,073)
リース負債に関する支出	55(b)	(4,932)	(95,779)	(4,835)	(93,896)
優先株式の償還に関する支出		(7,196)	(139,746)	-	-
永久債資本の償還に関する支出		(1,104)	(21,440)	-	-
永久債資本に係る分配支払額		(202)	(3,923)	(227)	(4,408)
配当支払に関する支出		(38,664)	(750,855)	(31,845)	(618,430)
優先株式に係る分配支払額		(1,675)	(32,529)	(1,638)	(31,810)
永久債に係る分配支払額		(3,562)	(69,174)	(1,975)	(38,355)
財務活動に係る利息支出		(12,400)	(240,808)	(11,398)	(221,349)
その他の財務活動に関する支出	55(b)	(14,959)	(290,504)	(3,697)	(71,796)
財務活動（に使用した）/ によって生じた正味資金		(297,032)	(5,768,361)	89,359	1,735,352
現金および現金同等物の正味（減少）/ 増加		(240,815)	(4,676,627)	251,710	4,888,208
現金および現金同等物 1月1日現在		801,754	15,570,063	552,790	10,735,182
為替レート変動の影響		6,259	121,550	(2,746)	(53,327)
現金および現金同等物 12月31日現在	55(a)	567,198	11,014,985	801,754	15,570,063
営業活動によるキャッシュ・フローは以下を含む：					
利息収入		285,050	5,535,671	269,081	5,225,553
利息支出		108,496	2,106,992	111,177	2,159,057

注記はこれらの連結財務諸表の一部である。

[前へ](#)

[次へ](#)

## 財務諸表注記

(単位は特に記載がない限り百万人民元)

### 1 組織および主要業務

#### (1) 組織

招商銀行股伊分有限公司(以下、「当行」という。)は、中華人民共和国(以下、「中国」という。)の深圳に設立された商業銀行である。2002年4月9日、当行A株式は中国の中国証券監督管理委員会(以下、「CSRC」という。)の承認を受けて上海証券取引所に上場した。2006年9月22日、当行のH株式は香港証券取引所有限公司(以下、「HKEx」という。)メインボードに上場した。

2022年12月31日現在、本店以外に、当行は中国本土、香港、ニューヨーク、シンガポール、ルクセンブルク、ロンドンおよびシドニーに51の支店を有していた。また、当行はニューヨークおよび台北の2箇所に代表事務所を有している。

#### (2) 主要業務

当行および子会社(以下、「当グループ」という。)の主要業務は、法人向けおよび個人向けの銀行サービスの提供、トレジャリー業務の実施、資産運用およびその他の金融サービスの提供である。

### 2 連結財務諸表作成の基礎

#### (1) 準拠基準および作成の基礎

当財務諸表は、国際会計基準審議会(以下、「IASB」という。)が規定する国際財務報告基準(以下、「IFRS」という。)およびその解釈指針、ならびに香港公司条例の開示要件に準拠して作成されている。当連結財務諸表は、香港証券取引所による証券上場規則のうち該当する開示規則にも準拠している。

#### (2) 測定基準

当連結財務諸表は人民元で表示されており、別途記載がない限り、百万人民元未満の金額は四捨五入されている。人民元は当グループの国内事業の機能通貨である。海外支店および子会社の機能通貨は、業務を行っている主な経済環境に基づいて決定され、当連結財務諸表を作成するにあたって、注記4(16)に従って人民元に換算されている。

当連結財務諸表は歴史的原価基準で作成されているが、各報告期間末現在の公正価値で測定される金融商品および下記に説明される測定原則を除く。

公正価値は、その価格が直接観察可能であるか、別の評価手法を用いて見積もられているかに関わらず、市場参加者間の秩序だった取引において、資産を売却するために受け取るか、または負債を移転するために支払う測定日現在の価格である。資産または負債の公正価値を見積もる際、当グループは、市場参加者が測定日において当該資産または負債の価格を決定するにあたり資産または負債の特性を考慮するであろう場合には、それらの特性を考慮する。当連結財務諸表における測定目的および／または開示目的の公正価値はこうした基準で決定される。ただし、IFRS第2号「株式に基づく報酬」の範囲内の株式報酬取引、IFRS第16号「リース」の範囲内のリース取引、およびIAS第2号「棚卸資産」における正味実現可能価額やIAS第36号「資産の減損」における使用価値など、公正価値との類似点があるが公正価値ではない測定値を除く。

また、財務報告の目的上、公正価値測定は、以下に説明される公正価値測定に対するインプットが観察可能である度合いおよび公正価値測定全体に対するインプットの重要性に基づき、レベル1、レベル2およびレベル3に分類される。

レベル1のインプットは、企業が測定日において入手可能な、同一の資産または負債についての活発な市場における相場価格（未調整）である。

レベル2のインプットは、資産または負債について直接的または間接的に観察可能なレベル1に含まれる相場価格以外のインプットである。

レベル3のインプットは、資産または負債に関する観察不能なインプットである。

IFRSに準拠した当財務諸表の作成にあたり、経営陣は、適用する会計方針、ならびに資産・負債および収益・費用の報告金額に影響を与える判断、見積りおよび仮定を行うことを要求される。見積りおよび関連する仮定は、過去の実績およびその状況下において合理的と考えられるその他の様々な要因に基づいている。そのような見積りおよび仮定が、その他の要素から容易に明白にならない資産および負債の帳簿価額についての判断基準となる。実際の結果はこれらの見積りとは異なる可能性がある。

見積りおよび関連する仮定は継続的に検証される。会計上の見積りの変更は、変更が当該年度のみに影響する場合は見積りが変更された事業年度に認識されるが、変更が当該年度ならびに次年度以降にも影響する場合は、見積りが変更された事業年度ならびに将来年度にわたって認識される。

IFRSの適用に際して経営陣が行った連結財務諸表に重大な影響をおよぼす判断、および将来の期間に重大な調整を要する重要なリスクを伴う見積りは、注記5に記載されている。



### 3 新規IFRSおよびIFRSの改訂の適用

#### 当事業年度において有効となり、当グループが適用したIFRSの改訂

IFRS第3号の改訂	概念フレームワークへの参照
IFRS第16号の改訂	2021年6月30日より後のCOVID-19に関連した賃料減免
IAS第16号の改訂	有形固定資産 - 意図した使用の前の収入
IAS第37号の改訂	不利な契約 - 契約履行のコスト
IFRSの改訂	IFRSの年次改善（2018年 - 2020年サイクル）

上述のIFRSの改訂の適用による当事業年度および過年度の当グループの財政状態および業績、および／またはこれらの連結財務諸表に記載されている開示への重要な影響はなかった。

#### 公表されているが未だに有効になっておらず当グループが適用していない基準および改訂

		以下の日付以降に開始する年度より有効
IFRS第17号（2020年6月および2021年12月のIFRS第17号への改訂を含む）	保険契約	2023年1月1日
IAS第1号およびIFRS実務記述書第2号の改訂	会計方針の開示	2023年1月1日
IAS第8号の改訂	会計上の見積りの定義	2023年1月1日
IAS第12号の改訂	単一の取引から生じた資産および負債に係る繰延税金	2023年1月1日
IFRS第16号の改訂	セールス・アンド・リースバック取引におけるリース負債	2024年1月1日
IAS第1号の改訂	負債の流動または非流動への分類	2024年1月1日
IAS第1号の改訂	特約条項付きの非流動負債	2024年1月1日
IFRS第10号およびIAS第28号の改訂	投資者とその関連会社または共同支配企業間の資産の売却または拠出	未定

予測可能な将来において、上記の新規IFRSおよびIFRSの改訂による当グループの連結財務諸表への重大な影響はないと予想される。

### 4 主要な会計方針

#### (1) 企業結合

財務諸表には当行およびその子会社の財務諸表が含まれる。子会社とは当グループによって支配されている企業のことである。当グループは、当グループがその事業体に関与することによって変動収益にさらされるか、または変動収益を得る権利を有していて、その事業体に対する当グループのパワーを通じてそれらの収益に影響を及ぼす能力を有している場合、その事業体を支配している。当グループがパワーを有しているか否かを評価する際には、当グループおよびその他の当事者が有する、実質的な権利のみを考慮する。

子会社に対する投資は、支配が開始した日から支配が終了する日まで連結財務諸表に連結される。グループ内残高、取引およびキャッシュ・フローならびにグループ内取引から生じた利益は、連結財務諸表を作成する際に全額相殺消去されている。グループ内の取引が、関連する資産の減損損失を示唆している場合、その損失は全額認識されることとなる。

子会社の会計方針を当グループの会計方針と一致させるために、必要に応じて、当グループによって子会社の財務諸表への調整が行われる。

非支配持分は、当行に直接的あるいは間接的に帰属しない子会社における持分であり、当グループとそれらの持分の保有者との間では、これらの持分に関して、全体として金融負債の定義を満たす契約上の義務を当グループが負うことになるような追加条件は合意されていない。非支配持分は、連結財政状態計算書および連結株主持分変動計算書の資本の部に当行株主帰属持分とは別に表示されている。当グループの業績に対する非支配持分は、連結損益計算書ならびに連結損益およびその他包括利益計算書上に非支配持分と当行株主間の当期純損益および包括利益合計額の配分として表示されている。

当グループの子会社持分のうち、支配の喪失を生じない変動については、資本取引として会計処理され、関連する持分の変動を反映するため、連結株主持分変動計算書の支配持分および非支配持分に対する調整が行われるものの、のれんに対する調整は行われず、損益も認識されない。

当グループが子会社の支配を喪失した場合、その子会社における持分全体が処分として会計処理され、結果として生じた損益は損益に認識される。支配喪失日現在の旧子会社における留保持分は、公正価値にて認識され、当該金額は金融資産（注記4(5)参照。）の当初認識時の公正価値、あるいは必要に応じて、共同支配企業（注記4(2)参照。）または関連会社（注記4(3)参照。）への投資の当初認識時の取得原価として認識される。

#### 企業結合または資産の取得

##### 任意のコンセントレーション・テスト

当グループは、取得した一連の活動または資産が事業が否かの評価に関して、単純化された評価方法を認める任意のコンセントレーション・テストを取引ごとに適用することができる。このコンセントレーション・テストでは、取得した総資産の公正価値の実質的にすべてが単一の識別可能資産または類似した識別可能資産のグループに集中している場合は、事業ではない。評価対象の総資産は、現金および現金同等物、繰延税金資産、ならびに繰延税金負債の影響によって生じたのれんを含めない。コンセントレーション・テストで条件が満たされた場合、その一連の活動および資産は事業ではないと判定され、さらなる評価は必要ない。

## 資産の取得

当グループが事業でない資産および負債のグループを取得した場合、当グループは、購入価格をまず金融資産 / 金融負債にそれぞれの公正価値で配分することにより取得した個別の識別可能資産および引き受けた負債を識別して認識し、次に購入価格の残高を購入日現在の相対的な公正価値に基づいてその他の識別可能資産および負債に配分する。こうした取引からは、のれんまたは割引購入益は生じない。

## 企業結合

企業の取得は、取得法を用いて会計処理される。企業結合において移転される対価は公正価値で測定される。公正価値は、当グループが移転した資産、当グループが負担した、または引き受けた負債、および当グループが発行した資本持分の取得日現在の公正価値の合計として算定される。取得関連費用は、発生時に連結損益計算書に認識される。

取得日において、非支配持分に関係なく、取得した識別可能資産ならびに引き受けた負債および偶発債務は公正価値で認識される。ただし、繰延税金資産または負債および従業員給付の取決めに関連する資産または負債は、それぞれIAS第12号「法人所得税」およびIAS第19号「従業員給付」に従って認識され、測定される。

被取得企業に対する所有持分を示し、清算の際、その所有者に当該企業の純資産の比例持分を保有する権利を与える非支配持分は、公正価値または被取得企業の識別可能純資産の認識額に対する非支配持分の比例持分のいずれかで当初認識される。測定基準の選択は、取引ごとに行われる。

## (2) 共同支配企業

共同支配企業とは、当グループが共同支配する取決めであり、共同支配では当グループが資産に対する権利および負債に対する義務よりもむしろ当該取決めの純資産に対する権利を有している。

共同支配とは、契約上合意した支配分担の取決めであり、関連活動に関する決定において、支配を分担している当事者の満場一致の合意を要する場合のみ存在する。

共同支配の有無について判断する場合、当グループは通常、以下のケースを検討する。

- 共同支配の取決めにおいて、いずれかの当事者が共同支配企業の関連活動を支配できないか否か
- 共同支配企業の関連活動に関する決定において、支配を分担している当事者の満場一致の合意を要するか否か

連結損益計算書には、共同支配企業の当事業年度の業績に対する当グループの持分が含まれ、連結財政状態計算書には、共同支配企業の純資産に対する当グループの持分が含まれる。

持分法のもとでは、投資は、当初、取得原価で計上され、取得日における被投資会社の識別可能純資産の公正価値のうち、当グループ持分が投資の取得原価を超過する部分（もしあれば）に関して調整される。その後、当該投資は、共同支配企業の純資産の当グループ持分の取得後の変動に関して調整される。識別可能資産および負債の公正価値純額の当グループ持分が投資の取得原価を超過する部分がある場合には、投資が取得される期間に直ちに損益に認識される。

連結損益算書には、共同支配企業への投資に関して当事業年度に認識されたのれんの減損を含む、共同支配企業の当事業年度の業績（税引後）が含まれる（注記4（4）および4（11）参照）。

当グループの損失の持分が共同支配企業に対する持分を超過する場合、当グループの持分はゼロまで減額され、それ以上の損失は認識されない。ただし、グループに法的あるいは実質的な義務が生じている場合またはグループが共同支配企業の代わりに支払いを行っている場合を除く。これらの目的上、共同支配企業に対する当グループの持分は、持分法に基づく投資の帳簿価額に当グループの共同支配企業への純投資の一部を実質的に形成する当グループの持分を含めたものである。

当グループおよび共同支配企業間の取引から生じた未実現利益および損失は、当グループの共同支配企業に対する持分を上限として相殺消去される。ただし、未実現損失が譲渡資産に減損が生じている証拠となる場合は、直ちに損益に認識される。

当グループが共同支配企業に対する共同支配を中止し、重大な影響が生じない場合、被投資会社における全持分の処分として会計処理され、結果として生じた利益または損失は連結損益計算書に認識され、以前のその他包括利益は損益に再分類される。共同支配を喪失した日の旧被投資会社の留保持分は、公正価値で認識され、この金額は金融資産の当初認識時の公正価値とみなされる（注記4（5）参照。）。

### (3) 関連会社

関連会社は当グループが重要な影響力を持つが、支配または共同支配を行っていない事業体である。重要な影響力とは、被投資会社の財務上および経営上の方針決定への参画はするが、それらの方針に対する支配または共同支配を行っていないことである。

重要な影響力の有無について判断する場合、当グループは通常、以下のケースを検討する。

- 被投資会社の取締役会または同等の管理組織の代表
- 方針決定プロセスへの参加
- 企業と被投資会社との間の重要な取引

関連会社への投資は、連結財務諸表上で持分法により会計処理されている。持分法のもとでは、投資は、当初、取得原価で計上され、取得日における被投資会社の識別可能純資産の公正価値のうち、当グループ持分が投資の取得原価を超過する部分（もしあれば）に関して調整される。その後、当該投資は関連会社の純資産の当グループ持分における取得後の変動に関して調整される。識別可能資産および負債の公正価値純額の当グループ持分が投資の取得原価を超過する部分がある場合には、投資が取得される期間に直ちに損益に認識される。

連結損益算書には、関連会社への投資に関して当事業年度に認識されたのれんの減損を含む、当グループの関連会社の当事業年度の取得後の業績（税引後）が含まれる（注記4（4）および4（11）参照）。

当グループの持分損失が関連会社に対する持分を超過する場合、当グループの持分はゼロまで減額され、それ以上の損失は認識されない。ただし、グループに法的あるいは実質的な義務が生じている場合またはグループが関連会社の代わりに支払いを行っている場合を除く。これらの目的上、関連会社に対する当グループの持分は、持分法に基づく投資の帳簿価額に当グループの関連会社への純投資の一部を形成する当グループの持分を含めたものである。

当グループおよび関連会社間の取引から生じた未実現利益および損失は、当グループの関連会社に対する持分を上限として相殺消去される。ただし、未実現損失が譲渡資産に減損が生じている証拠となる場合は、直ちに損益に認識される。

当グループが関連会社に対する重要な影響力を喪失する場合、当該被投資会社における持分全体の処分として会計処理され、結果として生じた損益は連結損益計算書に認識され、以前のその他包括利益は損益に再分類される。重要な影響力を喪失した日における旧被投資会社における留保持分は、公正価値で認識され、この金額は金融資産の当初認識時の公正価値（注記4(5)参照）とみなされる。

#### (4) のれん

のれんとは、（ ）が（ ）を超過した部分を表す。

（ ）譲渡した対価の公正価値、被取得会社における取得した純資産の公正価値に基づく非支配持分の金額および当グループが過去に保有していた被取得会社の持分の公正価値の累計額

（ ）取得日現在において測定された被取得会社の識別可能な資産および負債の公正価値純額

（ ）が（ ）よりも大きい場合、この超過部分は割引購入における利益として直ちに損益に認識される。

のれんは減損累計額控除後の原価で表示される。企業結合によって生じたのれんは、企業結合のシナジー効果によって便益を得ることが期待される各現金生成単位（以下、「CGU」という。）またはCGUグループに対して配分され、少なくとも毎年、減損テストが行われる（注記4(11)参照）。

期中にCGUが処分される場合、取得したのれんのうち当該現金生成単位に帰属する金額は、処分損益の計算に含まれる。

#### (5) 金融商品

当初認識

金融商品とは、ある企業の金融資産および別の企業の金融負債または持分商品を生じさせる契約である。

通常の方法による金融資産の購入または売却は、取引日基準で認識および認識の中止が行われる。通常の方法による購入および売却は、規制および市場慣行により設定された期間内に資産の引渡しを行う必要のある金融資産の購入または売却である。

IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」に従って当初測定される顧客との契約から生じる営業債権を除き、金融資産および負債は当初認識時に公正価値で測定される。金融資産および金融負債（損益を通じて公正価値評価される金融資産または金融負債以外）の取得あるいは発行に直接帰属する取引費用は、適切に、当初認識時に当該金融資産または金融負債の公正価値に加算されるか、または公正価値から控除される。損益を通じて公正価値評価される金融資産または負債の取得に直接帰属する取引費用は、直ちに損益に認識される。

実効金利法は、対象期間にわたって、金融資産または金融負債の償却原価を算定し、受取利息および支払利息を配分する手法である。実効金利は、金融資産または金融負債の予想残存期間、あるいは適切な場合にはより短い期間を通じて将来の予想現金受取額または支払額（実効金利の不可欠な一部であるすべての手数料およびポイントの支払額または受取額、取引費用ならびにその他のプレミアムまたはディスカウントを含む）を当初認識時の正味帳簿価額まで正確に割り引く金利である。実効金利を決定する際、当グループは金融資産または金融負債のすべての契約条件を考慮し、将来キャッシュ・フローを見積るが、予想信用損失は考慮しない。

#### 金融資産の分類および測定

当グループは、当初認識時に金融資産を、償却原価で測定される金融資産、その他包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産、および損益を通じて公正価値で測定される金融資産の測定区分に分類する。

以下の条件を満たす負債商品は、当初認識後に償却原価で測定される。

- ・ 当該金融資産は、契約上のキャッシュ・フローを回収することを目的とする事業モデルにおいて保有される。
- ・ 当該金融資産の契約条件は、元本および元本残高に対する利息の支払いのみ（以下、「SPPI」という。）のキャッシュ・フローを特定の日に生じさせる。

以下の条件を満たす負債商品は、当初認識後にその他包括利益を通じて公正価値（以下、「FVTOCI」という。）で測定される。

- ・ 当該金融資産は、契約上のキャッシュ・フローの回収と金融資産の売却の両方によってその目的が達成される事業モデルにおいて保有される。
- ・ 当該金融資産の契約条件は、元本および元本残高に対する利息の支払いのみのキャッシュ・フローを特定の日に生じさせる。

その他の金融資産はすべて、当初認識後に損益を通じて公正価値（以下、「FVTPL」という。）で測定される。ただし、適用開始日 / 金融資産の当初認識日に、当グループは、トレーディング目的以外で保有している株式投資の当初認識後の公正価値の変動をその他包括利益（以下、「OCI」という。）に表示するという取消不能の選択をすることができる。

金融資産は以下の場合にトレーディング目的保有に分類される。

- ・ 主として近い将来売却することを目的として取得されている。
- ・ 当初認識時に当グループが一括管理している識別された金融商品のポートフォリオの一部で、最近の短期的な利益獲得の実際のパターンを有する。
- ・ 金融保証契約またはヘッジ手段に指定されており有効なヘッジ手段であるデリバティブ以外のデリバティブである。

また、当グループは、償却原価またはFVTOCIの要件を満たす負債投資を、FVTPLで測定することにより会計上のミスマッチを解消または大幅に削減することができる場合に、FVTPLで測定するものとして取消不能の指定をすることができる。

### 償却原価で測定される金融資産

償却原価で測定される金融資産は当初認識後に実効金利法を用いて測定され、償却または減損により生じた利益または損失は、損益に認識される。受取利息は、当初認識後に信用減損した金融資産を除く金融資産の帳簿価額総額に実効金利を適用することで計算される。当初認識後に信用減損した金融資産の受取利息は、翌報告期間から金融資産の償却原価に実効金利を適用することにより認識される。信用減損している金融商品の信用リスクが改善し、当該金融資産がもはや信用減損ではなくなった場合、受取利息は、当該資産が信用減損していないと判断された期間の翌報告期間の期首から金融資産の帳簿価額総額に実効金利を適用することにより認識される。

### FVT0CI区分に分類される負債商品

実効金利法を用いて算定される受取利息および為替差損益による、FVT0CI区分に分類される負債商品の当初認識後の帳簿価額の変動は、損益に認識される。負債商品の帳簿価額のその他の変動は、すべてOCIに認識され、投資再評価準備金に累積される。減損損失は損益に認識され、OCIに対してこれに対応する調整が行われ、負債商品の帳簿価額は減額されない。損益に認識される金額は、負債商品を償却原価で測定した場合に損益に認識されたであろう金額と同額である。負債商品の認識が中止される場合、投資再評価準備金に認識されていた累積利益または損失は、損益に再分類される。

### FVT0CI区分に指定された持分商品

適用開始日／当初認識日に、当グループは、トレーディング目的以外で保有している持分商品への投資をFVT0CI区分に指定するという取消不能の選択を（商品ごとに）行うことができる。FVT0CI区分の持分商品への投資は、当初公正価値に取引費用を加算した金額で測定される。当初認識後は、公正価値で測定され、公正価値の変動によって生じた損益はOCIに認識され、投資再評価準備金に累積される。なお、これらの持分商品への投資は、減損評価の対象にはならない。累積利益または損失は、当該株式投資の処分時に損益に再分類されず、利益剰余金に振り替えられる。

これらの持分商品への投資に係る配当金は、配当金が明らかに投資原価の一部の回収である場合を除き、当グループの当該配当金を受け取る権利が確立された時点で損益に認識される。配当金は損益の「その他の正味収益」の勘定科目に含まれる。

### FVTPL区分の金融資産

償却原価またはFVT0CIで測定、あるいはFVT0CI区分に指定するための要件を満たさない金融資産は、FVTPLで測定される。FVTPL区分の金融資産は、各報告期間末に公正価値で測定され、公正価値損益は損益に認識される。損益に認識される正味利得または損失は、公正価値利益または損失、金融資産に関して受け取った配当金または利息を含み、「その他の正味収益」に含まれる。

## ECLモデルに基づく減損

当グループは、償却原価で測定される金融資産、その他包括利益を通じて公正価値で測定される負債商品、リース債権、貸付コミットメントおよび金融保証契約等IFRS第9号「金融商品」に基づく減損の対象となる金融資産について予想信用損失（以下、「ECL」という。）モデルに基づき減損評価を行う。ECLの金額は、当初認識後の信用リスクの変更を反映するように、各報告日に更新される。

当グループは、将来予測的な情報を用いて金融資産のECLを評価している。12ヶ月のECL（以下、「12ヶ月ECL」という。）は、報告日から12ヶ月以内に発生しうる不履行事由によって生じると予測される全期間ECLの一部を表す。一方、全期間ECLは、当該商品の予想残存期間にわたって発生する可能性のあるすべての不履行事由によって生じるECLを表す。評価は、債務者に固有の要因、一般的な経済状況ならびに報告日現在の状況および将来の状況の予測の評価に基づいて行われる。

ECLモデルを適用する上記の金融商品（購入または組成した信用減損している金融資産を除く）について、全期間ECLを認識する必要があるか否かを判断するため、当グループは、各報告期間において、当初認識後に信用リスクが著しく増加しているか否かの評価を行っている。当グループは、当初認識後に、これらの金融商品の信用リスクが著しく増加していない場合、12ヶ月ECLと同額で当該金融商品の損失引当金を認識し、信用リスクが著しく増加している場合、全期間ECLと同額で損失引当金を認識する。当グループは、IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」の適用範囲内の取引によって生じた債権の損失引当金を全期間ECLと同額で認識する。

## 信用リスクの著しい増大

当初認識後に信用リスクが著しく増加しているか否かを評価する際に、当グループは、報告日現在の金融商品に債務不履行が発生するリスクと当初認識日現在の金融商品に債務不履行が発生するリスクとを比較する。この評価を行うにあたって、当グループは、過去の実績および過大な費用または労力なしに入手可能な将来予測的な情報等、合理的かつ立証可能な定量的情報と定性的情報の両方を考慮する。信用リスクが著しく増加しているか否かの評価については、注記60(a)に詳述されている。

## 信用減損している金融資産

当グループは、関連する金融資産に関する信用リスク管理システムの内部評価の結果に基づき、信用減損しているかどうかを定義する。当グループは、貸出金分類基準が破綻懸念、実質破綻、または破綻である、あるいは90日超延滞している場合、金融資産が信用減損しているとみなしている。

## ECLの測定および認識

ECLは、デフォルト確率、デフォルト時損失およびデフォルト時エクスポージャーに基づいて測定される。ECLの測定および認識については、注記60(a)に詳述されている。

一般に、ECLは、契約に基づき当グループに支払われるすべての契約上のキャッシュ・フローと、当グループが受け取ることが予想されるすべてのキャッシュ・フローの差額を当初認識時に決定された実効金利で割り引いた金額として見積もられる。



リース債権については、ECLの決定に用いられるキャッシュ・フローは、IFRS第16号「リース」に従いリース債権を測定する際に用いられるキャッシュ・フローと一致している。

金融保証契約については、当グループは保証される金融商品の条件に従い、債務者による債務不履行があった場合にのみ支払いを要求される。したがって、予想損失は、発生する保有者に補償するための予想支払額から、当グループが保有者、債務者またはその他の当事者から受け取ることが予想される金額を差し引いた金額の現在価値である。

未使用の貸付コミットメントについて、ELCは当グループに支払われる契約上のキャッシュ・フローと以下の差額の現在価値である。

- ・ 貸付コミットメントの保有者による引き出し
- ・ 貸付金が引き出された場合に、当グループが受け取ると見込んでいるキャッシュ・フロー

貸付コミットメントおよび金融保証契約の損失引当金は、損益に認識され、引当金に累積される。FVTOCIで測定される負債商品の損失引当金は、OCIに認識され、投資再評価準備金に累積され、これらの金融資産の帳簿価額を減額することはない。IFRS第9号「金融商品」に基づき減損の対象となるその他の金融資産の損失引当金は、損失引当金勘定を通じて損益に認識される。

## 金融負債の分類および測定

### FVTPL区分の金融負債

金融負債は、当該金融負債が( )トレーディング目的(金融負債に属するデリバティブを含む)で保有される、または( )FVTPL区分の指定を受けている場合に、FVTPL区分に分類される。ヘッジ会計を除き、FVTPLで測定される金融負債は、当初認識後は公正価値で測定され、公正価値の変動はすべて損益に認識される。

金融負債は以下の場合にトレーディング目的保有に分類される。

- ・ 主として近い将来に売却することを目的として取得されている。
- ・ 当初認識時に当グループが一括管理している識別された金融商品のポートフォリオの一部で、最近の短期的な利益獲得の実際のパターンを有する。
- ・ 金融保証契約または指定され有効なヘッジ手段であるデリバティブ以外のデリバティブである。

トレーディング目的保有金融負債以外の金融負債は、以下の場合に、当初認識時にFVTPL区分に指定することがある。

- ・ 当該指定により、指定がなければ発生したであろう測定または認識の不一致が解消または著しく減少する。
- ・ 金融負債が、当グループの文書化されたリスク管理または投資戦略に従い、公正価値ベースで管理され、その実績が評価されており、このグループに関する情報が同ベースで内部提供されている金融資産または金融負債あるいはその両方のグループの一部を形成している。または
- ・ 1つ以上の組込デリバティブを含む契約の一部を形成し、当該混合契約全体をFVTPL区分に指定することをIFRS第9号「金融商品」で認めている。

## その他の金融負債

FVTPLで測定される金融負債、認識の中止の条件を満たさない金融資産の譲渡または譲渡された金融資産および金融負債への継続的関与により形成される金融負債、金融保証契約および貸付コミットメントを除き、その他の金融負債は、償却原価で測定される金融負債に分類され、当初認識後に償却原価で測定され認識の中止または償却により生じた利益または損失は、損益に含まれる。

## ヘッジ会計

当グループは、特定のデリバティブを公正価値ヘッジおよびキャッシュ・フロー・ヘッジのヘッジ手段として指定している。当グループは、ヘッジ関係開始時において、ヘッジ手段とヘッジ対象の関係、およびヘッジの実行に対するリスク管理目的および戦略を文書化している。当グループはまた、ヘッジ取引で使用されたデリバティブが、公正価値またはキャッシュ・フローのリスクに起因するヘッジ対象の変動を極めて有効に相殺するかどうかに関する評価をヘッジ開始時および継続的に文書化するように要求している。

### 公正価値ヘッジ

ヘッジ手段の利益または損失は、連結損益計算書に認識される。リスク・エクスポージャーに対するヘッジがFVTOCI区分として指定されたトレーディング目的以外の持分商品に関連する場合、当該ヘッジ手段に係る利益または損失は、その他包括利益に認識される。

公正価値で測定されていないヘッジ対象の帳簿価額は、ヘッジ対象リスクに起因する利益または損失に関して調整され、連結損益計算書に計上される。ヘッジ対象の帳簿価額への当該調整は、当該ヘッジ対象が償却原価で測定される金融商品の場合、償却開始日時点で再計算された実効金利に基づいて連結損益計算書において償却計上される。償却は、調整が生じると直ちに開始されるが、ヘッジ対象に関するヘッジ損益調整の中止時点までとなる。ヘッジ対象が、FVTOCIで測定される負債商品である場合、ヘッジ手段の利益または損失の累積的調整として過去に計上された金額は、類似した方法で償却され、連結損益計算書に認識される。ヘッジ対象の帳簿価額は調整されない。

### キャッシュ・フロー・ヘッジ

キャッシュ・フロー・ヘッジとして指定され、適格とみなされるデリバティブの公正価値の変動の有効部分は、その他包括利益に認識され、個別にヘッジ準備金に累積計上される。非有効部分に関する損益は、直ちに連結損益計算書に認識される。

認識済資産または負債のキャッシュ・フロー・ヘッジに関連する累積損益は、当該キャッシュ・フロー・ヘッジが損益に影響を及ぼす期間と同じ期間にヘッジ準備金から連結損益計算書に再分類される。ヘッジ手段が失効するか、または売却される場合、もしくはヘッジがヘッジ会計の基準を満たさなくなった場合に、その時点での累積損益は、予定取引が最終的に連結損益計算書に認識されるまで、ヘッジ準備金に計上される。予定取引の発生が予想されない場合、累積損益は直ちに連結損益計算書に再分類される。

## ヘッジの有効性テスト

当グループは、IFRS第9号「金融商品」の一般的なヘッジ会計を適用することを選択している。これにより、当グループは、ヘッジ会計関係を確実にリスク管理の目的および戦略と整合させ、ヘッジの有効性評価に、より定性的かつ将来予測的なアプローチを適用することが求められる。

ヘッジの有効性評価では、当グループは、ヘッジ手段が、ヘッジされるリスクに起因するヘッジ対象の公正価値またはキャッシュ・フローの変動を相殺する上で有効であるかどうかを検討する。これは、ヘッジ関係が以下のヘッジの有効性要件をすべて満たす場合である。

- ・ ヘッジ対象とヘッジ手段との間に経済的關係がある。
- ・ 信用リスクの影響が、経済的關係による価値変動の大半を占めていない。
- ・ ヘッジ関係のヘッジ比率が、当グループが実際にヘッジするヘッジ対象の量とそのヘッジ対象の量をヘッジするために実際に使用するヘッジ手段の量による比率と同じである。

ヘッジ関係がヘッジ比率に関するヘッジの有効性要件を満たさなくなったが、指定されたヘッジ関係のリスク管理目的が引き続き同じである場合、当グループは、再び適格要件を満たすよう、ヘッジ関係のヘッジ比率を調整する（すなわち、ヘッジのリバランシングを行う）。

## 特定の項目

### 現金同等物

現金同等物には、当初の満期までの期間が3ヶ月以内の、価格の変動リスクが非常に少なく既知の現金金額に容易に交換可能で、流動性の高い短期投資、中央銀行、銀行およびその他金融機関に対する制限のない預け金ならびに売戻契約に基づく保有金額により構成される。

### 銀行およびその他金融機関に対する預け金および貸付金

銀行とは、中国人民銀行（以下、「PBOC」という。）およびその他の当局によって承認された銀行を表している。その他金融機関とは、中国銀行保険監督管理委員会（以下、「CBIRC」という。）に登録し、その監督下にある金融会社、投資信託会社、リース会社および保険会社、ならびにその他の規制当局に登録し、その監督下にある証券会社および投資ファンド会社を表している。銀行およびその他金融機関に対する預け金および貸付金は、償却原価で測定される。

### 売戻契約および買戻契約

売戻契約に基づく金融資産の購入に関する金額は、「売戻契約に基づいて保有する金額」として会計処理される。買戻契約に基づく金融資産の売却による金額は、「買戻契約に基づいて売却された金額」として会計処理される。

購入と売戻の対価、あるいは売却と買戻の対価の差額は取引期間にわたり実効金利法を用いて償却され、適宜、受取利息あるいは支払利息に含まれる。

## 金融投資

株式投資は、損益を通じて公正価値評価される金融資産またはその他包括利益を通じて公正価値評価する指定を受けた株式投資として会計処理されている。債券投資は、事業体の事業モデル、契約上のキャッシュ・フロー特性、および公正価値オプションに基づいて、損益を通じて公正価値評価される金融資産、償却原価で測定される負債投資、またはその他包括利益を通じて公正価値評価される負債投資に分類される。

## 顧客に対する貸出金

当グループによって顧客に直接提供された貸出金およびファイナンス・リース債権は、顧客に対する貸出金として会計処理されている。

顧客に対する貸出金は、事業体のビジネスモデル、契約上のキャッシュ・フロー特性、公正価値オプションに基づいて、損益を通じて公正価値評価される顧客に対する貸出金（FVTPLで測定される顧客に対する貸出金）、償却原価で測定される顧客に対する貸出金、またはその他包括利益を通じて公正価値評価される顧客に対する貸出金（FVTOCIで測定される顧客に対する貸出金）に分類される。

## デリバティブ金融商品

当グループのデリバティブ金融商品には、主に先物および通貨スワップ、金利スワップならびにオプション契約が含まれ、顧客の需要に応じて、あるいは当グループ独自のリスク管理目的で実行されている。顧客のためのデリバティブ取引から生じるリスクをヘッジするため、当グループは、そうした業務を遂行できる他の銀行および金融機関との間でデリバティブ契約を締結している。

デリバティブ金融商品は公正価値で表示される。その他包括利益に認識されるキャッシュ・フロー・ヘッジにおけるデリバティブのヘッジの有効部分から生じた損益、およびFVTOCI区分に指定されたトレーディング目的以外の持分商品をヘッジするヘッジ手段の損益を除き、その他の損益はすべて連結損益計算書に認識される。

## 組込デリバティブ

IFRS第9号「金融商品」の適用範囲内の金融資産である主契約を含む混合契約に組み込まれたデリバティブは、分離されない。混合契約全体は、適宜償却原価または公正価値のいずれかに全体として分類され、当初認識後に、測定される。IFRS第9号「金融商品」の適用範囲内の金融資産でない非デリバティブの主契約に組み込まれたデリバティブは、デリバティブの定義を満たし、そのリスクおよび特性が主契約のリスクおよび特性と密接に関連しておらず、混合契約がFVTPLで測定されない場合に、同一条件の個別のデリバティブとして扱われる。分離された組込デリバティブは、公正価値で測定され、公正価値の変動は、それらが適格キャッシュ・フロー・ヘッジ関係の一部を形成する場合を除き、損益に認識される。

## 持分商品

持分商品の発行により受け取った対価（取引費用控除後）は、株主資本に認識される。当グループが発行した持分商品の買戻に関して当行が支払う対価および取引費用は、株主資本から控除される。

金融商品は、以下の（ ）および（ ）の条件が両方とも満たされる場合にのみ持分商品となる。

- （ ）金融商品に、別の事業体に現金または別の金融資産を引き渡す、あるいは当グループに不利になる可能性のある条件下で別の事業体と金融資産または金融負債を交換する契約上の義務が含まれていない。および
- （ ）金融商品が当グループ自身の持分商品で決済される、または決済される可能性がある場合に、当該金融商品は、当グループが可変数の自身の持分商品を当グループが引き渡す契約上の義務を含まない非デリバティブ金融商品である、または当グループが固定額の現金または別の金融資産を固定数の自身の持分商品と交換することによってのみ決済されるデリバティブである。

当初認識時に当グループは、発行済み永久債および永久債資本またはその構成要素を、金融負債および持分商品の定義を考慮した上で、契約条件および経済的実態に基づき金融負債または持分商品に分類する。

持分商品として分類される発行済み永久債および永久債資本の期間中における利息の支払いは、利益処分として取り扱われる。永久債および永久債資本が償還される場合、償還額は資本の部に計上される。関連する取引費用は資本の部から控除される。

優先株式の当初認識時に当グループは、発行済み優先株式またはその構成要素を、金融負債および持分商品の定義を考慮した上で、契約条件および経済的実態に基づき金融負債または持分商品に分類する。

当グループは、発行済み優先株式を持分商品として分類する場合、優先株式の発行に関する手数料、コミッションおよびその他の取引費用は、資本の部から控除される。優先株式に対する配当は、配当宣言時に利益分配として認識される。

## 金融商品の認識の中止

### (a) 金融資産

金融資産（あるいは、該当する場合、金融資産の一部または類似する金融資産のグループの一部）は以下の場合に認識が中止される。

- 当該資産によるキャッシュ・フローを受け取る権利が失効している。あるいは
- 当グループが当該資産によるキャッシュ・フローを受け取る権利を移転している。または
- 当該資産によるキャッシュ・フローを受け取る権利を保持しているが、「パススルー」契約に基づきその全額を重大な遅延なく、第三者に支払う義務を負っており、かつ当グループが金融資産の所有に伴うリスクおよび経済価値を実質的にすべて移転しているか、金融資産の所有に伴うリスクおよび経済価値を実質的にすべて移転も保持もしていないが、当該資産の支配を移転している。

当グループが資産によるキャッシュ・フローを受け取る権利を移転しているか、資産によるキャッシュ・フローを受け取る権利を保持しているが、パススルー契約を締結しており、かつ当該資産のリスクおよび経済価値を実質的にすべて移転も保持もしておらず、当該資産の支配の移転もしていない場合、この資産は、当グループの当該資産への継続的関与の範囲において認識される。

移転した資産に対する保証の形式を取る継続的関与は、当該資産の当初の帳簿価額または当グループが返済を求められる可能性のある対価の最大額のいずれか低い方の金額で測定される。

当グループは、契約相手方が深刻な財政困難に陥っており、現実的に回収の見込みがないことを示唆する情報がある場合に、金融資産（もしあれば）の償却を行う。償却は認識中止の事象である。その後、回収された場合には、損益に認識される。

#### (b) 証券化

業務活動の一環として、当グループは、通常、投資家に有価証券を発行する組成された事業体に信用資産を売却することにより信用資産を証券化している。証券化された金融資産に対する持分は、優先または下位トランシェあるいはその他の残存持分の形式（以下、「留保持分」という。）で保持される場合がある。

証券化された金融資産に会計方針を適用するにあたり、当グループは譲渡した金融資産のリスクおよび経済価値の移転する程度ならびに当該譲渡金融資産に対する当グループの支配の程度の両方を考慮している。

- 当グループは、金融資産の所有に係る実質的にすべてのリスクおよび経済価値を移転する場合、当該金融資産の認識を中止する。
- 当グループは、金融資産の所有に係る実質的にすべてのリスクおよび経済価値を留保する場合、引き続き当該金融資産を認識する。
- 当グループは、金融資産の所有に係る実質的にすべてのリスクおよび経済価値を移転も留保もしない場合、当該金融資産を支配しているか否かについて判断する。当グループが当該金融資産に対する支配力を有していない場合、当該金融資産の認識を中止し、資産の譲渡によって発生または留保した権利および義務について別個に資産または負債を認識する。当グループが当該金融資産に対する支配力を有している場合、当該金融資産の当グループが継続的に関与する部分について引き続き認識する。

金融資産の証券化が認識中止の要件を満たしていない場合、関連する金融資産の認識は中止されず、第三者から受領した対価は金融負債として計上される。

証券化により、金融資産の認識が中止される、または一部中止される場合、当グループは、資産の譲渡日の公正価値に基づき、譲渡される金融資産の帳簿価額を認識を中止した金融資産と留保持分とに配分する。証券化に係る損益は、受取対価と配分された認識を中止した金融資産の帳簿価額との差額であり、「その他の正味収益」に計上される。留保持分は引き続き、証券化前と同一の基準に基づき認識される。

**(c) 買戻しを条件とする資産の売却**

買戻しを条件として売却された資産の認識中止は、取引の経済的実態によって決定される。金融資産が、同一または実質的に同一の資産を固定価格あるいは売却価格に合理的な収益を加算した金額で買い戻す契約に基づき売却される場合、当グループは当該資産の認識を中止しない。金融資産が、買戻時の公正価値で買い戻すオプションと共に売却される場合（それらの金融資産を売却する譲渡人の場合）、当グループは当該金融資産の認識を中止する。

**(d) 金融負債**

金融負債（またはその一部）は、当該負債（またはその一部）に基づく義務が免責、取消し、または失効となった時点で認識が中止される。

**金融商品の相殺**

当グループが、現在、認識された金額を相殺する法的強制力のある権利を有しており、かつ正味金額で決済する、または資産の実現と同時に負債の決済を行う意図がある場合（およびそうした場合のみ）、金融資産および負債は相殺され、正味金額が連結財政状態計算書に表示される。

**(6) 有形固定資産、投資不動産および減価償却**

有形固定資産および投資不動産は、減価償却累計額および減損損失累計額控除後の原価あるいは見積り原価で計上される。オペレーティング・リースに基づいて保有している土地およびその上に建設されている建物については、当該土地および建物に関するリース権の公正価値をリース開始時に別個に測定することが不可能で、建物がオペレーティング・リースに基づいて保有されていることが明確でない場合もこの項目に含まれている。

減価償却費は、見積残存価値を考慮後の有形固定資産および投資不動産の原価を以下の見積耐用年数にわたり定額法で償却するよう計算される。

土地および建物	20年
投資不動産	20年
コンピューター機器	3年
建物附属設備（賃貸不動産）	見積耐用年数
建物附属設備（所有不動産）	見積耐用年数
航空機、船舶および専門機器	25年以下
その他	3 - 5年

建設仮勘定は建設中の建物を表し、減損控除後の原価で計上される。原価には直接および間接的な建設費が含まれる。建設仮勘定の残高は、当該資産がその使用目的のために利用可能となった時点で、有形固定資産およびその他資産の適切な分類に振り替えられる。建設仮勘定に関しては、減価償却を行っていない。

有形固定資産および投資不動産に関連して事後的に発生する支出は、当該有形固定資産に関連する将来の経済便益を当グループが享受する可能性が高い場合にのみ資産計上される。その他のすべての支出は、発生時に費用として連結損益計算書に認識される。

有形固定資産および投資不動産の処分に係る利益または損失は、当該有形固定資産および投資不動産の正味処分利益と帳簿価額の差額として決定され、発生時に連結損益計算書に認識される。

## (7) 担保権実行資産

減損貸出金の回収において、当グループは、裁判所手続または債務者による所有権の任意引渡しを通じて担保として保有している資産の担保権を実行することができる。持分商品を除く担保権実行資産は「その他資産」に計上される。

持分商品の担保権実行資産については、注記4(5)に詳述されている。

## (8) 無形資産

無形資産は、償却累計額（有限耐用年数の無形資産のみ）および減損損失累計額控除後の原価で計上される（注記4(11)参照）。有限耐用年数の無形資産の償却は、資産の見積耐用年数にわたって定額法で損益に計上される。

無形資産は、その耐用年数が無期限であると評価される場合は償却されない。報告期間末現在、当グループの無形資産で、耐用年数が無期限であると評価されたものはない。

無形資産の償却期間は以下のとおりである。

ソフトウェアおよびその他	コア預金
2～20年	28年

償却期間および償却方法はどちらも毎年見直される。

## (9) リース

### リースの定義

契約により、識別された資産の使用を支配する権利が対価と引き換えに一定期間にわたって移転される場合に、当該契約はリースであるか、またはリースを含んでいる。当グループは、契約締結日または条件変更日にIFRS第16号「リース」の定義に基づき、契約がリースであるか、またはリースを含んでいるかを評価する。これらの契約は、契約条件がその後変更されない限り、再評価されない。



## 借り手として

### (a) 契約の構成要素に対する対価の配分

リース要素および1つ以上の追加的なリース要素または非リース要素を含む契約の場合、当グループは、リース要素の相対的な独立価格および非リース要素の独立価格の総額に基づき、契約上の対価を各リース要素に配分する。

### (b) 短期リースおよび少額資産のリース

当グループは、短期リース（リース期間が12ヶ月以下で、購入オプションを含まない）および少額資産のリース（資産価値が35,000人民元未満相当額）を除き、当グループが借り手であるすべてのリース契約に関して使用权資産および対応するリース負債を認識する。

短期リースおよび少額資産のリースに係るリース料は、リース期間にわたって定額法により費用として認識される。

### (c) 使用权資産

使用权資産は、連結財政状態計算書において個別の勘定科目として表示される。

使用权資産は、当初、取得原価で測定される。この取得原価には以下の項目が含まれる。

- ・ リース負債の当初測定額
- ・ 使用開始日以前に支払われたリース料から、受領したリース・インセンティブを控除した金額
- ・ 借り手によって負担される当初直接コスト
- ・ 当グループにリース資産を解体および除去する、当該資産が所在する敷地を原状回復する、または原資産をリースの条件によって義務付けられた状態に回復するためのコストを負担する義務が発生している場合は常に、IAS第37号「引当金、偶発負債および偶発資産」に基づき引当金が認識および測定される。これらのコストは、当該コストが棚卸資産を生産するために生じた場合を除き、関連する使用权資産に含まれる。

使用权資産は、使用開始日以降、取得原価（特定の例外規定の対象となる）から減価償却累計額、償却費および減損損失を控除し、リース負債の再測定について調整した後の金額で測定される。当グループは、使用权資産の減価償却を定額法により営業費用として認識する。使用权資産は、リース期間と原資産の耐用年数のいずれか短い期間にわたって減価償却される。リースが原資産の所有権を移転するか、または使用权資産の取得原価が、当グループが購入オプションを行使する予測されることを反映する場合には、関連する使用权資産は、原資産の耐用年数にわたって減価償却される。

識別された使用权資産の減損損失に関する会計方針は、注記4(11)に開示されている。

### (d) 賃貸土地および建物

賃貸土地と建物の両方の要素を含む不動産持分の支払いについては、その支払いが信頼性を持って賃貸土地と建物の要素に配分できない場合には、投資不動産として分類および会計処理されるものを除き、不動産全体が当グループの有形固定資産として表示される。

### (e) リース負債

リース負債は、連結財政状態計算書において別個の勘定科目として表示される。

短期リースおよび少額資産のリースを除き、リース負債は、借り手の追加借入利率を割引率として用いて、使用開始日現在の未払リース料の現在価値で当初測定される。

リース料とは、リース期間中にリース資産を使用する権利に関して、借り手が貸し手に対して支払う金額を指す。リース負債の測定に含まれるリース料は以下の項目より構成される。

- ・ 固定リース料（実質的な固定料を含む）からリース・インセンティブを控除した額
- ・ 使用開始日に指数またはレートを用いて当初測定される、指数またはレートによって変わる変動リース料
- ・ 借り手が購入オプションを行使することが合理的に確実である場合には、購入オプションの行使価格
- ・ リース期間がリースを解約するオプションの行使を反映している場合には、リースの解約損害金支払額
- ・ 残価保証に基づき借り手によって支払われると予想される額

リース期間開始日後、当グループは、リース期間の各期間におけるリース負債の支払利息を固定期間金利で算定し、当期損益または関連する資産コストに認識した。

使用開始日後、当グループは、以下の場合にはいつでも、見直し後のリース料の金額および見直し後の割引率によって計算された現在価値に従ってリース負債を再測定し、関連する使用权資産に対応する調整を行う。

- ・ リース条件が変更された、または購入オプションの行使の評価に変更がある。この場合、リース負債は、見直し後の割引率を用いて見直し後のリース料を割り引くことにより再測定される。
- ・ 指数またはレートの変動あるいは保証された残存価値に基づく予想支払額の変動によりリース料が変動した。この場合、リース負債は、当初の割引率を用いて見直し後のリース料を割り引くことにより再測定される。ただし、リース料の変動が変動金利の変動による場合、借り手は、金利の変動を反映した見直し後の割引率を用いる。

### 貸し手として

当グループが貸し手であるリースは、ファイナンス・リースまたはオペレーティング・リースに分類される。リース条件により、所有に伴うリスクおよび経済価値の実質的にすべてが借り手に移転される場合、契約はファイナンス・リースに分類される。その他のリースはすべて、オペレーティング・リースに分類される。

当グループがファイナンス・リースにおける貸し手である場合、当該リースへの純投資額は「顧客に対する貸出金」として連結財政状態計算書に含まれる。ファイナンス・リースに基づく未認識の金融収益は、リース契約期間にわたって実効金利法を用いて償却される。減損に関する会計方針は、注記4(5)に開示されている。

当グループがオペレーティング・リースの貸し手である場合、オペレーティング・リースによって稼得した収益は、リース期間にわたり、定額法で連結損益計算書に認識される。賃貸された資産に関して発生した当初直接コストが重要である場合、当該コストは当初資産計上され、その後はリース収益と同様の基準に基づいてリース期間にわたって損益に費用計上される。偶発リース収益は、発生した会計期間において損益に計上される。

契約にリースおよび非リース要素が含まれる場合、当グループは、契約に基づく対価を各要素に配分する際に、IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」を適用する。

## **セール・アンド・リースバック取引の買い手である貸し手として**

IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」の資産の売却として会計処理される要件を満たさない資産の譲渡について、買い手である貸し手として活動する当グループは、譲り受ける資産を認識せず、IFRS第9号「金融商品」の範囲内で引渡代金と同額の顧客に対する貸出金を認識する。

## **(10) 保険契約**

### **保険契約の分類**

保険契約は、保険事故またはその発生に対して、当グループが重要な保険リスクを引き受ける契約である。当グループは、必要に応じて、再保険会社に保険リスクを移転するために再保険契約を締結する。重要な保険リスクに関するテストは保険契約の開始時に行われる。

### **保険の収益認識**

長期生命保険契約による保険料は、保険契約者の支払期限が到来した時点で収益として認識される。短期の損害保険契約に関する保険料は、保険契約開始時に受け取った時点で、負債に未経過保険料として認識され、定額法により、保険契約期間にわたって連結損益計算書上で償却される。当グループが再保険契約を通じて保険リスクを移転している場合、当グループは出再保険料の金額および再保険会社の費用負担分を計算し、再保険契約の条件に従い、連結損益計算書を通じてそれらの金額を認識する。

### **保険契約負債**

保険契約負債は、当グループが保険契約に基づく義務を履行するために支払いを求められる金額の合理的な見積りに基づいて測定される。この見積りは、そうした契約に関連した予想将来キャッシュ・アウトフローと予想将来キャッシュ・インフローの差額を示している。予想将来正味キャッシュ・フローの合理的な見積りは、報告期間末現在で入手可能な情報に基づき決定される。

当グループは、長期の生命保険に関する負債の計算において時間的価値の影響を考慮している。当グループは、報告日において、現在入手可能な情報に基づき負債十分性テストを行う。不足がある場合には、追加の保険契約負債を計上する必要がある。

#### (11) ECLモデルに基づく減損以外の有形資産および無形資産の減損

有形固定資産、使用権資産、無形資産、投資不動産、共同支配企業持分、関連会社持分、のれんおよびその他の非流動資産を含む、有形資産および無形資産の帳簿価額は、回収可能価額が帳簿価額を下回るまでに下落しているかどうかを評価するために、定期的に検証される。このような下落が生じた場合、帳簿価額は回収可能価額まで減額される。減損損失額は連結損益計算書に認識される。資産の回収可能価額は、処分費用控除後の公正価値および将来予想キャッシュ・フローの現在価値のいずれか大きい方である。使用価値を評価する際には、見積将来キャッシュ・フローが現在価値へ割り引かれる。

報告期間末において、その他資産の減損についての兆候を識別するために、内外の情報源の見直しが行われる。

もしそのような兆候がある場合、資産の回収可能価額が見積られる。さらに、のれん、まだ利用可能になっていない無形資産および無期限の耐用年数を有している無形資産については、減損の兆候の有無にかかわらず、当グループは報告期間末に回収可能価額の見積りを行う。

- 回収可能価額の算定

資産または現金生成単位の回収可能価額とは、処分費用控除後の公正価値および将来キャッシュ・フローの現在価値のいずれか大きい方である。使用価値を評価する場合、見積将来キャッシュ・フローは、貨幣の時間的価値についての現在の市場評価および当該資産に特有のリスクを反映した税引前割引率を用いて、現在価値に割り引かれる。他の資産からほぼ独立したキャッシュ・フローを生み出さない資産の回収可能価額は、他の資産と区別可能なキャッシュ・フローが発生する最小グループの資産（現金生成単位）について決定される。

- 減損損失の認識

資産、または資産が属する現金生成単位の帳簿価額が回収可能価額を上回る場合は常に、減損損失が連結損益計算書に認識される。現金生成単位について認識された減損損失は、最初に、現金生成単位（または単位グループ）に割り当てられたのれんの帳簿価額を減額させ、その後、按分計算により当該単位（または単位グループ）におけるその他資産の帳簿価額を減額させる。ただし、当該資産の帳簿価額は、売却費用控除後の公正価値または使用価値（決定可能な場合）を下回ることはない。

#### (12) 貴金属

当グループのトレーディング活動に関連しない貴金属は、当初は取得原価で測定され、その後は取得原価および正味実現可能価額のいずれか低い方の金額で測定される。当グループのトレーディング活動に関連する貴金属は、当初は公正価値で測定され、再測定によって生じる公正価値の変動は、発生期間に直接連結損益計算書に認識される。

### (13) 発行済み金融保証、引当金および偶発債務

#### 発行済み金融保証

金融保証は、負債商品の支払期限到来時に、指定された債務者が約定返済を行わないことによりその保証の受益者（保有者）が被った損失を弁済するために、発行者（つまり保証人）に所定の金額の支払いを要求する契約である。発行済み金融保証の引当金は、注記4(5)に記載されている会計方針に従って連結財政状態計算書に認識される。

#### 引当金および偶発債務

発生する時期または金額が不確定な債務に対する引当金は、当グループが過去の事象の結果として生じた法的あるいは実質的な債務を有し、当該債務の決済のために経済便益の流出が必要とされる可能性が高く、かつ信頼性のある見積りができる場合に認識される。貨幣の時間的価値が重要である場合、引当金は、当該債務の決済に必要と見込まれる支出の現在価値で計上される。

経済便益の流出が必要とされる可能性が高くないか、信頼性のある金額の見積りができない場合は、経済便益の流出の可能性がわずかな場合を除き、当該債務は偶発債務として開示される。

### (14) 収益の認識

収益とは、当グループが日常的な活動において生成し、その結果として株主資本が増加することとなる、株主による出資金と無関係な経済便益の流入である。

#### 正味受取利息

FVTPL区分に分類されているもの以外のすべての金融商品の受取利息および支払利息は、実効金利法を用いて損益勘定の「受取利息」および「支払利息」に認識される。FVTPLで測定される金融商品に係る利息は、当期中の公正価値の変動に含まれ、「その他の正味収益」に認識される。

#### 配当収入

投資からの配当収入は、被投資会社によって配当が宣言され、承認された時点で認識される。

#### 賃貸収入

オペレーティング・リースによる収益は、リース契約期間にわたり、定額法で連結損益計算書に認識される。

#### 収入保険料

収入保険料は計上保険料総額から再保険料を差し引いた金額に未経過保険料を調整した金額を表す。計上保険料総額は、保険リスクを受け入れた日に認識される。

## 受取手数料

IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」のもとでは、当グループは履行義務が充足される時点（または期間）、すなわち特定の履行義務の基礎となる財またはサービスの「支配」が顧客に移転された時点で収益を認識する。

履行義務は、区別できる財またはサービス（または財またはサービス群）あるいは実質的に同一である一連の区別できる財またはサービスである。2つ以上の履行義務が含まれる契約について、当グループは、割引および変動対価の配分を除き、相対的な独立販売価格に基づき、取引価格を各履行義務に配分する。

各履行義務の基礎となる区別できる財またはサービスの独立販売価格は、契約開始時に決定される。独立販売価格は、当グループが顧客に約束した財またはサービスを別個に販売した場合の価格である。独立販売価格が直接観察可能でない場合、当グループは、最終的に履行義務に配分される取引価格が、顧客に約束した財またはサービスの顧客への移転と交換に当グループが受け取る権利を得られると見込んでいる対価の金額を反映するように、適切な技法を用いて独立販売価格を見積もっている。

変動対価が含まれる契約については、当グループは、当グループが受け取る権利を得られる対価の金額を、(a)期待値法、または(b)最も発生する可能性の高い金額のいずれか、受け取る権利を得られる対価の金額をより適切に予測する方法を用いて見積もっている。

取引価格に含まれる変動対価の見積額は、取引価格に含まれた結果、当該変動対価に関連する不確実性がその後解消される場合に、将来において重大な収益の戻入れが生じない可能性が非常に高い範囲に限られる。各報告期間末において、当グループは、報告期間末に存在する状況および報告期間中の状況の変化を正確に表すために、見積取引価格を更新する（変動対価の見積りが制限されるかどうかの評価についての更新を含む）。

特定された各履行義務に関して、当グループは、契約開始時に、時間の経過とともに履行義務を満たすのか、あるいは、ある時点で履行義務を満たすのかを判断する。以下の基準のいずれかを満たす場合、支配は時間の経過とともに移転され、収益は、関連する履行義務の完全な充足に向けた進捗度を参照して、時間の経過とともに認識される。

- ・当グループの履行が進むにつれて、履行による便益を顧客が同時に受け取り消費する。
- ・当グループの履行が進むにつれて、履行により顧客が支配する資産が創出され、増価される。
- ・当グループの履行により当グループにとって他に転用できる資産が創出されず、当グループは現在までに完了した履行に対する支払いを受ける強制可能な権利を有する。

それ以外の場合には、収益はある時点で認識される。

収益が時間の経過とともに認識される場合、当グループは、履行義務の完全な充足に向けた進捗度に応じて収益を認識する。履行義務の完全な充足に向けた進捗度は、アウトプット法に基づき測定される。アウトプット法では、契約に基づき約束された残存する財またはサービスに対する、現在までに顧客に移転された財またはサービスの価値の直接測定に基づいて収益を認識する。当該直接測定は、財またはサービスの支配の移転における当グループの履行状況を最もよく表している。

収益がある時点で認識される場合、当グループは、顧客が区別できる財またはサービスの支配を獲得した時点で収益を認識する。顧客が約束されたサービスに対する支配を獲得する時点を決めるには、以下の支配の移転の指標も考慮する必要がある。指標には以下が含まれるが、これらに限定されない。

- ・当グループが当該財またはサービスの支払いを受ける現在の権利を有する。
- ・当グループが当該財の物理的な所有を移転している。
- ・顧客が当該財の所有に伴う重要なリスクおよび経済価値を有する。
- ・顧客が当該財またはサービスを受け入れている。

顧客への財またはサービスの提供に別の当事者が関与している場合、当グループは、その約束の内容が、所定の財またはサービス自体を提供する（すなわち、当グループが本人である）履行義務であるか、別の当事者が提供する当該財またはサービスを手配する（すなわち、当グループが代理人である）履行義務であるかを判断する。

当グループは、財またはサービスを顧客に移転する前に当該財またはサービスを支配できる場合には本人である。当グループは、その履行義務が、別の当事者による所定の財またはサービスの提供を手配することである場合には代理人である。この場合、当グループは、所定の財またはサービスが顧客に移転される前には、別の当事者によって提供される当該財またはサービスを支配していない。当グループが代理人として行動する場合、別の当事者が提供する所定の財またはサービスの手配と交換に受け取る権利を得ると見込んでいる報酬または手数料の金額で収益を認識する。

契約資産は、当グループが顧客に移転した財またはサービスと交換に対価を受け取る、まだ無条件になっていない当グループの権利である。一方、受取債権は、対価を受け取る無条件の当グループの権利である。すなわち、その対価の支払期限が到来するまでに求められるのは、時間の経過のみである。

契約負債は、当グループがそのために顧客から対価を受け取っている（または、対価の金額が支払われる）財またはサービスを顧客に移転する当グループの義務である。

## (15) 税金

当期法人所得税および繰延税金残高の変動は連結損益計算書に認識されるが、資本の部に直接認識される項目に対する法人所得税については資本の部に計上される。

当期税金費用は、当事業年度の課税所得に対する法人所得税の支払予定額で、報告期間末現在において有効な、あるいは実質的に有効な税率を用いて計算された金額に、過年度についての未払法人所得税の調整を加えた金額である。

繰延税金は、連結財務諸表における資産および負債の帳簿価額と課税所得の計算に用いられた対応する税務基準額との一時差異に関して認識される。また、繰延税金資産は未使用の税務上の欠損金および未使用の税額控除からも発生する。繰延税金は、資産および負債の帳簿価額の実現あるいは決済が見込まれる金額について、資産の見込回収または負債の返済に係る税率を用いて計上される。繰延税金資産および負債は割り引かれない。

繰延税金資産は、当該資産の利用対象となる将来の課税所得が発生する可能性が高い場合にのみ認識される。

繰延税金資産は、関連する税務便益が実現される見込みがなくなった金額については減額される。

当グループは、一時差異が予測可能な将来に解消される可能性が高く、かつ将来減算一時差異の相殺に使用できる課税所得を得る可能性が高いという条件の両方を満たす、子会社に対する投資ならびに関連会社および共同支配企業持分に関連したすべての将来減算一時差異について繰延税金資産を認識する。また、当グループは、子会社に対する投資ならびに関連会社および共同支配企業持分に関連したすべての将来加算一時差異について繰延税金負債を認識する。ただし、投資家が一時差異の解消の時期をコントロールでき、かつ一時差異が予測可能な将来に解消されない可能性が高いという条件を両方満たす場合を除く。

当期税金残高と繰延税金残高、およびその変動は相殺されることなく、それぞれ個別に表示される。当グループが、当期税金資産と当期税金負債を相殺する法的強制力のある権利を有し、かつ以下の追加条件が満たされる場合、当期税金資産と当期税金負債、ならびに繰延税金資産と繰延税金負債は相殺される。

- 当期税金資産および負債の場合、当グループが正味金額で決済するか、あるいは資産を実現すると同時に負債を決済することを意図している。あるいは、
- 繰延税金資産および負債の場合、それらが同じ税務当局から課税されている法人所得税に関連していて、以下のいずれかに該当する場合。
  - 同一納税主体、あるいは
  - 異なる納税主体が、相当な金額の繰延税金負債または資産が決済または回収されると見込まれるそれぞれの将来の期間において、正味金額で当期税金資産を実現し当期税金負債を決済するか、あるいは実現と決済を同時に行うことを意図している。

#### (16) 外貨換算

各グループ会社の財務諸表を作成するにあたり、当該企業の機能通貨以外の通貨（外貨）建て取引は取引日の為替レートで認識される。各報告期間末における外貨建て貨幣性項目は、当該日のレートで再換算される。公正価値で計上される外貨建て非貨幣性項目は、公正価値が決定された日のレートで再換算される。外貨建ての歴史的元価について測定される非貨幣性項目は再換算されない。

貨幣性項目に係る換算差額は、以下のものを除き、発生する期間に損益に認識される。

- 特定の為替リスクに関するヘッジの有効部分の一部として締結する取引の換算差額、あるいは
- 決済が予定されておらず、発生する可能性の低い（したがって、在外事業体に対する純投資の一部を形成する）在外事業体から受け取る、または在外事業体に支払う貨幣性項目に係る換算差額。この換算差額は、当初はその他包括利益に認識され、貨幣性項目の返済の際に資本の部から損益に再分類される。



当連結財務諸表の表示目的において、当グループの在外事業体の資産および負債は各報告期間末現在の為替レートをを用いて通貨単位に換算される。収益および費用項目は当期の平均為替レートで換算される。ただし、その期間中に為替レートが著しく変動した場合は、取引日の為替レートが使用される。発生した換算差額があれば、その他包括利益に認識され、為替準備金に累積される（必要に応じて、非支配持分に帰属させる）。

海外事業体の処分において、事業体に関して為替準備金に累積される当行株主に帰属する換算差額はすべて、連結損益計算書に再分類される。

## (17) 従業員給付

### 給与および福利厚生

給与、賞およびその他の給付は、該当するサービスが従業員により提供された期間に発生主義で計上される。

### 退職後給付

当グループは、様々な地方政府または独立した保険会社によって管理されている多数の確定拠出型退職年金制度に加入している。これらの制度に係る拠出債務は、当グループおよび従業員の両方が負担しており、当グループが支払った拠出額は、発生時に連結損益計算書に費用として認識される。

確定給付型制度に関する当グループの正味債務は、当期および過年度に従業員が稼得している将来給付額を見積り、その金額を割引き、制度資産の公正価値を控除することによって、各制度について別々に算定される。

確定給付債務の計算は、毎年、予測単位積増方式を用いて有資格保険数理士によって行われる。計算の結果、当グループの潜在的資産につながる場合、認識済資産は、制度からの将来の払戻額または制度への将来の拠出額の減額の形態で入手可能な経済的便益の現在価値を上限とする。経済的便益の現在価値を算定するに当たり、適用可能な最低積立要件を考慮している。

数理計算上の利益および損失、制度資産の収益（利息を除く）およびアセット・シーリングの影響（もしあれば、また利息を除く）より構成される正味確定給付負債の再測定は、その他包括利益に即時認識される。当グループは、拠出および給付支払の結果として当期中の正味確定給付負債（資産）の変動を考慮し、当年度期首現在の確定給付債務の測定に使用する割引率を同日の正味確定給付負債（資産）に適用することによって、当期の正味確定給付負債（資産）に係る正味利息費用（収益）を決定する。確定給付制度に関連した正味利息費用およびその他の費用は、連結損益計算書の人件費に認識される。

制度の給付額が変更される場合、または予定された金額が縮小される場合、過去の勤務もしくは確定給付型制度の縮小に関する給付額の変動によって生じた利益または損失は、損益に即時認識される。当グループは、確定給付型制度が清算される際に、確定給付制度の清算に係る損益を認識する。

## 株式報酬

当グループは、上級経営陣に対するH株式評価益権制度（以下、「制度」という。）という名称のH株式評価益権を従業員に提供している。制度は現金で決済される。現金決済型株式報酬は、当グループに生じる負債の公正価値で測定され、当該負債は株価に基づき算定される。当グループは、当期のサービスを、対応する負債の増加額と共に、受給権確定期間内の各報告期間末における権利確定の結果に関する最善の見積りに基づく負債の公正価値の増加と同額で関連原価または費用として認識する。負債が決済されるまで、当グループは、各報告期間末および決済日において負債の公正価値を再測定し、公正価値の変動は当期損益に認識される。

H株式評価益権の公正価値は、H株式評価益権が付与された時点の契約条件を考慮して、ブラック・ショールズ・モデルを用いて測定される。

## (18) 関連当事者

当連結財務諸表の目的において、もし当グループが直接的あるいは間接的に、または共同で当該当事者を支配するか、もしくは財務および経営上の決定に関して重大な影響力を行使する能力を有する場合、その逆の場合、または当グループおよび当該当事者が共通支配もしくは共通の重要な影響下にある場合は、当該当事者は当グループに関連しているとみなされる（ただし、当グループおよび当該当事者が、他の当事者の共通の重要な影響下にある場合を除く）。関連当事者は、個人（主要な経営陣メンバー、重要な株主および／またはその近親者等）あるいは他の事業体であり、当グループの個人の関連当事者の重要な影響下にある事業体、および当グループまたは当グループの関連当事者である事業体の従業員の便益のための退職後給付制度を含む。

## (19) セグメント報告

事業セグメントおよび当連結財務諸表に報告されている各セグメント項目の金額は、当グループの様々な事業分野および地理的な場所ごとに資源を配分する、および業績を評価する目的で当グループの最高幹部役員に定期的に提供されている財務情報から特定される。個別に重要な事業セグメントは、それらのセグメントが類似する経済的特徴を有し、製品およびサービスの性質、製造工程の性質、顧客の種類および分類、製品の流通またはサービスの提供に用いられる手法、ならびに規制環境の性質について類似していない限り、財務報告上集約されない。個別に重要でない事業セグメントについては、これらの基準の大部分を満たしている場合には集約することができる。

## (20) 信託事業

当グループは、委託貸付および委託投資業務において、信託活動を行っている。当グループが保有している資産およびそれに関連した当該資産を顧客へ返還する義務は、当該資産のリスクおよび経済価値が顧客に帰属するため、連結財政状態計算書から除外されている。当グループは関連手数料を請求するのみである。

## (21) 配当金あるいは利益分配

配当金あるいは利益分配は、承認および宣言された年度に負債として認識される。

## (22) 一般準備金

一般準備金は資本の不可欠な一部である。関連規制に準拠して、当行は、減損引当金に加えて、識別されていない潜在的損失を補うために一般準備金を維持している。原則として、一般準備金の残高はリスク資産の期末残高の1.5%を下回ってはならない。また、一般準備金は、ミューチュアル・ファンド保管業務の収入の2.5%を含める。当グループの一般準備金には、当グループの子会社がその業種または地域の適用法令に従って維持する一般準備金も含まれる。

## 5 重要な会計上の見積りおよび判断

一部の資産および負債の帳簿価額を決定するにあたり、当グループは、報告期間末現在で、不確実な将来の事象がこれらの資産および負債に与える影響を見積っている。これらの見積りは、キャッシュ・フローおよび使用される割引率に関する仮定を含んでいる。当グループの見積りおよび仮定は、過去の経験や将来の事象の予測に基づいており、定期的に見直しが行われている。将来の事象の仮定および見積りに加えて、当グループの会計方針を適用する過程においては判断も行われている。

### (1) 組成された事業体に対する支配

当グループが組成された事業体のアセット・マネージャーとして活動する場合には、当グループが組成された事業体を支配しており、それらの事業体を連結する必要があるかどうかを評価するために、当グループが本人か代理人かについて判断を行う。この評価を行う際に、当グループは、特に組成された事業体に対する意思決定権限の範囲、他の当事者が有する権利、資産運用サービスの関連契約に従って受け取る権利のある報酬、組成された事業体に対して保有するその他の持分によるリターンの変動性への当グループのエクスポージャー等、複数の要因を考慮する。

### (2) 金融資産の分類

事業モデルの評価：当グループの金融資産の分類および測定には、事業モデルに関する重要な判断を伴う。当グループは、特定の事業目的を達成するために金融資産グループがどのように一括管理されているかを反映した水準で事業モデルを決定する。具体的な検討は、資産のパフォーマンスが評価および測定される方法、資産のパフォーマンスに影響を及ぼすリスク、ならびにこれらのリスクの管理方法および資産の管理者が報酬を受ける方法を含む。

### (3) 譲渡された金融資産の認識の中止

当グループは、通常の事業の過程において、通常の方法による売却および譲渡、証券化ならびに買戻契約に基づいて売却される金融資産等、様々な種類の取引を通じて金融資産を譲渡している。当グループは、金融資産を譲渡したか否かおよび全額認識の中止に適格か否かについて評価するに当たり、重要な判断および見積りを行っている。

当グループが組成された事業体に金融資産を譲渡する仕組取引を締結する場合、当グループは、当グループと当該組成された事業体との関係の実態が、当グループが当該組成された事業体を支配していることを示唆しているか否か、およびこれらの事業体の連結が必要か否かについて分析する。これにより、次の認識の中止の分析を連結レベルまたは金融資産を譲渡する事業体レベルのどちらで行う必要があるかについて決定される。

当グループは、以下の検討事項に基づいて認識の中止の基準が満たされているかどうかを判断するために、当該譲渡に関連する契約上の権利および義務を分析する。

- ・ 金融資産による契約上のキャッシュ・フローを受け取る権利を移転しているか、または譲渡が独立した第三者に対する当該キャッシュ・フローの「パススルー」の要件を満たしているか。
- ・ 金融資産の所有に伴う関連リスクおよび経済価値が移転される程度。譲渡前後のキャッシュ・フロー、ならびにリスクおよび経済価値が移転される程度に関する当グループの評価の結果に影響を及ぼす、その他の要素に関する当グループの見積りには、重要な判断および見積りが適用される。

#### (4) ECLモデルに基づく減損

- ・ 信用リスクの著しい増大：ECLは、ステージ1の資産については12ヶ月ECL、ステージ2またはステージ3の資産については全期間ECLと同額の引当金として測定される。資産は、当初認識後に信用リスクが著しく増加した場合にステージ2に移動する。資産の信用リスクが著しく増加しているかどうかの評価にあたり、当グループは、合理的かつ立証可能な定性的かつ定量的な将来予測的な情報を考慮する。詳細については注記60(a)( )を参照のこと。
- ・ 類似の信用リスク特性を有する資産グループの設定：ECLが集合的に測定される場合、金融商品は、共通のリスク特性に基づきグループ化される。この判断で検討される特性の詳細については、注記60(a)( )を参照のこと。当グループは、信用リスク特性が引き続き類似しているかどうかを評価するために、継続的に信用リスク特性の妥当性を監視している。信用リスク特性が変更になった場合に、確実に適切な資産の再区分が行われるように、この監視が求められる。これにより、資産グループの類似する信用リスク特性をより適切に反映する新しいポートフォリオが作成されるか、既存のポートフォリオに資産が移動する可能性がある。
- ・ 使用するモデルおよび仮定：当グループは、ECLの見積りにおいて様々なモデルおよび仮定を使用している。資産タイプごとの最も適切なモデルの特定、および信用リスクの主要なドライバーに関する仮定を含む、これらのモデルに使用される仮定の決定には、判断を伴う。詳細については注記60(a)( )を参照のこと。
- ・ 将来予測的な情報：ECLを測定する際に、当グループは、合理的かつ立証可能な将来予測的な情報を使用する。この情報は、様々な経済的推進力の将来の動向およびこれらの推進力がどのように互いに影響を及ぼすかに関する仮定に基づいている。詳細については、注記60(a)( )を参照のこと。

- ・ デフォルト確率（以下、「PD」という。）：PDは、ECLの測定における主要なインプットを構成する。PDは、所定の対象期間におけるデフォルトの可能性の見積りである。この算定には、過去のデータ、仮定および将来の状況の予想が含まれる。詳細については、注記60(a)( )を参照のこと。
- ・ デフォルト時損失（以下、「LGD」という。）：LGDは、デフォルト時に発生する損失の見積りである。これは、担保およびその他の不可欠な信用補完によるキャッシュ・フローを考慮した、支払予定の契約上のキャッシュ・フローと貸し手が受け取ることを見込んでいるキャッシュ・フローの差額に基づいている。詳細については、注記60(a)( )を参照のこと。

## (5) 金融商品の公正価値

いくつかの金融商品には、活発な市場における市場価格が存在しない。これらの金融商品の公正価値は、評価方法を用いて決定されている。評価方法には、最近の独立企業間市場取引の利用、類似する金融商品の最近の公正価値の参照および割引キャッシュ・フロー分析またはオプション価格モデルが含まれる。当グループは、評価方法が適格な人員によって構築され、評価方法を構築した事業部門から独立した人員によって有効性の確認および評価が行われるようにプロセスを設けている。評価方法は、評価が実施される前に認定され、評価結果に実際の市況が反映されるように修正が加えられている。当グループが設定した評価モデルは、市場情報を最大限に利用し、当グループ特有のデータには出来る限り依存しないものとなっている。ただし、信用リスク、カウンターパーティ・リスク、リスク相関などの一部の情報は経営陣の見積りを必要とすることに留意しなければならない。経営陣の見積りおよび仮定は定期的に見直され、必要に応じて調整されている。公正価値がブローカーの相場やプライシング・サービスなどの第三者の情報をを用いて測定される場合には、評価チームは、関連する評価が、公正価値階層の適切なレベルでの関連評価のカテゴリーを含む、IFRSの要件を満たしているという結論を裏付けるために第三者から入手した証拠を評価する。

## (6) 法人所得税

法人所得税繰入額を決定する際には、特定の取引に関する将来の税務処理についての判断が必要となる。当グループは、各取引の税務上の取り扱いを慎重に評価し、これに応じて法人所得税繰入額を決定している。このような取引の税務処理は、税務規定の変更をすべて考慮に入れるために定期的に見直される。繰延税金資産は、未使用の税務上の欠損金および将来減算一時差異に対して認識されている。これらの繰延税金資産は、未使用の税務控除が利用可能となるような将来の課税所得が見込まれる場合にのみ認識されるため、将来の課税所得の発生可能性を評価する際には経営陣の判断が必要となる。経営陣の評価は定期的に見直され、将来の課税所得によって繰延税金資産の回収が可能となる場合には、追加的な繰延税金資産が認識される。

## (7) のれんの減損

当グループは、のれんが減損しているか否かについて、少なくとも年一回、および帳簿価額が減損している可能性を示す状況が存在する場合に、判定している。この判定には、のれんが配分されるCGUまたはCGUグループの回収可能価額の見積りが必要となる。回収可能価額の見積りにおいて、当グループはCGUまたはCGUグループから生じる予想将来キャッシュ・フローの見積りを行い、さらに、それらのキャッシュ・フローの現在価値を算定するために適切な割引率を選択することも必要である。実際の将来キャッシュ・フローが予想を下回る、または将来キャッシュ・フローの下方修正あるいは割引率の上方修正をもたらす事実および状況の変化がある場合、重大な減損損失またはさらなる減損損失が発生する可能性がある。

[前へ](#)

[次へ](#)

## 6 受取利息

	2022年	2021年
顧客に対する貸出金	265,601	250,662
- 法人向け貸付	86,754	80,575
- 個人向け貸付	168,174	159,124
- 割引手形	10,673	10,963
中央銀行預け金	8,482	7,792
銀行およびその他金融機関に対する預け金	1,242	902
銀行およびその他金融機関に対する貸付金	7,760	5,526
売戻契約に基づいて保有する金額	4,487	6,115
金融投資	65,808	56,059
- FVTOCIで測定される負債投資	19,654	15,875
- 償却原価で測定される負債投資	46,154	40,184
合計	353,380	327,056

注：2022年12月31日に終了した事業年度において、その他包括利益を通じて公正価値評価される顧客に対する貸出金に係る利息12,668百万人民元（2021年：12,337百万人民元）が上表に含まれていた。

## 7 支払利息

	2022年	2021年
顧客からの預金	105,836	84,332
中央銀行からの借入金	2,828	7,635
銀行およびその他金融機関からの預かり金	9,782	11,993
銀行およびその他金融機関からの借入金	4,567	3,519
買戻契約に基づく売却金額	1,960	2,571
発行済負債証券	9,662	12,532
リース負債	510	555
合計	135,145	123,137

## 8 受取手数料

	2022年	2021年
資産管理手数料	30,903	36,053
資産運用手数料	12,457	10,856
銀行カード手数料	21,399	19,377
清算および決済手数料	15,051	13,902
与信および貸付業務手数料	5,753	6,321
保護預かり業務手数料	5,791	5,433
その他	12,018	10,376
合計	103,372	102,318

2022年に、当グループは、受取手数料の注記において、「資産管理手数料」および「その他」の詳細項目に関するグループ化基準を最適化し、比較数値はこれに従って修正再表示された。

## 9 その他の正味収益

	2022年	2021年
公正価値の変動による正味（損失）／利益	(2,675)	92
- 損益を通じて公正価値評価される金融商品	(2,204)	544
- デリバティブ金融商品	(120)	12
- 貴金属	(351)	(464)
正味投資収益	18,013	17,822
- FVTPLで測定される金融商品	12,443	14,839
- 償却原価で測定される金融資産の処分利益／（損失）	170	(657)
- FVTOCIで測定される負債商品の処分利益	5,161	3,516
- うち：手形の処分益	3,291	2,434
- FVTOCI区分に指定された持分投資からの配当収入	153	74
- その他	86	50
外国為替差益	3,600	3,351
その他収益	9,702	6,868
- 賃貸収入	9,181	6,415
- 保険収益	521	453
その他	1,065	878
合計	29,705	29,011



## 10 営業費用

	2022年	2021年
人件費	70,657	66,028
- 給与および賞与	55,647	51,031
- 社会保険および企業の補足的な保険	8,421	8,011
- その他	6,589	6,986
税および課徴金	3,005	2,772
有形固定資産および投資不動産の減価償却費	10,279	8,857
無形資産の償却費	1,061	1,153
使用権資産の減価償却費	4,151	4,259
短期リース費用および少額資産のリース費用	229	250
保険金請求費用	360	311
その他一般管理費（注）	32,319	33,249
合計	122,061	116,879

注：2022年12月31日に終了した事業年度の監査人に対する報酬は31百万人民元（2021年：29百万人民元）であり、その他一般管理費に含まれている。

## 11 取締役および監査役の報酬

当事業年度における取締役および監査役の報酬は、以下のとおりである。

	2022年				合計
	取締役の 報酬	給与、 給付および 現物給与	変動賞与 ( )	退職制度への 拠出額( )	
			(千人民元)		
業務執行取締役					
王良	-	3,625	-	-	3,625
小計	-	3,625	-	-	3,625

上記の業務執行取締役の報酬は、当行および当グループの業務の管理に関連した役務に関するものであった。

## 非業務執行取締役

繆建民	-	-	-	-	-
胡建華( )	-	-	-	-	-
孫雲飛( )	-	-	-	-	-
周松	-	-	-	-	-
洪小源	-	-	-	-	-
張健	-	-	-	-	-
蘇敏	-	-	-	-	-
陳冬( )	-	-	-	-	-
小計	-	-	-	-	-

上記の非業務執行取締役は、当行から報酬を受け取っていない。

**独立非業務執行取締役および  
監査役**

王仕雄	500	-	-	-	500
李孟剛	500	-	-	-	500
劉俏	500	-	-	-	500
田宏啟	500	-	-	-	500
李朝鮮	500	-	-	-	500
史永東	500	-	-	-	500
熊良俊	-	3,317	-	-	3,317
羅勝( )	-	-	-	-	-
彭碧红	-	-	-	-	-
吴珩	-	-	-	-	-
徐政軍	400	-	-	-	400
蔡洪平( )	202	-	-	-	202
張翔( )	202	-	-	-	202
王萬青	-	2,650	-	-	2,650
蔡進	-	1,548	-	-	1,548
小計	3,804	7,515	-	-	11,319

上記の独立非業務執行取締役および監査役の報酬は、当行の取締役または監査役としての役務および雇用に関するものであった。

	2022年				
	取締役の 報酬	給与、 給付および 現物給与	変動賞与 ( )	退職制度 への拠出額 ( )	合計
	(千人民元)				
旧業務執行取締役、非業務執行 取締役および監査役					
付剛峰( )	-	-	-	-	-
田惠宇( )	-	-	-	-	-
王大雄( )	-	-	-	-	-
羅勝( )	-	-	-	-	-
郭西錕( )	-	-	-	-	-
丁慧平( )	167	-	-	-	167
韓子榮( )	167	-	-	-	167
小計	334	-	-	-	334
上記の旧業務執行取締役、非業務執行取締役および監査役の報酬は、当行の取締役または監査役としての役務に 関するものであった。					
合計	4,138	11,140	-	-	15,278

注：

- ( ) 当グループの常勤取締役、監査役および業務執行役員の報酬総額（税引前）は、まだ確定していない。報酬残額の詳細については、報酬総額が確認された際に別個に開示される。
- ( ) 2022年6月に、当行の2021年度年次総会の決議に従って、胡建華氏、孫雲飛氏および陳冬氏が当行の非業務執行取締役として選任された。同氏が取締役として適任であることは、2022年10月にCBIRCによって承認された。
- ( ) 2022年6月に、当行の2021年度年次総会終了後に、王大雄氏および羅勝氏が任期満了のため当行の非業務執行取締役を退任し、当行の2021年度年次総会終了後に、田惠宇氏が当行の執行取締役を退任した。
- ( ) 2022年11月に、付剛峰氏が勤務形態の変更のため当行の取締役副会長および非業務執行取締役を退任した。
- ( ) 2022年6月に、当行の2021年度年次総会の決議に従って、羅勝氏が当行の株主代表監査役に選任され、蔡洪平氏および張翔氏が当行の社外監査役に選任された。
- ( ) 2022年6月に、郭西錕氏が任期満了のため当行の株主代表監査役を退任し、丁慧平氏および韓子榮氏が任期満了のため当行の社外監査役を退任した。
- ( ) 2022年12月31日に、当グループは制度に基づき10のフェーズのH株式評価益権を提供していた。当該制度については、注記39(a)( )に詳述されている。

## 2021年

	取締役の 報酬	給与、 給付および 現物給与	変動賞与 ( )	退職制度 への拠出額	合計
	(千人民元)				
<b>業務執行取締役</b>					
田惠宇	-	4,158	-	40	4,198
王良	-	3,302	1,403	40	4,745
小計	-	7,460	1,403	80	8,943

上記の業務執行取締役の報酬は、当行および当グループの業務の管理に関連した役務に関するものであった。

**非業務執行取締役**

繆建民	-	-	-	-	-
付剛峰	-	-	-	-	-
周松	-	-	-	-	-
洪小源	-	-	-	-	-
張健	-	-	-	-	-
蘇敏	-	-	-	-	-
王大雄	-	-	-	-	-
羅勝	-	-	-	-	-
小計	-	-	-	-	-

上記の非業務執行取締役は、当行から報酬を受け取っていない。

**独立非業務執行取締役および  
監査役**

王仕雄	500	-	-	-	500
李孟剛	500	-	-	-	500
劉肖	500	-	-	-	500
田宏啟	500	-	-	-	500
李朝鮮( )	183	-	-	-	183
史永東( )	183	-	-	-	183
熊良俊( )	-	3,164	1,344	48	4,556
彭碧紅	-	-	-	-	-
吳珩	-	-	-	-	-
郭西錕( )	-	-	-	-	-
丁慧平	400	-	-	-	400
韓子榮	400	-	-	-	400
徐政軍	400	-	-	-	400
王萬青	-	2,747	-	48	2,795
蔡進( )	-	123	-	48	171
小計	3,566	6,034	1,344	144	11,088

上記の独立非業務執行取締役および監査役の報酬は、当行の取締役または監査役としての役務および雇用に関するものであった。

## 2021年

	取締役の 報酬	給与、 給付および 現物給与	変動賞与 ( )	退職制度 への拠出額	合計
	(千人民元)				
<b>旧業務執行取締役、非業務執行 取締役および監査役</b>					
劉建軍( )	-	1,373	531	19	1,923
梁錦松( )	317	-	-	-	317
趙軍( )	317	-	-	-	317
劉元( )	-	2,368	898	31	3,297
溫建國( )	-	-	-	-	-
劉小明( )	-	1,979	-	48	2,027
小計	634	5,720	1,429	98	7,881
上記の旧業務執行取締役、非業務執行取締役および監査役の報酬は、当行の取締役または監査役としての役務に関するものであった。					
合計	4,200	19,214	4,176	322	27,912

注：

- ( ) 2022年9月29日に取締役会は、2021年度に関する当行の取締役、監査役および業務執行役員の変動賞与を承認した。
- ( ) 2021年6月に、当行の2020年度年次総会の決議に従って、李朝鮮氏および史永東氏が当行の独立非業務執行取締役として選任された。同氏が独立非業務取締役として適任であることは、2021年8月にCBIRCによって承認された。同時に、梁錦松氏および趙軍氏が任期満了のため当行の独立非業務執行取締役を退任した
- ( ) 2021年8月に、熊良俊氏が当行の従業員代表会議において従業員代表監査役に選任された。当行の第11次監査役会の第21回会議における決議に従って、熊良俊氏は当行の監査役会の議長に選任された。
- ( ) 2021年6月に、当行の2020年度年次総会の決議に従って、郭西鋌氏が当行の株主代表監査役に選任された。
- ( ) 2021年12月に、蔡進氏が当行の従業員代表会議において当行の従業員代表監査役に選任された。
- ( ) 2021年5月に、劉建軍氏が勤務形態の変更のため当行の業務執行取締役、業務執行副総裁および取締役会の書記を退任した。
- ( ) 2021年8月に、劉元氏が勤務形態の変更のため当行の監査役会議長および従業員代表監査役を退任した。
- ( ) 2021年4月に、溫建國氏が勤務形態の変更のため当行の株主代表監査役を退任した。
- ( ) 2021年12月に、劉小明氏が勤務形態の変更のため当行の従業員代表監査役を退任した。
- ( ) 2021年12月31日現在、当グループは制度に基づき10のフェーズのH株式評価益権を提供していた。当該制度については注記39(a)( )に詳述されている。

2022年および2021年12月31日に終了した事業年度中、当グループに参加するため、あるいは参加する際の就任奨励金として、または離任補償金として取締役または監査役である者に当グループが支払った報酬はなかった。

2022年および2021年12月31日に終了した事業年度中、取締役または監査役が報酬を放棄したり、報酬の放棄に同意したりした契約はなかった。

## 12 5名の高額報酬者

2022年12月31日に終了した事業年度における高額報酬者上位5名（合計6名）のうち、2名は同一報酬額で3番目の高額報酬者で、うち2名は同一報酬額で4番目の高額報酬者であった。2021年12月31日に終了した事業年度における高額報酬者上位5位（合計5名）のうち、2名は同一報酬額で4番目の高額報酬者であった。これらの高額報酬者のうち2名（2021年：3名）は上記の注記11に含まれている当行の取締役または監査役であった。当行の取締役でも監査役でもない残り4名（2021年：2名）の高額報酬者の報酬の合計は、以下のとおりである。

	2022年	2021年
	(千人民元)	
給与およびその他報酬	11,764	6,048
変動賞与	-	2,568
確定拠出型年金制度への拠出額	-	85
合計	11,764	8,701

下記の報酬範囲内に該当する当行の取締役でも監査役でもない、これら的高額報酬者の内訳は以下のとおりである。

	2022年	2021年
3,000,001香港ドル - 3,500,000香港ドル	4	-
3,500,001香港ドル - 4,000,000香港ドル	-	2
4,000,001香港ドル - 4,500,000香港ドル	-	-
4,500,001香港ドル - 5,000,000香港ドル	-	-
5,000,001香港ドル - 5,500,000香港ドル	-	-

### 13 取締役、監査役および業務執行役員への貸付

当グループの取締役、監査役および業務執行役員への貸付は以下のとおりである。

	2022年	2021年
事業年度末現在の当グループによる関連貸付残高合計	34	61
事業年度中の当グループによる関連貸付残高合計の最高額	47	66



## 14 予想信用損失

	2022年	2021年
顧客に対する貸出金	45,157	37,020
- 償却原価で測定される貸出金（注記22(c)（ ））	40,175	35,678
- FVTOCIで測定される貸出金（注記22(c)（ ））	4,982	1,342
銀行およびその他金融機関に対する預け金	(3,284)	6,110
金融投資	3,879	15,848
- 償却原価で測定される負債投資（注記23(b)（ ））	4,234	13,201
- FVTOCIで測定される負債投資（注記23(c)（ ））	(355)	2,647
金融保証および貸付コミットメント	7,112	5,639
その他	3,887	1,345
合計	56,751	65,962

## 15 法人所得税

## (a) 連結損益計算書上の法人所得税

	2022年	2021年
当期法人所得税費用	34,276	38,141
- 中国本土	33,133	37,222
- 香港	973	767
- 海外	170	152
繰延税金費用	(8,457)	(10,802)
合計	25,819	27,339

## (b) 連結損益計算書上の法人所得税費用と適用法定税率による算定額との調整は以下のとおりである。

	2022年	2021年
税引前利益	165,113	148,173
中国の法定税率25%（2021年：25%）で算定された税金	41,278	37,043
下記項目に係る税効果：		
- 損金不算入費用に係る税効果	1,593	1,392
- 非課税所得に係る税効果	(17,114)	(12,053)
- その他の管轄地で適用される異なる税率に係る税効果	(215)	(258)
- 過年度に認識された繰延税金資産からの振替	955	1,716
- 永久債利息費用の税効果	(942)	(550)
- その他	264	49
法人所得税	25,819	27,339

注：香港および海外事業に関する税金は、各管轄地で適用されている税率を用いて費用計上されている。

## 16 その他包括利益

## (a) その他包括利益の各構成要素に関連する税効果

	2022年			2021年		
	税引前	税務便益 / (費用)	税引後	税引前	税務便益 / (費用)	税引後
損益に再分類される可能性のある項目	732	553	1,285	8,382	(2,526)	5,856
- FVTOCIで測定される負債商品に係る正味公正価値(損失)/利益	(7,353)	1,736	(5,617)	5,675	(1,519)	4,156
- FVTOCIで測定される負債商品の予想信用損失の純変動	4,631	(1,160)	3,471	4,060	(1,024)	3,036
- キャッシュ・フロー・ヘッジ準備金の純変動	135	(23)	112	88	17	105
- 持分法適用被投資会社のその他包括(損失)/利益持分	(1,155)	-	(1,155)	133	-	133
- 在外事業体の財務諸表の換算に係る換算差額	4,429	-	4,429	(1,574)	-	(1,574)
- その他	45	-	45	-	-	-
当初認識後に損益に再分類されない項目	40	(2)	38	1,176	157	1,333
- FVTOCIで測定する指定を受けた持分商品に係る正味公正価値利益	52	(4)	48	1,158	160	1,318
- 確定給付型制度の再測定	(12)	2	(10)	18	(3)	15
その他包括利益	772	551	1,323	9,558	(2,369)	7,189

## (b)その他包括利益の構成要素に関連する変動は以下のとおりである。

	2022年	2021年
FVTOCIで測定される負債商品に係る正味公正価値（損失）／利益		
当事業年度に認識された公正価値の変動	(1,746)	6,793
処分時に損益に振り替えられた金額の再分類調整額	(3,871)	(2,637)
その他包括利益に認識された当事業年度における投資再評価準備金の純変動	(5,617)	4,156
FVTOCIで測定される負債商品の予想信用損失の純変動		
当事業年度に認識された予想信用損失の変動	3,471	3,036
その他包括利益に認識された当事業年度における投資再評価準備金の純変動	3,471	3,036
FVTOCIで測定する指定を受けた持分商品に係る正味公正価値利益		
当事業年度に認識された公正価値の変動	48	1,318
その他包括利益に認識された当事業年度における投資再評価準備金の純変動	48	1,318
キャッシュ・フロー・ヘッジ準備金の純変動		
ヘッジ手段の公正価値変動の有効部分	112	74
損益に振り替えられた実現利益の再分類調整額	-	31
その他包括利益に認識された当事業年度におけるヘッジ準備金の純変動	112	105

## 17 1株当たり利益

基本的1株当たり利益は、当該年度の当行普通株主帰属純利益および加重平均発行済株式数に基づいている。2022年度および2021年度において希薄化後の潜在的普通株式がないため、両年度の基本的1株当たり利益と希薄化後1株当たり利益の間に差異はない。

	2022年	2021年
当行株主帰属純利益	138,012	119,922
控除：当行優先株主帰属純利益	(1,675)	(1,638)
永久債保有者帰属純利益	(3,562)	(1,975)
当行普通株主帰属純利益	132,775	116,309
加重平均発行済株式数（百万株）	25,220	25,220
基本的小および希薄化後1株当たり利益（人民币）	5.26	4.61

注：当行は、2017年度に非累積優先株式を発行し、2020年度および2021年度に非累積永久債を発行した。基本的1株当たり利益の計算の目的上、当該年度に宣言された非累積優先株式に対する配当金および非累積永久債の利息は、当行株主に帰属する金額から控除する必要がある。

優先株式の転換特性は、条件付発行可能普通株式であると考えられる。2022年および2021年12月31日現在、転換のトリガー事象は発生していない。そのため、両年度において優先株式の転換特性による希薄化後1株当たり利益の計算への影響はない。

## 18 中央銀行預け金

	2022年	2021年
法定預託準備金（注（ ））	534,232	484,878
余剰支払準備金（注（ ））	50,846	65,819
その他中央銀行預け金（注（ ））	2,455	2,958
未収利息	285	243
合計	587,818	553,898

注：

- （ ）当グループは、中国人民銀行（以下、「PBOC」という。）および当グループが業務を行っている海外の中央銀行に法定預託準備金を預託している。法定預託準備金は、当グループの日常業務のために使用することはできない。2022年12月31日現在の中国本土内の当行の機関の法定預託準備金は、対象となる人民元建て預かり金および外貨建て預かり金のそれぞれ7.5%および6%（2021年12月31日：対象となる人民元建て預かり金および外貨建て預かり金のそれぞれ8%および9%）として計算されている。対象となる預かり金は、政府当局およびその他の機関からの預かり金、個人預金、法人預金、信託業務の信用残高（正味）および中国本土外の金融機関が預け入れた人民元建て預かり金を含む。外国の中央銀行に預託する法定預託準備金の金額は、現地の管轄地によって決定される。
- （ ）PBOCおよび中国本土外の中央銀行における余剰支払準備金は、主に清算および決済を目的としたものである。
- （ ）その他中央銀行預け金は、主にPBOCに預託する財政預金および為替準備金を表している。

## 19 銀行およびその他金融機関に対する預け金

	2022年	2021年
元本（a）	91,587	80,664
減損引当金（a）(b)	(509)	(378)
小計	91,078	80,286
未収利息	268	64
合計	91,346	80,350

**(a) 取引相手の性質別分析**

	2022年	2021年
中国本土内における預け金	57,809	37,453
- 銀行	54,808	35,620
- その他金融機関	3,001	1,833
中国本土外における預け金	33,778	43,211
- 銀行	33,390	41,430
- その他金融機関	388	1,781
合計	91,587	80,664
控除：減損引当金	(509)	(378)
- 銀行	(490)	(329)
- その他金融機関	(19)	(49)
正味帳簿価額	91,078	80,286

**(b) 減損引当金の変動は以下のとおりである。**

	2022年	2021年
当年度期首残高	378	277
当年度繰入額（注記14）	120	109
換算差額	11	(8)
当年度末残高	509	378

**20 銀行およびその他金融機関に対する貸付金**

	2022年	2021年
元本 (a)	264,782	196,351
減損引当金 (a) (c)	(2,658)	(2,860)
小計	262,124	193,491
未収利息	1,452	930
合計	263,576	194,421

**(a) 取引相手の性質別分析**

	2022年	2021年
中国本土内における貸付金	202,381	127,959
- 銀行	65,018	19,213
- その他金融機関	137,363	108,746
中国本土外における貸付金	62,401	68,392
- 銀行	61,880	68,102
- その他金融機関	521	290
合計	264,782	196,351
控除：減損引当金	(2,658)	(2,860)
- 銀行	(163)	(136)
- その他金融機関	(2,495)	(2,724)
正味帳簿価額	262,124	193,491

**(b) 残存期間別分析**

	2022年	2021年
満期		
- 1ヶ月以内	89,368	66,842
- 1ヶ月超1年以内	158,086	115,906
- 1年超	14,670	10,743
合計	262,124	193,491

**(c) 減損引当金の変動は以下のとおりである。**

	2022年	2021年
当年度期首残高	2,860	376
当年度（戻入額）／繰入額（注記14）	(235)	2,481
換算差額	33	3
当年度末残高	2,658	2,860

**21 売戻契約に基づいて保有する金額**

	2022年	2021年
元本 (a)	277,561	528,564
減損引当金 (a)(d)	(1,094)	(4,263)
小計	276,467	524,301
未収利息	209	300
合計	276,676	524,601

**(a) 取引相手の性質別分析**

	2022年	2021年
中国本土内で売戻契約に基づいて保有する金額	277,382	528,447
- 銀行	42,077	60,323
- その他金融機関	235,305	468,124
中国本土外で売戻契約に基づいて保有する金額	179	117
- その他金融機関	179	117
合計	277,561	528,564
控除：減損引当金	(1,094)	(4,263)
- 銀行	(216)	(175)
- その他金融機関	(878)	(4,088)
正味帳簿価額	276,467	524,301

**(b) 残存期間別分析**

	2022年	2021年
満期		
- 1ヶ月以内	268,890	524,301
- 1ヶ月超1年以内	7,577	-
合計	276,467	524,301

**(c) 原資産別分析**

	2022年	2021年
債券	256,129	522,202
手形	20,338	2,099
合計	276,467	524,301

**(d) 減損引当金の変動は以下のとおりである。**

	2022年	2021年
当年度期首残高	4,263	743
当年度（戻入額）／繰入額（注記14）	(3,169)	3,520
当年度末残高	1,094	4,263

## 22 顧客に対する貸出金

## (a) 顧客に対する貸出金

	2022年	2021年
償却原価で測定される顧客に対する貸出金総額( )	5,432,112	5,075,052
未収利息	11,326	10,548
小計	5,443,438	5,085,600
控除：償却原価で測定される顧客に対する貸出金の損失引当金( )	(254,913)	(244,523)
未収利息の損失引当金	(846)	(971)
小計	(255,759)	(245,494)
償却原価で測定される顧客に対する貸出金	5,187,679	4,840,106
FVTOCIで測定される顧客に対する貸出金( )	614,481	488,004
FVTPLで測定される顧客に対する貸出金( )	4,994	7,281
合計	5,807,154	5,335,391

## ( ) 償却原価で測定される顧客に対する貸出金

	2022年	2021年
法人向け貸出金	2,270,323	2,087,247
個人向け貸出金	3,161,789	2,987,791
割引手形	-	14
償却原価で測定される顧客に対する貸出金総額	5,432,112	5,075,052
控除：損失引当金	(254,913)	(244,523)
- ステージ 1 (12ヶ月ECL)	(159,932)	(169,347)
- ステージ 2 (全期間ECL - 信用減損していない)	(44,898)	(32,007)
- ステージ 3 (全期間ECL - 信用減損している)	(50,083)	(43,169)
償却原価で測定される顧客に対する貸出金純額	5,177,199	4,830,529

## ( ) FVTOCIで測定される顧客に対する貸出金

	2022年	2021年
法人向け貸出金	100,430	56,713
割引手形	514,051	431,291
FVTOCIで測定される顧客に対する貸出金	614,481	488,004
損失引当金	(6,563)	(1,581)
- ステージ 1 (12ヶ月ECL)	(6,311)	(1,289)
- ステージ 2 (全期間ECL - 信用減損していない)	(252)	(292)
- ステージ 3 (全期間ECL - 信用減損している)	-	-



損失引当金は、帳簿価額が公正価値であるため、FVTOCIで測定される顧客に対する貸出金について、連結財政状態計算書上に認識されていない。

( ) FVTPLで測定される顧客に対する貸出金

	2022年	2021年
法人向け貸出金	4,863	6,978
割引手形	3	-
未収利息	128	303
小計	4,994	7,281

## (b) 顧客に対する貸出金の分析

( ) 産業セクター別、カテゴリー別分析

中国本土内における業務

	2022年	2021年
運輸、倉庫、および郵政事業	461,434	412,417
製造業	445,218	309,635
不動産開発	349,682	367,642
電力、火力、ガスおよび水の生産および供給	203,870	187,611
卸売業および小売業	171,786	138,352
リースおよび商業サービス	158,320	170,009
建設	103,998	117,453
通信、ソフトウェアおよびITサービス	78,950	58,267
ファイナンス	75,593	57,988
水、環境および公共事業管理	64,886	64,427
鉱業	34,421	28,854
その他	67,677	66,364
法人向け貸出金小計	2,215,835	1,979,019
割引手形	514,054	431,305
個人向け住宅ローン	1,379,825	1,364,534
クレジット・カード	884,395	840,254
マイクロファイナンス貸付	629,857	560,657
その他	213,599	173,527
個人向け貸出金小計	3,107,676	2,938,972
顧客に対する貸出金総額	5,837,565	5,349,296

## 中国本土外における業務

	2022年	2021年
ファイナンス	36,521	37,345
運輸、倉庫および郵政事業	30,814	33,186
不動産開発	26,298	34,062
製造業	20,494	23,763
通信、ソフトウェアおよびITサービス	10,908	7,727
電力、火力、ガスおよび水の生産および供給	9,023	7,077
卸売業および小売業	8,923	8,920
鉱業	6,074	5,651
リースおよび商業サービス	3,430	4,749
建設	1,772	3,481
水、環境および公共事業管理	110	821
その他	5,414	5,137
法人向け貸出金小計	159,781	171,919
割引手形	-	-
個人向け住宅ローン	9,383	9,872
クレジット・カード	124	117
マイクロファイナンス貸付	1,181	1,214
その他	43,425	37,616
個人向け貸出金小計	54,113	48,819
顧客に対する貸出金総額	213,894	220,738

2022年12月31日現在、当グループの顧客に対する貸出金の90%超（2021年12月31日現在：90%超）が中国本土において提供されている。

## ( ) 保証タイプ別分析

	2022年	2021年
信用貸付	2,219,635	1,977,014
保証付貸付	836,550	752,744
抵当付貸付	2,132,337	2,075,639
質権付貸付	348,883	333,332
小計	5,537,405	5,138,729
割引手形	514,054	431,305
顧客に対する貸出金総額	6,051,459	5,570,034

## ( ) 延滞期間別分析

	2022年				延滞貸付金合計
	3ヶ月以内 延滞	3ヶ月超 1年以内の延滞	1年超 3年以内の延滞	3年超 の延滞	
信用貸付	22,260	12,382	2,365	880	37,887
保証付貸付	6,533	7,537	3,581	762	18,413
抵当付貸付	5,180	6,177	2,913	1,696	15,966
質権付貸付	3,234	573	951	1,261	6,019
顧客に対する貸出金総額	37,207	26,669	9,810	4,599	78,285

	2021年				延滞貸付金合計
	3ヶ月以内 延滞	3ヶ月超 1年以内の延滞	1年超 3年以内の延滞	3年超 の延滞	
信用貸付	18,097	10,269	2,972	944	32,282
保証付貸付	1,141	2,650	3,476	1,403	8,670
抵当付貸付	2,616	2,733	3,610	2,142	11,101
質権付貸付	473	687	791	3,422	5,373
顧客に対する貸出金総額	22,327	16,339	10,849	7,911	57,426

注：貸出金は、元本または利息が1日超延滞している場合に延滞として分類される。

上述の顧客に対する貸出金の延滞において、報告日現在で延滞しているが減損していない抵当付貸付および質権付貸付は、以下のとおりである。

	2022年	2021年
延滞しているが減損していない抵当付貸付	4,198	1,517
延滞しているが減損していない質権付貸付	1,819	473
合計	6,017	1,990

## ( ) ECL別分析

	2022年			合計
	- ステージ1 (12ヶ月ECL)	- ステージ2 (全期間ECL - 信用 減損していない)	- ステージ3 (全期間ECL - 信用 減損している)	
償却原価で測定される貸出金	5,217,868	156,240	58,004	5,432,112
控除：償却原価で測定される顧客に 対する貸出金の損失引当金	(159,932)	(44,898)	(50,083)	(254,913)
償却原価で測定される顧客に対する 貸出金純額	5,057,936	111,342	7,921	5,177,199
FVTOCIで測定される顧客に対する貸 出金	612,660	1,821	-	614,481
FVTOCIで測定される顧客に対する貸 出金の損失引当金	(6,311)	(252)	-	(6,563)

## 2021年

	- ステージ 1 (12ヶ月ECL)	- ステージ 2 (全期間ECL - 信用 減損していない)	- ステージ 3 (全期間ECL - 信用 減損している)	合計
償却原価で測定される貸出金	4,912,836	111,354	50,862	5,075,052
控除：償却原価で測定される顧客に 対する貸出金の損失引当金	(169,347)	(32,007)	(43,169)	(244,523)
償却原価で測定される顧客に対する 貸出金純額	4,743,489	79,347	7,693	4,830,529
FVTOCIで測定される顧客に対する貸 出金	485,735	2,269	-	488,004
FVTOCIで測定される顧客に対する貸 出金の損失引当金	(1,289)	(292)	-	(1,581)

## (c) 予想信用損失引当金の変動

( ) 償却原価で測定される顧客に対する貸出金に関する予想信用損失引当金の調整：

## 2022年

	- ステージ 1 (12ヶ月ECL)	- ステージ 2 (全期間ECL - 信用 減損していない)	- ステージ 3 (全期間ECL - 信用 減損している)	合計
当年度期首残高	169,347	32,007	43,169	244,523
以下への振替				
- ステージ 1	3,039	(2,965)	(74)	-
- ステージ 2	(7,699)	7,879	(180)	-
- ステージ 3	(3,693)	(4,681)	8,374	-
当年度（戻入額） / 繰入額（注記 14）	(1,694)	12,653	29,216	40,175
償却 / 処分	-	(71)	(39,016)	(39,087)
引当金に対する割引のアンワイン ディング	-	-	(386)	(386)
償却した貸出金の回収	-	-	8,972	8,972
換算差額	632	76	8	716
当年度末残高	159,932	44,898	50,083	254,913

## 2021年

	- ステージ 1 (12ヶ月ECL)	- ステージ 2 (全期間ECL - 信用 減損していない)	- ステージ 3 (全期間ECL - 信用 減損している)	合計
当年度期首残高	159,918	27,401	47,107	234,426
以下への振替				
- ステージ 1	5,848	(5,743)	(105)	-
- ステージ 2	(1,137)	1,592	(455)	-
- ステージ 3	(1,001)	(4,972)	5,973	-
当年度繰入額 (注記14)	5,766	13,763	16,149	35,678
償却 / 処分	-	-	(35,105)	(35,105)
引当金に対する割引のアンワイン ディング	-	-	(247)	(247)
償却した貸出金の回収	-	-	9,893	9,893
換算差額	(47)	(34)	(41)	(122)
当年度末残高	169,347	32,007	43,169	244,523

( ) FVTOCIで測定される顧客に対する貸出金に関する予想信用損失引当金の調整

	2022年	2021年
当年度期首残高	1,581	238
当年度繰入額 (注記14)	4,982	1,342
換算差額	-	1
当年度末残高	6,563	1,581

**(d) ファイナンス・リース債権**

下記の表は、当グループが賃貸人である資産のリースに関する顧客に対する貸出金に含まれるファイナンス・リース債権の分析を示したものである。

	2022年	2021年
最低リース料総額		
1年以内	13,323	15,035
1年超2年以内	11,035	11,225
2年超3年以内	6,074	8,519
3年超4年以内	6,089	5,323
4年超5年以内	3,860	5,580
5年超	17,448	13,980
小計	57,829	59,662
未収金融収益	(9,665)	(8,378)
最低リース料の現在価値	48,164	51,284
控除：減損引当金	(3,671)	(3,237)
- ステージ1（12ヶ月ECL）	(1,308)	(1,872)
- ステージ2（全期間ECL - 信用減損していない）	(1,646)	(632)
- ステージ3（全期間ECL - 信用減損している）	(717)	(733)
ファイナンス・リース債権の帳簿価額（正味）	44,493	48,047

**23 金融投資**

	注記	2022年	2021年
損益を通じて公正価値評価される金融投資	23(a)	423,467	348,123
償却原価で測定される負債投資	23(b)	1,555,457	1,185,841
FVTOCIで測定される負債投資	23(c)	780,349	636,038
FVTOCI区分の指定を受けた持分投資	23(d)	13,416	6,995
合計		2,772,689	2,176,997

**(a) 損益を通じて公正価値評価される金融投資**

	注	2022年	2021年
FVTPLで測定される金融投資	( )	411,591	318,245
損益を通じて公正価値評価する指定を受けた金融資産	( )	11,876	29,878
合計		423,467	348,123

## ( ) FVTPLで測定される金融投資

## トレーディング目的保有金融投資

	2022年	2021年
債券		
発行者別分類	182,416	129,792
- 国債	81,781	46,721
- 政策銀行発行債券	21,871	9,861
- 商業銀行およびその他金融機関発行債券	35,999	21,245
- その他負債証券	42,765	51,965
上場別分類	182,416	129,792
- 中国本土内における上場	167,998	113,762
- 中国本土外における上場	12,215	15,796
- 非上場	2,203	234
その他の投資		
原資産別分類	1,971	1,949
- 持分投資	17	-
- ファンドへの投資	814	811
- 資産運用商品	1,032	1,036
- 貴金属関連契約の買い持ちポジション	108	102
上場別分類	1,971	1,949
- 中国本土外における上場	134	111
- 非上場	1,837	1,838
トレーディング目的保有金融投資合計	184,387	131,741

## FVTPLで測定されるその他の金融投資

	2022年	2021年
<b>債券</b>		
発行者別分類	20,789	17,094
- 商業銀行およびその他金融機関発行債券	14,039	9,784
- その他負債証券	6,750	7,310
上場別分類	20,789	17,094
- 中国本土内における上場	18,216	15,388
- 中国本土外における上場	1,872	1,333
- 非上場	701	373
<b>その他の投資：</b>		
原資産別分類	206,415	169,410
- 持分投資	4,362	4,909
- ファンドへの投資	199,725	161,959
- 資産運用商品	1,511	1,360
- その他	817	1,182
上場別分類	206,415	169,410
- 中国本土内における上場	330	62
- 中国本土外における上場	653	1,118
- 非上場	205,432	168,230
FVTPLで測定されるその他の金融投資合計	227,204	186,504
FVTPLで測定される金融投資合計	411,591	318,245

## ( ) 損益を通じて公正価値評価する指定を受けた金融投資

	2022年	2021年
<b>債券</b>		
発行者別分類	11,876	29,878
- 国債	218	41
- 政策銀行発行債券	4,559	17,970
- 商業銀行およびその他金融機関発行債券	6,370	11,251
- その他負債証券	729	616
上場別分類	11,876	29,878
- 中国本土内における上場	11,656	28,793
- 中国本土外における上場	220	1,060
- 非上場	-	25



## (b) 償却原価で測定される負債投資

	2022年	2021年
償却原価で測定される負債投資( )( )	1,579,845	1,209,359
未収利息	19,294	16,368
小計	1,599,139	1,225,727
元本の減損損失( )( )( )	(43,448)	(39,707)
未収利息の減損損失	(234)	(179)
小計	(43,682)	(39,886)
合計	1,555,457	1,185,841

## ( ) 償却原価で測定される負債投資

	2022年	2021年
<b>債券</b>		
<b>発行者別分類</b>		
- 国債	1,452,499	1,078,888
- 政策銀行発行債券	993,624	768,537
- 商業銀行およびその他金融機関発行債券	394,126	280,129
- その他負債証券	56,913	20,064
- その他	7,836	10,158
<b>上場別分類</b>		
- 中国本土内における上場	1,452,499	1,078,888
- 中国本土外における上場	1,395,184	1,068,300
- 非上場	33,319	4,740
<b>上場債券の公正価値</b>	23,996	5,848
<b>その他の投資</b>		
<b>原資産別分類</b>		
- 非標準資産 - 顧客に対する貸出金	1,457,373	1,099,251
- 非標準資産 - その他の商業銀行に対する債権者の受益権	127,346	130,471
- 非標準資産 - その他	108,616	115,022
- その他	5,500	100
<b>上場別分類</b>		
- 非上場	12,582	14,729
- その他	648	620
<b>合計</b>	127,346	130,471
<b>控除：損失引当金</b>	127,346	130,471
- ステージ1（12ヶ月ECL）	1,579,845	1,209,359
- ステージ2（全期間ECL - 信用減損していない）	(43,448)	(39,707)
- ステージ3（全期間ECL - 信用減損している）	(10,120)	(14,974)
<b>償却原価で測定される負債投資純額</b>	(960)	(712)
	(32,368)	(24,021)
	1,536,397	1,169,652

## ( ) ECLステージ別分析：

2022年				
	- ステージ 1 (12ヶ月ECL)	- ステージ 2 (全期間ECL - 信用 減損していない)	- ステージ 3 (全期間ECL - 信用 減損している)	合計
償却原価で測定される負債投資	1,543,652	2,073	34,120	1,579,845
控除：償却原価で測定される負債投資の損失引当金	(10,120)	(960)	(32,368)	(43,448)
償却原価で測定される負債投資純額	1,533,532	1,113	1,752	1,536,397

2021年				
	- ステージ 1 (12ヶ月ECL)	- ステージ 2 (全期間ECL - 信用 減損していない)	- ステージ 3 (全期間ECL - 信用 減損している)	合計
償却原価で測定される負債投資	1,183,320	1,962	24,077	1,209,359
控除：償却原価で測定される負債投資の損失引当金	(14,974)	(712)	(24,021)	(39,707)
償却原価で測定される負債投資純額	1,168,346	1,250	56	1,169,652

## ( ) 予想信用損失引当金の変動

2022年				
	- ステージ 1 (12ヶ月ECL)	- ステージ 2 (全期間ECL - 信用 減損していない)	- ステージ 3 (全期間ECL - 信用 減損している)	合計
当年度期首残高	14,974	712	24,021	39,707
以下への振替				
- ステージ 1	-	-	-	-
- ステージ 2	(27)	27	-	-
- ステージ 3	(153)	(298)	451	-
当年度（戻入額）／繰入額（注記14）	(4,674)	518	8,390	4,234
償却／処分	-	-	(531)	(531)
以前償却した負債の回収	-	-	28	28
換算差額	-	1	9	10
当年度末残高	10,120	960	32,368	43,448

	2021年			合計
	- ステージ 1 (12ヶ月ECL)	- ステージ 2 (全期間ECL - 信用 減損していない)	- ステージ 3 (全期間ECL - 信用 減損している)	
当年度期首残高	11,832	326	13,960	26,118
以下への振替				
- ステージ 1	-	-	-	-
- ステージ 2	(5)	5	-	-
- ステージ 3	-	-	-	-
当年度繰入額 (注記14)	3,156	381	9,664	13,201
償却 / 処分	-	-	(10)	(10)
以前償却した負債の回収	-	-	419	419
換算差額	(9)	-	(12)	(21)
当年度末残高	14,974	712	24,021	39,707

## (c) FVTOCIで測定される負債投資

	2022年	2021年
FVTOCIで測定される負債投資 ( )	771,271	628,355
未収利息	9,078	7,683
合計	780,349	636,038
FVTOCIで測定される負債投資の減損損失 ( )	(6,540)	(6,622)
未収利息の減損損失	(80)	(84)
合計	(6,620)	(6,706)

減損引当金は、帳簿価額が公正価値であるため、FVTOCIで測定される負債投資に関する損失引当金は、連結財政状態計算書上で認識されていない。

## ( ) FVTOCIで測定される負債投資

	2022年	2021年
債券		
発行者別分類	771,271	628,355
- 国債	524,651	390,419
- 政策銀行発行債券	74,072	82,427
- 商業銀行およびその他金融機関発行債券	119,602	106,139
- その他負債証券	52,946	49,370
上場別分類	771,271	628,355
- 中国本土内で上場	611,110	522,889
- 中国本土外で上場	90,148	65,439
- 非上場	70,013	40,027

## ( ) 予想信用損失引当金の変動

	2022年	2021年
当年度期首残高	6,622	4,014
当年度（戻入額）／繰入額（注記14）	(355)	2,647
換算差額	273	(39)
当年度末残高	6,540	6,622

## (d) FVTOCI区分に指定された持分投資

	2022年	2021年
担保権実行持分商品	3,266	901
その他	10,150	6,094
合計	13,416	6,995
上場別分類		
- 中国本土内で上場	1,412	65
- 中国本土外で上場	2,744	2,204
- 非上場	9,260	4,726
合計	13,416	6,995

2022年12月31日に終了した事業年度において、当グループはFVTOCI区分に指定された持分投資の一部を処分した。認識の中止日現在の処分した持分投資の公正価値は2,879百万人民元（2021年：2,186百万人民元）である。税引後累積利益20百万人民元（2021年：税引後累積利益1,804百万人民元）は、処分時に投資再評価準備金から利益剰余金に振り替えられた。

## 24 当行の主要な子会社に関する詳細

下記の表は、主に当グループの財務業績、資産または負債に影響を及ぼす子会社に関する詳細を表示している。特に記載がない限り、すべての保有株式の種類は普通株式である。これらの会社はすべて注記4(1)に定義されている子会社であり、当グループの連結財務諸表の適用範囲に含まれている。

会社名	設立地および 営業地	発行済および 払込済資本の詳細	当行の 所有比率	主要業務	経済的性質	法定代表者
招銀国際金融控股有限公司(注( ))	香港	4,129百万香港ドル	100%	投資銀行および 投資管理	有限責任会社	王良
招銀金融租賃有限公司 (注( ))	上海	12,000百万人民币元	100%	ファイナンス・ リース	有限責任会社	施順華
招商永隆銀行有限公司 (注( ))	香港	1,161百万香港ドル	100%	銀行業務	有限責任会社	劉元
招商基金管理有限公司 (注( ))	深圳	1,310百万人民币元	55%	資産運用	有限責任会社	王小青
招銀理財有限責任公司 (注( ))	深圳	5,556百万人民币元	90%	資産管理	有限責任会社	陳一松
招商(欧州)有限公司 (注( ))	ルクセンブル グ	50百万ユーロ	100%	銀行業務	有限責任会社	李彪
招商信託資産管理有限 公司(注( ))	北京	500百万人民币元	(注( ))	資産管理	有限責任会社	王小青

注：

- ( ) 招銀国際金融控股有限公司(以下、「CMBIC」という。)、旧称江南財務有限公司および招銀国際金融有限公司は、PBOCの銀複(1998年)第405号により設立を承認された当行の完全所有子会社である。2014年に当行は、CMBICに対して750百万香港ドルの追加資本拠出を行った。CMBICの資本は1,000百万香港ドルに増加し、当行の持株比率に変動はない。取締役会は、2015年7月28日に「CMBICの増資および再編に関する決議」を可決し、当行はCMBICに対し400百万米ドル相当の資本拠出に合意した。資本拠出は2016年1月20日に完了した。
- ( ) 招銀金融租賃有限公司(以下、「CMBFL」という。)はCBIRCの銀監複(2008年)第110号により設立を承認された当行の完全所有子会社であり、2008年4月に業務を開始した。2014年に当行は、CMBFLに対して2,000百万人民币元の追加資本拠出を行った。CMBFLの資本は6,000百万人民币元に増加しており、当行の持株比率に変動はない。2021年8月に、CMBFLは利益剰余金6,000百万人民币元を資本金に変換し、CMBFLの資本は12,000百万人民币元に増加した。当行の持株比率に変動はない。
- ( ) 招商永隆銀行有限公司(以下、「CMB WLB」という。)は旧永隆銀行有限公司である。2008年9月30日に、当行は、CMB WLBの53.12%の株式持分を取得した。2009年1月15日に、CMB WLBは当行の完全所有子会社となった。CMB WLBは、2009年1月16日付で香港証券取引所において上場廃止となっている。2023年2月24日に、CMB WLBの会長は、劉元氏から王良氏に変わった。
- ( ) 2012年に、当行は、旧関連会社である招商基金管理有限公司(以下、「CMFM」という。)の21.60%の株式持分を、INGアセット・マネジメントB.V.から63,567,567.57ユーロの対価で取得した。上記現金対価の決済後、2013年に当行のCMFMへの持株比率は33.40%から55.00%に増加した。これにより、当行はCMFMに対する支配を獲得し、CMFMは2013年11月28日に当行の子会社となった。2017年12月に、当行は、CMFMに対して605百万人民币元の追加資本拠出を行い、CMFMの他の株主も比例按分で495百万人民币元の資本拠出を行った。CMFMの資本は1,310百万人民币元に増加しており、当行の持分比率に変動はない。
- ( ) 招銀理財有限責任公司(以下、「CMBWM」という。)はCBIRCの銀保監複(2019年)第981号により設立を承認された当行の完全所有子会社である。同社は2019年11月1日に正式に設立された。CBIRCの承認(銀保監複(2021年)第920号)に従って、JPモルガン・アセット・マネジメント(アジア・パシフィック)リミテッド(以下、「JPモルガン・アセット・マネジメント」という。)は、2022年に、CMBWMに10%の出資(2,667百万人民币元の投資)を行った。当該資本注入完了後、CMBWMの登録済資本は5,000百万人民币元から約5,556百万人民币元に増加し、当行およびJPモルガン・アセット・マネジメントの持株比率は、それぞれ90%および10%となっている。

- ( ) 招商（欧州）有限公司はCBIRCの銀監複（2016年）第460号により承認された当行の完全所有子会社である。当行は、2021年5月に、欧州中央銀行（以下、「ECB」という。）からルクセンブルグにおける招商（欧州）有限公司の設立に関する承認を受けた。
- ( ) 招商信諾資産管理有限公司（以下、「招商信諾資産管理」という）は、CBIRCの銀保監複（2020年）第708号により設立を承認されて、2020年10月18日に登記され、設立された。招商信諾資産管理は、当行の間接支配子会社であり、当行の共同支配企業である招商信諾人壽保險有限公司が87.3458%を保有し、当行の子会社であるCMBICが12.6542%を保有する。

## 25 共同支配企業持分

	2022年	2021年
純資産持分	14,247	14,779
当事業年度持分利益	1,710	2,877
当事業年度その他包括（損失）／利益に対する持分	(997)	133

当グループの主な共同支配企業持分の詳細は以下のとおりである。

共同支配企業名	経済的性質	設立および営業地	発行済および払込済資本の詳細	当グループの実質的 所有割合	当行の 所有割合	主要業務
招商信諾人壽保險有限公司（注（ ））	有限責任 会社	深圳	2,800 百万人民币	50.00%	50.00%	生命保険事業
招連消費金融有限公司(注（ ））	有限責任 会社	深圳	10,000 百万人民币	50.00%	50.00%	消費者金融業

注：

- ( ) 当グループは招商信諾人壽保險有限公司（以下、「CIGNA & CMB生命保険」という。）の株式持分の50.00%を保有しており、シグナ・ヘルス・アンド・ライフ・インシュアランス・カンパニー（以下、「CHLIC」という。）が株式持分の残りの50.00%を保有している。当行とCHLICは、持分に基づき比例按分で共同支配企業のリスク、利益および損失を分担する。招商信諾人壽保險に対する当行の投資は、共同支配企業への投資として会計処理される。
- ( ) 当グループの完全所有子会社の1社であるCMB WLBと中国聯合通信有限公司の子会社である中国聯合網絡通信有限公司（以下、「CUNC」という。）は、招連消費金融有限公司（以下、「MUCFC」という。）を共同で設立した。CBIRCは、2015年3月3日にMUCFCの業務を承認した。CMB WLBとCUNCはそれぞれMUCFCの株式持分の50%を保有し、持分に基づき比例的にリスク、利益および損失を分担する。2017年12月に、当行およびCUNCは、MUCFCに対してそれぞれ600百万人民币の資本拠出を行った。当該資本注入後、MUCFCの資本は2,859百万人民币に増加し、当行の持分比率は15%に、CMB WLBの持分比率は35%になり、当グループの合計持分比率は50%のままであった。2018年12月に、当行は、MUCFCに対して1,000百万人民币の追加資本拠出を行い、CUNCは同額の資本注入を行った。資本注入後、MUCFCの株式資本は、3,869百万人民币に達した。当行およびCMB WLBは、MUCFCの株式持分のそれぞれ24.15%および25.85%を保有することとなり、当グループの持分比率は50%のままであった。
- 2021年7月に、CMB WLBは、保有するMUCFLの株式をすべて当行に譲渡した。当該譲渡後、当行およびCUNCはMUCFCの株式持分を50%ずつ保有し、当グループの合計持分比率に変動はなかった。2021年10月に、MUCFCは資本準備金1,331百万人民币および利益剰余金4,800百万人民币を資本金に変更し、この変更により、MUCFCの資本金は10,000百万人民币に増加した。

当グループの会計方針に準拠して必要な調整を加えた、当グループにとって個別に重要な共同支配企業の要約財務情報は、以下のとおりである。

## ( ) CIGNA &amp; CMB生命保険

	資産	負債	資本	収益	純利益	その他 包括（損 失）/ 利益	包括（損 失）/ 利益 合計	現金 および 現金 同等物	減価 償却費	法人 所得税
2022年										
CIGNA & CMB 生 命保険	130,758	121,145	9,613	31,841	730	(1,996)	(1,266)	1,071	147	(475)
当グループの 実質持分	65,116	60,573	4,543	15,921	336	(997)	(661)	536	74	(238)
2021年										
CIGNA & CMB 生 命保険	108,815	97,686	11,129	26,635	1,174	268	1,442	1,290	151	(43)
当グループの 実質持分	54,172	48,843	5,329	13,318	565	133	698	645	76	(22)

## ( ) MUCFC

	資産	負債	資本	収益	純利益	包括利益 合計	現金および 現金同等物	減価 償却費	法人 所得税
2022年									
MUCFC	164,346	147,279	17,067	17,501	3,329	3,329	5,425	47	500
当グループの実質 持分	82,174	73,640	8,534	8,751	1,665	1,665	2,713	24	250
2021年									
MUCFC	149,698	135,660	14,038	15,933	3,015	3,015	4,655	42	477
当グループの実質 持分	74,849	67,830	7,019	7,967	1,507	1,507	2,328	21	239

## 当グループにとって個別に重要でない共同支配企業の要約財務情報

	純（損失）／利益	その他包括損失	包括（損失）／利益 合計
2022年			
その他の共同支配企業	(2,874)	-	(2,874)
当グループの実質持分	(291)	-	(291)
2021年			
その他の共同支配企業	4,675	(3)	4,672
当グループの実質持分	805	-	805

## 26 関連会社持分

	2021年	2022年
純資産持分	9,597	8,875
当事業年度持分利益	815	1,153
当事業年度その他包括損失持分	(158)	-

当グループの主要な関連会社に対する持分の詳細は以下のとおりである。

	経済的性質	設立および 営業地	発行済および私 込済資本の詳細	当グループの 実質的 所有割合	当行の 所有割合	主要業務
台州銀行股份有限公司（注）	有限責任	台州	1,800 百万人民元	24.8559%	24.8559%	商業銀行

注：当行は、当初台州銀行に対して10%の持分を保有していたが、2021年5月31日に、平安信託有限責任公司および中国平安人寿保险股份有限公司から合計14.8559%の持分を合計対価3,121百万人民元で取得した。当該取引により、当行は台州銀行の24.8559%の持分を保有することとなった。当行は、台州銀行に対し重要な影響を及ぼすことができるため、当該投資は、FVTOCIで測定する指定を受けた持分投資から関連会社持分に変更されている。

当グループの個別に重要な関連会社の要約財務情報は以下のとおりである。

	資産	負債	資本	収益	純利益	その他 包括利益	包括利益 合計	現金および 現金同等物	減価 償却費	法人 所得税
2022年										
台州銀行股份有限公司	372,578	343,254	29,324	11,034	4,445	(138)	4,307	20,368	522	1,196
当グループの実質持分	91,509	85,319	6,190	2,743	1,004	(35)	969	5,063	130	297
2021年（注）										
台州銀行股份有限公司	316,172	289,731	26,441	6,775	2,215	30	2,245	11,665	287	604
当グループの実質持分	77,536	72,015	5,521	1,684	490	9	499	2,899	71	150

注：2021年の損益およびその他包括利益の期間は、2021年6月1日から2021年12月31日までである。

当グループにとって個別に重要でない関連会社の要約財務情報は以下のとおりである。

	純（損失）／利益	その他包括損失	包括（損失）／利益 合計
2022年			
その他の関連会社	(11,527)	(737)	(12,264)
当グループの実質持分	(189)	(123)	(312)
2021年			
その他の関連会社	37,958	(65)	37,893
当グループの実質持分	663	(9)	654



## 27 投資不動産

	2022年	2021年
<b>原価:</b>		
1月1日現在	3,135	3,276
振替、入／(出)	13	(86)
換算差額	153	(55)
12月31日現在	3,301	3,135
<b>減価償却累計額:</b>		
1月1日現在	1,763	1,653
減価償却費	132	155
振替、入／(出)	33	(7)
換算差額	105	(38)
12月31日現在	2,033	1,763
<b>正味帳簿価額:</b>		
12月31日現在	1,268	1,372
1月1日現在	1,372	1,623

2022年12月31日現在、投資不動産について、当グループが計上する必要があると考える減損引当金はなかった(2021年:ゼロ)。

当グループの投資不動産は、主に、オペレーティング・リースに基づいて賃貸されている、CMB WLBおよび当行の賃貸不動産である。当グループの投資不動産の公正価値は、市場アプローチおよび正味賃貸収益による収益還元法により決定される。2022年12月31日現在、当該不動産の公正価値は、5,534百万人民元であった(2021年12月31日現在:5,279百万人民元)。

当グループの解約不能オペレーティング・リースに関する将来最低リース債権総額は以下のとおりである。

	2022年	2021年
1年以内	289	313
1年超2年以内	240	170
2年超3年以内	184	127
3年超4年以内	153	106
4年超5年以内	102	105
5年超	275	359
合計	1,243	1,180

当グループの投資不動産の公正価値階層は以下のとおりである。

	レベル 1	レベル 2	レベル 3	2022年12月31日現在 の公正価値
中国本土に所在	-	3,140	-	3,140
海外に所在	-	-	2,394	2,394
合計	-	3,140	2,394	5,534

	レベル 1	レベル 2	レベル 3	2021年12月31日現在 の公正価値
中国本土に所在	-	3,076	-	3,076
海外に所在	-	-	2,203	2,203
合計	-	3,076	2,203	5,279

不動産の公正価値の見積りにおいて、当該不動産の最有効利用が現在の利用となっている。

## 28 有形固定資産

	土地および 建物	建設仮勘定	コンピューター 機器	建物付属 設備	航空機、船舶 および 専門機器	その他	合計
<b>原価:</b>							
2022年 1 月 1 日現在	28,876	3,502	16,860	10,925	61,327	5,909	127,399
増加	24	1,910	1,898	649	26,872	357	31,710
再分類および振替	1,490	(1,625)	162	122	-	(162)	(13)
処分	(150)	-	(517)	(100)	(7,912)	(643)	(9,322)
換算差額	261	-	113	82	5,454	17	5,927
2022年12月31日現在	30,501	3,787	18,516	11,678	85,741	5,478	155,701
<b>減価償却累計額:</b>							
2022年 1 月 1 日現在	12,998	-	12,924	7,028	9,051	4,465	46,466
減価償却費	1,286	-	2,174	1,103	5,027	557	10,147
再分類および振替	(33)	-	113	-	-	(113)	(33)
処分	(87)	-	(497)	(70)	(1,653)	(578)	(2,885)
換算差額	175	-	77	(16)	686	13	935
2022年12月31日現在	14,339	-	14,791	8,045	13,111	4,344	54,630
<b>減損損失</b>							
2022年 1 月 1 日現在	20	-	-	-	498	-	518
繰入額	-	-	-	-	778	-	778
処分	-	-	-	-	(194)	-	(194)
換算差額	-	-	-	-	50	-	50
2022年12月31日現在	20	-	-	-	1,132	-	1,152
<b>正味帳簿価額:</b>							
2022年12月31日現在	16,142	3,787	3,725	3,633	71,498	1,134	99,919
2022年 1 月 1 日現在	15,858	3,502	3,936	3,897	51,778	1,444	80,415

	土地および 建物	建設仮勘定	コンピューター 機器	建物付属 設備	航空機、船舶 および 専門機器	その他	合計
<b>原価:</b>							
2021年1月1日現在	28,279	3,107	15,149	9,661	48,124	6,299	110,619
増加	539	743	2,420	1,106	17,879	563	23,250
再分類および振替	169	(348)	20	223	-	22	86
処分	(19)	-	(698)	(18)	(3,415)	(971)	(5,121)
換算差額	(92)	-	(31)	(47)	(1,261)	(4)	(1,435)
2021年12月31日現在	28,876	3,502	16,860	10,925	61,327	5,909	127,399
<b>減価償却累計額:</b>							
2021年1月1日現在	11,750	-	11,489	6,132	6,729	4,813	40,913
減価償却費	1,314	-	2,097	950	3,822	519	8,702
再分類および振替	6	-	17	-	-	(16)	7
処分	(14)	-	(661)	(15)	(1,290)	(848)	(2,828)
換算差額	(58)	-	(18)	(39)	(210)	(3)	(328)
2021年12月31日現在	12,998	-	12,924	7,028	9,051	4,465	46,466
<b>減損損失</b>							
2021年1月1日現在	-	-	-	-	236	-	236
繰入額	20	-	-	-	267	-	287
換算差額	-	-	-	-	(5)	-	(5)
2021年12月31日現在	20	-	-	-	498	-	518
<b>正味帳簿価額:</b>							
2021年12月31日現在	15,858	3,502	3,936	3,897	51,778	1,444	80,415
2021年1月1日現在	16,529	3,107	3,660	3,529	41,159	1,486	69,470

- (a) 2022年12月31日現在において、正味帳簿価額総計1,108百万人民元（2021年12月31日現在：1,026百万人民元）の当グループの不動産に関する登録証明の取得手続きは引き続き進行中であった。経営陣は、上述の事項は、これらの資産に対する当グループの権利に影響を及ぼすことはなく、当グループの事業活動に重要な影響を与えることもないと考えている。
- (b) 2022年12月31日現在において、当グループが保有している重要な未使用の有形固定資産はない（2021年12月31日現在：なし）。
- (c) 2022年12月31日現在において、CMBFLの「銀行およびその他金融機関からの借入金」に関する抵当権付航空機および船舶の帳簿価額は、24,512百万人民元（2021年12月31日現在：15,075百万人民元）であった。
- (d) 当グループの解約不能オペレーティング・リースに関する将来最低リース債権総額は以下のとおりである。

	2022年	2021年
1年以内	11,306	7,765
1年超2年以内	9,601	7,148
2年超3年以内	8,134	5,796
3年超4年以内	7,087	4,862
4年超5年以内	6,151	4,253
5年超	19,876	13,357
合計	62,155	43,181

## 29 リース契約

## (a) 使用権資産

	土地 使用権	建物	コンピューター 機器	自動車および その他	合計
<b>原価：</b>					
2022年1月1日現在	5,985	23,070	7	16	29,078
増加	-	3,656	4	7	3,667
減少	-	(2,848)	(1)	(12)	(2,861)
換算差額	15	48	-	-	63
2022年12月31日現在	6,000	23,926	10	11	29,947
<b>減価償却累計額：</b>					
2022年1月1日現在	1,190	9,414	3	9	10,616
減価償却費（注記10）	181	3,965	3	2	4,151
減少	-	(2,458)	(1)	(9)	(2,468)
換算差額	4	32	-	-	36
2022年12月31日現在	1,375	10,953	5	2	12,335
<b>減損損失：</b>					
2022年1月1日現在	59	-	-	-	59
2022年12月31日現在	59	-	-	-	59
<b>正味帳簿価額：</b>					
2022年12月31日現在	4,566	12,973	5	9	17,533
2022年1月1日現在	4,736	13,656	4	7	18,403

	土地 使用権	建物	コンピューター 機器	自動車および その他	合計
<b>原価：</b>					
2021年 1 月 1 日現在	5,957	21,122	4	16	27,099
増加	33	4,071	5	1	4,110
減少	-	(2,107)	(2)	(1)	(2,110)
換算差額	(5)	(16)	-	-	(21)
2021年12月31日現在	5,985	23,070	7	16	29,078
<b>減価償却累計額：</b>					
2021年 1 月 1 日現在	1,009	6,978	2	6	7,995
減価償却費（注記10）	182	4,070	3	4	4,259
減少	-	(1,629)	(2)	(1)	(1,632)
換算差額	(1)	(5)	-	-	(6)
2021年12月31日現在	1,190	9,414	3	9	10,616
<b>減損損失：</b>					
2021年 1 月 1 日現在	-	-	-	-	-
繰入額	59	-	-	-	59
2021年12月31日現在	59	-	-	-	59
<b>正味帳簿価額：</b>					
2021年12月31日現在	4,736	13,656	4	7	18,403
2021年 1 月 1 日現在	4,948	14,144	2	10	19,104

当グループは、主に土地使用権および事業用の建物をリースする。リース期間は、個別に交渉され、広範囲にわたる異なる期間および条件が含まれている。リース期間の決定および解約不能期間の評価において、当グループは、借手のコントロールの範囲内で、重要な事象または状況の変化のいずれかがあった場合に、延長オプションを行使するか、または解約オプションを行使しないことが合理的に確実か否かを再評価する。

**(b) リース負債**

満期までの残存期間別の当グループのリース負債の分析は、以下のとおりである。

	2022年	2021年
1 ヶ月以内	503	506
1 ヶ月超 3 ヶ月以内	591	536
3 ヶ月超 1 年以内	3,091	2,989
1 年超 2 年以内	3,038	3,228
2 年超 5 年以内	4,612	4,925
5 年超	1,178	1,628
合計	13,013	13,812

リース負債の支払利息は、注記 7 に記載されている。

**(c) 短期リースおよび少額資産のリース**

短期リース費用および少額資産のリース費用は、注記10に開示されている。当グループは、建物、コンピューター機器、自動車およびその他に関する短期リース契約を締結した。

**(d)** 2022年度における当グループのリースのキャッシュ・フロー流出額は、合計4,932百万人民元（2021年度：4,835百万人民元）である。

**(e)** 2022年および2021年12月31日現在において、契約したものの、まだ開始していないリースは重要ではない。

## 30 無形資産

	ソフトウェアおよび その他	コア預金	合計
<b>原価 / 評価額 :</b>			
2022年 1 月 1 日現在	10,045	1,083	11,128
増加	347	-	347
処分	(13)	-	(13)
換算差額	14	98	112
2022年12月31日現在	10,393	1,181	11,574
<b>償却累計額 :</b>			
2022年 1 月 1 日現在	6,550	512	7,062
当年度繰入額 (注記10)	1,021	40	1,061
処分	(10)	-	(10)
換算差額	11	48	59
2022年12月31日現在	7,572	600	8,172
<b>正味帳簿価額 :</b>			
2022年12月31日現在	2,821	581	3,402
2022年 1 月 1 日現在	3,495	571	4,066
	ソフトウェアおよび その他	コア預金	合計
<b>原価 / 評価額 :</b>			
2021年 1 月 1 日現在	9,576	1,118	10,694
増加	479	-	479
換算差額	(10)	(35)	(45)
2021年12月31日現在	10,045	1,083	11,128
<b>償却累計額 :</b>			
2021年 1 月 1 日現在	5,442	489	5,931
当年度繰入額 (注記10)	1,114	39	1,153
換算差額	(6)	(16)	(22)
2021年12月31日現在	6,550	512	7,062
<b>正味帳簿価額 :</b>			
2021年12月31日現在	3,495	571	4,066
2021年 1 月 1 日現在	4,134	629	4,763

## 31 のれん

	2021年 12月31日現在	当期増加額	当期減少額	2022年 12月31日 現在
CMB WLB (注( ))	10,177	-	-	10,177
CMFM (注( ))	355	-	-	355
CMI (注( ))	-	45	-	45
招銀網絡 (注( ))	1	-	-	1
合計	10,533	45	-	10,578
控除：減損引当金 - CMB WLB	(579)	-	-	(579)
正味帳簿価額	9,954	45	-	9,999

注：

- ( ) 2008年9月30日に当行は、CMB WLBの53.12%の資本を取得した。取得日現在におけるCMB WLBの識別可能純資産の公正価値は12,898百万人民元で、当行はこのうち6,851百万人民元を占める。識別可能純資産の公正価値を上回る取得費用の超過分10,177百万人民元は、のれんとして認識された。CMB WLBの詳細については注記24を参照のこと。
- ( ) 2013年11月28日に当行は、CMFMの55.00%の資本を取得した。取得日現在におけるCMFMの識別可能純資産の公正価値は752百万人民元で、当行はこのうち414百万人民元を占める。識別可能純資産の公正価値を上回る取得費用769百万人民元の超過分355百万人民元は、のれんとして認識された。CMFMの詳細については注記24を参照のこと。
- ( ) 2022年12月30日にCMB WLBの子会社である招商永隆保險有限公司は、招商局保險有限公司(以下「CMI」という。)の事業を購入するために株式を発行した。取得日において、CMIの識別可能純資産の公正価値は、357百万人民元であった。識別可能純資産の公正価値を上回る取得費用402百万人民元の超過分45百万人民元は、のれんとして認識された。
- ( ) 2015年4月1日にCMBICは、招銀網絡科技(深圳)有限公司(以下「招銀網絡」という。)の100%の資本を取得した。取得日現在における招銀網絡の識別可能純資産の公正価値は3百万人民元であった。識別可能純資産の公正価値を上回る取得費用の超過分1百万人民元は、のれんとして認識された。招銀網絡の事業範囲は、コンピューター・ソフトウェアおよびハードウェアの開発および販売、通信機器およびOA機器の販売、ならびにITコンサルティングで構成されている。

## のれんの減損テスト

CGUの回収可能価額は、使用価値の計算に基づいて決定される。これらの計算には、経営陣に承認された5年間の財務予測に基づくキャッシュ・フロー予測が用いられる。6年目以降のキャッシュ・フローは、一定の成長率を用いて推定されている。この成長率は、CGUが従事する事業の長期平均成長率を超えることはない。

のれんの減損評価において、当グループは、期間成長率は当局機関が公表した予想長期経済成長率と同等であると仮定した。当グループが適用したCMB WLBおよびCMFMの割引率(税引前)は、11%および10%(2021年：7%および10%)である。当グループは、回収可能価額の基礎となっている主要な仮定に合理的に可能な変更があっても、CGUの帳簿価額が回収可能価額を超過することはないと考えている。



## 32 繰延税金資産および繰延税金負債

	2022年	2021年
繰延税金資産	90,848	81,639
繰延税金負債	(1,510)	(1,353)
純額	89,338	80,286

## (a) 繰延税金資産および負債の性質別分析

繰延税金資産 / 負債の構成要素は、以下のとおりである。

	2022年		2021年	
	将来減算/(加算) 一時差異	繰延税金	将来減算/(加算) 一時差異	繰延税金
<b>繰延税金資産</b>				
償却原価で測定される顧客に対する貸出金およびその他資産の減損引当金	301,706	75,228	284,360	71,191
FVTOCIで測定される金融資産	(3,332)	(1,016)	(11,092)	(2,763)
FVTPLで測定される金融商品	730	183	92	23
未払給与および福利厚生費ならびにその他	65,626	16,453	53,510	13,188
合計	364,730	90,848	326,870	81,639
<b>繰延税金負債</b>				
償却原価で測定される顧客に対する貸出金およびその他資産の減損引当金	356	50	-	-
FVTOCIで測定される金融資産	15	4	(5)	(1)
FVTPLで測定される金融商品	215	54	(144)	(27)
未払給与および福利厚生費ならびにその他	(10,235)	(1,618)	(7,755)	(1,325)
合計	(9,649)	(1,510)	(7,904)	(1,353)

## (b) 繰延税金の変動

	償却原価で測定される 顧客に対する貸出金 および その他資産の 減損引当金	FVTOCIで測定される金融資産	FVTPLで測定される金融商品	未払給与および福利厚生費ならびにその他	合計
2022年1月1日現在	71,191	(2,764)	(4)	11,863	80,286
損益に計上	4,061	1,160	243	2,993	8,457
その他包括利益に計上	-	578	-	(21)	557
換算差額	26	14	(2)	-	38
2022年12月31日現在	75,278	(1,012)	237	14,835	89,338

	償却原価で測定される 顧客に対する貸出金 および その他資産の 減損引当金	FVTOCIで測 定される金 融資産	FVTPLで 測定される金 融商品	未払給与 および 福利厚生費 ならびにその他	合計
2021年 1 月 1 日現在	61,340	(1,404)	1,579	10,305	71,820
損益に計上	9,850	1,020	(1,584)	1,516	10,802
その他包括利益に計上	-	(2,383)	-	14	(2,369)
換算差額	1	3	1	28	33
2021年12月31日現在	71,191	(2,764)	(4)	11,863	80,286

注：子会社に対する投資に関連した一時差異に関して、繰延税金負債は認識されていない。これは、当グループが一時差異の解消の時期をコントロールできる立場にあり、予測可能な将来において、これらの一時差異が解消されない可能性が高いためである。

### 33 その他資産

	2022年	2021年
未決済金額	15,387	78,719
継続的関与資産	5,274	5,274
未収利息	4,154	3,913
前払リース料	209	257
担保権実行資産(a)	456	513
保証金	465	519
再保険会社からの回収可能額	329	186
前払リース物件改良費および雑費	7,569	4,987
未収保険料	196	135
退職後給付：確定給付型制度（注記39(b)）	50	65
その他	21,889	27,953
合計	55,978	122,521

#### (a) 担保権実行資産

	2022年	2021年
土地および建物	606	623
その他の担保権実行資産	6	31
合計	612	654
控除：減損引当金	(156)	(141)
正味担保権実行資産	456	513

注：2022年において、当グループは、帳簿価額合計44百万人民元(2021年：66百万人民元)の担保権実行資産を処分した。

## 34 銀行およびその他金融機関からの預かり金

	2022年	2021年
元本 (a)	644,618	751,254
未収利息	1,056	1,764
合計	654,674	753,018

## (a) 相手方の性質別分析

	2022年	2021年
中国本土内	633,178	701,085
- 銀行	103,250	77,788
- その他金融機関	529,928	623,297
中国本土外	11,440	50,169
- 銀行	10,779	48,301
- その他金融機関	661	1,868
合計	644,618	751,254

## 35 銀行およびその他金融機関からの借入金

	2022年	2021年
元本 (a)	191,872	170,257
未収利息	985	393
合計	192,857	170,650

## (a) 相手方の性質別分析

	2022年	2021年
中国本土内	124,533	114,496
- 銀行	123,934	107,214
- その他金融機関	599	7,282
中国本土外	67,339	55,761
- 銀行	67,130	55,570
- その他金融機関	209	191
合計	191,872	170,257

## 36 損益を通じて公正価値評価される金融負債

	2022年	2021年
トレーディング目的保有金融負債 (a)	18,247	17,017
損益を通じて公正価値評価する指定を受けた金融負債 (b)	45,067	46,744
合計	63,314	63,761

## (a) トレーディング目的保有金融負債

	2022年	2021年
貴金属関連金融負債	17,634	16,406
債券の売り持ちポジション	613	611
合計	18,247	17,017

## (b) 損益を通じて公正価値評価する指定を受けた金融負債

	2022年	2021年
中国本土内	36,217	34,677
- 他の銀行との貴金属関連契約	14,170	11,596
- その他	22,047	23,081
中国本土外	8,850	12,067
- 譲渡性預金	383	377
- 発行済負債証券	7,709	7,600
- その他	758	4,090
合計	45,067	46,744

2022年および2021年12月31日現在において、損益を通じて公正価値評価される当グループの金融負債の公正価値と満期時における契約上の債務との差異は重要ではない。当グループの信用リスクの変動に起因するこれらの金融負債の公正価値の変動は、2022年および2021年12月31日に終了した事業年度においても、2022年および2021年12月31日現在においても重要ではない。

[前へ](#)[次へ](#)

**37 買戻契約に基づいて売却された金額**

	2022年	2021年
元本 (a)(b)	107,024	157,572
未払利息	69	88
合計	107,093	157,660

**(a) 契約相手方の性質別分析**

	2022年	2021年
中国本土内	103,452	155,322
- 銀行	103,446	147,410
- その他金融機関	6	7,912
中国本土外	3,572	2,250
- 銀行	2,801	1,854
- その他金融機関	771	396
合計	107,024	157,572

**(b) 原資産タイプ別分析**

	2022年	2021年
負債証券	95,999	152,071
- 国債	73,335	90,956
- 政策銀行発行債券	15,330	48,833
- 商業銀行およびその他金融機関発行債券	3,476	2,774
- その他負債証券	3,858	9,508
割引手形	11,025	5,501
合計	107,024	157,572

**38 顧客からの預金**

	2022年	2021年
元本 (a)	7,535,742	6,347,078
未払利息	54,837	38,076
合計	7,590,579	6,385,154

## (a) 契約相手方の性質別分析

	2022年	2021年
法人顧客	4,431,553	4,058,924
- 要求払預金	2,762,671	2,652,817
- 定期預金	1,668,882	1,406,107
個人顧客	3,104,189	2,288,154
- 要求払預金	1,983,364	1,557,861
- 定期預金	1,120,825	730,293
合計	7,535,742	6,347,078

## (b) 担保として顧客から取得した、または保証目的の預金は以下のとおりである。

	2022年	2021年
引受手形に関する保証	199,384	134,858
貸付金に関する保証	6,888	18,878
信用状発行に関する保証	29,366	21,574
保証状に関する預金	44,732	32,412
その他	42,490	31,208
合計	322,860	238,930

## 39 従業員福利厚生制度

## (a) 未払給与および福利厚生費

	2022年				
	期首残高	結合から 生じた期中に おける増加	期中における 増加	期中における 支払 / 振替	期末残高
短期従業員給付( )	18,065	151	58,583	(53,724)	23,075
退職後給付					
- 確定拠出型制度( )	1,629	-	5,110	(5,974)	765
その他の長期従業員給付( )	67	-	(41)	-	26
合計	19,761	151	63,652	(59,698)	23,866

	2021年			
	期首残高	期中における 増加	期中における 支払 / 振替	期末残高
短期従業員給付( )	14,155	53,827	(49,917)	18,065
退職後給付				
- 確定拠出型制度( )	1,240	4,884	(4,495)	1,629
その他の長期従業員給付( )	67	17	(17)	67
合計	15,462	58,728	(54,429)	19,761

( ) 短期従業員給付

2022年					
	期首残高	結合から 生じた期中に おける増加	期中における 増加	期中における 支払 / 振替	期末残高
給与および賞与	14,318	151	48,682	(44,263)	18,888
福利厚生費	19	-	2,310	(2,312)	17
社会保険	530	-	3,311	(3,470)	371
- 医療保険	515	-	3,192	(3,354)	353
- 傷害保険	6	-	34	(34)	6
- 出産保険	9	-	85	(82)	12
住宅積立金	166	-	2,309	(2,318)	157
労働組合費および従業員教育費	3,032	-	1,971	(1,361)	3,642
合計	18,065	151	58,583	(53,724)	23,075

2021年				
	期首残高	期中における 増加	期中における 支払 / 振替	期末残高
給与および賞与	11,121	43,716	(40,519)	14,318
福利厚生費	24	2,908	(2,913)	19
社会保険	408	3,158	(3,036)	530
- 医療保険	391	3,046	(2,922)	515
- 傷害保険	6	27	(27)	6
- 出産保険	11	85	(87)	9
住宅積立金	191	2,119	(2,144)	166
労働組合費および従業員教育費	2,411	1,926	(1,305)	3,032
合計	14,155	53,827	(49,917)	18,065

( ) 退職後給付 - 確定拠出型制度

2022年				
	期首残高	期中における 増加	期中における 支払 / 振替	期末残高
退職後所得保障	157	2,821	(2,827)	151
補完年金	1,450	2,221	(3,080)	591
失業保険	22	68	(67)	23
合計	1,629	5,110	(5,974)	765

## 2021年

	期首残高	期中における 増加	期中における 支払 / 振替	期末残高
退職後所得保障	130	2,566	(2,539)	157
補完年金	1,088	2,257	(1,895)	1,450
失業保険	22	61	(61)	22
合計	1,240	4,884	(4,495)	1,629

当グループは中国の規則に従い、従業員のために地方自治体および地方政府によって設立された法定年金制度（養老保険）に加入している。2022年12月31日に終了した年度において、制度に対する当グループの拠出額は地方政府により定められており、従業員給与の14%から16%（2021年：14%から16%）の範囲となっている。

上記の法定年金制度に加えて、当グループは、中国の企業体に対する関連年金方針に従い、従業員のために補足的確定拠出型制度（年金保険）を設立している。2022年12月31日に終了した年度において、当該制度への当グループの年間拠出額は、従業員給与および賞与の0%から8.33%（2021年：0%から8.33%）となっている。

中国本土外の従業員に対して、当グループは確定拠出型退職年金制度に加入しており、拠出率は現地の慣行および規則に従って決定されている。

## （ ）その他の長期従業員給付

## 2022年

	期首残高	期中における 増加	期中における 支払	期末残高
現金決済型株式報酬取引	67	(41)	-	26

## 2021年

	期首残高	期中における 増加	期中における 支払	期末残高
現金決済型株式報酬取引	67	17	(17)	67

当グループは、制度に基づき10のフェーズのH株式評価益権を提供しており、2022年12月31日現在、残りの第8フェーズから第10フェーズは行使されていない。制度の株式評価益権は、付与日から3年後に権利確定し、7年間行使可能となる。各株式評価益権はH株式1株に対応している。



(1) 株式評価益権はすべて現金で支払われる。当該制度の条件は以下のとおりである。

	2022年12月31日 現在の未行使 株式評価益権数 (百万)	行使条件	株式評価益権の 契約年数
2015年7月22日に付与された株式評価益権 (フェーズ)	0.157	付与日から 3年	10年
2016年8月24日に付与された株式評価益権 (フェーズ)	0.210	付与日から 3年	10年
2017年8月25日に付与された株式評価益権 (フェーズ)	0.240	付与日から 3年	10年

(2) 株式評価益権数および加重平均行使価格は以下のとおりである。

	2022年		2021年	
	加重平均 行使価格	株式評価益権数	加重平均 行使価格	株式評価益権数
	(香港ドル)	(百万)	(香港ドル)	(百万)
期首残高	16.21	1.76	18.34	2.87
期中における権利行使	-	-	17.23	(0.42)
期中における権利喪失	13.65	(1.15)	19.11	(0.69)
期末残高	15.91	0.61	16.21	1.76
期末行使可能	15.25	0.55	14.92	1.35

2022年12月31日現在の未行使株式評価益権は、加重平均行使価格15.91香港ドル（2021年：16.21香港ドル）であり、加重平均残存契約期間は3.70年（2021年：4.36年）であった。

制度に定められた要件に従い、配当金の支払い、資本準備金の株式への転換、株式分割あるいは希薄化が生じた場合、行使価格の調整が行われる。

## (3) 株式評価益権の公正価値および仮定

株式評価益権の付与と引き換えに提供された役務の公正価値は、付与された株式評価益権の公正価値を参照して測定される。付与された株式評価益権の見積公正価値は、ブラック・ショールズ・モデルに基づき測定される。株式評価益権の契約期間が当該モデルへのインプットとして用いられる。

	2022年		
	フェーズ	フェーズ	フェーズ
測定日現在の公正価値 (人民元)	24.94	25.27	17.75
株価 (香港ドル)	43.30	43.30	43.30
行使価格 (香港ドル)	12.81	11.38	21.92
予想ボラティリティ	48.34%	48.34%	48.34%
残存株式評価益権年数(年)	2.50	3.58	4.58
予想配当利回り	2.93%	2.93%	2.93%
無リスク金利	1.43%	1.43%	1.43%

	2021年			
	フェーズ	フェーズ	フェーズ	フェーズ
測定日現在の公正価値 (人民元)	40.54	33.66	33.40	25.98
株価 (香港ドル)	61.75	61.75	61.75	61.75
行使価格 (香港ドル)	7.44	14.59	13.16	23.70
予想ボラティリティ	37.41%	37.41%	37.41%	37.41%
残存株式評価益権年数(年)	2.50	3.50	4.58	5.58
予想配当利回り	3.36%	3.36%	3.36%	3.36%
無リスク金利	1.43%	1.43%	1.43%	1.43%

予想ボラティリティは、過去のボラティリティ(株式評価益権の加重平均残存期間に基づき算定)に基づいており、公表されている情報により将来ボラティリティの予想変動に関する調整を行っている。予想配当率は、過去の配当率に基づいて決定される。主観的なインプットの仮定の変動は、見積公正価値に重大な影響を与える可能性がある。

株式評価益権は、役務条件に基づいて付与される。当該条件は、提供された役務の付与日における公正価値を測定する際には考慮されていない。株式評価益権の付与に際して市場数値に関する条件は付されなかった。

## (4) 上級経営陣のメンバーに付与された株式評価益権数

	2022年				
	フェーズ	フェーズ	フェーズ	合計	行使済/ 喪失済
	(千)				
田恵宇	-	-	-	-	1,230
王良	157	210	240	607	203
合計	157	210	240	607	1,433

	2021年					
	フェーズ	フェーズ	フェーズ	フェーズ	合計	行使済/ 喪失済
	(千)					
田恵宇	225	300	300	330	1,155	75
劉建軍	-	-	-	-	-	870
王良	-	157	210	240	607	203
熊良俊	-	-	-	-	-	660
合計	225	457	510	570	1,762	1,808

注：

2022年において、上級経営陣は株式評価益権を行使しなかった（2021年：加重平均行使価格17.23香港ドルで0.42百万）。

## (b) 退職後給付 - 確定給付型制度

当グループの子会社であるCMB WLBは、従業員のための確定給付型制度（以下、「制度」という。）を有している。制度には確定給付型制度および確定給付年金制度が含まれている。制度の拠出額は有資格保険数理士による制度の資産および負債の定期的評価に基づいて決定される。制度においては、加入者の最終給与に基づいて給付を行う。当該費用はCMB WLBによってのみ積み立てられている。

2022年12月31日付けの制度に対する最新の保険数理評価は、IASBが発行したIAS第19号「従業員給付」に従って、保険数理業を専門とするタワーズ・ワトソン・ホンコン・リミテッドによって行われた。確定給付債務および制度の現在勤務費用の現在価値は予測単位積増方式に基づいて算出される。評価日現在、制度の積立水準は121%（2021年：123%）であった。

2022年および2021年12月31日現在、連結財政状態計算書に認識された金額の分析は以下のとおりである。

	2022年	2021年
制度資産の公正価値	285	349
確定給付債務の現在価値	(235)	(284)
連結財政状態計算書に認識された純資産	50	65

上記資産の一部は、一年以上経過した後に回収される見込みである。しかし、将来の拠出額は将来提供される役務ならびに保険数理上の仮定および市況の変動と関連するため、今後12ヶ月の受取金から上記金額を切り離すことは実務的でない。2022年には制度への拠出は予定されていない。

2022年および2021年12月31日に終了した事業年度に、制度の改正、縮小または清算による影響はなかった。連結損益計算書に認識された金額は以下のとおりである。

	2022年	2021年
現在勤務費用	(9)	(10)
正味受取利息	1	-
退職給付費用に含まれる当期正味費用	(8)	(10)

2022年12月31日に終了した事業年度における制度資産の実現損失は42百万人民元であった（2021年：2百万人民元の利益）。

当事業年度における確定給付債務の変動は以下のとおりである。

	2022年	2021年
債務の現在価値（1月1日現在）	284	341
現在勤務費用	9	10
利息費用	4	1
支払給付	(49)	(42)
負債の実績による保険数理上の利益または損失	(4)	(6)
財務上の仮定の変更による保険数理上の利益または損失	(31)	(22)
人口統計上の仮定の変更による保険数理上の利益または損失	-	10
換算差額	22	(8)
12月31日現在の債務実額	235	284

当事業年度における制度資産の公正価値の変動は以下のとおりである。

	2022年	2021年
制度資産の公正価値（1月1日現在）	349	401
受取利息	5	1
制度資産の期待収益	(47)	1
支払給付	(49)	(42)
換算差額	27	(12)
12月31日現在の制度資産の公正価値	285	349

制度資産の主な分類は以下のとおりである。

	2022年		2021年	
	金額	( % )	金額	( % )
株式	153	53.7	202	57.9
債券	50	17.5	71	20.3
現金	82	28.8	76	21.8
合計	285	100.0	349	100.0

2022年12月31日現在、制度資産に含まれている当行に対する預け金は58百万人民元（2021年：53百万人民元）であった。

評価に適用した主な保険数理仮定は以下のとおりである。

	2022年	2021年
	( % )	( % )
割引率		
- 確定給付型制度	3.3	1.4
- 確定給付型年金制度	4.6	0.4
制度の長期平均給与上昇率	5.0	5.0
確定給付型年金制度の年金増加率	-	-

2022年および2021年において、退職給付制度負債の金額に、上述の保険数理上の仮定の変動による大幅な変動はなかった。

#### 40 未払税金

	2022年	2021年
法人所得税	13,392	16,539
付加価値税	4,141	4,399
その他	1,925	1,553
合計	19,458	22,491

#### 41 契約負債

	2022年	2021年
クレジット・カード・ポイント	5,319	6,065
その他の繰延受取手数料	1,360	1,471
合計	6,679	7,536

## 42 引当金

	2022年	2021年
引当金に対する予想信用損失	20,217	12,790
その他	2,274	1,870
合計	22,491	14,660

ステージ別の貸付コミットメントおよび金融保証契約に関する予想信用損失は以下のとおりである。

	2022年	2021年
予想信用損失引当金	20,217	12,790
- ステージ 1 (12ヶ月ECL)	12,082	8,210
- ステージ 2 (全期間ECL - 信用減損していない)	7,569	3,724
- ステージ 3 (全期間ECL - 信用減損している)	566	856

## 43 発行済負債証券

	注記	2022年	2021年
発行済劣後債	(a)	19,994	34,236
発行済長期負債証券	(b)	120,971	159,306
発行済銀行間譲渡性預金証書		65,719	240,284
発行済譲渡性預金証書およびその他の発行済負債証券(注)		15,604	10,715
未払利息		1,533	2,104
合計		223,821	446,645

注：その他の発行済負債証券は、当行の海外子会社が発行した債券である。

## (a) 劣後債

報告期間末現在、当行が発行している劣後債は以下のとおりであった。

債務の種類	残存期間	発行日	金利 (年利)	額面価額	期首残高	当期発行	ディスカウ ントまたは プレミアム の償却	当期 返済	期末残高
			(%)		(百万 人民元)	百万 人民元)	百万 人民元)	百万 人民元)	(百万 人民元)
固定金利債券	180ヶ月	2012年 12月27日	5.20	11,700 百万 人民元	11,696	-	4	(11,700)	-
固定金利債券	120ヶ月	2018年 11月15日	4.65	20,000 百万 人民元	19,994	-	-	-	19,994
合計					31,690	-	4	(11,700)	19,994

報告期間末現在、CMB WLBが発行した劣後債は以下のとおりであった。

債務の種類	残存期間	発行日	金利 (年利)	額面価額	期首残高	ディスカウ ントまたは プレミアム の償却	換算差額	当期 返済	期末残高
			(%)		(百万 人民元)	(百万 人民元)	(百万 人民元)	(百万 人民元)	(百万 人民元)
固定/変動金利債券	120ヶ月	2017年 11月22日	3.75 (当初5 年間) T*+1.75 (6年目 以降、当 行によっ て償還さ れない場 合)	400 百万 米ドル	2,546	3	116	(2,665)	-
合計					2,546	3	116	(2,665)	-

\* Tは5年物米国債指標利回りを表す。

(b) 発行済長期負債証券

報告期間末現在において、当行が発行した長期負債証券は以下のとおりであった。

債務の種類	残存期間	発行日	金利 (年利)	額面価額	期首残高	当期発行	ディスカウ ントまたは プレミアム の償却	為替差額	当期返済	期末残高
			(%)		(百万 人民元)	(百万 人民元)	(百万 人民元)	(百万 人民元)	(百万 人民元)	(百万 人民元)
メディアムター ム・ノート	36ヶ月	2019年 6月19日	0.25	300 百万 ユーロ	2,164	-	(1)	30	(2,193)	-
メディアムター ム・ノート	36ヶ月	2019年 6月19日	3ヶ月 Libor* + 0.74	600 百万 米ドル	3,823	-	-	97	(3,920)	-
固定金利債券	36ヶ月	2019年 7月5日	3.45	30,000 百万 人民元	29,990	-	10	-	(30,000)	-
固定金利債券	36ヶ月	2019年 9月24日	3.33	20,000 百万 人民元	19,997	-	3	-	(20,000)	-
メディアムター ム・ノート	33ヶ月	2019年 9月27日	3ヶ月 Libor* + 0.74	60 百万 米ドル	382	-	-	10	(392)	-
メディアムター ム・ノート	36ヶ月	2020年 9月25日	1.10	400 百万 米ドル	2,546	-	(2)	236	-	2,780
メディアムター ム・ノート	36ヶ月	2020年 9月25日	0.95	300 百万 米ドル	1,908	-	(4)	183	-	2,087
固定金利債券	36ヶ月	2020年 11月6日	3.48	10,000 百万 人民元	9,998	-	1	-	-	9,999
固定金利債券	36ヶ月	2021年 3月11日	3.40	10,000 百万 人民元	9,998	-	-	-	-	9,998
固定金利債券	36ヶ月	2021年 6月3日	3.18	20,000 百万 人民元	19,995	-	-	-	-	19,995
固定金利債券	36ヶ月	2021年 8月24日	2.90	10,000 百万 人民元	9,998	-	-	-	-	9,998
メディアムター ム・ノート	24ヶ月	2021年 9月1日	SOFR* + 0.50	300 百万 米ドル	1,912	-	(1)	176	-	2,087
メディアムター ム・ノート	60ヶ月	2021年 9月1日	1.25	300 百万 米ドル	1,912	-	(1)	178	-	2,089
メディアムター ム・ノート	36ヶ月	2022年 3月2日	2.00	400 百万 米ドル	-	2,534	9	255	-	2,798
固定金利債券	36ヶ月	2022年 5月11日	2.65	5,000 百万 人民元	-	4,998	1	-	-	4,999
固定金利債券	36ヶ月	2022年 9月1日	2.40	10,000 百万 人民元	-	10,000	(3)	-	-	9,997
合計					114,623	17,532	12	1,165	(56,505)	76,827

\* Liborはロンドン銀行間取引金利を表す。SOFRは担保付翌日物調達金利を表す。

注：CMB WLBが保有していた当行が発行した金融債は、2022年12月31日現在、合計555百万人民元相当（2021年12月31日：1,142百万人民元相当）であった。



報告期間末現在、CMBFLが発行している長期負債証券は以下のとおりであった。

債務の種類	残存期間	発行日	金利 ( 年利 )	額面価額	期首残高	当期発行	ディスカ ウントま たはプレ ミアムの 償却	為替差額	当期 返済	期末残高
			( % )		( 百万 人民元 )	( 百万 人民元 )	( 百万 人民元 )	( 百万 人民元 )	( 百万 人民元 )	( 百万 人民元 )
固定金利債券	36ヶ月	2019年 3月13日	3.50	1,500 百万 人民元	1,500	-	-	-	(1,500)	-
固定金利債券	60ヶ月	2019年 3月13日	4.00	500 百万 人民元	499	-	1	-	-	500
固定金利債券	36ヶ月	2019年 5月27日	3.68	3,000 百万 人民元	2,999	-	1	-	(3,000)	-
固定金利債券	60ヶ月	2019年 7月3日	3.00	900 百万 米ドル	5,705	-	10	550	-	6,265
固定金利債券	120ヶ月	2019年 7月3日	3.63	100 百万 米ドル	633	-	1	60	-	694
固定金利債券	36ヶ月	2019年 7月17日	3.60	3,000 百万 人民元	2,998	-	2	-	(3,000)	-
固定金利債券	120ヶ月	2020年 7月14日	4.25	2,000 百万 人民元	1,993	-	1	-	-	1,994
固定金利債券	60ヶ月	2020年 8月12日	1.88	800 百万 米ドル	5,078	-	5	488	-	5,571
固定金利債券	120ヶ月	2020年 8月12日	2.75	400 百万 米ドル	2,526	-	3	242	-	2,771
固定金利債券	36ヶ月	2020年 11月17日	3.85	4,000 百万 人民元	3,993	-	4	-	-	3,997
固定金利債券	36ヶ月	2021年 1月28日	3.60	4,000 百万 人民元	3,992	-	4	-	-	3,996
固定金利債券	60ヶ月	2021年 2月4日	2.00	400 百万 米ドル	2,539	-	2	244	-	2,785
固定金利債券	120ヶ月	2021年 2月5日	2.88	400 百万 米ドル	2,520	-	3	242	-	2,765
固定金利債券	18ヶ月	2021年 3月19日	1.16	50 百万 米ドル	318	-	-	30	(348)	-
固定金利債券	36ヶ月	2021年 3月24日	3.58	2,000 百万 人民元	1,996	-	2	-	-	1,998
固定金利債券	60ヶ月	2021年 3月24日	2.00	20 百万 米ドル	126	-	-	12	-	138
固定金利債券	36ヶ月	2021年 9月16日	1.25	600 百万 米ドル	3,805	-	5	369	-	4,179
固定金利債券	60ヶ月	2021年 9月16日	1.75	300 百万 米ドル	1,893	-	3	185	-	2,081
固定金利債券	36ヶ月	2021年 9月16日	0.50	100 百万 ユーロ	721	-	1	19	-	741
変動金利債券	12ヶ月	2021年 12月13日	3ヶ月 Libor + 0.55	60 百万 米ドル	382	-	-	35	(417)	-
固定金利債券	24ヶ月	2021年 12月22日	0.50	30 百万 ユーロ	216	-	-	6	-	222
変動金利債券	12ヶ月	2022年 3月2日	SOFR + 0.80	115 百万 米ドル	-	728	1	73	-	802

債務の種類	残存期間	発行日	金利 (年利)	額面価額	期首残高	当期発行	ディスカ ウントま たはプレ ミアムの 償却	為替差額	当期 返済	期末残高
			(%)		(百万 人民元)	(百万 人民元)	(百万 人民元)	(百万 人民元)	(百万 人民元)	(百万 人民元)
変動金利債券	12ヶ月	2022年 5月6日	SOFR + 0.85	45 百万 米ドル	-	298	-	16	-	314
変動金利債券	12ヶ月	2022年 5月6日	SOFR + 1.00	75 百万 米ドル	-	497	-	26	-	523
変動金利債券	12ヶ月	2022年 6月13日	SOFR + 0.95	120 百万 米ドル	-	805	-	32	-	837
固定金利債券	12ヶ月	2022年 9月9日	1.95	80 百万 ユーロ	-	554	-	38	-	592
変動金利債券	6ヶ月	2022年 10月13日	SOFR + 0.75	50 百万 米ドル	-	346	-	3	-	349
固定金利債券	12ヶ月	2022年 11月17日	3.21	300 百万 人民元	-	300	-	-	-	300
変動金利債券	12ヶ月	2022年 12月7日	SOFR + 0.83	45 百万 米ドル	-	315	-	(1)	-	314
変動金利債券	60ヶ月	2022年 12月12日	SOFR + 1.40	100 百万 米ドル	-	695	-	3	-	698
固定金利債券	12ヶ月	2022年 12月14日	2.90	57 百万 ユーロ	-	420	-	1	-	421
合計					46,432	4,958	49	2,673	(8,265)	45,847

注：当行が保有していたCMBFLが発行した金融債は、2022年12月31日現在、合計1,370百万人民元相当（2021年12月31日：1,370百万人民元相当）であった。当行が保有していたCMBFLの完全所有子会社であるチャイナ・マーチャント・バンク・インターナショナル・リーシング・マネジメント・リミテッド（以下、「CMBILM」という。）が発行した金融債は、2022年12月31日現在、合計2,268百万人民元相当（2021年12月31日：2,085百万人民元に相当）であった。CMB WLBが保有していたCMBILMが発行した金融債は、2022年12月31日現在、合計1,602百万人民元相当（2021年12月31日：900百万人民元相当）であった。

報告期間末現在、CMBICが発行している長期負債証券は以下のとおりであった。

債務の種類	残存期間	発行日	金利 (年利)	額面価額	期首残高	当期発行	ディスカ ウントま たはプレ ミアムの 償却	為替差額	当期 返済	期末残高
			(%)		(百万 人民元)	(百万 人民元)	(百万 人民元)	(百万 人民元)	(百万 人民元)	(百万 人民元)
固定金利債券	36ヶ月	2021年 6月2日	1.38	600 百万 米ドル	3,816	-	(21)	371	-	4,166
合計					3,816	-	(21)	371	-	4,166

注：CMB WLBが保有していたCMBICが発行した金融債は、2022年12月31日現在、合計74百万人民元相当（2021年12月31日：68百万人民元相当）であった。

## 44 その他負債

	2022年	2021年
清算および決済勘定	31,534	50,565
給与リスク積立金（注）	45,500	38,500
継続的関与負債	5,274	5,274
保険負債	2,902	2,063
顧客を代理する回収	827	951
戻り小切手および送金	39	47
その他の債務	39,862	42,170
合計	125,938	139,570

注：給与リスク積立金は、従業員の年間報酬から差し引かれ、リスク管理を目的として支払いが留保される特定目的資金である。当該資金は、短期的および長期的利益を考慮し、業績評価とリスク管理結果に基づいて分配される。資産の質の低下、リスク特性および収益性の急激な悪化、訴訟問題の発生、もしくは規制当局によって重大な規制違反の指摘がなされた場合には、関連従業員に対するこれら積立金の分配は制限される。

## 45 資本金

## 種類別

	2022年および2021年 株式数 (百万株)
上場株式	
- A 株式	20,629
- H 株式	4,591
合計	25,220

H 株式はすべて普通株式であり、A 株式と同格に位置づけられている。これらの株式について制限はない。

	資本金	
	株式数 (百万株)	金額
2022年 1 月 1 日および2022年12月31日現在	25,220	25,220

## 46 その他の持分商品

## (a) 優先株式

	発行日	会計上の 分類	配当率	発行価格	株式数 (百万株)	金額 (百万 人民元)	期日	転換条件	転換
2017年におけるオフショア優先株式の発行 (注( ))	2017年 10月25日	持分商品	4.40%	1株当たり 20米ドル	50	6,597	永久的 に存在	(注 )	なし
2017年における国内優先株式の発行 (注( ))	2017年 12月22日	持分商品	4.81%	1株当たり 100人民元	275	27,468	永久的 に存在	(注 )	なし
合計					325	34,065			

発行済み永久債の変動は以下のとおりであった。

	発行日	2022年1月1日		増加 / 減少		2022年12月31日	
		株式数 (百万株)	金額 (百万 人民元)	株式数 (百万株)	金額 (百万 人民元)	株式数 (百万株)	金額 (百万 人民元)
オフショア優先株式(注( ))	2017年 10月25日	50	6,597	(50)	(6,597)	-	-
国内優先株式 (注( ))	2017年 12月22日	275	27,468	-	-	275	27,468
合計		325	34,065	(50)	(6,597)	275	27,468

注：

- ( ) 中国の関連規制当局による承認に基づき、当行は、2017年10月25日に、額面総額1,000百万米ドルの米ドルで取引・決済される非累積オフショア優先株式を発行した。各オフショア優先株式は額面20米ドルであり、合計50百万株のオフショア優先株式が発行された。配当率は当初4.40%であり、その後は契約に基づき改定されるが、16.68%を超えることはない。CBIRCによる承認を得て、当行は、当事業年度に上記のオフショア優先株式のすべてを償還した。
- ( ) 中国の関連規制当局による承認に基づき、当行は、2017年12月22日に、額面総額27,500百万人民元の非累積国内優先株式を発行した。各国内優先株式は額面100人民元であり、合計275百万株の国内優先株式が発行された。配当率は当初4.81%であり、その後は契約に基づき改定されるが、16.68%を超えることはない。
- ( ) 国内優先株式およびオフショア優先株式のいずれにも、強制的な転換を生じさせる特定の事象を明記した条項が付されている。これらの条項は以下のとおりである。
  - (1) その他Tier 1 資本商品のトリガー事象が発生した際に、すなわちコアTier 1 自己資本比率が5.125%以下に低下した場合、当行は、当行のコアTier 1 自己資本比率を5.125%超に返すために、優先株式の株主の承認なしに、優先株式の額面総額に基づき、その時点における発行済み優先株式の全部または一部を普通A株式(国内優先株式)または普通H株式(オフショア優先株式)に転換する権利を有するものとする。一部を転換する場合、優先株式は比例按分で同一条件に基づき転換される。
  - (2) Tier 2 資本のトリガー事象が発生した際に、優先株式の株主の承認なしに、優先株式の額面総額に基づき、その時点における発行済み優先株式の全部または一部を普通A株式(国内優先株式)または普通H株式(オフショア優先株式)に転換する権利を有するものとする。Tier 2 資本のトリガー事象とは、1) CBIRCが、転換または評価損なしでは、当行の存続が危ぶまれると結論付けた事象、2) 関連当局が、公的部門の資本注入または同等の支援がなければ、当行の存続が危ぶまれると結論付けた事象のうち、先に発生した方を意味する。

上記の強制的な転換事象の発生にあたり、当行は、審査および決定を受けるためにCBIRCに報告し、関連する規制上の要件に従って仮報告または発表を行うなど、証券取引法ならびにCSRCおよび香港の法令の関連する情報開示責任を履行するものとする。

オフショアおよび国内優先株式の配当金は現金で支払われる。合意された配当率の当該配当を除き、上記の優先株式の株主は、普通株式の株主とともに、当行の残存利益の持分を受け取る権利を有していない。配当金は非累積である。当行は、優先株式の配当を中止する権利を有し、かかる中止は契約不履行とはみなされないものとする。優先株式の株主に対する配当金の一部または全部の中止後、当行は、優先株式の配当がすべて再開されるまで、普通株式について分配を行わないものとする。オフショアおよび国内優先株式の配当金は非累積であるため、当行は過年度に中止した配当金を優先株式の株主に分配しない。

オフショアおよび国内優先株式には償還日がない。ただし、発行日から5年目の応当日の後、償還条件を満たし、CBIRCの承認を事前に得ていることを条件として、オフショアおよび国内優先株式が、当行の自由裁量で償還されることはあるが、当行には優先株式を償還する義務はない。優先株式の株主は、当行に優先株式の償還を要求する権利を有しておらず、優先株式の償還を期待すべきでない。

上記の優先株式から発行費用を控除後、正味受取代金は、当行のその他Tier 1 資本に含まれている。

## (b) 永久債

	発行日	会計上の分類	金利	発行価格	ユニット数 (百万ユニット)	金額 (百万 人民元)	期日	転換条件	転換
国内永久債(注( ))	2020年 7月9日	持分商品	3.95%	1ユニット 当たり 100人民元	500	49,989	永久的 に存在	なし	なし
国内永久債(注( ))	2021年 12月7日	持分商品	3.69%	1ユニット 当たり 100人民元	430	42,989	永久的 に存在	なし	なし
合計					930	92,978			

発行済み永久債の変動は以下のとおりである。

	発行日	2022年1月1日現在		増加		2022年12月31日現在	
		ユニット数 (百万ユニッ ト)	金額 (人民元)	ユニット数 (百万ユニッ ト)	金額 (人民元)	ユニット数 (百万ユニッ ト)	金額 (人民元)
国内永久債 (注( ))	2020年 7月9日	500	49,989	-	-	500	49,989
国内永久債 (注( ))	2021年 12月7日	430	42,989	-	-	430	42,989
合計		930	92,978	-	-	930	92,978

注：

- ( ) 中国の関連規制当局による承認を得て、当行は、2020年7月9日に中国国内の銀行間債券市場で、50,000百万人民元の「2020年招商銀行股份有限公司永久その他Tier 1 資本債（シリーズ1）」（以下、「2020年永久債」という。）を発行した。単位額面価額は100人民元である。クーポン・レート調整期間は、2020年永久債の発行から5年ごとである。クーポン・レート調整期間においては、当永久債のクーポン・レートは所定の固定レートのままとなる。2020年永久債は、当行が事業運営を継続している限り流通し続ける。
- ( ) 中国の関連規制当局による承認を得て、当行は、2021年12月7日に中国国内の銀行間債券市場で、43,000百万人民元の「2021年招商銀行股份有限公司永久その他Tier 1 資本債」（以下、「2021年永久債」、2020年永久債と合わせて「当永久債」という。）を発行した。単位額面価額は100人民元である。クーポン・レート調整期間は、2021年永久債の発行から5年ごとである。クーポン・レート調整期間においては、当永久債のクーポン・レートは所定の固定レートのみである。2021年永久債は、当行が事業運営を継続している限り流通し続ける。

当永久債の発行から5年目の応当日より、当行は、CBIRCの承認および償還の前提条件の充足を条件として、1年ごとの利払日（発行日から5年目の利払日を含む）に、当永久債の全部または一部を償還する権利を有している。発行後、予測不能な監督規則の変更により、当永久債がその他Tier 1 資本に適格でなくなった場合、当行は当永久債の全部を償還する権利を有しているが、一部を償還する権利を有していない。投資家は、当行に当永久債を売り戻す権利を有していない。

当永久債に関する債権は、預金者、一般顧客、および当永久債より上位となる劣後債に劣後し、当行株主が保有する株式のすべてのクラスに優先し、当永久債と同順位の当行の他のその他Tier 1 資本商品に関する債権と同順位となる。

クーポン・レートは、各ベンチマーク金利改定日（すなわち、発行日から5年ごとの応当日）に改定される。調整後のクーポン・レートは、調整日現在のベンチマーク金利に、発行時に決定される固定スプレッドを加算した金利に基づき決定される。当永久債には、金利のステップアップ・メカニズムまたはその他の償還インセンティブは含まれない。当行は、当永久債に係る分配の全部または一部を取り消す権利を有しており、こうした取消しは不履行事由にはならない。債券の利息は非累積であり、分配の取消しは翌年度に繰り越しされない。当行は、この権利を行使する際には、債券保有者の利益を十分に考慮する。当行は、支払いが到来している他の債務を返済するために、当行の自由裁量で、当期において取り消した債券の利息を使用することができる。当永久債への分配の取消しは、全部か一部かにかかわらず、普通株式に対する配当支払いに関するものを除き、当行に対して他の制限を課さない。

実質破綻トリガー事象の発生にあたって、当行は、債券保有者の同意なしに、当永久債の元本額の全部または一部を償却する権利を有している。実質破綻トリガー事象とは、以下の事象のいずれか早い方を参照する。

( ) CBIRCが、償却なしでは、当行の存続が危ぶまれると結論付けた事象、または( ) 関連当局が、公的部門の資本注入または同等の支援がなければ、当行の存続が危ぶまれると結論付けた事象。償却は元に戻されない。

当債券によって調達される資金（発行費用控除後）は、適用法令および関連当局の承認に従って、当行の補完的その他Tier 1 資本に使用されている。

**(c)持分商品保有者に帰属する関連情報**

	2022年	2021年
当行株主帰属持分	945,503	858,745
- 当行普通株主帰属持分持分	825,057	731,702
- 当行のその他持分商品保有者帰属持分	120,446	127,043
以下を含む：純利益	5,237	3,613
包括利益合計	5,237	3,613
当期中の分配	(5,237)	(3,613)
累積未分配配当金	-	-
非支配持分帰属持分	8,735	6,936
- 普通株式の非支配持分保有者帰属持分	5,948	3,300
- 永久債資本の非支配持分保有者帰属持分（注記62(a)）	2,787	3,636

**47 資本準備金**

資本準備金は、主に当行の資本剰余金であり、株主の承認に基づき、資本金に転換することができる。

	2022年	2021年
1月1日現在	67,523	67,523
減少	(2,088)	-
12月31日現在	65,435	67,523

**48 投資再評価準備金**

	2022年	2021年
FVTOCIで測定される負債商品： 投資再評価準備金	9,319	11,459
FVTOCI区分に指定された持分商品に係る公正価値利益	2,606	2,578
確定給付制度の再測定額	78	88
持分法適用被投資会社のその他包括（損失）／利益持分	(233)	922
その他	45	-
合計	11,815	15,047

**49 ヘッジ準備金**

ヘッジ準備金は、キャッシュ・フロー・ヘッジに使用したヘッジ手段の公正価値の純変動額の累積額のうち、ヘッジが有効な部分からなる。ヘッジ対象のキャッシュ・フローの当初認識後の認識は、注記4(5)に記載されているキャッシュ・フロー・ヘッジに適用された会計方針に従って会計処理される。

## 50 剰余準備金

法定剰余準備金は、「企業会計準則」および財政部（以下、「MOF」という。）により公表されたその他の関連規則の要件に従って、当行の監査済税引後利益の10%が積み立てられる。剰余準備金は、株主の承認に基づき、累積損失の補填に利用するか、または払込済資本金として組み入れることができる。

	2022年	2021年
1月1日現在	82,137	71,158
当年度計上	12,848	10,979
12月31日現在	94,985	82,137

## 51 一般準備金

一般準備金は資本の不可欠な一部である。関連規制に準拠して、当行は、減損引当金に加えて、識別されていない潜在的損失を補うために一般準備金を維持している。原則として、一般準備金の残高はリスク資産の期末残高の1.5%を下回ってはならない。また、一般準備金は、ミューチュアル・ファンド保管業務の収入の2.5%を含める。当グループの一般準備金には、当グループの子会社とその業種または地域の適用法令に従って維持する一般準備金も含まれる。

	2022年	2021年
1月1日現在	115,288	98,082
当年度計上	17,183	17,206
12月31日現在	132,471	115,288

## 52 利益処分

### (a) 株主により承認 / 宣言された配当金

	2022年	2021年
承認および宣言された2021年度の普通株式配当：1株当たり1.522人民元	38,385	-
承認および宣言された2020年度の普通株式配当：1株当たり1.253人民元	-	31,601

### (b) 利益処分予定額

	2022年	2021年
法定剰余準備金	12,848	10,979
一般準備金	17,183	17,206
配当		
- 現金配当：1株当たり1.738人民元（2021年：1株当たり1.522人民元）	43,832	38,385
合計	73,863	66,570



2022年度の最終配当は、2023年3月24日に開催された取締役会における決議に基づき提案され、承認を得るため2022年度株主総会に提出される予定である。

### 53 為替準備金

為替準備金は中国本土外の事業に関する財務諸表の換算によって生じるすべての換算差額より構成されている。

### 54 当行の財政状態計算書および当行の持分の変動

	2022年	2021年
<b>資産</b>		
現金	14,787	12,794
貴金属	2,884	4,554
中央銀行預け金	585,338	543,652
銀行およびその他金融機関に対する預け金	47,791	41,632
銀行およびその他金融機関に対する貸付金	247,340	188,376
売戻契約に基づいて保有する金額	276,292	523,516
顧客に対する貸出金	5,482,692	5,023,050
損益を通じて公正価値評価される金融資産	369,391	290,941
デリバティブ金融資産	17,859	23,179
償却原価で測定される負債投資	1,533,546	1,183,662
その他包括利益を通じて公正価値評価される負債投資	675,484	552,498
その他包括利益を通じて公正価値評価する評価を受けた持分投資	10,724	6,392
子会社投資	50,767	49,495
共同支配企業持分	13,341	12,582
関連会社持分	6,190	5,521
投資不動産	907	945
有形固定資産	26,541	26,833
使用権資産	16,764	17,701
無形資産	2,422	3,228
繰延税金資産	88,056	79,712
その他資産	41,440	109,871
<b>資産合計</b>	<b>9,510,556</b>	<b>8,700,134</b>

	2022年	2021年
<b>負債</b>		
中央銀行からの借入金	129,745	159,987
銀行およびその他金融機関からの預かり金	621,621	732,631
銀行およびその他金融機関からの借入金	43,319	55,710
損益を通じて公正価値評価される金融負債	40,035	36,105
デリバティブ金融負債	18,207	26,866
買戻契約に基づいて売却された金額	95,970	137,857
顧客からの預金	7,327,974	6,150,241
未払給与および福利厚生費	19,136	15,853
未払法人所得税	17,221	20,926
契約負債	6,653	7,536
リース負債	12,285	13,164
引当金	22,410	14,503
発行済負債証券	172,402	398,672
その他負債	96,680	119,395
<b>負債合計</b>	<b>8,623,658</b>	<b>7,889,446</b>
<b>株主資本</b>		
資本金	25,220	25,220
その他の持分商品	120,446	127,043
資本準備金	76,082	76,681
投資再評価準備金	13,144	14,866
剰余準備金	94,985	82,137
一般準備金	121,230	105,941
利益剰余金	391,579	340,271
利益処分予定額	43,832	38,385
為替準備金	380	144
<b>株主資本合計</b>	<b>886,898</b>	<b>810,688</b>
<b>株主資本および負債合計</b>	<b>9,510,556</b>	<b>8,700,134</b>

当行の持分の変動の詳細は、以下のとおりである。

	その他の 持分商品			資本 準備金	投資 再評価 準備金	剰余 準備金	一般 準備金	利益 剰余金	利益 処分 予定額	為替 準備金	合計
	資本金	優先株式	永久債								
2022年1月1日現在	25,220	34,065	92,978	76,681	14,866	82,137	105,941	340,271	38,385	144	810,688
当期持分変動額	-	(6,597)	-	(599)	(1,722)	12,848	15,289	51,308	5,447	236	76,210
当期純利益	-	-	-	-	-	-	-	128,484	-	-	128,484
当期その他包括利益	-	-	-	-	(1,692)	-	-	-	-	236	(1,456)
当期包括利益合計	-	-	-	-	(1,692)	-	-	128,484	-	236	127,028
優先株式の償還	-	(6,597)	-	(599)	-	-	-	-	-	-	(7,196)
利益処分	-	-	-	-	-	12,848	15,289	(77,206)	5,447	-	(43,622)
法定剰余準備金への充 当	-	-	-	-	-	12,848	-	(12,848)	-	-	-
一般準備金への充当	-	-	-	-	-	-	15,289	(15,289)	-	-	-
2021年度に対する配当 支払額	-	-	-	-	-	-	-	-	(38,385)	-	(38,385)
2022年度に対する配当 提案額	-	-	-	-	-	-	-	(43,832)	43,832	-	-
優先株式に対する配当 額	-	-	-	-	-	-	-	(1,675)	-	-	(1,675)
永久債に対する分配	-	-	-	-	-	-	-	(3,562)	-	-	(3,562)
FVTOCIで測定する指定 を受けた持分商品の 処分に伴う資本の部 における振替	-	-	-	-	(30)	-	-	30	-	-	-
2022年12月31日現在	25,220	27,468	92,978	76,082	13,144	94,985	121,230	391,579	43,832	380	886,898

	その他の 持分商品			資本 準備金	投資 再評価 準備金	ヘッジ 準備金	剰余 準備金	一般 準備金	利益 剰余金	利益 処分 予定額	為替 準備金	合計
	資本金	優先株式	永久債									
2021年1月1日現在	25,220	34,065	49,989	76,681	7,951	(26)	71,158	94,067	293,523	31,601	228	684,457
当期持分変動額	-	-	42,989	-	6,915	26	10,979	11,874	46,748	6,784	(84)	126,231
当期純利益	-	-	-	-	-	-	-	-	109,794	-	-	109,794
当期その他包括利益	-	-	-	-	8,720	26	-	-	-	-	(84)	8,662
当期包括利益合計	-	-	-	-	8,720	26	-	-	109,794	-	(84)	118,456
永久債の発行	-	-	42,989	-	-	-	-	-	-	-	-	42,989
利益処分	-	-	-	-	-	-	10,979	11,874	(64,851)	6,784	-	(35,214)
法定剰余準備金への充 当	-	-	-	-	-	-	10,979	-	(10,979)	-	-	-
一般準備金への充当	-	-	-	-	-	-	-	11,874	(11,874)	-	-	-
2020年度に対する配当 支払額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(31,601)	-	(31,601)
2021年度に対する配当 提案額	-	-	-	-	-	-	-	-	(38,385)	38,385	-	-
優先株式に対する配当 額	-	-	-	-	-	-	-	-	(1,638)	-	-	(1,638)
永久債に対する分配	-	-	-	-	-	-	-	-	(1,975)	-	-	(1,975)
FVTOCIで測定する指定 を受けた持分商品の 処分に伴う資本の部 における振替	-	-	-	-	(1,805)	-	-	-	1,805	-	-	-
2021年12月31日現在	25,220	34,065	92,978	76,681	14,866	-	82,137	105,941	340,271	38,385	144	810,688

## 55 連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記

## (a) 現金および現金同等物の残高の内訳（当初満期３ヶ月以内の資産を含む）

	2022年	2021年
現金および中央銀行預け金	66,055	79,129
銀行およびその他金融機関に対する預け金	81,928	75,919
銀行およびその他金融機関に対する貸付金	93,704	65,897
売戻契約に基づく保有金額	275,051	527,341
負債証券投資	50,460	53,468
合計	567,198	801,754

## (b) 財務活動により生じた負債の調整

下記の表は、現金変動と非現金変動の双方を含む、財務活動による当グループの負債の変動を詳述したものである。財務活動によって生じた負債は、そのキャッシュ・フローが、当グループの連結キャッシュ・フロー計算書において財務活動によるキャッシュ・フローとして分類されたものである。

	銀行間 譲渡性 預金証書	発行済 譲渡性 預金証書 (注)	発行済 負債証券 (注)	未払利息	未払 配当金	その他の 金融負債	リース 負債	合計
2022年１月１日現在	240,284	11,092	201,142	2,104	26	26,650	13,812	495,110
現金変動：								
発行による収入	78,666	20,287	21,481	-	-	10,796	-	131,230
払戻	(250,996)	(16,504)	(78,735)	-	-	(14,959)	(4,932)	(366,126)
利息／配当金支払	(5,714)	-	-	(6,686)	(44,103)	-	-	(56,503)
非現金変動：								
リース負債の増加	-	-	-	-	-	-	3,623	3,623
未払利息	-	-	-	6,115	-	-	510	6,625
配当宣言額	-	-	-	-	44,103	-	-	44,103
ディスカウントまたは プレミアムの償却	3,479	31	37	-	-	-	-	3,547
公正価値調整	-	(26)	(544)	-	-	(9)	-	(579)
為替差額	-	1,107	5,293	-	-	241	-	6,641
2022年12月31日現在	65,719	15,987	148,674	1,533	26	22,719	13,013	267,671

	銀行間 譲渡性 預金証書	発行済 譲渡性 預金証書 (注)	発行済 負債証券 (注)	未払利息	未払 配当金	その他の 金融負債	リース 負債	合計
2021年1月1日現在	144,816	19,084	194,775	1,985	26	23,047	14,242	397,975
現金変動：								
発行による収入	319,707	14,692	63,872	-	-	6,860	-	405,131
払戻	(226,012)	(21,363)	(55,771)	-	-	(3,697)	(4,835)	(311,678)
利息／配当金支払	(3,768)	-	-	(7,630)	(35,685)	-	-	(47,083)
非現金変動：								
リース負債の増加	-	-	-	-	-	-	3,850	3,850
未払利息	-	-	-	7,749	-	-	555	8,304
配当宣言額	-	-	-	-	35,685	-	-	35,685
ディスカウントまたは プレミアムの償却	5,541	(811)	53	-	-	-	-	4,783
公正価値調整	-	(15)	(257)	-	-	656	-	384
為替差額	-	(495)	(1,530)	-	-	(216)	-	(2,241)
2021年12月31日現在	240,284	11,092	201,142	2,104	26	26,650	13,812	495,110

注：損益を通じて公正価値評価する指定を受けた金融負債を含む。

### (c) 重要な非現金取引

2022年および2021年12月31日に終了した事業年度において、その他の重要な非現金取引はなかった。

## 56 事業セグメント

当グループの主要な事業活動は、法人向けおよび個人向けの銀行サービスの提供、トレジャリー業務の実施、資産運用およびその他の金融サービスの提供である。

当グループは、事業分野と地域双方により組織された部門ごとに事業を管理している。

### (1) ホールセール・ファイナンス業務

法人顧客、政府機関および金融機関に対する金融サービスには、貸出および預金サービス、決済およびキャッシュ・マネジメント・サービス、貿易金融およびオフショア業務、投資銀行業務、貸出および買戻等の銀行間業務、資産の保護預かり業務、金融市場業務ならびにその他のサービスが含まれる。

### (2) リテール・ファイナンス業務

個人顧客に提供されている金融サービスには、貸出および預金業務、銀行カード業務、資産運用サービス、プライベート・バンキング業務ならびにその他のサービスが含まれる。

### (3) その他業務

その他業務は、投資不動産、CMB WLBおよびCMBFL以外を除く子会社、関連会社ならびに共同支配企業を網羅している。これらのセグメントのいずれも、セグメント区分に必要な量的基準値を満たしてはいない。

2022年に、当グループはCMBFLをその他業務セグメントからホールセール・ファイナンス業務セグメントに再配分した。比較数値はこれに従って修正再表示されている。

事業セグメント分析においては、外部正味受取／支払利息は外部当事者に提供される銀行サービスからの正味受取利息または支払利息を表している。内部正味受取／支払利息は、内部資金移転価格制度による予想損益を表している。内部資金移転価格制度は、資産および負債ポートフォリオの構成および市場収益率を考慮している。費用配賦は、各報告セグメントに帰属する直接費用および関連要因による分配に基づいている。

事業セグメントの会計方針は、注記4に記載されている当グループの会計方針と同じである。事業セグメント収益は、外部顧客から生じた利益であり、セグメント間取引は相殺されている。2022年および2021年において、当グループの収益の10%以上を占める顧客はいない。内部取引は公正価値で行われている。

[前へ](#)

[次へ](#)

## (a) セグメント実績、資産および負債

	ホールセール・ ファイナンス業務		リテール・ ファイナンス業務		その他業務		合計	
	2022年	2021年	2022年	2021年	2022年	2021年	2022年	2021年
外部正味受取利息	28,165	21,026	140,443	135,412	49,627	47,481	218,235	203,919
内部正味受取 / (支払) 利息	62,294	69,222	(9,054)	(18,571)	(53,240)	(50,651)	-	-
<b>正味受取利息</b>	<b>90,459</b>	<b>90,248</b>	<b>131,389</b>	<b>116,841</b>	<b>(3,613)</b>	<b>(3,170)</b>	<b>218,235</b>	<b>203,919</b>
正味受取手数料	25,540	25,290	57,279	60,155	11,456	9,002	94,275	94,447
その他の正味収益	26,095	27,080	2,747	2,018	863	(87)	29,705	29,011
<b>営業収益</b>	<b>142,094</b>	<b>142,618</b>	<b>191,415</b>	<b>179,014</b>	<b>8,706</b>	<b>5,745</b>	<b>342,215</b>	<b>327,377</b>
営業費用								
- 有形固定資産および投資 不動産の減価償却	(7,103)	(5,740)	(2,942)	(2,860)	(234)	(257)	(10,279)	(8,857)
- 使用権資産の減価償却	(1,676)	(1,672)	(2,250)	(2,367)	(225)	(220)	(4,151)	(4,259)
- その他	(43,495)	(41,317)	(58,079)	(56,451)	(6,057)	(5,995)	(107,631)	(103,763)
<b>減損損失控除前報告セグメント利益</b>	<b>89,820</b>	<b>93,889</b>	<b>128,144</b>	<b>117,336</b>	<b>2,190</b>	<b>(727)</b>	<b>220,154</b>	<b>210,498</b>
その他資産に係る予想信用 損失および減損損失	(22,671)	(26,503)	(33,966)	(39,627)	(929)	(225)	(57,566)	(66,355)
関連会社および共同支配企 業持分利益	-	-	-	-	2,525	4,030	2,525	4,030
<b>税引前報告セグメント利益</b>	<b>67,149</b>	<b>67,386</b>	<b>94,178</b>	<b>77,709</b>	<b>3,786</b>	<b>3,078</b>	<b>165,113</b>	<b>148,173</b>
設備投資 (注)	28,884	20,158	2,660	3,278	513	326	32,057	23,762
	ホールセール・ ファイナンス業務		リテール・ ファイナンス業務		その他業務		合計	
	2022年12月31 日	2021年12月31 日	2022年12月31 日	2021年12月31 日	2022年12月31 日	2021年12月31 日	2022年12月31 日	2021年12月31 日
報告セグメント資産	5,633,640	5,203,529	3,081,290	2,908,405	1,314,820	1,037,190	10,029,750	9,149,124
うち：関連会社および共同支 配企業持分	-	-	-	-	23,844	23,654	23,844	23,654
報告セグメント負債	5,495,463	5,142,042	3,157,321	2,329,192	446,949	811,434	9,099,733	8,282,668

注：設備投資は、1年超にわたって使用が見込まれる長期セグメント資産の取得にかかる金額を表す。

[前へ](#)

[次へ](#)

**(b) 報告セグメントの収益、損益、資産、負債およびその他の重要項目の調整**

	2022年	2021年
報告セグメントの営業収益	342,215	327,377
報告セグメントの税引前利益合計	165,113	148,173
	2022年12月31日	2021年12月31日
資産		
報告セグメントの資産合計	10,029,750	9,149,124
のれん	9,999	9,954
無形資産	581	571
繰延税金資産	90,848	81,639
その他未配分資産	7,734	7,733
連結資産合計	10,138,912	9,249,021
負債		
報告セグメントの負債合計	9,099,733	8,282,668
当期税金	19,458	22,491
繰延税金負債	1,510	1,353
その他未配分負債	63,973	76,828
連結負債合計	9,184,674	8,383,340

**(c) 地理別セグメント**

当グループは主として中国の主要な省、自治区および中国本土における中央政府直轄の市に所在する銀行支店において業務を行っている。当グループはまた、香港、ニューヨーク、シンガポール、ルクセンブルク、ロンドンおよびシドニーに支店、香港、深圳、上海、北京およびルクセンブルクに子会社を有し、ニューヨークおよび台北に代表事務所を置いている。

地理別のセグメント情報における営業収益は、収益を計上した支店および子会社の場所を基準として配分されている。セグメント別資産および非流動資産は、対象資産の地理的な場所に基づいて配分されている。

当行の業務および経営陣の評価を裏付けるため、地理別セグメントは、以下のとおり定義されている。

- 「本店」は、当グループの本店、クレジット・カード・センターおよび資金運用センター。
- 「長江デルタ地域」は、上海直轄市、浙江省および江蘇省に所在する支店。
- 「環渤海地域」は、北京直轄市、天津直轄市、山東省および河北省に所在する支店。
- 「珠江デルタおよび西海岸地域」は、広東省および福建省に所在する支店。
- 「東北地域」は、遼寧省、黒竜江省および吉林省に所在する支店。



- 「中部地域」は、河南省、安徽省、湖南省、湖北省、江西省、山西省および海南省に所在する支店。
- 「西部地域」は、四川省、重慶直轄市、貴州省、雲南省、陝西省、甘肅省、寧夏回族自治区、新疆ウイグル自治区、広西壮族自治区、内モンゴル自治区、青海省およびチベット自治区に所在する支店。
- 「海外」は、香港、ニューヨーク、シンガポール、ルクセンブルク、ロンドンおよびシドニーに所在する海外支店ならびにニューヨークおよび台北に所在する代表事務所。
- 「子会社」は、CMB WLB、CMBIC、CMBFL、CMFM、CMBWM、招商（欧州）有限公司および招商信託資産管理を含む、当グループが完全所有または支配している子会社。

地理別情報	資産合計		負債合計	
	2022年12月31日	2021年12月31日	2022年12月31日	2021年12月31日
本店	4,580,315	4,155,509	3,841,548	3,492,876
長江デルタ地域	1,304,806	1,199,329	1,283,400	1,177,342
環渤海地域	827,394	725,595	811,449	711,389
珠江デルタおよび西海岸地域	1,083,521	997,986	1,063,334	979,018
東北地域	170,632	169,282	166,486	166,933
中部地域	636,801	567,191	628,361	559,499
西部地域	632,766	590,272	623,631	580,623
海外	194,412	210,633	193,651	208,569
子会社	708,265	633,224	572,814	507,091
合計	10,138,912	9,249,021	9,184,674	8,383,340

地理別情報	非流動資産		税引前利益		営業収益	
	2022年12月31日	2021年12月31日	2022年	2021年	2022年	2021年
本店	52,166	51,220	51,396	42,939	140,083	145,403
長江デルタ地域	5,774	6,198	22,939	24,092	45,768	41,451
環渤海地域	4,354	4,319	19,759	17,971	34,105	31,286
珠江デルタおよび西海岸地域	4,232	4,432	26,479	22,252	37,583	35,379
東北地域	1,505	1,617	4,075	2,919	6,485	6,108
中部地域	3,602	3,958	10,740	9,744	20,989	19,448
西部地域	3,497	3,877	11,755	12,191	20,931	20,192
海外	707	861	2,046	1,575	3,557	2,632
子会社	80,148	61,382	15,924	14,490	32,714	25,478
合計	155,985	137,864	165,113	148,173	342,215	327,377

注：非流動資産には、共同支配企業持分、関連会社持分、有形固定資産、投資不動産、使用権資産、無形資産、およびのれんが含まれる。

## 57 担保として供された資産

以下の資産は、買戻条件付契約または貸出契約に基づく中央銀行からの借入金および負債に関する担保として供されている。

	2022年	2021年
中央銀行からの借入金	129,438	159,357
銀行およびその他金融機関からの借入金	8,620	7,517
買戻条件付契約に基づく売却金額	107,024	157,572
小計	245,082	324,446
担保資産		
- 損益を通じて公正価値評価される金融資産	24,093	29,241
- 償却原価で測定される負債投資	99,199	195,166
- その他包括利益を通じて公正価値評価される負債投資	25,267	34,441
- 顧客に対する貸出金	105,531	81,357
合計	254,090	340,205

これらの買戻条件付契約または貸出契約に基づく取引は、通常の借入・貸出業務において適用される一般的かつ慣習的な条件に基づいて行われている。

## 58 偶発債務および契約債務

### (a) クレジット・コミットメント

当グループは随時、信用供与に関する契約債務を有している。これらの契約は、承認済の貸出金およびクレジット・カード限度額という形式をとっている。

当グループは、第三者に対して顧客の契約履行を保証するための金融保証および信用状を提供している。引受手形は、顧客宛に振り出された手形の支払いを約束する当グループの引受業務を表している。当グループは、ほとんどの引受手形は顧客からの弁済と同時に決済されると予想している。

契約債務および偶発債務の分類別の契約金額は以下の表に記載されている。以下の表の契約債務に反映されている金額は、約定金額を全額実行したと想定している。以下の表の債務保証および信用状に反映されている金額は、契約相手方が不履行となった場合に、報告期間末に認識されうる潜在的な最大損失額を示している。

## 2022年

	- ステージ 1 (12ヶ月ECL)	- ステージ 2 (全期間ECL - 信用 減損していない)	- ステージ 3 (全期間ECL - 信用 減損している)	合計
取消不能債務保証	245,003	9,818	272	255,093
うち：金融保証	44,805	7,341	3	52,149
金融保証状以外	200,198	2,477	269	202,944
取消不能信用状	231,849	1,344	-	233,193
引受手形	427,150	3,733	500	431,383
取消不能貸付コミットメント	155,775	1,607	-	157,382
- 1年以内満期	22,638	4	-	22,642
- 1年超満期	133,137	1,603	-	134,740
クレジット・カード未使用コミットメント	1,406,911	9,613	85	1,416,609
その他	81,225	245	-	81,470
合計	2,547,913	26,360	857	2,575,130

## 2021年

	- ステージ 1 (12ヶ月ECL)	- ステージ 2 (全期間ECL - 信用 減損していない)	- ステージ 3 (全期間ECL - 信用 減損している)	合計
取消不能債務保証	197,208	7,353	254	204,815
うち：金融保証	52,198	6,337	3	58,538
金融保証状以外	145,010	1,016	251	146,277
取消不能信用状	162,320	1,711	188	164,219
引受手形	339,155	5,684	790	345,629
取消不能貸付コミットメント	141,727	4,896	2	146,625
- 1年以内満期	26,611	-	2	26,613
- 1年超満期	115,116	4,896	-	120,012
クレジット・カード未使用コミットメント	1,231,831	7,903	122	1,239,856
その他	126,995	1,555	-	128,550
合計	2,199,236	29,102	1,356	2,229,694

2022年12月31日現在、当グループの取消不能信用状には、22,525百万人民元（2021年12月31日：16,974百万人民元）の一覧払い信用状、6,965百万人民元（2021年12月31日：9,552百万人民元）の支払猶予期限付信用状、および203,703百万人民元（2021年12月31日：137,693百万人民元）のその他コミットメントが含まれている。

取消不能貸付コミットメントに含まれるのは、海外支店、子会社によるオフショア顧客に対する信用限度額ならびにオンショアおよびオフショアのシンジケート・ローン等に関する信用限度額である。

取消不能貸付コミットメントを除き、当グループは、2022年12月31日現在、5,159,127百万人民元の貸付コミットメント（2021年12月31日：4,441,835百万人民元）を有していた。これらは、当グループが無条件で取消することが可能か、または該当する貸付契約に基づき、借り手の信用度の悪化により自動的に取消可能となる。当グループはこれらの信用限度額の未使用部分に係るリスクには晒されないと考えている。よって、当該残高は上記の偶発債務および契約債務に含まれていない。

	2022年	2021年
偶発債務および契約債務の信用リスク加重金額	595,977	593,062

当グループは、CBIRCが公表した商業銀行の資本に係る行政措置（試行）の要件に従い、偶発債務および契約債務の信用リスク加重金額を算定した。2014年4月にCBIRCが承認した範囲内の金額は、内部格付に基づくアプローチを使用して算定されており、内部格付に基づくアプローチを使用することが適格でないとされる金額の算定には、加重アプローチが使用される。

## (b) 資本投資契約

当グループの承認済みの資本投資契約は、以下のとおりであった。

	2022年	2021年
- 契約済み	370	480
- 承認済みであるが契約済みではない	189	234
合計	559	714

当グループが貸手であるリース・コミットメントについては、注記58(e)に詳述されている。

## (c) 未解決の訴訟

2022年12月31日現在、当行またはその他のグループ会社は銀行業務から発生した特定の係争中の訴訟の被告となっており、その請求総額は1,910百万人民元（2021年：1,678百万人民元）であった。当グループは、これらの係争中の訴訟の結果、当グループに対する重要な損失は発生しないと考えており、よって連結財務諸表において引当金は設定されていない。

## (d) 償還債務

中国国債の引受業者として、当グループは保有者が債券の早期償還を希望する場合、債券保有者に前払いする責任がある。満期日前の債券の償還価格は、額面価額に、償還日までに発生した未払利息を加えた金額に基づいている。債券保有者に対する未払利息は、財政部およびPBOCの関連規定に従って計算される。償還価格は、償還日に取引されている類似の金融商品の公正価値とは異なる場合がある。

下記の償還債務は、当グループが引き受けて売却した国債のうち、報告期間末において満期を迎えていない国債の額面価額を示している。

	2022年	2021年
償還債務	27,401	30,020

当グループは、これらの国債のうち満期日前に当グループを通じて償還される金額は重要ではないと考えている。

### (c) リース・コミットメント

報告期間末現在における当グループが貸し手であるオペレーティング・リース・コミットメントおよびファイナンス・リース・コミットメントは以下のとおりである。

	2022年	2021年
オペレーティング・リース・コミットメント	30,519	13,750
ファイナンス・リース・コミットメント	8,025	7,421
合計	38,544	21,171

## 59 顧客を代理する取引

### (a) 委託貸付業務

当グループの委託貸付業務は、当グループが貸出金の活用を監視し、貸出金の回収を手助けすることにより、政府機関、事業体および個人等の貸付主体が資金を提供し、特定の対象に対して、特定の条件に従って、当グループが代理して貸付を行う活動を言う。当該委託貸付業務によって、当グループが信用リスクに晒されることはない。当グループは、これらの貸付主体の指示に基づいて単に当該資産および負債を保有し管理するエージェントであり、提供したサービスに対して手数料を請求している。

委託貸付は当グループの資産ではないため、連結財政状態計算書に計上されない。サービスの提供に関する受取および未収収入は、連結損益計算書に受取手数料として認識される。

報告期間末現在の委託資産および負債は以下のとおりであった。

	2022年	2021年
委託貸付	231,266	263,589
委託資金	(231,266)	(263,589)

## (b) 資産運用業務

当グループの顧客に対する資産運用業務は、主として、当行およびCMBWMにより法人向け銀行業務および個人向け銀行業務顧客に対して資産運用商品を販売することである。資産運用業務から得た資金は、国債、政策銀行債、短期法人負債商品、および信託貸付などの投資商品に投資される。当グループは資産運用商品の発売に着手しており、これらの商品に伴う投資リスクは、これらの商品に投資している顧客が負担する。当グループはこれらの資産運用商品を連結していない。当グループは、保護預り、販売および運用サービスの提供に関連した手数料を顧客より稼得する。

資産運用商品および資金は、当グループの資産および負債ではないため、連結財政状態計算書上に認識されていない。まだ投資されていない資産運用事業に関して顧客から受け取った資金は、その他負債に計上される。

報告期間末現在、非連結非元本保証型資産運用業務によって顧客から得た資金は、2022年12月31日現在、2,552,408百万人民元（2021年12月31日：2,683,636百万人民元）であった。

## (c) 保険基金の委託管理

保険基金の委託管理は主として、当グループが、規制政策および保険会社の投資指針に従って、保険会社から委託された基金に係る投資活動を行う業務を指し、かかるサービスの提供に対して手数料を請求する。

報告期間末現在の委託基金残高は以下のとおりであった。

	2022年	2021年
保険基金の委託管理	108,868	86,098

[前へ](#)

[次へ](#)

## 60 リスク管理

### (a) 信用リスク

信用リスクとは、契約相手方または債務者の当グループに対する債務または契約の不履行から生じうる潜在的損失である。すべての契約相手方がひとつの業界または地域に集中した場合、同一地域または同一業界に属する様々な契約相手方が同一の経済的状況により影響を受け、その結果としてその返済能力に影響を及ぼす可能性があるため、信用リスクは高くなる。

当グループは、信用リスクを効果的に特定、評価、および管理するという目的をもって組織の枠組み、与信方針およびプロセスを構築している。取締役会により設置および任命されたリスクおよび資本管理委員会は様々なリスク管理機能の構築、組織的構造、作業過程および有効性を監督および評価する責任を担っている。

日常業務に関しては、リスクおよび資本管理委員会の指示に基づき、リスク管理部が各事業単位および法務コンプライアンス部を含むその他のリスク管理機能の業務に参加し、そうした業務を調整および監視している。当グループは、貸付前評価、与信枠の承認および貸付後監視を含む与信プロセス全体を通じて信用リスクを管理している。「商業銀行の予想信用損失アプローチに関する実施規則」(CBIRC(2022年)第10号)に従って、当行グループは、当事業年度においてECL測定の実施および管理に関するワークフローをさらに最適化した。

ホールセール金融業務の信用リスク管理について、当グループは、与信方針に関するガイドラインの策定、法人クライアント、銀行間クライアントおよび機関投資家クライアント向けの与信引受基準・管理要件の強化、主要なリスク領域における融資限度枠管理策の導入を実施し、信用エクスポージャーの質を改善している。

個人向け金融業務の信用リスク管理について、当グループは主に、申請者の信用評価に基づき貸出承認を行っており、その際、申請者の所得水準、信用実績、および返済能力を考慮する。当グループは、借り手の返済能力、担保状況、および担保価値の変動に焦点を置いて貸付後の状況を監視している。貸出金の返済が延滞した場合、当グループは標準的な個人向け貸出金回収手続きに従って回収プロセスを開始する。

リスクを軽減するために、当グループは必要に応じて、顧客に対して担保と保証を提供するよう求めている。また、特定の種類の担保の受容性またはリスク軽減策に関する特定のガイドラインを定めている。担保ポートフォリオの内容および契約条項は、引き続き所与のリスクをカバーするのに十分であること、および市場慣行と一致していることを確認するために定期的に見直される。

資産の質の分類に関して当グループは、リスク・ベースの資産の質の分類法を導入している。現在、当グループは、内部のリスク区分管理(正常(グレード1~5)、要注意(グレード1~2)、破綻懸念、実質破綻および破綻)を精密にするため、10段階の貸出金分類基準に基づいて貸出金を分類している。

偶発債務および契約債務に関連するリスクは、主として顧客に対する貸出金に伴う信用リスクと同じである。そのため、これらの取引は、融資を申請する顧客と同じ与信申請、貸付実行後の監視、および担保要件の対象となる。

信用リスクの集中：一定数の顧客が、同一事業活動を行っている、同一地域に所在する、あるいはその業界が類似する経済的特長を有する場合、顧客の債務返済能力は、同じ経済的要因の影響を受ける可能性がある。信用リスクの集中度は、特定業界または地理的地域に対する当グループの業績の感応度を反映する。信用リスクの集中を回避することを目的として、当グループは貸出金ポートフォリオの監視および分析のための限度枠管理方針を策定している。

業界および貸出金ポートフォリオごとの貸出金の分析は、注記22に表示されている。

#### ( ) 内部信用リスク格付

当グループは、デフォルト確率に基づき信用リスクを分類している。内部信用格付は予想デフォルト・リスクに基づき、定性的および定量的要因を考慮している。ホールセール事業の顧客の場合には、純利益成長率、売上高成長率、業界などがこれらの要因に含まれる。リテール事業の顧客の場合は、満期、経過年数、担保割合などがこれらの要因に含まれる。

#### ( ) 信用リスクの著しい増大

注記4(5)に記載されているとおり、当グループは、信用リスクが著しく増加した場合、全期間ECLを認識する。

信用リスクが当初認識後に著しく増加しているかどうかを評価する際に、当グループは、報告日現在の金融商品およびその他の項目に生じるデフォルト・リスクと、当初認識時に金融商品に生じるデフォルト・リスクを比較する。評価に当たっては、当グループは当該金融商品の内部信用リスク格付（注60(a)(i)）の実際または予想される著しい悪化ならびに内部早期警告シグナル、5区分分類の結果、および延滞情報を考慮する。当グループは、評価基準が現状に適しているかどうか定期的にレビューしている。

ホールセール事業では、信用リスクは、以下の条件のいずれかが満たされる場合、著しく増加していると考えられる。具体的には、貸出金分類基準が要注意である、30日以上延滞、顧客の内部信用格付が一定水準に引き下げられている、顧客の早期警告シグナルが一定の水準に達している、または顧客が当グループの特定する他の著しいリスク・シグナルを有している等である。

リテールおよびクレジットカード事業については、以下の条件のいずれかが満たされる場合、信用リスクが著しく増加していると考えられる。具体的には、貸出金分類基準が要注意である、30日以上延滞、顧客または債務が早期信用リスク警告シグナルを有している、または顧客が当グループの特定する他の著しいリスク・シグナルを有している等である。

負債商品は、( )デフォルト・リスクが低く、( )債務者が近い将来、契約上のキャッシュ・フロー債務を満たすだけの十分な能力を有しており、( )長期的な経済状況および事業状況の不利な変動が必ずしも債務者の契約上のキャッシュ・フロー債務の履行能力を低下させる可能性がない場合、信用リスクが低いと判断される。



貸付コミットメントおよび金融保証契約については、コミットメントが取消不能となった日が、当初認識日とみなされる。

当グループは、90日以上延滞している負債商品またはこの負債商品の5区分分類が破綻懸念、実質破綻、または破綻である場合（これら3つのカテゴリーは90日以上延滞している負債商品を含む）、負債商品が信用減損しているとみなしている。

#### （ ）ECLの測定

ECLの測定に用いられる主要なインプットは以下のとおりである。

- ・ デフォルト確率（PD）：12ヶ月または全期間におけるデフォルトの可能性の見積り。
- ・ デフォルト時損失率（LGD）：デフォルト時のエクスポージャーに対するデフォルトによって生じる損失の割合；
- ・ デフォルト時エクスポージャー（EAD）：負債商品に対するリスク・エクスポージャー。

これらの数値は通常、内部開発された統計モデルおよびその他の歴史的データから導き出され、将来予測的な情報を反映するために調整されている。

#### （ ）将来予測的な情報の取り込み

当グループは、資産の異なるリスク特性に基づき、金融資産を異なる資産グループに分類する。資産グループのリスク特性に従って、当グループは、モデル化のための過大な費用または労力なしに、当局が公表している外部データならびに内部のリスク・データを収集している。国内総生産（以下、「GDP」という。）、消費者物価指数（以下、「CPI」という。）、生産者物価指数（以下、「PPI」という。）および広義のマネー・サプライ（以下、「M2」という。）といった一般的な経済指標以外に、業種別指数、金利および為替レート、ならびに調査指数などのさまざまな他のカテゴリーの指標も含まれる。統計分析および専門家の判断に基づき、当グループは、マクロ経済指標およびリスク・パラメーターを予測するために複数の将来予測的なシナリオを設定している。当グループは、まずベースライン・シナリオに基づく経済指標の予測として、外部の権威ある組織が公表している予測を参照する。外部の予測がない場合、当グループは、当行の専門家が公表している予測および当該モデルのアウトプットを参照する。残りのシナリオの下での経済指標の予測については、分析および予測に関する実際の過去データを参照する。GDP（前年比成長率）およびCPI（前月比増加）を例にとると、ベースライン・シナリオに基づき2023年について当グループが適用した予測は、それぞれ4.80%（2022年：5.34%）および2.80%（2022年：2.43%）である

当グループは、定量的測定と専門家の判断を組み合わせ、ベースライン・シナリオを主要なシナリオとし、その他のシナリオを補足とする原則に基づき複数のシナリオの加重を設定する。2022年12月31日現在における当グループのベースライン・シナリオの加重は、最も高い。当グループの感応度テストの結果によれば、楽観的シナリオの加重が10%増加し、ベースライン・シナリオの加重が10%減少した場合、ECLの金額は、現在の結果に比べて約3.1%減少（2021年12月31日現在：約3.4%減少）することとなる。悲観的シナリオの加重が10%増加し、ベースライン・シナリオの加重が10%減少した場合、ECLの金額は、現在の結果に比べて約5.2%増加（2021年12月31日現在：約1.5%増加）することとなる。

当グループは、定期的にマクロ経済指標を予測し、加重された12ヶ月の予想信用損失（ステージ1）または加重された全期間の予想信用損失（ステージ2およびステージ3）に基づきECLを算定する。

#### （ ）共有リスク特性に基づくグループ化

当グループは主要な事業をホールセール事業、リテール事業およびクレジットカード事業に分けている。モデルは、共有リスク特性に基づき分類されており、参照指標には貸出金分類、事業の種類および担保の種類が含まれる。

#### （ ）最大エクスポージャー

保有する担保またはその他の信用補完を考慮しない当グループの信用リスクに対する最大エクスポージャーは、連結財政状態計算書上に開示されている関連金融資産（デリバティブを含む）の帳簿価額および注記58(a)に開示されているオフバランスシート項目の契約金額である。2022年12月31日現在、当グループの信用リスクの最大エクスポージャーの金額は、12,440,314百万人民元（2021年12月31日：11,235,033百万人民元）であった。

#### （ ）貸出条件が再交渉された顧客に対する貸出金

2022年12月31日現在、信用減損している貸出金で、貸出条件が再交渉された貸出金の帳簿価額は、12,076百万人民元（2021年12月31日：16,517百万人民元）であった。

#### （ ）不良債権

5区分の貸出金分類システムに基づき、当グループの不良債権は破綻懸念貸出金、実質破綻貸出金、および破綻貸出金に分類される。2022年12月31日現在、当グループは不良債権残高58,004百万人民元（2021年12月31日：50,862百万人民元）を有していた。

**( ) 債券投資の信用の質に関する格付けの結果**

報告期間末における、社外の指定信用格付機関であるスタンダード・アンド・プアーズによる債券投資の信用の質の分析は、以下のとおりである。

	2022年	2021年
減損している債券投資総額	398	340
減損引当金	(243)	(228)
小計	155	112
延滞も減損もしていない		
AAA	1,750,057	1,345,363
AA+からAA-	53,526	29,468
A+からA-	562,475	422,427
A-以下	33,429	28,415
格付けなし	38,966	57,994
減損引当金	(5,958)	(10,935)
小計	2,432,495	1,872,732
合計	2,432,650	1,872,844

注：

- ( ) 2022年12月31日現在、当グループが保有する政府および政策銀行によって発行された債券は2,094,902百万人民元（2021年12月31日：1,596,105百万人民元）であった。
- ( ) 上記の減損引当金は、償却原価で測定される負債投資のみに関するものである。

**( ) 担保**

延滞しているが減損していない金融資産に対して保有されている担保およびその他の信用補完の見積公正価値は、以下のとおりである。

	2022年	2021年
以下に対して保有されている担保およびその他の信用補完の見積公正価値		
- 顧客に対する貸出金	25,148	4,124

( ) 償却原価で測定される貸出金および負債投資の変動

償却原価で測定される貸出金

2022年

	- ステージ 1 (12ヶ月ECL)	- ステージ 2 (全期間ECL - 信用 減損していない)	- ステージ 3 (全期間ECL - 信用 減損している)	合計
期首残高	4,912,836	111,354	50,862	5,075,052
期中における純変動	425,054	(27,002)	(1,831)	396,221
以下への振替				
- ステージ 1	18,758	(18,644)	(114)	-
- ステージ 2	(103,532)	103,794	(262)	-
- ステージ 3	(35,248)	(13,117)	48,365	-
償却	-	(145)	(39,016)	(39,161)
期末残高	5,217,868	156,240	58,004	5,432,112

2021年

	- ステージ 1 (12ヶ月ECL)	- ステージ 2 (全期間ECL - 信用 減損していない)	- ステージ 3 (全期間ECL - 信用 減損している)	合計
期首残高	4,517,239	76,286	53,615	4,647,140
期中における純変動	468,264	(4,154)	(1,093)	463,017
以下への振替				
- ステージ 1	20,436	(20,293)	(143)	-
- ステージ 2	(69,411)	69,966	(555)	-
- ステージ 3	(23,692)	(10,451)	34,143	-
償却	-	-	(35,105)	(35,105)
期末残高	4,912,836	111,354	50,862	5,075,052

## 償却原価で測定される負債投資

## 2022年

	- ステージ 1 (12ヶ月ECL)	- ステージ 2 (全期間ECL - 信用 減損していない)	- ステージ 3 (全期間ECL - 信用 減損している)	合計
期首残高	1,183,320	1,962	24,077	1,209,359
期中における純変動	361,916	(275)	9,395	371,036
以下への振替				
- ステージ 1	3	(3)	-	-
- ステージ 2	(1,276)	1,276	-	-
- ステージ 3	(311)	(887)	1,198	-
償却	-	-	(550)	(550)
期末残高	1,543,652	2,073	34,120	1,579,845

## 2021年

	- ステージ 1 (12ヶ月ECL)	- ステージ 2 (全期間ECL - 信用 減損していない)	- ステージ 3 (全期間ECL - 信用 減損している)	合計
期首残高	1,044,826	971	14,590	1,060,387
期中における純変動	140,141	(656)	9,487	148,972
以下への振替				
- ステージ 1	-	-	-	-
- ステージ 2	(1,647)	1,647	-	-
- ステージ 3	-	-	-	-
償却	-	-	-	-
期末残高	1,183,320	1,962	24,077	1,209,359

## ( ) 金融商品の信用の質

償却原価で測定される顧客に対する貸出金および負債投資のステージ別の分析は、それぞれ注記22、注記23 (b)および注記60(a)( )に開示されている。信用コミットメントならびに金融保証および貸付コミットメントの予想信用損失引当金のステージ別の分析は、それぞれ注記58(a)および42に開示されている。その他の金融商品のステージ別の分析は、以下のとおりである。

2022年								
	元本				予想信用損失			
	ステージ1 (12ヶ月 ECL)	ステージ2 (全期間ECL - 信用減損 していない)	ステージ3 (全期間ECL - 信用減損 している)	合計	ステージ1 (12ヶ月 ECL)	ステージ2 (全期間ECL - 信用減損 していない)	ステージ3 (全期間ECL - 信用減損 している)	合計
中央銀行預け金	587,533	-	-	587,533	-	-	-	-
銀行およびその他金融機関 に対する預け金	91,574	2	11	91,587	(497)	(1)	(11)	(509)
銀行およびその他金融機関 に対する貸付金	264,782	-	-	264,782	(2,658)	-	-	(2,658)
売戻契約に基づく保有金額	277,421	-	140	277,561	(954)	-	(140)	(1,094)
FVTOCIで測定される負債投 資	767,905	3,211	155	771,271	(4,472)	(479)	(1,589)	(6,540)

2021年								
	元本				予想信用損失			
	ステージ1 (12ヶ月 ECL)	ステージ2 (全期間ECL - 信用減損 していない)	ステージ3 (全期間ECL - 信用減損 している)	合計	ステージ1 (12ヶ月 ECL)	ステージ2 (全期間ECL - 信用減損 していない)	ステージ3 (全期間ECL - 信用減損 している)	合計
中央銀行預け金	553,655	-	-	553,655	-	-	-	-
銀行およびその他金融機関 に対する預け金	80,653	-	11	80,664	(367)	-	(11)	(378)
銀行およびその他金融機関 に対する貸付金	196,245	106	-	196,351	(2,859)	(1)	-	(2,860)
売戻契約に基づく保有金額	528,424	-	140	528,564	(4,123)	-	(140)	(4,263)
FVTOCIで測定される負債投 資	626,007	2,236	112	628,355	(4,700)	(875)	(1,047)	(6,622)

注：上表に開示されている残高には、未収利息は含まれていない。

## (b) 市場リスク

市場リスクとは、当グループの金融商品の公正価値または将来キャッシュ・フローの変動につながる、金利、為替レート、コモディティ価格および株価などの観察可能な市場要因の変化による損失リスクのことである。金利および為替レートは、当グループに関する2つの主要な市場リスク要因である。当グループは、トレーディング勘定および銀行勘定の金融商品を通じて市場リスクに晒されている。トレーディング勘定の金融商品およびポジションはトレーディング目的またはトレーディング勘定のポジションから生じるリスクをヘッジする目的で保有されており、これらの金融商品は、制約なしに取引可能である。銀行勘定の金融商品は、相対的に安定した市場価値を有する算定可能なリターン、またはリスクヘッジを目的として保有される資産および負債であり、当グループのオンバランスシートおよびオフバランスシートのエクスポージャーの両方を含む。

## ( ) 為替リスク

為替リスクは、外貨建て資産、負債および資本項目、ならびに為替レートの不利な変動があった場合に当グループが損失に晒される可能性のある外貨および外貨建てデリバティブのポジションにより生じる。当グループの資産および負債は人民元建てであり、その他の通貨は主に米ドルおよび香港ドルである。当グループは、為替リスク管理の方針の設定、履行および監視を分離し、為替リスク管理のガバナンスに関する構造を設定している。この構造は、為替リスクの管理において、当行の取締役会、監査役会、上級経営陣、指定委員会および関連部署の役割、責任および指揮命令系統を規定している。当グループは為替リスク選好において慎重であり、自主的に為替リスクを取ることはない。この姿勢は当グループの現在の動向に合うものである。当グループの現在の為替リスク管理方針および手続きは規制上の要件および当グループの要件を満たしている。

### (1) トレーディング勘定

当グループは、集中管理を促進する目的上、トレーディング勘定の為替レート・リスクを定量化するために、為替レート・リスクを網羅するトレーディング勘定の市場リスク構造およびシステムを設定している。トレーディング勘定の為替レート・リスク管理の構造、プロセスおよび手法は、トレーディング勘定の金利リスクのものと整合している。

当グループは、為替リスクの管理に、エクスポージャー指標、市場バリュー・アット・リスク指標（以下、「VaR」という。金利、為替レートおよびコモディティ価格のリスク要因を網羅する。）、為替レート・シナリオのストレス・テストに関する損失指標、為替レートの感応度指標、累積損失指標等を含む定量的指標を導入している。管理手法には、権限の委譲、限度枠の設定、日次の監視、継続的な報告等が含まれる。

### (2) 銀行勘定

当グループの銀行勘定の為替リスクは本店によって一元的に管理されている。資産および負債管理部は当行のトレジャラーとして、銀行勘定の為替リスク管理を担当している。内部監査部は監査に責任を負う。当該トレジャラーは、取引限度額の管理および計画の調整等のアプローチを通じ、慎重なアプローチを用いて銀行勘定の為替リスクを管理し、規制上の要件に準拠する責任を担っている。

当グループの銀行勘定の為替リスクは、人民元建て以外の金融資産と負債のミスマッチから生じる。当グループは、許容範囲内で為替リスクを管理するために、為替リスクのエクスポージャーを厳重に監視している。

当グループは、為替エクスポージャーの分析、シナリオ・シミュレーション分析およびストレス・テストを用いて為替リスクの管理および分析を行っている。当グループは、銀行勘定の為替リスクを軽減するために、為替リスクのエクスポージャーの変動を定期的に測定・分析し、限度額に関する枠組みに基づき為替リスクを月次で監視・報告し、為替レートの変動の動向に基づき為替エクスポージャーを調整している。

当グループは、確実にリスクを合理的な範囲内でコントロールするために、引き続き銀行勘定の為替リスクの監視および承認管理を強化している。

(3) 主要通貨別の資産および負債は以下のとおりである。

	2022年						
	人民元相当					主要な元の通貨	
	人民元	米ドル	香港ドル	その他	合計	米ドル	香港ドル
資産							
現金および中央銀行預け金	555,828	41,978	2,766	2,170	602,742	6,039	3,103
銀行およびその他金融機関に対する預け金	491,188	100,237	22,244	16,000	629,669	14,420	24,951
顧客に対する貸出金	5,466,679	148,993	157,628	23,246	5,796,546	21,433	176,812
金融投資（デリバティブ金融資産を含む）	2,534,659	188,200	31,130	9,233	2,763,222	27,073	34,920
その他資産（注（ ））	244,335	95,541	3,313	3,544	346,733	13,744	3,716
合計	9,292,689	574,949	217,081	54,193	10,138,912	82,709	243,502
負債							
中央銀行からの借入金、ならびに銀行およびその他金融機関からの預かり金	970,667	92,817	3,961	5,507	1,072,952	13,353	4,443
顧客からの預金	6,964,197	361,242	160,496	49,807	7,535,742	51,967	180,029
FVTPLで測定される金融負債（デリバティブ金融負債を含む）	63,769	17,725	421	35	81,950	2,549	473
発行済負債証券	162,146	58,447	790	905	222,288	8,408	886
その他負債（注（ ））	247,646	11,235	11,944	917	271,742	1,618	13,397
合計	8,408,425	541,466	177,612	57,171	9,184,674	77,895	199,228
正味ポジション	884,264	33,483	39,469	(2,978)	954,238	4,814	44,274
正味オフバランスシート・ポジション：与信コミットメント（注（ ））	2,456,047	82,618	21,961	14,504	2,575,130	11,885	24,634
デリバティブ：							
- 先物買受	280,979	288,388	26,409	20,844	616,620	41,486	29,623
- 先物売渡	(253,696)	(294,290)	(19,462)	(14,878)	(582,326)	(42,335)	(21,831)
- 正味通貨オプション・ポジション	29,143	(32,690)	(10)	41	(3,516)	(4,703)	(11)
合計	56,426	(38,592)	6,937	6,007	30,778	(5,552)	7,781



2021年

	人民元相当					主要な元の通貨	
	人民元	米ドル	香港ドル	その他	合計	米ドル	香港ドル
<b>資産</b>							
現金および中央銀行預け金	487,777	57,919	18,482	2,787	566,965	9,089	22,611
銀行およびその他金融機関に対する預け金	668,673	108,887	12,162	8,356	798,078	17,085	14,879
顧客に対する貸出金	4,992,946	156,000	141,605	34,960	5,325,511	24,478	173,238
金融投資（デリバティブ金融資産を含む）	2,037,147	108,939	20,348	10,081	2,176,515	17,095	24,893
その他資産（注（ ））	254,488	111,972	10,513	4,979	381,952	17,569	12,862
合計	8,441,031	543,717	203,110	61,163	9,249,021	85,316	248,483
<b>負債</b>							
中央銀行からの借入金、ならびに銀行およびその他金融機関からの預かり金	1,115,553	108,820	4,894	9,327	1,238,594	17,075	5,988
顧客からの預金	5,830,585	346,349	129,300	40,844	6,347,078	54,346	158,184
FVTPLで測定される金融負債（デリバティブ金融負債を含む）	71,041	18,554	1,438	10	91,043	2,911	1,759
発行済負債証券	390,550	50,425	221	3,345	444,541	7,912	270
その他負債（注（ ））	235,507	16,336	9,317	924	262,084	2,565	11,399
合計	7,643,236	540,484	145,170	54,450	8,383,340	84,809	177,600
正味ポジション	797,795	3,233	57,940	6,713	865,681	507	70,883
正味オフバランスシート・ポジション：与信コミットメント（注（ ））	2,117,722	71,179	24,448	16,345	2,229,694	11,169	29,909
デリバティブ：							
- 先物買受	459,207	451,419	8,554	16,144	935,324	70,833	10,465
- 先物売渡	(388,786)	(395,153)	(10,651)	(9,748)	(804,338)	(62,004)	(13,030)
- 正味通貨オプション・ポジション	(93,522)	38,175	8	3,059	(52,280)	5,990	10
合計	(23,101)	94,441	(2,089)	9,455	78,706	14,819	(2,555)

注：

- ( )金融商品の未収利息および未払利息は、それぞれ「その他資産」および「その他負債」に含まれている。
- ( )与信コミットメントは、通常、実行前に失効するため、上記の正味ポジションは、将来キャッシュ・フローの流出額を表すものではない。

#### (4) 感応度分析

現行の管理変動相場制のもとで当グループは、当グループの純利益および資本に対する為替レート変動の潜在的影響を測定するために感応度分析を用いている。以下の表は、2022年12月31日および2021年12月31日現在におけるすべての関連する外国通貨の資産および負債についての当グループの為替リスク感応度分析の結果を示している。

	2022年		2021年	
	1 % 低下	1 % 上昇	1 % 低下	1 % 上昇
為替レートの変動				
純利益の（減少）／増加	(64)	64	(79)	79
資本の（減少）／増加	(284)	284	(262)	262

為替レートの変動によって生じる当グループの純利益および資本の実際の変動は、当感応度分析の結果とは異なる場合がある。

#### ( ) 金利リスク

金利リスクは金利および満期特性の不利な変化によって生じるリスクで、当グループが保有している金融商品およびポジションの市場価値の下落および利益に対する損失を生じさせることがある。

##### (1) トレーディング勘定

当グループは、リスク管理の基本原則に従い、市場リスク管理システムを構築し継続的に改良している。また、トレーディング勘定事業に関する金利リスク、為替リスク、コモディティおよびその他のリスクを対象とする、市場リスクの特定、測定、監視、統制および報告の管理プロセスを設定している。取締役会が策定した市場リスク選好に基づき、当グループは、トレーディング勘定のリスク・エクスポージャーを許容可能な範囲に収め、リスクおよびリターンの合理的なバランスを達成するために、トレーディング勘定の市場リスクの明確な特定、正確な測定および効果的な管理を行うことでトレーディング勘定を管理している。当グループは、株主の価値を最大化するために、常にリスク調整後のリターン水準を向上させている。

当グループのトレーディング勘定の市場リスク・ガバナンスの組織構造は、管理目的の達成を確実にするために、取締役会、取締役会のリスクおよび資本管理委員会、上級経営陣および当行関連部署の責任、役割分担および指揮命令系統を規定している。市場リスク管理部は、当グループのトレーディング勘定に対する責任を担っており、リスク方針の策定および管理業務を引き受けている。

当グループは、事業慣行および市場リスク・ガバナンスの組織構造に従って、トレーディング勘定の市場リスク限度額管理システムを設けている。最高水準の限度額は取締役会が決定するリスク選好に基づいており、上位から下位まで、レベルごとに伝達される。管理部門は、あらゆるレベルにおいて、その権限の範囲内で、リスク特性、商品の種類、取引戦略等に従って限度額を配分して設定する。事業部は、権限と限度額の要件に従って事業を実施し、監督および事務管理部は、全レベルで、限度額管理規程に従って継続的に監視および報告を行っている。

トレーディング勘定の市場リスク管理では、規模指数、ストップ・ロス指数、感応度指数、バリュー・アット・リスク指数、ストレス・テスト指数およびその他のリスク測定指数を限度指数として採用しており、リスク選好、リスク許容度、事業戦略、リスク・リターン、管理状況およびその他の要因を包括的に検討することによって、限度額を設定している。

当グループは、金利市場のリスク要因を特定、定量化するために、評価、感応度分析、バリュー・アット・リスク分析、ストレス・テストおよびその他の測定手法を使用している。当グループは、日々のリスク管理において市場リスク測定モデルを適用し、市場リスク測定を事業計画、資源配分、金融市場における事業活動およびリスク管理の基礎とみなしている。

## (2)銀行勘定

外部の規制要件および内部の銀行勘定の金利リスク管理方針に従って、当グループは、銀行勘定の金利リスク管理システムを構築し、継続的に改善を行っており、金利リスクの特定、測定、監視、管理および報告の管理プロセスを設定し、当行のオンバランスおよびオフバランスシート事業をすべて網羅している。当グループは、銀行勘定リスクの許容範囲内で正味受取利息（以下、「NII」という。）および株主資本の経済価値（以下、「EVE」という。）を安定的に増加させるために、取締役会が策定した銀行勘定の金利リスク選好のもとで、銀行勘定の金利リスクを明確に識別し、正確に測定し、効果的に管理している。

当グループのガバナンスおよび管理の枠組みは、金利リスク管理の有効性を確保するために、取締役会、上級経営陣、指定委員会および関連部署の責任、役割分担および指揮命令系統を規定している。銀行勘定の金利リスクは、本店の資産および負債管理部によって管理されている。本店の内部監査部は独立監査に責任を負っている。

当グループの銀行勘定の金利リスク選好は、中立的で慎重である。当グループは、実際の事業および銀行勘定の金利リスクのガバナンス構造に基づき、銀行勘定の金利リスク限度額管理システムを構築している。取締役会が設定したリスク選好の量的指標は最高水準の限度額であり、限度レベルを通じて上位から下位まで、レベルごとに伝達される。あらゆるレベルにおいて、その権限の範囲内で、リスク許容度、事業遂行戦略およびリスク管理目的に従って限度額を設定し、継続的に監視・報告する。当グループは、金利リスク管理戦略を策定し、マクロ経済環境および金利環境と合わせて、リスク測定および監視の結果に基づき当該戦略を定期的に追跡し見直しを行う。リスク管理の主な施策には、リスク・エクスポージャーの相殺を目的とした、オンバランスシート資産負債業務およびオフバランスシートのデリバティブの取引高、デュレーション構成および金利構成の調整が含まれる。

当グループは、銀行勘定の金利リスクの定期的な測定および分析に、主にシナリオ・シミュレーション分析、金利更改エクスポージャー分析およびデュレーション分析を用いている。ストレス・テストは、金利の極端な変動があった場合に、リスクに晒されている正味受取利息および資本の経済価値指標の変動を評価するために使用されるシナリオ・シミュレーションの形式である。当グループは、資産・負債管理システムを通じて銀行勘定の金利リスクを測定および監視する。また、測定プロセスに用いられる主要なモデルおよびパラメーターの仮定は、適用前に独立して検証され、適用後に定期的に見直され、検証される。報告期間における金利リスクの各種指標は、当行の銀行勘定の金利リスクが概ね安定しており、設定された限度内にとどまっていることを示していた。

(3)以下の表は、報告期間末における資産および負債の次の金利更改日(または満期日のいずれか早い方)を表  
示している。

2022年						
	合計	3ヶ月以内 (延滞額を 含む)	3ヶ月超 1年以内	1年超 5年以内	5年超	無利息
<b>資産</b>						
現金および中央銀行預け金	602,742	575,932	-	-	-	26,810
銀行およびその他金融機関に対 する預け金	629,669	516,309	99,288	14,059	13	-
顧客に対する貸出金(注( ))	5,796,546	2,234,889	3,028,371	473,932	59,354	-
金融投資(デリバティブ金融資 産を含む)	2,763,222	217,442	356,451	975,413	1,164,031	49,885
その他資産(注( ))	346,733	-	-	-	-	346,733
<b>資産合計</b>	<b>10,138,912</b>	<b>3,544,572</b>	<b>3,484,110</b>	<b>1,463,404</b>	<b>1,223,398</b>	<b>423,428</b>
<b>負債</b>						
中央銀行からの借入金、ならび に銀行およびその他金融機関 からの預かり金	1,072,952	915,004	142,452	10,501	4,995	-
顧客からの預金	7,535,742	5,528,249	860,746	1,111,583	31,365	3,799
FVTPLで測定される金融負債(デ リバティブ金融負債を含む)	81,950	-	3,006	5,231	73	73,640
リース負債	13,013	1,094	3,091	7,650	1,178	-
発行済負債証券	222,288	35,587	69,617	89,565	27,519	-
その他負債(注( ))	258,729	203	-	2,752	-	255,774
<b>負債合計</b>	<b>9,184,674</b>	<b>6,480,137</b>	<b>1,078,912</b>	<b>1,227,282</b>	<b>65,130</b>	<b>333,213</b>
資産・負債ギャップ	954,238	(2,935,565)	2,405,198	236,122	1,158,268	90,215
2021年						
	合計	3ヶ月以内 (延滞額を 含む)	3ヶ月超 1年以内	1年超 5年以内	5年超	無利息
<b>資産</b>						
現金および中央銀行預け金	566,965	537,981	-	-	-	28,984
銀行およびその他金融機関に対 する預け金	798,078	723,941	63,581	10,507	49	-
顧客に対する貸出金(注( ))	5,325,511	2,134,671	2,750,245	376,357	64,238	-
金融投資(デリバティブ金融資 産を含む)	2,176,515	159,659	288,349	884,079	795,611	48,817
その他資産(注( ))	381,952	-	-	-	-	381,952
<b>資産合計</b>	<b>9,249,021</b>	<b>3,556,252</b>	<b>3,102,175</b>	<b>1,270,943</b>	<b>859,898</b>	<b>459,753</b>
<b>負債</b>						
中央銀行からの借入金、ならび に銀行およびその他金融機関 からの預かり金	1,238,594	1,081,661	149,900	6,311	722	-
顧客からの預金	6,347,078	4,820,271	718,509	804,755	348	3,195
FVTPLで測定される金融負債(デ リバティブ金融負債を含む)	91,043	1,428	2,075	8,177	158	79,205
リース負債	13,812	1,042	2,989	8,153	1,628	-
発行済負債証券	444,541	96,239	220,608	88,974	38,720	-
その他負債(注( ))	248,272	84	-	-	-	248,188
<b>負債合計</b>	<b>8,383,340</b>	<b>6,000,725</b>	<b>1,094,081</b>	<b>916,370</b>	<b>41,576</b>	<b>330,588</b>
資産・負債ギャップ	865,681	(2,444,473)	2,008,094	354,573	818,322	129,165

注：（ ） 2022年12月31日および2021年12月31日現在、顧客に対する貸出金の「3ヶ月以内」の категорияには、延滞金額（減損引当金控除後）が含まれている。延滞金額は、貸出金の元本または利息の全額または一部が延滞していることを示している。

（ ） 金融商品の未収利息および未払利息は、それぞれ「その他資産」および「その他負債」に含まれている。

#### （4）感応度分析

当グループは、金利の変動による当グループの正味受取利息および資本への潜在的影響を測定するために感応度分析を用いている。以下の表は、2022年12月31日および2021年12月31日現在における資産および負債についての当グループの金利感応度分析の結果を表したものである。

金利の変動（ベース・ポイント）	2022年		2021年	
	25上昇	25低下	25上昇	25低下
正味受取利息の（減少）／増加	(4,412)	4,412	(3,605)	3,605
資本の（減少）／増加	(8,462)	8,586	(6,830)	6,927

上述の金利の感応度分析は、上表における金利変動の仮定に基づく今後12ヶ月の正味受取利息および資本の変動を示したものである。実際の状況は仮定と異なる場合があるため、金利変動がもたらす当グループの正味受取利息および資本の実際の変動は、当該感応度分析の結果と異なる場合がある。

#### （c）流動性リスク

流動性リスクとは、資産の増価に対処し、期限の到来した債務の返済、または、その他の支払義務を履行するために、当グループが合理的な費用で十分な資金をタイムリーに取得できないリスクである。

当グループは、流動性リスク管理の方針に従って、流動性リスク管理の方針の設定、履行および監視を分離しており、流動性リスク管理の有効性を確保するために取締役会、監査役会、上級経営陣、指定委員会および関連部署の役割、責任および指揮命令系統が定義されているガバナンスの枠組みについて整備している。取締役会は、流動性リスク管理の最終的な責任を持ち、当グループが流動性リスクを効果的に特定、測定、監視およびコントロールできるようにし、当グループが許容可能な流動性リスクの水準を決定する責任を担っている。取締役会の傘下にあるリスクおよび資本管理委員会は、取締役会の要求に従って、流動性リスク管理に対する責任を履行するものとする。監査役会は、流動性リスク管理における取締役会および上級経営陣の実績の監督・評価を行う責任を果たし、株主総会に報告するものとする。上級経営陣は、流動性リスクに関する管理業務に対する責任を担い、流動性リスクの変動を適時に把握し、これについて取締役会に報告を行う。資産・負債管理委員会（以下、「ALCO」という。）は、上級経営陣の要求に応じて、特定の流動性リスクの管理機能を果たす。本店の資産・負債管理部門は、ALCOの日次業務組織であり、流動性リスク管理に関する方針および手続きの策定ならびに流動性リスクの定性的かつ定量的分析を含む、具体的な各種管理業務の実施に責任を負う。内部監査部は、流動性リスク管理の監査業務に関する職務を遂行し、当グループの流動性リスク管理について包括的に監査を実施する。

当グループは流動性リスクの管理において慎重であり、この姿勢は当グループの現在の動向に整合している。  
当グループの既存の流動性リスク管理方針およびシステムは規制上の要件および当グループ自身の管理ニーズを満たしている。

当グループの流動性リスク管理は本店により調整され、支店はそれに一致した行動を取る。資産および負債管理部署は、当グループのトレジャラーとして活動し、日常的な流動性リスク管理を担当している。当該トレジャラーは、規制上の要件に基づく慎重主義に従って、限度額管理、予算管理、イニシアチブ負債管理および内部資金移転価格設定を通じて集中的な流動性管理を行っている。

当グループは、短期準備金ならびに中長期構成別に流動性リスクの測定、監視および特定を行う。また、一定の間隔で各種限度額指標を厳密に監視している。

当グループは、極端な状況における流動性リスク耐性を評価するために定期的にストレス・テストを実施している。規制当局により要求される年次のストレス・テストを除き、当グループは、現地および外国通貨に関連した流動性リスクについて月次でストレス・テストを行なっている。当グループは、流動性危機に対応する能力を継続的に改善するため、流動性に関する危機管理計画を策定し、流動性危機管理演習を行っている。

以下の表は、契約上の残存期間別の当グループの資産および負債の内訳を示している。

	2022年								
	要求払	1ヶ月以内	1ヶ月超 3ヶ月以内	3ヶ月超 1年以内	1年超 5年以内	5年超	無期限	延滞	合計
現金および中央銀行預け金 (注(i))	66,055	-	-	1,201	-	-	535,486	-	602,742
銀行およびその他金融機関に 対する預け金	62,456	368,268	84,572	99,288	15,072	13	-	-	629,669
顧客に対する貸出金	26,008	499,842	399,192	1,514,348	1,626,514	1,706,378	-	24,264	5,796,546
金融投資およびデリバティブ 金融資産(注( ))	4,213	99,154	105,394	372,002	995,867	1,166,665	19,139	788	2,763,222
-FVTPLで測定される金融投 資(デリバティブ金融資 産を含む)	4,213	79,576	42,022	99,531	158,992	52,081	5,723	-	442,138
-償却原価で測定される負 債投資	-	13,554	35,043	133,748	449,002	904,281	-	769	1,536,397
-FVTOCIで測定される負債 投資	-	6,024	28,329	138,723	387,873	210,303	-	19	771,271
-FVTOCIで測定する指定を 受けた持分投資	-	-	-	-	-	-	13,416	-	13,416
その他資産(注( ))	36,461	10,932	15,526	18,475	15,859	5,798	239,528	4,154	346,733
資産合計	195,193	978,196	604,684	2,005,314	2,653,312	2,878,854	794,153	29,206	10,138,912
中央銀行からの借入金、銀行 およびその他金融機関から の預かり金	515,446	264,739	116,971	148,556	20,817	6,423	-	-	1,072,952
顧客からの預金	4,746,035	384,557	393,284	861,631	1,115,153	35,082	-	-	7,535,742
FVTPLで測定される金融負債 (デリバティブ金融負債を 含む)	12,950	12,026	12,971	12,415	11,457	20,131	-	-	81,950
リース負債	-	503	591	3,091	7,650	1,178	-	-	13,013
発行済負債証券	-	3,939	27,886	73,379	89,565	27,519	-	-	222,288
その他負債(注( ))	159,820	26,774	19,358	23,667	28,868	242	-	-	258,729
負債合計	5,434,251	692,538	571,061	1,122,739	1,273,510	90,575	-	-	9,184,674
(売り持ち)/買い持ちポジ ション	(5,239,058)	285,658	33,623	882,575	1,379,802	2,788,279	794,153	29,206	954,238

2021年

	要求払	1ヶ月以内	1ヶ月超 3ヶ月以内	3ヶ月超 1年以内	1年超 5年以内	5年超	無期限	延滞	合計
現金および中央銀行預け金 (注(1))	79,129	-	-	-	-	-	487,836	-	566,965
銀行およびその他金融機関に 対する預け金	59,862	601,897	60,072	65,405	10,793	49	-	-	798,078
顧客に対する貸出金	20,719	545,165	368,482	1,333,756	1,387,033	1,650,468	-	19,888	5,325,511
金融投資およびデリバティブ 金融資産(注( ))	4,058	88,783	60,315	304,846	912,392	795,813	10,071	237	2,176,515
-FVTPLで測定される金融投 資(デリバティブ金融資 産を含む)	4,058	67,589	31,524	95,228	134,821	35,217	3,076	-	371,513
-償却原価で測定される負 債投資	-	8,882	11,185	133,930	425,327	590,091	-	237	1,169,652
-FVTOCIで測定される負債 投資	-	12,312	17,606	75,688	352,244	170,505	-	-	628,355
-FVTOCIで測定する指定を 受けた持分投資	-	-	-	-	-	-	6,995	-	6,995
その他資産(注( ))	103,999	10,432	13,946	14,551	14,891	6,107	214,113	3,913	381,952
資産合計	267,767	1,246,277	502,815	1,718,558	2,325,109	2,452,437	712,020	24,038	9,249,021
中央銀行からの借入金、銀行 およびその他金融機関から の預かり金	627,957	313,745	122,210	153,551	18,350	2,781	-	-	1,238,594
顧客からの預金	4,185,788	315,077	316,452	719,506	809,176	1,079	-	-	6,347,078
FVTPLで測定される金融負債 (デリバティブ金融負債を 含む)	12,942	13,301	11,720	13,740	20,629	18,711	-	-	91,043
リース負債	-	506	536	2,989	8,153	1,628	-	-	13,812
発行済負債証券	-	21,181	70,472	222,647	88,974	41,267	-	-	444,541
その他負債(注( ))	160,991	37,159	15,455	24,744	9,404	519	-	-	248,272
負債合計	4,987,678	700,969	536,845	1,137,177	954,686	65,985	-	-	8,383,340
(売り持ち)/買い持ちポジ ション	(4,719,911)	545,308	(34,030)	581,381	1,370,423	2,386,452	712,020	24,038	865,681

注：

- ( ) 現金および中央銀行預け金のうち、期間が無期限の金額は、法定預託準備金および財政預金残高を示している。
- ( ) 金融投資に含まれるFVTPLで測定される金融投資の満期日は、当グループがそれらを満期まで保有する意思を示すものではない。
- ( ) 金融商品の未収利息および未払利息は、それぞれ「その他資産」および「その他負債」に含まれている。

以下の表は、報告期間末における当グループの非デリバティブ金融資産、金融負債、リース負債および貸付コミットメント総額の割引前の約定キャッシュ・フローの分析を示している。これらの金融商品に関する当グループの予測キャッシュ・フローは、この分析と著しく異なる場合がある。

	2022年									
	帳簿価額	合計	要求払	1ヶ月以内	1ヶ月超 3ヶ月以内	3ヶ月超 1年以内	1年超 5年以内	5年超	無期限	延滞
<b>非デリバティブ金融資産</b>										
現金および中央銀行預け金	602,742	602,742	66,055	-	-	1,201	-	-	535,486	-
銀行およびその他金融機関に対する預け金	629,669	631,123	62,467	368,531	85,088	99,900	15,124	13	-	-
顧客に対する貸出金	5,796,546	7,132,934	26,024	516,746	433,106	1,694,961	2,071,922	2,365,750	-	24,425
金融投資	2,744,551	3,251,681	4,102	101,509	112,634	415,839	1,184,020	1,413,650	19,139	788
-FVTPLで測定される金融投資	423,467	439,231	4,102	76,314	38,048	96,166	161,826	57,052	5,723	-
-償却原価で測定される負債投資	1,536,397	1,919,576	-	17,387	42,650	166,559	588,262	1,103,949	-	769
-FVTOCIで測定される負債投資	771,271	879,458	-	7,808	31,936	153,114	433,932	252,649	-	19
-FVTOCIで測定する指定を受けた持分投資	13,416	13,416	-	-	-	-	-	-	13,416	-
その他資産	89,425	89,425	35,078	10,381	15,434	17,310	1,534	605	4,929	4,154
合計	9,862,933	11,707,905	193,726	997,167	646,262	2,229,211	3,272,600	3,780,018	559,554	29,367
<b>非デリバティブ金融負債およびリース負債</b>										
中央銀行からの借入金、ならびに銀行およびその他金融機関からの預かり金	1,072,952	1,084,577	515,448	265,758	118,566	151,289	26,391	7,125	-	-
顧客からの預金	7,535,742	7,794,971	4,847,726	389,687	403,223	894,832	1,223,242	36,261	-	-
FVTPLで測定される金融負債	63,314	63,506	12,085	9,000	8,927	5,486	7,988	20,020	-	-
リース負債	13,013	14,292	-	505	599	3,328	8,386	1,474	-	-
発行済負債証券	222,288	235,656	-	4,480	28,783	76,447	96,703	29,243	-	-
その他負債	162,409	162,409	62,796	27,724	11,623	28,870	31,154	242	-	-
合計	9,069,718	9,355,411	5,438,055	697,154	571,721	1,160,252	1,393,864	94,365	-	-
貸付コミットメント総額	-	1,573,991	1,573,991	-	-	-	-	-	-	-



2021年

	帳簿価額	合計	要求払	1ヶ月以内	1ヶ月超 3ヶ月以内	3ヶ月超 1年以内	1年超 5年以内	5年超	無期限	延滞
<b>非デリバティブ金融資産</b>										
現金および中央銀行預け金	566,965	566,965	79,129	-	-	-	-	-	487,836	-
銀行およびその他金融機関に対する預け金	798,078	800,869	59,862	602,201	62,062	65,229	11,466	49	-	-
顧客に対する貸出金	5,325,511	6,680,629	20,719	560,371	398,738	1,503,759	1,831,318	2,345,796	-	19,928
金融投資	2,153,125	2,540,798	3,715	90,330	67,149	339,704	1,050,476	979,116	10,071	237
-FVTPLで測定される金融投資	348,123	355,501	3,715	64,405	28,852	90,837	127,527	37,089	3,076	-
-償却原価で測定される負債投資	1,169,652	1,453,059	-	12,008	17,405	159,993	529,031	734,385	-	237
-FVTOCIで測定される負債投資	628,355	725,243	-	13,917	20,892	88,874	393,918	207,642	-	-
-FVTOCIで測定する指定を受けた持分投資	6,995	6,995	-	-	-	-	-	-	6,995	-
その他資産	154,308	154,308	102,918	9,891	13,745	13,795	1,848	528	7,670	3,913
合計	8,997,987	10,743,569	266,343	1,262,793	541,694	1,922,487	2,895,108	3,325,489	505,577	24,078
<b>非デリバティブ金融負債およびリース負債</b>										
中央銀行からの借入金、ならびに銀行およびその他金融機関からの預かり金	1,238,594	1,245,870	628,157	315,523	123,610	156,000	19,668	2,912	-	-
顧客からの預金	6,347,078	6,500,805	4,215,760	318,932	323,909	754,023	887,030	1,151	-	-
FVTPLで測定される金融負債	63,761	64,232	12,926	10,408	7,387	4,748	10,068	18,695	-	-
リース負債	13,812	15,087	-	511	545	3,080	8,974	1,977	-	-
発行済負債証券	444,541	459,323	-	22,002	70,839	226,189	94,221	46,072	-	-
その他負債	158,091	158,091	74,533	36,128	15,454	23,052	8,406	518	-	-
合計	8,265,877	8,443,408	4,931,376	703,504	541,744	1,167,092	1,028,367	71,325	-	-
貸付コミットメント総額	-	1,386,481	1,386,481	-	-	-	-	-	-	-

注：金融商品の未収利息および未払利息は、それぞれ「その他資産」および「その他負債」に含まれている。

#### (d) 業務リスク

業務リスクは、内部手続き、人事またはIT構造に関する不備および業務に影響を及ぼす外部事象により被る損失から生じる。業務リスクには法的リスクが含まれるが、戦略リスクおよびレピュテーション・リスクは含まれない。

報告期間中、当グループは、当グループの業務リスク管理能力および有効性を高める目的で、主要分野における業務リスクの特定、評価および監視を向上させ、プロセス、方針、従業員制度および重要なコントロール・セグメントの既存の問題に重点を置くことで、リスク管理の枠組みおよび手法、査定ならびに評価メカニズムをさらに改善し、経済的資本配分メカニズムを強化にしている。すべての主要な指標が当グループのリスク選好要件を満たしている。

内部および外部の業務や管理の課題を勘案して、当グループは、業務リスクによる損失の防止および削減を目的として、そのリスク選好に基づき継続的にリスク管理能力を向上させ、業務リスクの監視およびコントロールを強化していく。

## (e) 資本管理

当グループの資本管理の目的は以下のとおりである。

- 自己資本比率を妥当な水準に維持し、資本特有の規制上の規定および政策要件を継続的に満たし、事業拡大、社会的責任および包括的かつ調和のとれた持続可能な成長を達成するための戦略的計画の実施を支援するために強固な資本基盤を維持すること
- 自己資本要件に準拠し、内部の自己資本比率評価手続きを行い、資本管理に関する情報を公開し、すべてのリスクを完全にカバーし、グループ全体の安全な運営を保証すること
- 様々なリスク特有の定量的成果物を完全に適用することによって、経済的な資本集約型の銀行価値管理システムを設置し、意思決定プロセスおよび管理応用体制を向上させ、資本抑制および資本インセンティブメカニズムを強化し、顧客の価格決定および意思決定を支援する能力を増強し、資本配分効率を高めること
- あらゆる種類の資本商品を合理的に利用し、継続的に資本力を向上させ、資本構成を改善し、資本の質を高め、資本コストを減らし、株主に最善のリターンを創出すること。

当グループは、資本構成を管理し、経済状況および業務のリスク特性に基づき資本構成を調整する。当グループは、資本構成の維持または調整のために利益配分方針を変更し、株式、その他Tier 1 資本商品、適格Tier 2 資本商品および転換社債の発行または買戻しを行う可能性がある。当グループの経営陣は定期的に、CBIRCが規定するアプローチに基づき、自己資本比率を監視している。当グループおよび当行は、要求された情報を四半期ごとにCBIRCに提出している。

当グループの自己資本比率の計算は、当行およびその子会社を対象としている。当行の自己資本比率の計算は、当行のすべての支店を対象としている。2022年12月31日現在、自己資本比率の計算に含まれている当グループの子会社は、CMB WLB、CMBIC、CMBFL、CMFM、CMBWM、招商信諾資産管理有限公司および招商（欧州）有限公司等である。

2013年1月1日から、当グループは、CBIRCの商業銀行の資本に係る行政措置（暫定）およびその他の関連規制に準拠して自己資本比率を算出している。2014年4月18日、CBIRCは、当行が先進的な資本管理アプローチを適用することを承認した。承認された範囲内で、当行は法人および金融機関のリスク・エクスポージャーの算定に基礎的な内部格付に基づくアプローチを、個人顧客のリスク・エクスポージャーの算定に先進的な内部格付に基づくアプローチを、市場リスクの算定に内部モデルに基づくアプローチを、業務リスクの算定に標準的測定アプローチを使用することが可能であった。同時にCBIRCは、先進的な測定アプローチの採用につき承認を得た商業銀行のための移行期間を設けた。移行期間中、商業銀行は先進的な測定アプローチとその他のアプローチの両方を用いて自己資本比率を算定し、最低資本要件を遵守しなければならない。

当グループの資本管理は、自己資本比率管理に焦点を当てている。自己資本比率は、当グループの健全な業務およびリスク耐性を反映するものである。当グループの自己資本比率管理の目的は、実際のリスク特性に従い、他の世界的な主要銀行の自己資本比率水準および当グループの業務状況を考慮に入れながら、規制当局が法的に要求する自己資本比率を慎重に決定することである。

当グループは、戦略的事業展開計画、事業拡大状況およびリスク変動のトレンドなどの要因を考慮しながらシナリオ・シミュレーションおよびストレス・テストを使用することによって、自己資本比率を予測、計画および管理している。

#### (f) デリバティブの使用

デリバティブは、外国為替市場および金利市場において当グループが実施している先渡、スワップおよびオプション取引を含む。

当グループは、資金運用業務ならびに資産および負債を管理する目的で、金利、為替およびその他の金融デリバティブ取引を行っている。当グループのデリバティブは、公正価値ヘッジおよびキャッシュ・フロー・ヘッジ目的で保有される金融商品および損益を通じて公正価値評価する指定を受けた金融商品に分けることができる。

当グループは、当グループの資産および負債に関連した金利／為替レートリスク・プロファイル、ならびに将来の金利／為替レート変動に関する当グループの分析および判断を踏まえて適切なヘッジ戦略を策定し、適正なツールを使用する。

当グループは、資産または負債が外貨建てである場合に為替リスクに晒されている。そうしたリスクは為替予約または為替オプションを利用することによって相殺することができる。

キャッシュ・フロー・ヘッジにおいては、当グループは、ヘッジ手段として金利スワップを用いて人民元建て貸付および銀行間資産または負債から生じる金利リスクをヘッジしている。

以下の表は、残存期間ごとに分類した当グループのデリバティブの想定元本およびそれに対応する報告期間末における公正価値の分析を示している。デリバティブの想定元本は、報告期間末において履行されていない取引高を示しており、リスクの金額を示しているわけではない。

	2022年						
	以下の残存期間の想定元本					公正価値	
	3ヶ月以内	3ヶ月から1年	1年から5年	5年超	合計	資産	負債
<b>損益を通じて公正価値評価されるデリバティブ</b>							
金利デリバティブ	60,013	734,650	735,046	4,720	1,534,429	6,246	(6,062)
金利スワップ	60,013	734,241	735,046	4,720	1,534,020	6,246	(6,062)
債券先物	-	409	-	-	409	-	-
<b>為替デリバティブ</b>	513,568	329,319	27,320	1,198	871,405	11,348	(11,449)
先渡	21,443	4,812	645	1,198	28,098	487	(328)
為替スワップ	347,432	226,332	17,724	-	591,488	9,263	(7,304)
先物	1,043	81	-	-	1,124	-	-
オプション	143,650	98,094	8,951	-	250,695	1,598	(3,817)
<b>その他デリバティブ</b>	91,064	520	640	34	92,258	867	(856)
買建株式オプション	42,889	57	-	34	42,980	554	-
売建株式オプション	42,909	57	-	-	42,966	-	(472)
商品取引スワップ	5,266	406	-	-	5,672	313	(330)
クレジット・デフォルト・スワップ	-	-	640	-	640	-	(54)
<b>公正価値ヘッジ目的のデリバティブ</b>							
為替デリバティブ	-	1,316	781	-	2,097	28	(153)
為替スワップ	-	1,316	781	-	2,097	28	(153)
<b>キャッシュ・フロー・ヘッジ目的のデリバティブ</b>							
金利デリバティブ	2,393	100	1,804	709	5,006	182	-
金利スワップ	2,373	100	1,804	709	4,986	182	-
金利オプション	20	-	-	-	20	-	-
<b>FVTPLで測定する指定を受けた金融商品と併せて管理されるデリバティブ</b>							
金利デリバティブ	-	3,085	717	-	3,802	-	(47)
金利スワップ	-	3,085	717	-	3,802	-	(47)
為替デリバティブ	-	-	728	-	728	-	(69)
為替スワップ	-	-	728	-	728	-	(69)
<b>合計</b>	<b>667,038</b>	<b>1,068,990</b>	<b>767,036</b>	<b>6,661</b>	<b>2,509,725</b>	<b>18,671</b>	<b>(18,636)</b>

2021年

	以下の残存期間の想定元本					公正価値	
	3ヶ月 以内	3ヶ月 から1年	1年から 5年	5年超	合計	資産	負債
<b>損益を通じて公正価値評価されるデリバティブ</b>							
金利デリバティブ	567,612	823,679	1,237,360	4,966	2,633,617	11,720	(11,974)
金利スワップ	565,833	823,679	1,237,360	4,966	2,631,838	11,720	(11,974)
債券先物	391	-	-	-	391	-	-
債券オプション	1,388	-	-	-	1,388	-	-
為替デリバティブ	647,081	506,850	29,615	1,052	1,184,598	10,041	(13,966)
先渡	26,577	14,373	1,517	1,052	43,519	985	(164)
為替スワップ	485,140	357,685	20,086	-	862,911	7,530	(7,048)
先物	587	1,157	-	-	1,744	-	-
オプション	134,777	133,635	8,012	-	276,424	1,526	(6,754)
その他デリバティブ	134,230	5,424	277	-	139,931	1,472	(1,237)
買建株式オプション	62,094	907	-	-	63,001	344	-
売建株式オプション	62,094	907	-	-	63,001	-	(265)
商品取引スワップ	10,001	3,475	60	-	13,536	1,128	(751)
エクイティ・スワップ	41	135	217	-	393	-	(221)
<b>公正価値ヘッジ目的のデリバティブ</b>							
為替デリバティブ	-	-	830	-	830	-	(16)
為替スワップ	-	-	830	-	830	-	(16)
<b>キャッシュ・フロー・ヘッジ目的のデリバティブ</b>							
金利デリバティブ	-	-	2,883	702	3,585	46	-
金利スワップ	-	-	2,883	702	3,585	46	-
<b>FVTPLで測定する指定を受けた金融商品と併せて管理されるデリバティブ</b>							
金利デリバティブ	191	967	3,486	-	4,644	111	(17)
金利スワップ	191	967	3,486	-	4,644	111	(17)
為替デリバティブ	-	72	530	-	602	-	(72)
為替スワップ	-	72	530	-	602	-	(72)
<b>合計</b>	<b>1,349,114</b>	<b>1,336,992</b>	<b>1,274,981</b>	<b>6,720</b>	<b>3,967,807</b>	<b>23,390</b>	<b>(27,282)</b>

2022年および2021年12月31日に終了した事業年度に、キャッシュ・フロー・ヘッジの非有効部分はなかった。

これらのデリバティブの信用リスク加重金額は以下のとおりである。

	2022年	2021年
契約相手方の債務不履行リスク加重資産	1,500	3,627
金利デリバティブ	137	139
為替デリバティブ	1,242	3,048
その他デリバティブ	121	440
信用評価調整リスク加重資産	2,187	2,382
合計	3,687	6,009

当グループは、CBIRCが公表している「デリバティブに関する契約相手方の債務不履行リスク加重資産に関する措置の通知」および関連規定に従ってデリバティブのエクスポージャーを算定している。これらの金額は双務的相殺契約の影響を考慮している。デリバティブに関するリスク加重金額は、CBIRCが公表している商業銀行の資本に係る行政措置（暫定）に従って算定される金額である。2014年4月にCBIRCが承認した範囲内の金額は内部格付に基づくアプローチを用いて算定され、内部格付に基づくアプローチを使用することが適格でない金額の算定には加重アプローチが適用される。

## (g) 公正価値情報

### ( ) 金融商品の公正価値を決定する手法

当グループの多くの会計方針および開示規定は、金融および非金融資産・負債の公正価値の測定について定めている。

当グループは、公正価値の測定を統括する管理の枠組みを設定している。これには、3つのレベルの公正価値を含むすべての重要な公正価値測定の監視に全責任を負う評価チームが含まれる。

評価チームは定期的に、重要な観察不能なインプットおよび評価調整の見直しを行っている。公正価値の測定にブローカーの相場やプライシング・サービスなどの第三者の情報が用いられる場合には、評価チームは、こうした評価がIFRSの要件（公正価値階層のレベルの分類を含む）を満たしているという結論を裏付けるために第三者から取得した証拠を評価している。

資産または負債の公正価値を測定する際、当グループは可能な限り観察可能な市場データを使用する。公正価値は、評価技法で用いられるインプットに基づき公正価値階層の異なるレベルに分類される。

公正価値測定が分類されるレベルは、公正価値測定全体に対して重要である最も低いレベルのインプットの公正価値階層のレベルで決定される。このレベルは以下のとおり定義されている。

- ・ レベル1のインプット - 同一の資産または負債について測定日に観察可能な活発な市場における相場価格（未調整）
- ・ レベル2のインプット - 原資産または負債のインプットについて直接的または間接的に観察可能なレベル1に含まれる相場価格以外のインプット
- ・ レベル3のインプット - 資産または負債に関する観察不能なインプット

当グループは、公正価値階層のレベル間での振替を、その振替が発生した時点で認識している。

公正価値で測定される当グループの資産および負債は、経常的に測定される。当グループは、非経常的に公正価値で測定される資産または負債を有していない。

### ( ) 報告期間末現在の継続的に公正価値で測定される保有資産および負債

下記の表は、報告期間末における、各報告日に継続的に公正価値で測定される当グループの資産および負債の公正価値情報ならびに公正価値階層を示したものである。

	2022年			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
<b>資産</b>				
FVTPLで測定される金融投資	16,175	390,702	4,714	411,591
- 負債証券	15,497	187,349	359	203,205
- 貴金属関連契約の買い持ちポジション	108	-	-	108
- 持分投資	494	392	3,493	4,379
- ファンド投資	76	199,665	798	200,539
- 資産運用商品	-	2,543	-	2,543
- その他	-	753	64	817
FVTPL区分の指定を受けた金融投資	948	10,928	-	11,876
- 負債証券	948	10,928	-	11,876
デリバティブ金融資産	-	18,671	-	18,671
FVTPLで測定される顧客に対する貸出金	-	3	4,991	4,994
FVTOCIで測定される負債投資	136,831	643,518	-	780,349
FVTOCIで測定される顧客に対する貸出金	-	514,051	100,430	614,481
FVTOCI区分の指定を受けた持分投資	3,164	2,862	7,390	13,416
合計	157,118	1,580,735	117,525	1,855,378
<b>負債</b>				
トレーディング目的保有金融負債	17,917	330	-	18,247
- 貴金属関連の金融負債	17,634	-	-	17,634
- 債券の売り持ちポジション	283	330	-	613
FVTPL区分の指定を受けた金融負債	21,879	20,541	2,647	45,067
- 金融機関からの貴金属の預け入れ	14,170	-	-	14,170
- 譲渡性預金証書	-	383	-	383
- 発行済負債証券	7,709	-	-	7,709
- その他	-	20,158	2,647	22,805
デリバティブ金融負債	-	18,636	-	18,636
合計	39,796	39,507	2,647	81,950

## 2021年

	レベル1	レベル2	レベル3	合計
<b>資産</b>				
FVTPLで測定される金融投資	20,517	292,849	4,879	318,245
- 負債証券	19,102	127,411	373	146,886
- 貴金属関連契約の買い持ちポジション	102	-	-	102
- 持分投資	1,180	2	3,727	4,909
- ファンド投資	133	161,865	772	162,770
- 資産運用商品	-	2,396	-	2,396
- その他	-	1,175	7	1,182
FVTPL区分の指定を受けた金融投資	1,022	28,856	-	29,878
- 負債証券	1,022	28,856	-	29,878
デリバティブ金融資産	-	23,390	-	23,390
FVTPLで測定される顧客に対する貸出金	-	-	7,281	7,281
FVTOCIで測定される負債投資	127,847	508,191	-	636,038
FVTOCIで測定される顧客に対する貸出金	-	431,291	56,713	488,004
FVTOCI区分の指定を受けた持分投資	2,269	-	4,726	6,995
合計	151,655	1,284,577	73,599	1,509,831
<b>負債</b>				
トレーディング目的保有金融負債	16,832	185	-	17,017
- 貴金属関連の金融負債	16,406	-	-	16,406
- 債券の売り持ちポジション	426	185	-	611
FVTPL区分の指定を受けた金融負債	19,569	19,028	8,147	46,744
- 金融機関からの貴金属の預け入れ	11,596	-	-	11,596
- 譲渡性預金証書	-	377	-	377
- 発行済負債証券	7,600	-	-	7,600
- その他	373	18,651	8,147	27,171
デリバティブ金融負債	-	27,282	-	27,282
合計	36,401	46,495	8,147	91,043

2022年および2021年12月31日に終了した事業年度中に、公正価値階層のレベル1とレベル2の間の金融商品の重要な振替は行われなかった。

**(1) レベル1に分類される継続的な公正価値測定に関する市場価格決定の基礎**

活発な市場での相場価格のある金融商品に関しては、ブルームバーグ等が使用されている。



## (2) レベル2に分類される継続的な公正価値測定に用いられた評価技法および主要パラメーターの定性的情報

中国債券ウェブサイトで評価日の価値が入手可能な人民元建て債券の公正価値は、入手可能な最新の評価結果を使用して測定される。

活発な市場での相場価格のない外貨建債券の公正価値は、ブルームバーグ等によって公表された包括的評価を使用して測定される。

デリバティブ金融商品の先物外国為替契約の公正価値は、当該先物外国為替予約の約定価格と市場の先物価格との差額を割り引くことによって測定される。使用される割引率は、報告期間末現在で適用される人民元建てスワップ・イールド・カーブである。

外国為替オプション、コモディティ・オプションおよび株式オプション等のオプション契約の公正価値は、ブラック・ショールズ・モデルを使用して、無リスク金利、基礎となる市場価格ならびに外国為替、コモディティおよび株式契約の価格のボラティリティ等の市場データを用いて測定される。使用される上記の市場データは、ブルームバーグ、リフィニティブ、ウィンドおよびその他の相場情報提供者によって提供される活発な市場の相場価格である。

デリバティブ金融商品の金利スワップ、為替スワップおよびオプション以外のコモディティ契約の公正価値は、報告期間末に当該スワップが解約されたとの仮定に基づき予想受取額または予想支払額を割り引くことによって測定される。使用される割引率は、報告期間末現在の関連する通貨建てスワップ・イールド・カーブである。

市場における観察可能な相場価格が、FVTPLで測定される持分投資、投資ファンドおよび資産運用商品の価値を決定する基準として、使用されている。

中国本土において、FVTOCIおよびFVTPLで測定される割引手形の公正価値は、上海票据交易所股份有限公司が発表する再割引手形の金利に基づいて測定される。当グループは割引手形の価値の算定基準として10日間平均の割引金利を用いている。当該価値は割引キャッシュ・フロー法によって測定される。使用される割引率は、S&P、ムーディーズまたはフィッチによるローン顧客の信用格付、顧客の業界、貸出金の満期までの期間、通貨および発行体の信用スプレッドなどの要因によって決定される。

FVTOCI区分の指定を受けた持分投資の公正価値は、最近の取引価格に基づいて、またはブルームバーグにおける包括的評価を使用して測定される。

発行済譲渡性預金の公正価値は、ブルームバーグにおける包括的評価を使用して測定される。

FVTPLで測定される金融投資の「その他」の公正価値は、純資産価値に基づいて測定される。

その他のFVTPL区分の指定を受けた金融負債の公正価値は、基礎となる投資ポートフォリオの観察可能な（相場）価格および関連費用の調整を参照して決定されるファンドの純資産価値に基づいて測定される。

(3) レベル3に分類される継続的な公正価値測定に用いられた評価技法および主要パラメーターの定量的情報

	2022年12月31日 現在の公正価値	評価技法	観察不能なインプット
FVTOCIの指定を受けた持分投資	2,725	市場法	流動性ディスカウント
FVTOCIの指定を受けた持分投資	101	割引キャッシュ・フロー法	リスク調整後の割引率、 キャッシュ・フロー
FVTOCIの指定を受けた持分投資	4,564	純資産価値法	純資産、流動性ディスカウ ント
FVTPLで測定される顧客に対する 貸出金	4,991	割引キャッシュ・フロー法	リスク調整後の割引率
FVTOCIで測定される顧客に対する 貸出金	100,430	割引キャッシュ・フロー法	リスク調整後の割引率
FVTPLで測定される金融投資			
- 持分投資	2,950	市場法	流動性ディスカウント
- 持分投資	528	割引キャッシュ・フロー法	リスク調整後の割引率、 キャッシュ・フロー
- 持分投資	15	純資産価値法	純資産、流動性ディスカウ ント
- 負債証券	359	割引キャッシュ・フロー法	リスク調整後の割引率
- ファンド投資	797	純ファンド価値法	純資産
- ファンド投資	1	市場法	流動性ディスカウント
- その他	64	純ファンド価値法	純資産
FVTPLの指定を受けた金融負債	2,647	純ファンド価値法	純資産、流動性ディスカウ ント
	2021年12月31日 現在の公正価値	評価技法	観察不能なインプット
FVTOCIの指定を受けた持分投資	873	市場法	流動性ディスカウント
FVTOCIの指定を受けた持分投資	3,853	純資産価値法	純資産、流動性ディスカウ ント
FVTPLで測定される顧客に対する 貸出金	7,281	割引キャッシュ・フロー法	リスク調整後の割引率
FVTOCIで測定される顧客に対する 貸出金	56,713	割引キャッシュ・フロー法	リスク調整後の割引率
FVTPLで測定される金融投資			
- 持分投資	3,491	市場法	流動性ディスカウント
- 持分投資	12	市場法（株価純資産倍率）	流動性ディスカウント
- 持分投資	209	割引キャッシュ・フロー法	リスク調整後の割引率、 キャッシュ・フロー
- 持分投資	15	純資産価値法	純資産、流動性ディスカウ ント
- 負債証券	373	割引キャッシュ・フロー法	リスク調整後の割引率
- ファンド投資	767	純ファンド価値法	純資産
- ファンド投資	5	市場法	流動性ディスカウント
- その他	7	市場法	流動性ディスカウント
FVTPLの指定を受けた金融負債	664	市場法	流動性ディスカウント
FVTPLの指定を受けた金融負債	7,483	純ファンド価値法	純資産、流動性ディスカウ ント

## 5) 重要な観察不能なインプットを用いた金融商品の評価

下記の表は、レベル3金融商品の期首残高から期末残高への変動を示したものである。

	FVTPLで測定 される金融 投資	FVTPLで測定 される顧客に 対する貸出金	FVTOCIで測定さ れる顧客に対す る貸出金	FVTOCIの指定 を受けた持分 投資	合計
<b>資産</b>					
2022年 1 月 1 日	4,879	7,281	56,713	4,726	73,599
<b>損益</b>					
- 損益	(14)	(366)	744	-	364
- その他包括利益	-	-	(107)	51	(56)
当期増加額	1,041	85	196,298	2,527	199,951
処分または満期支払い	(1,147)	(2,036)	(153,218)	(129)	(156,530)
レベル3からの振替	(145)	-	-	-	(145)
為替換算調整	100	27	-	215	342
2022年12月31日現在	4,714	4,991	100,430	7,390	117,525
報告期間末現在における保有資産 に関して連結損益計算書に計 上された未実現損益合計	(14)	(366)	-	-	(380)
	FVTPLで測定 される金融 投資	FVTPLで測定 される顧客に 対する貸出金	FVTOCIで測定さ れる顧客に対す る貸出金	FVTOCIの指定 を受けた持分 投資	合計
<b>資産</b>					
2021年 1 月 1 日	2,727	6,856	44,289	5,064	58,936
<b>損益</b>					
- 損益	339	287	1,365	-	1,991
- その他包括利益	-	-	48	1,050	1,098
当期増加額	1,832	143	118,229	721	120,925
処分または満期支払い	(68)	-	(107,218)	(2,158)	(109,444)
為替換算調整	49	(5)	-	49	93
2021年12月31日現在	4,879	7,281	56,713	4,726	73,599
報告期間末現在における保有資産 に関して連結損益計算書に計 上された未実現損益合計	339	287	-	-	626

損益を通じて公正価値評価される金融負債	2022年	2021年
1月1日現在残高	8,147	5,649
損益	(142)	470
当期増加額	96	3,105
処分および満期支払い	(5,695)	(860)
為替換算調整	241	(217)
12月31日現在残高	2,647	8,147
報告期間末現在における保有負債に関して連結損益計算書に計上された未実現損益合計	148	419

2022年および2021年12月31日に終了した事業年度において、継続的に公正価値で測定される金融商品の異なるレベル間の重要な振替はなかった。

2022年および2021年12月31日に終了した事業年度において、当グループは、上記に開示された継続的に公正価値で測定される金融資産および負債の評価技法を変更していない。

## ( ) 公正価値で測定されない金融資産および金融負債

### (1) 金融資産

公正価値で測定されない当グループの金融資産には主に中央銀行預け金、銀行およびその他金融機関に対する預け金および貸付金、売戻契約に基づいて保有する金額、償却原価で測定される顧客に対する貸出金、ならびに償却原価で測定される投資が含まれる。

償却原価で測定される貸出金および償却原価で測定される負債商品投資を除く金融資産のほとんどは1年以内に満期を迎えるため、帳簿価額はその公正価値に近似している。貸出金は、減損引当金控除後の償却原価で表示されている(注記22)。償却原価で測定される貸出金は、通常、ローンプライムレート(以下、「LPR」という。)を参照した変動金利で設定され、少なくとも年一回更改され、減損貸出金の帳簿価額を見積回収可能価額まで引き下げるよう減損引当金が設定される。したがって、貸出金の帳簿価額はその公正価値に近いものとなっている。

償却原価で測定される負債投資は、減損損失引当金控除後の償却原価で計上されている。上場投資の公正価値については注記23(b)に開示されている。

公正価値で測定されない償却原価で測定される負債投資の帳簿価額、公正価値および公正価値階層については以下に記載されている。

レベル1の公正価値測定は、ブルームバーグ等を用いた活発な市場における相場価格(未調整)に基づいている。レベル2については、中国債券ウェブサイトによって公表された最新の評価結果を用いて、人民元建て債券の公正価値の測定が行われる。レベル2のカテゴリーには、活発な市場の相場価格のない外貨建債券が含まれ、これらの債券はブルームバーグにより公表された包括的評価によって測定される。レベル3の公正価値は割引キャッシュ・フローの評価技法を用いて測定される。

		2022年				
償却原価で測定される 負債投資	帳簿価額	公正価値	レベル 1	レベル 2	レベル 3	
	1,536,397	1,569,775	41,700	1,434,070	94,005	
		2021年				
償却原価で測定される 負債投資	帳簿価額	公正価値	レベル 1	レベル 2	レベル 3	
	1,169,652	1,235,725	6,659	1,097,435	131,631	

注：上記の金融資産は、未収利息を含まない。

## (2) 金融負債

公正価値で測定されない金融負債には主に、顧客からの預金、銀行およびその他金融機関からの預かり金、買戻契約に基づいて売却された金額および当グループ発行の負債証券が含まれる。報告期間末において、下記を除く金融負債の帳簿価額は公正価値に近似している。

2022年					
	帳簿価額	公正価値	レベル 1	レベル 2	レベル 3
発行済劣後債	19,994	20,292	-	20,292	-
発行済長期負債証券	120,971	118,416	-	118,416	-
合計	140,965	138,708	-	138,708	-
2021年					
	帳簿価額	公正価値	レベル 1	レベル 2	レベル 3
発行済劣後債	34,236	35,173	-	35,173	-
発行済長期負債証券	159,306	160,893	-	160,893	-
合計	193,542	196,066	-	196,066	-

注：上記の金融資産は、未払利息を含まない。

## 61 重要な関連当事者取引

## (a) 重要な関連当事者情報

当行の主な株主および親会社の詳細は、以下のとおりである。

会社名	登記 所在地	発行済 および 全額 払込 済資本	各社が 保有する 当行の 株式数	各社の 当行 所有 比率	当行の 各社 所有比率	業務内容	当行 との 関係	法定 形式	法定 代表者
招商グループ (CMG)	北京	16,900 百万 人民元	7,559,427,375	29.97% (注( )) ( ))	-	運輸、海運、倉庫および 保管、リース、工場お よび設備製造、修理お よび請負、販売、業務 管理サービス等	筆頭株 主の親 会社	有限責任	繆建民
招商局輪船股 份有限公司 (CMSNCL)	北京	17,000 百万 人民元	3,289,470,337	13.04% (注( ))	-	運輸、営繕、調達、サブ ライ・チェーン・マネ ジメントおよび販売、 海運サービス等	筆頭株主	有限責任	繆建民
深圳市晏投資 发展有限公司	深圳	600 百万 人民元	1,258,542,349	4.99%	-	産業への投資、国内商 業、原料供給、マーケ ティング等	株主	有限責任	徐鑫
深圳市楚源投 資发展有限公 司	深圳	600 百万 人民元	944,013,171	3.74%	-	産業への投資、国内商 業、原料供給、マーケ ティング等	株主	有限責任	徐鑫
深圳市招融投 資控股有限公 司	深圳	7,778 百万 人民元	1,147,377,415	4.55%	-	産業への投資、国内商 業、原料供給、マーケ ティング等	株主	有限責任	繆建民
Best Winner Investment Co., Ltd.	英領バー ジン諸島	0.05 百万 米ドル	386,924,063	1.53%	-	-	株主	株式会社	-
China Merchants Union (BVI) Limited	英領バー ジン諸島	0.06 百万 米ドル	477,903,500	1.89%	-	-	株主	有限責任	-
招商局實業發 展（深圳）有 限公司	深圳	10 百万 米ドル	55,196,540	0.22%	-	産業への投資、企業経営 コンサルティングおよび 投資コンサルティング等	株主	有限責任	王效钉
中国遠洋海運 集团有限公司	北京	11,000 百万 人民元	2,515,193,034	9.97%(注 ( ))	-	国際海運業務、国際海運 の支援サービス、物品 および技術の輸出入、 国際貨物輸送業務等	株主の親 会社	有限責任	萬敏
中国遠洋運輸 有限公司	北京	16,191 百万 人民元	1,574,729,111	6.24%	-	運輸、リース業務、船舶 購買およびマーケティング 業務、倉庫事業等	株主	有限責任	萬敏
中遠海運（広 州）有限公司	広州	3,191 百万 人民元	696,450,214	2.76%	-	海運業務	株主	有限責任	寿健

会社名	登記 所在地	発行済 および 全額 払込 済資本	各社が 保有する 当行の 株式数	各社の 当行 所有 比率	当行の 各社 所有比率	業務内容	当行 との 関係	法定 形式	法定 代表者
広州海寧海務 技術諮詢有限 公司	広州	52 百万 人民元	103,552,616	0.41%	-	ビジネス・サービス	株主	有限責任	陳建堯
中遠海運（上 海）有限公司	上海	1,399 百万 人民元	75,617,340	0.30%	-	海運業務、リース業務、 船舶修理および造船等	株主	有限責任	趙邦涛
中遠海運投資 控股有限公司	香港	500 百万 香港ドル	54,721,930	0.22%	-	リース業務、金融業務、 保険業務等	株主	有限責任	王大雄
広州三鼎油運 貿易有限公司	広州	299百万 人民元	10,121,823	0.04%	-	船舶購買およびマーケ ティング業務、海運代 理、リース業務、海運 業務等	株主	有限責任	任照平
中国保険保障 基金有限公司	北京	100 百万 人民元	804,907,835	3.19% (注( ))	-	保険会社への投資および 国内外の事業の設立、 各種投資企業を保有す る国内外の事業の監督 および管理、ならびに 国内法令で許可されて いる投資事業等	株主の親 会社	有限責任	吉昱華
大家人寿保険 股份有限公司	北京	30,790 百万 人民元	804,907,835	3.19%	-	生命保険、健康保険、傷 害保険およびその他の 個人保険サービス等	株主	株式会社	何肖鋒
中国交通建設 集团有限公司	北京	7,274百 万人民元	422,770,418	1.68%(注 ( ))	-	建設の一般請負	株主の親 会社	有限責任	王彤宙
中国交通建設 股份有限公司	北京	16,166 百万 人民元	201,089,738	0.80%	-	建設の一般請負、リース および修理、技術コン サルティング・サービ ス、輸出入、投資なら びに管理業務	株主	株式会社	王彤宙
上海汽車工業 （集团）總公 司	上海	21,749 百万 人民元	310,125,822	1.23%(注 ( ))	-	車両の製造および販売、 資産運用業務、内国貿 易業務、コンサルティ ング・サービス	株主の親 会社	有限責任	陳虹
上海汽車集团 股份有限公司	上海	11,683 百万 人民元	310,125,822	1.23%	-	車両の製造および販売、 コンサルティング・ サービス、輸出入	株主	株式会社	陳虹
招銀国際金融 控股有限公司 （CMBIC）	香港	4,129 百万 香港ドル	-	-	100%	投資銀行および投資管理	子会社	有限責任	王良
招銀金融租賃 有限公司 （CMBFL）	上海	12,000 百万 人民元	-	-	100%	ファイナンス・リース	子会社	有限責任	施順華

会社名	登記 所在地	発行済 および 全額 払込 済資本	各社が 保有する 当行の 株式数	各社の 当行 所有 比率	当行の 各社 所有比率	業務内容	当行 との 関係	法定 形式	法定 代表者
招商永隆銀行 有限公司（CMB WLB）	香港	1,161 百万 香港ドル	-	-	100%	銀行業務	子会社	有限責任	劉元
招商基金管理 有限公司 （CMFM）	深圳	1,310 百万 人民幣	-	-	55%	資金運用	子会社	有限責任	王小青
招銀理財有限 責任公司	深圳	5,556 百万 人民幣	-	-	90%	資産運用	子会社	有限責任	陳一松
招商銀行（欧 州）有限公司	ルクセン ブルク	50 百万 ユーロ	-	-	100%	銀行業務	子会社	有限責任	李彪
招商信諾資産 管理有限公司	北京	500 百万 人民幣	-	-	注記24 （ ）	資産運用	子会社	有限責任	王小青

注：

- （ ）CMGは子会社とあわせて当行の持分29.97%（2021年：29.97%）を保有している。
- （ ）2022年12月31日現在、CMGの子会社であるCMSNCLは筆頭株主として当行の13.04%（2021年：13.04%）を保有している。
- （ ）中国遠洋海運集团有限公司は子会社を通して当行の持分9.97%（2021年：9.97%）を保有している。
- （ ）中国保険保障基金有限公司（以下、「中国保険保障基金」という。）は、大家人寿保险股份有限公司の98.23%の保有を通して当行の持分3.19%（2021年：3.23%）を保有している。
- （ ）中国交通建設集团有限公司（以下、「中国交通建設集団」という。）は子会社を通して当行の持分1.68%（2021年：1.68%）を保有している。
- （ ）上海汽車工業（集団）總公司（以下、「上海汽車工業集団」という。）は子会社（上海汽車集团股份有限公司）を通して当行の持分1.23%（2021年：1.23%）を保有している。
- （ ）当行におけるCMGの直接持株比率および上記の関連する比率の合計は、四捨五入により、わずかに異なる場合がある。



2022年および2021年12月31日現在の当グループの関連当事者の登録資本の情報は以下のとおりである。

関連当事者の名称	2022年	2021年
CMG	16,900,000,000 人民元	16,900,000,000 人民元
CMSNCL	17,000,000,000 人民元	7,000,000,000 人民元
深圳市晏投資発展有限公司	600,000,000 人民元	600,000,000 人民元
深圳市楚源投資発展有限公司	600,000,000 人民元	600,000,000 人民元
深圳市招融投資控股有限公司	7,778,000,000 人民元	7,778,000,000 人民元
Best Winner Investment Co., Ltd.	50,000 米ドル	50,000 米ドル
China Merchants Union (BVI) Ltd.	60,000 米ドル	60,000 米ドル
招商局實業發展（深圳）有限公司	10,000,000 米ドル	10,000,000 米ドル
中国保険保障基金有限公司	100,000,000 人民元	100,000,000 人民元
大家人寿保險股份有限公司	30,790,000,000 人民元	30,790,000,000 人民元
中国遠洋海運集团有限公司	11,000,000,000 人民元	11,000,000,000 人民元
中国遠洋運輸有限公司	16,191,351,300 人民元	16,191,351,300 人民元
中遠海運（広州）有限公司	3,191,200,000 人民元	3,191,200,000 人民元
広州海寧海務技術諮詢有限公司	52,000,000 人民元	52,000,000 人民元
中遠海運（上海）有限公司	1,398,941,000 人民元	1,398,941,000 人民元
中遠海運投資控股有限公司	500,000,000 香港ドル	500,000,000 香港ドル
広州三鼎油運貿易有限公司	299,020,000 人民元	299,020,000 人民元
中国交通建設集团有限公司	7,274,023,830 人民元	7,274,023,830 人民元
中国交通建設股份有限公司	16,165,711,425 人民元	16,165,711,425 人民元
上海汽車工業（集团）總公司	21,749,175,737 人民元	21,749,175,737 人民元
上海汽車集团股份有限公司	11,683,461,365 人民元	11,683,461,365 人民元
CMBIC	4,129,000,000 香港ドル	4,129,000,000 香港ドル
CMBFL	12,000,000,000 人民元	12,000,000,000 人民元
CMB WLB	1,160,950,575 香港ドル	1,160,950,575 香港ドル
CMFM	1,310,000,000 人民元	1,310,000,000 人民元
CMBWM	5,555,555,555 人民元	5,000,000,000 人民元
招商（欧州）有限公司	50,000,000 ユーロ	50,000,000 ユーロ
招商信諾資産管理有限公司	500,000,000 人民元	500,000,000 人民元

## 筆頭株主の当行所有比率および当行の子会社所有部分

	筆頭株主の 当行所有		当行の子会社所有									
	CMSNCL		CMBIC		CMBFL		CMB WLB		CMFM		CMBWM	
	人民元	%	香港 ドル	%	人民元	%	香港 ドル	%	人民元	%	人民元	%
2022年1月1日 現在	3,289,470,337	13.04	4,129,000,000	100.00	12,000,000,000	100.00	1,160,950,575	100.00	1,310,000,000	55.00	5,000,000,000	100.00
2022年12月31日 現在	3,289,470,337	13.04	4,129,000,000	100.00	12,000,000,000	100.00	1,160,950,575	100.00	1,310,000,000	55.00	5,555,555,555	90.00

	当行の子会社所有			
	招商（欧州）有限公司		招商信諾資産管理 有限公司	
	ユーロ	%	人民元	%
2022年1月1日 現在	50,000,000	100.00	500,000,000	注
2022年12月31日 現在	50,000,000	100.00	500,000,000	注

	筆頭株主の 当行所有		当行の子会社所有									
	CMSNCL		CMBIC		CMBFL		CMB WLB		CMFM		CMBWM	
	人民元	%	香港 ドル	%	人民元	%	香港 ドル	%	人民元	%	人民元	%
2021年1月1日 現在	3,289,470,337	13.04	4,129,000,000	100.00	6,000,000,000	100.00	1,160,950,575	100.00	1,310,000,000	55.00	5,000,000,000	100.00
2021年12月31日 現在	3,289,470,337	13.04	4,129,000,000	100.00	12,000,000,000	100.00	1,160,950,575	100.00	1,310,000,000	55.00	5,000,000,000	100.00

	当行の子会社所有			
	招商（欧州）有限公司		招商信諾資産管理 有限公司	
	ユーロ	%	人民元	%
2021年1月1日 現在	50,000,000	100.00	500,000,000	注
2021年12月31日 現在	50,000,000	100.00	500,000,000	注

注：この情報については、注記24に詳述されている。

2022年12月31日現在、上記に開示されている企業以外に、当行と共通の取締役、監査役および上級経営陣（近親者を含む）を有し、彼らがそれらの会社を支配することができる、または重要な影響を及ぼすことができる会社が142社（2021年12月31日：265社）あった。

**(b) 関連当事者取引の条件**

当グループは通常の銀行業務において関連当事者との間で、貸付、投資、預金の引受け、有価証券売買、代理服务および信託サービスの提供、ならびにオフバランス取引等を行っている。取締役は、当グループのこうした重要な関連当事者取引は通常の商業取引条件に基づいて締結されていると考えている。貸出金および預金に対する金利はPBOC金利およびLPR等の基準金利に従って決定されている。

	2022年	2021年
	(年利)	
短期貸出金	3.65%から3.80%	3.80%から3.85%
中長期貸出金	3.65%から4.65%	3.80%から4.65%
要求払預金	0.35%	0.35%
定期預金	1.10%から2.75%	1.10%から2.75%

当事業年度中に関連当事者向けに実施された信用減損している貸出金はなかった（2021年：なし）。

**(c) 株主およびその関連会社**

2022年12月31日現在、当行の筆頭株主であるCMGおよびその関連会社は、当行株式の29.97% (2021年：29.97%)を保有している(このうち、CMSNCLによる直接保有は13.04% (2021年：13.04%))。CMSNCLおよびその関連会社と当グループとの取引および残高は、以下に開示されている。

	2022年	2021年
貸借対照表項目：		
- 銀行およびその他金融機関に対する貸付金	2,000	-
- 売戻契約に基づいて保有する金額	2,589	13,967
- 顧客に対する貸出金	40,772	42,645
- 金融投資	7,626	1,147
- 銀行およびその他金融機関からの預かり金	29,726	29,755
- 顧客からの預金	45,342	45,708
- リース負債	210	186
オフバランスシート項目：		
- 取消不能債務保証	5,087	3,645
- 取消不能信用状	318	251
- 引受手形	285	188
受取利息	1,848	1,738
支払利息	(1,376)	(1,599)
正味受取手数料	1,027	669
営業費用	(177)	(42)
その他の正味（費用）/ 収益	(10)	38

(d) 当行と共通の取締役、監査役または上級経営陣を有し、彼らがそれらの会社を支配することができる、または会社に重要な影響を及ぼすことができる会社（上記の注記61(c)に開示された会社以外）

	2022年	2021年
貸借対照表項目：		
- 銀行およびその他金融機関に対する貸付金	2,277	-
- 売戻契約に基づいて保有する金額	3,770	285
- 顧客に対する貸出金	28,103	13,366
- 金融投資	770	595
- 銀行およびその他金融機関からの預かり金	4,346	21,356
- 銀行およびその他金融機関からの借入金	6,047	-
- 顧客からの預金	13,447	31,016
- リース負債	65	73
オフバランスシート項目：		
- 取消不能債務保証	580	1,711
- 取消不能信用状	6	46
- 引受手形	-	225
受取利息	1,035	927
支払利息	(475)	(984)
正味受取手数料	133	273
営業費用	(274)	(1,654)
その他の正味（費用）／収益	(129)	7

(e) 上記の注記61(c)に開示された会社以外の関連会社および共同支配企業

	2022年	2021年
貸借対照表項目：		
- 銀行およびその他金融機関に対する貸付金	14,675	14,500
- 顧客に対する貸出金	6,848	6,044
- 銀行およびその他金融機関からの預かり金	896	1,251
- 顧客からの預金	331	693
オフバランスシート項目：		
- 取消不能債務保証	-	8,700
受取利息	306	516
支払利息	(19)	(20)
正味受取手数料	2,498	1,695
営業費用	(8)	(6)

## (f) 当行の5%超の株式を保有し、当行に重要な影響を及ぼすその他の主な株主

	2022年	2021年
貸借対照表項目：		
- 売戻契約に基づいて保有する金額	-	399
- 顧客に対する貸出金	27,070	17,654
- 金融投資	4,302	2,512
- 銀行およびその他金融機関からの預かり金	2,929	7,502
- 顧客からの預金	14,872	19,704
- リース負債	40	46
オフバランスシート項目：		
- 取消不能債務保証	8,511	7,895
- 取消不能信用状	1,835	337
- 引受手形	5,125	5,068
受取利息	913	738
支払利息	(633)	(585)
正味受取手数料	2,242	1,411
営業費用	(138)	-
その他の正味費用	(1)	(10)

**(g) 子会社**

	2022年	2021年
貸借対照表項目：		
- 銀行およびその他金融機関に対する預け金	958	1,950
- 銀行およびその他金融機関に対する貸付金	32,438	37,055
- 顧客に対する貸出金	1,396	-
- 金融投資	3,415	3,454
- 銀行およびその他金融機関からの預り金	4,630	7,246
- 買戻契約に基づく売却金額	-	816
- 顧客からの預金	5,206	3,957
オフバランスシート項目：		
- 取消不能債務保証	38	-
- 取消不能信用状	4,599	1,998
- 引受手形	222	81
受取利息	943	1,124
支払利息	(129)	(258)
正味受取手数料	(93)	(1,294)
営業費用	(1,797)	(96)
その他の正味収益	150	111

当行およびその子会社間の重要な残高および取引は、連結財務諸表では相殺消去されている。

**(h) 主な経営陣**

主な経営陣は、直接的または間接的に当グループの活動を計画、指示および管理する権限と責任を有する者で、取締役、監査役および執行役員を含む。

	2022年 (千人民元)	2021年 (千人民元)
給与およびその他報酬	38,249	39,264
変動賞与	-	11,087
株式報酬	(41,066)	17,312
確定拠出型年金制度への拠出額	-	567
合計	(2,817)	68,230

上記の株式報酬は、当行のH株式評価益権制度に基づき上級経営陣に付与された株式評価益権（注記39(a)（ ））の見積公正価値を表している。当該公正価値は、ブラック・ショールズ・モデルを用いて、注記4（17）に記載されている会計方針に従って測定されており、金額は連結損益およびその他包括利益計算書に費用計上されている。株式オプションは行使されずに失効することがあるため、取締役は、開示されている金額は上級経営陣が実際に受け取った、あるいは受け取る予定のキャッシュ・フローを示すものではないと考えている。

### (i) 年金制度

年金制度に対する確定拠出債務および通常の銀行業務における取引とは別に、2022年および2021年12月31日に終了した事業年度において、当グループと年金制度との間で実行されたその他の取引はなかった。

## 62 非支配持分

非支配持分は、当グループが子会社において保有していない持分を表しており、当報告期間中、当グループには重要な非支配持分を有する子会社はない。

### (a) 永久債資本

2017年4月27日に、当グループの子会社であるCMB WLBは、170百万米ドルの永久債を発行し、2019年1月24日に、400百万米ドルの別の永久債を発行した。CMB WLBは、当事業年度において、2017年に発行した170百万米ドルの永久債を償還した。これらの永久債資本の変動は、以下のとおりである。

	元本	分配金 / 支払金	合計
2022年1月1日現在	3,636	-	3,636
2022年における償還	(1,104)	-	(1,104)
2022年における分配	-	202	202
2022年における支払い	-	(202)	(202)
為替換算調整	255	-	255
2022年12月31日現在	2,787	-	2,787
	元本	分配金 / 支払金	合計
2021年1月1日現在	3,753	-	3,753
2021年における分配	-	227	227
2021年における支払い	-	(227)	(227)
為替換算調整	(117)	-	(117)
2021年12月31日現在	3,636	-	3,636

商品の満期はなく、分配金の支払いは発行者の裁量で取消可能である。取り消された分配金は、累積されない。他の当事者に対して発行者が現金の支払いを行う契約上の義務はない。2022年および2021年12月31日に終了した事業年度において、CMB WLBは、分配金の支払いの取消を行わなかったため、対応する金額が永久債保有者に支払われた。

### 63 金融資産の譲渡

当グループは、一般的な商取引において、認識済みの金融資産を第三者または特定目的事業体に譲渡する取引を締結している。場合によっては、これらの譲渡により、関連する金融資産の全部または一部の認識が中止されることがある。その他の場合、譲渡した資産に係る実質的にすべてのリスクおよび経済価値を当グループが保持しているため、譲渡が認識の中止の要件を満たしていない可能性があり、結果的に、当グループは引き続き譲渡した資産を認識する。

#### 信用資産の証券化

当グループは、通常の事業の過程において、証券化取引を締結しており、信用資産を特定目的信託に譲渡し、当該特定目的信託は投資家に対して資産担保证券を発行している。当グループは、一部の投資を劣後トランシェ・レベルで取得する可能性があり、それによって、譲渡された信用資産のリスクおよび経済価値の部分を留保する可能性がある。当グループは、当該資産のリスクおよび経済価値を留保する範囲を検討することによって、関連する信用資産の認識を中止するか否か判断することになる。

証券化され認識の中止要件を満たした信用資産については、注記4（5）に記載される基準に基づき、その譲渡した信用資産の全体について認識を中止する。2022年12月31日に終了した事業年度において、当グループは、証券化契約において貸出金17,362百万人民元（2021年12月31日に終了した事業年度：56,068百万人民元）ならびに貸出金に関する実質的にすべてのリスクおよび経済価値を譲渡しており、それらの証券化された貸出金全額の認識が中止された。

当グループが譲渡した信用資産の実質的にすべてのリスクおよび経済価値を譲渡も留保もせず、支配を継続している場合、当グループは、譲渡した資産に対する当グループの継続的関与の範囲において、連結財政状態計算書上で当該資産を認識し、残りの部分の認識は中止される。当グループの継続的関与の範囲とは、当グループが、譲渡した資産の価値変動に晒されるリスクおよび経済価値の範囲である。2022年12月31日に終了した事業年度において、当グループが継続的関与を維持していた新たな証券化信用資産はなかった（2021年12月31日に終了した事業年度：15,942百万人民元）。継続的関与資産およびこれに対応する継続的関与負債の帳簿価額は、連結財政状態計算書のその他資産およびその他負債に認識され、その金額は、2022年12月31日現在、5,274百万人民元（2021年12月31日現在：5,274百万人民元）である。



## 信用資産の第三者への譲渡

2022年に、当グループは、証券化取引に加えて、2022年12月31日に終了した事業年度において、独立した第三者に直接、信用資産995百万人民元（2021年：548百万人民元）を譲渡した。当グループは、これらの譲渡された資産の実質的にすべてのリスクおよび経済価値を契約相手方に譲渡しているため、注記4（5）に記載される基準に基づき、譲渡された資産は全額認識の中止の要件を満たしていると判断した。

## 買戻取引および証券貸付取引

認識の中止の要件を満たしていない譲渡金融資産には、主に、買戻契約に基づき担保として契約相手方に保有されている負債証券および割引手形ならびに証券貸付取引に基づき契約相手方に貸し出されている負債証券が含まれる。契約相手方は、当グループの債務不履行がなくても買戻契約に基づき売却された証券を売却あるいは再担保することが認められているが、契約満了時に証券を返還する義務を負っている。当グループは、これらの証券の実質的にすべてのリスクおよび経済価値を留保していると判断しており、したがって、これらの証券の認識を中止しておらず、その代わりに、担保として受け取った現金を金融負債として認識している。

## 64 非連結の組成された事業体に対する持分

当グループの連結財務諸表の範囲は、支配に基づき決定される。支配とは、投資企業が被投資企業に対してパワーを有し、被投資企業の関連活動に参画することによって変動収益を享受し、パワーを利用してその収益額に影響を及ぼす能力を有していることを意味する。

当グループは組成対象に対するパワーを有しており、他の投資者は実質的な権利を有していない。同時に、当グループは変動収益に対する権利を有し、事業体を連結しており、これにおいては、当グループはその収益額に影響を及ぼす権利を有している。

当グループの連結財務諸表に含まれている上述の組成された事業体に加えて、連結財務諸表に含まれていない、組成された事業体に関する当グループの持分情報は以下のとおりである。

### (a) 第三者機関がスポンサーとなっている組成された事業体に対する持分

当グループは、第三者がスポンサーとなっている一部の組成された事業体により発行されたユニットへの投資を通じてこれらの組成された事業体に対する持分を保有している。こうした持分には、資産運用商品への投資、資産運用スキーム、信託受益権、資産担保証券およびファンド投資が含まれるが、当グループはこれらの組成された事業体を連結していない。当グループがこれらの組成された事業体を保有する目的は、投資収益、資本増価、あるいはその両方を獲得することにある。

以下の表は、2022年12月31日および2021年12月31日現在、第三者機関がスポンサーとなっている組成された事業体において当グループが保有している持分の残高の分析、ならびに第三者機関がスポンサーとなっている組成された事業体における当グループの持分に関連して資産が認識されている連結財政状態計算書の表示科目の分析を示している。

## 2022年

	残高				
	FVTPLで 測定される 金融投資	償却原価で 測定される 負債投資	FVTOCIで 測定される 負債投資	合計	最大エク スポージャー
資産運用スキーム	-	48,362	-	48,362	48,362
信託受益権	-	37,954	-	37,954	37,954
資産担保証券	835	1,031	170	2,036	2,036
ファンド投資	186,311	-	-	186,311	186,311
資産運用商品	110	-	-	110	110
合計	187,256	87,347	170	274,773	274,773

## 2021年

	残高				
	FVTPLで 測定される 金融投資	償却原価で 測定される 負債投資	FVTOCIで 測定される 負債投資	合計	最大エク スポージャー
資産運用スキーム	-	67,432	-	67,432	67,432
信託受益権	-	34,112	-	34,112	34,112
資産担保証券	2,537	307	1,205	4,049	4,049
ファンド投資	156,112	-	-	156,112	156,112
合計	158,649	101,851	1,205	261,705	261,705

ファンドへの投資、信託受益権、資産運用スキーム、資産運用商品、および資産担保証券の最大エクスポージャーは、当該資産の残高である。

### (b) 当グループがスポンサーとなっている非連結の組成された事業体に対する持分

当グループがスポンサーとなっている非連結の組成された事業体には、非元本保証型資産運用商品、ファンドおよび資産運用制度が含まれている。これらの組成された事業体の性質および目的は、投資家に代って資産を運用して収入を生み出すことである。これらの組成された事業体は、投資家へ投資商品を発行することによって資金調達されている。これらの非連結の組成された事業体における当グループの持分は、提供した管理サービスについて請求した手数料に限定されている。

2022年12月31日現在、当グループがスポンサーとなっている非連結の非元本保証型資産運用商品の金額は、2,667,663百万人民元（2021年12月31日現在：2,777,537百万人民元）であった。

2022年12月31日現在、当グループがスポンサーとなっている非連結のファンドの金額は、1,219,793百万人民元（2021年12月31日現在：1,200,150百万人民元）であった。

2022年12月31日現在、当グループがスポンサーとなっている非連結の資産運用制度の金額は、189,332百万人民元（2021年12月31日現在：174,555百万人民元）であった。

2022年12月31日現在、当グループと当グループがスポンサーとなっている非元本保証型資産運用商品との間で取引される売戻契約に基づいて保有する金額は、ゼロ（2021年12月31日現在：30,896百万人民元）であった。上記の取引は、通常の取引条件に基づいて行われた。

2022年12月31日現在、当グループが保有している非連結の非元本保証型資産運用商品の金額は、2,433百万人民元（2021年12月31日現在：2,396百万人民元）であった。

2022年12月31日現在、当グループが保有している非連結のファンドの金額は、14,228百万人民元（2021年12月31日現在：6,658百万人民元）であった。

2022年12月31日に終了した事業年度において、当グループがスポンサーとなっている非連結の非元本保証型資産運用商品で当グループの償却原価で測定される投資に振り替えられた金額は、11,143百万人民元（2021年：11,004百万人民元）であった。

2022年12月31日に終了した事業年度において、当グループが当該非元本保証型資産運用商品から受け取った受取手数料の金額は、17,037百万人民元（2021年：11,998百万人民元）であった。

2022年12月31日に終了した事業年度において、当グループが当該非連結のファンドから受け取った受取手数料の金額は、5,627百万人民元（2021年：4,223百万人民元）であった。

2022年12月31日に終了した事業年度において、当グループが当該非連結の資産運用制度から受け取った受取手数料の金額は、526百万人民元（2021年：627百万人民元）であった。

2022年1月1日以降に当グループがスポンサーとなった、満期日が2022年12月31日より前の非元本保証型資産運用商品の合計額は、620,318百万人民元（2021年：1,529,874百万人民元）であった。

## 65 比較数値

本注記における特定の比較数値は、当事業年度の表示と一致させるために修正再表示されている。

[前へ](#)

[次へ](#)

## Consolidated Statement of Profit or Loss

For the year ended 31 December 2022

(Expressed in millions of Renminbi unless otherwise stated)

	Notes	2022	2021
Interest income	6	353,380	327,056
Interest expense	7	(135,145)	(123,137)
<b>Net interest income</b>		<b>218,235</b>	<b>203,919</b>
Fee and commission income	8	103,372	102,318
Fee and commission expense		(9,097)	(7,871)
<b>Net fee and commission income</b>		<b>94,275</b>	<b>94,447</b>
<b>Other net income</b>	9	<b>29,705</b>	<b>29,011</b>
– Disposal of financial instruments at amortised cost		170	(657)
<b>Operating income</b>		<b>342,215</b>	<b>327,377</b>
Operating expenses	10	(122,061)	(116,879)
<b>Operating profit before impairment losses and taxation</b>		<b>220,154</b>	<b>210,498</b>
Expected credit losses	14	(56,751)	(65,962)
Impairment losses on other assets		(815)	(393)
Share of profits of joint ventures	25	1,710	2,877
Share of profits of associates	26	815	1,153
<b>Profit before taxation</b>		<b>165,113</b>	<b>148,173</b>
Income tax	15	(25,819)	(27,339)
<b>Profit for the year</b>		<b>139,294</b>	<b>120,834</b>
<b>Attributable to:</b>			
Equity holders of the Bank		138,012	119,922
Non-controlling interests		1,282	912
<b>Earnings per share</b>			
Basic and diluted (RMB Yuan)	17	5.26	4.61

The notes form part of these consolidated financial statements.

## Consolidated Statement of Profit or Loss and Other Comprehensive Income

For the year ended 31 December 2022

(Expressed in millions of Renminbi unless otherwise stated)

	Note	2022	2021
<b>Profit for the year</b>		<b>139,294</b>	<b>120,834</b>
<b>Other comprehensive income for the year after tax</b>			
<i>Items that may be reclassified subsequently to profit or loss</i>		<b>1,285</b>	<b>5,856</b>
– Share of other comprehensive (expense)/income from equity-accounted investees		(1,155)	133
– Net fair value (loss)/gain on debt instruments measured at fair value through other comprehensive income		(5,617)	4,156
– Net changes in expected credit losses of debt instruments measured at fair value through other comprehensive income		3,471	3,036
– Net movement in cash flow hedge reserve		112	105
– Exchange difference on translation of financial statements of foreign operations		4,429	(1,574)
– Other		45	–
<i>Items that will not be reclassified to profit or loss</i>		<b>38</b>	<b>1,333</b>
– Net fair value gain on equity instruments designated at fair value through other comprehensive income		48	1,318
– Remeasurement of defined benefit scheme		(10)	15
<b>Other comprehensive income for the year, net of tax</b>	16	<b>1,323</b>	<b>7,189</b>
<b>Attributable to:</b>			
Equity holders of the Bank		<b>1,053</b>	<b>7,298</b>
Non-controlling interests		<b>270</b>	<b>(109)</b>
<b>Total comprehensive income for the year</b>		<b>140,617</b>	<b>128,023</b>
<b>Attributable to:</b>			
Equity holders of the Bank		<b>139,065</b>	<b>127,220</b>
Non-controlling interests		<b>1,552</b>	<b>803</b>

The notes form part of these consolidated financial statements.

## Consolidated Statement of Financial Position

At 31 December 2022

(Expressed in millions of Renminbi unless otherwise stated)

	Notes	2022	2021
<b>Assets</b>			
Cash		15,209	13,310
Precious metals		2,962	4,639
Balances with central banks	18	587,818	553,898
Balances with banks and other financial institutions	19	91,346	80,350
Placements with banks and other financial institutions	20	263,576	194,421
Amounts held under resale agreements	21	276,676	524,601
Loans and advances to customers	22	5,807,154	5,335,391
Financial investments at fair value through profit or loss	23(a)	423,467	348,123
Derivative financial assets	60(f)	18,671	23,390
Debt investments at amortised cost	23(b)	1,555,457	1,185,841
Debt investments at fair value through other comprehensive income	23(c)	780,349	636,038
Equity investments designated at fair value through other comprehensive income	23(d)	13,416	6,995
Interests in joint ventures	25	14,247	14,779
Interests in associates	26	9,597	8,875
Investment properties	27	1,268	1,372
Property and equipment	28	99,919	80,415
Right-of-use assets	29(a)	17,553	18,403
Intangible assets	30	3,402	4,066
Goodwill	31	9,999	9,954
Deferred tax assets	32	90,848	81,639
Other assets	33	55,978	122,521
<b>Total assets</b>		<b>10,138,912</b>	<b>9,249,021</b>

The notes form part of these consolidated financial statements.

	Notes	2022	2021
<b>Liabilities</b>			
Borrowing from central banks		129,745	159,987
Deposits from banks and other financial institutions	34	645,674	753,018
Placements from banks and other financial institutions	35	192,857	170,650
Financial liabilities at fair value through profit or loss	36	63,314	63,761
Derivative financial liabilities	60(f)	18,636	27,282
Amounts sold under repurchase agreements	37	107,093	157,660
Deposits from customers	38	7,590,579	6,385,154
Salaries and welfare payable	39(a)	23,866	19,761
Tax payable	40	19,458	22,491
Contract liabilities	41	6,679	7,536
Lease liabilities	29(b)	13,013	13,812
Provisions	42	22,491	14,660
Debt securities issued	43	223,821	446,645
Deferred tax liabilities	32	1,510	1,353
Other liabilities	44	125,938	139,570
<b>Total liabilities</b>		<b>9,184,674</b>	<b>8,383,340</b>
<b>Equity</b>			
Share capital	45	25,220	25,220
Other equity instruments	46	120,446	127,043
– Preference shares	46(a)	27,468	34,065
– Perpetual bonds	46(b)	92,978	92,978
Capital reserve	47	65,435	67,523
Investment revaluation reserve	48	11,815	15,047
Hedging reserve	49	151	39
Surplus reserve	50	94,985	82,137
General reserve	51	132,471	115,288
Retained earnings		449,139	390,207
Proposed profit appropriation	52(b)	43,832	38,385
Exchange reserve	53	2,009	(2,144)
<b>Total equity attributable to shareholders of the Bank</b>		<b>945,503</b>	<b>858,745</b>
Non-controlling interests		8,735	6,936
– Non-controlling interest		5,948	3,300
– Perpetual debt capital	62(a)	2,787	3,636
<b>Total equity</b>		<b>954,238</b>	<b>865,681</b>
<b>Total equity and liabilities</b>		<b>10,138,912</b>	<b>9,249,021</b>

The notes form part of these consolidated financial statements.

Approved and authorised for issue by the Board of Directors on 24 March 2023.

Miao Jianmin  
Director

Wang Liang  
Director

## Consolidated Statement of Changes in Equity

For the year ended 31 December 2022

(Expressed in millions of Renminbi unless otherwise stated)

	2022															
	Total equity attributable to equity holders of the Bank											Non-controlling interests				
	Other equity instruments				Investment							Non-controlling interest	Perpetual debt capital	Total		
	Notes	Share capital	Preference shares	Perpetual bonds	Capital reserve	Investment revaluation reserve	Hedging reserve	Surplus reserve	General reserve	Retained earnings	Proposed profit appropriation				Exchange reserve	Subtotal
At 1 January 2022		25,220	34,065	62,878	47,523	15,347	39	82,137	115,288	399,207	38,385	(2,144)	858,795	3,300	1,636	865,861
Changes in equity for the year		-	(8,587)	-	(2,088)	(3,212)	112	12,848	17,163	58,812	5,447	4,113	86,758	2,648	(848)	88,557
(a) Net profit for the year		-	-	-	-	-	-	-	-	138,812	-	-	138,812	1,080	252	139,294
(b) Other comprehensive income for the year	16	-	-	-	-	(3,212)	112	-	-	-	-	4,113	1,853	15	255	1,323
Total comprehensive income for the year		-	-	-	-	(3,212)	112	-	-	138,812	-	4,113	140,665	1,095	457	140,617
(c) Capital movement from equity holders		-	(8,587)	-	(2,088)	-	-	-	-	-	-	-	(8,685)	1,832	(1,194)	(7,957)
(i) Capital invested by non-controlling shareholders		-	-	-	(1,488)	-	-	-	-	-	-	-	(1,488)	1,842	-	353
(ii) Decrease in non-controlling interests		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(18)	-	(18)
(iii) Redemption of preference shares	46(a)	-	(8,587)	-	(588)	-	-	-	-	-	-	-	(7,194)	-	-	(7,194)
(iv) Redemption of perpetual debt capital	42(a)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(1,104)	(1,104)
(d) Profit appropriations		-	-	-	-	-	-	12,848	17,163	(79,190)	5,447	-	(83,622)	(278)	(202)	(84,102)
(i) Appropriations to statutory surplus reserve	50	-	-	-	-	-	-	12,848	-	(12,848)	-	-	-	-	-	-
(ii) Appropriations to general reserve	51	-	-	-	-	-	-	-	17,163	(17,163)	-	-	-	-	-	-
(iii) Dividends declared and paid for the year 2021		-	-	-	-	-	-	-	-	-	(38,385)	-	(38,385)	(278)	-	(38,664)
(iv) Distribution to perpetual debt capital	52	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(202)	(202)
(v) Proposed dividends for the year 2022		-	-	-	-	-	-	-	-	(81,832)	43,632	-	-	-	-	-
(vi) Dividends to preference shares		-	-	-	-	-	-	-	-	(1,675)	-	-	(1,675)	-	-	(1,675)
(vii) Distribution to perpetual bonds		-	-	-	-	-	-	-	-	(1,542)	-	-	(1,542)	-	-	(1,542)
(viii) Transfers within equity upon disposal of equity instruments designated at fair value through other comprehensive income		-	-	-	-	(20)	-	-	-	20	-	-	-	-	-	-
At 31 December 2022		25,220	27,468	62,878	45,435	11,135	151	94,985	132,471	448,119	43,832	2,006	945,553	5,948	2,787	954,238

The notes form part of these consolidated financial statements.



2021														
	Total equity attributable to equity holders of the Bank											Non-controlling interests		
	Other equity instruments					Investment						Non-controlling interests		Total
	Notes	Share capital	Preference shares	Perpetual bonds	Capital reserve	Investment revaluation reserve	Hedging reserve	Surplus reserve	General reserve	Retained earnings	Proposed profit appropriation	Exchange reserve	Subtotal	
At 1 January 2021		25,220	14,065	48,989	57,523	8,207	(86)	71,158	68,087	338,644	31,601	(898)	723,750	2,951
Changes in equity for the year		-	-	42,989	-	6,840	105	10,979	17,206	51,543	6,784	(1,451)	134,995	449
(a) Net profit for the year		-	-	-	-	-	-	-	-	118,912	-	-	118,902	685
(b) Other comprehensive income for the year	14	-	-	-	-	8,848	105	-	-	-	-	(1,451)	7,298	8
Total comprehensive income for the year		-	-	-	-	8,848	105	-	-	118,912	-	(1,451)	126,199	693
(c) Capital contribution from equity holders		-	-	42,989	-	-	-	-	-	-	-	-	42,989	-
Issue of perpetual bonds	46(b)	-	-	42,989	-	-	-	-	-	-	-	-	42,989	-
(d) Profit appropriations		-	-	-	-	-	-	10,979	17,206	(71,183)	6,784	-	(35,214)	(244)
(i) Appropriations to statutory surplus reserve	58	-	-	-	-	-	-	10,979	-	(10,979)	-	-	-	-
(ii) Appropriations to general reserve	51	-	-	-	-	-	-	-	17,206	(17,206)	-	-	-	-
(iii) Dividends declared and paid for the year 2021		-	-	-	-	-	-	-	-	-	(31,601)	-	(31,601)	(244)
(iv) Distribution to perpetual debt capital	62	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(227)
(v) Proposed dividends for the year 2021		-	-	-	-	-	-	-	-	(38,385)	38,385	-	-	-
(vi) Dividends to preference shares		-	-	-	-	-	-	-	-	(1,830)	-	-	(1,830)	-
(vi) Distribution to perpetual bonds		-	-	-	-	-	-	-	-	(1,875)	-	-	(1,875)	-
(v) Transfers within equity upon disposal of equity instruments designated at fair value through other comprehensive income		-	-	-	-	(1,804)	-	-	-	1,804	-	-	-	-
At 31 December 2021		25,220	14,065	91,978	57,523	15,047	19	82,137	115,293	396,207	38,385	(2,144)	858,745	3,300

The notes form part of these consolidated financial statements.

## Consolidated Statement of Cash Flows

For the year ended 31 December 2022

(Expressed in millions of Renminbi unless otherwise stated)

	2022	2021
<b>Operating activities</b>		
Profit before taxation	165,113	148,173
<b>Adjustments for:</b>		
– Impairment losses on loans and advances	45,157	37,020
– Impairment losses on investments and other	12,409	29,335
– Unwinding of discount on the allowances of loans and advances	(386)	(247)
– Depreciation of property and equipment and investment properties	10,279	8,857
– Depreciation of right-of-use assets	4,151	4,259
– Amortisation of other assets	1,193	1,389
– Net gains on debt securities and equity investments	(14,722)	(15,388)
– Interest income on investments	(65,808)	(56,059)
– Interest expense on issued debt securities	9,662	12,532
– Share of profits of associates	(815)	(1,153)
– Share of profits of joint ventures	(1,710)	(2,877)
– Net gains on disposal of properties and equipment and other assets	(282)	(113)
– Interest expense on lease liabilities	510	555
<b>Changes in:</b>		
Balances with central banks	(48,851)	12,874
Loans and advances to customers	(508,891)	(564,924)
Other assets	63,611	(37,395)
Deposits from customers	1,188,664	718,742
Amounts due to banks and other financial institutions	(135,569)	73,321
Amounts due from banks and other financial institutions with original maturity over 3 months	(46,825)	2,160
Borrowing from central banks	(30,073)	(170,100)
Other liabilities	(39,251)	16,596
<b>Cash generated from operating activities before income tax payment</b>	<b>607,566</b>	<b>217,557</b>
Income tax paid	(37,423)	(35,509)
<b>Net cash generated from operating activities</b>	<b>570,143</b>	<b>182,048</b>
<b>Investing activities</b>		
Payment for the purchases of investments	(1,898,898)	(1,225,385)
Proceeds from disposals and redemptions of investments	1,334,013	1,160,739
Investment income received	79,122	71,197
Payment for the acquisition of subsidiaries, associates or joint ventures	(484)	(5,342)
Payment for the purchases of property and equipment and other assets	(34,892)	(24,160)
Proceeds from the disposals of property and equipment and other assets	6,750	2,399
Proceeds from the disposals of subsidiaries, associates or joint ventures	463	855
<b>Net cash used in investing activities</b>	<b>(513,926)</b>	<b>(19,697)</b>

The notes form part of these consolidated financial statements.

	Notes	2022	2021
<b>Financing activities</b>			
Proceeds from the issuance of negotiable interbank certificates of deposit	55(b)	78,666	319,707
Proceeds from the issuance of certificates of deposit	55(b)	20,287	14,692
Proceeds from the issuance of debt securities	55(b)	21,481	63,872
Proceeds from the issuance of perpetual bonds		—	42,989
Proceeds from non-controlling interests of subsidiaries		2,667	—
Proceeds from other financing activities	55(b)	10,796	6,860
Repayment of negotiable interbank certificates of deposit	55(b)	(250,996)	(226,012)
Repayment of certificates of deposit	55(b)	(16,504)	(21,363)
Repayment of debt securities	55(b)	(78,735)	(55,771)
Payment for lease liabilities	55(b)	(4,932)	(4,835)
Payment for redemption of preference shares		(7,196)	—
Payment for redemption of perpetual debt capital		(1,104)	—
Distribution paid on perpetual debt capital		(202)	(227)
Payment for dividends distribution		(38,664)	(31,845)
Distribution paid on preference shares		(1,675)	(1,638)
Distribution paid on perpetual bonds		(3,562)	(1,975)
Interest paid on financing activities		(12,400)	(11,398)
Payment for other financing activities	55(b)	(14,959)	(3,697)
<b>Net cash (used in)/generated from financing activities</b>		<b>(297,032)</b>	<b>89,359</b>
<b>Net (decrease)/increase in cash and cash equivalents</b>		<b>(240,815)</b>	<b>251,710</b>
Cash and cash equivalents as at 1 January		801,754	552,790
Effect of foreign exchange rate changes		6,259	(2,746)
<b>Cash and cash equivalents as at 31 December</b>	55(a)	<b>567,198</b>	<b>801,754</b>
<b>Cash flows from operating activities include:</b>			
Interest received		285,050	269,081
Interest paid		108,496	111,177

The notes form part of these consolidated financial statements.

# Notes to the Consolidated Financial Statements

For the year ended 31 December 2022

(Expressed in millions of Renminbi unless otherwise stated)

## 1. Organisation and principal activities

### (1) Organisation

China Merchants Bank Co., Ltd. (the "Bank") is a commercial bank incorporated in Shenzhen, the People's Republic of China (the "PRC"). With the approval of the China Securities Regulatory Commission (the "CSRC") of the PRC, the A-Shares of the Bank were listed on Shanghai Stock Exchange on 9 April 2002. On 22 September 2006, the Bank's H-Shares were listed on the Main Board of The Stock Exchange of Hong Kong Limited (the "HKEx").

As at 31 December 2022, apart from the Head Office, the Bank had 51 branches in the Chinese mainland, Hong Kong, New York, Singapore, Luxembourg, London and Sydney. In addition, the Bank has two representative offices in New York and Taipei.

### (2) Principal activities

The principal activities of the Bank and its subsidiaries (the "Group") are providing corporate and personal banking services, conducting treasury business, providing asset management and other financial services.

## 2. Basis of preparation of consolidated financial statements

### (1) Statement of compliance and basis of preparation

These consolidated financial statements have been prepared in accordance with International Financial Reporting Standards ("IFRSs") and its interpretations promulgated by the International Accounting Standards Board ("IASB"), and the disclosure requirements of the Hong Kong Companies Ordinance. These consolidated financial statements also comply with the applicable disclosure provisions of the Rules Governing the Listing of Securities on The Stock Exchange of Hong Kong Limited.

### (2) Basis of measurement

These financial statements are presented in Renminbi ("RMB") and unless otherwise stated, rounded to the nearest million. RMB is the functional currency of the domestic operations of the Group. The functional currencies of overseas branches and subsidiaries are determined in accordance with the primary economic environment in which they operate, and are translated into RMB for the preparation of these financial statements according to Note 4(16).

The consolidated financial statements have been prepared on the historical cost basis except for financial instruments that are measured at fair values at the end of each reporting period and the measurement principles as explained below.

## 2. Basis of preparation of consolidated financial statements *(continued)*

### (2) Basis of measurement *(continued)*

Fair value is the price that would be received to sell an asset or paid to transfer a liability in an orderly transaction between market participants at the measurement date, regardless of whether that price is directly observable or estimated using another valuation technique. In estimating the fair value of an asset or a liability, the Group takes into account the characteristics of the asset or liability if market participants would take those characteristics into account when pricing the asset or liability at the measurement date. Fair value for measurement and/or disclosure purposes in these consolidated financial statements is determined on such a basis, except for share-based payment transactions that are within the scope of IFRS 2 *Share-based Payment*, leasing transactions that are within the scope of IFRS 16 *Leases*, and measurements that have some similarities to fair value but are not fair value, such as net realisable value in IAS 2 *Inventories* or value in use in IAS 36 *Impairment of Assets*.

In addition, for financial reporting purposes, fair value measurements are categorised into Level 1, 2 or 3 based on the degree to which the inputs to the fair value measurements are observable and the significance of the inputs to the fair value measurement in its entirety, which are described as follows:

Level 1 inputs are quoted prices (unadjusted) in active markets for identical assets or liabilities that the entity can access at the measurement date;

Level 2 inputs are inputs, other than quoted prices included within Level 1, that are observable for the asset or liability, either directly or indirectly; and

Level 3 inputs are unobservable inputs for the asset or liability.

The preparation of the financial statements in conformity with IFRSs requires management to make judgements, estimates and assumptions that affect the application of policies and reported amounts of assets and liabilities, income and expenses. The estimates and associated assumptions are based on historical experience and various other factors that are believed to be reasonable under the circumstances, the results of which form the basis of making the judgements about carrying values of assets and liabilities that are not readily apparent from other sources. Actual results may differ from these estimates.

The estimates and underlying assumptions are reviewed on an ongoing basis. Revisions to accounting estimates are recognised in the period in which the estimate is revised if the revision affects only that period, or in the period of the revision and future periods if the revision affects both current and future periods.

Judgements made by management in the application of IFRSs that have significant effect on the consolidated financial statements and estimates with a significant risk of material adjustment in the future periods are discussed in Note 5.

### 3. Application of new and amendments to IFRSs

#### Amendments to IFRSs effective in current year applied by the Group

Amendments to IFRS 3	Reference to the Conceptual Framework
Amendment to IFRS 16	Covid-19-Related Rent Concessions beyond 30 June 2021
Amendments to IAS 16	Property, Plant and Equipment – Proceeds before Intended Use
Amendments to IAS 37	Onerous Contracts – Cost of Fulfilling a Contract
Amendments to IFRSs	Annual Improvements to IFRSs 2018-2020

The above-mentioned application of the amendments to IFRSs has had no material impact on the Group's financial positions and performance for the current and prior years and/or on the disclosures set out in these consolidated financial statements.

#### Standards and amendments that are issued but not yet effective and have not been adopted by the Group

		Effective for annual period beginning on or after
IFRS 17 (including the June 2020 and December 2021 Amendments to IFRS 17)	Insurance Contracts	1 January 2023
Amendments to IAS 1 and IFRS Practice Statement 2	Disclosure of Accounting Policies	1 January 2023
Amendments to IAS 8	Definition of Accounting Estimates	1 January 2023
Amendments to IAS 12	Deferred Tax related to Assets and Liabilities arising from a Single Transaction	1 January 2023
Amendments to IFRS 16	Lease Liability in a Sale and Leaseback	1 January 2024
Amendments to IAS 1	Classification of Liabilities as Current or Non-current	1 January 2024
Amendments to IAS 1	Non-current Liabilities with Covenants	1 January 2024
Amendments to IFRS 10 and IAS 28	Sale or Contribution of Assets between an Investor and its Associate or Joint Venture	the date to be determined

The new and amendments to IFRSs mentioned above are not expected to have material impact on the consolidated financial statements in the foreseeable future.



## 4. Principal accounting policies

### (1) Business combination

Financial statements include financial statements of the Bank and its subsidiaries. Subsidiaries are entities controlled by the Group. The Group controls an entity when it is exposed, or has rights, to variable returns from its involvement with the entity and has the ability to affect those returns through its power over the entity. When assessing whether the Group has power, only substantive rights (held by the Group and other parties) are considered.

An investment in a subsidiary is consolidated into the consolidated financial statements from the date that control commences until the date that control ceases. Intra-group balances, transactions and cash flows and any profits arising from intra-group transactions are eliminated in full in preparing the consolidated financial statements. If the intra-group transaction indicates that the relevant assets have impairment losses, the losses shall be recognised in full.

When necessary, adjustments are made by the Group to the financial statements of subsidiaries to bring their accounting policies in line with the Group's accounting policies.

Non-controlling interests represent the equity in a subsidiary not attributable directly or indirectly to the Bank, and in respect of which the Group has not agreed any additional terms with the holders of those interests which would result in the Group as a whole having a contractual obligation in respect of those interests that meets the definition of a financial liability. Non-controlling interests are presented in the consolidated statement of financial position and consolidated statement of changes in equity within equity, separately from equity attributable to the equity holders of the Bank. Non-controlling interests in the results of the Group are presented in the consolidated statement of profit or loss and the consolidated statement of profit or loss and other comprehensive income as an allocation of the net profit or loss and total comprehensive income for the year between non-controlling interests and the equity holders of the Bank.

Changes in the Group's interests in a subsidiary that do not result in a loss of control are accounted for as equity transactions, whereby adjustments are made to the amounts of controlling and non-controlling interests within consolidated equity to reflect the change in relative interests, but no adjustments are made to goodwill and no gain or loss is recognised.

When the Group loses control of a subsidiary, it is accounted for as a disposal of the entire interest in that subsidiary, with a resulting gain or loss being recognised in profit or loss. Any interest retained in that former subsidiary at the date when control is lost is recognised at fair value and this amount is regarded as the fair value on initial recognition of a financial asset (see Note 4(5)) or, when appropriate, the cost on initial recognition of an investment in a joint venture (see Note 4(2)) or, an associate (see Note 4(3)).

#### Business combinations or asset acquisitions

##### *Optional concentration test*

The Group can elect to apply an optional concentration test, on a transaction-by-transaction basis, that permits a simplified assessment of whether an acquired set of activities or assets is not a business. The concentration test is met if substantially all of the fair value of the gross assets acquired is concentrated in a single identifiable asset or group of similar identifiable assets. The gross assets under assessment exclude cash and cash equivalents, deferred tax assets, and goodwill resulting from the effects of deferred tax liabilities. If the concentration test is met, the set of activities or assets is determined not to be a business and no further assessment is needed.

##### *Asset acquisitions*

When the Group acquires a group of assets and liabilities that do not constitute a business, the Group identifies and recognises the individual identifiable assets acquired and liabilities assumed by allocating the purchase price first to financial assets/financial liabilities at the respective fair values, the remaining balance of the purchase price is then allocated to the other identifiable assets and liabilities on the basis of their relative fair values at the date of purchase. Such a transaction does not give rise to goodwill or bargain purchase gain.

**4. Principal accounting policies** *(continued)***(1) Business combination** *(continued)***Business combinations or asset acquisitions** *(continued)***Business combination**

Acquisitions of businesses are accounted for using the acquisition method. The consideration transferred in a business combination is measured at fair value, which is calculated as the sum of the acquisition date fair value of the assets transferred by the Group, liabilities incurred or assumed by the Group, and any equity interests issued by the Group. Acquisition related costs are recognised in the consolidated statement of profit or loss as incurred.

At the acquisition date, irrespective of non-controlling interests, the identifiable assets acquired and liabilities and contingent liabilities assumed are recognised at their fair values; except that deferred tax assets or liabilities, and assets or liabilities related to employee benefit arrangements are recognised and measured in accordance with IAS 12 *Income Taxes* and IAS 19 *Employee Benefits*, respectively.

Non-controlling interests that represent ownership interests in the acquiree, and entitle their holders to a proportionate share of the entity's net assets in the event of liquidation are initially recognised at either fair value or the non-controlling interests' proportionate share in the recognised amounts of the acquiree's identifiable net assets. The choice of measurement basis is made on a transaction-by-transaction basis.

**(2) Joint ventures**

A joint venture is an arrangement in which the Group has joint control, whereby the Group has rights to the net assets of the arrangement, rather than rights to its assets and obligation for its liabilities.

Joint control is the contractually agreed sharing of control of an arrangement, which exists only when decisions about the relevant activities require the unanimous consent of the parties sharing control.

When judging whether there is a joint control, the Group usually considers the following cases:

- whether any party within the joint arrangement cannot control the relevant activities of the joint ventures;
- whether the decisions about the joint ventures' relevant activities require the unanimous consent of the parties sharing control.

The consolidated statement of profit or loss includes the Group's share of the results of joint ventures for the year and the consolidated statement of financial position includes the Group's share of the net assets of the joint ventures.

Under the equity method, the investment is initially recorded at cost, adjusted for any excess of the Group's share of the acquisition-date fair value of the investee's identifiable net assets over the cost of the investment (if any). Thereafter, the investment is adjusted for the post acquisition change in the Group's share of the joint ventures' net assets. Any excess of the Group's share of the net fair value of the identifiable assets and liabilities over the cost of the investments, is recognised immediately in profit or loss in the period in which investment is acquired.

The consolidated statement of profit or loss includes post-tax results of the joint ventures for the year, including any impairment loss on goodwill relating to the investment in the joint ventures recognised for the year (see Notes 4(4) and 4(11)).

When the Group's share of losses exceeds its interest in the joint ventures, the Group's interest is reduced to nil and recognition of further losses is discontinued except to the extent that the Group has incurred legal or constructive obligations or made payments on behalf of the joint ventures. For these purposes, the Group's interest in the joint ventures is the carrying amount of the investment under equity method together with the Group's interests that in substance form part of the Group's net investment in the joint ventures.

Unrealised profits and losses resulting from transactions between the Group and its joint ventures are eliminated to the extent of the Group's interest in the joint ventures, except where unrealised losses provide evidence of an impairment of the asset transferred, in which case they are recognised immediately in profit or loss.

When the Group ceases to have joint control over a joint venture and has no significant influence on it, it is accounted for as a disposal of the entire interest in that investee, with a resulting gain or loss being recognised in the consolidated statement of profit or loss, previous other comprehensive income would be reclassified to profit or loss. Any interest retained in that former investee at the date when joint control is lost is recognised at fair value and this amount is regarded as the fair value on initial recognition of a financial asset (see Note 4(5)).



## 4. Principal accounting policies *(continued)*

### (3) Associates

Associate is an entity in which the Group has significant influence, but not control, or joint control. Significant influence is the power to participate in the financial and operating policy decisions of the investee but is not control or joint control of those policies.

When judging whether there is any significant influence, the Group usually considers the following cases:

- representation on the Board of Directors or equivalent governing body of the investee;
- participation in policy-making processes;
- material transactions between the entity and its investee.

Investments in associates are accounted for in the consolidated financial statements under the equity method. Under the equity method, the investment is initially recorded at cost, adjusted for any excess of the Group's share of the acquisition-date fair value of the investee's identifiable net assets over the cost of the investment (if any). Thereafter, the investment is adjusted for the post acquisition change in the Group's share of the associates' net assets. Any excess of the Group's share of the net fair value of the identifiable assets and liabilities over the cost of the investments, is recognised immediately in profit or loss in the period in which investment is acquired.

The consolidated statement of profit or loss includes the Group's post-tax results of the associates for the year, including any impairment loss on goodwill relating to the investment in the associates recognised for the year (see Notes 4(4) and 4(11)).

When the Group's share of losses exceeds its interest in the associates, the Group's interest is reduced to nil and recognition of further losses is discontinued except to the extent that the Group has incurred legal or constructive obligations or made payments on behalf of the associates. For these purposes, the Group's interest in the associates is the carrying amount of the investment under equity method together with the Group's interests that in substance form part of the Group's net investment in the associates.

Unrealised profits and losses resulting from transactions between the Group and its associates are eliminated to the extent of the Group's interest in the associates, except where unrealised losses provide evidence of an impairment of the asset transferred, in which case they are recognised immediately in profit or loss.

When the Group ceases to have significant influence over an associate entity, it is accounted for as a disposal of the entire interest in that investee, with a resulting gain or loss being recognised in the consolidated statement of profit or loss, previous other comprehensive income would be reclassified to profit or loss. Any interest retained in that former investee at the date when significant influence is lost is recognised at fair value and this amount is regarded as the fair value on initial recognition of a financial asset (see Note 4(5)).

### (4) Goodwill

Goodwill represents the excess of

- (i) the aggregate of the fair value of the consideration transferred, the amount of any non-controlling interest based on the fair value of net assets acquired in the acquiree and the fair value of the Group's previously held equity interests in the acquiree; over
- (ii) the net fair value of the acquiree's identifiable assets and liabilities measured as at the acquisition date.

When (ii) is greater than (i), then this excess is recognised immediately in profit or loss as a gain on a bargain purchase.

Goodwill is stated at cost less accumulated impairment. Goodwill arising on a business combination is allocated to each cash-generating unit ("CGU") or group of CGUs, that is expected to benefit from the synergies of the combination and tested at least annually for impairment (see Note 4(11)).

On disposal of a CGU during the year, any attributable amount of purchased goodwill is included in the calculation of the profit or loss on disposal.

## 4. Principal accounting policies *(continued)*

### (5) Financial instruments

#### Initial recognition

A financial instrument is any contract that gives rise to a financial asset of one enterprise and a financial liability or equity instrument of another enterprise.

All regular way purchases or sales of financial assets are recognised or derecognised on a trade date basis. Regular way purchases or sales are purchases or sales of financial assets that require delivery of assets within the time frame established by regulation or convention in the market place.

At initial recognition, financial assets and financial liabilities are initially measured at fair value except for trade receivables arising from contracts with customers which are initially measured in accordance with IFRS 15 *Revenue from Contracts with Customers*. Transaction costs that are directly attributable to the acquisition or issue of financial assets and financial liabilities (other than financial assets or financial liabilities at fair value through profit or loss) are added to or deducted from the fair value of the financial assets or financial liabilities, as appropriate, on initial recognition. Transaction costs directly attributable to the acquisition of financial assets or financial liabilities at fair value through profit or loss are recognised immediately in profit or loss.

The effective interest method is a method of calculating the amortised cost of a financial asset or financial liability and of allocating interest income and interest expense over the relevant period. The effective interest rate is the rate that exactly discounts estimated future cash receipts and payments (including all fees and points paid or received that form an integral part of the effective interest rate, transaction costs and other premiums or discounts) through the expected life of the financial asset or financial liability, or, where appropriate, a shorter period, to the net carrying amount on initial recognition. When determining the effective interest rate, the Group estimates the future cash flow on the basis of considering all contract terms of financial assets or financial liabilities, but does not consider the expected credit loss.

#### Classification and measurement of financial assets

The Group classifies its financial assets into the following measurement categories at initial recognition: financial assets at amortised cost, financial assets at fair value through other comprehensive income and financial assets at fair value through profit or loss.

Debt instruments that meet the following conditions are subsequently measured at amortised cost:

- the financial asset is held within a business model whose objective is to collect contractual cash flows; and
- the contractual terms of the financial asset give rise on specified dates to cash flows that are solely payments of principal and interest on the principal amount outstanding ("SPPI").

## 4. Principal accounting policies *(continued)*

### (5) Financial instruments *(continued)*

#### **Classification and measurement of financial assets *(continued)***

Debt instruments that meet the following conditions are subsequently measured at fair value through other comprehensive income ("FVTOCI"):

- the financial asset is held within a business model whose objective is achieved by both collecting contractual cash flows and selling; and
- the contractual terms of the financial asset give rise on specified dates to cash flows that are solely payments of principal and interest on the principal amount outstanding.

All other financial assets are subsequently measured at fair value through profit or loss ("FVTPL"), except that at the date of initial application/initial recognition of a financial asset the Group may irrevocably elect to present subsequent changes in fair value of an equity investment, which is not held for trading, in other comprehensive income ("OCI").

A financial asset is classified as held for trading if:

- it has been acquired principally for the purpose of selling in the near term; or
- on initial recognition it is part of a portfolio of identified financial instruments that the Group manages together and has a recent actual pattern of short-term profit-taking; or
- it is a derivative, except for a derivative that is a financial guarantee contract or a designated and effective hedging instrument.

In addition, the Group may irrevocably designate a debt investment that meets the amortised cost or FVTOCI criteria as measured at FVTPL if doing so eliminates or significantly reduces an accounting mismatch.

#### **Financial assets at amortised cost**

Financial assets measured at amortised cost are subsequently measured with the effective interest method, and the gains or losses arising from amortisation or impairment are recognised in profit or loss. Interest income is calculated by applying the effective interest rate to the gross carrying amount of a financial asset, except for financial assets that have subsequently become credit-impaired. For financial assets that have subsequently become credit-impaired, interest income is recognised by applying the effective interest rate to the amortised cost of the financial asset from the next reporting period. If the credit risk on the credit-impaired financial instrument improves so that the financial asset is no longer credit-impaired, interest income is recognised by applying the effective interest rate to the gross carrying amount of the financial asset from the beginning of the reporting period following the determination that the asset is no longer credit-impaired.

#### **Debt instruments classified as at FVTOCI**

Subsequent changes in the carrying amounts for debt instruments classified as at FVTOCI as a result of interest income calculated using the effective interest method, foreign exchange gains and losses are recognised in profit or loss. All other changes in the carrying amount of debt instruments are recognised in OCI and accumulated under the heading of investment revaluation reserve. Impairment losses are recognised in profit or loss with corresponding adjustment to OCI without reducing the carrying amounts of debt instruments. The amounts that are recognised in profit or loss are the same as the amounts that would have been recognised in profit or loss if debt instruments had been measured at amortised cost. When debt instruments are derecognised, the cumulative gains or losses previously recognised in investment revaluation reserve are reclassified to profit or loss.

**4. Principal accounting policies** *(continued)***(5) Financial instruments** *(continued)***Classification and measurement of financial assets** *(continued)***Equity instruments designated as at FVTOCI**

At the date of initial application/initial recognition, the Group may make an irrevocable election (on an instrument-by-instrument basis) to designate investments in equity instruments which are not held for trading as at FVTOCI. Investments in equity instruments at FVTOCI are initially measured at fair value plus transaction costs. Subsequently, they are measured at fair value with gains and losses arising from changes in fair value recognised in OCI and accumulated in the investment revaluation reserve; and are not subject to impairment assessment. The cumulative gain or loss will not be reclassified to profit or loss on disposal of the equity investments, and will be transferred to retained earnings.

Dividends from these investments in equity instruments are recognised in profit or loss when the Group's right to receive the dividends is established, unless the dividends clearly represent a recovery of part of the cost of the investment. Dividends are included in the "other net income" line item in profit or loss.

**Financial assets at FVTPL**

Financial assets that do not meet the criteria for being measured at amortised cost or FVTOCI or designated as FVTOCI are measured at FVTPL. Financial assets at FVTPL are measured at fair value at the end of each reporting period, with any fair value gains or losses recognised in profit or loss. The net gain or loss recognised in profit or loss includes fair value gains or losses, any dividend or interest earned on the financial asset, and is included in "other net income".

**Impairment under ECL model**

The Group performs impairment assessment under expected credit loss ("ECL") model on financial assets which are subject to impairment under IFRS 9 *Financial Instruments*, including financial assets at amortised cost, debt instrument assets at fair value through other comprehensive income, leases receivable, loan commitments and financial guarantee contracts. The amount of ECL is updated at each reporting date to reflect changes in credit risk since initial recognition.

The Group assesses the ECL of financial assets with forward-looking information. 12-month ECL ("12m ECL") represents the portion of lifetime ECL that is expected to result from default events that are possible within 12 months after the reporting date. In contrast, lifetime ECL represents the ECL that will result from all possible default events over the expected life of the relevant instrument. Assessment are done based on the factors that are specific to the debtors, general economic conditions and an assessment of both the current conditions at the reporting date as well as the forecast of future conditions.

For the above financial instruments that apply the ECL model, except for the purchased or originated credit-impaired financial assets, an assessment of whether credit risk has increased significantly since initial recognition is performed at each reporting period by the Group to determine whether to recognise lifetime ECL. When the credit risk of these financial instruments does not increase significantly after the initial recognition, the Group recognises a loss allowance for the financial instrument at an amount equal to 12-month ECL; in the event of a significant increase in credit risk, the Group recognises a loss allowance at an amount equal to lifetime ECL. The Group recognises the loss allowance of receivables that result from transactions that are within the scope of IFRS 15 *Revenue from contracts with customers* at an amount equal to lifetime ECL.

**Significant increase in credit risk**

In assessing whether the credit risk has increased significantly since initial recognition, the Group compares the risk of a default occurring on the financial instrument as at the reporting date with the risk of a default occurring on the financial instrument as at the date of initial recognition. In making this assessment, the Group considers both quantitative and qualitative information that is reasonable and supportable, including historical experience and forward-looking information that is available without undue cost or effort. The assessment of whether the credit risk has increased significantly is detailed in Note 60(a).



## 4. Principal accounting policies *(continued)*

### (5) Financial instruments *(continued)*

#### Impairment under ECL model *(continued)*

##### *Credit-impaired financial assets*

The Group defines whether there is credit impairment based on the internal evaluation results of the credit risk management system for relevant financial assets. The Group considers that financial assets have been credit-impaired when its loan classification is substandard, doubtful or loss or is more than 90 days overdue.

##### *Measurement and recognition of ECL*

ECL is measured based on the probability of default, loss given default and the exposure at default. The measurement and recognition of ECL are detailed in Note 60(a).

Generally, ECL is estimated as the difference between all contractual cash flows that are due to the Group in accordance with the contract and all the cash flows that the Group expects to receive, discounted at the effective interest rate determined at initial recognition.

For a lease receivable, the cash flows used for determining the ECL is consistent with the cash flows used in measuring the lease receivable in accordance with IFRS 16 *Leases*.

For a financial guarantee contract, the Group is required to make payments only in the event of a default by the debtor in accordance with the terms of the instrument that is guaranteed. Accordingly, the expected credit losses is the present value of the expected payments to reimburse the holder for a credit loss that it incurs less any amounts that the Group expects to receive from the holder, the debtor or any other party.

For undrawn loan commitments, ECL is the present value of the difference between the contractual cash flows that are due to the Group:

- if the holder of the loan commitments draws down the loan, and
- the cash flows that the Group expects to receive if the loan is drawn down.

The loss allowance for loan commitments and financial guarantee contracts is recognised in profit or loss and accumulated in provisions. As for debt instruments measured at FVTOCI, the loss allowance is recognised in OCI and accumulated in the investment revaluation reserve without reducing the carrying amounts of these financial assets. The loss allowance for other financial assets which are subject to impairment under IFRS 9 *Financial Instruments* is recognised in profit or loss through a loss allowance account.

##### *Classification and measurement of financial liabilities*

##### *Financial liabilities at FVTPL*

Financial liabilities are classified as at FVTPL when the financial liability is (i) held for trading (including derivatives belonging to financial liabilities) or (ii) designated as at FVTPL. Except for hedging accounting, financial liabilities measured at FVTPL are subsequently measured at fair value and all changes in fair value are recognised in profit or loss.

A financial liability is classified as held for trading if:

- it has been acquired principally for the purpose of repurchasing it in the near term; or
- on initial recognition it is part of a portfolio of identified financial instruments that the Group manages together and has a recent actual pattern of short-term profit-taking; or
- it is a derivative, except for a derivative that is a financial guarantee contract or a designated and effective hedging instrument.

**4. Principal accounting policies** *(continued)***(5) Financial instruments** *(continued)***Classification and measurement of financial liabilities** *(continued)***Financial liabilities at FVTPL** *(continued)*

A financial liability other than a financial liability held for trading may be designated as at FVTPL upon initial recognition if:

- such designation eliminates or significantly reduces a measurement or recognition inconsistency that would otherwise arise; or
- the financial liability forms part of a group of financial assets or financial liabilities or both, which is managed and its performance is evaluated on a fair value basis, in accordance with the Group's documented risk management or investment strategy, and information about the grouping is provided internally on that basis; or
- it forms part of a contract containing one or more embedded derivatives, and IFRS 9 *Financial Instruments* permits the entire combined contract to be designated as at FVTPL.

**Other financial liabilities**

Except for financial liabilities at FVTPL, financial liabilities formed by the transfer of financial assets that do not meet the conditions for derecognition or by continued involvement in transferred financial assets and financial liabilities, financial guarantee contract and loan commitment, other financial liabilities are classified as financial liabilities at amortised cost, which are subsequently measured at amortised cost and the gains or losses arising from derecognition or amortisation are included in profit or loss.

**Hedge accounting**

The Group designates certain derivatives as hedging instruments for fair value hedge and cash flow hedge. The Group documents the relationship between the hedging instruments and hedged items, as well as its risk management objective and strategy for undertaking the hedge, at the inception of a hedging relationship. The Group also requires documentation of the assessment, both at hedge inception and on an ongoing basis, of whether the derivatives that are used in hedging transactions are highly effective in offsetting changes in fair values or cash flows of hedged items attributable to the hedged risks.

**Fair value hedge**

The gains or losses on the hedging instrument are recognised in consolidated statement of profit or loss. When the hedging for the risk exposure relates to a non-trading equity instrument designated as at FVTOCI, the gains or losses on the hedging instrument are recognised in other comprehensive income.

The carrying amount of the hedged item not already measured at fair value is adjusted for the gain or loss attributable to the risk being hedged and is taken to consolidated statement of profit or loss. The adjustment to the carrying amount of the hedged item is based on a recalculated effective interest rate at the date that amortisation begins and shall be amortised to consolidated statement of profit or loss if the hedged item is a financial instrument measured at amortised cost. Amortisation begins as soon as an adjustment exists but no later than when the hedged item ceases to be adjusted for hedging gains and losses. If the hedged item is debt instruments measured at FVTOCI, the amounts previously recorded as cumulative adjustments of hedging gains or losses are amortised in similar method and recognised in the consolidated statement of profit or loss. The carrying amount of the hedged item is not adjusted.

**Cash flow hedge**

The effective portions of changes in the fair value of derivatives that are designated and qualified as cash flow hedge are recognised in other comprehensive income and accumulated separately in hedging reserve. Any gain or loss relating to an ineffective portion is recognised immediately in the consolidated statement of profit or loss.

For cash flow hedge of a recognised asset or liability, the associated cumulative gain or loss is reclassified from hedging reserve to the consolidated statement of profit or loss in the same period during which the hedged cash flows affect profit and loss. When a hedging instrument expires or is sold, or when a hedge no longer meets the criteria for hedge accounting, any cumulative gain or loss at that time remains in hedging reserve until the forecast transaction is ultimately recognised in the consolidated statements of profit or loss. When a forecast transaction is no longer expected to occur, the cumulative gain or loss is immediately reclassified to the consolidated statement of profit or loss.

## 4. Principal accounting policies *(continued)*

### (5) Financial instruments *(continued)*

#### Hedge accounting *(continued)*

##### Hedge effectiveness testing

The Group has elected to adopt the general hedge accounting in IFRS 9 Financial Instruments. This requires the Group to ensure that hedge accounting relationships are aligned with its risk management objectives and strategy and to apply a more qualitative and forward-looking approach to assessing hedge effectiveness.

For hedge effectiveness assessment, the Group considers whether the hedging instrument is effective in offsetting changes in fair values or cash flows of the hedged item attributable to the hedged risk, which is when the hedging relationships meet all of the following hedge effectiveness requirements:

- there is an economic relationship between the hedged item and the hedging instrument;
- the effect of credit risk does not dominate the value changes that result from that economic relationship; and
- the hedge ratio of the hedging relationship is the same as that resulting from the quantity of the hedged item that the Group actually hedges and the quantity of the hedging instrument that the entity actually uses to hedge that quantity of hedged item.

If a hedging relationship ceases to meet the hedge effectiveness requirement relating to the hedge ratio but the risk management objective for that designated hedging relationship remains the same, the Group adjusts the hedge ratio of the hedging relationship (i.e. rebalances the hedge) so that it meets the qualifying criteria again.

#### Specific items

##### Cash equivalents

Cash equivalents comprise investments that are short term, highly liquid, readily convertible into known amounts of cash and subject to insignificant risk of changes in value, and unrestricted balances with the central banks, banks and other financial institutions, and amounts held under resale agreements, with original maturity of 3 months or less.

##### Balances and placements with banks and other financial institutions

Banks refer to those approved by the People's Bank of China ("PBOC") and other authorities. Other financial institutions represent finance companies, insurance companies, investment trust companies, leasing companies and insurance companies which are registered with and under the supervision of the China Banking and Insurance Regulatory Commission (the "CBIRC") and securities firms and investment fund companies which are registered with and under the supervision of other regulatory authorities. Balances and placements with banks and other financial institutions are measured at amortised cost.

##### Resale and repurchase agreements

Amounts for purchase of financial assets under resale agreements are accounted for under "amounts held under resale agreements". Amounts from sale of financial assets under repurchase agreements are accounted for under "amounts sold under repurchase agreements".

The difference between the purchase and resale consideration or sale and repurchase consideration is amortised over the period of the transaction using the effective interest method and is included in interest income or expense (as appropriate).

## 4. Principal accounting policies *(continued)*

### (5) Financial instruments *(continued)*

#### Specific items *(continued)*

##### *Financial investments*

Equity investments are accounted for as financial assets at fair value through profit or loss or equity investments designated at fair value through other comprehensive income. Debt investments are classified as financial assets at fair value through profit or loss, debt investments at amortised cost, debt investments at fair value through other comprehensive income in accordance with the entity's business model, contractual cash flow characteristics and the fair value option.

##### *Loans and advances to customers*

Loans and advances directly granted by the Group to customers and finance leases receivables are accounted for as loans and advances to customers.

Loans and advances to customers are classified as loans and advances to customers at fair value through profit or loss (loans and advances to customers at FVTPL), loans and advances to customers at amortised cost, loans and advances to customers at fair value through other comprehensive income (loans and advances to customers at FVTOCI) in accordance with the entity's business model, contractual cash flow characteristics and the fair value option.

##### *Derivative financial instruments*

The Group's derivative financial instruments mainly include forward, foreign currency swaps, interest rate swaps and option contracts undertaken in response to customers' needs or for the Group's own risk management purposes. The Group enters into derivative contracts with other banks that can conduct such business and financial institutions to hedge against risks arising from derivative transactions undertaken for customers.

Derivative financial instruments are stated at fair value. Except for the gains or losses arising from the effective hedging portion of those derivatives in cash flow hedge and the gains or losses on the hedging instrument that hedges a non-trading equity instrument designated as at FVTOCI are recognised in other comprehensive income, all other gains or losses are recognised in the consolidated statement of profit or loss.

##### *Embedded derivatives*

Derivatives embedded in hybrid contracts that contain financial asset hosts within the scope of IFRS 9 *Financial Instruments* are not separated. The entire hybrid contract is classified and subsequently measured in its entirety as either amortised cost or fair value as appropriate. Derivatives embedded in non-derivative host contracts that are not financial assets within the scope of IFRS 9 *Financial Instruments* are treated as separate derivatives with the same terms when they meet the definition of a derivative, their risks and characteristics are not closely related to those of the host contracts and the hybrid contracts are not measured at FVTPL. Separated embedded derivatives are measured at fair value, with all changes in fair value recognised in profit or loss unless they form part of a qualifying cash flow hedging relationship.

##### *Equity instruments*

The consideration received from the issuance of equity instruments net of transaction costs is recognised in shareholders' equity. Consideration and transaction costs paid by the Group for repurchasing self-issued equity instruments are deducted from shareholders' equity.



## 4. Principal accounting policies *(continued)*

### (5) Financial instruments *(continued)*

#### Specific items *(continued)*

#### Equity instruments *(continued)*

A financial instrument is an equity instrument if, and only if, both conditions (i) and (ii) below are met:

- (i) the financial instrument includes no contractual obligation to deliver cash or another financial asset to another entity, or to exchange financial assets or financial liabilities with another entity under conditions that are potentially unfavorable to the Group; and
- (ii) if the financial instrument will or may be settled in the Group's own equity instruments, it is a non-derivative instrument that includes no contractual obligations for the Group to deliver a variable number of its own equity instruments; or a derivative that will be settled only by the Group exchanging a fixed amount of cash or another financial asset for a fixed number of its own equity instruments.

At initial recognition, the Group classifies the perpetual bonds and perpetual debt capitals issued or their components as financial liabilities or equity instruments based on their contractual terms and their economic substance after considering the definition of financial liabilities and equity instruments.

For perpetual bonds and perpetual debt capitals issued that classified as equity instruments, any distribution of interests during the instruments' duration is treated as profit appropriation. When the perpetual bonds and perpetual debt capitals are redeemed, the redeemed amount is charged to equity. Relevant transaction expenses are deducted from equity.

At initial recognition of preference shares, the Group classifies the preference shares issued or their components as financial liabilities or equity instruments based on their contractual terms and their economic substance after considering the definition of financial liabilities and equity instruments.

When the Group classifies preference shares issued as an equity instrument, fees, commissions and other transaction costs of preference shares issuance are deducted from equity. The dividends on preference shares are recognised as profit distribution at the time of declaration.

#### Derecognition of financial instruments

##### (a) Financial assets

A financial asset (or, where applicable, a part of a financial asset or part of a group of similar financial assets) is derecognised when:

- the rights to receive cash flows from the asset have expired; or
- the Group has transferred its rights to receive cash flows from the asset; or
- has retained its rights to receive cash flows from the asset but has assumed an obligation to pay them in full without material delay to a third party under a "pass-through" arrangement; and either the Group has transferred substantially all the risks and rewards of ownership of the financial asset; or the Group has neither transferred nor retained substantially all the risks and rewards of ownership of the financial asset, but has transferred control of the asset.

Where the Group has transferred its rights to receive cash flows from an asset or has retained its rights to receive cash flows from the asset but has entered into a pass-through arrangement, and has neither transferred nor retained substantially all the risks and rewards of the asset nor transferred control of the asset, the asset is recognised to the extent of the Group's continuing involvement in the asset.

Continuing involvement that takes the form of a guarantee over the transferred asset is measured at the lower of the original carrying amount of the asset and the maximum amount of consideration that the Group could be required to repay.

The Group writes off a financial asset (if any) when there is information indicating that the counterparty is in severe financial difficulty and there is no realistic prospect of recovery. A write-off constitutes a derecognition event. Any subsequent recoveries are recognised in profit or loss.

**4. Principal accounting policies** *(continued)***(5) Financial instruments** *(continued)***Derecognition of financial instruments** *(continued)***(b) Securitisation**

As part of its operational activities, the Group securitises credit assets, generally through the sale of these assets to structured entities which issue securities to investors. Interests in the securitised financial assets may be retained in the form of senior or junior tranches, or other residual interests (retained interests).

When applying the accounting policies on securitised financial assets, the Group has considered both the degree of transfer of risks and rewards on the transferred financial assets and the degree of control exercised by the Group over the transferred financial assets:

- when the Group transfers substantially all the risks and rewards of ownership of the financial assets, the Group shall derecognise the financial assets;
- when the Group retains substantially all the risks and rewards of ownership of the financial assets, the Group shall continue to recognise the financial assets; and
- when the Group neither transfers nor retains substantially all the risks and rewards of ownership of the financial assets, the Group would determine whether it has retained control of the financial assets. If the Group has not retained control, it shall derecognise the financial assets and recognise separately as assets or liabilities any rights and obligations created or retained in the transfer. If the Group has retained control, it shall continue to recognise the financial assets to the extent of its continuing involvement in the financial assets.

When a securitisation of financial assets does not qualify for derecognition, the relevant financial assets are not derecognised, and the consideration collected from third parties are recorded as a financial liability.

When the securitisation results in derecognition or partial derecognition of financial assets, the Group allocates the carrying amount of the transferred financial assets between the financial assets derecognised and the retained interests based on their relative fair values at the date of transfer. Gains or losses on securitisation, which is the difference between the consideration received and the allocated carrying amount of the financial assets derecognised, are recorded in "other net income". The retained interests continue to be recognised on the same basis before the securitisation.

**(c) Sales of assets on condition of repurchase**

Derecognition of financial assets sold on condition of repurchase is determined by the economic substance of the transaction. If a financial asset is sold under an agreement to repurchase the same or substantially the same asset at a fixed price or at the sale price plus a reasonable return, the Group will not derecognise the asset. If a financial asset is sold together with an option to repurchase the financial asset at its fair value at the time of repurchase (in case of transferor sells such financial asset), the Group will derecognise the financial asset.

**(d) Financial liabilities**

A financial liability (or part of it) is derecognised when the obligation under the liability (or part of it) is discharged, cancelled or expired.

**Offsetting financial instruments**

Financial assets and liabilities are offset and the net amount is presented in the consolidated statement of financial position when, and only when, the Group currently has there is a legally enforceable right to offset the recognised amounts and there is an intention to settle on a net basis or realise the asset and settle the liability simultaneously.

**4. Principal accounting policies** *(continued)***(6) Property, equipment, investment property and depreciation**

Property, equipment and investment property, are stated at cost or deemed cost less accumulated depreciations and accumulated impairment losses. These also include land held under operating leases and buildings thereon, where the fair value of the leasehold interest in the land and buildings cannot be measured separately at the inception of the lease and the building is not clearly held under an operating lease.

Depreciation is calculated to write off the cost of property, equipment and investment property over the following estimated useful lives, after taking into account an estimated residual value on a straight-line basis:

Land and buildings	20 years
Investment properties	20 years
Computer equipment	3 years
Leasehold improvements (leased property)	the estimated useful lives
Leasehold improvements (self-owned property)	the estimated useful lives
Aircraft, vessels and professional equipment	no more than 25 years
Other	3 – 5 years

Construction in progress represents property under construction and is stated at cost less impairment losses. Cost comprises the direct and indirect cost of construction. Construction in progress is transferred to an appropriate class of property or other asset when the asset is ready for its intended use. No depreciation is provided for construction in progress.

Subsequent expenditure relating to a property, equipment and investment property is capitalised only when it is probable that future economic benefits associated with the property and equipment will flow to the Group. All other expenditure is recognised in the consolidated statement of profit or loss as an expense as incurred.

Profits or losses on disposal of property, equipment and investment property are determined as the difference between the net disposal proceeds and the carrying amount of the property, equipment and investment property, and are accounted for in the consolidated statement of profit or loss as they arise.

**(7) Repossessed assets**

In the recovery of impaired loans and advances, the Group may take possession of assets held as collateral through court proceedings or voluntary delivery of possession by the borrowers. Repossessed assets other than equity instrument are reported in "other assets".

Repossessed assets of equity instruments are detailed in Note 4(5).

**(8) Intangible assets**

Intangible assets are stated at cost less accumulated amortisation (only intangible assets with finite useful lives) and accumulated impairment losses (see Note 4(11)). Amortisation of intangible assets with finite useful lives is charged to profit or loss on a straight-line basis over the assets' estimated useful lives.

Intangible assets are not amortised while their useful lives are assessed to be indefinite. The Group does not have intangible assets with useful lives assessed to be indefinite as at the end of the reporting period.

The amortisation period of intangible assets is as follows:

<b>Software and Other</b>	<b>Core deposit</b>
2 – 20 years	28 years

Both the periods and method of amortisation are reviewed annually.

**4. Principal accounting policies** *(continued)***(9) Leases****Definition of a lease**

A contract is, or contains, a lease if the contract conveys the right to control the use of an identified asset for a period of time in exchange for consideration. The Group assesses whether a contract is or contains a lease based on the definition under IFRS 16 Leases at inception or modification date. Such contract will not be reassessed unless the terms and conditions of the contract are subsequently changed.

**As a lessee****(a) Allocation of consideration to components of a contract**

For a contract that contains a lease component and one or more additional lease or non-lease components, the Group allocates the consideration in the contract to each lease component on the basis of the relative stand-alone price of the lease component and the aggregate stand-alone price of the non-lease components.

**(b) Short-term leases and leases of low-value assets**

The Group recognises a right-of-use asset and a corresponding lease liability with respect to all lease arrangements in which it is the lessee, except for short-term leases (lease term of 12 months or less and do not contain a purchase option) and leases of low value assets (the value of assets is equivalent to below RMB35,000).

Lease payments on short-term leases and leases of low-value assets are recognised as expense on a straight-line basis over the lease term.

**(c) Right-of-use assets**

The right-of-use assets are presented as a separate line in the consolidated statement of financial position.

The right-of-use asset is initially measured at cost. This cost includes:

- the amount of the initial measurement of the lease liability;
- any lease payments made at or before the commencement date, less any lease incentives received;
- any initial direct costs incurred by the lessee; and
- whenever the Group incurs an obligation for costs to dismantle and remove a leased asset, restore the site on which it is located or restore the underlying asset to the condition required by the terms and conditions of the lease, a provision is recognised and measured under IAS 37 *Provisions, Contingent Liabilities and Contingent Assets*. The costs are included in the related right-of-use asset, unless those costs are incurred to produce inventories.

After the commencement date, the right-of-use assets are measured at cost (subject to certain exceptions) less accumulated depreciation and impairment losses, adjusted for any remeasurement of the lease liability. The Group recognises the depreciation of right-of-use assets as an operating expense on a straight-line basis. Right-of-use assets are depreciated over the shorter period of lease term and useful life of the underlying asset. If a lease transfers the ownership of the underlying asset or the cost of the right-of-use asset reflects that the Group expects to exercise a purchase option, the related right-of-use asset is depreciated over the useful life of the underlying asset.

Accounting policy for any identified right-of-use asset impairment loss are disclosed in Note 4(11).



**4. Principal accounting policies** *(continued)***(9) Leases** *(continued)**As a lessee (continued)***(d) Leasehold land and building**

For payments of a property interest which includes both leasehold land and building elements, the entire property is presented as property and equipment of the Group when the payments cannot be allocated reliably between the leasehold land and building elements, except for those that are classified and accounted for as investment properties.

**(e) Lease liabilities**

Lease liability is presented as a separate line in the consolidated statement of financial position.

Except for short-term leases and leases of low-value asset, lease liability is initially measured at the present value of the lease payments that are not paid at the commencement date using lessee's incremental borrowing rate as the discount rate.

Lease payments refer to the payment made by the lessee to the lessor in connection with the right to use the leased assets during the lease term. Lease payments included in the measurement of the lease liability comprise:

- fixed lease payments (including in-substance fixed payments), less any lease incentives;
- variable lease payments that depend on an index or rate, initially measured using the index or rate at the commencement date;
- the exercise price of purchase options, if the lessee is reasonably certain to exercise the options;
- payments of penalties for terminating the lease, if the lease term reflects the exercise of an option to terminate the lease; and
- the amount expected to be payable by the lessee under remaining value guarantees.

After the beginning date of the lease term, the Group calculates the interest expense of the lease liability in each period of the lease term at a fixed periodic interest rate, and recognised it in the current profit and loss or related asset costs.

After the commencement date, the Group remeasures the lease liability according to the present value calculated by the revised lease payment amount and the revised discount rate and makes a corresponding adjustment to the related right-of-use asset whenever:

- the lease term has changed or there is a change in the assessment of exercise of a purchase option, in which case the lease liability is remeasured by discounting the revised lease payments using a revised discount rate; or
- the lease payments change due to changes in an index or rate or a change in expected payment under a guaranteed remaining value, in which cases the lease liability is remeasured by discounting the revised lease payments using the initial discount rate. But if the change in lease payments results from a change in floating interest rates, the lessee shall use a revised discount rate that reflects changes in the interest rate.

## 4. Principal accounting policies *(continued)*

### (9) Leases *(continued)*

#### As a lessor

Leases for which the Group is a lessor are classified as finance or operating leases. When the terms of the lease transfer substantially all the risks and rewards of ownership to the lessee, the contract is classified as a finance lease. All other leases are classified as operating leases.

Where the Group is a lessor under finance leases, an amount representing the net investment in the lease is included in the consolidated statement of financial position as "loans and advances to customers". Unrecognised finance income under finance leases are amortised using the effective interest method over the lease term. Accounting policy for impairment losses are disclosed in Note 4(5).

When the Group is a lessor of an operating lease, income derived from operating lease is recognised in the consolidated statement of profit or loss using the straight-line method over the lease term. If initial direct costs incurred in respect of the assets leased out are material, the costs are initially capitalised and subsequently amortised in profit or loss over the lease term on the same basis as the lease income. Contingent lease income is charged to profit or loss in the accounting period in which it is incurred.

When a contract includes lease and non-lease components, the Group applies IFRS 15 *Revenue from Contracts with Customers* to allocate the consideration under the contract to each component.

#### As a buyer-lessor in a sale and leaseback transactions

For a transfer of asset that does not meet the requirements of IFRS 15 *Revenue from Contracts with Customers* to account for a sale of asset, the Group acting as a buyer-lessor does not recognise the transferred asset and recognises loan and advance to customers at an amount that equals the transfer proceed within the scope of IFRS 9 *Financial Instruments*.

### (10) Insurance contracts

#### Insurance contracts classification

Insurance contracts are those contracts under which the Group has accepted significant insurance risk, relative to an insured event or occurrence. When necessary, the Group enters into reinsurance contracts to transfer insurance risks to reinsurer. A significant insurance risk test is performed at inception of the insurance contracts.

#### Insurance income recognition

Premiums from long-term life insurance contracts are recognised as revenue when due from policy holders. Premiums related to short-term non-life insurance contracts are recognised when received at the inception of the policy, as unearned insurance premiums in liabilities, and are amortised on a straight-line basis into the consolidated statement of profit or loss over the term of the policy. When the Group has transferred insurance risk through reinsurance contracts, the Group calculates the amount of premium ceded and the reinsurers' share of expenses and recognises them through the consolidated statement of profit or loss in accordance with the terms of the reinsurance contracts.

#### Insurance contract liabilities

Insurance contract liabilities are measured based on a reasonable estimate of the amount of payments that the Group will be required to make to fulfil its obligations under the insurance contracts, which represents the difference between expected future cash outflows and inflows related to such contracts. A reasonable estimate of expected future net cash flows is determined based on information currently available as at the end of the reporting period.

The Group has considered the impact of time value in the liability calculation for long-term life insurance. The Group performs liability adequacy tests based on information currently available as at the reporting date. Additional insurance contract liabilities should be recorded if any deficiency exists.

## 4. Principal accounting policies *(continued)*

### (11) Impairment on tangible and intangible assets other than impairment under ECL model

The carrying amount of tangible and intangible assets including property and equipment, right-of-use assets, intangible assets, investment properties, interests in joint ventures, interests in associates, goodwill and other non-current assets are reviewed periodically in order to assess whether the recoverable amount has declined below the carrying amount. When such a decline has occurred, the carrying amount is reduced to the recoverable amount. The amount of impairment loss is recognised in the consolidated statement of profit or loss. The recoverable amount of an asset is the greater of its fair value less disposal expense and present value of future expected cash flows. In assessing value in use, the estimated future cash flows are discounted to their present values.

Internal and external sources of information are reviewed at the end of the reporting period to identify any indications that other assets may be impaired.

If any such indication exists, the asset's recoverable amount is estimated. In addition, for goodwill, intangible assets that are not yet available for use and intangible assets that have indefinite useful lives, the recoverable amount is estimated by the Group at the end of the reporting period whether or not there is any indication of impairment.

#### – Calculation of recoverable amount

The recoverable amount of an asset or a cash-generating unit is the greater of its fair value less disposal expense and the present value of future cash flows. In assessing value in use, the estimated future cash flows are discounted to their present values using a pre-tax discount rate that reflects current market assessments of time value of money and the risks specific to the asset. Where an asset does not generate cash inflows largely independent of those from other assets, the recoverable amount is determined for the smallest group of assets that generates cash inflows independently (i.e. a cash-generating unit).

#### – Recognition of impairment losses

An impairment loss is recognised in the consolidated statement of profit or loss whenever the carrying amount of an asset, or the cash-generating unit to which it belongs exceeds its recoverable amount. Impairment losses recognised in respect of cash-generating units are allocated first to reduce the carrying amount of any goodwill allocated to the cash-generating unit (or group of units) and then, to reduce the carrying amount of the other assets in the unit (or group of units) on a pro rata basis, except that the carrying value of an asset will not be reduced below its individual fair value less costs to sell, or value in use, if determinable.

### (12) Precious metals

Precious metals that are not related to the Group's trading activities are initially measured at acquisition cost and subsequently measured at the lower of cost and net realisable value. Precious metals that are related to the Group's trading activities are initially recognised at fair value, with changes in fair value arising from remeasurement recognised directly in the consolidated statement of profit or loss in the period in which they arise.

## 4. Principal accounting policies *(continued)*

### (13) Financial guarantee issued, provisions and contingent liabilities

#### Financial guarantees issued

Financial guarantees are contracts that require the issuer (i.e. the guarantor) to make specified payments to reimburse the beneficiary of the guarantee (the holder) for a loss the holder incurs because a specified debtor fails to make payment when due in accordance with the terms of a debt instrument. The provision of financial guarantees issued is recognised in the consolidated statement of financial position in accordance with accounting policy set out in Note 4(5).

#### Provisions and contingent liabilities

Provisions are recognised for liabilities of uncertain timing or amount when the Group has a legal or constructive obligation arising as a result of a past event, it is highly probable that an outflow of economic benefits will be required to settle the obligation and a reliable estimate can be made. Where the time value of money is material, provisions are stated at the present value of the expenditures expected to settle the obligation.

Where it is not probable that an outflow of economic benefits will be required, or the amount cannot be estimated reliably, the obligation is disclosed as a contingent liability, unless the probability of outflow of economic benefits is remote.

### (14) Income recognition

Revenue is the inflow of economic benefits that the Group has formed in its daily activities that will result in an increase in shareholders' equity and have nothing to do with the capital invested by shareholders.

#### Net interest income

Interest income and expense for all financial instruments except for those classified as at FVTPL are recognised in "Interest income" and "Interest expense" in the profit or loss account using the effective interest method. Interest on financial instruments measured as at FVTPL is included within the fair value movement during the period, which is recognised in "Other net income".

#### Dividend income

Dividend income from investments is recognised when the dividend is declared and approved by the investee.

#### Rental income

Income derived from operating leases is recognised in the consolidated statement of profit or loss using the straight-line method over the lease term.

#### Premium income

Premium income represents gross insurance premium written less reinsurance ceded, as adjusted for unearned premium. Gross premiums written are recognised at the date of risk inception.



## 4. Principal accounting policies (continued)

### (14) Income recognition (continued)

#### Fee and commission income

Under IFRS 15 *Revenue from Contracts with Customers*, the Group recognises revenue when (or as) a performance obligation is satisfied, i.e. when "control" of the goods or services underlying the particular performance obligation is transferred to the customer.

A performance obligation represents a good and service (or a bundle of goods or services) that is distinct or a series of distinct goods or services that are substantially the same. For contracts that contain more than one performance obligation, the Group allocates the transaction price to each performance obligation on a relative stand-alone selling price basis, except for the allocation of discounts and variable consideration.

The stand-alone selling price of the distinct goods or service underlying each performance obligation is determined at contract inception. It represents the price at which the Group would sell a promised goods or service separately to a customer. If a stand-alone selling price is not directly observable, the Group estimates it using appropriate techniques such that the transaction price ultimately allocated to any performance obligation reflects the amount of consideration to which the Group expects to be entitled in exchange for transferring the promised goods or services to the customer.

For contracts that contain variable consideration, the Group estimates the amount of consideration to which it will be entitled using either (a) the expected value method or (b) the most likely amount, depending on which method better predicts the amount of consideration to which the Group will be entitled.

The estimated amount of variable consideration is included in the transaction price only to the extent that it is highly probable that such an inclusion will not result in a significant revenue reversal in the future when the uncertainty associated with the variable consideration is subsequently resolved. At the end of each reporting period, the Group updates the estimated transaction price (including updating its assessment of whether an estimate of variable consideration is constrained) to represent faithfully the circumstances present at the end of the reporting period and the changes in circumstances during the reporting period.

For each performance obligation identified, the Group determines at contract inception whether it satisfies the performance obligation over time or satisfies the performance obligation at a point in time. Control is transferred over time and revenue is recognised over time by reference to the progress towards complete satisfaction of the relevant performance obligation if one of the following criteria is met:

- the customer simultaneously receives and consumes the benefits provided by the Group's performance as the Group performs;
- the Group's performance creates and enhances an asset that the customer controls as the Group performs; or
- the Group's performance does not create an asset with an alternative use to the Group and the Group has an enforceable right to payment for performance completed to date.

Otherwise, revenue is recognised at a point in time.

If the revenue is recognised over time, the Group recognises revenue in accordance with the progress towards complete satisfaction of a performance obligation. The progress towards complete satisfaction of a performance obligation is measured based on output method, which is to recognise revenue on the basis of direct measurements of the value of the goods or services transferred to the customer to date relative to the remaining goods or services promised under the contract, that best depicts the Group's performance in transferring control of goods or services.

## 4. Principal accounting policies *(continued)*

### (14) Income recognition *(continued)*

#### Fee and commission income *(continued)*

If revenue is recognised at a point in time, the Group recognises the revenue when the customer obtains control of the distinct good or service. To determine the point in time at which a customer obtains control of a promised service, the following indicators of the transfer of control should also be considered. They include, but are not limited to:

- the Group has a present right to payment for the goods or services;
- the Group has transferred physical possession of the goods;
- the customer has the significant risks and rewards of ownership of the goods;
- the customer has accepted the goods or services.

When another party is involved in providing goods or services to a customer, the Group determines whether the nature of its promise is a performance obligation to provide the specified goods or services itself (i.e. the Group is a principal) or to arrange for those goods or services to be provided by the other party (i.e. the Group is an agent).

The Group is a principal if it can control the goods or service before transferring it to customers. The Group is an agent if its performance obligation is to arrange for the provision of the specified goods or service by another party. In this case, the Group does not control the specified goods or service provided by another party before that goods or service is transferred to the customer. When the Group acts as an agent, it recognises revenue in the amount of any fee or commission to which it expects to be entitled in exchange for arranging for the specified goods or services to be provided by the other party.

A contract asset represents the Group's right to consideration in exchange for goods or services that the Group has transferred to a customer that is not yet unconditional. In contrast, a receivable represents the Group's unconditional right to consideration, i.e. only the passage of time is required before payment of that consideration is due.

A contract liability represents the Group's obligation to transfer goods or services to a customer for which the Group has received consideration (or an amount of consideration is due) from the customer.

### (15) Taxation

Current income tax and movements in deferred tax balances are recognised in the consolidated statement of profit or loss except to the extent that it relates to items recognised directly in equity, in which case it is recognised in equity.

Current tax is the expected tax payable on the taxable income for the year, using tax rates enacted or substantially enacted at the end of the reporting period, and any adjustment to tax payable in respect of previous years.

Deferred tax is recognised on temporary differences between the carrying amounts of assets and liabilities in the consolidated financial statements and the corresponding tax base used in the computation of taxable profit. Deferred tax assets also arise from unused tax losses and unused tax credits. The amount of deferred tax provided is based on the expected manner of realisation or settlement of the carrying amount of assets and liabilities, using tax rates of expected returns of the assets or the repayment of the liabilities. Deferred tax assets and liabilities are not discounted.

A deferred tax asset is recognised only to the extent that it is probable that future taxable profits will be available against which the asset can be utilised. Deferred tax assets are reduced by the extent that it is no longer probable that the related tax benefit will be realised.

The Group shall recognise a deferred tax asset for all deductible temporary differences associated with investments in subsidiaries and interests in associates and joint ventures that both of the following conditions are satisfied: the temporary differences are likely to be reversed in the foreseeable future; and it is probably to obtain the taxable income used to offset the deductible temporary difference in the future. The Group shall recognise a deferred tax liability for all taxable temporary differences associated with investments in subsidiaries and interests in associates and joint ventures, except where both of the following conditions are satisfied: the investor is able to control the timing of the reversal of the temporary difference; and it is probable that the temporary difference will not reverse in the foreseeable future.

## 4. Principal accounting policies *(continued)*

### (15) Taxation *(continued)*

Current tax balances and deferred tax balances, and movements therein, are presented separately from each other and are not offset. Current tax assets are offset against current tax liabilities, and deferred tax assets against deferred tax liabilities if the Group has the legally enforceable right to set off current tax assets against current tax liabilities and the following additional conditions are met:

- in the case of current tax assets and liabilities, the Group intends either to settle on a net basis, or to realise the asset and settle the liability simultaneously; or
- in the case of deferred tax assets and liabilities, if they relate to income taxes levied by the same taxation authority on either:
  - the same taxable entity; or
  - different taxable entities, which, in each future period in which significant amounts of deferred tax liabilities or assets are expected to be settled or recovered, intend to realise the current tax assets and settle the current tax liabilities on a net basis or realise and settle simultaneously.

### (16) Foreign currencies translations

In preparing the financial statements of each individual group entity, transactions in currencies other than the entity's functional currency (foreign currencies) are recognised at the rates of exchange prevailing at the dates of the transactions. At the end of each reporting period, monetary items denominated in foreign currencies are retranslated at the rates prevailing at that date. Non-monetary items carried at fair value that are denominated in foreign currencies are retranslated at the rates prevailing at the date when the fair value is determined. Non-monetary items that are measured in terms of historical cost in a foreign currency are not retranslated.

Exchange differences on monetary items are recognised in profit or loss in the period in which they arise except for:

- exchange differences on transactions entered into as part of the effective portion of a hedge on certain foreign currency risks; or
- exchange differences on monetary items receivable from or payable to a foreign operation for which settlement is neither planned nor likely to occur (therefore forming part of the net investment in the foreign operation), which are recognised initially in other comprehensive income and reclassified from equity to profit or loss on repayment of the monetary items.

For the purposes of presenting these consolidated financial statements, the assets and liabilities of the Group's foreign operations are translated into currency units using exchange rates prevailing at the end of each reporting period. Income and expense items are translated at the average exchange rates for the period, unless exchange rates fluctuate significantly during that period, in which case the exchange rates at the dates of the transactions are used. Exchange differences arising, if any, are recognised in other comprehensive income and accumulated in exchange reserve (and attributed to non-controlling interests as appropriate).

On the disposal of a foreign operation, all of the exchange differences accumulated in exchange reserve in respect of that operation attributable to the owners of the Bank are reclassified to the consolidated statement of profit or loss.

## 4. Principal accounting policies *(continued)*

### (17) Employee benefits

#### Salaries and staff welfare

Salaries, bonuses and other benefits are accrued in the period in which the associated services are rendered by employees.

#### Post-employment benefits

The Group participates in a number of defined contribution retirement benefit schemes managed by different provincial governments or independent insurance companies. Obligation for contributions to these schemes are jointly borne by the Group and the staff, and contributions paid by the Group are recognised as an expense in the consolidated statement of profit or loss as incurred.

The Group's net obligation in respect of defined benefit plans is calculated separately for each plan by estimating the amount of future benefit that employees have earned in the current and prior periods, discounting that amount and deducting the fair value of any plan assets.

The calculation of defined benefit obligations is performed annually by a qualified actuary using the projected unit credit method. When the calculation results in a potential asset for the Group, the recognised asset is limited to the present value of economic benefits available in the form of any future refunds from the plan or reductions in future contributions to the plan. To calculate the present value of economic benefits, consideration is given to any applicable minimum funding requirements.

Remeasurements of the net defined benefit liability, which comprise actuarial gains and losses, the return on plan assets (excluding interest) and the effect of the asset ceiling (if any, excluding interest), are recognised immediately in other comprehensive income. The Group determines the net interest expense (income) on the net defined benefit liability (asset) for the period by applying the discount rate used to measure the defined benefit obligation at the beginning of the annual period to the then-net defined benefit liability (asset), taking into account any changes in the net defined benefit liability (asset) during the period as a result of contributions and benefit payments. Net interest expense and other expenses related to defined benefit plans are recognised in personnel expenses in the consolidated statement of profit or loss.

When the benefits of a plan are changed or when a plan is curtailed, the resulting change in benefit that relates to past service or the gain or loss on curtailment is recognised immediately in profit or loss. The Group recognises gains and losses on the settlement of a defined benefit plan when the settlement occurs.

#### Share-based payment

The Group offers H share appreciation rights to its employee, namely H Share Appreciation Rights Scheme for the Senior Management ("the Scheme"), which is settled in cash. Cash-settled share-based payments are measured at the fair value of the liabilities incurred by the Group, which are determined based on the price of the share. The Group recognises the services for the period as related costs or expenses, with a corresponding increase in liability, at an amount equal to the fair value of the liability based on the best estimate of the outcome of vesting at the end of each reporting period within the vesting period. Until the liability is settled, the Group remeasures the fair value of the liability at each reporting period end and at the date of settlement, with any changes in fair value recognised in profit or loss for the period.

The fair value of the H share appreciation rights is using Black-Scholes model, taking into account the terms and condition upon which the H share appreciation rights were granted.



## 4. Principal accounting policies *(continued)*

### (18) Related parties

For the purposes of these consolidated financial statements, parties are considered to be related to the Group if the Group has the ability, directly, indirectly or jointly, to control the party or exercise significant influence over the party in making financial and operating decisions, or vice versa, or where the Group and the party are subject to control, common control or common significant influence (except that the Group and the party are subject to common significant influence of the other party). Related parties may be individuals (being members of key management personnel, significant shareholders and/or their close family members) or other entities and include entities which are under the significant influence of related parties of the Group where those parties are individuals, and post-employment benefit plans which are for the benefit of employees of the Group or of any entity that is a related party of the Group.

### (19) Segmental reporting

Operating segments, and the amounts of each segment item reported in the consolidated financial statements, are identified from the financial information provided regularly to the Group's most senior executive management for the purposes of allocating resources to, and assessing the performance of, the Group's various lines of business and geographical locations. Individually material operating segments are not aggregated for financial reporting purposes unless the segments have similar economic characteristics and are similar in respect of the nature of products and services, the nature of production processes, the type or class of customers, the methods used to distribute the products or provide the services, and the nature of the regulatory environment. Operating segments which are not individually material may be aggregated if they meet most of these criteria.

### (20) Fiduciary activities

The Group acts in a fiduciary capacity in entrusted loan and entrusted investment business. Assets held by the Group and the related undertakings to return such assets to customers are excluded from the consolidated statement of financial position as the risks and rewards of the assets reside with the customers. The Group only charges a relevant commission.

### (21) Dividends or profit distributions

Dividends or profit distributions are recognised as a liability in the year in which they are approved and declared.

### (22) General reserve

The general reserve is an integral part of equity. According to the relevant regulations, in addition to the impairment allowances, the Bank maintains a general reserve to make up for unidentified potential losses. In principle, the balance of general reserve shall not be less than 1.5% of the ending balance of risk assets. In addition, the general reserve includes 2.5% of the income of mutual fund custody businesses. The general reserve of the Group also includes the general reserve maintained by the subsidiaries of the Group according to the applicable laws and regulations of their industry or region.

## 5. Significant accounting estimates and judgements

In determining the carrying amounts of some assets and liabilities, the Group makes assumptions for the effects of uncertain future events on the assets and liabilities at the end of the reporting period. These estimates involve assumptions about cash flows and the discount rates used. The Group's estimates and assumptions are based on historical experience and expectations of future events and are reviewed periodically. In addition to the assumptions and estimations of future events, judgements are also made during the process of applying the Group's accounting policies.

### (1) Control over structured entity

Where the Group acts as asset manager of structured entities, the Group makes judgement on whether it is the principal or an agent to assess whether the Group controls the structured entities and should consolidate them. When performing this assessment, the Group considers several factors including, among others, the scope of its decision-making authority over the structured entities, the rights held by other parties, the remuneration to which it is entitled in accordance with the related agreements for the assets management services, the Group's exposure to variability of returns from interests that it holds in the structured entities.

### (2) Classification of financial assets

Business model assessment: Classification and measurement of financial assets of the Group involves significant judgement on business model. The Group determines the business model at a level that reflects how groups of financial assets are managed together to achieve a particular business objective. Specific considerations include how the performance of the assets is evaluated and measured, the risks that affect the performance of the assets and how these are managed and how the managers of the assets are compensated.

### (3) Derecognition of financial assets transferred

In its normal course of business, the Group transfers its financial assets through various types of transactions including regular way sales and transfers, securitisation, financial assets sold under repurchase agreements. The Group applies significant judgement and estimate in assessing whether it has transferred these financial assets and qualified for a full derecognition.

Where the Group enters into structured transactions by which it transfers financial assets to structured entities, the Group analyses whether the substance of the relationship between the Group and these structured entities indicates that it controls these structured entities and the Group needs to consolidate them. This will determine whether the following derecognition analysis should be conducted at the consolidated level or at the entity level from which the financial assets are transferred.

The Group analyses the contractual rights and obligations in connection with such transfers to determine whether derecognition criteria are met based on the following considerations:

- whether it has transferred the rights to receive contractual cash flows from the financial assets or the transfer qualifies for the "pass through" of those cash flows to independent third parties;
- the extent to which the associated risks and rewards of ownership of the financial assets are transferred. Significant judgement and estimate is applied in the Group's estimation with regard to the cash flows before and after the transfers and other factors that affect the outcomes of the Group's assessment on the extent that risks and rewards are transferred.

## 5. Significant accounting estimates and judgements *(continued)*

### (4) Impairment under ECL model

- Significant increase in credit risk: ECL is measured as an allowance equal to 12-month ECL for stage 1 assets, or lifetime ECL for stage 2 or stage 3 assets. An asset moves to stage 2 when its credit risk has increased significantly since initial recognition. In assessing whether the credit risk of an asset has significantly increased, the Group takes into account qualitative and quantitative reasonable and supportable forward looking information. Refer to Note 60(a)(ii) for more details.
- Establishing groups of assets with similar credit risk characteristics: When ECLs are measured on a collective basis, the financial instruments are grouped on the basis of shared risk characteristics. Refer to Note 60(a)(v) for details of the characteristics considered in this judgement. The Group monitors the appropriateness of the credit risk characteristics on an ongoing basis to assess whether they continue to be similar. This is required in order to ensure that should credit risk characteristics change there is appropriate re-segmentation of the assets. This may result in new portfolios being created or assets moving to an existing portfolio that better reflects the similar credit risk characteristics of that group of assets.
- Models and assumptions used: The Group uses various models and assumptions in estimating ECL. Judgement is applied in identifying the most appropriate model for each type of asset, as well as for determining the assumptions used in these models, including assumptions that relate to key drivers of credit risk. Refer to Note 60(a)(iii) for more details.
- Forward-looking information: When measuring ECL the Group uses reasonable and supportable forward looking information, which is based on assumptions for the future movement of different economic drivers and how these drivers will affect each other. Refer to Note 60(a)(iv) for more details.
- Probability of Default ("PD"): PD constitutes a key input in measuring ECL. PD is an estimate of the likelihood of default over a given time horizon, the calculation of which includes historical data, assumptions and expectations of future conditions. Refer to Note 60(a)(iii) for more details.
- Loss Given Default ("LGD"): LGD is an estimate of the loss arising on default. It is based on the difference between the contractual cash flows due and those that the lender would expect to receive, taking into account cash flows from collateral and integral credit enhancements. Refer to Note 60(a)(iii) for more details.

## 5. Significant accounting estimates and judgements *(continued)*

### (5) Fair value of financial instruments

For a number of financial instruments, no quoted prices in an active market exist. The fair value for these financial instruments are established by using valuation techniques. These techniques include using recent arm's length market transactions, reference to the current fair value of similar instruments, discounted cash flow analysis or option pricing models. The Group has established a process to ensure that valuation techniques are constructed by qualified personnel and are validated and reviewed by personnel independent of the business unit that constructed the valuation techniques. Valuation techniques are certified before being implemented for valuation and are calibrated to ensure that outputs reflect actual market conditions. Valuation models established by the Group make the maximum use of market inputs and rely as little as possible on the Group's specific data. However, it should be noted that some inputs, such as credit and counterparty risk and risk correlations, require management estimates. Management estimates and assumptions are reviewed periodically and adjusted if necessary. If the fair value is measured using third party information such as broker quotes or pricing services, the valuation team will evaluate the evidence obtained from third party to support the conclusion that the relevant valuation meets the requirements of IFRS, including the category of the relevant valuation at the appropriate level in the fair value hierarchy.

### (6) Income taxes

Determining income tax provisions involves judgement on the future tax treatment of certain transactions. The Group carefully evaluates tax implications of transactions and tax provisions are set up accordingly. The tax treatment of such transactions is reviewed periodically to take into account all changes in tax legislations. Deferred tax assets are recognised for tax losses not yet used and temporary deductible differences. As those deferred tax assets can only be recognised to the extent that it is probable that future taxable profit will be available against which the unused tax credits can be utilised, management's judgement is required to assess the probability of future taxable profits. Management's assessment is constantly reviewed and additional deferred tax assets are recognised if it becomes probable that future taxable profits will allow the deferred tax asset to be recovered.

### (7) Impairment of goodwill

The Group determines whether goodwill is impaired at least on an annual basis and when circumstances indicate that the carrying value may be impaired. This requires an estimation of the recoverable amount of the CGU or group of CGUs to which the goodwill is allocated. Estimating the recoverable amount requires the Group to make an estimate of the expected future cash flows from CGU or group of CGUs and also to choose a suitable discount rate in order to calculate the present value of those cash flows. Where the actual future cash flows are less than expected, or change in facts and circumstances which results in downward revision of future cash flows or upward revision of discount rate, a material impairment loss or further impairment loss may arise.



## 6. Interest income

	2022	2021
Loans and advances to customers	265,601	250,662
– Corporate loans	86,754	80,575
– Retail loans	168,174	159,124
– Discounted bills	10,673	10,963
Balances with central banks	8,482	7,792
Balances with banks and other financial institutions	1,242	902
Placements with banks and other financial institutions	7,760	5,526
Amounts held under resale agreements	4,487	6,115
Financial investments	65,808	56,059
– Debt investments at FVTOCI	19,654	15,875
– Debt investments at amortised cost	46,154	40,184
Total	353,380	327,056

Note: For the year ended 31 December 2022, included in the above is the interest income of RMB12,668 million accrued on loans and advances to customers at fair value through other comprehensive income (2021: RMB12,337 million).

## 7. Interest expense

	2022	2021
Deposits from customers	105,836	84,332
Borrowing from central banks	2,828	7,635
Deposits from banks and other financial institutions	9,782	11,993
Placements from banks and other financial institutions	4,567	3,519
Amounts sold under repurchase agreements	1,960	2,571
Debt securities issued	9,662	12,532
Lease liabilities	510	555
Total	135,145	123,137

## 8. Fee and commission income

	2022	2021
Commissions from wealth management	30,903	36,053
Commissions from asset management	12,457	10,856
Bank cards fees	21,399	19,377
Clearing and settlement fees	15,051	13,902
Commissions from credit commitment and lending business	5,753	6,321
Commissions on custodian business	5,791	5,433
Other	12,018	10,376
Total	103,372	102,318

In 2022, the Group optimised the grouping criteria for the detailed items of "Commissions from wealth management" and "Other" in the note to fee and commission income, and the comparative figures were re-presented accordingly.

## 9. Other net income

	2022	2021
Net (loss)/gain from fair value change	(2,675)	92
– financial instruments at fair value through profit or loss	(2,204)	544
– derivatives instruments	(120)	12
– precious metals	(351)	(464)
Net investment income	18,013	17,822
– financial instruments at FVTPL	12,443	14,839
– gain/(loss) on disposal of financial assets at amortised cost	170	(657)
– gain on disposal of debt instruments at FVTOCI	5,161	3,516
– of which: gain on disposal of bills	3,291	2,434
– dividend income from equity investments designated at FVTOCI	153	74
– other	86	50
Foreign exchange gain	3,600	3,351
Other income	9,702	6,868
– rental income	9,181	6,415
– insurance income	521	453
Other	1,065	878
Total	29,705	29,011

## 10. Operating expenses

	2022	2021
Staff costs	70,657	66,028
– Salaries and bonuses	55,647	51,031
– Social insurance and corporate supplemental insurance	8,421	8,011
– Other	6,589	6,986
Tax and surcharges	3,005	2,772
Depreciation of property and equipment and investment properties	10,279	8,857
Amortisation of intangible assets	1,061	1,153
Depreciation of right-of-use assets	4,151	4,259
Short-term leases expense and leases of low-value assets expense	229	250
Charge for insurance claims	360	311
Other general and administrative expenses (note)	32,319	33,249
Total	122,061	116,879

Note: Auditors' remuneration amounting to RMB31 million for the year ended 31 December 2022 (2021: RMB29 million) is included in other general and administrative expenses.

## 11. Directors' and supervisors' emoluments

The emoluments of the Directors and Supervisors during the year were as follows:

	2022				Total RMB'000
	Directors' fees RMB'000	Salaries, allowances and benefits in kind RMB'000	Discretionary bonuses RMB'000 (i)	Retirement scheme contributions RMB'000 (ii)	
<b>Executive director</b>					
Wang Liang	—	3,625	—	—	3,625
Subtotal	—	3,625	—	—	3,625
The executive director's emoluments shown above were for his services in connection with the management of the affairs of the Bank and the Group.					
<b>Non-executive directors</b>					
Miao Jianmin	—	—	—	—	—
Hu Jianhua (ii)	—	—	—	—	—
Sun Yunfei (ii)	—	—	—	—	—
Zhou Song	—	—	—	—	—
Hong Xiaoyuan	—	—	—	—	—
Zhang Jian	—	—	—	—	—
Su Min	—	—	—	—	—
Chen Dong (ii)	—	—	—	—	—
Subtotal	—	—	—	—	—
The non-executive directors shown above did not receive remuneration from the Bank.					
<b>Independent non-executive directors and supervisors</b>					
Wong See Hong	500	—	—	—	500
Li Menggang	500	—	—	—	500
Liu Qiao	500	—	—	—	500
Tian Hongqi	500	—	—	—	500
Li Chaonian	500	—	—	—	500
Shi Yongdong	500	—	—	—	500
Xiong Liangjun	—	3,317	—	—	3,317
Luo Sheng (v)	—	—	—	—	—
Peng Bihong	—	—	—	—	—
Wu Heng	—	—	—	—	—
Xu Zhengjun	400	—	—	—	400
Cai Hongping (v)	202	—	—	—	202
Zhang Xiang (v)	202	—	—	—	202
Wang Wanqing	—	2,650	—	—	2,650
Cai Jin	—	1,548	—	—	1,548
Subtotal	3,804	7,515	—	—	11,319

The independent non-executive directors' and supervisors' emoluments shown above were for their services and employment as directors or supervisors of the Bank.

## 11. Directors' and supervisors' emoluments (continued)

	2022				
	Directors' fees RMB'000	Salaries, allowances and benefits in kind RMB'000	Discretionary bonuses RMB'000 (i)	Retirement scheme contributions RMB'000 (i)	Total RMB'000
Former executive, non-executive directors and supervisors					
Fu Gangfeng (iv)	-	-	-	-	-
Tian Huiyu (iii)	-	-	-	-	-
Wang Daxiong (iii)	-	-	-	-	-
Luo Sheng (iii)	-	-	-	-	-
Guo Xikun (vi)	-	-	-	-	-
Ding Huiping (vi)	167	-	-	-	167
Han Zirong (vi)	167	-	-	-	167
Subtotal	334	-	-	-	334
The former executive, non-executive directors' and supervisors' emoluments shown above were for their services as directors or supervisors of the Bank.					
Total	4,138	11,140	-	-	15,278

## Notes:

- (i) The total remuneration before tax for the full-time directors, supervisors and executive officers of the Group is not yet finalised. Details of their remaining compensation will be disclosed separately when their total remuneration is confirmed.
- (ii) In June 2022, according to the relevant resolutions passed at the 2021 Annual General Meeting of the Bank, Mr. Hu Jianhua, Mr. Sun Yunfei and Mr. Chen Dong were elected as Non-Executive Directors of the Bank, whose qualifications as the Directors were approved by the CBRC in October 2022.
- (iii) In June 2022, Mr. Wang Daxiong and Mr. Luo Sheng ceased to be Non-Executive Directors of the Bank after the end of the 2021 Annual General Meeting due to the expiry of their terms of office, and Mr. Tian Huiyu ceased to be an Executive Director of the Bank after the end of the 2021 Annual General Meeting.
- (iv) In November 2022, Mr. Fu Gangfeng ceased to be the Vice Chairman and Non-Executive Director of the Bank due to change of work arrangement.
- (v) In June 2022, according to the relevant resolutions passed at the 2021 Annual General Meeting of the Bank, Mr. Luo Sheng was elected as the Shareholder Supervisor of the Bank and Mr. Cai Hongping and Mr. Zhang Xiang were elected as External Supervisors of the Bank.
- (vi) In June 2022, Mr. Guo Xikun ceased to be the Shareholder Supervisor of the Bank due to the expiry of his terms of office, and Mr. Ding Huiping and Mr. Han Zirong ceased to serve as External Supervisors of the Bank due to the expiry of their terms of office.
- (vii) As of 31 December 2022, the Group had offered 10 phases of H share appreciation rights under the Scheme. Details of the Scheme are set out in Note 39 (a)(iii).

## 11. Directors' and supervisors' emoluments (continued)

	2021				
	Directors' fees RMB'000	Salaries, allowances and benefits in kind RMB'000	Discretionary bonuses RMB'000 (i)	Retirement scheme contributions RMB'000	Total RMB'000
<b>Executive directors</b>					
Tian Huiyu	-	4,158	-	40	4,198
Wang Liang	-	3,302	1,403	40	4,745
Subtotal	-	7,460	1,403	80	8,943
The executive directors' emoluments shown above were for their services in connection with the management of the affairs of the Bank and the Group.					
<b>Non-executive directors</b>					
Miao Jianmin	-	-	-	-	-
Fu Gangfeng	-	-	-	-	-
Zhou Song	-	-	-	-	-
Hong Xiaoyuan	-	-	-	-	-
Zhang Jian	-	-	-	-	-
Su Min	-	-	-	-	-
Wang Daxiong	-	-	-	-	-
Luo Sheng	-	-	-	-	-
Subtotal	-	-	-	-	-
The non-executive directors shown above did not receive remuneration from the Bank.					
<b>Independent non-executive directors and supervisors</b>					
Wong See Hong	500	-	-	-	500
Li Menggang	500	-	-	-	500
Liu Qiao	500	-	-	-	500
Tian Hongqi	500	-	-	-	500
Li Chaoxian (ii)	183	-	-	-	183
Shi Yongdong (iii)	183	-	-	-	183
Xiong Liangjun (iii)	-	3,164	1,344	48	4,556
Peng Bihong	-	-	-	-	-
Wu Heng	-	-	-	-	-
Guo Xikun (iv)	-	-	-	-	-
Ding Huiping	400	-	-	-	400
Han Zirong	400	-	-	-	400
Xu Zhengjun	400	-	-	-	400
Wang Wanqing	-	2,747	-	48	2,795
Cai Jin (v)	-	123	-	48	171
Subtotal	3,566	6,034	1,344	144	11,088

The independent non-executive directors' and supervisors' emoluments shown above were for their services and employment as directors or supervisors of the Bank.

## 11. Directors' and supervisors' emoluments (continued)

	2021				
	Directors' fees RMB'000	Salaries, allowances and benefits in kind RMB'000	Discretionary bonuses RMB'000 (i)	Retirement scheme contributions RMB'000	Total RMB'000
<b>Former executive, non-executive directors and supervisors</b>					
Liu Jianjun (vi)	–	1,373	531	19	1,923
Leung Kam Chung, Antony (iii)	317	–	–	–	317
Zhao Jun (ii)	317	–	–	–	317
Liu Yuan (vii)	–	2,368	898	31	3,297
Wen Jianguo (viii)	–	–	–	–	–
Liu Xiaoming (ix)	–	1,979	–	48	2,027
Subtotal	634	5,720	1,429	98	7,881
The former executive, non-executive directors' and supervisors' emoluments shown above were for their services as directors or supervisors of the Bank.					
Total	4,200	19,214	4,176	322	27,912

## Notes:

- (i) On 29 September 2022, the Board of Directors approved the discretionary bonuses of the Bank's directors, supervisors and executive officers for 2021.
- (ii) In June 2021, according to the relevant resolutions passed at the 2020 Annual General Meeting of the Bank, Mr. Li Chaoshan and Mr. Shi Yongdong were elected as the Independent Non-Executive Directors of the Bank, whose qualifications as the Independent Non-Executive Directors were approved by the CBIRC in August 2021. At the same time, Mr. Leung Kam Chung, Antony and Mr. Zhao Jun ceased to be the Independent Non-Executive Directors of the Bank due to the expiry of their terms of office.
- (iii) In August 2021, Mr. Xiong Liangjun was elected as the Employee Supervisor of the Bank at the employee representative meeting of the Bank. According to the resolutions passed at the 21st meeting of the Eleventh Session of the Board of Supervisors of the Bank, Mr. Xiong Liangjun was elected as the Chairman of the Board of Supervisors of the Bank.
- (iv) In June 2021, according to the relevant resolutions passed at the 2020 Annual General Meeting of the Bank, Mr. Guo Xikun was elected as the Shareholder Supervisor of the Bank.
- (v) In December 2021, Ms. Cai Jin was elected as the Employee Supervisor of the Bank at the employee representative meeting of the Bank.
- (vi) In May 2021, Mr. Liu Jianjun ceased to be the Executive Director, Executive Vice President and Secretary of the Board of Directors of the Bank due to change of work arrangement.
- (vii) In August 2021, Mr. Liu Yuan ceased to be the Chairman of Board of Supervisors and Employee Supervisor of the Bank due to change of work arrangement.
- (viii) In April 2021, Mr. Wen Jianguo ceased to be the Shareholder Supervisor of the Bank due to change of work arrangement.
- (ix) In December 2021, Mr. Liu Xiaoming ceased to be the Employee Supervisor of the Bank due to change of work arrangement.
- (x) As of 31 December 2021, the Group had offered 10 phases of H share appreciation rights under the Scheme. Details of the Scheme are set out in Note 39 (a)(ii).

During the year of 2022 and 2021, no emoluments were paid by the Group to any of the persons who are directors or supervisors as an inducement to join or upon joining the Group or as compensation for loss of office.

During the year of 2022 and 2021, there was no arrangement under which a director or a supervisor waived or agreed to waive any remuneration.

## 12. Five highest paid individuals

During the year ended 31 December 2022, the five highest paid individuals included six persons in total, two of them were with the same emoluments and being the third highest paid individuals, and two of them were with the same emoluments and being the fourth highest paid individuals. During the year ended 31 December 2021, the five highest paid individuals included five persons in total, two of them were with the same emoluments and being the fourth highest paid individuals. Of these highest paid individuals, two (2021: three) were directors or supervisors of the Bank whose emoluments were included in Note 11 above. The aggregate emolument of the remaining four (2021: two) highest paid individuals who were neither directors nor supervisors of the Bank is as follows:

	2022 RMB'000	2021 RMB'000
Salaries and other emoluments	11,764	6,048
Discretionary bonuses	–	2,568
Contributions to defined contribution retirement schemes	–	85
Total	11,764	8,701

These highest paid individuals who were neither directors nor supervisors of the Bank whose emoluments fell within the following bands is set out below:

	2022	2021
HKD		
3,000,001 – 3,500,000	4	–
3,500,001 – 4,000,000	–	2
4,000,001 – 4,500,000	–	–
4,500,001 – 5,000,000	–	–
5,000,001 – 5,500,000	–	–

## 13. Loans to directors, supervisors and executive officers

Loans to directors, supervisors and executive officers of the Group are as follows:

	2022	2021
Aggregate amount of relevant loans made by the Group outstanding at year end	34	61
Maximum aggregate amount of relevant loans made by the Group outstanding during the year	47	66



## 14. Expected credit losses

	2022	2021
Loans and advances to customers	45,157	37,020
– Loans and advances at amortised cost (Note 22(c)(i))	40,175	35,678
– Loans and advances at FVTOCI (Note 22(c)(ii))	4,982	1,342
Amounts due from banks and other financial institutions	(3,284)	6,110
Financial investments	3,879	15,848
– Debt investments at amortised cost (Note 23(b)(iii))	4,234	13,201
– Debt investments at FVTOCI (Note 23(c)(ii))	(355)	2,647
Financial guarantees and loan commitments	7,112	5,639
Other	3,887	1,345
Total	56,751	65,962

## 15. Income tax

## (a) Income tax in the consolidated statement of profit or loss represents:

	2022	2021
Current income tax expense	34,276	38,141
– Chinese mainland	33,133	37,222
– Hong Kong	973	767
– Overseas	170	152
Deferred taxation	(8,457)	(10,802)
Total	25,819	27,339

## (b) A reconciliation of income tax expense in the consolidated statement of profit or loss and that calculated at the applicable statutory tax rate is as follows:

	2022	2021
Profit before taxation	165,113	148,173
Tax at the PRC statutory income tax rate of 25% (2021: 25%)	41,278	37,043
Tax effects of the following items:		
– Effects of non-deductible expenses	1,593	1,392
– Effects of non-taxable income	(17,114)	(12,053)
– Effects of different applicable rates in other jurisdictions	(215)	(258)
– Transfer out of previously recognised deferred tax assets	955	1,716
– Tax effect of perpetual bond interest expense	(942)	(550)
– Other	264	49
Income tax expense	25,819	27,339

Note: Taxation for Hong Kong and overseas operations are charged at the applicable rates of tax prevailing in relevant regions.



## 16. Other comprehensive income

## (a) Income tax effects relating to each component of other comprehensive income

	2022			2021		
	Before-tax amount	Tax benefit/(expense)	Net-of-tax amount	Before-tax amount	Tax benefit/(expense)	Net-of-tax amount
Items that may be reclassified to profit or loss	732	553	1,285	8,382	(2,526)	5,856
- Net fair value (loss)/gain on debt instruments measured at FVTOCI	(7,353)	1,736	(5,617)	5,675	(1,519)	4,156
- Net changes in expected credit losses of debt instruments measured at FVTOCI	4,631	(1,160)	3,471	4,060	(1,024)	3,036
- Net movement in cash flow hedge reserve	135	(23)	112	88	17	105
- Share of other comprehensive (expense)/income from equity-accounted investees	(1,155)	-	(1,155)	133	-	133
- Exchange difference on translation of financial statements of foreign operations	4,429	-	4,429	(1,574)	-	(1,574)
- Other	45	-	45	-	-	-
Items that will not be reclassified subsequently to profit or loss	40	(2)	38	1,176	157	1,333
- Net fair value gain on equity instruments designated at FVTOCI	52	(4)	48	1,158	160	1,318
- Remeasurement of defined benefit scheme	(12)	2	(10)	18	(3)	15
Other comprehensive income	772	551	1,323	9,558	(2,369)	7,189

## (b) Movements relating to components of other comprehensive income are as follows:

	2022	2021
Net fair value (loss)/gain on debt instruments measured at FVTOCI		
Changes in fair value recognised during the year	(1,746)	6,793
Reclassification adjustments for amounts transferred to profit or loss upon disposal	(3,871)	(2,637)
Net movement in investment revaluation reserve during the year recognised in other comprehensive income	(5,617)	4,156
Net changes in expected credit losses of debt instruments measured at FVTOCI		
Changes in expected credit losses recognised during the year	3,471	3,036
Net movement in investment revaluation reserve during the year recognised in other comprehensive income	3,471	3,036
Net fair value gain on equity instruments designated at FVTOCI		
Changes in fair value recognised during the year	48	1,318
Net movement in investment revaluation reserve during the year recognised in other comprehensive income	48	1,318
Net movement in cash flow hedge reserve		
Effective portion of changes in fair value of hedging instruments	112	74
Reclassification adjustment for realised gain to profit or loss	-	31
Net movement in hedging reserve during the year recognised in other comprehensive income	112	105

## 17. Earnings per share

The calculation of basic earnings per share is based on the net profit attributable to ordinary shareholders of the Bank and the weighted average number of shares in issue for the year. As there were no diluted potential ordinary shares for the years of 2022 and 2021, there was no difference between basic and diluted earnings per share for both years.

	2022	2021
Net profit attributable to equity holders of the Bank	138,012	119,922
Less: Net profit attributable to preference shareholders of the Bank	(1,675)	(1,638)
Net profit attributable to holders of perpetual bonds	(3,562)	(1,975)
Net profit attributable to ordinary shareholders of the Bank	132,775	116,309
Weighted average number of shares in issue (in million shares)	25,220	25,220
Basic and diluted earnings per share (in RMB Yuan)	5.26	4.61

Note:

The Bank issued non-cumulative preference shares in 2017 and non-cumulative perpetual bonds in 2020 and 2021. For the purpose of calculating basic earnings per share, dividends on non-cumulative preference shares and interests on non-cumulative perpetual bonds declared during the year should be deducted from the amounts attributable to equity holders of the Bank.

The conversion feature of preference shares is considered to be contingently issuable ordinary shares. The triggering events of conversion did not occur as of 31 December 2022 and 2021. Therefore the conversion feature of preference shares has no effect on the diluted earnings per share calculation for both years.

## 18. Balances with central banks

	2022	2021
Statutory deposit reserve (note (i))	534,232	484,878
Surplus deposit reserve (note (ii))	50,846	65,819
Other deposits with central banks (note (iii))	2,455	2,958
Interest receivable	285	243
Total	587,818	553,898

Notes:

- (i) The Group places statutory deposit reserves with the People's Bank of China ("PBOC") and overseas central banks where it has operations. The statutory deposit reserves are not available for the Group's daily operations. The statutory deposit reserve funds of the Bank's institutions located in the Chinese mainland are calculated at 7.5% and 6% of eligible RMB deposits and foreign currency deposits respectively as at 31 December 2022 (31 December 2021: 8% and 9% of eligible RMB deposits and foreign currency deposits respectively). Eligible deposits include deposits from government authorities and other organisations, retail deposits, corporate deposits, and net credit balances of entrusted business and RMB deposits placed by financial institutions outside the Chinese mainland. The amounts of statutory deposit reserves placed with the central banks of overseas countries are determined by local jurisdictions.
- (ii) Surplus deposit reserve maintained with the PBOC and central banks outside the Chinese mainland are mainly for clearing and settlement purposes.
- (iii) Other deposits with central banks primarily represent focal deposits and foreign exchange reserve placed with the PBOC.

**19. Balances with banks and other financial institutions**

	2022	2021
Principal (a)	91,587	80,664
Impairment allowances (a)(b)	(509)	(378)
Subtotal	91,078	80,286
Interest receivable	268	64
Total	91,346	80,350

**(a) Analysed by nature of counterparties**

	2022	2021
Balances in the Chinese mainland	57,809	37,453
– Banks	54,808	35,620
– Other financial institutions	3,001	1,833
Balances outside the Chinese mainland	33,778	43,211
– Banks	33,390	41,430
– Other financial institutions	388	1,781
Total	91,587	80,664
Less: Impairment allowances	(509)	(378)
– Banks	(490)	(329)
– Other financial institutions	(19)	(49)
Net carrying amount	91,078	80,286

**(b) Movements of allowances for impairment losses are as follows:**

	2022	2021
Balance as at the beginning of the year	378	277
Charge for the year (note 14)	120	109
Exchange difference	11	(8)
Balance as at the end of the year	509	378

**20. Placements with banks and other financial institutions**

	2022	2021
Principal (a)	264,782	196,351
Impairment allowances (a)(c)	(2,658)	(2,860)
Subtotal	262,124	193,491
Interest receivable	1,452	930
Total	263,576	194,421

**(a) Analysed by nature of counterparties**

	2022	2021
Placements in the Chinese mainland	202,381	127,959
– Banks	65,018	19,213
– Other financial institutions	137,363	108,746
Placements outside the Chinese mainland	62,401	68,392
– Banks	61,880	68,102
– Other financial institutions	521	290
Total	264,782	196,351
Less: Impairment allowances	(2,658)	(2,860)
– Banks	(163)	(136)
– Other financial institutions	(2,495)	(2,724)
Net carrying amount	262,124	193,491

**(b) Analysed by remaining maturity**

	2022	2021
Maturing		
– Within one month (inclusive)	89,368	66,842
– Between one month and one year (inclusive)	158,086	115,906
– Over one year	14,670	10,743
Total	262,124	193,491

**(c) Movements of allowances for impairment losses are as follows:**

	2022	2021
Balance as at the beginning of the year	2,860	376
(Release)/charge for the year (note 14)	(235)	2,481
Exchange difference	33	3
Balance as at the end of the year	2,658	2,860

## 21. Amounts held under resale agreements

	2022	2021
Principal (a)	277,561	528,564
Impairment allowances (a)(d)	(1,094)	(4,263)
Subtotal	276,467	524,301
Interest receivable	209	300
Total	276,676	524,601

## (a) Analysed by nature of counterparties

	2022	2021
Amounts held under resale agreements in the Chinese mainland	277,382	528,447
– Banks	42,077	60,323
– Other financial institutions	235,305	468,124
Amounts held under resale agreements outside the Chinese mainland	179	117
– Other financial institutions	179	117
Total	277,561	528,564
Less: Impairment allowances	(1,094)	(4,263)
– Banks	(216)	(175)
– Other financial institutions	(878)	(4,088)
Net carrying amount	276,467	524,301

## (b) Analysed by remaining maturity

	2022	2021
Maturing		
– Within one month (inclusive)	268,890	524,301
– Between one month and one year (inclusive)	7,577	–
Total	276,467	524,301

## (c) Analysed by underlying assets

	2022	2021
Bonds	256,129	522,202
Bills	20,338	2,099
Total	276,467	524,301

## (d) Movements of allowances for impairment losses are as follows:

	2022	2021
Balance as at the beginning of the year	4,263	743
(Release)/charge for the year (note 14)	(3,169)	3,520
Balance as at the end of the year	1,094	4,263

**22. Loans and advances to customers****(a) Loans and advances to customers**

	2022	2021
Gross amount of loans and advances to customers at amortised cost (i)	5,432,112	5,075,052
Interest receivable	11,326	10,548
Subtotal	5,443,438	5,085,600
Less: Loss allowances of loans and advances to customers at amortised cost (i)	(254,913)	(244,523)
Loss allowances of interest receivable	(846)	(971)
Subtotal	(255,759)	(245,494)
Loans and advances to customers at amortised cost	5,187,679	4,840,106
Loans and advances to customers at FVTOCI (ii)	614,481	488,004
Loans and advances to customers at FVTPL (iii)	4,994	7,281
Total	5,807,154	5,335,391

**(i) Loans and advances to customers at amortised cost**

	2022	2021
Corporate loans and advances	2,270,323	2,087,247
Retail loans and advances	3,161,789	2,987,791
Discounted bills	—	14
Gross amount of loans and advances to customers at amortised cost	5,432,112	5,075,052
Less: Loss allowances	(254,913)	(244,523)
– Stage 1 (12-month ECL)	(159,932)	(169,347)
– Stage 2 (Lifetime ECL – not credit-impaired)	(44,898)	(32,007)
– Stage 3 (Lifetime ECL – credit-impaired)	(50,083)	(43,169)
Net amount of loans and advances to customers at amortised cost	5,177,199	4,830,529

**(ii) Loans and advances to customers at FVTOCI**

	2022	2021
Corporate loans and advances	100,430	56,713
Discounted bills	514,051	431,291
Loans and advances to customers at FVTOCI	614,481	488,004
Loss allowances	(6,563)	(1,581)
– Stage 1 (12-month ECL)	(6,311)	(1,289)
– Stage 2 (Lifetime ECL – not credit-impaired)	(252)	(292)
– Stage 3 (Lifetime ECL – credit-impaired)	—	—

No loss allowance is recognised in the consolidated statement of financial position for loans and advances to customers at FVTOCI as the carrying amount is at fair value.

**(iii) Loans and advances to customers at FVTPL**

	2022	2021
Corporate loans and advances	4,863	6,978
Discounted bills	3	—
Interest receivable	128	303
Total	4,994	7,281



**22. Loans and advances to customers** *(continued)***(b) Analysis of loans and advances to customers****(i) Analysed by industry sector and category:***Operations in the Chinese mainland*

	2022	2021
Transportation, storage and postal services	461,434	412,417
Manufacturing	445,218	309,635
Property development	349,682	367,642
Production and supply of electric power, heating power, gas and water	203,870	187,611
Wholesale and retail	171,786	138,352
Leasing and commercial services	158,320	170,009
Construction	103,998	117,453
Telecommunications, software and IT services	78,950	58,267
Finance	75,593	57,988
Water, environment and public utilities management	64,886	64,427
Mining	34,421	28,854
Other	67,677	66,364
Subtotal of corporate loans and advances	2,215,835	1,979,019
Discounted bills	514,054	431,305
Residential mortgage	1,379,825	1,364,534
Credit cards	884,395	840,254
Micro-finance loans	629,857	560,657
Other	213,599	173,527
Subtotal of retail loans and advances	3,107,676	2,938,972
Gross amount of loans and advances to customers	5,837,565	5,349,296

*Operations outside the Chinese mainland*

	2022	2021
Finance	36,521	37,345
Transportation, storage and postal services	30,814	33,186
Property development	26,298	34,062
Manufacturing	20,494	23,763
Telecommunications, software and IT services	10,908	7,727
Production and supply of electric power, heating power, gas and water	9,023	7,077
Wholesale and retail	8,923	8,920
Mining	6,074	5,651
Leasing and commercial services	3,430	4,749
Construction	1,772	3,481
Water, environment and public utilities management	110	821
Other	5,414	5,137
Subtotal of corporate loans and advances	159,781	171,919
Discounted bills	—	—
Residential mortgage	9,383	9,872
Credit cards	124	117
Micro-finance loans	1,181	1,214
Other	43,425	37,616
Subtotal of retail loans and advances	54,113	48,819
Gross amount of loans and advances to customers	213,894	220,738

As at 31 December 2022, over 90% of the Group's loans and advances to customers were conducted in the Chinese mainland (31 December 2021: over 90%).

**22. Loans and advances to customers** *(continued)***(b) Analysis of loans and advances to customers** *(continued)***(ii) Analysed by type of guarantees:**

	2022	2021
Credit loans	2,219,635	1,977,014
Guaranteed loans	836,550	752,744
Collateralised loans	2,132,337	2,075,639
Pledged loans	348,883	333,332
Subtotal	5,537,405	5,138,729
Discounted bills	514,054	431,305
Gross amount of loans and advances to customers	6,051,459	5,570,034

**(iii) Analysed by overdue term:**

	2022				
	Overdue within 3 months	Overdue from 3 months up to 1 year	Overdue from 1 year up to 3 years	Overdue more than 3 years	Total overdue loans
Credit loans	22,260	12,382	2,365	880	37,887
Guaranteed loans	6,533	7,537	3,581	762	18,413
Collateralised loans	5,180	6,177	2,913	1,696	15,966
Pledged loans	3,234	573	951	1,261	6,019
Gross amount of loans and advances to customers	37,207	26,669	9,810	4,599	78,285

	2021				
	Overdue within 3 months	Overdue from 3 months up to 1 year	Overdue from 1 year up to 3 years	Overdue more than 3 years	Total overdue loans
Credit loans	18,097	10,269	2,972	944	32,282
Guaranteed loans	1,141	2,650	3,476	1,403	8,670
Collateralised loans	2,616	2,733	3,610	2,142	11,101
Pledged loans	473	687	791	3,422	5,373
Gross amount of loans and advances to customers	22,327	16,339	10,849	7,911	57,426

Note: Loans are classified as overdue when the principal or interest is overdue more than one day.

Among the above-mentioned overdue loans and advances to customers, collateralised loans and pledged loans that are overdue but not impaired at the reporting date are as follows:

	2022	2021
Collateralised loans that are overdue but not impaired	4,198	1,517
Pledged loans that are overdue but not impaired	1,819	473
Total	6,017	1,990



22. Loans and advances to customers *(continued)*(b) Analysis of loans and advances to customers *(continued)*

## (iv) Analysed by ECL

	2022			Total
	– Stage 1 (12-month ECL)	– Stage 2 (Lifetime ECL – not credit- impaired)	– Stage 3 (Lifetime ECL – credit- impaired)	
Loans and advances measured at amortised cost	5,217,868	156,240	58,004	5,432,112
Less: Loss allowances of loans and advances to customers at amortised cost	(159,932)	(44,898)	(50,083)	(254,913)
Net amount of loans and advances to customers at amortised cost	5,057,936	111,342	7,921	5,177,199
Loans and advances to customers at FVTOCI	612,660	1,821	–	614,481
Loss allowances of loans and advances to customers at FVTOCI	(6,311)	(252)	–	(6,563)

	2021			Total
	– Stage 1 (12-month ECL)	– Stage 2 (Lifetime ECL – not credit- impaired)	– Stage 3 (Lifetime ECL – credit- impaired)	
Loans and advances measured at amortised cost	4,912,836	111,354	50,862	5,075,052
Less: Loss allowances of loans and advances to customers at amortised cost	(169,347)	(32,007)	(43,169)	(244,523)
Net amount of loans and advances to customers at amortised cost	4,743,489	79,347	7,693	4,830,529
Loans and advances to customers at FVTOCI	485,735	2,269	–	488,004
Loss allowances of loans and advances to customers at FVTOCI	(1,289)	(292)	–	(1,581)

**22. Loans and advances to customers** *(continued)***(c) Movements of allowance for expected credit loss**

- (i) Reconciliation of allowance for expected credit loss for loans and advances to customers measured at amortised cost:

	2022			Total
	– Stage 1 (12-month ECL)	– Stage 2 (Lifetime ECL – not credit- impaired)	– Stage 3 (Lifetime ECL – credit- impaired)	
Balance as at the beginning of the year	169,347	32,007	43,169	244,523
Transfer to				
– Stage 1	3,039	(2,965)	(74)	–
– Stage 2	(7,699)	7,879	(180)	–
– Stage 3	(3,693)	(4,681)	8,374	–
(Release)/charge for the year (note 14)	(1,694)	12,653	29,216	40,175
Write-offs/disposals	–	(71)	(39,016)	(39,087)
Unwinding of discount on allowance	–	–	(386)	(386)
Recovery of loans and advances written off	–	–	8,972	8,972
Exchange difference	632	76	8	716
Balance as at the end of the year	159,932	44,898	50,083	254,913

	2021			Total
	– Stage 1 (12-month ECL)	– Stage 2 (Lifetime ECL – not credit- impaired)	– Stage 3 (Lifetime ECL – credit- impaired)	
Balance as at the beginning of the year	159,918	27,401	47,107	234,426
Transfer to				
– Stage 1	5,848	(5,743)	(105)	–
– Stage 2	(1,137)	1,592	(455)	–
– Stage 3	(1,001)	(4,972)	5,973	–
Charge for the year (note 14)	5,766	13,763	16,149	35,678
Write-offs/disposals	–	–	(35,105)	(35,105)
Unwinding of discount on allowance	–	–	(247)	(247)
Recovery of loans and advances written off	–	–	9,893	9,893
Exchange difference	(47)	(34)	(41)	(122)
Balance as at the end of the year	169,347	32,007	43,169	244,523

- (ii) Reconciliation of allowance for expected credit loss for loans and advances to customers measured at FVTOCI:

	2022	2021
Balance as at the beginning of the year	1,581	238
Charge for the year (note 14)	4,982	1,342
Exchange difference	–	1
Balance as at the end of the year	6,563	1,581

**22. Loans and advances to customers** *(continued)***(d) Finance leases receivable**

The table below provides an analysis of finance leases receivable included in loans and advances to customers for leases of assets in which the Group is a lessor:

	2022	2021
Total minimum leases receivable		
Within 1 year (inclusive)	13,323	15,035
Over 1 year but within 2 years (inclusive)	11,035	11,225
Over 2 years but within 3 years (inclusive)	6,074	8,519
Over 3 years but within 4 years (inclusive)	6,089	5,323
Over 4 years but within 5 years (inclusive)	3,860	5,580
Over 5 years	17,448	13,980
Subtotal	57,829	59,652
Unearned finance income	(9,665)	(8,378)
Present value of minimum leases receivable	48,164	51,284
Less: Impairment allowances	(3,671)	(3,237)
– Stage 1 (12-month ECL)	(1,308)	(1,872)
– Stage 2 (Lifetime ECL – not credit-impaired)	(1,646)	(632)
– Stage 3 (Lifetime ECL – credit-impaired)	(717)	(733)
Net carrying amount of finance leases receivable	44,493	48,047

**23. Financial investments**

	Notes	2022	2021
Financial investments at fair value through profit or loss	23(a)	423,467	348,123
Debt investments at amortised cost	23(b)	1,555,457	1,185,841
Debt investments at FVTOCI	23(c)	780,349	636,038
Equity investments designated at FVTOCI	23(d)	13,416	6,995
Total		2,772,689	2,176,997

**(a) Financial investments at fair value through profit or loss**

	Notes	2022	2021
Financial investments measured at FVTPL	(i)	411,591	318,245
Financial assets designated at fair value through profit or loss	(ii)	11,876	29,878
Total		423,467	348,123

**23. Financial investments** *(continued)***(a) Financial investments at fair value through profit or loss** *(continued)***(i) Financial investments measured at FVTPL***Financial investments held for trading*

	2022	2021
<i>Bonds:</i>		
<i>Classified by issuer</i>	182,416	129,792
– Government bonds	81,781	46,721
– Bonds issued by policy banks	21,871	9,861
– Bonds issued by commercial banks and other financial institutions	35,999	21,245
– Other debt securities	42,765	51,965
<i>Classified by listing</i>	182,416	129,792
– Listed in the Chinese mainland	167,998	113,762
– Listed outside the Chinese mainland	12,215	15,796
– Unlisted	2,203	234
<i>Other investments:</i>		
<i>Classified by underlying assets</i>	1,971	1,949
– Equity investments	17	–
– Fund investments	814	811
– Wealth management products	1,032	1,036
– Long position in precious metal contracts	108	102
<i>Classified by listing</i>	1,971	1,949
– Listed outside the Chinese mainland	134	111
– Unlisted	1,837	1,838
<b>Total financial investments held for trading</b>	<b>184,387</b>	<b>131,741</b>

**23. Financial investments** *(continued)***(a) Financial investments at fair value through profit or loss** *(continued)***(i) Financial investments measured at FVTPL** *(continued)***Other financial investments measured at FVTPL**

	2022	2021
<i>Bonds:</i>		
<i>Classified by issuer</i>	20,789	17,094
– Bonds issued by commercial banks and other financial institutions	14,039	9,784
– Other debt securities	6,750	7,310
<i>Classified by listing</i>	20,789	17,094
– Listed in the Chinese mainland	18,216	15,388
– Listed outside the Chinese mainland	1,872	1,333
– Unlisted	701	373
<i>Other investments:</i>		
<i>Classified by underlying assets</i>	206,415	169,410
– Equity investments	4,362	4,909
– Fund investments	199,725	161,959
– Wealth management products	1,511	1,360
– Other	817	1,182
<i>Classified by listing</i>	206,415	169,410
– Listed in the Chinese mainland	330	62
– Listed outside the Chinese mainland	653	1,118
– Unlisted	205,432	168,230
Total other financial investments measured at FVTPL	227,204	186,504
Total financial investments measured at FVTPL	411,591	318,245

**(ii) Financial investments designated at fair value through profit or loss**

	2022	2021
<i>Bonds:</i>		
<i>Classified by issuer</i>	11,876	29,878
– Government Bonds	218	41
– Bonds issued by policy banks	4,559	17,970
– Bonds issued by commercial banks and other financial institutions	6,370	11,251
– Other debt securities	729	616
<i>Classified by listing</i>	11,876	29,878
– Listed in the Chinese mainland	11,656	28,793
– Listed outside the Chinese mainland	220	1,060
– Unlisted	–	25

**23. Financial investments** *(continued)***(b) Debt investments at amortised cost**

	2022	2021
Debt investments at amortised cost (i)(ii)	1,579,845	1,209,359
Interest receivable	19,294	16,368
Subtotal	1,599,139	1,225,727
Impairment losses of principal (i)(ii)(iii)	(43,448)	(39,707)
Impairment losses of interest receivable	(234)	(179)
Subtotal	(43,682)	(39,886)
Total	1,555,457	1,185,841

**(i) Debt investments at amortised cost:**

	2022	2021
<i>Bonds:</i>		
<i>Classified by issuer</i>	1,452,499	1,078,888
– Government bonds	993,624	768,537
– Bonds issued by policy banks	394,126	280,129
– Bonds issued by commercial banks and other financial institutions	56,913	20,064
– Other debt securities	7,836	10,158
<i>Classified by listing</i>	1,452,499	1,078,888
– Listed in the Chinese mainland	1,395,184	1,068,300
– Listed outside the Chinese mainland	33,319	4,740
– Unlisted	23,996	5,848
<i>Fair value for the listed bonds</i>	1,457,373	1,099,251
<i>Other investments:</i>		
<i>Classified by underlying assets</i>	127,346	130,471
– Non-standard assets – Loans and advances to customers	108,616	115,022
– Non-standard assets – Creditor's beneficiary rights to other commercial banks	5,500	100
– Non-standard assets – Other	12,582	14,729
– Other	648	620
<i>Classified by listing</i>	127,346	130,471
– Unlisted	127,346	130,471
Total	1,579,845	1,209,359
Less: Loss allowances	(43,448)	(39,707)
Stage 1 (12-month ECL)	(10,120)	(14,974)
Stage 2 (Lifetime ECL – not credit-impaired)	(960)	(712)
Stage 3 (Lifetime ECL – credit-impaired)	(32,368)	(24,021)
Net debt investments at amortised cost	1,536,397	1,169,652

**23. Financial investments** *(continued)***(b) Debt investments at amortised cost** *(continued)***(ii) Analysed by stage of ECL:**

	2022			Total
	– Stage 1 (12-month ECL)	– Stage 2 (Lifetime ECL – not credit- impaired)	– Stage 3 (Lifetime ECL – credit- impaired)	
Debt investments at amortised cost	1,543,652	2,073	34,120	1,579,845
Less: Loss allowances of debt investments at amortised cost	(10,120)	(960)	(32,368)	(43,448)
Net debt investments at amortised cost	1,533,532	1,113	1,752	1,536,397

	2021			Total
	– Stage 1 (12-month ECL)	– Stage 2 (Lifetime ECL – not credit- impaired)	– Stage 3 (Lifetime ECL – credit- impaired)	
Debt investments at amortised cost	1,183,320	1,962	24,077	1,209,359
Less: Loss allowances of debt investments at amortised cost	(14,974)	(712)	(24,021)	(39,707)
Net debt investments at amortised cost	1,168,346	1,250	56	1,169,652

**(iii) Movements of allowances for expected credit loss**

	2022			Total
	– Stage 1 (12-month ECL)	– Stage 2 (Lifetime ECL – not credit- impaired)	– Stage 3 (Lifetime ECL – credit- impaired)	
Balance as at the beginning of the year	14,974	712	24,021	39,707
Transfer to:				
– Stage 1	–	–	–	–
– Stage 2	(27)	27	–	–
– Stage 3	(153)	(298)	451	–
(Release)/charge for the year (note 14)	(4,674)	518	8,390	4,234
Write-offs/disposals	–	–	(531)	(531)
Recovery of debt previously written off	–	–	28	28
Exchange difference	–	1	9	10
Balance as at the end of the year	10,120	960	32,368	43,448



**23. Financial investments** *(continued)***(b) Debt investments at amortised cost** *(continued)***(iii) Movements of allowances for expected credit loss** *(continued)*

	2021			Total
	– Stage 1 (12-month ECL)	– Stage 2 (Lifetime ECL – not credit- impaired)	– Stage 3 (Lifetime ECL – credit- impaired)	
Balance as at the beginning of the year	11,832	326	13,960	26,118
Transfer to:				
– Stage 1	–	–	–	–
– Stage 2	(5)	5	–	–
– Stage 3	–	–	–	–
Charge for the year (note 14)	3,156	381	9,664	13,201
Write-offs/disposals	–	–	(10)	(10)
Recovery of debt previously written off	–	–	419	419
Exchange difference	(9)	–	(12)	(21)
Balance as at the end of the year	14,974	712	24,021	39,707

**(c) Debt investments at FVTOCI**

	2022	2021
Debt investments at FVTOCI (i)	771,271	628,355
Interest receivable	9,078	7,683
Total	780,349	636,038
Impairment losses of debt investments at FVTOCI (ii)	(6,540)	(6,622)
Impairment losses of interest receivable	(80)	(84)
Total	(6,620)	(6,706)

No impairment allowances are recognised in the consolidated statement of financial position for debt investments at FVTOCI as the carrying amount is at fair value.

**(i) Debt investments at FVTOCI:**

	2022	2021
<b>Bonds:</b>		
Classified by issuer	771,271	628,355
– Government bonds	524,651	390,419
– Bonds issued by policy banks	74,072	82,427
– Bonds issued by commercial banks and other financial institutions	119,602	106,139
– Other debt securities	52,946	49,370
Classified by listing	771,271	628,355
– Listed in the Chinese mainland	611,110	522,889
– Listed outside the Chinese mainland	90,148	65,439
– Unlisted	70,013	40,027



**23. Financial investments** *(continued)***(c) Debt investments at FVTOCI** *(continued)***(ii) Movements of allowances for expected credit loss**

	2022	2021
Balance as at the beginning of the year	6,622	4,014
(Release)/charge for the year (note 14)	(355)	2,647
Exchange difference	273	(39)
Balance as at the end of the year	6,540	6,622

**(d) Equity investments designated at FVTOCI**

	2022	2021
Reposessed equity instruments	3,266	901
Other	10,150	6,094
Total	13,416	6,995
<i>Classified by listing</i>		
– Listed in the Chinese mainland	1,412	65
– Listed outside the Chinese mainland	2,744	2,204
– Unlisted	9,260	4,726
Total	13,416	6,995

During the year ended 31 December 2022, the Group disposed part of the equity investments designated at FVTOCI. The fair value of the equity investments disposed at the date of derecognition was RMB2,879 million (2021: RMB2,186 million). The cumulative net of tax gain of RMB20 million (2021: cumulative net of tax gain of RMB1,804 million) was transferred from investment revaluation reserve to retained earnings on disposal.

**24. Particulars of principal subsidiaries of the bank**

The following list contains particulars of subsidiaries which principally affected the financial results, assets or liabilities of the Group. Unless otherwise stated, the class of all shares held is ordinary. All of these companies are subsidiaries as defined under Note 4(1) and have been included in the scope of the consolidated financial statements of the Group.

Name of company	Place of incorporation and operation	Particulars of the issued and paid up capital (in millions)	% of ownership held by the Bank	Principal activities	Economic nature	Legal representative
CMB International Capital Holdings Corporation Limited (note (i))	Hong Kong	HKD4,129	100%	Investment bank and investment management	Limited liability	Wang Liang
CMB Financial Leasing Company Limited (note (ii))	Shanghai	RMB12,000	100%	Finance leasing	Limited liability	Shi Shunhua
CMB Wing Lung Bank Limited (note (iii))	Hong Kong	HKD1,161	100%	Banking	Limited liability	Liu Yuan
China Merchants Fund Management Co., Ltd. (note (iv))	Shenzhen	RMB1,310	55%	Fund management	Limited liability	Wang Xiaoping
CMB Wealth Management Co., Ltd (note (v))	Shenzhen	RMB5,556	90%	Asset management	Limited liability	Chen Yisong
China Merchants Europe S.A. (note (vi))	Luxembourg	EUR50	100%	Banking	Limited liability	Li Biao
Cigna & CMB Asset Management Company Limited (note (vii))	Beijing	RMB500	(note (vi))	Asset management	Limited liability	Wang Xiaoping

24. Particulars of principal subsidiaries of the bank *(continued)*

## Notes:

- (i) CMB International Capital Holdings Corporation Limited ("CMBIC"), formerly known as Jiangnan Finance Company Limited and CMB International Capital Corporation Limited, is the Bank's wholly-owned subsidiary approved for setting up by the PBOC through its Yin Fu [1998] No. 405. In 2014, the Bank made an additional capital contribution of HKD750 million in CMBIC. The capital of CMBIC increased to HKD1,000 million, and the Bank's shareholding percentage remained unchanged. The Board of Directors passed "The Resolution regarding the Capital Increase and Restructuring of CMBIC" which agreed that the Bank made capital contribution of USD400 million (or its equivalent) to CMBIC on 28 July 2015. The capital contribution was completed on 20 January 2016.
- (ii) CMB Financial Leasing Company Limited ("CMBFL") is a wholly-owned subsidiary of the Bank approved for setting up by the CBIRC through its Yin Jian Fu (2008) No. 110 and commenced its operation in April 2008. In 2014, the Bank made an additional capital contribution of RMB2,000 million in CMBFL. The capital of CMBFL increased to RMB6,000 million and the Bank's shareholding percentage remains unchanged. In August 2021, CMBFL converted RMB6,000 million of its retained earnings into share capital, and the capital of CMBFL increased to RMB12,000 million. The Bank's shareholding percentage remained unchanged.
- (iii) CMB Wing Lung Bank Limited ("CMB WLB") was formerly known as Wing Lung Bank Limited. On 30 September 2008, the Bank acquired a 53.12% equity interests in CMB WLB. CMB WLB became a wholly owned subsidiary of the Bank on 15 January 2009. CMB WLB had withdrawn from listing on the HKEx as of 16 January 2009. The Chairman of CMB WLB changed from Liu Yuan to Wang Liang on February 24, 2023.
- (iv) In 2012, the Bank acquired 21.60% equity interests in China Merchants Fund Management Co., Ltd. ("CMFM"), its former associate, from ING Asset Management B.V. at a consideration of EUR3,567,567.57. Following the settlement of the above consideration in cash, the Bank's shareholding in CMFM increased from 33.40% to 55.00% in 2013. As a result, the Bank obtained the control over CMFM, which became the Bank's subsidiary on 28 November 2013. In December 2017, the Bank made an additional capital contribution of RMB605 million in CMFM, and other shareholders of CMFM also made capital contribution of RMB495 million proportionally. The capital of CMFM increased to RMB1,310 million, and the Bank's shareholding percentage remained unchanged.
- (v) CMB Wealth Management Co., Ltd. ("CMBWM") is a wholly-owned subsidiary of the Bank, approved for setting up by the CBIRC with Yin Bao Jian Fu (2019) No. 981. It was formally established on November 1 2019. In accordance with the approval of CBIRC (Yin Bao Jian Fu (2021) No.920), JPMorgan Asset Management (Asia Pacific) Limited ("JPMorgan Asset Management") has subscribed for a 10% stake in CMBWM in 2022 with an investment of RMB2,657 million. After the completion of capital injection, CMBWM's registered capital has been increased to approximately RMB5,556 million from RMB5,000 million and the Bank's and JPMorgan Asset Management's shareholdings are 90% and 10% respectively.
- (vi) China Merchants Europe S.A. ("CMB Europe S.A.") is a wholly-owned subsidiary of the Bank approved by the CBIRC with Yin Jian Fu (2016) No. 460. The Bank received an approval from the European Central Bank (ECB) for the establishment of CMB Europe S.A. in Luxembourg in May 2021.
- (vii) Cigna & CMB Asset Management Company Limited ("CIGNA & CMAM") was registered and established on 18 October 2020 with the approval for setting up by the CBIRC with Yin Bao Jian Fu (2020) No.708. CIGNA & CMAM is an indirectly controlled subsidiary of the Bank, with 67.3458% held by CIGNA & CMB Life Insurance Co., Ltd., a joint venture of the Bank, and 12.6542% held by CMBIC, a subsidiary of the Bank.

## 25. Interests in joint ventures

	2022	2021
Share of net assets	14,247	14,779
Share of profits for the year	1,710	2,877
Share of other comprehensive (expense)/income for the year	(997)	133

Details of the Group's interests in major joint ventures are as follows:

Name of joint ventures	Economic nature	Place of incorporation and operation	Particulars of issued and paid up capital (in millions)	Group's effective interest	Percentage of ownership held by the Bank	Principal activity
CIGNA & CMB Life Insurance Co., Ltd. (note(i))	Limited liability	Shenzhen	RMB2,800	50.00%	50.00%	Life insurance business
Merchants Union Consumer Finance Company Limited (note(ii))	Limited liability	Shenzhen	RMB10,000	50.00%	50.00%	Consumer finance

Notes:

(i) The Group holds 50.00% equity interests in CIGNA & CMB Life Insurance Co., Ltd. ("CIGNA & CMB Life") and Cigna Health and Life Insurance Company ("CHLIC") holds the other 50.00% equity interests. The Bank and CHLIC share the joint venture's risk, profits and losses based on their shareholding proportionally. The Bank's investment in CIGNA & CMB Life is accounted for as an investment in a joint venture.

(ii) CMB WLB, one of the Group's wholly-owned subsidiaries, and China United Network Communications Limited ("CUNC"), a subsidiary of China Unicom Limited, jointly set up Merchants Union Consumer Finance Company Limited ("MUCFC"). CBIRC approved the operation of MUCFC on 3 March 2015. CMB WLB and CUNC each held 50% equity interests in MUCFC and share the risks, profits and losses proportionally based on their shareholdings. In December 2017, the Bank and CUNC made a capital contribution of RMB600 million in MUCFC respectively. After the capital injection, the capital of MUCFC increased to RMB2,859 million, with the Bank's shareholding percentage becoming 35%, CMB WLB's shareholding percentage becoming 35%, and the Group's total shareholding percentage remained at 50%. In December 2018, the Bank made another capital contribution of RMB1,000 million in MUCFC, and CUNC made the same amount of capital injection. After that, the share capital of MUCFC has reached 3,859 million. The Bank and CMB WLB then held 24.15% and 25.85% of equity interests in MUCFC, respectively, and the Group's total shareholding percentage remained at 50%.

In July 2021, CMB WLB transferred all its shares of MUCFC to the Bank. After the transfer, the Bank and CUNC each held 50% of equity interests in MUCFC, and the Group's total shareholding percentage remained unchanged. In October 2021, MUCFC converted RMB1,131 million of its capital reserve and RMB4,800 million of its retained earnings into share capital, and the share capital of MUCFC increased to RMB10,000 million after the conversion.

**25. Interests in joint ventures** *(continued)*

Summarised financial information with necessary adjustments in accordance with the Group's accounting policies of the joint ventures which are individually material to the Group is as follows:

## (i) CIGNA &amp; CMB Life

	Assets	Liabilities	Equity	Revenue	Net profit	Other comprehensive (expense)/ income	Total comprehensive (expense)/ income	Cash and cash equivalents	Depreciation and amortisation	Income tax
2022										
CIGNA & CMB Life	130,758	121,145	9,613	31,841	730	(1,996)	(1,266)	1,071	147	(475)
Group's effective interest	65,116	60,573	4,543	15,921	336	(997)	(661)	536	74	(238)
2021										
CIGNA & CMB Life	108,815	97,686	11,129	26,635	1,174	268	1,442	1,290	151	(43)
Group's effective interest	54,172	48,843	5,329	13,318	565	133	698	645	76	(22)

## (ii) MUCFC:

	Assets	Liabilities	Equity	Revenue	Net profit	Total comprehensive income	Cash and cash equivalents	Depreciation and amortisation	Income tax
2022									
MUCFC	164,346	147,279	17,067	17,501	3,329	3,329	5,425	47	500
Group's effective interest	82,174	73,640	8,534	8,751	1,665	1,665	2,713	24	250
2021									
MUCFC	149,698	135,660	14,038	15,933	3,015	3,015	4,655	42	477
Group's effective interest	74,849	67,830	7,019	7,967	1,507	1,507	2,328	21	239

Summarised financial information of the joint ventures that are not individually material to the Group is as follows:

	Net (loss)/ profit	Other comprehensive expense	Total comprehensive (expense)/ income
2022			
Other joint ventures	(2,874)	—	(2,874)
Group's effective interest	(291)	—	(291)
2021			
Other joint ventures	4,675	(3)	4,672
Group's effective interest	805	—	805

## 26. Interests in associates

	2022	2021
Share of net assets	9,597	8,875
Share of profits for the year	815	1,153
Share of other comprehensive expense for the year	(158)	-

Details of the Group's interest in major associate are as follows:

	Economic nature	Place of incorporation and operation	Particulars of issued and paid up capital (in millions)	Group's effective interest	Percentage of ownership held by the Bank	Principal activity
Bank of Taizhou Co., Ltd. (Note)	Limited liability	Taizhou	RMB1,800	24.8559%	24.8559%	Commercial Bank

Note: The Bank, which originally held a 10% stake in Bank of Taizhou, acquired a total of 14.8559% stake from Ping An Trust Co., Ltd. and Ping An Life Insurance Company of China, Ltd. at a total consideration of RMB3,121 million on 31 May 2021. Upon the completion of the transaction, the Bank held 24.8559% stake of Bank of Taizhou. The Bank can exercise significant influence on Bank of Taizhou and therefore this investment is converted from equity investments designated at FVTOCI to interests in associates.

Summarised financial information of the associate which is individually material to the Group is as follows:

	Assets	Liabilities	Equity	Revenue	Net profit	Other comprehensive expense	Total comprehensive income	Cash and cash equivalents	Depreciation and amortisation	Income tax
2022										
Bank of Taizhou Co., Ltd.	372,578	343,254	29,324	11,034	4,445	(138)	4,307	20,368	522	1,196
Group's effective interest	91,509	85,319	6,190	2,743	1,004	(35)	969	5,063	130	297

	Assets	Liabilities	Equity	Revenue	Net profit	Other comprehensive expense	Total comprehensive income	Cash and cash equivalents	Depreciation and amortisation	Income tax
2021(note)										
Bank of Taizhou Co., Ltd.	316,172	289,731	26,441	6,775	2,215	30	2,245	11,665	287	604
Group's effective interest	77,536	72,015	5,521	1,684	490	9	499	2,899	71	150

Note: The period of 2021 for profit or loss and other comprehensive income is from 1 June 2021 to 31 December 2021.

Summarised financial information of the associates that are not individually material to the Group is as follows:

	Net (loss)/ profit	Other comprehensive expense	Total comprehensive (expense)/ income
2022			
Other associates	(11,527)	(737)	(12,264)
Group's effective interest	(189)	(123)	(312)
2021			
Other associates	37,958	(65)	37,893
Group's effective interest	663	(9)	654

## 27. Investment properties

	2022	2021
<b>Cost:</b>		
At 1 January	3,135	3,276
Transfers in/(out)	13	(86)
Exchange difference	153	(55)
At 31 December	3,301	3,135
<b>Accumulated depreciation:</b>		
At 1 January	1,763	1,653
Depreciation	132	155
Transfers in/(out)	33	(7)
Exchange difference	105	(38)
At 31 December	2,033	1,763
<b>Net carrying amount:</b>		
At 31 December	1,268	1,372
At 1 January	1,372	1,623

As at 31 December 2022, no impairment allowance was considered necessary for investment properties by the Group (2021: Nil).

Investment properties of the Group mainly represent the leased properties of CMB WLB and the Bank that have been leased out under operating leases. The fair value of the Group's investment properties is determined by the market approach and the method of capitalisation of net rental income. As at 31 December 2022, the fair value of these properties was RMB5,534 million (31 December 2021: RMB5,279 million).

The Group's total future minimum leases receivable under non-cancellable operating leases are as follows:

	2022	2021
Within 1 year (inclusive)	289	313
1 year to 2 years (inclusive)	240	170
2 year to 3 years (inclusive)	184	127
3 year to 4 years (inclusive)	153	106
4 year to 5 years (inclusive)	102	105
Over 5 years	275	359
Total	1,243	1,180

The fair value hierarchy of the investment properties of the Group are listed as follows:

	Level 1	Level 2	Level 3	Fair Value as at 31 December 2022
Located in the Chinese mainland	–	3,140	–	3,140
Located overseas	–	–	2,394	2,394
Total	–	3,140	2,394	5,534

	Level 1	Level 2	Level 3	Fair Value as at 31 December 2021
Located in the Chinese mainland	–	3,076	–	3,076
Located overseas	–	–	2,203	2,203
Total	–	3,076	2,203	5,279

In estimating the fair value of the properties, the highest and best use of the properties is their current use.

## 28. Property and equipment

	Land and buildings	Construction in progress	Computer equipment	Leasehold improvements	Aircraft, vessels and professional equipment	Other	Total
<b>Cost:</b>							
At 1 January 2022	28,876	3,502	16,860	10,925	61,327	5,909	127,399
Additions	24	1,910	1,898	649	26,872	357	31,710
Reclassification and transfers	1,490	(1,625)	162	122	-	(162)	(13)
Disposals	(150)	-	(517)	(100)	(7,912)	(643)	(9,322)
Exchange difference	261	-	113	82	5,454	17	5,927
At 31 December 2022	30,501	3,787	18,516	11,678	85,741	5,478	155,701
<b>Accumulated depreciation:</b>							
At 1 January 2022	12,998	-	12,924	7,028	9,051	4,465	46,466
Depreciation	1,286	-	2,174	1,103	5,027	557	10,147
Reclassification and transfers	(33)	-	113	-	-	(113)	(33)
Disposals	(87)	-	(497)	(70)	(1,653)	(578)	(2,885)
Exchange difference	175	-	77	(16)	686	13	935
At 31 December 2022	14,339	-	14,791	8,045	13,111	4,344	54,630
<b>Impairment loss:</b>							
At 1 January 2022	20	-	-	-	498	-	518
Charge	-	-	-	-	778	-	778
Disposals	-	-	-	-	(194)	-	(194)
Exchange difference	-	-	-	-	50	-	50
At 31 December 2022	20	-	-	-	1,132	-	1,152
<b>Net carrying amount:</b>							
At 31 December 2022	16,142	3,787	3,725	3,633	71,498	1,134	99,919
At 1 January 2022	15,858	3,502	3,936	3,897	51,778	1,444	80,415



## 28. Property and equipment (continued)

	Land and buildings	Construction in progress	Computer equipment	Leasehold improvements	Aircraft, vessels and professional equipment	Other	Total
<b>Cost:</b>							
At 1 January 2021	28,279	3,107	15,149	9,661	48,124	6,299	110,619
Additions	539	743	2,420	1,106	17,879	563	23,250
Redclassification and transfers	169	(348)	20	223	-	22	86
Disposals	(19)	-	(698)	(18)	(3,415)	(971)	(5,121)
Exchange difference	(92)	-	(31)	(47)	(1,261)	(4)	(1,435)
At 31 December 2021	28,876	3,502	16,860	10,925	61,327	5,909	127,399
<b>Accumulated depreciation:</b>							
At 1 January 2021	11,750	-	11,489	6,132	6,729	4,813	40,913
Depreciation	1,314	-	2,097	950	3,822	519	8,702
Redclassification and transfers	6	-	17	-	-	(16)	7
Disposals	(14)	-	(661)	(15)	(1,290)	(848)	(2,828)
Exchange difference	(58)	-	(18)	(39)	(210)	(3)	(328)
At 31 December 2021	12,998	-	12,924	7,028	9,051	4,465	46,466
<b>Impairment loss:</b>							
At 1 January 2021	-	-	-	-	236	-	236
Charge	20	-	-	-	267	-	287
Exchange difference	-	-	-	-	(5)	-	(5)
At 31 December 2021	20	-	-	-	498	-	518
<b>Net carrying amount:</b>							
At 31 December 2021	15,858	3,502	3,936	3,897	51,778	1,444	80,415
At 1 January 2021	16,529	3,107	3,660	3,529	41,159	1,486	69,470

(a) As at 31 December 2022, the process of obtaining the registration certificate for the Group's properties with an aggregate net carrying value of RMB1,108 million (31 December 2021: RMB1,026 million) was still in progress. Management is of the view that the aforesaid matter would neither affect the rights of the Group to these assets nor have any significant impact on the business operation of the Group.

(b) As at 31 December 2022, the Group had no significant unused property and equipment (31 December 2021: None).

(c) As at 31 December 2022, the carrying value of mortgaged aircraft and vessels for placements from banks and other financial institutions of the CMBFL was RMB24,512 million (31 December 2021: RMB15,075 million).

(d) The Group's total future minimum lease receivables under non-cancellable operating leases are as follows:

	2022	2021
Within 1 year (inclusive)	11,306	7,765
1 year to 2 years (inclusive)	9,601	7,148
2 year to 3 years (inclusive)	8,134	5,796
3 year to 4 years (inclusive)	7,087	4,862
4 year to 5 years (inclusive)	6,151	4,253
Over 5 years	19,876	13,357
Total	62,155	43,181



## 29. Lease contracts

## (a) Right-of-use assets

	Land use rights	Buildings	Computer equipment	Motor vehicles and other	Total
<b>Cost:</b>					
At 1 January 2022	5,985	23,070	7	16	29,078
Additions	–	3,656	4	7	3,667
Decrease	–	(2,848)	(1)	(12)	(2,861)
Exchange difference	15	48	–	–	63
At 31 December 2022	6,000	23,926	10	11	29,947
<b>Accumulated depreciation:</b>					
At 1 January 2022	1,190	9,414	3	9	10,616
Depreciation (note 10)	181	3,965	3	2	4,151
Decrease	–	(2,458)	(1)	(9)	(2,468)
Exchange difference	4	32	–	–	36
At 31 December 2022	1,375	10,953	5	2	12,335
<b>Impairment loss:</b>					
At 1 January 2022	59	–	–	–	59
At 31 December 2022	59	–	–	–	59
<b>Net carrying amount:</b>					
At 31 December 2022	4,566	12,973	5	9	17,553
At 1 January 2022	4,736	13,656	4	7	18,403

	Land use rights	Buildings	Computer equipment	Motor vehicles and other	Total
<b>Cost:</b>					
At 1 January 2021	5,957	21,122	4	16	27,099
Additions	33	4,071	5	1	4,110
Decrease	–	(2,107)	(2)	(1)	(2,110)
Exchange difference	(5)	(16)	–	–	(21)
At 31 December 2021	5,985	23,070	7	16	29,078
<b>Accumulated depreciation:</b>					
At 1 January 2021	1,009	6,978	2	6	7,995
Depreciation (note 10)	182	4,070	3	4	4,259
Decrease	–	(1,629)	(2)	(1)	(1,632)
Exchange difference	(1)	(5)	–	–	(6)
At 31 December 2021	1,190	9,414	3	9	10,616
<b>Impairment loss:</b>					
At 1 January 2021	–	–	–	–	–
Charge	59	–	–	–	59
At 31 December 2021	59	–	–	–	59
<b>Net carrying amount:</b>					
At 31 December 2021	4,736	13,656	4	7	18,403
At 1 January 2021	4,948	14,144	2	10	19,104

The Group mainly leases land use rights and buildings for its operations. Lease terms are negotiated on an individual basis and contain a wide range of different terms and conditions. In determining the lease term and assessing the length of the non-cancellable period, the Group reassesses whether it is reasonably certain to exercise an extension option, or not to exercise a termination option, upon the occurrence of either a significant event or a significant change in circumstances that is within the control of the lessee.

**29. Lease contracts** *(continued)***(b) Lease liabilities**

Analysis of the Group's lease liabilities by remaining maturity is as follows:

	2022	2021
Within 1 month (inclusive)	503	506
1 month to 3 months (inclusive)	591	536
3 months to 1 year (inclusive)	3,091	2,989
1 year to 2 years (inclusive)	3,038	3,228
2 year to 5 years (inclusive)	4,612	4,925
Over 5 years	1,178	1,628
Total	13,013	13,812

Interest expense on lease liabilities are set out in note 7.

**(c) Short-term leases and leases of low-value assets**

Short-term lease expense and leases of low-value assets expense are disclosed in note 10. The Group entered into short-term leases for buildings, computer equipment, motor vehicles and other.

**(d)** During the year of 2022, total cash outflow of the Group's leases amounted to RMB4,932 million (2021: RMB4,835 million).**(e)** As at 31 December 2022 and 2021, the leases committed but not yet commenced were not significant.

## 30. Intangible assets

	Software and other	Core deposits	Total
<b>Cost/appraisal value:</b>			
At 1 January 2022	10,045	1,083	11,128
Additions	347	–	347
Disposals	(13)	–	(13)
Exchange difference	14	98	112
At 31 December 2022	10,393	1,181	11,574
<b>Accumulated amortisation:</b>			
At 1 January 2022	6,550	512	7,062
Charge for the year (note 10)	1,021	40	1,061
Disposals	(10)	–	(10)
Exchange difference	11	48	59
At 31 December 2022	7,572	600	8,172
<b>Net carrying amount:</b>			
At 31 December 2022	2,821	581	3,402
At 1 January 2022	3,495	571	4,066

	Software and other	Core deposits	Total
<b>Cost/appraisal value:</b>			
At 1 January 2021	9,576	1,118	10,694
Additions	479	–	479
Exchange difference	(10)	(35)	(45)
At 31 December 2021	10,045	1,083	11,128
<b>Accumulated amortisation:</b>			
At 1 January 2021	5,442	489	5,931
Charge for the year (note 10)	1,114	39	1,153
Exchange difference	(6)	(16)	(22)
At 31 December 2021	6,550	512	7,062
<b>Net carrying amount:</b>			
At 31 December 2021	3,495	571	4,066
At 1 January 2021	4,134	629	4,763

## 31. Goodwill

	As at 31 December 2021	Addition during the year	Decrease during the year	As at 31 December 2022
CMB WLB (note (i))	10,177	–	–	10,177
CMFM (note (ii))	355	–	–	355
CMI (note (iii))	–	45	–	45
Zhaoyin Internet (note (iv))	1	–	–	1
<b>Total</b>	<b>10,533</b>	<b>45</b>	<b>–</b>	<b>10,578</b>
Less: Impairment allowances – CMB WLB	(579)	–	–	(579)
<b>Net carrying amount</b>	<b>9,954</b>	<b>45</b>	<b>–</b>	<b>9,999</b>

Notes:

- (i) On 30 September 2008, the Bank acquired a 53.12% equity interests in CMB WLB. On the acquisition date, the fair value of CMB WLB's identifiable net assets was RMB12,898 million, of which the Bank accounted for RMB6,851 million. A sum of RMB10,177 million, being the excess of acquisition cost over the fair value of the identifiable net assets, was recognised as goodwill. The details about CMB WLB are set out in Note 24.
- (ii) On 28 November 2013, the Bank acquired a 55.00% equity interests in CMFM. On the acquisition date, the fair value of CMFM's identifiable net assets was RMB752 million, of which the Bank accounted for RMB414 million. A sum of RMB355 million, being the excess of acquisition cost of RMB769 million over the fair value of the identifiable net assets, was recognised as goodwill. The details about CMFM are set out in Note 24.
- (iii) On 30 December, 2022, CMB Wing Lung Insurance Company Limited, a subsidiary of CMB WLB, issued shares to purchase the business of China Merchants Insurance Company Limited ("CMI"). On the acquisition date, the fair value of CMI's identifiable net assets was RMB357 million. A sum of RMB45 million, being the excess of acquisition cost of RMB402 million over the fair value of the identifiable net assets, was recognised as goodwill.
- (iv) On 1 April 2015, CMBIC acquired the 100% equity interests in Zhaoyin Internet Technology (Shenzhen) Corporation Limited ("Zhaoyin Internet"). On the acquisition date, the fair value of Zhaoyin Internet's identifiable net assets was RMB3 million. A sum of RMB1 million, being the excess of acquisition cost over the fair value of the identifiable net assets, was recognised as goodwill. Zhaoyin Internet's scope of business comprises development and sales of computer software and hardware; sales of communication and office automation equipment; and IT consulting.

## Impairment test for goodwill

The recoverable amounts of the CGUs are determined based on value in use calculations. These calculations use cash flow projections based on financial forecasts approved by management covering a 5-year period. Cash flows beyond the 5-year period are extrapolated using a steady growth rate. The growth rate does not exceed the long-term average growth rate for the business in which the CGU operates.

In assessing the impairment of goodwill, the Group assumed that the terminal growth rate is comparable to the forecast long-term economic growth rate issued by authoritative institutions. A pre-tax discount rates of CMB WLB and CMFM adopted by the Group are 11% and 10% (2021: 7% and 10%). The Group believes any reasonably possible change in the key assumptions on which recoverable amounts are based would not cause the carrying amounts of the CGUs to exceed their recoverable amounts.

## 32. Deferred tax assets and deferred tax liabilities

	2022	2021
Deferred tax assets	90,848	81,639
Deferred tax liabilities	(1,510)	(1,353)
Net amount	89,338	80,286

## (a) Analysed by nature of deferred tax assets and liabilities

The components of deferred tax assets/liabilities are as follows:

	2022		2021	
	Deductible/ (taxable) temporary difference	Deferred tax	Deductible/ (taxable) temporary difference	Deferred tax
<b>Deferred tax assets</b>				
Impairment allowances on loans and advances to customers and other assets at amortised cost	301,706	75,228	284,360	71,191
Financial assets at FVTOCI	(3,332)	(1,016)	(11,092)	(2,763)
Financial instruments at FVTPL	730	183	92	23
Salaries and welfare payable and other	65,626	16,453	53,510	13,188
Total	364,730	90,848	326,870	81,639
<b>Deferred tax liabilities</b>				
Impairment allowances on loans and advances to customers and other assets at amortised cost	356	50	—	—
Financial assets at FVTOCI	15	4	(5)	(1)
Financial instruments at FVTPL	215	54	(144)	(27)
Salaries and welfare payable and other	(10,235)	(1,618)	(7,755)	(1,325)
Total	(9,649)	(1,510)	(7,904)	(1,353)

32. Deferred tax assets and deferred tax liabilities *(continued)*

## (b) Movements of deferred tax

	Impairment allowances on loans and advances to customers and other assets at amortised cost	Financial assets at FVTOCI	Financial instruments at FVTPL	Salaries and welfare payable and other	Total
At 1 January 2022	71,191	(2,764)	(4)	11,863	80,286
Recognised in profit or loss	4,061	1,160	243	2,993	8,457
Recognised in other comprehensive income	—	578	—	(21)	557
Exchange difference	26	14	(2)	—	38
At 31 December 2022	75,278	(1,012)	237	14,835	89,338

	Impairment allowances on loans and advances to customers and other assets at amortised cost	Financial assets at FVTOCI	Financial instruments at FVTPL	Salaries and welfare payable and other	Total
At 1 January 2021	61,340	(1,404)	1,579	10,305	71,820
Recognised in profit or loss	9,850	1,020	(1,584)	1,516	10,802
Recognised in other comprehensive income	—	(2,383)	—	14	(2,369)
Exchange difference	1	3	1	28	33
At 31 December 2021	71,191	(2,764)	(4)	11,863	80,286

Note: No deferred tax liability has been recognised in respect of temporary differences associated with investments in subsidiaries because the Group is in a position to control the timing of the reversal of the temporary differences and it is probable that such differences will not be reversed in the foreseeable future.

**33. Other assets**

	2022	2021
Amounts pending for settlement	15,387	78,719
Continuing involvement assets	5,274	5,274
Interest receivable	4,154	3,913
Prepaid lease payments	209	257
Reposessed assets (a)	456	513
Guarantee deposits	465	519
Receivable from reinsurers	329	186
Prepayment for leasehold improvement and other miscellaneous items	7,569	4,987
Premium receivables	196	135
Post-employment benefits: defined benefit plan (note 39(b))	50	65
Other	21,889	27,953
Total	55,978	122,521

**(a) Reposessed assets**

	2022	2021
Land and buildings	606	623
Other reposessed assets	6	31
Total	612	654
Less: Impairment allowances	(156)	(141)
Net reposessed assets	456	513

Note: In 2022, the Group disposed of reposessed assets with a total carrying value of RMB44 million (2021: RMB66 million).

**34. Deposits from banks and other financial institutions**

	2022	2021
Principal (a)	644,618	751,254
Interest payable	1,056	1,764
Total	645,674	753,018

**(a) Analysed by nature of counterparties**

	2022	2021
In the Chinese mainland	633,178	701,085
– Banks	103,250	77,788
– Other financial institutions	529,928	623,297
Outside the Chinese mainland	11,440	50,169
– Banks	10,779	48,301
– Other financial institutions	661	1,868
Total	644,618	751,254



**35. Placements from banks and other financial institutions**

	2022	2021
Principal (a)	191,872	170,257
Interest payable	985	393
Total	192,857	170,650

**(a) Analysed by nature of counterparties**

	2022	2021
In the Chinese mainland	124,533	114,496
– Banks	123,934	107,214
– Other financial institutions	599	7,282
Outside the Chinese mainland	67,339	55,761
– Banks	67,130	55,570
– Other financial institutions	209	191
Total	191,872	170,257

**36. Financial liabilities at fair value through profit or loss**

	2022	2021
Financial liabilities held for trading (a)	18,247	17,017
Financial liabilities designated at fair value through profit or loss (b)	45,067	46,744
Total	63,314	63,761

**(a) Financial liabilities held for trading**

	2022	2021
Financial liabilities related to precious metal	17,634	16,406
Short position on bonds	613	611
Total	18,247	17,017

**(b) Financial liabilities designated at fair value through profit or loss**

	2022	2021
In the Chinese mainland	36,217	34,677
– Precious metal contracts with other banks	14,170	11,596
– Other	22,047	23,081
Outside the Chinese mainland	8,850	12,067
– Certificates of deposit issued	383	377
– Debt securities issued	7,709	7,600
– Other	758	4,090
Total	45,067	46,744

As at 31 December 2022 and 2021, the difference between the fair values of the Group's financial liabilities designated at fair value through profit or loss and the contractual payable amount at maturity is not significant. The amounts of changes in the fair value of these liabilities that are attributable to changes in credit risk of the Group are not significant during the years ended 31 December 2022 and 2021 and as at 31 December 2022 and 2021.



**37. Amounts sold under repurchase agreements**

	2022	2021
Principal (a)(b)	107,024	157,572
Interest payable	69	88
Total	107,093	157,660

**(a) Analysed by nature of counterparties**

	2022	2021
In the Chinese mainland	103,452	155,322
– Banks	103,446	147,410
– Other financial institutions	6	7,912
Outside the Chinese mainland	3,572	2,250
– Banks	2,801	1,854
– Other financial institutions	771	396
Total	107,024	157,572

**(b) Analysed by underlying assets**

	2022	2021
Debt securities	95,999	152,071
– Government bonds	73,335	90,956
– Bonds issued by policy banks	15,330	48,833
– Bonds issued by commercial banks and other financial institutions	3,476	2,774
– Other debt securities	3,858	9,508
Discounted bills	11,025	5,501
Total	107,024	157,572

**38. Deposits from customers**

	2022	2021
Principal (a)	7,535,742	6,347,078
Interest payable	54,837	38,076
Total	7,590,579	6,385,154

**(a) Analysed by nature of counterparties**

	2022	2021
Corporate customers	4,431,553	4,058,924
– Demand deposits	2,762,671	2,652,817
– Time deposits	1,668,882	1,406,107
Retail customers	3,104,189	2,288,154
– Demand deposits	1,983,364	1,557,861
– Time deposits	1,120,825	730,293
Total	7,535,742	6,347,078

**(b) The deposits taken from customers as collateral or for the purpose of guarantees are as follows:**

	2022	2021
Guarantee for acceptance bills	199,384	134,858
Guarantee for loans	6,888	18,878
Guarantee for issuing letters of credit	29,366	21,574
Deposit for letters of guarantee	44,732	32,412
Other	42,490	31,208
Total	322,860	238,930

## 39. Staff welfare scheme

## (a) Salaries and welfare payable

2022					
	Beginning balance	Charge for the year arising from combination	Charge for the year	Payment/transfers in the year	Ending balance
Short-term employee benefits (i)	18,065	151	58,583	(53,724)	23,075
Post-employment benefits – defined contribution plans (iii)	1,629	–	5,110	(5,974)	765
Other long-term employee benefits(iii)	67	–	(41)	–	26
Total	19,761	151	63,652	(59,698)	23,866

2021					
	Beginning balance	Charge for the year	Payment/transfers in the year	Ending balance	
Short-term employee benefits (i)	14,155	53,827	(49,917)	18,065	
Post-employment benefits – defined contribution plans (iii)	1,240	4,884	(4,495)	1,629	
Other long-term employee benefits(iii)	67	17	(17)	67	
Total	15,462	58,728	(54,429)	19,761	

## (i) Short-term employee benefits

2022					
	Beginning balance	Charge for the year arising from combination	Charge for the year	Payment/transfers in the year	Ending balance
Salaries and bonus	14,318	151	48,682	(44,263)	18,888
Welfare expense	19	–	2,310	(2,312)	17
Social insurance	530	–	3,311	(3,470)	371
– Medical insurance	515	–	3,192	(3,354)	353
– Injury insurance	6	–	34	(34)	6
– Maternity insurance	9	–	85	(82)	12
Housing reserve	166	–	2,309	(2,318)	157
Labour union and employee education expenses	3,032	–	1,971	(1,361)	3,642
Total	18,065	151	58,583	(53,724)	23,075

2021					
	Beginning balance	Charge for the year	Payment/transfers in the year	Ending balance	
Salaries and bonus	11,121	43,716	(40,519)	14,318	
Welfare expense	24	2,908	(2,913)	19	
Social insurance	408	3,158	(3,036)	530	
– Medical insurance	391	3,046	(2,922)	515	
– Injury insurance	6	27	(27)	6	
– Maternity insurance	11	85	(87)	9	
Housing reserve	191	2,119	(2,144)	166	
Labour union and employee education expenses	2,411	1,926	(1,305)	3,032	
Total	14,155	53,827	(49,917)	18,065	

**39. Staff welfare scheme** *(continued)***(a) Salaries and welfare payable** *(continued)***(ii) Post-employment benefits-defined contribution plans**

	2022			
	Beginning balance	Charge for the year	Payment/transfers in the year	Ending balance
Basic retirement insurance	157	2,821	(2,827)	151
Supplementary pension	1,450	2,221	(3,080)	591
Unemployment insurance	22	68	(67)	23
Total	1,629	5,110	(5,974)	765

	2021			
	Beginning balance	Charge for the year	Payment/transfers in the year	Ending balance
Basic retirement insurance	130	2,566	(2,539)	157
Supplementary pension	1,088	2,257	(1,895)	1,450
Unemployment insurance	22	61	(61)	22
Total	1,240	4,884	(4,495)	1,629

In accordance with the regulations in the PRC, the Group participates in statutory pension schemes organised by the municipal and provincial governments for its employees (endowment insurance). During the year ended 31 December 2022, the Group's contributions to these pension schemes are determined by local governments and vary at a range of 14% to 16% (2021: 14% to 16%) of the staff salaries.

In addition to the above statutory pension schemes, the Group has established a supplementary defined contribution plan for its employees (annuity insurance) in accordance with relevant annuity policies for corporate entities in the PRC. During the year ended 31 December 2022, the Group's annual contributions to this plan are determined based on 0% to 8.33% of the staff salaries and bonuses (2021: 0% to 8.33%).

For its employees outside the Chinese mainland, the Group participates in defined contribution retirement schemes at funding rates determined in accordance with the local practices and regulations.

**(iii) Other long-term employee benefits**

	2022			
	Beginning balance	Charge for the year	Payment in the year	Ending balance
Cash settled share-based transactions	67	(41)	—	26

	2021			
	Beginning balance	Charge for the year	Payment in the year	Ending balance
Cash settled share-based transactions	67	17	(17)	67

The Group has offered 10 phases of H share appreciation rights under the Scheme, the remaining eighth to tenth phases have not been exercised as of 31 December 2022. The share appreciation rights of the Scheme vest after 3 years from the grant date and are then exercisable within a period of 7 years. Each of the share appreciation right is linked to one H share.

**39. Staff welfare scheme** *(continued)***(a) Salaries and welfare payable** *(continued)***(iii) Other long-term employee benefits** *(continued)*

- (1) All share appreciation rights shall be settled in cash. The terms and conditions of the Scheme are listed below:

	Number of unexercised share appreciation rights at the end of 2022 (in millions)	Exercise conditions	Contract period of share appreciation rights
Share appreciation rights granted on 22 Jul 2015 (Phase VII)	0.157	3 years after the grant date	10 years
Share appreciation rights granted on 24 Aug 2016 (Phase IX)	0.210	3 years after the grant date	10 years
Share appreciation rights granted on 25 Aug 2017 (Phase X)	0.240	3 years after the grant date	10 years

- (2) The number and weighted average exercise prices of share appreciation rights are as follows:

	2022		2021	
	Weighted average exercise price (HKD)	Number of share appreciation rights (in million)	Weighted average exercise price (HKD)	Number of share appreciation rights (in million)
Outstanding as at the beginning of the year	16.21	1.76	18.34	2.87
Exercised during the year	-	-	17.23	(0.42)
Forfeited during the year	13.65	(1.15)	19.11	(0.69)
Outstanding at the end of the year	15.91	0.61	16.21	1.76
Exercisable at the end of the year	15.25	0.55	14.92	1.35

The share appreciation rights outstanding at 31 December 2022 had a weighted average exercise price of HKD15.91 (2021: HKD16.21) and a weighted average remaining contractual life of 3.70 years (2021: 4.36 years).

Pursuant to the requirements set out in the Scheme, if there are any dividends distributed, capital reserve converted into shares, share split or dilution, adjustments to the exercise price will be applied.

**39. Staff welfare scheme** *(continued)***(a) Salaries and welfare payable** *(continued)***(iii) Other long-term employee benefits** *(continued)***(3) Fair value of share appreciation rights and assumptions**

The fair value of services received in return for share appreciation rights granted are measured by reference to the fair value of share appreciation rights granted. The estimate of the fair value of the share appreciation rights granted is measured based on the Black-Scholes model. The contractual life of the rights are used as an input to the model.

	2022		
	Phase VIII	Phase IX	Phase X
Fair value at measurement date (in RMB Yuan)	24.94	25.27	17.75
Share price (in HKD)	43.30	43.30	43.30
Exercise price (in HKD)	12.81	11.38	21.92
Expected volatility	48.34%	48.34%	48.34%
Share appreciation rights remaining life (year)	2.50	3.58	4.58
Expected dividends yield	2.93%	2.93%	2.93%
Risk-free interest rate	1.43%	1.43%	1.43%

	2021			
	Phase VII	Phase VIII	Phase IX	Phase X
Fair value at measurement date (in RMB Yuan)	40.54	33.66	33.40	25.98
Share price (in HKD)	61.75	61.75	61.75	61.75
Exercise price (in HKD)	7.44	14.59	13.16	23.70
Expected volatility	37.41%	37.41%	37.41%	37.41%
Share appreciation rights remaining life (year)	2.50	3.50	4.58	5.58
Expected dividends yield	3.36%	3.36%	3.36%	3.36%
Risk-free interest rate	1.43%	1.43%	1.43%	1.43%

The expected volatility is based on the historical volatility (calculated based on the weighted average remaining life of the share appreciation rights) and adjusted for any expected changes to future volatility based on publicly available information. Expected dividend yield is based on historical dividend yields. Changes in the subjective input assumptions could materially affect the fair value estimate.

Share appreciation rights were granted under service conditions. The conditions have not been taken into account in the grant date fair value measurement of the services received. There were no market conditions associated with the share appreciation rights granted.

**(4) The number of share appreciation rights granted:**

	2022				Exercised/ Forfeited (in thousands)
	Phase VIII (in thousands)	Phase IX (in thousands)	Phase X (in thousands)	Total (in thousands)	
Tian Huiyu	-	-	-	-	1,230
Wang Liang	157	210	240	607	203
Total	157	210	240	607	1,433

	2021					Exercised/ Forfeited (in thousands)
	Phase VII (in thousands)	Phase VIII (in thousands)	Phase IX (in thousands)	Phase X (in thousands)	Total (in thousands)	
Tian Huiyu	225	300	300	330	1,155	75
Liu Jianjun	-	-	-	-	-	870
Wang Liang	-	157	210	240	607	203
Xiong Liangjun	-	-	-	-	-	650
Total	225	457	510	570	1,762	1,808

Note: In 2022, senior management did not exercise any appreciation rights (2021: 0.42 million at a weighted average exercise price of HKD17.23).



**39. Staff welfare scheme** *(continued)***(b) Post-employment benefits – defined benefit plan**

The Group's subsidiary CMB WLB operates a defined benefit plan (the "plan") for the staff, which includes a defined benefit scheme and a defined benefit pension scheme. Contributions to the plan are determined based on periodic valuations by qualified actuaries on the assets and liabilities of the plan. The plan provides benefits based on members' final salary. The costs are solely funded by CMB WLB.

The latest actuarial valuation of the plan as at 31 December 2022 was performed by Towers Watson Hong Kong Limited, a professional actuarial firm in accordance with IAS 19 Employee Benefits. The present values of the defined benefit obligation and current service cost of the plan are calculated based on the projected unit credit method. At the valuation date, the plan had a funding level of 121%(2021: 123%).

The amounts recognised in the consolidated statement of financial position as at 31 December 2022 and 2021 are analysed as follows:

	2022	2021
Fair value of the plan assets	285	349
Present value of the funded defined benefit obligation	(235)	(284)
Net asset recognised in the consolidated statement of financial position	50	65

A portion of the above asset is expected to be recovered after more than one year. However, it is not practicable to segregate this amount from the amounts receivable in the next twelve months, as future contributions will also relate to future services rendered and future changes in actuarial assumptions and market conditions. No contribution to the plan is expected to be paid in 2022.

There was no plan amendment, curtailment or settlement impact for the years ended 31 December 2022 and 2021.

The amounts recognised in the consolidated statement of profit or loss are as follows:

	2022	2021
Current service cost	(9)	(10)
Net interest income	1	–
Net expense for the year included in retirement benefit costs	(8)	(10)

The actual loss on the plan assets for the year ended 31 December 2022 was RMB42 million (2021: gain of RMB2 million).

The movements in the defined benefit obligation during the year are as follows:

	2022	2021
Present value of obligation at 1 January	284	341
Current service cost	9	10
Interest cost	4	1
Actual benefits paid	(49)	(42)
Actuarial gains or losses due to liability experience	(4)	(6)
Actuarial gains or losses due to financial assumption changes	(31)	(22)
Actuarial gains or losses due to demographic assumption changes	–	10
Exchange difference	22	(8)
Actual obligation at 31 December	235	284

The movements in the fair value of the plan assets during the year are as follows:

	2022	2021
Fair value of the plan assets at 1 January	349	401
Interest income	5	1
Expected return on plan assets	(47)	1
Actual benefits paid	(49)	(42)
Exchange difference	27	(12)
Fair value of the plan assets at 31 December	285	349

**39. Staff welfare scheme** *(continued)***(b) Post-employment benefits – defined benefit plan** *(continued)*

The major categories of the plan assets are as follows:

	2022		2021	
	Amount	%	Amount	%
Equities	153	53.7	202	57.9
Bonds	50	17.5	71	20.3
Cash	82	28.8	76	21.8
Total	285	100.0	349	100.0

As at 31 December 2022, deposit with the Bank included in the amount of the plan assets was RMB58 million (2021: RMB53 million).

The principal actuarial assumptions adopted in the valuation are as follows:

	2022 %	2021 %
Discount rate		
– Defined benefit scheme	3.3	1.4
– Defined benefit pension scheme	4.6	0.4
Long-term average rate of salary increase for the plan	5.0	5.0
Pension increase rate for the defined benefit pension plan	–	–

In 2022 and 2021, there were no significant change in the amount of retirement benefit plan liabilities due to changes in the above-mentioned actuarial assumptions.

**40. Tax payable**

	2022	2021
Corporate income tax	13,392	16,539
Value added tax	4,141	4,399
Other	1,925	1,553
Total	19,458	22,491

**41. Contract liabilities**

	2022	2021
Credit card points	5,319	6,065
Other deferred fee and commission income	1,360	1,471
Total	6,679	7,536

**42. Provisions**

	2022	2021
Expected credit loss on provisions	20,217	12,790
Other	2,274	1,870
Total	22,491	14,660

The expected credit loss for loan commitments and financial guarantee contracts by stages are as follows:

	2022	2021
Expected credit loss provisions	20,217	12,790
– Stage 1 (12-month ECL)	12,082	8,210
– Stage 2 (Lifetime ECL – not credit-impaired)	7,569	3,724
– Stage 3 (Lifetime ECL – credit-impaired)	566	856



## 43. Debt securities issued

	Notes	2022	2021
Subordinated bonds issued	(a)	19,994	34,236
Long-term debt securities issued	(b)	120,971	159,306
Negotiable interbank certificates of deposit issued		65,719	240,284
Certificates of deposit and other debt securities issued (note)		15,604	10,715
Interest payable		1,533	2,104
Total		223,821	446,645

Note: Other debt securities issued are notes issued by overseas subsidiaries of the Bank.

## (a) Subordinated bonds issued

As at the end of the reporting period, subordinated bonds issued by the Bank were as follows:

Debt type	Term to maturity	Date of issuance	Annual interest rate (%)	Nominal value (in million)	Beginning balance (RMB in million)	Issue during the year (RMB in million)	Discount or premium amortisation (RMB in million)	Repayment during the year (RMB in million)	Ending balance (RMB in million)
Fixed rate bond	180 months	27 Dec 2012	5.20	RMB11,700	11,696	-	4	(11,700)	-
Fixed rate bond	120 months	15 Nov 2018	4.65	RMB20,000	19,994	-	-	-	19,994
Total					31,690	-	4	(11,700)	19,994

As at the end of the reporting period, subordinated bond issued by CMB WLB was as follows:

Debt type	Term to maturity	Date of issuance	Annual interest rate (%)	Nominal value (in million)	Beginning balance (RMB in million)	Discount or premium amortisation (RMB in million)	Exchange difference (RMB in million)	Repayment during the year (RMB in million)	Ending balance (RMB in million)
Fixed to floating rate bond	120 months	22 Nov 2017	3.75 (for the first 5 years); T*+1.75% (from 6th year onwards, if the notes are not called by the Bank)	USD400	2,546	3	116	(2,665)	-
Total					2,546	3	116	(2,665)	-

\* T represents the 5 years US Treasury rate.

## 43. Debt securities issued (continued)

## (b) Long-term debt securities issued

As at the end of the reporting period, debt securities issued by the Bank was as follows:

Debt type	Term to maturity	Date of issuance	Annual interest rate (%)	Nominal value (in million)	Beginning balance (RMB in million)	Issue during the year (RMB in million)	Discount or premium amortisation (RMB in million)	Exchange difference (RMB in million)	Repayment during the year (RMB in million)	Ending balance (RMB in million)
Medium term note	36 months	19 Jun 2019	0.25	EUR300	2,164	-	(1)	30	(2,193)	-
Medium term note	36 months	19 Jun 2019	3M Libor*+0.74	USD600	3,823	-	-	97	(3,920)	-
Fixed rate bond	36 months	5 Jul 2019	3.45	RMB30,000	29,990	-	10	-	(30,000)	-
Fixed rate bond	36 months	24 Sep 2019	3.33	RMB20,000	19,997	-	3	-	(20,000)	-
Medium term note	33 months	27 Sep 2019	3M Libor*+0.74	USD60	382	-	-	10	(392)	-
Medium term note	36 months	25 Sep 2020	1.10	USD400	2,546	-	(2)	236	-	2,780
Medium term note	36 months	25 Sep 2020	0.95	USD300	1,908	-	(4)	183	-	2,087
Fixed rate bond	36 months	6 Nov 2020	3.48	RMB10,000	9,998	-	1	-	-	9,999
Fixed rate bond	36 months	11 Mar 2021	3.40	RMB10,000	9,998	-	-	-	-	9,998
Fixed rate bond	36 months	3 Jun 2021	3.18	RMB20,000	19,995	-	-	-	-	19,995
Fixed rate bond	36 months	24 Aug 2021	2.90	RMB10,000	9,998	-	-	-	-	9,998
Medium term note	24 months	1 Sep 2021	SOFR*+0.50	USD300	1,912	-	(1)	176	-	2,087
Medium term note	60 months	1 Sep 2021	1.25	USD300	1,912	-	(1)	178	-	2,089
Medium term note	36 months	2 Mar 2022	2.00	USD400	-	2,534	9	255	-	2,798
Fixed rate bond	36 months	11 May 2022	2.65	RMB5,000	-	4,998	1	-	-	4,999
Fixed rate bond	36 months	1 Sep 2022	2.40	RMB10,000	-	10,000	(3)	-	-	9,997
Total					114,623	17,532	12	1,165	(56,505)	76,827

\* Libor represents London InterBank Offered Rate. SOFR represents Secured Overnight Financing Rate.

Note: Financial bonds issued by the Bank that were held by CMB WLB amounted to a total of 555 million RMB equivalent as of 31 December 2022 (31 December 2021: 1,142 million RMB equivalent).

## 43. Debt securities issued (continued)

## (b) Long-term debt securities issued (continued)

As at the end of the reporting period, debt securities issued by CMBFL were as follows:

Debt type	Term to maturity	Date of issuance	Annual interest rate (%)	Nominal value (in million)	Beginning balance (RMB in million)	Issue during the year (RMB in million)	Discount or premium amortisation (RMB in million)	Exchange difference (RMB in million)	Repayment during the year (RMB in million)	Ending balance (RMB in million)
Fixed rate bond	36 months	13 Mar 2019	3.50	RMB1,500	1,500	-	-	-	(1,500)	-
Fixed rate bond	60 months	13 Mar 2019	4.00	RMB500	499	-	1	-	-	500
Fixed rate bond	36 months	27 May 2019	3.68	RMB3,000	2,999	-	1	-	(3,000)	-
Fixed rate bond	60 months	3 Jul 2019	3.00	USD900	5,705	-	10	550	-	6,265
Fixed rate bond	120 months	3 Jul 2019	3.63	USD100	633	-	1	60	-	694
Fixed rate bond	36 months	17 Jul 2019	3.60	RMB3,000	2,998	-	2	-	(3,000)	-
Fixed rate bond	120 months	14 Jul 2020	4.25	RMB2,000	1,993	-	1	-	-	1,994
Fixed rate bond	60 months	12 Aug 2020	1.88	USD800	5,078	-	5	488	-	5,571
Fixed rate bond	120 months	12 Aug 2020	2.75	USD400	2,526	-	3	242	-	2,771
Fixed rate bond	36 months	17 Nov 2020	3.85	RMB4,000	3,993	-	4	-	-	3,997
Fixed rate bond	36 months	28 Jun 2021	3.60	RMB4,000	3,992	-	4	-	-	3,996
Fixed rate bond	60 months	4 Feb 2021	2.00	USD400	2,539	-	2	244	-	2,785
Fixed rate bond	120 months	5 Feb 2021	2.88	USD400	2,520	-	3	242	-	2,765
Fixed rate bond	18 months	19 Mar 2021	1.16	USD50	318	-	-	30	(348)	-
Fixed rate bond	36 months	24 Mar 2021	3.58	RMB2,000	1,996	-	2	-	-	1,998
Fixed rate bond	60 months	24 Mar 2021	2.00	USD20	126	-	-	12	-	138
Fixed rate bond	36 months	16 Sep 2021	1.25	USD600	3,805	-	5	369	-	4,179
Fixed rate bond	60 months	16 Sep 2021	1.75	USD300	1,893	-	3	185	-	2,081
Fixed rate bond	36 months	16 Sep 2021	0.50	EUR100	721	-	1	19	-	741
Floating rate bond	12 months	13 Dec 2021	3M Libor+0.55	USD60	382	-	-	35	(417)	-
Fixed rate bond	24 months	22 Dec 2021	0.50	EUR30	216	-	-	6	-	222
Floating rate bond	12 months	2 Mar 2022	SOFR+0.80	USD115	-	728	1	73	-	802
Floating rate bond	12 months	6 May 2022	SOFR+0.85	USD45	-	298	-	16	-	314
Floating rate bond	12 months	6 May 2022	SOFR+1.00	USD75	-	497	-	26	-	523
Floating rate bond	12 months	13 Jun 2022	SOFR+0.95	USD120	-	805	-	32	-	837
Fixed rate bond	12 months	9 Sep 2022	1.95	EUR80	-	554	-	38	-	592
Floating rate bond	6 months	13 Oct 2022	SOFR+0.75	USD50	-	346	-	3	-	349
Fixed rate bond	12 months	17 Nov 2022	3.21	RMB300	-	300	-	-	-	300
Floating rate bond	12 months	7 Dec 2022	SOFR+0.83	USD45	-	315	-	(1)	-	314
Floating rate bond	60 months	12 Dec 2022	SOFR+1.40	USD100	-	695	-	3	-	698
Fixed rate bond	12 months	14 Dec 2022	2.90	EUR57	-	420	-	1	-	421
Total					46,432	4,958	49	2,673	(8,265)	45,847

Note: Financial bonds issued by CMBFL that were held by the Bank amounted to a total of 1,370 million RMB equivalent as of 31 December 2022 (31 December 2021: 1,370 million RMB equivalent). Financial bonds issued by CMB International Leasing Management Limited (CMBILM), a wholly-owned subsidiary of CMBSFL, that were held by the Bank amounted to a total of 2,268 million RMB equivalent as of 31 December 2022 (31 December 2021: 2,085 million RMB equivalent). Financial bonds issued by CMBILM that were held by CMB WLB amounted to a total of 1,662 million RMB equivalent as of 31 December 2022 (31 December 2021: 900 million RMB equivalent).

As at the end of the reporting period, long-term debt securities issued by CMBIC were as follows:

Debt type	Term to maturity	Date of issuance	Annual interest rate (%)	Nominal value (in million)	Beginning balance (RMB in million)	Issue during the year (RMB in million)	Discount or premium amortisation (RMB in million)	Exchange difference (RMB in million)	Repayment during the year (RMB in million)	Ending balance (RMB in million)
Fixed rate bond	36 months	2 June 2021	1.38	USD600	3,816	-	(21)	371	-	4,166
Total					3,816	-	(21)	371	-	4,166

Note: Financial bond issued by CMBIC that was held by CMB WLB amounted to a total of 74 million RMB equivalent as of 31 December 2022 (31 December 2021: 68 million RMB equivalent).

## 44. Other liabilities

	2022	2021
Clearing and settlement accounts	31,534	50,565
Salary risk allowances (note)	45,500	38,500
Continuing involvement liability	5,274	5,274
Insurance liabilities	2,902	2,063
Collecting on behalf of customers	827	951
Cheques and remittances returned	39	47
Other payable	39,862	42,170
<b>Total</b>	<b>125,938</b>	<b>139,570</b>

Note: Salary risk allowances are specific funds withheld from the employees' annual remunerations of which the payments are delayed for the purpose of risk management. The allocation of the funds is based on performance assessment and risk management results, taking into account the short term and long term benefit. In the event of a decline in the asset quality, a sharp deterioration of risk profiles and profitability, the occurrence of legal case, or a significant regulatory violation identified by any regulatory authorities, the relevant employees will be restricted from the allocation of these allowances.

## 45. Share capital

By type of shares:

	2022 and 2021 No. of shares (in million)
Listed shares	
– A Shares	20,629
– H Shares	4,591
<b>Total</b>	<b>25,220</b>

All H Shares are ordinary shares and rank pari passu with the A Shares. There is no restriction on these shares.

	Capital	
	No. of shares (in million)	Amount
At 1 January 2022 and at 31 December 2022	25,220	25,220

## 46. Other equity instruments

## (a) Preference Shares

	Issuance date	Accounting classification	Dividend rate	Issue price	No.	Amount	Due date	Conversion conditions	Conversion
				(millions of shares)	(RMB in million)				
Offshore Preference Shares in 2017 (note (i))	25 Oct 2017	Equity instruments	4.40%	USD20/Share	50	6,597	Perpetual existence	Note (i)	None
Domestic Preference Shares in 2017 (note (ii))	22 Dec 2017	Equity instruments	4.81%	RMB100/Share	275	27,468	Perpetual existence	Note (ii)	None
Total					325	34,065			

The changes of Preference Shares issued were as follows:

		1 January 2022		Increase/decrease		31 December 2022	
	Issuance date	No.	Amount	No.	Amount	No.	Amount
		(millions of shares)	(RMB in million)	(millions of shares)	(RMB in million)	(millions of shares)	(RMB in million)
Offshore Preference Shares (note (i))	25 Oct 2017	50	6,597	(50)	(6,597)	-	-
Domestic Preference Shares (note (ii))	22 Dec 2017	275	27,468	-	-	275	27,468
Total		325	34,065	(50)	(6,597)	275	27,468

Notes:

- (i) Pursuant to the approvals by the relevant regulatory authorities in China, the Bank issued US Dollar traded and settled non-cumulative Offshore Preference Shares in the aggregate nominal value of USD1,000 million on 25 October 2017. Each Offshore Preference Share has a nominal value of USD20 and 50 million Offshore Preference Shares were issued in total. The dividend rate is initially at 4.40% and subject to reset per agreement subsequently, but not exceeds 16.68%. With the approval of the CBIRC, the Bank redeemed all of the above Offshore Preference Shares during the year.
- (ii) Pursuant to the approvals by the relevant regulatory authorities in China, the Bank issued non-cumulative Domestic Preference Shares in the aggregate nominal value of RMB27,500 million on 22 December 2017. Each Domestic Preference Share has a nominal value of RMB100 and 275 million Domestic Preference Shares were issued in total. The dividend rate is initially at 4.81% and subject to reset per agreement subsequently, but not exceeds 16.68%.
- (iii) Both Domestic and Offshore Preference Shares have clauses that state certain events would trigger mandatory conversion, those clauses are as follows:
- (1) Upon the occurrence of any additional Tier-1 Capital Instrument Trigger Event, that is, the Core Tier-1 Capital Adequacy Ratio drops to 5.125% or below, the Bank shall have the right to convert, without the consent of the holders of Preference Shares, all or part of the Preference Shares then issued and outstanding into Ordinary A Shares (Domestic Preference Shares) or Ordinary H Shares (Offshore Preference Shares) based on the total nominal value of the Preference Shares in order to restore the Core Tier-1 Capital Adequacy Ratio of the Bank to above 5.125%. In the case of partial conversion, the Preference Shares shall be converted on a pro rata basis and on identical conditions.
- (2) Upon the occurrence of a Tier-2 Capital Trigger Event, the Bank shall have the right to convert, without the consent of the holders of Preference Shares, all or part of the Preference Shares then issued and outstanding into Ordinary A Shares (Domestic Preference Shares) or Ordinary H Shares (Offshore Preference Shares) based on the total nominal value of the Preference Shares. A Tier-2 Capital Trigger Event refers to the earlier of the following events: 1) CBIRC having concluded that without a conversion or write-off, the Bank would become non-viable, and 2) the relevant authorities having concluded that without a public sector injection of capital or equivalent support, the Bank would become non-viable.

Upon the occurrence of the above mandatory conversion events, the Bank shall report to the CBIRC for review and determination. The Bank shall fulfil the relevant information disclosure requirements of the Securities Law, the CSRC's and Hong Kong's relevant laws and regulations such as making provisional reports or announcements in accordance with relevant regulatory requirements.

**46. Other equity instruments** (continued)**(a) Preference Shares** (continued)

Dividends on the Offshore and Domestic Preference Shares shall be paid in cash. Save for such dividend at the agreed dividend rate, the holders of the above Preference Shares are not entitled to share the remaining profits of the Bank with the ordinary shareholders. Dividend is non-cumulative. The Bank has the right to cancel any dividend on Preference Shares, and such cancellation shall not be deemed as a default. After the cancellation of all or part of the dividend to preference shareholders, the Bank shall not make any ordinary shares distribution, until the Preference Shares dividend is resumed in full. As the dividends on the Offshore and Domestic Preference Shares are non-cumulative, the Bank will not distribute the dividends that were cancelled in prior years to Preference Shares holders.

The Offshore and Domestic Preference Shares have no maturity date. However, after the fifth anniversary of the issuance date, subject to the satisfaction of the redemption conditions and having obtained the prior approval of the CBIRC, the Offshore and Domestic Preference Shares may be redeemed in whole or in part at the discretion of the Bank, but the Bank does not have the obligation to redeem preference shares. The holders of Preference Shares do not have the right to demand the Bank to redeem the Preference Shares and shall not expect that Preference Shares will be redeemed.

After deducting the issuance expenses from the Preference Shares above, the total net proceeds have been included in additional Tier 1 capital of the Bank.

**(b) Perpetual Bonds**

	Issuance date	Accounting classification	Interest rate	Issue price	No. (millions of units)	Amount (RMB in million)	Due date	Conversion conditions	Conversion
Domestic Perpetual Bonds (note (i))	9 Jul 2020	Equity instruments	3.95%	RMB100/Unit	500	49,989	Perpetual existence	None	None
Domestic Perpetual Bonds (note (ii))	7 Dec 2021	Equity instruments	3.69%	RMB100/Unit	430	42,989	Perpetual existence	None	None
Total					930	92,978			

The changes of Perpetual Bonds issued were as follows:

	Issuance date	1 January 2022		Increase		31 December 2022	
		No. (millions of units)	Amount (RMB in million)	No. (millions of units)	Amount (RMB in million)	No. (millions of units)	Amount (RMB in million)
Domestic Perpetual Bonds (note (i))	9 Jul 2020	500	49,989	-	-	500	49,989
Domestic Perpetual Bonds (note (ii))	7 Dec 2021	430	42,989	-	-	430	42,989
Total		930	92,978	-	-	930	92,978

Notes:

- (i) With the approval of the relevant regulatory authorities in China, the Bank issued RMB50,000 million of 2020 China Merchants Bank Co., Ltd. Undated Additional Tier-1 Capital Bonds (Series 1) (the "Perpetual Bonds 2020") in the national inter-bank bond market on 9 July 2020. The unit face value is RMB100. The coupon rate adjusted period is every 5 years from the issuance of the Perpetual Bonds 2020. In any coupon rate adjusted period, the coupon rate of the Perpetual Bonds will remain at a prescribed fixed rate. The Perpetual Bonds 2020 will continue to be outstanding so long as the Bank continues to operate.
- (ii) With the approval of the relevant regulatory authorities in China, the Bank issued RMB43,000 million of 2021 China Merchants Bank Co., Ltd. Undated Additional Tier-1 Capital Bonds (the "Perpetual Bonds 2021, together with Perpetual Bonds 2020, Perpetual Bonds") in the national inter-bank bond market on 7 December 2021. The unit face value is RMB100. The coupon rate adjusted period is every 5 years from the issuance of the Perpetual Bonds 2021. In any coupon rate adjusted period, the coupon rate of the Perpetual Bonds will remain at a prescribed fixed rate. The Perpetual Bonds 2021 will continue to be outstanding so long as the Bank continues to operate.



**46. Other equity instruments** *(continued)***(b) Perpetual Bonds** *(continued)*

From the fifth anniversary since the issuance of the Perpetual Bonds, the Bank has the right to redeem in whole or in part the Perpetual Bonds on the annual interest payment date (including the interest payment date on the fifth year since the issuance date) subject to the approval of the CBIRC and the satisfaction of the redemption preconditions. If, after the issuance, the Perpetual Bonds no longer qualify as additional Tier 1 capital as a result of an unforeseeable change to relevant provisions of supervisory regulation, the Bank has the right to redeem the whole but not part of the Perpetual Bonds. The investors do not have the right to sell back the Perpetual Bonds to the Bank.

The claims in respect of the Perpetual Bonds will be subordinated to the claims of depositors, general creditors, and subordinated debts that rank senior to the Perpetual Bonds, and will rank in priority to all classes of shares held by the Bank's shareholders and rank pari passu with the claims in respect of any other additional Tier-1 capital instruments of the Bank that rank pari passu with the Perpetual Bonds.

The coupon rate will be reset on each benchmark rate reset date (i.e. the date of every five years from the issuance date). The adjusted coupon rate will be determined based on the benchmark interest rate at adjustment date plus the fixed spread as determined at the time of issuance. The Perpetual Bonds do not contain interest rate step-up mechanism or any other redemption incentives. The Bank has the right to cancel, in whole or in part, distributions on the Perpetual Bonds and any such cancellation will not constitute an event of default. The bond interests are non-cumulative, and any cancelled distribution is not carried to the following year. The Bank will fully consider the interests of bondholders when exercising this right. The Bank can use the cancelled bond interest for the current period at its discretion to repay other due debts. Cancellation of any distributions to the Perpetual Bonds, no matter in whole or in part, will not impose any other restriction on the Bank, except in relation to dividend distributions to ordinary shares.

Upon the occurrence of a Non-Viability Trigger Event, the Bank has the right to write off in whole or in part, without the need for the consent of the bond holders, the principal amount of the Perpetual Bonds. A Non-Viability Trigger Event refers to the earlier of the following events: (i) the CBIRC having concluded that without a write-off, the Bank would become non-viable; (ii) the relevant authorities having concluded that without a public sector injection of capital or equivalent support, the Bank would become non-viable. The write-off will not be restored.

After deducting the issuance expenses, the funds raised by the bonds have been used to supplement additional Tier 1 capital of the Bank in accordance with applicable laws and the approval of the relevant authorities.

**(c) Relative Information Attributed to Equity Instrument Holders**

	2022	2021
Equity attributed to shareholders of the Bank	945,503	858,745
– Equity attributed to ordinary shareholders of the Bank	825,057	731,702
– Equity attributed to other equity instrument holders of the Bank	120,446	127,043
Including: Net profit	5,237	3,613
Total comprehensive income	5,237	3,613
Distributions in current year	(5,237)	(3,613)
Cumulative undistributed dividends	–	–
Equity attributed to non-controlling interests	8,735	6,936
– Equity attributed to non-controlling holders of ordinary shares	5,948	3,300
– Equity attributed to non-controlling holders of perpetual debt capital (note 62(a))	2,787	3,636

## 47. Capital reserve

Capital reserve primarily represents share premium of the Bank and can be converted into share capital with the shareholders' approval.

	2022	2021
At 1 January	67,523	67,523
Decrease	(2,088)	—
At 31 December	65,435	67,523

## 48. Investment revaluation reserve

	2022	2021
Debt instruments measured at FVTOCI: investment revaluation reserve	9,319	11,459
Fair value gain on equity instruments designated at FVTOCI	2,606	2,578
Remeasurement of defined benefit scheme	78	88
Share of other comprehensive (expense)/income of equity-accounted investees	(233)	922
Other	45	—
Total	11,815	15,047

## 49. Hedging reserve

The hedging reserve comprises the effective portion of the cumulative net change in the fair value of hedging instruments used in cash flow hedges. Subsequent recognition of the hedged cash flow is accounted for in accordance with the accounting policy adopted for cash flow hedge in Note 4(5).

## 50. Surplus reserve

Statutory surplus reserve is calculated according to the requirements of the Accounting Standards for Business Enterprises and other relevant regulations issued by the Ministry of Finance ("MOF") and is provided at 10% of the audited profit after tax of the Bank. Surplus reserve can be used to offset accumulated losses or capitalised as paid-up capital with the approval of shareholders.

	2022	2021
At 1 January	82,137	71,158
Provided for the year	12,848	10,979
At 31 December	94,985	82,137



## 51. General reserve

The general reserve is an integral part of equity. According to the relevant regulations, in addition to the impairment allowances, the Bank maintains a general reserve to make up for unidentified potential losses. In principle, the balance of general reserve shall not be less than 1.5% of the ending balance of risk assets. In addition, the general reserve includes 2.5% of the income of mutual fund custody businesses. The general reserve of the Group also includes the general reserve maintained by the subsidiaries of the Group according to the applicable laws and regulations of their industry or region.

	2022	2021
At 1 January	115,288	98,082
Provided for the year	17,183	17,206
At 31 December	132,471	115,288

## 52. Profit appropriations

### (a) Dividends approved/declared by shareholders

	2022	2021
Ordinary share dividends in 2021, approved and declared: RMB1.522 per share	38,385	–
Ordinary share dividends in 2020, approved and declared: RMB1.253 per share	–	31,601

### (b) Proposed profit appropriations

	2022	2021
Statutory surplus reserve	12,848	10,979
General reserve	17,183	17,206
Dividends		
– cash dividend: RMB1.738 per share (2021: RMB1.522 per share)	43,832	38,385
Total	73,863	66,570

2022 final dividends is proposed in accordance with the resolution passed at the meeting of the Board of Directors held on 24 March 2023 and will be submitted to the 2022 Annual General Meeting for approval.

## 53. Exchange reserve

Exchange reserve comprises all foreign exchange differences arising from the translation of the financial statements of operations outside the Chinese mainland.

## 54. The bank's statement of financial position and changes in the bank's equity

	2022	2021
<b>Assets</b>		
Cash	14,787	12,794
Precious metals	2,884	4,554
Balances with central banks	585,338	543,652
Balances with banks and other financial institutions	47,791	41,632
Placements with banks and other financial institutions	247,340	188,376
Amounts held under resale agreements	276,292	523,516
Loans and advances to customers	5,482,692	5,023,050
Financial assets at fair value through profit or loss	369,391	290,941
Derivative financial assets	17,859	23,179
Debt investments at amortised cost	1,533,546	1,183,662
Debt investments at fair value through other comprehensive income	675,484	552,498
Equity investments designated at fair value through other comprehensive income	10,724	6,392
Investments in subsidiaries	50,767	49,495
Interests in joint ventures	13,341	12,582
Interests in associates	6,190	5,521
Investment properties	907	945
Property and equipment	26,541	26,833
Right-of-use assets	16,764	17,701
Intangible assets	2,422	3,228
Deferred tax assets	88,056	79,712
Other assets	41,440	109,871
<b>Total assets</b>	<b>9,510,556</b>	<b>8,700,134</b>
<b>Liabilities</b>		
Borrowing from central banks	129,745	159,987
Deposits from banks and other financial institutions	621,621	732,631
Placements from banks and other financial institutions	43,319	55,710
Financial liabilities at fair value through profit or loss	40,035	36,105
Derivative financial liabilities	18,207	26,866
Amounts sold under repurchase agreements	95,970	137,857
Deposits from customers	7,327,974	6,150,241
Salaries and welfare payable	19,136	15,853
Tax payable	17,221	20,926
Contract liabilities	6,653	7,536
Lease liabilities	12,285	13,164
Provisions	22,410	14,503
Debt securities issued	172,402	398,672
Other liabilities	96,680	119,395
<b>Total liabilities</b>	<b>8,623,658</b>	<b>7,889,446</b>
<b>Equity</b>		
Share capital	25,220	25,220
Other equity instruments	120,446	127,043
Capital reserve	76,082	76,681
Investment revaluation reserve	13,144	14,866
Surplus reserve	94,985	82,137
General reserve	121,230	105,941
Retained earnings	391,579	340,271
Proposed profit appropriation	43,832	38,385
Exchange reserve	380	144
<b>Total equity</b>	<b>886,898</b>	<b>810,688</b>
<b>Total equity and liabilities</b>	<b>9,510,556</b>	<b>8,700,134</b>

## 54. The bank's statement of financial position and changes in the bank's equity (continued)

Details of the changes in the Bank's equity are as follows:

	Other equity instruments			Investment					Proposed		
	Share capital	Preference shares	Perpetual bonds	Capital reserve	revaluation reserve	Surplus reserve	General reserve	Retained earnings	profit appropriation	Exchange reserve	Total
At 1 January 2022	25,320	34,065	92,978	76,681	14,866	82,137	105,941	340,271	38,385	144	810,688
Changes in equity for the year	-	(6,597)	-	(599)	(1,722)	12,848	15,289	51,308	5,447	236	76,210
Net profit for the year	-	-	-	-	-	-	-	128,484	-	-	128,484
Other comprehensive income for the year	-	-	-	-	(1,692)	-	-	-	-	236	(1,456)
Total comprehensive income for the year	-	-	-	-	(1,692)	-	-	128,484	-	236	127,028
Redemption of preference shares	-	(6,597)	-	(599)	-	-	-	-	-	-	(7,196)
Profit appropriations	-	-	-	-	-	12,848	15,289	(77,206)	5,447	-	(43,622)
Appropriation to statutory surplus reserve	-	-	-	-	-	12,848	-	(12,848)	-	-	-
Appropriation to general reserve	-	-	-	-	-	-	15,289	(15,289)	-	-	-
Dividends paid for the year 2021	-	-	-	-	-	-	-	-	(38,385)	-	(38,385)
Proposed dividends for the year 2022	-	-	-	-	-	-	-	(43,632)	43,632	-	-
Dividends to preference shares	-	-	-	-	-	-	-	(1,675)	-	-	(1,675)
Distribution to perpetual bonds	-	-	-	-	-	-	-	(3,562)	-	-	(3,562)
Transfers within equity upon disposal of equity instruments designated at FVTOCI	-	-	-	-	(30)	-	-	30	-	-	-
At 31 December 2022	25,220	27,468	92,978	76,082	13,144	94,985	121,230	391,579	43,832	380	886,898

	Other equity instruments			Investment			Proposed			Exchange		Total
	Share capital	Preference shares	Perpetual bonds	Capital reserve	revaluation reserve	Hedging reserve	Surplus reserve	General reserve	Retained earnings	profit appropriation	reserve	
At 1 January 2021	25,220	34,065	49,989	76,681	7,951	(26)	71,158	94,067	293,523	31,601	228	684,457
Changes in equity for the year	-	-	42,989	-	6,915	26	10,979	11,874	46,748	6,784	(84)	126,231
Net profit for the year	-	-	-	-	-	-	-	-	109,794	-	-	109,794
Other comprehensive income for the year	-	-	-	-	8,720	26	-	-	-	-	(84)	8,662
Total comprehensive income for the year	-	-	-	-	8,720	26	-	-	109,794	-	(84)	118,456
Issue of perpetual bonds	-	-	42,989	-	-	-	-	-	-	-	-	42,989
Profit appropriations	-	-	-	-	-	-	10,979	11,874	(64,851)	6,784	-	(35,214)
Appropriation to statutory surplus reserve	-	-	-	-	-	-	10,979	-	(10,979)	-	-	-
Appropriation to general reserve	-	-	-	-	-	-	-	11,874	(11,874)	-	-	-
Dividends paid for the year 2020	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(31,601)	-	(31,601)
Proposed dividends for the year 2021	-	-	-	-	-	-	-	-	(38,385)	38,385	-	-
Dividends to preference shares	-	-	-	-	-	-	-	-	(1,638)	-	-	(1,638)
Distribution to perpetual bonds	-	-	-	-	-	-	-	-	(1,975)	-	-	(1,975)
Transfers within equity upon disposal of equity instruments designated at FVTOCI	-	-	-	-	(1,805)	-	-	-	1,805	-	-	-
At 31 December 2021	25,220	34,065	92,978	76,681	14,866	-	82,137	105,941	340,271	38,385	144	810,688

## 55. Notes to consolidated cash flow statement

## (a) Analysis of the balances of cash and cash equivalents (including assets with original maturity within 3 months):

	2022	2021
Cash and Balances with central banks	66,055	79,129
Balance with banks and other financial institutions	81,928	75,919
Placements with banks and other financial institutions	93,704	65,897
Amounts held under resale agreements	275,051	527,341
Debt securities investments	50,460	53,468
Total	567,198	801,754

## (b) Reconciliation of liabilities arising from financing activities

The table below details changes in the Group's liabilities from financing activities, including both cash and non-cash changes. Liabilities arising from financing activities are those for which cash flows were classified in the Group's consolidated cash flows statement as cash flows from financing activities.

	Negotiable interbank certificates of deposit	Certificates of deposit issued (Note)	Debt securities issued (Note)	Interest payable on bonds	Dividend payable	Other financial liabilities	Lease liabilities	Total
At 1 January 2022	240,284	11,092	201,142	2,104	26	26,650	13,812	495,110
Cash changes:								
Proceeds from the issue	78,666	20,287	21,481	-	-	10,796	-	131,230
Repayment	(250,996)	(16,504)	(78,735)	-	-	(14,959)	(4,932)	(366,126)
Interest/dividend paid	(5,714)	-	-	(6,686)	(44,103)	-	-	(56,503)
Non-cash changes:								
Additions of lease liabilities	-	-	-	-	-	-	3,623	3,623
Accrued interest	-	-	-	6,115	-	-	510	6,625
Dividend declared	-	-	-	-	44,103	-	-	44,103
Discount or premium amortisation	3,479	31	37	-	-	-	-	3,547
Fair value adjustments	-	(26)	(544)	-	-	(9)	-	(579)
Exchange difference	-	1,107	5,293	-	-	241	-	6,641
At 31 December 2022	65,719	15,587	148,674	1,533	26	22,719	13,013	267,671

	Negotiable interbank certificates of deposit	Certificates of deposit issued (Note)	Debt securities issued (Note)	Interest payable on bonds	Dividend payable	Other financial liabilities	Lease liabilities	Total
At 1 January 2021	144,816	19,684	194,775	1,985	26	23,047	14,242	397,975
Cash changes:								
Proceeds from the issue	319,707	14,692	63,872	-	-	6,860	-	405,131
Repayment	(225,012)	(21,363)	(55,771)	-	-	(3,697)	(4,835)	(311,678)
Interest/dividend paid	(3,768)	-	-	(7,630)	(35,685)	-	-	(47,083)
Non-cash changes:								
Additions of lease liabilities	-	-	-	-	-	-	3,850	3,850
Accrued interest	-	-	-	7,749	-	-	555	8,304
Dividend declared	-	-	-	-	35,685	-	-	35,685
Discount or premium amortisation	5,541	(811)	53	-	-	-	-	4,783
Fair value adjustments	-	(15)	(257)	-	-	656	-	384
Exchange difference	-	(495)	(1,530)	-	-	(216)	-	(2,241)
At 31 December 2021	240,284	11,092	201,142	2,104	26	26,650	13,812	495,110

Note: Including financial liabilities designated at fair value through profit or loss.

## (c) Significant non-cash transactions

There were no significant non-cash transactions during the years ended 31 December 2022 and 2021.

## 56. Operating segments

The Group's principal activities are providing corporate and personal banking services, conducting treasury business, providing asset management and other financial services.

The Group manages its businesses by divisions, which are organised by both business lines and geography.

### (1) Wholesale finance business

The financial services for corporate clients, government agencies, and financial institutions include: loan and deposit service, settlement and cash management service, trade finance and offshore business, investment banking business, inter-bank business such as placement and repurchase, asset custody business, financial market business, and other services.

### (2) Retail finance business

The financial services provided to retail customers include: loan and deposit service, bank card service, wealth management services, private banking and other services.

### (3) Other Business

Other business covers investment properties, subsidiaries except for CMB WLB and CMBFL, associates and joint ventures. None of these segments meet any of the quantitative thresholds so far for segment division.

During the year of 2022, the Group reallocated CMBFL from the other business segment to the wholesale financial business segment. The comparative figures were re-presented accordingly.

For the purpose of operating segment analysis, external net interest income/expense represents the net interest income earned or expense incurred on banking services provided to external parties. Internal net interest income/expense represents the assumed profit or loss by the internal funds transfer pricing mechanism which has taken into account the structure and market returns of the assets and liabilities portfolio. Cost allocation is based on direct costs attributable to each reporting segment and apportion according to the relevant factors.

The accounting policies of the operating segments are the same as the Group's accounting policies as stated in Note 4. Operating segment income represents income generated from external customers, inter-segment transactions are offset. No customer contributed 10% or more to the Group's revenue for 2022 and 2021. Internal transactions are conducted at fair value.

56. Operating segments *(continued)*

## (a) Segment results, assets and liabilities

	Wholesale finance business		Retail finance business		Other business		Total	
	2022	2021	2022	2021	2022	2021	2022	2021
External net interest income	28,165	21,026	140,443	135,412	49,627	47,481	218,235	203,919
Internal net interest income(expense)	62,294	69,222	(9,054)	(18,571)	(53,240)	(50,651)	-	-
Net interest income	90,459	90,248	131,389	116,841	(3,613)	(3,170)	218,235	203,919
Net fee and commission income	25,540	25,290	57,279	60,155	11,456	9,002	94,275	94,447
Other net income	26,095	27,080	2,747	2,018	863	(87)	29,705	29,011
Operating income	142,094	142,618	191,415	179,014	8,706	5,745	342,215	327,377
Operating expenses								
- Property and equipment and investment properties depreciation	(7,103)	(5,740)	(2,942)	(2,860)	(234)	(257)	(10,279)	(8,857)
- Right-of-use assets depreciation	(1,676)	(1,672)	(2,250)	(2,367)	(225)	(220)	(4,151)	(4,259)
- Other	(43,495)	(41,317)	(58,079)	(56,451)	(6,057)	(5,995)	(107,631)	(103,763)
Reportable segment profit before impairment losses	89,820	93,899	128,144	117,336	2,190	(727)	220,154	210,498
Expected credit losses and impairment losses on other assets	(22,671)	(26,503)	(33,966)	(39,627)	(929)	(225)	(57,566)	(66,355)
Share of profits of associates and joint ventures	-	-	-	-	2,525	4,030	2,525	4,030
Reportable segment profit before taxation	67,149	67,396	94,178	77,709	3,786	3,078	165,113	148,173
Capital expenditure (note)	28,884	20,158	2,660	3,278	513	326	32,057	23,762

	Wholesale finance business		Retail finance business		Other business		Total	
	31 December 2022	31 December 2021	31 December 2022	31 December 2021	31 December 2022	31 December 2021	31 December 2022	31 December 2021
Reportable segment assets	5,633,640	5,203,529	3,081,290	2,906,405	1,314,820	1,037,190	10,029,750	9,149,124
Of which: Interest in associates and joint ventures	-	-	-	-	23,844	23,654	23,844	23,654
Reportable segment liabilities	5,495,463	5,142,042	3,157,321	2,325,192	446,949	811,434	9,099,733	8,282,668

Note: Capital expenditure represents the amount incurred for acquiring segment assets which are expected to be used for more than one year.



**56. Operating segments** *(continued)***(b) Reconciliations of reportable segment revenue, profit or loss, assets, liabilities and other material items**

	2022	2021
Operating income for reportable segments	342,215	327,377
Total profit before income tax for reportable segments	165,113	148,173

	31 December 2022	31 December 2021
<b>Assets</b>		
Total assets for reportable segments	10,029,750	9,149,124
Goodwill	9,999	9,954
Intangible assets	581	571
Deferred tax assets	90,848	81,639
Other unallocated assets	7,734	7,733
Consolidated total assets	10,138,912	9,249,021
<b>Liabilities</b>		
Total liabilities for reportable segments	9,099,733	8,282,668
Tax payable	19,458	22,491
Deferred tax liabilities	1,510	1,353
Other unallocated liabilities	63,973	76,828
Consolidated total liabilities	9,184,674	8,383,340

**56. Operating segments** *(continued)***(c) Geographical segments**

The Group operates principally in the PRC with branches located in major provinces, autonomous regions and municipalities directly under the central government in the Chinese mainland. The Group also has branches operating in Hong Kong, New York, Singapore, Luxembourg, London and Sydney, subsidiaries operating in Hong Kong, Shenzhen, Shanghai, Beijing and Luxembourg and representative offices in New York and Taipei.

In presenting information on the basis of geographical segments, operating income is allocated based on the location of the branches and subsidiaries that generate the revenue. Segment assets and non-current assets are allocated based on the location of the underlying assets.

To support the Bank's operations and management's assessments, the geographical segments are defined as follows:

- "Headquarter" refers to the Group headquarter, credit card centres and fund operation centres;
- "Yangtze River Delta region" refers to branches in Shanghai municipality, Zhejiang province and Jiangsu province;
- "Bohai Rim region" refers to branches in Beijing municipality, Tianjin municipality, Shandong province and Hebei province;
- "Pearl River Delta and West Coast region" refers to branches in Guangdong province and Fujian province;
- "Northeast region" refers to branches in Liaoning province, Heilongjiang province and Jilin province;
- "Central region" refers to branches in Henan province, Anhui province, Hunan province, Hubei province, Jiangxi province, Shanxi province and Hainan province;
- "Western region" refers to branches in Sichuan province, Chongqing municipality, Guizhou province, Yunnan province, Shaanxi province, Gansu province, Ningxia Hui Autonomous region, Xinjiang Uygur autonomous region, Guangxi Zhuang autonomous region, Inner Mongolia autonomous region, Qinghai province and Tibet autonomous region;
- "Overseas" refers to overseas branches in Hong Kong, New York, Singapore, Luxembourg, London, Sydney and representative offices in New York and Taipei; and
- "Subsidiaries" refers to subsidiaries wholly owned or controlled by the Group, including CMB WLB, CMBIC, CMBFL, CMFM, CMBWM, CMB Europe S.A. and CIGNA & CMAM.

Geographical information	Total assets		Total liabilities		Non-current assets		Profit before tax		Operating income	
	31 December 2022	31 December 2021	31 December 2022	31 December 2021	31 December 2022	31 December 2021	2022	2021	2022	2021
Headquarter	4,580,315	4,155,509	3,841,548	3,492,876	52,166	51,220	51,396	42,939	140,063	145,403
Yangtze River Delta region	1,304,806	1,199,329	1,283,400	1,177,342	5,774	6,198	22,929	24,092	45,768	41,451
Bohai Rim region	827,394	725,595	811,449	711,389	4,354	4,319	19,759	17,971	34,105	31,286
Pearl River Delta and West Coast region	1,083,521	997,986	1,063,334	979,018	4,232	4,432	26,479	22,252	37,583	35,379
Northeast region	170,632	169,282	166,486	166,933	1,505	1,617	4,075	2,919	6,465	6,108
Central region	636,801	567,191	628,361	559,499	3,602	3,958	10,740	9,744	20,989	19,448
Western region	632,766	590,272	623,631	580,623	3,497	3,877	11,755	12,191	20,931	20,192
Overseas	194,412	210,633	192,651	208,569	707	861	2,046	1,579	3,557	2,632
Subsidiaries	708,265	633,224	572,814	507,091	80,148	61,382	15,924	14,490	32,714	25,478
Total	10,138,912	9,249,021	9,184,674	8,383,340	155,985	137,864	165,113	148,173	342,215	327,377

Note: Non-current assets include interests in joint ventures, interests in associates, property and equipment, investment properties, right-of-use assets, intangible assets and goodwill.



## 57. Assets pledged as security

The following assets have been pledged as collateral for borrowing from central banks and liabilities under repurchase or placement arrangements:

	2022	2021
Borrowing from central banks	129,438	159,357
Placements from banks and other financial institutions	8,620	7,517
Amounts sold under repurchase agreements	107,024	157,572
Total	245,082	324,446
Assets pledged		
– Financial assets at fair value through profit or loss	24,093	29,241
– Debt investments at amortised cost	99,199	195,166
– Debt investments at fair value through other comprehensive income	25,267	34,441
– Loans and advances to customers	105,531	81,357
Total	254,090	340,205

The transactions under repurchase or placement agreements are conducted under terms that are usual and customary to standard borrowing and placing activities.

## 58. Contingent liabilities and commitments

### (a) Credit commitments

At any given time the Group has outstanding commitments to extend credit. These commitments take the form of approved loans and credit card limits.

The Group provides financial guarantees and letters of credit to guarantee the performance of customers to third parties. Acceptances comprise undertakings by the Group to pay bills of exchange drawn on customers. The Group expects most acceptances to be settled simultaneously with the reimbursement from the customers.

The contractual amounts of commitments and contingent liabilities are set out in the following table by category. The amounts reflected in the table for commitments assume that amounts are fully advanced. The amounts reflected in the table for guarantees and letters of credit represent the maximum potential loss that would be recognised at the end of the reporting period if counterparties default.

	2022			
	– Stage 1 (12-month ECL)	– Stage 2 (Lifetime ECL – not credit- impaired)	– Stage 3 (Lifetime ECL – credit- impaired)	Total
Irrevocable guarantees	245,003	9,818	272	255,093
Of which: Financial guarantees	44,805	7,341	3	52,149
Non-financing letters of guarantees	200,198	2,477	269	202,944
Irrevocable letters of credit	231,849	1,344	–	233,193
Bills of acceptances	427,150	3,733	500	431,383
Irrevocable loan commitments	155,775	1,607	–	157,382
– with an original maturity within 1 year (inclusive)	22,638	4	–	22,642
– with an original maturity over 1 year	133,137	1,603	–	134,740
Credit card unused commitments	1,406,911	9,613	85	1,416,609
Other	81,225	245	–	81,470
Total	2,547,913	26,360	857	2,575,130

**58. Contingent liabilities and commitments** *(continued)***(a) Credit commitments** *(continued)*

	2021			Total
	– Stage 1 (12-month ECL)	– Stage 2 (Lifetime ECL – not credit- impaired)	– Stage 3 (Lifetime ECL – credit- impaired)	
Irrevocable guarantees	197,208	7,353	254	204,815
Of which: Financial guarantees	52,198	6,337	3	58,538
Non-financing letters of guarantees	145,010	1,016	251	146,277
Irrevocable letters of credit	162,320	1,711	188	164,219
Bills of acceptances	339,155	5,684	790	345,629
Irrevocable loan commitments	141,727	4,896	2	146,625
– with an original maturity within 1 year (inclusive)	26,611	–	2	26,613
– with an original maturity over 1 year	115,116	4,896	–	120,012
Credit card unused commitments	1,231,831	7,903	122	1,239,856
Other	126,995	1,555	–	128,550
Total	2,199,236	29,102	1,356	2,229,694

As at 31 December 2022, the Group's irrevocable letters of credit included sight letters of credit of RMB22,525 million (31 December 2021: RMB16,974 million), usance letters of credit of RMB6,965 million (31 December 2021: RMB9,552 million), and other commitments of RMB203,703 million (31 December 2021: RMB137,693 million).

Irrevocable loan commitments include credit limits granted to offshore customers by overseas branches, subsidiaries and onshore and offshore syndicated loans etc.

Apart from the irrevocable loan commitments, the Group had loan commitments of RMB5,159,127 million at 31 December 2022 (31 December 2021: RMB4,441,835 million) which are unconditionally cancellable by the Group or automatically cancellable due to deterioration in the creditworthiness of the borrower as stipulated in respective lending agreements. The Group will not assume any risks on the unused credit limits for these loan customers. As a result, such balances are not included in the above contingent liabilities and commitments.

	2022	2021
Credit risk weighted amounts of contingent liabilities and commitments	595,977	593,062

The Group calculated the credit risk weighted amount of its contingent liabilities and commitments in accordance with the requirements of the Administrative Measures on Capital of Commercial Banks (Provisional) issued by the CBIRC. The amount within the scope approved by the CBIRC in April 2014 is calculated using the Internal Ratings-Based Approach, and the Weighted Approach is used to calculate those that are not eligible for the Internal Ratings-Based Approach.

**58. Contingent liabilities and commitments** *(continued)***(b) Capital commitments**

The authorised capital commitments of the Group were as follows:

	2022	2021
– Contracted for	370	480
– Authorised but not contracted for	189	234
Total	559	714

The lease commitments of the Group as a lessor are detailed in note 58 (e).

**(c) Outstanding litigations**

At 31 December 2022, the Bank or other group entities was a defendant in certain outstanding litigations with total gross claims of RMB1,910 million (2021: RMB1,678 million). The Group considers that no material losses would be incurred by the Group as a result of these outstanding litigations and therefore no provision has been made in the consolidated financial statements.

**(d) Redemption obligations**

As an underwriting agent of PRC government bonds, the Group has the responsibility to make advances to bond holders if the holders decide to early redeem the bonds held. The redemption price for the bonds at any time before their maturity date is based on the nominal value plus any interest unpaid and accrued up to the redemption date. Accrued interest payables to the bond holders are calculated in accordance with relevant requirements set by the MOF or the PBOC. The redemption price may be different from the fair value of similar instruments traded at the redemption date.

The redemption obligations below represent the nominal value of government bonds underwritten and sold by the Group, but not yet matured at the end of the reporting period:

	2022	2021
Redemption obligations	27,401	30,020

The Group expects that the amount of redemption before the maturity date of these government bonds through the Group will not be material.

**(e) Lease commitments**

Operating lease commitments and financial lease commitments where the Group is a lessor at the end of the reporting period are as follows:

	2022	2021
Operating lease commitments	30,519	13,750
Financial lease commitments	8,025	7,421
Total	38,544	21,171

## 59. Transactions on behalf of customers

### (a) Entrusted lending business

The Group's entrusted lending business refers to activities where principals such as government departments, business entities and individuals provide capital for loan advances through the Group to their specified targets on their behalf in accordance with specific terms and conditions, with the help of the Group in monitoring loan usage and seeking loan recovery. The entrusted lending business does not expose the Group to any credit risk. As instructed by these principals, the Group holds and manages underlying assets and liabilities only in the capacity of an agent, and charges handling fees for related services.

Entrusted lending are not assets of the Group and are not recognised in the consolidated statement of financial position. Income received and receivable for providing these services are recognised in the consolidated statement of profit or loss as fee and commission income.

At the end of the reporting period, the entrusted assets and liabilities were as follows:

	2022	2021
Entrusted loans	231,266	263,589
Entrusted funds	(231,266)	(263,589)

### (b) Wealth management services

The Group's wealth management services to customers mainly represent sales of wealth management products to corporate and personal banking customers by the Bank and CMBWM. The funds obtained from wealth management services are invested in investment products, including government bonds, policy bank bonds, short term corporate debt instruments and trust loans. The Group initiated the launch of wealth management products. The investment risk associated with these products is borne by the customers who invest in these products. The Group does not consolidate these wealth management products. The Group earns commission which represents the charges on customers in relation to the provision of custody, sales and management services.

The wealth management products and funds obtained are not assets and liabilities of the Group and are not recognised in the consolidated statement of financial position. The funds received from customer for wealth management business that yet to be invested are recorded under other liabilities.

At the end of the reporting period, funds received from customers under unconsolidated non-principal-guaranteed wealth management services were RMB2,552,408 million as at 31 December 2022 (31 December 2021: RMB2,683,636 million).

### (c) Entrusted management of insurance funds

The entrusted management of insurance funds mainly refers to the business that the Group carries out investment activities on funds entrusted by insurance companies according to the regulatory policies and the investment guidelines from insurance companies, and charges fees for providing such services.

At the end of the reporting period, the balance of entrusted funds were as follows:

	2022	2021
Entrusted management of insurance funds	108,868	86,098

## 60. Risk management

### (a) Credit risk

Credit risk represents the potential losses that may arise from the failure of a counterparty or a debtor to meet its obligation or commitment to the Group. Credit risk increases when all counterparties are concentrated in a single industry or a geographical region, as different counterparties in the same region or industry may be affected by the same economic factors, which may eventually affect their repayment abilities.

The Group designs its organisation framework, credit policies and processes with an objective to identify, evaluate and manage its credit risk effectively. The Risk and Capital Management Committee, set up and appointed by the board of directors is responsible for supervising and evaluating the set-up, organisational structure, work process and effectiveness of various risk management functions.

With respect to daily operations, the Risk Management Department, as directed by the Risk and Capital Management Committee, participates in, coordinates and monitors the work of other risk management functions, including each business unit and the Legal and Compliance Department. The Group manages credit risk throughout the entire credit process including pre-lending evaluations, credit approval and post-lending monitoring. According to Implementation Rules on Expected Credit Loss Approach of Commercial Banks (CBIRC (2022) No.10), the Group has further optimised the workflow related to the implementation and management of ECL measures during the year.

With respect to the credit risk management of wholesale financial business, the Group formulates credit policy guidelines, enhances the standards on credit acceptance and management requirements for corporate, interbank and institutional clients, and implements limits in key risk areas to improve the quality of credit exposure.

With respect to credit risk management of retail financial business, the Group mainly relies on the credit assessment of applicants as the basis for loan approval, which takes into consideration the income level, credit history, and repayment ability of the applicant. The Group monitors post-lending conditions by focusing on borrowers' repayment ability, the status of collateral and any changes to collateral value. Once a loan becomes overdue, the Group starts the collection process according to standard retail loans collection procedures.

To mitigate risks, the Group requests customers to provide collateral and guarantees when necessary. Certain guidelines have been set for the acceptability of specific types of collateral or risks mitigating measures. Collateral portfolio and legal covenants are reviewed regularly to ensure that they remain sufficient for the given risks and be consistent with market practices.

In respect of asset quality classification, the Group adopts a risk based asset quality classification methodology. Currently, the Group categorises its loans on a ten-grade loan classification basis in order to refine internal risk classification management (normal (grades 1-5), special mention (grades 1-2), substandard, doubtful and loss).

The risks involved in contingent liabilities and commitments are essentially the same as the credit risk involved in loans and advances to customers. These transactions are, therefore, subject to the same credit application, post-lending monitoring and collateral requirements as for customers applying for loans.

Concentration of credit risk: when certain number of customers carry out the same business activities, locate in the same geographical region or their industries share similar economic characteristics, their ability to meet their obligations may be affected by the same economic factors. The level of concentration of credit risk reflects the sensitivity of the Group's operating result to a specific industry or geographical region. To prevent concentration of credit risk, the Group has formulated a limit management policy to monitor and analyse its loan portfolio.

Analysis of loans and advances by industry and loan portfolio are presented in Note 22.



**60. Risk management** *(continued)***(a) Credit risk** *(continued)***(i) Internal credit risk rating**

The Group classifies credit risk based on probability of default. The internal credit risk rating is based on the forecasted default risk, taking into consideration qualitative and quantitative factors. For customers of wholesale business, such factors include net profit growth rate, sales growth rate, industry, etc. For customers of retail business, such factors include maturity, ageing, collateral ratio, etc.

**(ii) Significant increase in credit risk**

As describe in Note 4(5), the Group recognises lifetime ECL if there are significant increases in credit risk.

In assessing whether the credit risk has increased significantly since initial recognition, the Group compares the risk of default occurring on the financial instrument and other items at the reporting date with that at the date of initial recognition. In making this assessment, the Group considers an actual or expected significant deterioration in the financial instrument's internal credit risk rating (Note 60(a)(i)), as well as internal early warning signal, the result of 5-tier classification and overdue information. The Group regularly reviews whether the evaluation criteria are applicable to the current situation.

For wholesale business, credit risk is considered as significantly increased if any of the following conditions is met: the 5-tier classification is special mention; more than 30 days (inclusive) overdue; the internal credit risk rating of the customer has been downgraded to certain level; the early warning signal of the customer has reached a certain level; or the customer has other significant risk signals identified by the Group.

For retail and credit card business, credit risk is considered as significantly increased if any of the following conditions is met: the 5-tier classification is special mention; more than 30 days (inclusive) overdue; the customer or the debt has credit risk early warning signal; or the customer has other significant risk signals identified by the Group.

A debt instrument is determined to have low credit risk if i) it has a low risk of default, ii) the borrower has a strong capability to meet its contractual cash flow obligations in the near term and iii) adverse changes in economic and business conditions in the longer term may not necessarily reduce the ability of the borrower to fulfil its contractual cash flow obligations.

For loan commitment and financial guarantee, the date when the commitment becomes irrevocable is considered as the initial recognition date.

The Group considers that a debt instrument is impaired when the debt instrument is more than 90 days (inclusive) overdue or the 5-tier classification of this debt instrument is substandard, doubtful or loss (these three categories include debt instruments with more than 90 days (inclusive) overdue).

**(iii) Measurement of ECL**

The key inputs used for measuring ECL are:

- probability of default (PD): is an estimate of the likelihood of default over 12 months or lifetime horizon;
- loss given default (LGD): is the proportion of the loss arising on default to the exposure at default;
- exposure at default (EAD): is the risk exposure on a debt.

These figures are generally derived from internally developed statistical models and other historical data and they are adjusted to reflect forward-looking information.

**60. Risk management** *(continued)***(a) Credit risk** *(continued)***(iv) Incorporation of forward-looking information**

The Group divides financial assets into different asset groups based on their different risk characteristics. According to the risk characteristics of the asset group, the Group collects external data released by authoritative institutions and internal risk data without undue cost or effort for modelling. Apart from the common economic indicators such as Gross Domestic Product ("GDP"), Consumer Price Index ("CPI"), Producer Price Index ("PPI") and Broad Money Supply ("M2"), various other categories of indicators such as industry index, interest and exchange rate, and survey index are also included. Based on statistical analysis and expert judgements, the Group sets up multiple forward-looking scenarios to predict macroeconomic indicators and risk parameters. The Group will firstly refer to the forecasts issued by external authoritative institutions as the forecasts of economic indicators under the baseline scenario. If there is no external forecasts, the Group will refer to the forecasts issued by the professionals of the Bank and the outputs of the models. For the forecasts of economic indicators under the remaining scenarios, the Group will refer to the actual historical data for analysis and forecast. Taking GDP (year-on-year growth rate) and CPI (month-on-month increase) as an example, the forecasts adopted by the Group for 2023 under the baseline scenario are 4.80% (2022: 5.34%) and 2.80% (2022: 2.43%) respectively.

Combined with quantitative measurement and expert judgement, the Group sets the weighting of multiple scenarios based on the principle of taking the baseline scenario as the main and the other scenarios as supplement. The weight of the baseline scenario of the Group as at 31 December 2022 is the highest. According to the sensitivity test results of the Group, when the weighting of the optimistic scenario increases by 10% and the weighting of the baseline scenario decreases by 10%, the ECL amount at 31 December 2022 will decrease by approximately 3.1% compared to the current result (at 31 December 2021: will decrease by approximately 3.4%). When the weighting of the pessimistic scenario increases by 10% and the weighting of the baseline scenario decreases by 10%, the ECL amount at 31 December 2022 will increase by approximately 5.2% compared to the current result (at 31 December 2021: will increase by approximately 1.5%).

The Group periodically forecasts macroeconomic indicators, and calculates the ECL based on a weighted 12-month expected credit loss (stage 1) or a weighted lifetime expected credit loss (stage 2 and stage 3).

**(v) Groupings based on shared risk characteristics**

The Group divides the primary business into wholesale business, retail business and credit card business. The models are divided based on shared risk characteristics, and the reference indicators include the 5-tier classification, business type and collateral type.

**(vi) Maximum exposure**

The Group's maximum exposure to credit risk without taking into account of any collateral held or other credit enhancements is the carrying amount of the relevant financial assets (including derivatives) as disclosed in the consolidated statement of financial position and the contract amount of the off balance sheet items disclosed in Note 58(a). At 31 December 2022, the amount of the Group's maximum credit risk exposure was RMB12,440,314 million (31 December 2021: RMB11,235,033 million).

**60. Risk management** *(continued)***(a) Credit risk** *(continued)***(vii) Renegotiated loans and advances to customers**

The carrying amount of loans and advances that were credit-impaired and the terms had been renegotiated was RMB12,076 million as at 31 December 2022 (31 December 2021: RMB16,517 million).

**(viii) Non-performing loans**

Under the 5-tier loan classification system, non-performing loans of the Group are divided into substandard loans, doubtful loans and loss loans. As at 31 December 2022, the Group had balance of non-performing loans of RMB58,004 million (31 December 2021: RMB50,862 million).

**(ix) Credit quality of bond investments rating results**

At the end of the reporting period, the analysis of the credit quality of bond investments by designated external credit assessment institution, Standard & Poor's, is as follows:

	2022	2021
Impaired gross amount of debt investments	398	340
Impairment allowances	(243)	(228)
Subtotal	155	112
Neither overdue nor impaired		
AAA	1,750,057	1,345,363
AA+ to AA-	53,526	29,468
A+ to A-	562,475	422,427
Lower than A-	33,429	28,415
Unrated	38,966	57,994
Impairment allowances	(5,958)	(10,935)
Subtotal	2,432,495	1,872,732
Total	2,432,650	1,872,844

## Notes:

(i) Bonds issued by the governments and policy banks held by the Group amounted to RMB2,094,902 million as at 31 December 2022 (31 December 2021: RMB1,596,105 million).

(ii) The impairment allowances above is for debt investments at amortised cost only.



**60. Risk management** *(continued)***(a) Credit risk** *(continued)***(x) Collateral**

An estimate of the fair value of collateral and other credit enhancements held against financial assets that are overdue but not impaired is as follows:

	2022	2021
Estimate of the fair value of collateral and other credit enhancements held against following financial assets		
– Loans and advances to customers	25,148	4,124

**(xi) Movements of loans and advances and debt investments measured at amortised cost**

Loans and advances measured at amortised cost:

	2022			
	– Stage 1 (12-month ECL)	– Stage 2 (Lifetime ECL – not credit- impaired)	– Stage 3 (Lifetime ECL – credit- impaired)	Total
Balance as at the beginning of the year	4,912,836	111,354	50,862	5,075,052
Net changes for the year	425,054	(27,002)	(1,831)	396,221
Transfer to				
– Stage 1	18,758	(18,644)	(114)	–
– Stage 2	(103,532)	103,794	(262)	–
– Stage 3	(35,248)	(13,117)	48,365	–
Write-offs	–	(145)	(39,016)	(39,161)
Balance as at the end of the year	5,217,868	156,240	58,004	5,432,112

	2021			
	– Stage 1 (12-month ECL)	– Stage 2 (Lifetime ECL – not credit- impaired)	– Stage 3 (Lifetime ECL – credit- impaired)	Total
Balance as at the beginning of the year	4,517,239	76,286	53,615	4,647,140
Net changes for the year	468,264	(4,154)	(1,093)	463,017
Transfer to				
– Stage 1	20,436	(20,293)	(143)	–
– Stage 2	(69,411)	69,966	(555)	–
– Stage 3	(23,692)	(10,451)	34,143	–
Write-offs	–	–	(35,105)	(35,105)
Balance as at the end of the year	4,912,836	111,354	50,862	5,075,052

**60. Risk management** *(continued)***(a) Credit risk** *(continued)***(xi) Movements of loans and advances and debt investments measured at amortised cost** *(continued)*

Debt investments at amortised cost:

	2022			Total
	– Stage 1 (12-month ECL)	– Stage 2 (Lifetime ECL – not credit- impaired)	– Stage 3 (Lifetime ECL – credit- impaired)	
Balance as at the beginning of the year	1,183,320	1,962	24,077	1,209,359
Net changes for the year	361,916	(275)	9,395	371,036
Transfer to				
– Stage 1	3	(3)	–	–
– Stage 2	(1,276)	1,276	–	–
– Stage 3	(311)	(887)	1,198	–
Write-offs	–	–	(550)	(550)
Balance as at the end of the year	1,543,652	2,073	34,120	1,579,845

	2021			Total
	– Stage 1 (12-month ECL)	– Stage 2 (Lifetime ECL – not credit- impaired)	– Stage 3 (Lifetime ECL – credit- impaired)	
Balance as at the beginning of the year	1,044,826	971	14,590	1,060,387
Net changes for the year	140,141	(656)	9,487	148,972
Transfer to				
– Stage 1	–	–	–	–
– Stage 2	(1,647)	1,647	–	–
– Stage 3	–	–	–	–
Write-offs	–	–	–	–
Balance as at the end of the year	1,183,320	1,962	24,077	1,209,359

**60. Risk management** *(continued)***(a) Credit risk** *(continued)***(xii) Credit quality of financial instruments**

The staging analysis for loans and advances to customers and debt investments at amortised cost are disclosed in note 22, note 23(b) and 60(a)(xi) respectively. The staging analysis for credit commitments and the expected credit loss allowances of financial guarantees and loan commitments are disclosed in notes 58(a) and 42 respectively. The staging analysis for other financial instruments is as follows:

	2022							
	Principal				Expected credit loss			
	Stage 2 (Lifetime ECL - not credit- impaired)		Stage 3 (Lifetime ECL - credit- impaired)		Stage 2 (Lifetime ECL - not credit- impaired)		Stage 3 (Lifetime ECL - credit- impaired)	
	Stage 1 (12-month ECL)			Total	Stage 1 (12-month ECL)			Total
Balances with central banks	587,533	-	-	587,533	-	-	-	-
Balances with banks and other financial institutions	91,574	2	11	91,587	(497)	(1)	(11)	(509)
Placements with banks and other financial institutions	264,782	-	-	264,782	(2,658)	-	-	(2,658)
Amounts held under resale agreements	277,421	-	140	277,561	(954)	-	(140)	(1,094)
Debt investments at FVTOCI	767,905	3,211	155	771,271	(4,472)	(479)	(1,589)	(6,540)

	2021							
	Principal				Expected credit loss			
	Stage 2 (Lifetime ECL - not credit- impaired)		Stage 3 (Lifetime ECL - credit- impaired)		Stage 2 (Lifetime ECL - not credit- impaired)		Stage 3 (Lifetime ECL - credit- impaired)	
	Stage 1 (12-month ECL)			Total	Stage 1 (12-month ECL)			Total
Balances with central banks	553,635	-	-	553,635	-	-	-	-
Balances with banks and other financial institutions	80,633	-	11	80,644	(367)	-	(11)	(378)
Placements with banks and other financial institutions	196,245	106	-	196,351	(2,859)	(7)	-	(2,866)
Amounts held under resale agreements	528,424	-	140	528,564	(4,123)	-	(140)	(4,263)
Debt investments at FVTOCI	626,077	2,236	112	628,355	(4,700)	(875)	(1,047)	(6,622)

Note: The balances disclosed above do not include interest receivable.

## 60. Risk management *(continued)*

### (b) Market risk

Market risk refers to the risk of loss due to changes in observable market factors such as interest rates, exchange rates, commodity prices and stock prices, resulting in changes in the fair value or future cash flows of the Group's financial instruments. Interest rate and foreign exchange rate are the two major market risk factors relevant to the Group. The Group is exposed to market risk through the financial instruments under the trading book and banking book. The financial instruments and positions under the trading book are held for trading purposes or for the purposes of hedging the risks arising from the trading book position, and these financial instruments can be traded without any restriction. The financial instruments under the banking book are assets and liabilities held by the Group for determinable return with relative stable market value or for the purposes of hedging the risks, which include both the Group's on-balance sheet and off-balance sheet exposure.

#### (i) Foreign exchange risk

Foreign exchange risk arises from the holding of foreign currency assets, liabilities and equity items, and the foreign currency and foreign currency derivative positions, which expose the Group to potential losses in the event of unfavourable foreign exchange rate movement. The financial assets and liabilities of the Group are denominated in RMB, and the other currencies are mainly in USD and HKD. The Group segregates the policy setting, execution and supervision of foreign exchange risk management, and establishes a foreign currency risk management governance structure. This structure specifies the roles, responsibilities and reporting lines of the board of directors, the board of supervisors, senior management, designated committees and relevant departments of the Bank in the management of foreign exchange risk. The Group is prudent in its foreign exchange risk appetite, and would not voluntarily take foreign exchange risk, which suits the current development stage of the Group. The current foreign exchange risk management policies and procedures of the Group meet the regulatory requirements and the requirements of the Group.

#### (1) Trading book

The Group has established a market risk structure and system of the trading book, which covers exchange rate risk, to quantify the exchange rate risk of the trading book to facilitate centralised management. The structure, process and method of exchange rate risk management of trading book are consistent with that of the interest rate risk of trading book.

The Group adopts quantitative indicators such as exposure indicator, market value at risk indicator (VaR, covers interest rate, foreign exchange rate, and commodity risk factors), exchange rate scenario stress test loss index, exchange rate sensitivity index, and cumulative loss index in its management of foreign exchange risk. The management methods include delegation, setting limits, daily monitoring and continuous reporting, etc.

**60. Risk management** *(continued)***(b) Market risk** *(continued)***(i) Foreign exchange risk** *(continued)***(2) Banking book**

The Group's foreign exchange risk under the banking book is centrally managed by the Head Office. The Asset and Liability Management Department, as the treasurer of the Bank is in charge of the banking book foreign exchange risk management. The Internal Audit Department is responsible for auditing this. The treasurer is responsible for managing the foreign exchange risk under the banking book with a prudent approach and compliance with the regulatory requirements, and through approaches such as transaction limits and adjustment of plans.

The banking book foreign exchange risk of the Group arises from the mismatch of the non-RMB financial assets and liabilities. The Group stringently monitors its foreign exchange risk exposures to control it within an acceptable range.

The Group has adopted foreign exchange exposure analysis, scenario simulation analysis and stress testing for the measurement and analysis of foreign exchange risk. The Group regularly measures and analyses the foreign exchange risk exposure fluctuations, monitors and reports foreign exchange risk on a monthly basis under the limit control framework, and adjusts the foreign exchange exposures based on the trend of foreign exchange rate movements to mitigate the foreign exchange risk on its banking book.

The Group continues to strengthen banking book exchange rate risk monitoring and authorisation management of limits to ensure that risks are controlled within a reasonable range.

**(3) Assets and liabilities by original currency are shown as follows:**

	2022						
	In RMB Equivalent				Total	Main original currency	
	RMB	USD	HKD	Other		USD	HKD
<b>Assets</b>							
Cash and balances with central banks	555,828	41,978	2,766	2,170	602,742	6,039	3,103
Amounts due from banks and other financial institutions	491,188	100,237	22,244	16,000	629,669	14,420	24,951
Loans and advances to customers	5,466,679	148,993	157,628	23,246	5,796,546	21,433	176,812
Financial investments (including derivative financial assets)	2,534,659	188,200	31,130	9,233	2,763,222	27,073	34,920
Other assets (note (ii))	244,335	95,541	3,313	3,544	346,733	13,744	3,716
<b>Total</b>	<b>9,292,689</b>	<b>574,949</b>	<b>217,081</b>	<b>54,193</b>	<b>10,138,912</b>	<b>82,709</b>	<b>243,502</b>
<b>Liabilities</b>							
Borrowing from central banks and amounts due to banks and other financial institutions	970,667	92,817	3,961	5,507	1,072,952	13,353	4,443
Deposits from customers	6,964,197	361,242	160,496	49,807	7,535,742	51,967	180,029
Financial liabilities at FVTPL (including derivative financial liabilities)	63,769	17,725	421	35	81,950	2,549	473
Debt securities issued	162,146	58,447	790	905	222,288	8,408	886
Other liabilities (note (ii))	247,646	11,235	11,944	917	271,742	1,618	13,397
<b>Total</b>	<b>8,408,425</b>	<b>541,466</b>	<b>177,612</b>	<b>57,171</b>	<b>9,184,674</b>	<b>77,895</b>	<b>199,228</b>
<b>Net position</b>	<b>884,264</b>	<b>33,483</b>	<b>39,469</b>	<b>(2,978)</b>	<b>954,238</b>	<b>4,814</b>	<b>44,274</b>
<b>Net off-balance sheet position:</b>							
Credit commitments (note (ii))	2,456,047	82,618	21,961	14,504	2,575,130	11,885	24,634
<b>Derivatives:</b>							
– forward purchased	280,979	288,388	26,409	20,844	616,620	41,486	29,623
– forward sold	(253,696)	(294,290)	(19,462)	(14,878)	(582,326)	(42,335)	(21,831)
– net currency option position	29,143	(32,690)	(10)	41	(3,516)	(4,703)	(11)
<b>Total</b>	<b>56,426</b>	<b>(38,592)</b>	<b>6,937</b>	<b>6,007</b>	<b>30,778</b>	<b>(5,552)</b>	<b>7,781</b>

**60. Risk management** *(continued)***(b) Market risk** *(continued)***(i) Foreign exchange risk** *(continued)***(3) Assets and liabilities by original currency are shown as follows:** *(continued)*

	2021					Main original currency	
	In RMB Equivalent						
	RMB	USD	HKD	Other	Total	USD	HKD
<b>Assets</b>							
Cash and balances with central banks	487,777	57,919	18,482	2,787	566,965	9,089	22,611
Amounts due from banks and other financial institutions	668,673	108,887	12,162	8,356	798,078	17,085	14,879
Loans and advances to customers	4,992,946	156,000	141,605	34,960	5,325,511	24,478	173,238
Financial investments (including derivative financial assets)	2,037,147	108,939	20,348	10,081	2,176,515	17,095	24,893
Other assets (note (i))	254,488	111,972	10,513	4,979	381,952	17,569	12,862
<b>Total</b>	<b>8,441,031</b>	<b>543,717</b>	<b>203,110</b>	<b>61,163</b>	<b>9,249,021</b>	<b>85,316</b>	<b>248,483</b>
<b>Liabilities</b>							
Borrowing from central banks and amounts due to banks and other financial institutions	1,115,553	108,820	4,894	9,327	1,238,594	17,075	5,988
Deposits from customers	5,830,585	346,349	129,300	40,844	6,347,078	54,346	158,184
Financial liabilities at FVTPL (including derivative financial liabilities)	71,041	18,554	1,438	10	91,043	2,911	1,759
Debt securities issued	390,550	50,425	221	3,345	444,541	7,912	270
Other liabilities (note (ii))	235,507	16,336	9,317	924	262,084	2,565	11,399
<b>Total</b>	<b>7,643,236</b>	<b>540,484</b>	<b>145,170</b>	<b>54,450</b>	<b>8,383,340</b>	<b>84,809</b>	<b>177,600</b>
<b>Net position</b>	<b>797,795</b>	<b>3,233</b>	<b>57,940</b>	<b>6,713</b>	<b>865,681</b>	<b>507</b>	<b>70,883</b>
<b>Net off-balance sheet position:</b>							
Credit commitments (note (ii))	2,117,722	71,179	24,448	16,345	2,229,694	11,169	29,909
<b>Derivatives:</b>							
- forward purchased	459,207	451,419	8,554	16,144	935,324	70,833	10,465
- forward sold	(388,786)	(395,153)	(10,651)	(9,748)	(804,338)	(62,004)	(13,030)
- net currency option position	(93,522)	38,175	8	3,059	(52,280)	5,990	10
<b>Total</b>	<b>(23,101)</b>	<b>94,441</b>	<b>(2,089)</b>	<b>9,455</b>	<b>78,706</b>	<b>14,819</b>	<b>(2,555)</b>

**Notes:**

(i) Interest receivable and interest payable of financial instruments are included in "other assets" and "other liabilities" respectively.

(ii) Credit commitments generally expire before they are drawn down, therefore the above net position does not represent the future cash outflows.



**60. Risk management** *(continued)***(b) Market risk** *(continued)***(i) Foreign exchange risk** *(continued)***(4) Sensitivity analysis**

Under the existing managed floating exchange rate regime, the Group uses sensitivity analysis to measure the potential effect of changes in foreign currency exchange rates on the Group's net profit and equity. The following table sets forth the results of the Group's foreign exchange risk sensitivity analysis on the assets and liabilities of all foreign currencies involved at 31 December 2022 and 31 December 2021.

Change in foreign currency exchange rate	2022		2021	
	Down by 1%	Up by 1%	Down by 1%	Up by 1%
(Decrease)/increase in net profit	(64)	64	(79)	79
(Decrease)/increase in equity	(284)	284	(262)	262

Actual changes in the Group's net profit and equity resulting from increases or decreases in foreign exchange rates may be different from the results of this sensitivity analysis.

**(ii) Interest rate risk**

Interest rate risk arises from unfavourable changes in interest rates and maturity profiles which may result in loss to the income and decline in market value of financial instruments and positions held by the Group.

**(1) Trading book**

According to the basic principles of risk management, the Group has built and continuously improved the market risk management system, and established the management process of market risk identification, measurement, monitoring, control and reporting, covering interest rate risk, exchange rate risk, commodity and other risks involved in the trading book business. Under the market risk preference formulated by the board of directors, the Group manages the trading book by clearly identifying, accurately measuring and effectively managing the trading book market risk, to ensure that the trading book risk exposure is within an acceptable range and achieves a reasonable balance of risk and return. The Group constantly improves the risk-adjusted return level to maximise the shareholders' value.

The trading book market risk governance organisation structure defines the responsibilities, division of labour and reporting lines of the board of directors, Risk and Capital Management Committee under the board of directors, senior management and relevant departments of the Bank, and safeguards the achievement of management objectives. The Market Risk Management Department is responsible for the Group's trading book market risk, and undertakes the task of risk policy formulation and management.

**60. Risk management** *(continued)***(b) Market risk** *(continued)***(ii) Interest rate risk** *(continued)***(1) Trading book** *(continued)*

According to the business practices and market risk governance organisation structure, the Group establishes the trading book market risk limits management system. A top level limit is set based on the risk appetite determined by the board of directors, and is transmitted from top to bottom level by level. Within the scope of their authorisation, management departments at all levels allocate and set limits according to risk characteristics, product types and trading strategies, etc. The business departments carry out the business according to the authorisation and limits requirements, and the supervisory and administrative departments at all levels continuously monitor and report according to the limits management regulations.

The trading book market risk management adopts the scale index, stop loss index, sensitivity index, value at risk index, stress test index and other risk measurement indices as the limits index, and sets the limit value by comprehensively considering the risk appetite, risk tolerance, business operation strategy, risk return, management conditions and other factors.

The Group uses valuation, sensitivity analysis, value-at-risk analysis, stress test and other measurement methods to identify and quantify risk factors in the interest rate market. The Group applies the market risk measurement model in its daily risk management and takes market risk measurement as the basis for business planning, resource allocation, financial market business operation and risk management.

**(2) Banking book**

According to the external regulatory requirements and the internal banking book interest rate risk management policy, the Group has built and continuously improved the banking book interest rate risk management system, established the management process of interest rate risk identification, measurement, monitoring, control and reporting, and covered all on- and off-balance sheet business of the Bank. The Group clearly identifies, accurately measures and effectively manages the interest rate risk of the banking book under the interest rate risk appetite of the banking book formulated by the Board of Directors to ensure that the net interest income (NII) and the economic value of shareholders' equity (EVE) increase steadily within the acceptable range of the banking book risk.

The Group's governance and management framework specifies the responsibilities, division of labor and reporting lines of the board of directors, senior management, designated committees and relevant departments to ensure the effectiveness of interest rate risk management. Interest rate risk of the banking book is managed by the Asset and Liability Management Department of the Head Office. Internal Audit Department of the Head Office is responsible for independent audit.

The preference of the Group in respect of the interest rate risk in the banking book is neutrally prudent. The Group establishes a banking book interest rate risk limit management system based on the actual business and the banking book interest rate risk governance structure. The quantitative index of risk appetite set by the Board of Directors is the highest level limit, which is transmitted through the limit level from top to bottom and level by level. Within the scope of their authorisation, all levels set limits and continuously monitor and report according to risk tolerance, business operation strategy and risk management objectives. The Group formulates interest rate risk management strategies and regularly tracks and reviews them based on risk measurement and monitoring results and in combination with macroeconomic and interest rate environment. The key measures for risk management of the Group include the adjustment in business volume, duration structure and interest rate structure of on-balance sheet asset and liability business and off-balance sheet derivative to offset risk exposure.

The Group has mainly adopted scenario simulation analysis, re-pricing exposure analysis and duration analysis for the regular measurement and analysis of interest rate risk under the banking book. Stress test is a form of scenario simulation used to assess the changes in net interest income at risk and economic value of equity indicators when there is an extreme fluctuation in interest rates. The Group measures and monitors the interest rate risk of banking book through the asset-liability management system, and the main models and parameter assumptions used in the measurement process are independently verified before being adopted, and are regularly reviewed and verified after being adopted. The various indicators of interest rate risk during the reporting period showed that the interest rate risk of banking book of the Bank was generally stable and stay within the set limits.



**60. Risk management** *(continued)***(b) Market risk** *(continued)***(ii) Interest rate risk** *(continued)*

(3) The following tables indicate the expected next repricing dates (or maturity dates whichever are earlier) for assets and liabilities at the end of the reporting period.

	2022					Non-interest bearing
	Total	3 months or less (include overdue)	Over 3 months to 1 year	Over 1 year to 5 years	Over 5 years	
<b>Assets</b>						
Cash and balances with central banks	602,742	575,932	–	–	–	26,810
Amounts due from banks and other financial institutions	629,669	516,309	99,288	14,059	13	–
Loans and advances to customers (note (i))	5,796,546	2,234,889	3,028,371	473,932	59,354	–
Financial investments (including derivative financial assets)	2,763,222	217,442	356,451	975,413	1,164,031	49,885
Other assets (note (ii))	346,733	–	–	–	–	346,733
<b>Total assets</b>	<b>10,138,912</b>	<b>3,544,572</b>	<b>3,484,110</b>	<b>1,463,404</b>	<b>1,223,398</b>	<b>423,428</b>
<b>Liabilities</b>						
Borrowing from central banks and amounts due to banks and other financial institutions	1,072,952	915,004	142,452	10,501	4,995	–
Deposits from customers	7,535,742	5,528,249	860,746	1,111,583	31,365	3,799
Financial liabilities at FVTPL (including derivative financial liabilities)	81,950	–	3,006	5,231	73	73,640
Lease liabilities	13,013	1,094	3,091	7,650	1,178	–
Debt securities issued	222,288	35,587	69,617	89,565	27,519	–
Other liabilities (note (ii))	258,729	203	–	2,752	–	255,774
<b>Total liabilities</b>	<b>9,184,674</b>	<b>6,480,137</b>	<b>1,078,912</b>	<b>1,227,282</b>	<b>65,130</b>	<b>333,213</b>
<b>Asset-liability gap</b>	<b>954,238</b>	<b>(2,935,565)</b>	<b>2,405,198</b>	<b>236,122</b>	<b>1,158,268</b>	<b>90,215</b>

**60. Risk management** *(continued)***(b) Market risk** *(continued)***(ii) Interest rate risk** *(continued)*

(3) The following tables indicate the expected next repricing dates (or maturity dates whichever are earlier) for assets and liabilities at the end of the reporting period. *(continued)*

	2021					
	Total	3 months or less (include overdue)	Over 3 months to 1 year	Over 1 year to 5 years	Over 5 years	Non-interest bearing
<b>Assets</b>						
Cash and balances with central banks	566,965	537,981	–	–	–	28,984
Amounts due from banks and other financial institutions	798,078	723,941	63,581	10,507	49	–
Loans and advances to customers (note (i))	5,325,511	2,134,671	2,750,245	376,357	64,238	–
Financial investments (including derivative financial assets)	2,176,515	159,659	288,349	884,079	795,611	48,817
Other assets (note (ii))	381,952	–	–	–	–	381,952
<b>Total assets</b>	<b>9,249,021</b>	<b>3,556,252</b>	<b>3,102,175</b>	<b>1,270,943</b>	<b>859,898</b>	<b>459,753</b>
<b>Liabilities</b>						
Borrowing from central banks and amounts due to banks and other financial institutions	1,238,594	1,081,661	149,900	6,311	722	–
Deposits from customers	6,347,078	4,820,271	718,509	804,755	348	3,195
Financial liabilities at FVTPL (including derivative financial liabilities)	91,043	1,428	2,075	8,177	158	79,205
Lease liabilities	13,812	1,042	2,989	8,153	1,628	–
Debt securities issued	444,541	96,239	220,608	88,974	38,720	–
Other liabilities (note (ii))	248,272	84	–	–	–	248,188
<b>Total liabilities</b>	<b>8,383,340</b>	<b>6,000,725</b>	<b>1,094,081</b>	<b>916,370</b>	<b>41,576</b>	<b>330,588</b>
<b>Asset-liability gap</b>	<b>865,681</b>	<b>(2,444,473)</b>	<b>2,008,094</b>	<b>354,573</b>	<b>818,322</b>	<b>129,165</b>

Notes: (i) For loans and advances to customers, the "3 months or less" category includes overdue amounts as at 31 December 2022 and 31 December 2021 net of allowances for impairment losses. Overdue amounts represent loans of which the whole or part of the principals or interests were overdue.

(ii) Interest receivable and interest payable of financial instruments are included in "other assets" and "other liabilities" respectively.

**(4) Sensitivity analysis**

The Group uses sensitivity analysis to measure the potential effect of changes in interest rates on the Group's net interest income and equity. The following table sets forth the results of the Group's interest rate sensitivity analysis on the assets and liabilities as at 31 December 2022 and 31 December 2021.

Change in interest rates (in basis points)	2022		2021	
	Up by 25	Down by 25	Up by 25	Down by 25
(Decrease)/increase in net interest income	(4,412)	4,412	(3,605)	3,605
(Decrease)/increase in equity	(8,462)	8,586	(5,830)	6,927

The above-mentioned interest rate sensitivity analysis shows the changes in net interest income and equity in the next 12 months under the assumption of changes in interest rates in the above table. As the actual situation and assumptions may be different, the actual changes in the Group's net interest income and equity caused by the increase or decrease in interest rates may be different from the results of this sensitivity analysis.

## 60. Risk management *(continued)*

### (c) Liquidity risk

Liquidity risk is the risk that the Group is not able to obtain sufficient funds at a reasonable cost and in a timely manner to deal with the appreciation of asset growth, to meet its maturity obligations, or to perform other payment obligations.

According to the liquidity risk management policy, the Group segregates the policy setting, execution and supervision of liquidity risk management, and puts in place a governance framework which defines the roles, responsibilities and reporting lines of the board of directors, the board of supervisors, senior management, designated committees and relevant departments to ensure the effectiveness of the liquidity risk management. The board of directors takes the ultimate responsibility for liquidity risk management, ensures the Group can effectively identify, measure, monitor and control liquidity risk and is responsible for determining liquidity risk level which the Group can tolerate. The Risk and Capital Management Committee under the board of directors shall perform its responsibilities in liquidity risk management according to the requirements of the Board of Directors. The board of supervisors is responsible for the supervision and evaluation of the performance of the board of directors and senior management in the liquidity risk management and reports to the general meeting of shareholders. The senior management is responsible for the liquidity risk management work and develops a timely understanding of changes in liquidity risks, and reports the same to the board of directors. The Asset and Liability Management Committee (ALCO) exercises specific liquidity risk management functions as required by the senior management. The Assets and Liabilities Management Department of the Head Office is a day-to-day working body of ALCO, and is responsible for various concrete management work including formulating policies and procedures relating to liquidity risk management and conducting qualitative and quantitative analysis of liquidity risk. The Internal Audit Department of the Head Office conducts comprehensive audit on the Group's liquidity risk management.

The Group is prudent in managing its liquidity risk, which suits its current development stage. The Group's existing liquidity risk management policies and systems meet regulatory requirements and its own management needs.

The Group's liquidity risk management is coordinated by Head Office with branches acting in concert. The Asset and Liability Management Department acting as the treasurer of the Group is in charge of daily liquidity risk management. According to a prudent basis under regulatory requirements, the treasurer is conducting centralised liquidity management through limits management, budget control, initiative debt management as well as internal fund transfer pricing.

The Group measures, monitors and identifies liquidity risk by short-term reserves as well as medium- and long-term structures. It monitors the limit indicators closely at fixed intervals.

The Group regularly conducts stress testing to assess its liquidity risk resistance under extreme circumstances. Except for the annual stress testing required by the regulatory authorities, the Group conducts monthly stress testing on the liquidity risk of local and foreign currencies. The Group sets up liquidity contingency plans and conducts liquidity contingency drills to continuously improve its capability to handle any liquidity crisis.

**60. Risk management** (continued)**(c) Liquidity risk** (continued)

Analysis of the Group's assets and liabilities by contractual remaining maturity is as follows:

	2022								Total
	Repayable on demand	Within 1 month	After 1 month but within 3 months	After 3 months but within 1 year	After 1 year but within 5 years	Over 5 years	Indefinite	Overdue	
Cash and balances with central banks (note (i))	66,055	-	-	1,201	-	-	535,486	-	602,742
Amounts due from banks and other financial institutions	62,456	368,268	84,572	99,288	15,072	13	-	-	629,669
Loans and advances to customers	25,008	499,842	399,192	1,514,348	1,626,514	1,706,378	-	24,264	5,796,546
Financial investments and derivative financial assets (note (ii))	4,213	99,154	105,394	372,002	995,867	1,166,665	19,139	788	2,763,222
- Financial investments at FVTPL (including derivative financial assets)	4,213	79,576	42,022	99,531	158,992	52,081	5,723	-	442,138
- Debt investments at amortised cost	-	13,554	35,043	133,748	449,002	904,281	-	769	1,536,397
- Debt investments at FVTOCI	-	6,024	28,329	108,723	387,873	210,303	-	19	771,271
- Equity investments designated at FVTOCI	-	-	-	-	-	-	13,416	-	13,416
Other assets (note (iii))	38,461	10,932	15,526	18,475	15,859	5,798	239,528	4,154	346,733
<b>Total assets</b>	<b>195,193</b>	<b>978,196</b>	<b>604,684</b>	<b>2,005,314</b>	<b>2,653,312</b>	<b>2,678,854</b>	<b>794,153</b>	<b>29,206</b>	<b>10,138,912</b>
Borrowing from central banks and amounts due to banks and other financial institutions	515,446	264,739	116,971	148,556	20,817	6,423	-	-	1,072,952
Deposits from customers	4,746,035	384,557	393,284	861,631	1,115,153	35,082	-	-	7,535,742
Financial liabilities at FVTPL (including derivative financial liabilities)	12,950	12,026	12,371	12,415	11,457	20,131	-	-	81,950
Lease liabilities	-	503	591	3,091	7,650	1,178	-	-	13,013
Debt securities issued	-	3,939	27,886	73,379	89,565	27,519	-	-	222,288
Other liabilities (note (iii))	153,620	26,774	19,358	23,667	28,868	242	-	-	258,729
<b>Total liabilities</b>	<b>5,434,251</b>	<b>692,538</b>	<b>571,061</b>	<b>1,122,739</b>	<b>1,273,510</b>	<b>90,575</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>9,184,674</b>
(Short)/long position	(5,239,058)	285,658	33,623	882,575	1,379,802	2,788,279	794,153	29,206	954,238

## 60. Risk management (continued)

## (c) Liquidity risk (continued)

	2021								
	Repayable on demand	Within 1 month	After 1 month but within 3 months	After 3 months but within 1 year	After 1 year but within 5 years	Over 5 years	Indefinite	Overdue	Total
Cash and balances with central banks (note (i))	79,129	-	-	-	-	-	487,836	-	566,965
Amounts due from banks and other financial institutions	59,862	601,897	60,072	65,405	10,793	49	-	-	798,078
Loans and advances to customers	20,719	545,165	368,482	1,333,756	1,387,033	1,650,468	-	19,888	5,325,511
Financial investments and derivative financial assets (note (ii))	4,058	88,783	60,315	304,846	912,392	795,813	10,071	231	2,176,515
- Financial investments at FVTPL (including derivative financial assets)	4,058	67,589	31,524	95,228	134,821	35,217	3,076	-	371,513
- Debt investments at amortised cost	-	8,882	11,185	133,930	425,327	590,091	-	231	1,169,652
- Debt investments at FVTOCI	-	12,312	17,606	75,688	352,244	178,505	-	-	628,355
- Equity investments designated at FVTOCI	-	-	-	-	-	-	6,995	-	6,995
Other assets (note (iii))	103,999	10,432	13,946	14,551	14,891	6,107	214,113	3,913	381,952
<b>Total assets</b>	<b>267,767</b>	<b>1,246,277</b>	<b>502,815</b>	<b>1,718,558</b>	<b>2,325,109</b>	<b>2,452,437</b>	<b>712,020</b>	<b>24,038</b>	<b>9,249,021</b>
Borrowing from central banks and amounts due to banks and other financial institutions	627,957	313,745	122,210	153,551	18,350	2,781	-	-	1,238,594
Deposits from customers	4,185,788	315,077	316,452	719,506	809,176	1,079	-	-	6,347,078
Financial liabilities at FVTPL (including derivative financial liabilities)	12,942	13,301	11,720	13,740	20,629	18,711	-	-	91,043
Lease liabilities	-	506	536	2,989	4,153	1,628	-	-	13,812
Debt securities issued	-	21,181	70,472	222,647	88,974	41,267	-	-	444,541
Other liabilities (note (iii))	160,991	37,159	15,455	24,744	5,404	519	-	-	248,272
<b>Total liabilities</b>	<b>4,987,678</b>	<b>700,969</b>	<b>536,845</b>	<b>1,137,177</b>	<b>954,686</b>	<b>65,985</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>8,383,340</b>
<b>(Short)/long position</b>	<b>(4,719,911)</b>	<b>545,308</b>	<b>(34,030)</b>	<b>581,381</b>	<b>1,370,423</b>	<b>2,386,452</b>	<b>712,020</b>	<b>24,038</b>	<b>865,581</b>

Notes:

- (i) For cash and balances with central banks, the amounts with indefinite maturities represent statutory deposit reserve and fiscal deposit balances.
- (ii) For financial investments at FVTPL, included in financial investments, their maturity dates do not represent the Group's intention to hold them to maturity.
- (iii) Interest receivable and interest payable of financial instruments are included in "other assets" and "other liabilities" respectively.

**60. Risk management** (continued)**(c) Liquidity risk** (continued)

The following table provides an analysis of the contractual undiscounted cash flow of the non-derivative financial assets, financial liabilities and gross loan commitments of the Group as at the end of the reporting period. The Group's expected cash flows on these instruments may vary significantly from this analysis.

	2022									
	Carrying amount	Total	Repayable on demand	Within 1 month	After 1 month but within 3 months	After 3 months but within 1 year	After 1 year but within 5 years	Over 5 years	Indefinite	Overdue
<b>Non-derivative financial assets</b>										
Cash and balances with central banks	602,742	602,742	66,055	-	-	1,201	-	-	535,486	-
Amounts due from banks and other financial institutions	629,669	631,123	62,467	368,531	85,088	99,900	15,124	13	-	-
Loans and advances to customers	5,796,546	7,132,934	26,024	516,746	433,106	1,694,961	2,071,922	2,365,750	-	24,425
Financial investments	2,744,551	3,251,681	4,102	101,509	112,634	415,839	1,184,020	1,413,650	19,139	788
- financial investments at FVTPL	423,467	439,231	4,102	76,314	38,048	96,166	161,826	57,052	5,723	-
- Debt investments at amortised cost	1,536,397	1,919,576	-	17,387	42,650	166,559	588,262	1,103,949	-	769
- Debt investments at FVTOCI	771,271	879,458	-	7,808	31,936	153,114	433,932	252,649	-	19
- Equity investments designated at FVTOCI	13,416	13,416	-	-	-	-	-	-	13,416	-
Other assets	89,425	89,425	35,078	10,381	15,434	17,310	1,534	605	4,929	4,154
<b>Total</b>	<b>9,862,933</b>	<b>11,707,905</b>	<b>193,726</b>	<b>997,167</b>	<b>646,262</b>	<b>2,229,211</b>	<b>3,272,600</b>	<b>3,780,018</b>	<b>559,554</b>	<b>29,367</b>
<b>Non-derivative financial liabilities and lease liabilities</b>										
Borrowing from central banks and amounts due to banks and other financial institutions	1,072,952	1,084,577	515,448	265,758	118,566	151,289	26,391	7,125	-	-
Deposits from customers	7,535,742	7,794,971	4,647,726	389,687	403,223	894,832	1,223,242	36,261	-	-
Financial liabilities at FVTPL	63,314	63,506	12,085	9,000	8,927	5,486	7,988	20,020	-	-
Lease liabilities	13,013	14,292	-	505	599	3,328	8,386	1,474	-	-
Debt securities issued	222,288	235,656	-	4,480	28,783	76,447	96,703	29,243	-	-
Other liabilities	162,409	162,409	62,796	27,724	11,623	28,870	31,154	242	-	-
<b>Total</b>	<b>9,069,718</b>	<b>9,355,411</b>	<b>5,438,055</b>	<b>697,154</b>	<b>571,721</b>	<b>1,160,252</b>	<b>1,393,864</b>	<b>94,365</b>	<b>-</b>	<b>-</b>
Gross loan commitments	-	1,573,991	1,573,991	-	-	-	-	-	-	-



## 60. Risk management (continued)

## (c) Liquidity risk (continued)

	2021									
	Carrying amount	Total	Repayable on demand	Within 1 month	After 1 month but within 3 months	After 3 months but within 1 year	After 1 year but within 5 years	Over 5 years	Indefinite	Overdue
<b>Non-derivative financial assets</b>										
Cash and balances with central banks	566,965	566,965	79,129	-	-	-	-	-	487,836	-
Amounts due from banks and other financial institutions	798,078	800,869	59,862	602,201	62,062	65,229	11,466	49	-	-
Loans and advances to customers	5,325,511	6,680,629	20,719	560,371	398,738	1,503,759	1,831,318	2,345,795	-	19,928
Financial investments	2,153,125	2,540,798	3,715	90,330	67,149	339,704	1,050,476	979,116	10,071	237
- Financial investments at FVTPL	348,123	355,501	3,715	64,405	28,852	90,837	127,527	37,089	3,076	-
- Debt investments at amortised cost	1,169,652	1,453,059	-	12,008	17,405	159,969	529,031	734,385	-	237
- Debt investments at FVOCI	628,355	725,243	-	13,917	20,892	88,814	393,918	207,642	-	-
- Equity investments designated at FVOCI	6,995	6,995	-	-	-	-	-	-	6,995	-
Other assets	154,308	154,308	102,918	9,891	13,745	13,795	1,848	528	7,670	3,913
<b>Total</b>	<b>8,997,987</b>	<b>10,743,569</b>	<b>266,343</b>	<b>1,262,793</b>	<b>541,694</b>	<b>1,922,487</b>	<b>2,895,108</b>	<b>3,325,489</b>	<b>505,577</b>	<b>24,078</b>
<b>Non-derivative financial liabilities and lease liabilities</b>										
<b>Borrowing from central banks and amounts due to banks and other financial institutions</b>										
Deposits from customers	6,347,078	6,500,805	4,215,760	318,932	323,909	754,023	887,030	1,151	-	-
Financial liabilities at FVTPL	63,761	64,232	12,926	10,408	7,387	4,748	10,068	18,695	-	-
Lease liabilities	13,812	15,087	-	511	545	3,080	8,974	1,977	-	-
Debt securities issued	444,541	459,323	-	22,002	70,639	226,189	94,221	46,072	-	-
Other liabilities	158,091	158,091	74,533	36,128	15,454	23,052	8,406	518	-	-
<b>Total</b>	<b>8,265,877</b>	<b>8,443,408</b>	<b>4,931,376</b>	<b>703,504</b>	<b>541,744</b>	<b>1,167,062</b>	<b>1,028,367</b>	<b>71,325</b>	<b>-</b>	<b>-</b>
Gross loan commitments	-	1,386,481	1,386,481	-	-	-	-	-	-	-

Note: Interest receivable and interest payable of financial instruments are included in "other assets" and "other liabilities" respectively.

## 60. Risk management *(continued)*

### (d) Operational risk

Operational risk arises from the loss due to deficiency in internal procedures, staffing or IT structure, as well as external events which have effect on operation, including legal risk but not strategy risk and reputation risk.

During the reporting period, through stepping up the identification, evaluation and monitoring of operational risk in key areas, and by focusing on process, policy, employee system, and existing problems of critical control segments, the Group further improves the risk management framework and method, appraisal and assessment mechanism, and strengthens economic capital allocation mechanism with the goal of enhancing the ability and effectiveness of operational risk's management of the Group. All major indexes meet the requirements of the Group's risk preference.

In view of the challenges from internal and external operations and management, the Group will, based on its risk appetite, continue to upgrade its risk management capabilities and strengthen operational risk monitoring and controls, in order to prevent and reduce operational risk losses.

### (e) Capital management

The objectives of the Group's capital management are to:

- Keep capital adequacy ratios at reasonable levels, satisfy capital-specific regulatory provisions and policy requirements on an ongoing basis, and maintain a solid capital base in support of its business expansion, social responsibility and strategic planning implementation to achieve a comprehensive, coordinated and sustainable growth;
- Comply with capital regulatory requirements, perform procedures to assess internal capital adequacy, openly disclose information related to capital management, fully cover all risks and ensure safe operation of the entire group;
- Put in place an economic capital-centred banking value management system by fully applying various risk-specific quantitative deliverables, enhance decision-making processes and management application regimes, strengthen capital restraint and capital incentive mechanisms, reinforce capabilities to facilitate customer pricing and decision-making, and increase capital deployment efficiency;
- Reasonably use all kinds of capital instruments, continue to upgrade capital strengths, improve capital structures, raise capital quality, lower capital costs, and create the best returns for shareholders.

The Group manages its capital structure and adjusts it based on the economic condition and the risk characteristics of its operations. To maintain or adjust its capital structure, the Group may modify its profit distribution policy, issue or repurchase shares, additional tier-1 capital instruments, eligible tier-2 capital instruments, and convertible debentures. The Group's management regularly monitors capital adequacy ratio under an approach stipulated by the CBIRC. The Group and the Bank submit required information to the CBIRC every quarter.



## 60. Risk management *(continued)*

### (e) Capital management *(continued)*

The Group's capital adequacy ratio calculation covers the Bank and its subsidiaries. The Bank's capital adequacy ratio calculation covers all branches of the Bank. As at 31 December 2022, the Group's subsidiaries that were within the capital adequacy ratio calculation included: CMB WLB, CMBIC, CMBFL, CMFM, CMBWM, CIGNA & CMAM and CMB Europe S.A.

Since 1 January 2013, the Group has calculated its capital adequacy ratio in accordance with the CBIRC's Administrative Measures on the Capital of Commercial Banks (Provisional) and other relevant regulations. On 18 April 2014, the CBIRC approved the Bank to adopt the Advanced Measurement Approach. Within the approved scope, the Bank could calculate corporation and financial institutions risk exposure using the Foundation Internal Ratings-Based Approach, retail risk exposure using the Advanced Internal Ratings-Based Approach, market risk using the Internal Model-Based Approach, and operational risk using the Standardised Measurement Approach. At the same time, the CBIRC implemented a transition period for commercial banks that were approved to adopt the Advanced Measurement Approach. During the transition period, commercial banks should use both the Advanced Measurement Approach and other approaches to calculate capital adequacy ratios, and comply with the capital floor requirements.

The Group's capital management focuses on the capital adequacy ratio management. The capital adequacy ratio reflects the Group's capability of sound operations and risk resistance. The Group's capital adequacy ratio management's objective is to carefully determine capital adequacy ratio, as legally required by regulators, according to actual risk profiles and with reference to capital adequacy ratio levels of globally leading market peers and the Group's operating conditions.

The Group adopts the scenario simulation and stress testing methods to forecast, plan and manage its capital adequacy ratio with considerations of factors such as strategic development planning, business expansion status, and risk movement trends.

### (f) Use of derivatives

Derivatives include forwards, swaps and option transactions undertaken by the Group in the foreign exchange and interest rate markets.

The Group enters into interest rate, foreign currency and other financial derivative transactions for treasury business and its assets and liabilities management purpose. The Group's derivatives can be divided into financial instruments that are held for fair value hedge and cash flow hedging purpose and that are at fair value through profit or loss.

The Group formulates appropriate hedging strategies and uses proper tools in light of the risk profile of interest rates or foreign exchange rates associated with its assets and liabilities, as well as its analysis and judgement regarding future movements of interest rates or foreign exchange rates.

The Group is exposed to foreign exchange risk when assets or liabilities are denominated in foreign currencies. Such risk can be offset through the use of foreign exchange forwards or foreign exchange options.

**60. Risk management** (continued)**(f) Use of derivatives** (continued)

In cash flow hedges, the Group uses interest rate swaps as hedging instruments to hedge the interest rate risks arising from RMB loans and interbank assets or liabilities.

The following tables provide an analysis of the notional amounts and the corresponding fair values of derivatives of the Group by remaining maturities at the end of the reporting period. The notional amounts of the derivatives indicate the transaction volume that has not been delivered at the end of the reporting period, and do not represent the amounts at risk.

	2022					Fair value	
	Notional amounts with remaining life				Total	Assets	Liabilities
	Within 3 months	Between 3 months and 1 year	Between 1 year and 5 years	Over 5 years			
<b>Derivatives at fair value through profit or loss</b>							
Interest rate derivatives	60,013	734,650	735,046	4,720	1,534,429	6,246	(6,062)
Interest rate swaps	60,013	734,241	735,046	4,720	1,534,020	6,246	(6,062)
Bond futures	—	409	—	—	409	—	—
Currency derivatives	513,568	329,319	27,320	1,198	871,405	11,348	(11,449)
Forwards	21,443	4,812	645	1,198	28,098	487	(328)
Foreign exchange swaps	347,432	226,332	17,724	—	591,488	9,263	(7,304)
Futures	1,043	81	—	—	1,124	—	—
Options	143,650	98,094	8,951	—	250,695	1,598	(3,817)
Other derivatives	91,064	520	640	34	92,258	867	(856)
Equity options purchased	42,889	57	—	34	42,980	554	—
Equity options written	42,909	57	—	—	42,966	—	(472)
Commodity trading swaps	5,266	406	—	—	5,672	313	(330)
Credit default swaps	—	—	640	—	640	—	(54)
<b>Fair value hedge derivatives</b>							
Currency derivatives	—	1,316	781	—	2,097	28	(153)
Foreign exchange swaps	—	1,316	781	—	2,097	28	(153)
<b>Cash flow hedge derivatives</b>							
Interest rate derivatives	2,393	100	1,804	709	5,006	182	—
Interest rate swaps	2,373	100	1,804	709	4,986	182	—
Interest rate options	20	—	—	—	20	—	—
<b>Derivatives managed in conjunction with financial instruments designated at FVTPL</b>							
Interest rate derivatives	—	3,085	717	—	3,802	—	(47)
Interest rate swaps	—	3,085	717	—	3,802	—	(47)
Currency derivatives	—	—	728	—	728	—	(69)
Foreign exchange swaps	—	—	728	—	728	—	(69)
<b>Total</b>	<b>667,038</b>	<b>1,068,990</b>	<b>767,036</b>	<b>6,661</b>	<b>2,509,725</b>	<b>18,671</b>	<b>(18,636)</b>

## 60. Risk management (continued)

## (f) Use of derivatives (continued)

	2021					Fair value	
	Notional amounts with remaining life					Assets	Liabilities
	Within 3 months	Between 3 months and 1 year	Between 1 year and 5 years	Over 5 years	Total		
<b>Derivatives at fair value through profit or loss</b>							
Interest rate derivatives	567,612	823,679	1,237,360	4,966	2,633,617	11,720	(11,974)
Interest rate swaps	565,833	823,679	1,237,360	4,966	2,631,838	11,720	(11,974)
Bond futures	391	–	–	–	391	–	–
Bond options	1,388	–	–	–	1,388	–	–
Currency derivatives	647,081	506,850	29,615	1,052	1,184,598	10,041	(13,966)
Forwards	26,577	14,373	1,517	1,052	43,519	985	(164)
Foreign exchange swaps	485,140	357,685	20,086	–	862,911	7,530	(7,048)
Futures	587	1,157	–	–	1,744	–	–
Options	134,777	133,635	8,012	–	276,424	1,526	(6,754)
Other derivatives	134,230	5,424	277	–	139,931	1,472	(1,237)
Equity options purchased	62,094	907	–	–	63,001	344	–
Equity options written	62,094	907	–	–	63,001	–	(265)
Commodity trading swaps	10,001	3,475	60	–	13,536	1,128	(751)
Equity swaps	41	135	217	–	393	–	(221)
<b>Fair value hedge derivatives</b>							
Currency derivatives	–	–	830	–	830	–	(16)
Foreign exchange swaps	–	–	830	–	830	–	(16)
<b>Cash flow hedge derivatives</b>							
Interest rate derivatives	–	–	2,883	702	3,585	46	–
Interest rate swaps	–	–	2,883	702	3,585	46	–
<b>Derivatives managed in conjunction with financial instruments designated at FVTPL</b>							
Interest rate derivatives	191	967	3,486	–	4,644	111	(17)
Interest rate swaps	191	967	3,486	–	4,644	111	(17)
Currency derivatives	–	72	530	–	602	–	(72)
Foreign exchange swaps	–	72	530	–	602	–	(72)
<b>Total</b>	<b>1,349,114</b>	<b>1,336,992</b>	<b>1,274,981</b>	<b>6,720</b>	<b>3,967,807</b>	<b>23,390</b>	<b>(27,282)</b>

There was no ineffective portion of cash flow hedges during the years ended 31 December 2022 and 2021.

**60. Risk management** *(continued)***(f) Use of derivatives** *(continued)*

The credit risk weighted amounts in respect of these derivatives are as follows:

	2022	2021
Default risk weighted assets of counterparties	1,500	3,627
Interest rate derivatives	137	139
Currency derivatives	1,242	3,048
Other derivatives	121	440
Credit valuation adjustment risk weighted assets	2,187	2,382
Total	3,687	6,009

The Group has calculated the exposure of derivatives according to the Notice of the Measures on Default Risk Weighted Assets of Counterparties in Respect of Derivatives and the related requirements issued by the CBIRC. These amounts have taken the effects of bilateral netting arrangements into account. The risk weighted amounts in respect of derivatives are calculated in accordance with the Administrative Measures on Capital of Commercial Banks (Provisional) issued by the CBIRC. The amounts within the scope approved by the CBIRC in April 2014 are calculated using the Internal Ratings-Based Approach, and the Weighted Approach is adopted to calculate those that are not eligible for the Internal Ratings-Based approach.

**(g) Fair value information****(i) Methods of determining fair value of financial instruments**

A number of the Group's accounting policies and disclosure requirements stipulate the measurement of fair values, for both financial and non-financial assets and liabilities.

The Group has established a control framework to govern the measurement of fair values. This includes a valuation team that takes the responsibility for overseeing all significant fair value measurements including the three levels of fair values.

The valuation team regularly reviews significant unobservable inputs and valuation adjustments. If third party information, such as broker quotes or pricing services, is used to determine fair value, then the valuation team assesses the evidence obtained from the third parties to support the conclusion that such valuation meets the requirements of IFRSs, including the classification of levels in the fair value hierarchy.

When measuring the fair value of an asset or a liability, the Group uses observable market data as far as possible. Fair values are categorised into different levels in the fair value hierarchy based on the inputs used in the valuation techniques.

The level in which fair value measurement is categorised is determined by the level of the fair value hierarchy of the lowest level of input that is significant to the entire fair value measurement. The levels are defined as follows:

- Level 1 inputs: unadjusted quoted prices in active markets that are observable at the measurement date for identical assets or liabilities;
- Level 2 inputs: other than quoted prices included in level 1 inputs that are either directly or indirectly observable for underlying assets or liabilities inputs;
- Level 3 inputs: inputs that are unobservable for assets or liabilities.

The Group recognises transfers among levels of the fair value hierarchy when they occur.

The Group's assets and liabilities measured at fair value are measured on a recurring basis. The Group does not have assets nor liabilities measured at fair value on a non-recurring basis.

**60. Risk management** *(continued)***(g) Fair value information** *(continued)***(ii) Assets and liabilities held at the end of reporting period that are measured at fair value on a recurring basis**

The following tables present the fair value information and the fair value hierarchy, at the end of the reporting period, of the Group's assets and liabilities which are measured at fair value on a recurring basis at each reporting date:

	2022			
	Level 1	Level 2	Level 3	Total
<b>Assets</b>				
Financial investments measured at FVTPL	16,175	390,702	4,714	411,591
– Debt securities	15,497	187,349	359	203,205
– Long position in precious metal contracts	108	–	–	108
– Equity investments	494	392	3,493	4,379
– Fund investments	76	199,665	798	200,539
– Wealth management products	–	2,543	–	2,543
– Other	–	753	64	817
Financial investments designated at FVTPL	948	10,928	–	11,876
– Debt securities	948	10,928	–	11,876
Derivative financial assets	–	18,671	–	18,671
Loans and advances to customers at FVTPL	–	3	4,991	4,994
Debt investments at FVTOCI	136,831	643,518	–	780,349
Loans and advances to customers at FVTOCI	–	514,051	100,430	614,481
Equity investments designated at FVTOCI	3,164	2,862	7,390	13,416
<b>Total</b>	<b>157,118</b>	<b>1,580,735</b>	<b>117,525</b>	<b>1,855,378</b>
<b>Liabilities</b>				
Financial liabilities held for trading	17,917	330	–	18,247
– Financial liabilities related to precious metal	17,634	–	–	17,634
– Short position on bonds	283	330	–	613
Financial liabilities designated at FVTPL	21,879	20,541	2,647	45,067
– Placement of precious metal from financial institutions	14,170	–	–	14,170
– Certificates of deposit issued	–	383	–	383
– Debt securities issued	7,709	–	–	7,709
– Other	–	20,158	2,647	22,805
Derivative financial liabilities	–	18,636	–	18,636
<b>Total</b>	<b>39,796</b>	<b>39,507</b>	<b>2,647</b>	<b>81,950</b>

**60. Risk management** *(continued)***(g) Fair value information** *(continued)*

- (ii) Assets and liabilities held at the end of reporting period that are measured at fair value on a recurring basis
- (continued)*

	2021			
	Level 1	Level 2	Level 3	Total
<b>Assets</b>				
Financial investments measured at FVTPL	20,517	292,849	4,879	318,245
– Debt securities	19,102	127,411	373	146,886
– Long position in precious metal contracts	102	–	–	102
– Equity investments	1,180	2	3,727	4,909
– Fund investments	133	161,865	772	162,770
– Wealth management products	–	2,396	–	2,396
– Other	–	1,175	7	1,182
Financial investments designated at FVTPL	1,022	28,856	–	29,878
– Debt securities	1,022	28,856	–	29,878
Derivative financial assets	–	23,390	–	23,390
Loans and advances to customers at FVTPL	–	–	7,281	7,281
Debt investments at FVTOCI	127,847	508,191	–	636,038
Loans and advances to customers at FVTOCI	–	431,291	56,713	488,004
Equity investments designated at FVTOCI	2,269	–	4,726	6,995
<b>Total</b>	<b>151,655</b>	<b>1,284,577</b>	<b>73,599</b>	<b>1,509,831</b>
<b>Liabilities</b>				
Financial liabilities held for trading	16,832	185	–	17,017
– Financial liabilities related to precious metal	16,406	–	–	16,406
– Short position on bonds	426	185	–	611
Financial liabilities designated at FVTPL	19,569	19,028	8,147	46,744
– Placement of precious metal from financial institutions	11,596	–	–	11,596
– Certificates of deposit issued	–	377	–	377
– Debt securities issued	7,600	–	–	7,600
– Other	373	18,651	8,147	27,171
Derivative financial liabilities	–	27,282	–	27,282
<b>Total</b>	<b>36,401</b>	<b>46,495</b>	<b>8,147</b>	<b>91,043</b>

During the years ended 31 December 2022 and 2021, there were no significant transfers of financial instruments between Level 1 and Level 2 of the fair value hierarchy.



**60. Risk management** *(continued)***(g) Fair value information** *(continued)***(ii) Assets and liabilities held at the end of reporting period that are measured at fair value on a recurring basis** *(continued)***(1) Basis of determining the market prices for recurring fair value measurements categorised as Level 1**

Bloomberg etc. are used for financial instruments with quoted prices in an active market.

**(2) Valuation techniques used and the qualitative information of key parameters for recurring fair value measurement categorised as Level 2**

Fair value of RMB denominated bonds whose value is available on China Bond website on the valuation date is measured using the latest available valuation results.

Fair value of foreign currency bonds without quoted prices in an active market is measured by using the comprehensive valuations issued by Bloomberg, etc.

Fair value of foreign exchange forwards contracts in derivative financial instruments is measured by discounting the differences between the contract prices and market future prices of the foreign exchange forwards contracts. The discount rates used are the applicable RMB denominated swap yield curve as at the end of the reporting period.

Fair value of option contracts such as foreign exchange options, commodity options and equity options is measured by using the Black-Scholes model, based on market data such as risk-free interest rate, underlying market prices and price volatility of foreign exchange, commodities, and equity contract. The above market data used are quoted price in an active market, provided by Bloomberg, Refinitiv, Wind and other market information providers.

Fair value of interest rate swaps, foreign exchange swaps, and non-option commodity contracts in derivative financial instruments is measured by discounting the expected receivable or payable amounts under the assumption that these swaps had been terminated at the end of the reporting period. The discount rates used are the related currency denominated swap yield curve as at the end of reporting period.

Observable quoted price in market is used as the basis of determining the value of equity investments measured at FVTPL, investment funds and wealth management products.

The fair value of discounted bills at FVTOCI and at FVTPL in the Chinese mainland is measured based on the rate of rediscounted bills announced by the Shanghai Commercial Paper Exchange Corporation Ltd. The Group uses 10-day average discount rate as the basis for calculating the value of discounted bills; or is measured by discounted cash flow approach. The discount rates used are determined by factors such as credit rating of the loan customer provided by S&P, Moody's or Fitch, customer industry, term to maturity of the loan, loan currency and the issuer credit spread.

The fair value of equity investments designated at FVTOCI is measured based on the recent transaction price or by using the comprehensive valuations on Bloomberg.

The fair value of certificates of deposit issued is measured by using the comprehensive valuations on Bloomberg.

The fair value of "Other" under financial investments measured at FVTPL is measured based on the net asset values.

The fair value of other financial liabilities designated at FVTPL is measured based on the net asset values of the funds, determined with reference to observable (quoted) prices of underlying investment portfolio and adjustments of related expenses.

**60. Risk management** *(continued)***(g) Fair value information** *(continued)*(ii) Assets and liabilities held at the end of reporting period that are measured at fair value on a recurring basis *(continued)*

(3) Valuation techniques used and the qualitative information of key parameters for recurring fair value measurements categorised as Level 3:

	Fair value as at 31 December	Valuation techniques	Unobservable inputs
Equity investments designated at FVTOCI	2,725	Market approach	Liquidity discount
Equity investments designated at FVTOCI	101	Discounted cash flow approach	Risk-adjusted discount rate, cash flow
Equity investments designated at FVTOCI	4,564	Net asset value approach	Net assets, liquidity discount
Loans and advances to customers at FVTPL	4,991	Discounted cash flow approach	Risk-adjusted discount rate
Loans and advances to customers at FVTOCI	100,430	Discounted cash flow approach	Risk-adjusted discount rate
Financial investments measured at FVTPL			
– Equity investments	2,950	Market approach	Liquidity discount
– Equity investments	528	Discounted cash flow approach	Risk-adjusted discount rate, cash flow
– Equity investments	15	Net asset value approach	Net assets, liquidity discount
– Debt securities	359	Discounted cash flow approach	Risk-adjusted discount rate
– Fund investments	797	Net fund value approach	Net assets
– Fund investments	1	Market approach	Liquidity discount
– Other	64	Net fund value approach	Net assets
Financial liabilities designated at FVTPL	2,647	Net fund value approach	Net assets, liquidity discount



**60. Risk management** *(continued)***(g) Fair value information** *(continued)*(ii) Assets and liabilities held at the end of reporting period that are measured at fair value on a recurring basis *(continued)*(3) Valuation techniques used and the qualitative information of key parameters for recurring fair value measurements categorised as Level 3: *(continued)*

	Fair value as at 31 December	Valuation techniques	Unobservable inputs
Equity investments designated at FVTOCI	873	Market approach	Liquidity discount
Equity investments designated at FVTOCI	3,853	Net asset value approach	Net assets, liquidity discount
Loans and advances to customers at FVTPL	7,281	Discounted cash flow approach	Risk-adjusted discount rate
Loans and advances to customers at FVTOCI	56,713	Discounted cash flow approach	Risk-adjusted discount rate
Financial investments measured at FVTPL			
– Equity investments	3,491	Market approach	Liquidity discount
– Equity investments	12	Market approach (Price-to-Book Ratio)	Liquidity discount
– Equity investments	209	Discounted cash flow approach	Risk-adjusted discount rate, cash flow
– Equity investments	15	Net asset value approach	Net assets, liquidity discount
– Debt securities	373	Discounted cash flow approach	Risk-adjusted discount rate
– Fund investments	767	Net fund value approach	Net assets
– Fund investments	5	Market approach	Liquidity discount
– Other	7	Market approach	Liquidity discount
Financial liabilities designated at FVTPL	664	Market approach	Liquidity discount
Financial liabilities designated at FVTPL	7,483	Net fund value approach	Net assets, liquidity discount

**60. Risk management** *(continued)***(g) Fair value information** *(continued)*(ii) **Assets and liabilities held at the end of reporting period that are measured at fair value on a recurring basis** *(continued)***(3) Valuation techniques used and the qualitative information of key parameters for recurring fair value measurements categorised as Level 3:** *(continued)***1) Valuation of financial instruments with significant unobservable inputs**

The following tables show the movements from the beginning balances to the ending balances for Level 3 financial instruments:

	Financial investments at FVTPL	Loans and advances to customers at FVTPL	Loans and advances to customers at FVTOCI	Equity investments designated at FVTOCI	Total
<b>Assets</b>					
At 1 January 2022	4,879	7,281	56,713	4,726	73,599
Profit or loss					
– In profit or loss	(14)	(366)	744	–	364
– In other comprehensive income	–	–	(107)	51	(56)
Addition for the year	1,041	85	196,298	2,527	199,951
Disposals or settlement on maturity	(1,147)	(2,036)	(153,218)	(129)	(156,530)
Transfer out of level 3	(145)	–	–	–	(145)
Exchange difference	100	27	–	215	342
At 31 December 2022	4,714	4,991	100,430	7,390	117,525
Total unrealised gains and losses included in the consolidated statement of profit or loss for assets held at the end of the reporting period	(14)	(366)	–	–	(380)

	Financial investments at FVTPL	Loans and advances to customers at FVTPL	Loans and advances to customers at FVTOCI	Equity investments designated at FVTOCI	Total
<b>Assets</b>					
At 1 January 2021	2,727	6,856	44,289	5,064	58,936
Profit or loss					
– In profit or loss	339	287	1,365	–	1,991
– In other comprehensive income	–	–	48	1,050	1,098
Addition for the year	1,832	143	118,229	721	120,925
Disposals or settlement on maturity	(68)	–	(107,218)	(2,158)	(109,444)
Exchange difference	49	(5)	–	49	93
At 31 December 2021	4,879	7,281	56,713	4,726	73,599
Total unrealised gains and losses included in the consolidated statement of profit or loss for assets held at the end of the reporting period	339	287	–	–	626

**60. Risk management** *(continued)***(g) Fair value information** *(continued)*(ii) Assets and liabilities held at the end of reporting period that are measured at fair value on a recurring basis *(continued)*(3) *Valuation techniques used and the qualitative information of key parameters for recurring fair value measurements categorised as Level 3: (continued)*1) *Valuation of financial instruments with significant unobservable inputs (continued)*

Financial liabilities at fair value through profit or loss	2022	2021
Balance as at 1 January	8,147	5,649
In profit or loss	(142)	470
Addition for the year	96	3,105
Disposals and settlement on maturity	(5,695)	(860)
Exchange difference	241	(217)
Balance as at 31 December	2,647	8,147
Total unrealised gains and losses included in the consolidated statement of profit or loss for liabilities held at the end of the reporting period	148	419

During the years ended 31 December 2022 and 2021, there were no significant transfers among different levels for financial instruments which are measured at fair value on a recurring basis.

During the years ended 31 December 2022 and 2021, the Group did not change the valuation techniques for the financial assets and liabilities disclosed above which are measured at fair value on a recurring basis.

**60. Risk management** *(continued)***(g) Fair value information** *(continued)***(iii) Financial assets and financial liabilities that are not measured at fair value****(1) Financial Assets**

The Group's financial assets that are not measured at fair value mainly include balances with central banks, balances and placements with banks and other financial institutions, amounts held under resale agreements, loans and advances to customers at amortised cost and investments at amortised cost.

Except for loans and advances measured at amortised cost and debt instrument investments measured at amortised cost, most of the financial assets mature within 1 year, and their carrying values approximate their fair values. Loans and advances are stated at amortised costs less allowances for impairment loss (Note 22). Loans and advances at amortised cost are mostly priced at floating rates with reference to Loan Prime Rates (LPRs) and repriced at least annually, and impairment allowances are made to reduce the carrying amounts of impaired loans to estimated recoverable amounts. Accordingly, the carrying value of loans and advances is close to their fair value.

Debt investments measured at amortised cost are carried at amortised cost less allowances for impairment losses. The fair value of the listed investments is disclosed in Note 23(b).

The carrying value, fair value and fair value hierarchy of debt investments at amortised cost not measured at fair value are listed as below:

The Level 1 fair value measurement is based on unadjusted quoted prices in active markets using Bloomberg etc. For Level 2, the latest valuation results released by China Bond website are used to measure fair value of bonds denominated in RMB. The Level 2 category also includes foreign currency bonds without active quoted price, which are measured using the published comprehensive valuation by Bloomberg. The Level 3 fair value is measured using discounted cash flow valuation technique.

	2022					2021				
	Carrying amount	Fair value	Level 1	Level 2	Level 3	Carrying amount	Fair value	Level 1	Level 2	Level 3
Debt investments at amortised cost	1,536,397	1,569,775	41,700	1,434,070	94,005	1,169,652	1,235,725	6,659	1,097,435	131,631

Note: The above financial assets do not include interest receivable.

**(2) Financial Liabilities**

Financial liabilities that are not measured at fair value mainly include deposits from customers, amounts due to banks and other financial institutions, amounts sold under repurchase agreements, and debts securities issued by the Group. The carrying value of financial liabilities approximate their fair value at the end of the reporting period, except for the financial liabilities set out below:

	2022					2021				
	Carrying amount	Fair value	Level 1	Level 2	Level 3	Carrying amount	Fair value	Level 1	Level 2	Level 3
Subordinated bonds issued	18,994	20,292	-	20,292	-	34,236	35,173	-	35,173	-
Long-term debt securities issued	129,971	118,416	-	118,416	-	159,305	160,893	-	160,893	-
Total	148,965	138,708	-	138,708	-	193,541	196,066	-	196,066	-

Note: The above financial liabilities do not include interest payable.

## 61. Material related party transactions

## (a) Material connected person information

Details of the Bank's major shareholders and their parent companies are as follows:

Company name	Registered location	Issued and fully paid capital	No. of shares of the Bank held by the Company	Proportion of the Bank held by the Company	Proportion of the Company held by the Bank	Business	Relationship with the Bank	Legal form	Legal representative
China Merchants Group (CMG)	Beijing	RMB16,900 million	7,559,427,375	29.97% (note (iv))	-	Transportation, shipping agency, warehousing and storage, leasing, manufacturing building and facility, repair and contracting, sales operating management service, etc.	The largest shareholder's parent company	Limited liability	Mao Jianmin
- China Merchants Steam Navigation Co., Ltd. (CMSNCL)	Beijing	RMB17,000 million	3,289,476,337	13.04% (note (v))	-	Transportation, building and repair, procurement, supply chain management and distribution, shipping agency services, etc.	The largest shareholder	Limited liability	Mao Jianmin
- Shenzhen Yan Qing Investment and Development Co., Ltd.	Shenzhen	RMB600 million	1,258,542,349	4.99%	-	Invest and set up industries, domestic commerce, materials supply and marketing business, etc.	Shareholder	Limited liability	Xu Xin
- Shenzhen Chu Yuan Investment and Development Co., Ltd.	Shenzhen	RMB600 million	944,013,171	3.74%	-	Invest and set up industries, domestic commerce, materials supply and marketing business, etc.	Shareholder	Limited liability	Xu Xin
- China Merchants Finance Investment Holdings Co., Ltd.	Shenzhen	RMB7,778 million	1,147,377,415	4.55%	-	Invest and set up industries, domestic commerce, materials supply and marketing business, etc.	Shareholder	Limited liability	Mao Jianmin
- Best Winner Investment Ltd.	British Virgin Islands	USD0.05 million	366,924,063	1.51%	-	-	Shareholder	Joint stock limited company	-
- China Merchants Union (BYI) Limited	British Virgin Islands	USD0.06 million	477,903,500	1.89%	-	-	Shareholder	Limited liability	-
- China Merchants Industry Development (Shenzhen) Ltd.	Shenzhen	USD10 million	55,196,540	0.22%	-	Invest and set up industries, enterprise management consulting and investment consulting, etc.	Shareholder	Limited liability	Wang Xiaodong

**61. Material related party transactions** *(continued)***(a) Material connected person information** *(continued)*Details of the Bank's major shareholders and their parent companies are as follows: *(continued)*

Company name	Registered location	Issued and fully paid capital	No. of shares of the Bank held by the Company	Proportion of the Bank held by the Company	Proportion of the Company held by the Bank	Business	Relationship with the Bank	Legal form	Legal representative
China COSCO Shipping Corporation Limited	Beijing	RMB11,000 million	2,515,193,034	9.97% (note10)	-	International shipping business, supporting services to international shipping, imports and exports of goods and technology, international freight forwarding agent, etc.	Shareholder's parent company	Limited liability	Wan, Min
- China Ocean Shipping Co., Ltd.	Beijing	RMB16,191 million	1,574,728,111	6.24%	-	Transportation business, leasing business, ship purchasing and marketing business, warehousing business, etc.	Shareholder	Limited liability	Wan, Min
- COSCO Shipping (Guangzhou) Co., Ltd.	Guangzhou	RMB3,191 million	696,450,214	2.76%	-	Shipping business	Shareholder	Limited liability	Shou Jian
- Guangzhou Haining Maritime Technology Consulting Co., Ltd.	Guangzhou	RMB52 million	103,552,616	0.41%	-	Business services	Shareholder	Limited liability	Chen, Jianyao
- COSCO Shipping (Shanghai) Co., Ltd.	Shanghai	RMB1,399 million	75,617,340	0.30%	-	Shipping business, leasing business, ship repairing and building etc.	Shareholder	Limited liability	Zhao Bangtao
- COSCO Shipping Investment Holdings Co., Ltd.	Hong Kong	HKD500 million	54,721,930	0.22%	-	Leasing business, financing business, insurance business etc.	Shareholder	Limited liability	Wang Daixiong
- Guangzhou Tri-Dynat Oil & Shipping Co., Ltd.	Guangzhou	RMB299 million	10,121,823	0.04%	-	Ship purchasing and marketing business, shipping agency, leasing business, shipping business etc.	Shareholder	Limited liability	Ren Zhaoping
China Insurance Security Fund Co., Ltd.	Beijing	RMB100 million	804,907,835	3.19% (note10)	-	Investing and establishing insurance companies, supervising and managing various domestic and international businesses of holding investment enterprises, and investment business permitted by national laws and regulations, etc.	Shareholder's parent company	Limited liability	Ji, Yuhua
- Dajia Life Insurance Co., Ltd.	Beijing	RMB30,790 million	804,907,835	3.19%	-	Life insurance, health insurance, accident insurance, and other personal insurance services, etc.	Shareholder	Joint stock limited company	He Xiaofeng



**61. Material related party transactions** (continued)**(a) Material connected person information** (continued)

Details of the Bank's major shareholders and their parent companies are as follows: (continued)

Company name	Registered location	Issued and fully paid capital	No. of shares of the Bank held by the Company	Proportion of the Bank held by the Company	Proportion of the Company held by the Bank	Business	Relationship with the Bank	Legal form	Legal representative
China Communications Construction Group Limited	Beijing	RMB1,274 million	422,770,418	1.68% (note(i))	-	General contraction for construction	Shareholder's parent company	Limited liability	Wang Tongzhou
- China Communications Construction Company Limited	Beijing	RMB16,166 million	201,089,738	0.80%	-	General contraction for construction, leasing and repair, technical consulting service, imports and exports, investment and management business	Shareholder	Joint stock limited company	Wang Tongzhou
Shanghai Automotive Industry Corporation (Group)	Shanghai	RMB21,749 million	310,125,822	1.23% (note(ii))	-	Production and sale of vehicles, asset management business, domestic trade business, consulting service	Shareholder's parent company	Limited liability	Chen Hong
- SAIC Motor Corporation Limited	Shanghai	RMB11,683 million	310,125,822	1.23%	-	Production and sale of vehicles, consulting service, imports and exports	Shareholder	Joint stock limited company	Chen Hong
CMB International Capital Holdings Corporation Limited (CMBIC)	Hong Kong	HKD4,129 million	-	-	100%	Investment bank and investment management	Subsidiary	Limited liability	Wang, Liang
CMB Financial Leasing Company Limited (CMBFL)	Shanghai	RMB12,000 million	-	-	100%	Finance lease	Subsidiary	Limited liability	Shi Shunhua
CMB Wing Lung Bank Limited (CMB WLB)	Hong Kong	HKD1,161 million	-	-	100%	Banking	Subsidiary	Limited liability	Liu Yuan
China Merchants Fund Management Co., Ltd. (CMFM)	Shenzhen	RMB1,310 million	-	-	55%	Fund Management	Subsidiary	Limited liability	Wang Xiaoping
CMB Wealth Management Co., Ltd.	Shenzhen	RMB5,556 million	-	-	90%	Asset management	Subsidiary	Limited liability	Chen Yisong
China Merchants Europe S.A. (CME Europe S.A.)	Luxembourg	EUR50 million	-	-	100%	Banking	Subsidiary	Limited liability	Li Biao
Cigna & CMB Asset Management Company Limited	Beijing	RMB500 million	-	-	Note 24 (vi)	Asset management	Subsidiary	Limited liability	Wang Xiaoping

Notes:

- (i) CMG together with its subsidiaries holds 29.97% of the Bank (2021: 29.97%).
- (ii) As the largest direct shareholder, CMISNCL, a subsidiary of CMG, holds 13.04% of the Bank as at 31 December 2022 (2021: 13.04%).
- (iii) China COSCO Shipping Corporation Ltd. holds 9.97% of the Bank (2021: 9.97%) through its subsidiaries.
- (iv) China Insurance Security Fund Co., Ltd ("China Insurance Security Fund") holds 3.19% of the Bank (2021: 3.23%) through its 98.23% holding in Dajia Insurance Group Co., Ltd.
- (v) China Communications Construction Group Limited ("China Communications Construction Group") holds 1.68% of the Bank through its subsidiaries (2021: 1.68%).
- (vi) Shanghai Automotive Industry Corporation (Group) ("Shanghai Automotive Industry Group") holds 1.23% of the Bank through its subsidiaries (SAIC Motor Corporation Limited) (2021: 1.23%).
- (vii) The sum of the direct holding percentage of CMG's shareholdings in the Bank and the sum of the above-mentioned relevant percentages may differ slightly due to rounding.

**61. Material related party transactions** (continued)**(a) Material connected person information** (continued)

The registered capital of the Group's related parties as at 31 December 2022 and 2021 are as follows:

Name of related party	2022	2021
CMG	RMB16,900,000,000	RMB16,900,000,000
CMSNCL	RMB17,000,000,000	RMB7,000,000,000
Shenzhen Yan Qing Investment and Development Co., Ltd.	RMB600,000,000	RMB600,000,000
Shenzhen Chu Yuan Investment and Development Co., Ltd.	RMB600,000,000	RMB600,000,000
China Merchants Finance Investment Holdings Co., Ltd.	RMB7,778,000,000	RMB7,778,000,000
Best Winner Investment Ltd.	USD50,000	USD50,000
China Merchants Union (BVI) Limited	USD60,000	USD60,000
China Merchants Industry Development (Shenzhen) Ltd.	USD10,000,000	USD10,000,000
China Insurance Security Fund Co., Ltd.	RMB100,000,000	RMB100,000,000
Dajia Life Insurance Co., Ltd.	RMB30,790,000,000	RMB30,790,000,000
China COSCO Shipping Corporation Limited.	RMB11,000,000,000	RMB11,000,000,000
China Ocean Shipping Co., Ltd.	RMB16,191,351,300	RMB16,191,351,300
COSCO Shipping (Guangzhou) Co., Ltd.	RMB3,191,200,000	RMB3,191,200,000
Guangzhou Haining Maritime Technology Consulting Co., Ltd.	RMB52,000,000	RMB52,000,000
COSCO Shipping (Shanghai) Co., Ltd.	RMB1,398,941,000	RMB1,398,941,000
COSCO Shipping Investment Holdings Co., Ltd.	HKD500,000,000	HKD500,000,000
Guangzhou Tri-Dynas Oil & Shipping Co., Ltd.	RMB299,020,000	RMB299,020,000
China Communications Construction Group Limited.	RMB7,274,023,830	RMB7,274,023,830
China Communications Construction Company Limited	RMB16,165,711,425	RMB16,165,711,425
Shanghai Automotive Industry Corporation (Group)	RMB21,749,175,737	RMB21,749,175,737
SAIC Motor Corporation Limited	RMB11,683,461,365	RMB11,683,461,365
CMBIC	HKD4,129,000,000	HKD4,129,000,000
CMBFL	RMB12,000,000,000	RMB12,000,000,000
CMB WLB	HKD1,160,950,575	HKD1,160,950,575
CMFM	RMB1,310,000,000	RMB1,310,000,000
CMBWM	RMB5,555,555,555	RMB5,000,000,000
CMB Europe S.A.	EUR50,000,000	EUR50,000,000
Cigna & CMB Asset Management Company Limited	RMB500,000,000	RMB500,000,000

The proportion of the Bank held by the largest shareholder and the portion of the subsidiaries held by the Bank

	The Bank held by the largest shareholder		The subsidiaries held by the Bank													
	CMSNCL		CMBIC		CMBFL		CMB WLB		CMFM		CMBWM		CMB Europe S.A.		CIGNA & CMBAM	
	No. of shares	%	HKD	%	RMB	%	HKD	%	RMB	%	RMB	%	EUR	%	RMB	%
At 1 January 2022	1,289,479,337	13.04	4,129,000,000	100.00	12,000,000,000	100.00	1,160,950,575	100.00	1,170,000,000	55.00	5,000,000,000	100.00	50,000,000	100.00	500,000,000	note
At 31 December 2021	1,289,479,337	13.04	4,129,000,000	100.00	12,000,000,000	100.00	1,160,950,575	100.00	1,170,000,000	55.00	5,555,555,555	90.00	50,000,000	100.00	500,000,000	note

	The Bank held by the largest shareholder		The subsidiaries held by the Bank													
	CMSNCL		CMBIC		CMBFL		CMB WLB		CMFM		CMBWM		CMB Europe S.A.		CIGNA & CMBAM	
	No. of shares	%	HKD	%	RMB	%	HKD	%	RMB	%	RMB	%	EUR	%	RMB	%
At 1 January 2021	1,289,479,337	13.04	4,129,000,000	100.00	6,000,000,000	100.00	1,160,950,575	100.00	1,310,000,000	55.00	5,000,000,000	100.00	50,000,000	100.00	500,000,000	note
At 31 December 2021	1,289,479,337	13.04	4,129,000,000	100.00	12,000,000,000	100.00	1,160,950,575	100.00	1,310,000,000	55.00	5,000,000,000	100.00	50,000,000	100.00	500,000,000	note

Note: This information is detailed in note 24.

As of 31 December 2022, other than those disclosed above, there were 142 companies that shared common directors, supervisors and senior management including their close family members with the Bank and they can control or exercise significant influence over these companies (31 December 2021: 265).



**61. Material related party transactions** *(continued)***(b) Terms and conditions for related-party transactions**

The Group enters into transactions with related parties in the ordinary course of its banking business including lending, investing, deposit taking, securities trading, providing agency and trust services, and off-balance sheet transactions. In the opinion of the directors, the Group enters into such material related-party transactions under normal commercial terms. Interest rates on loans and deposits are set in accordance with such benchmark rates as PBOC rates and LPR.

	2022	2021
Short-term loans	3.65% to 3.80%	3.80% to 3.85%
Medium to long-term loans	3.65% to 4.65%	3.80% to 4.65%
Demand deposits	0.35%	0.35%
Time deposits	1.10% to 2.75%	1.10% to 2.75%

There were no loans and advances granted to related parties that were credit-impaired during the year (2021: None).

**(c) Shareholders and their related companies**

The Bank's largest shareholder CMG and its related companies held 29.97 % (2021: 29.97%) of the Bank's shares as at 31 December 2022 (among them 13.04 % of the shares were directly held by CMSNCL (2021: 13.04%)).

The Group's transactions and balances with CMSNCL and its related companies are disclosed as follows:

	2022	2021
On-balance sheet:		
– Placements with banks and other financial institutions	2,000	–
– Amounts held under resale agreements	2,589	13,967
– Loans and advances to customers	40,772	42,645
– Financial investments	7,626	1,147
– Deposits from banks and other financial institutions	29,726	29,755
– Deposits from customers	45,342	45,708
– Lease liabilities	210	186
Off-balance sheet:		
– Irrevocable guarantees	5,087	3,645
– Irrevocable letters of credit	318	251
– Bills of acceptances	285	188
Interest income	1,848	1,738
Interest expense	(1,376)	(1,599)
Net fee and commission income	1,027	669
Operating expenses	(177)	(42)
Other net (expenses)/income	(10)	38

**61. Material related party transactions** *(continued)*

- (d) Companies that share common directors, supervisors or senior management with the Bank (other than those disclosed in Note 61(c)) and they can control or exercise significant influence over the companies**

	2022	2021
On-balance sheet:		
– Placements with banks and other financial institutions	2,277	–
– Amounts held under resale agreements	3,770	285
– Loans and advances to customers	28,103	13,366
– Financial investments	770	595
– Deposits from banks and other financial institutions	4,346	21,356
– Placements from banks and other financial institutions	6,047	–
– Deposits from customers	13,447	31,016
– Lease liabilities	65	73
Off-balance sheet:		
– Irrevocable guarantees	580	1,711
– Irrevocable letters of credit	6	46
– Bills of acceptances	–	225
Interest income	1,035	927
Interest expense	(475)	(984)
Net fee and commission income	133	273
Operating expenses	(274)	(1,654)
Other net (expenses)/income	(129)	7

- (e) Associates and joint ventures other than those disclosed in Note 61(c)**

	2022	2021
On-balance sheet:		
– Placements with banks and other financial institutions	14,675	14,500
– Loans and advances to customers	6,848	6,044
– Deposits from banks and other financial institutions	896	1,251
– Deposits from customers	331	693
Off-balance sheet:		
– Irrevocable guarantees	–	8,700
Interest income	306	516
Interest expense	(19)	(20)
Net fee and commission income	2,498	1,695
Operating expenses	(8)	(6)

**61. Material related party transactions** *(continued)***(f) Other major shareholders holding more than 5% shares of the Bank and exercising significant influence over the Bank**

	2022	2021
On-balance sheet:		
– Amounts held under resale agreements	–	399
– Loans and advances to customers	27,070	17,654
– Financial investments	4,302	2,512
– Deposits from banks and other financial institutions	2,929	7,502
– Deposits from customers	14,872	19,704
– Lease liabilities	40	46
Off-balance sheet:		
– Irrevocable guarantees	8,511	7,895
– Irrevocable letters of credit	1,835	337
– Bills of acceptances	5,125	5,068
Interest income	913	738
Interest expense	(633)	(585)
Net fee and commission income	2,242	1,411
Operating expenses	(138)	–
Other net expense	(1)	(10)

**(g) Subsidiaries**

	2022	2021
On-balance sheet		
– Balances with banks and other financial institutions	958	1,950
– Placements with banks and other financial institutions	32,438	37,055
– Loans and advances to customers	1,396	–
– Financial investments	3,415	3,454
– Deposits from banks and other financial institutions	4,630	7,246
– Amounts sold under repurchase agreements	–	816
– Deposits from customers	5,206	3,957
Off-balance sheet		
– Irrevocable guarantees	38	–
– Irrevocable letters of credit	4,599	1,998
– Bills of acceptances	222	81
Interest income	943	1,124
Interest expense	(129)	(258)
Net fee and commission expenses	(93)	(1,294)
Operating expenses	(1,797)	(96)
Other net income	150	111

All significant balances and transactions between the Bank and its subsidiaries have been eliminated in the consolidated financial statements.

**61. Material related party transactions** *(continued)***(h) Key management personnel**

Key management personnel are those persons having authority and responsibility for planning, directing and controlling the activities of the Group, directly or indirectly, including directors, supervisors and executive officers.

	2022 in thousands	2021 in thousands
Salaries and other emoluments	38,249	39,264
Discretionary bonuses	–	11,087
Share-based payment	(41,066)	17,312
Contributions to defined contribution retirement schemes	–	567
Total	(2,817)	68,230

The above share-based payments represent the estimated fair value of the share appreciation rights granted (Note 39(a)(iii)) to senior management under the Bank's H share Appreciation Rights Scheme. The fair value is measured by using the Black-Scholes model and according to the accounting policy set out in Note 4(17); and the amounts are charged to the consolidated statement of profit or loss and other comprehensive income. As the share options may expire without being exercised, the directors consider the amounts disclosed are not representative of actual cash flows received or to be received by senior management.

**(i) Annuity scheme**

Apart from the obligation for defined contributions to the annuity scheme and normal banking transactions, no other transactions were conducted between the Group and the annuity scheme for the years ended 31 December 2022 and 2021.

**62. Non-controlling interests**

Non-controlling interests represent the interests that the Group does not hold in the subsidiaries, the Group does not have any subsidiary with significant non-controlling interests during the reporting period.

**(a) Perpetual debt capital**

CMB WLB, the Group's subsidiary, issued perpetual debt of US\$170 million on 27 April 2017 and another perpetual debt of US\$400 million on 24 January 2019. CMB WLB redeemed the USD170 million perpetual debt issued in 2017 during the current year. Movements of these perpetual debt capital are as follows:

	Principal	Distributions/Paid	Total
At 1 January 2022	3,636	–	3,636
Redemption in 2022	(1,104)	–	(1,104)
Distributions in 2022	–	202	202
Paid in 2022	–	(202)	(202)
Exchange difference	255	–	255
At 31 December 2022	2,787	–	2,787
	Principal	Distributions/Paid	Total
At 1 January 2021	3,753	–	3,753
Distributions in 2021	–	227	227
Paid in 2021	–	(227)	(227)
Exchange difference	(117)	–	(117)
At 31 December 2021	3,636	–	3,636

There is no maturity for the instruments and the payments of distribution can be cancelled at the discretion of the issuer. Cancelled interest is non-cumulative. There is no contractual obligation to deliver cash to other parties. During the years ended 31 December 2022 and 2021, CMB WLB did not cancel the payment of distribution and the corresponding amounts were paid to the perpetual debt holders accordingly.

## 63. Transfers of financial assets

The Group enters into transactions in the normal course of business by which it transfers recognised financial assets to third parties or to special purpose vehicles. In some cases, such transfers may give rise to full or partial derecognition of the financial assets concerned, and in other cases the transfers may not qualify for derecognition as the Group retains substantially all the risks and rewards of these transferred assets. As a result, the Group continues to recognise these transferred assets.

### Securitisation of credit assets

The Group enters into securitisation transactions in the normal course of business by which it transfers credit assets to special purpose trusts which in turn issue asset-backed securities to investors. The Group may acquire certain investments at the subordinated tranche level and accordingly, may retain parts of the risks and rewards of the transferred credit assets. The Group would determine whether or not to derecognise the associated credit assets by evaluating the extent to which it retains the risks and rewards of the assets.

With respect to the credit assets that are securitised and qualified for derecognition, based on the criteria set out in Note 4(5), the Group derecognises the transferred credit assets in their entirety. During the year ended 31 December 2022, the Group transferred loans amounting to RMB17,362 million (2021: RMB56,068 million) in securitisation arrangements, as well as substantially all the risks and rewards associated with the loans. The full amount of such securitised loans were then derecognised.

In the cases that the Group has neither transferred nor retained substantially all the risks and rewards of the transferred credit assets, and for which the Group retains control, the Group recognises an asset in the consolidated statement of financial position to the extent of the Group's continuing involvement in the transferred assets, the remaining portion is derecognised. The extent of the Group's continuing involvement is the extent of the risks and rewards exposed by the Group to the value changes of the transferred assets. For the year ended 31 December 2022, there were no new securitised credit assets in which the Group retained the continuing involvement (2021: RMB15,942 million). The carrying amount of the continuing involvement asset and the corresponding continuing involvement liability, are recognised in other assets and other liabilities in the consolidated statement of financial position, amounting to RMB5,274 million as at 31 December 2022 (31 December 2021: RMB5,274 million).

### Transfers of credit assets to third parties

During the year of 2022, in addition to securitisation transactions, the Group transferred credit assets amounting to RMB995 million (2021: RMB548 million) to independent third parties directly during the year ended 31 December 2022. The Group determined that these transferred assets qualified for full derecognition, based on the criteria set out in Note 4(5), since the Group has transferred substantially all the risks and rewards of the transferred assets to the counterparties.

### Repurchase transactions and securities lending transactions

Transferred financial assets that do not qualify for derecognition mainly include debt securities, discounted bills held by counterparties as collateral under repurchase agreements and securities lent to counterparties under securities lending agreements. The counterparties are allowed to sell or repledge those securities sold under agreements to repurchase in the absence of default by the Group, but has an obligation to return the securities at the maturity of the contract. The Group determines that it retains substantially all the risks and rewards of these securities and therefore does not derecognise them. Instead, it recognises a financial liability for cash received as collateral.



## 64. Interests in unconsolidated structured entities

The scope of the Group's consolidated financial statements is determined on a control basis. Control means that the investor has the power over the investee, enjoys variable returns by participating in the relevant activities of the investee, and has the ability to use the power to affect the amount of its return.

The Group has the power over structured entities, and the other investors have no substantive rights. In the meantime, the Group is entitled to variable returns, and will consolidate entities, in which the Group has the right to affect the amount of its return.

In addition to the above-mentioned structured entities that have been included in the Group's consolidated financial statements, the Group's equity information on structured entities which is not covered by the consolidated financial statements is as follows:

### (a) Interests in the structured entities sponsored by third parties institutions

The Group holds interests in some structured entities sponsored by third parties through investments in the units issued by these structured entities. Such interests include investments in wealth management products, asset management schemes, trust beneficiary rights, assets-backed securities and fund investments, and the Group does not consolidate these structured entities. The purpose of the Group holding these structured entities is to obtain investment income, capital appreciation or both.

The following tables set out an analysis of the balance of interests held by the Group in the structured entities sponsored by third parties and an analysis of the line items in the consolidated statement of financial positions as at 31 December 2022 and 31 December 2021 in which assets are recognised relating to the Group's interests in structured entities sponsored by third parties:

2022					
Balance					
	Financial investments at FVTPL	Debt investments at amortised cost	Debt investments at FVTOCI	Total	Maximum exposure
Asset management schemes	-	48,362	-	48,362	48,362
Trust beneficiary rights	-	37,954	-	37,954	37,954
Asset-backed securities	835	1,031	170	2,036	2,036
Fund investments	186,311	-	-	186,311	186,311
Wealth management products	110	-	-	110	110
Total	187,256	87,347	170	274,773	274,773

2021					
Balance					
	Financial investments at FVTPL	Debt investments at amortised cost	Debt investments at FVTOCI	Total	Maximum exposure
Asset management schemes	-	67,432	-	67,432	67,432
Trust beneficiary rights	-	34,112	-	34,112	34,112
Asset-backed securities	2,537	307	1,205	4,049	4,049
Fund investments	156,112	-	-	156,112	156,112
Total	158,649	101,851	1,205	261,705	261,705

The maximum exposures of investments in funds, trust beneficiary rights, asset management schemes, wealth management products and asset-backed securities are the balance of these assets.

## 64. Interests in unconsolidated structured entities *(continued)*

### (b) Interests in the unconsolidated structured entities sponsored by the Group

The unconsolidated structured entities sponsored by the Group include non-principal-guaranteed wealth management products, funds and assets management schemes. The nature and purpose of these structured entities are to generate fees from managing assets on behalf of investors. These structured entities are financed through the issuance of investment products to investors. Interest of the Group in these unconsolidated structured entities is limited to fees and commissions charged for management services provided.

As at 31 December 2022, the amount of unconsolidated non-principal-guaranteed wealth management products sponsored by the Group was RMB2,667,663 million (31 December 2021: RMB2,777,537 million).

As at 31 December 2022, the amount of unconsolidated funds sponsored by the Group was RMB1,219,793 million (31 December 2021: RMB1,200,150 million).

As at 31 December 2022, the amount of unconsolidated asset management schemes sponsored by the Group was RMB189,332 million (31 December 2021: RMB174,555 million).

As at 31 December 2022, amounts held under resale agreements transacted between the Group and the non-principal-guaranteed wealth management products sponsored by the Group were nil (31 December 2021: RMB30,896 million). The above transactions were conducted in accordance with normal business terms and conditions.

As at 31 December 2022, the amount of unconsolidated non-principal-guaranteed wealth management products held by the Group was RMB2,433 million (31 December 2021: RMB2,396 million).

As at 31 December 2022, the amount of unconsolidated funds held by the Group was RMB14,228 million (31 December 2021: RMB6,658 million).

During the year ended 31 December 2022, the amount of unconsolidated non-principal-guaranteed wealth management products sponsored by the Group transferred to investments measured at amortised cost of the Group was RMB11,143 million (2021: RMB11,004 million).

During the year ended 31 December 2022, the amount of fee and commission income the Group received from such non-principal-guaranteed wealth management products was RMB17,037 million (2021: RMB11,998 million).

During the year ended 31 December 2022, the amount of fee and commission income the Group received from such unconsolidated funds was RMB5,627 million (2021: RMB4,223 million).

During the year ended 31 December 2022, the amount of fee and commission income the Group received from such unconsolidated asset management schemes was RMB526 million (2021: RMB627 million).

The total amount of non-principal-guaranteed wealth management products sponsored by the Group after 1 January 2022 with a maturity date before 31 December 2022 was RMB620,318 million (2021: RMB1,529,874 million).

## 65. Comparative figures

Certain comparative figures in the notes have been re-presented to conform to presentation in current year.

## 2【主な資産・負債及び収支の内容】

「1 財務書類」を参照されたい。

## 3【その他】

### (1) 後発事象

特になし。

### (2) 訴訟等

「1 財務書類」に掲げる財務書類に対する注記58(c)を参照されたい。

## 4【国際財務報告基準と日本における会計原則および会計慣行の主要な相違】

「1 財務書類」に掲げる連結財務書類は、香港証券取引所の上場規則によって認められている国際財務報告基準に準拠して作成されている。当行の会計方針と、日本において一般に認められている会計原則との主要な相違は以下の通りである。

### (1) 連結

連結財務諸表には、親会社および親会社が支配する会社（すなわち、特別目的事業体を含む子会社）の財務諸表が含まれている。IFRSでは、すべての被支配企業に適用される単一の連結モデルであるIFRS第10号が適用される。IFRS第10号において、投資者は、投資先への関与により生じる変動リターンに対するエクスポージャーまたは権利を有し、かつ、投資先に対するパワーにより当該リターンに影響を及ぼす能力を有している場合には、投資先を支配しているため連結する。

連結財務諸表は、統一した会計方針を使用して作成される。

日本の会計基準でも連結範囲は支配に基づき判断される。支配は一定割合の議決権の所有に加えてその企業の意思決定機関を支配している場合に存在する。一定のSPEについては、一定の要件を満たす場合に子会社に該当しないものとして推定され、連結することが求められない。

親会社および子会社が連結財務諸表を作成するために採用する会計方針は、原則として統一されなければならない。「連結財務諸表作成における在外子会社等の会計処理に関する当面の取扱い」によれば、在外子会社等の所在地国の会計原則に準拠して作成された財務諸表は原則として親会社の会計方針（日本の会計原則）に修正する必要があるが、在外子会社等の財務諸表がIFRSまたは米国会計基準に準拠して作成されている場合は、のれんの償却、退職給付会計における数理計算上の差異の費用処理、研究開発費の支出時費用処理、ならびに投資不動産の時価評価および固定資産の再評価等の一定の項目の修正を除き、これを連結決算手続上利用できることと規定されている。

### (2) 受取利息の認識

当グループは、受取利息の認識の際に、実効金利法を用いている。

日本の会計基準上、受取利息の認識は利息法が原則であるが、一定の条件の下で簡便法としての定額法の採用も認められている。

### (3) 金融商品の分類および測定

IFRS第9号の範囲内に含まれるすべての認識された金融資産は、契約上のキャッシュ・フローの特性および事業モデルに基づいて当初分類および測定が求められている。具体的には、契約上のキャッシュ・フローの回収を目的とする事業モデルにおいて保有され、元本および元本残高に対する利息の支払いのみの契約上のキャッシュ・フローをもたらす負債商品は、原則としてその後の会計期間において償却原価で測定される。

契約上のキャッシュ・フローの回収と金融資産の売却の両方によってその目的が達成される事業モデルにおいて保有され、元本および元本残高に対する利息の支払いのみのキャッシュ・フローを特定の日に生じさせる契約条件を有する負債商品は、通常、その他包括利益を通じて公正価値で測定される（FVTOCI）。

その他の負債商品および株式投資はすべて、その後の会計期間末において公正価値で測定される。

さらに、IFRS第9号のもとでは、企業は、通常、株式投資（トレーディング目的以外で保有しているもの）の当初認識後の公正価値の変動をその他包括利益に表示し、配当金収益のみを損益に認識するという取消不能の選択をすることができる。



金融負債の分類は、以下を除き、すべて償却原価で測定するものに分類される。

- ・ FVTPLで測定される金融負債（負債であるデリバティブおよび公正価値オプションに指定された金融負債を含む。）
- ・ 金融資産の譲渡が認識の中止要件を満たさない場合に生じる金融負債
- ・ 金融保証契約
- ・ 所定の要件を満たすローン・コミットメント
- ・ 企業結合において取得企業が認識した条件付き対価

日本の会計基準においては、有価証券は保有目的で区分（売買目的有価証券、満期保有目的の債券、子会社および関連会社株式、その他有価証券）した貸借対照表額や評価差額の処理が定められている。なお、市場価格のない株式等については、時価評価しない。

また、債権は取得価額または償却原価から貸倒引当金を控除した金額をもって貸借対照表価額とする。

デリバティブは原則として時価をもって貸借対照表額とし、評価差額は当期の損益として処理される。

金融負債は、債務額または償却原価をもって貸借対照表額とする。

#### (4) 金融資産の減損

IFRS第9号は、金融資産の減損に関して予想信用損失モデルの適用を義務付けている。予想信用損失モデルは、企業に各報告日における予想信用損失およびこれらの予想信用損失の変動を当初認識後の信用リスクの変動を反映するように会計処理することを要求している。

日本の会計基準においては、回収不能と判断された金額に対して一般貸倒引当金、または個別貸倒引当金が計上される。一般貸倒引当金は、個別に回収不能と認められた貸付金に対して、過去の貸倒実績等に基づいて計上される。個別貸倒引当金は、個別に回収不能と認められた貸付金に適用され、各債務者の支払い能力調査に基づいて計上される。貸倒引当金は資産の控除項目として計上される。

時価のある有価証券(売買目的有価証券を除く)の市場価格が著しく下落した場合、公正価値の回復が見込まれる場合を除き、減損損失を計上しなければならない。

#### (5) 支払承諾

支払承諾はオフ・バランスシート取引として会計処理され、偶発債務および契約債務として開示されている。

日本の会計基準においては、支払承諾は負債として貸借対照表に、同額の資産である支払承諾見返と共に計上される。

#### (6) 金融資産移転時の認識の中止

金融資産を譲渡したときは、金融資産のリスクと経済価値が実質的にすべて他に移転したか、譲受人が自由処分権を取得している場合に、金融資産の認識は中止される。

日本の会計基準においては、財務構成要素アプローチに基づき、金融資産の契約上の権利に対する支配が他に移転した場合に、金融資産の認識は中止される。

#### (7) ヘッジ会計

IFRSのもとでは、一定の条件が満たされた場合は、下記の種類のヘッジ関係に係るヘッジ会計が認められている。

- ・ 公正価値ヘッジ（すなわち、特定のリスクに起因し、損益に影響を与える可能性がある、公正価値の変動に対するエクスポージャーのヘッジ） - ヘッジ会計上、ヘッジ手段の損益は損益計算書に認識されている。また、ヘッジされたリスクに起因するヘッジ対象の損益はヘッジ対象の帳簿価額により調整され、損益計算書に認識されている。
- ・ キャッシュ・フロー・ヘッジ（すなわち、特定のリスクまたは発生の可能性の高い予定取引に起因し、損益に影響を与える可能性がある、キャッシュ・フローの変動可能性に対するエクスポージャーのヘッジ） - ヘッジ会計上、ヘッジ手段の損益のうち有効なヘッジと判断される部分は資本の部において直接認識され、非有効部分は損益計算書に認識されている。

日本の会計基準においては、デリバティブ金融商品について、会計基準により定められたヘッジ会計の要件を満たす場合には、原則として、「繰延ヘッジ会計」（ヘッジ手段の損益を貸借対照表の「純資産の部」に計上し、ヘッジ対象が損益認識されるのと同じ会計期間に損益計算書に認識する。）を適用し、ヘッジ対象である資産または負債に係る

相場変動等を会計基準に基づき損益に反映させることができる場合には、「時価ヘッジ会計」(ヘッジ手段の損益を発生時に認識するとともに、同一の会計期間にヘッジ対象の損益も認識する。)を適用できる。

#### (8) 損益を通じて公正価値評価される金融資産および負債

トレーディング目的以外の金融資産負債について、一定の条件を満たす場合、当グループは、損益を通じて公正価値評価される金融資産および負債として指定することが出来る。当該金融資産および負債は公正価値評価され、公正価値の変動による損益は、発生した時点で連結損益計算書に計上される。また、公正価値オプションに指定された金融負債の公正価値変動のうち、自己の信用リスクの変動に起因する部分は、その他包括利益に計上される。なお、損益へのリサイクリングは禁止される。

日本の会計基準においては、このような公正価値オプションに関する規定はない。

#### (9) 有形固定資産の減損

資産の帳簿価額は、取締役によって定期的に見直され、減損の兆候の有無が判断されている。減損の兆候があった場合は、当該資産の回収可能価額が見積られる。回収可能価額は、資産の処分による予想現金受取額または将来現金流入額の現在価値である。当該資産の正味帳簿価額がその回収可能価額を超過した場合には、減損損失が連結損益計算書に認識される。過年度に認識された減損損失がもはや存在しない、あるいは減少したという証拠が存在する場合、それが認識された事業年度の連結損益計算書に減損戻入金額が貸記される。

日本では、長期性資産の割引前見積将来キャッシュ・フローが帳簿価額より低い場合に、当該帳簿価額と回収可能価額の差額が減損損失として計上される。日本の会計基準では減損損失の戻し入れは認められていない。

#### (10) 退職給付債務

確定給付型年金制度のすべての数理計算上の差異は直ちにその他包括利益に認識される。制度資産からの収益は、資産に対して割引率を適用することで計算される。

日本の会計基準においては、数理計算上の差異は、発生年度に費用処理するか、平均残存勤務期間内の年数で按分して費用処理する。制度資産からの収益は、長期期待運用収益率により計算される。

#### (11) のれん

IFRSのもとでは、企業結合で取得したのれんは償却される代わりに毎年減損についてテストを実施する。

日本の会計基準においては、企業結合により発生するのれんは20年以内の期間にわたり定額法その他の合理的方法により規則的に償却され、必要に応じて減損テストの対象となる。

#### (12) リース

IFRSのもとでは、リース契約の会計処理を定めたIFRS第16号が適用されている。借手に関しては、リース開始時にほとんどすべてのリースについて使用権資産とリース負債が貸借対照表に認識される。その後、使用権資産は、通常リース期間にわたり減価償却される。リース負債については、リース負債の残高に対して、残りの期間を通じて利回りが一定になるような利率を乗じて利息費用が計上され、利息費用との差額は、リース負債の返済として会計処理される。

貸手に関しては、原資産の所有に伴うリスクと経済価値が実質的にすべて借手に移転しているか否かに基づいてリースをファイナンス・リース、それ以外をオペレーティング・リースに分類する。ファイナンス・リース取引については、原資産の認識が中止され、代わりに債権が認識される。その後は一定率の期間収益が発生するように金融収益が計上される。オペレーティング・リースについてはリース料総額をリース期間にわたり規則的な方法で収益認識される。

日本の会計基準においては、リース取引をファイナンス・リース取引とオペレーティング・リース取引に分類し、基本的に、資産の所有に伴うリスクと経済的便益のほとんどすべてが実質的に借手に移転している場合には、ファイナンス・リース取引、それ以外をオペレーティング・リース取引とする。また、ファイナンス・リース取引については売買と同様の会計処理を行い、オペレーティング・リース取引については賃貸借と同様の会計処理を行う。なお、貸手の会計処理はIFRSと類似している。

## 第7【外国為替相場の推移】

### 1【最近5年間の事業年度別為替相場の推移】

決算年月	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
最高	17.48	16.75	16.06	18.06	21.01
最低	16.01	14.86	14.79	15.78	17.93
平均	16.64	15.81	15.44	17.10	19.49
期末	16.16	15.60	15.81	18.05	19.10

単位：1人民元の円相当額（円／人民元）

出典：中国外貨取引センターが公表している人民元／100円のデータを基に、円／人民元ベースに換算したものである。

### 2【最近6月間の月別為替相場の推移】

月別	2022年7月	2022年8月	2022年9月	2022年10月	2022年11月	2022年12月
最高	20.59	20.09	20.83	21.01	20.58	19.74
最低	19.94	19.50	20.17	20.36	19.28	18.94
平均	20.32	19.88	20.44	20.66	19.90	19.35

単位：1人民元の円相当額（円／人民元）

出典：中国外貨取引センターが公表している人民元／100円のデータを基に、円／人民元ベースに換算したものである。

### 3【最近日の為替相場】

19.59円（2023年6月1日）

単位：1人民元の円相当額（円／人民元）

出典：中国外貨取引センターが公表している人民元／100円のデータを基に、円／人民元ベースに換算したものである。

## 第8【本邦における提出会社の株式事務等の概要】

以下は、H株式に関する株式事務、権利行使の方法および関連事項の概要である。

### 1 本邦における株式事務等の概要

#### (1) 株式の名義書換取扱場所および名義書換代理人

日本においては、H株式の名義書換取扱場所または名義書換代理人は存在しない。

H株式の取得者（以下「実質株主」という。）は、その取得窓口となった証券会社（以下「窓口証券会社」という。）との間に外国証券取引口座約款（以下「約款」という。）を締結する必要があり、当該約款により、実質株主の名義で外国証券取引口座（以下「取引口座」という。）が開設される。売買取引の実行、売買代金の決済、証券の保管および株式に関するその他の取引に関する事項はすべてこの取引口座を通じて処理される。この場合、取引の実行、売買代金の決済および株式の取引に関するその他の支払についての各事項はすべて当該契約の各条項に従い処理される。

#### (2) 株主に対する特典

なし

#### (3) 株式の譲渡制限

H株式に譲渡制限はない。

#### (4) その他株式事務に関する事項

##### (a) 株券の保管

取引口座を通じて保有されるH株式は、窓口証券会社を代理する香港における保管機関（以下「現地保管機関」という。）またはその名義人の名義で登録され、現地保管機関により保管される。

##### (b) 配当等基準日

当行から配当等を受取る権利を有する実質株主は、当行取締役会が配当支払等のために定めた基準日現在、H株式を実質的に所有する者である。

##### (c) 事業年度の終了

毎年12月31日

##### (d) 公告

日本においてはH株式に関する公告を行わない。

##### (e) 実質株主に対する株式事務に関する手数料

実質株主は、窓口証券会社の定めるところにより、約款に規定された手続および行為のための手数料および費用として、取引口座を維持するための管理料を支払う。さらに、実質株主は、約款に規定されたその他の費用を支払う可能性もある。

## 2 日本における実質株主の権利行使方法

### (1) 実質株主の議決権の行使に関する手続

議決権の行使は、実質株主が窓口証券会社を通じて行う指示に基づき、現地保管機関またはその名義人が行う。ただし、実質株主が指示をしない場合、現地保管機関またはその名義人は実質株主のために保有されているH株式について議決権を行使しない。

### (2) 配当請求に関する手続

#### (a) 現金配当の交付手続

約款に従い、現金配当は、窓口証券会社が現地保管機関またはその名義人から一括受領し、取引口座を通じて実質株主に交付する。

#### (b) 株式配当等の交付手続

株式分割により割当てられた株式は、現地保管機関またはその名義人の名義で登録され、窓口証券会社はかかる株式を取扱口座を通じて処理する。ただし、実質株主から別段の要請がない限り、売買数が香港における売買単位未満の端数の株式については、窓口証券会社を代理する現地保管機関により香港で売却され、その純手取金は、窓口証券会社が現地保管機関またはその名義人から一括受領し、取引口座を通じて実質株主に支払う。

株式配当により割当てられた株式は、実質株主から別段の要請がない限り、窓口証券会社を代理する現地保管機関により香港で売却され、その純手取金は、窓口証券会社が現地保管機関またはその名義人から一括受領し、取引口座を通じて実質株主に支払う。

### (3) 株式の譲渡に関する手続

実質株主がその持ち株の売却注文をなす際の実質株主と窓口証券会社との間の決済は円貨または窓口証券会社が応じる範囲内の外貨による。窓口証券会社は、国内店頭取引についてのH株式の決済を口座の振替によって行い、H株式の取引の結果として現地保管機関のH株式数残高に増減が生じた場合には、H株式の名義書換の手続に従って香港の登録機関において関係H株式の譲渡手続がとられる。

### (4) 新株引受権

H株式について新株引受権が与えられる場合には、新株引受権は、通常、窓口証券会社を代理する現地保管機関により香港で売却され、その純手取金は、窓口証券会社が現地保管機関またはその名義人から一括受領し、取引口座を通じて実質株主に支払う。

### (5) 本邦における配当等に関する課税上の取扱い

本邦における課税上の取扱いの概要は以下の通りである。

#### (a) 配当金

日本において支払の取扱者（証券会社等）を通じて実質株主に対して支払われる配当金は、原則、配当所得として所得税15%（日本国居住者の場合は他に住民税5%）の現行の税率で源泉徴収により課税される。

日本国居住者が支払を受けた配当金に係る配当所得を確定申告する場合には、総合課税および申告分離課税のいずれかを統一選択することになる。配当所得に係る確定申告不要の特例を利用する場合は、原則として、当該配当所得の金額の多寡にかかわらず源泉徴収で課税関係が終了する。申告分離課税を選択した場合は、一定の要件のもとに上場株式等の譲渡損失および一定の公社債の譲渡損失との損益通算が可能である。

外国所得税が源泉徴収されている場合には、一定の要件のもとに、外国税額控除の対象となり、総合課税または申告分離課税により確定申告することにより、申告納付すべき所得税額から控除される。

日本の法人である実質株主の場合には、支払を受けた配当金は税法上益金として課税される。なお、日本における支払の取扱者からその交付を受ける際に源泉徴収された税額については、日本の税法に従って税額控除を受けることができる。

#### (b) 売買損益

日本国居住者である実質株主が株式を譲渡した場合には、その譲渡所得は申告分離課税の対象となる。

株式の譲渡に適用される税率は、譲渡所得等の金額の20%（所得税15%、住民税5%）である。また、その年分の譲渡損益について一定の要件を満たす場合には、その年分の上場株式等に係る配当所得の金額、譲渡損益等の金額および一定の公社債の利子所得、譲渡損益等との損益通算が可能である。また、一定の要件のもとに損益通算してもなお控除しきれない損失の金額については、翌年以降3年間にわたり繰越控除することができる。

日本の法人である実質株主が株式を譲渡した場合には、その譲渡損益は課税所得計算に算入する。

なお、上記の所得税に加え、東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法により2013年1月1日から2037年12月31日までの間、源泉徴収される所得税額に2.1%の税率を乗じて得られる金額の復興特別所得税が課される。

#### (c) 相続税

相続または遺贈によってH株式を取得した日本国居住者の実質株主は、相続税法による相続税が課される可能性がある。

具体的な課税上の取扱いについては、投資家各自の税務顧問に確認されたい。

#### (6) 実質株主に対する諸通知

当行が登録株主に対して行う通知および通信は、現地保管機関またはその名義人に対してなされる。現地保管機関はこれを窓口証券会社に送付する義務があり、窓口証券会社はこれをさらに各実質株主に送付する義務がある。実費は実質株主に請求される。ただし、実質株主がその送付を希望しない場合または当該通知もしくは通信の性格上重要性が乏しい場合には、送付することなく窓口証券会社の店頭へ備え付け、実質株主の閲覧に供される。

## 第9【提出会社の参考情報】

### 1 【提出会社の親会社等の情報】

該当事項なし

### 2 【その他の参考情報】

最近事業年度の開始日から本書提出日までの間において、当行は下記の書類を関東財務局長に提出している。

提出書類	提出日
有価証券報告書および添付書類	2022年 6 月 1 日
半期報告書および添付書類	2022年 9 月27日

**第二部【提出会社の保証会社等の情報】**

該当事項なし



## 独立監査人の監査報告書

(翻訳)

招商銀行股份有限公司株主各位

(中華人民共和國において有限責任株式会社として設立)

### 監査意見

我々は、168ページから315ページ(訳注:原文のページ数である。)に記載の招商銀行股份有限公司(以下、「銀行」という。)およびその子会社(以下、総称して「グループ」という。)の連結財務諸表の監査を行った。当該財務諸表は、2022年12月31日現在の連結財政状態計算書ならびに2022年12月31日に終了した事業年度の連結損益計算書、連結損益およびその他包括利益計算書、連結株主持分変動計算書、および連結キャッシュ・フロー計算書、ならびに重要な会計方針の要約を含む連結財務諸表注記で構成されている。

我々の意見では、当該連結財務諸表は、2022年12月31日現在のグループの連結財政状態ならびに2022年12月31日に終了した事業年度のグループの連結業績および連結キャッシュ・フローに関して、国際財務報告基準(以下、「IFRS」という。)に従って真実かつ公正な概観を示しており、香港公司条例の開示規定に従って適切に作成されている。

### 監査意見の基礎

我々は、国際監査基準(以下、「IAS」という。)に準拠して監査を行った。これらの基準に基づく我々の責任については、本報告書の「連結財務諸表の監査に係る監査人の責任」セクションに詳しく記載されている。我々は、国際会計士倫理基準審議会の職業会計士の倫理規程(以下、「規程」という。)に従って、グループから独立しており、規程で定められているその他の倫理上の責任を果たした。我々が得た監査証拠は、我々の監査意見表明のための十分かつ適切な基礎を提供していると判断している。

### 監査上の主要な事項

監査上の主要な事項とは、我々の職業専門家としての判断において、当期の連結財務諸表監査において最も重要な事項である。これらの事項は、連結財務諸表全体に対する監査および監査意見の形成において対応したものであり、我々はこれらの個別の項目に対しては意見を表明しない。

#### **償却原価で測定される顧客に対する貸出金、償却原価で測定される負債投資ならびに金融保証および貸付コミットメントの予想信用損失引当金**

##### **監査上の主要な事項**

我々は、償却原価で測定される顧客に対する貸出金、償却原価で測定される負債投資ならびに金融保証および貸付コミットメントの予想信用損失(以下、「ECL」という。)引当金を、これらの項目の残高およびECLの見積りの算定における経営陣の重要な判断および見積りの重要性により、監査上の主要な事項として特定した。

2022年12月31日現在、グループは、注記22(a)に記載されているように、5,443,438百万人民元の償却原価で測定される顧客に対する貸出金および255,759百万人民元の予想信用損失引当金を計上した。注記23(b)に記載されているように、グループは、1,599,139百万人民元の償却原価で測定される負債投資および43,682百万人民元の予想信用損失引当金を計上した。注記42に記載されているように、グループは、20,217百万人民元の金融保証および貸付コミットメントの予想信用損失引当金を計上した。

ECLの測定に関する重要な判断および見積りには、モデルの設計およびその適用に関する経営陣の重要な判断および見積り、信用リスクの著しい増大（以下、「SICR」という。）の特定、信用減損事象の特定、ECLモデルに使用されるインプットの決定および組入れる将来予測的な情報の決定が含まれる。

償却原価で測定される顧客に対する貸出金、償却原価で測定される負債投資ならびに金融保証および貸付コミットメントの予想信用損失引当金を決定する際に適用される重要な会計方針、ならびに重要な会計上の見積りおよび判断は、連結財務諸表の注記4(5)および5(4)に記載されている。

### 当該事項に対する監査上の対応

償却原価で測定される顧客に対する貸出金、償却原価で測定される負債投資ならびに金融保証および貸付コミットメントの予想信用損失引当金に関する我々の監査手続きには、次のものが含まれる。

我々は、経営陣のプロセスを理解し、グループのECLの見積りに関する様々なプロセスに渡る主要な統制の整備および運用の有効性を検証した。これらの統制には、ECLモデルの策定、検証およびレビュー、手動入力統制および自動伝送統制を含むモデルのデータ入力の統制、ECLモデルの計算プロセスの自動統制、SICRの指標および減損の事象の特定の統制が含まれる。

我々は、グループが適用したECLモデルが、考慮すべきすべてのエクスポージャーを網羅しているかどうかを評価した。また、償却原価で測定される顧客に対する貸出金、償却原価で測定される負債投資ならびに金融保証および貸付コミットメントの様々なポートフォリオについて、グループのECLモデルの手法の適切性を評価する際に我々の手助けとなるよう、我々のモデル専門家を参加させた。我々は、関連文書をレビューし、ECLモデルの適切性および適用性を評価した。

我々は、我々のモデル専門家の支援を受けて、ECLモデルにおける主要な定義ならびにパラメーターおよび仮定の適用を評価した。これには、ステージの決定、デフォルト確率、デフォルト時損失率、デフォルト時エクスポージャーおよび将来予測的な情報が含まれる。我々は、ECLモデルにおける計算が手法と整合しているか否か確認するためにサンプルを抽出した。我々は、SICRおよび信用減損事象の発生、および当該事象の識別が適切かつ適時に行われているか否かに関する経営陣による重要な判断の適切性を評価するための与信レビューを実施するためにサンプルを抽出した。さらに、入力データの完全性および正確性を評価するために、ECLモデルの入力データのサンプルを抽出し、検証した。ステージ3の償却原価で測定される貸出金および償却原価で測定される負債投資については、グループが見積もった借手からの将来キャッシュ・フロー（担保の予想回収可能額を含む）の妥当性を検証するためのサンプルを抽出し、信用損失引当金に重要性のある虚偽表示がないか検証した。

### 組成された事業体の連結

#### 監査上の主要な事項

グループが組成された特定の事業体を支配しているか否かを決定する際に、経営陣は重要な判断を適用しているため、我々は、組成された事業体の連結を監査上の主要な事項として特定した。

組成された事業体には、連結財務諸表の注記64に開示されているように、資産運用商品、資産運用スキーム、信託受益権、資産担保証券およびファンド等が含まれる。

注記4(1)に説明されているように、組成された事業体の連結は、支配に基づき決定される。投資会社が被投資会社に対するパワーを有しており、被投資会社に関与することによって変動リターンにさらされるか、または変動リターンに対する権利を有していて、かつそのリターンに影響を及ぼすパワーを使用する能力を有している場合に、支配が達成される。グループが組成された事業体を支配しているかどうかについて評価を行う際に、グループは、特に組成された事業体に対するグループの意思決定権限の範囲、他の当事者が有する権利、組成された事業体の管理に関する報酬、および組成された事業体に対して保有する持分による収益の変動性に対するグループのエクスポージャー等、複数の要素を考慮している。

#### 当該事項に対する監査上の対応

組成された事業体の連結に関する我々の手続きには、次のものが含まれる。

我々は、組成された事業体に対する持分の連結範囲を決定する際の経営陣のプロセスに関連する主要な統制の整備および運用の有効性を理解および検証し、ならびに組成された事業体の設立目的を理解した。

我々は、サンプルベースで関連する契約の条件をレビューし、組成された事業体に対するグループのパワー、組成された事業体の変動リターンに関するグループの権利および収益に影響を及ぼすパワーを使用するグループの能力を評価し、組成された事業体におけるグループの支配の有無についての経営陣の判断および連結基準を満たしているか否かに関する結論について検討した。

#### その他の情報

銀行の取締役は、その他の情報にも責任がある。その他の情報は、年次報告書に含まれる情報で構成されているが、連結財務諸表および関連する我々の監査報告書を含まない。

我々の連結財務諸表についての意見は、その他の情報をカバーしておらず、我々は、その他の情報に対していかなる形式の保証も表明しない。

連結財務諸表の監査に関連する我々の責任は、その他の情報を読むことであり、その上で、その他の情報が、連結財務諸表または我々が監査で入手した知識と著しく矛盾していないか、あるいは重要な虚偽表示がないかについて検討することである。我々の監査手続きに基づいて、当該その他の情報に重要な虚偽記載があると結論づけられた場合、我々はこの事実の報告を求められる。この点について我々から報告すべき事項はない。

#### 連結財務諸表における取締役およびガバナンス担当者の責任

銀行の取締役は、IFRSおよび香港公司条例の開示規定に準拠して真実かつ公正な概観を示す連結財務諸表を作成する責任、ならびに不正または誤謬による重要な虚偽記載のない連結財務諸表の作成に必要と銀行の取締役が考える内部統制に対する責任がある。

連結財務諸表の作成において、銀行の取締役は、グループが継続企業として存続する能力を評価し、該当する場合には、継続企業に関する事項について開示し、グループの清算もしくは事業を終了する意思がある場合、または現実的にそれ以外の代替手段がない場合を除き、継続企業を前提とした会計を適用する責任がある。

ガバナンス担当者は、グループの財務報告プロセスを監視する責任を担う。

## 連結財務諸表の監査に関する監査人の責任

我々の監査の目的は、全体としての連結財務諸表に、不正または誤謬による重要な虚偽記載がないかどうかに関する合理的な保証を得て、株主全体を唯一の報告先とする意見を含めた監査報告書を発行することにあり、その他の目的はない。我々は本報告書の内容に関して、他者に対する責任を引き受けることもなく、また認めるものでもない。合理的な保証は、高い水準の保証であるが、ISAに準拠した監査が、重要な虚偽記載が存在する場合、当該事項を必ず指摘することを確認するものではない。虚偽記載は、不正または誤謬から発生する可能性があり、個別に、または集計で、連結財務諸表の利用者の経済的意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

ISAに準拠した監査の一環として、我々は監査を通じて職業専門家としての判断を行使し、職業専門家としての懐疑心を保持し、また以下を行った。

- ・不正または誤謬による連結財務諸表の重要な虚偽記載リスクの識別及び評価、これらリスクに対応した監査手続きの立案および実施、ならびに我々の監査意見の基礎となる十分かつ適切な監査証拠の入手。不正には、共謀、文書の偽造、意図的な除外、虚偽の言明、または内部統制の無効化を伴うため、不正による重要な虚偽記載リスクを発見できないリスクは、誤謬による重要な虚偽表示を発見できないリスクよりも高くなる。
- ・状況に応じた適切な監査手続きを立案するための監査に関連する内部統制の理解。ただし、これは、グループの内部統制の有効性に対する意見を表明するためではない。
- ・適用されている会計方針の適切性、ならびに銀行の取締役によって行われた会計上の見積り、および関連する開示の妥当性の評価。
- ・銀行の取締役が、継続企業を前提とした会計を使用することの適切性についての結論、および入手した監査証拠に基づいてグループの継続企業としての事業継続能力に重要な疑義を及ぼす事象または状況に関する重要な不確実性の存在についての結論。重要な不確実性が存在する場合、我々は、連結財務諸表の関連開示について、我々の監査報告書において注意喚起をすることが求められ、または、そのような開示が不適切である場合には、我々の監査意見を修正する。我々の結論は監査報告書の日付までに入手した監査証拠に基づいている。ただし、将来の事象または状況によりグループが継続企業として存続しなくなる場合がある。
- ・連結財務諸表全体の表示、構成及び内容の評価。ここには開示、ならびに連結財務諸表が、公正な表示を達成する形で裏付けとなる取引および事象を表しているか否かの評価が含まれる。
- ・連結財務諸表に対する意見表明のための、グループ内の企業活動または事業活動の財務情報に関する十分かつ適切な監査証拠の入手。我々はグループ監査を指示、監督及び実施する責任がある。我々は監査意見について単独で責任を負う。

我々は、その他の事項とともに、監査の範囲および時期に関する監査計画等についてガバナンス担当者に通知し、我々が監査において識別した内部統制における重要な不備を含む重要な監査上の発見事項について通知する。

我々はまた、ガバナンス担当者に対して我々が独立性に関する倫理規定に準拠している旨の宣誓書を提示する。また、ガバナンス担当者に対して、我々の独立性に影響することが合理的に考えられるすべての関係およびその他の事項を通知し、該当する場合には、脅威を排除するために講じられた措置または適用されたセーフガードを通知する。

我々は、ガバナンス担当者に伝達された事項の中で、当期の連結財務諸表監査において最も重要と考える事項を決定しており、それが監査上の主要な事項である。我々は、法令または規制により一般開示が制限されている、あるいは、極端に稀な状況において、監査意見に記載することの弊害が公共の利益を超えると合理的に予想され、当該事項を監査報告書に記載すべきでない和我々が判断した場合を除き、それらの事項を監査報告書に記載している。

本独立監査人の監査報告書に関する監査のエンゲージメント・パートナーはシーチョンファイである。

**デロイト・トウシュ・トーマツ**

公認会計士

香港

2023年3月24日

[次へ](#)

## Independent Auditor's Report

To the shareholders of China Merchants Bank Co., Ltd.

*(A joint stock company incorporated in the People's Republic of China with limited liability)*

### Opinion

We have audited the consolidated financial statements of China Merchants Bank Co., Ltd. (the "Bank") and its subsidiaries (collectively referred to as the "Group") set out on pages 168 to 315, which comprise the consolidated statement of financial position as at 31 December 2022, and the consolidated statement of profit or loss, consolidated statement of profit or loss and other comprehensive income, consolidated statement of changes in equity and consolidated statement of cash flows for the year then ended, and notes to the consolidated financial statements, including a summary of significant accounting policies.

In our opinion, the consolidated financial statements give a true and fair view of the consolidated financial position of the Group as at 31 December 2022, and of its consolidated financial performance and its consolidated cash flows for the year then ended in accordance with International Financial Reporting Standards ("IFRSs") and have been properly prepared in compliance with the disclosure requirements of Hong Kong Companies Ordinance.

### Basis for Opinion

We conducted our audit in accordance with International Standards on Auditing ("ISAs"). Our responsibilities under those standards are further described in the Auditor's Responsibilities for the Audit of the Consolidated Financial Statements section of our report. We are independent of the Group in accordance with the International Ethics Standards Board for Accountants' Code of Ethics for Professional Accountants (the "Code"), and we have fulfilled our other ethical responsibilities in accordance with the Code. We believe that the audit evidence we have obtained is sufficient and appropriate to provide a basis for our opinion.

### Key Audit Matters

Key audit matters are those matters that, in our professional judgment, were of most significance in our audit of the consolidated financial statements of the current period. These matters were addressed in the context of our audit of the consolidated financial statements as a whole, and in forming our opinion thereon, and we do not provide a separate opinion on these matters.

Key Audit Matters

(continued)

Key audit matter	How our audit addressed the key audit matter
<i>Expected credit loss allowance of loans and advances to customers at amortised cost, debt investments at amortised cost, and financial guarantees and loan commitments</i>	

We identified expected credit loss ("ECL") allowance of loans and advances to customers at amortised cost, debt investments at amortised cost and financial guarantees and loan commitments as a key audit matter due to the materiality of these items' balance and significant management judgement and estimates involved in deriving the ECL estimates.

As at 31 December 2022, as set out in Note 22 (a), the Group reported loans and advances to customers at amortised cost of RMB 5,443,438 million and expected credit loss allowances of RMB 255,759 million; in Note 23(b), the Group reported debt investments at amortised cost of RMB 1,599,139 million and expected credit loss allowances of RMB 43,682 million; in note 42, the Group reported the expected credit loss allowances of financial guarantees and loan commitments of RMB 20,217 million.

Key judgements and estimates in respect of the measurement of ECLs include: the significant management judgement and estimates of model design and its application; the identification of a significant increase in credit risk (SICR); the identification of credit impairment events; the determination of inputs used in the ECL model, as well as the determination of the forward-looking information to incorporate.

Principal accounting policies and significant accounting estimates and judgement applied in determining the expected credit loss allowances of loans and advances to customers at amortised cost, debt investments at amortised cost and financial guarantees and loan commitments are set out in Notes 4(5) and 5(4) to the consolidated financial statements.

Our audit procedures in relation to the expected credit loss allowances of loans and advances to customers at amortised cost, debt investments at amortised cost and financial guarantees and loan commitments included the following:

We understood management's process and tested the design and operating effectiveness of key controls across the processes relevant to the ECL estimation of the Group. These controls included the development, validation and review of the ECL model; the controls over the model data input, including manual input controls and automated transmission controls; the automated controls over the ECL model calculation process; the controls over the identification of SICR indicators and credit impairment events.

We assessed whether the ECL model applied by the Group has covered all the exposures that should be taken into consideration. In respect of different portfolios of loans and advances to customers at amortised cost, debt investments at amortised cost and financial guarantees and loan commitments, we involved our internal modelling specialist to assist us in assessing the appropriateness of the Group's methodology of ECL modelling. We reviewed relevant documents and evaluated the appropriateness and application of the ECL model.

With the support of our internal modelling specialist, we assessed the key definitions and application of parameters and assumptions in the ECL model. This included assessing stage determination, probability of default, loss given default, exposure at default and forward-looking information. We selected samples to check whether the calculation in the ECL model is consistent with the methodology. We selected samples to conduct credit reviews in order to assess the appropriateness of the significant judgements made by the management regarding the occurrence of SICR and credit impairment events, and whether the identification of such events are proper and timely. In addition, we selected samples and tested their data input into the ECL model to evaluate the completeness and accuracy of the data input. For loans and advances at amortised cost and debt investments at amortised cost at stage 3, we selected samples to test the reasonableness of future cash flows from the borrowers estimated by the Group, including the expected recoverable amount of collateral, to assess whether there were material misstatements in credit loss allowances.





**Key Audit Matters***(continued)*

Key audit matter	How our audit addressed the key audit matter
<i>Consolidation of Structured Entities</i>	
<p>We identified consolidation of structured entities as a key audit matter since significant judgement is applied by management to determine whether or not the Group has control over certain structured entities.</p> <p>The structured entities of the Group include wealth management products, asset management schemes, trust beneficiary rights, assets-backed securities and funds, as disclosed in Note 64 to the consolidated financial statements.</p> <p>As described in Note 4(1), the consolidation of structured entities is determined based on control. Control is achieved when the investor has power over the investee, the investor is exposed, or has rights, to variable returns from its involvement with the investee; and the investor has the ability to use its power to affect its returns. When performing the assessment on whether the Group has control over the structured entities, the Group considers several factors including, the scope of its decision-making authority over the structured entities, the rights held by other parties, the remuneration for managing the structured entities and the Group's exposure to variability of returns from interests that it holds in the structured entities.</p>	<p>Our audit procedures in relation to consolidation of structured entities included the following:</p> <p>We understood and tested the design and operating effectiveness of key controls over the management process in determining the consolidation scope for interests in structured entities as well as understood the purpose for setting up the structured entities.</p> <p>We reviewed the relevant contract terms, on a sample basis, and assessed the power of the Group over the structured entities, the rights of the Group to variable returns of the structured entities and the ability of the Group to use its power to affect its return, and evaluated management judgement on whether the Group has control over the structured entities and the conclusion about whether or not the consolidation criteria are met.</p>

## **Other Information**

The directors of the Bank are responsible for the other information. The other information comprises the information included in the annual report, but does not include the consolidated financial statements and our auditor's report thereon.

Our opinion on the consolidated financial statements does not cover the other information and we do not express any form of assurance conclusion thereon.

In connection with our audit of the consolidated financial statements, our responsibility is to read the other information and, in doing so, consider whether the other information is materially inconsistent with the consolidated financial statements or our knowledge obtained in the audit or otherwise appears to be materially misstated. If, based on the work we have performed, we conclude that there is a material misstatement of this other information, we are required to report that fact. We have nothing to report in this regard.

## **Responsibilities of Directors and Those Charged with Governance for the Consolidated Financial Statements**

The directors of the Bank are responsible for the preparation of the consolidated financial statements that give a true and fair view in accordance with IFRSs and the disclosure requirements of the Hong Kong Companies Ordinance, and for such internal control as the directors of the Bank determine is necessary to enable the preparation of consolidated financial statements that are free from material misstatement, whether due to fraud or error.

In preparing the consolidated financial statements, the directors of the Bank are responsible for assessing the Group's ability to continue as a going concern, disclosing, as applicable, matters related to going concern and using the going concern basis of accounting unless the directors of the Bank either intend to liquidate the Group or to cease operations, or have no realistic alternative but to do so.

Those charged with governance are responsible for overseeing the Group's financial reporting process.

## **Auditor's Responsibilities for the Audit of the Consolidated Financial Statements**

Our objectives are to obtain reasonable assurance about whether the consolidated financial statements as a whole are free from material misstatement, whether due to fraud or error, and to issue an auditor's report that includes our opinion solely to you, as a body, and for no other purpose. We do not assume responsibility towards or accept liability to any other person for the contents of this report. Reasonable assurance is a high level of assurance, but is not a guarantee that an audit conducted in accordance with ISAs will always detect a material misstatement when it exists. Misstatements can arise from fraud or error and are considered material if, individually or in the aggregate, they could reasonably be expected to influence the economic decisions of users taken on the basis of these consolidated financial statements.

## Auditor's Responsibilities for the Audit of the Consolidated Financial Statements

(continued)

As part of an audit in accordance with ISAs, we exercise professional judgement and maintain professional skepticism throughout the audit. We also:

Identify and assess the risks of material misstatement of the consolidated financial statements, whether due to fraud or error, design and perform audit procedures responsive to those risks, and obtain audit evidence that is sufficient and appropriate to provide a basis for our opinion. The risk of not detecting a material misstatement resulting from fraud is higher than for one resulting from error, as fraud may involve collusion, forgery, intentional omissions, misrepresentations, or the override of internal control.

Obtain an understanding of internal control relevant to the audit in order to design audit procedures that are appropriate in the circumstances, but not for the purpose of expressing an opinion on the effectiveness of the Group's internal control.

Evaluate the appropriateness of accounting policies used and the reasonableness of accounting estimates and related disclosures made by the directors of the Bank.

Conclude on the appropriateness of the directors of the Bank's use of the going concern basis of accounting and, based on the audit evidence obtained, whether a material uncertainty exists related to events or conditions that may cast significant doubt on the Group's ability to continue as a going concern. If we conclude that a material uncertainty exists, we are required to draw attention in our auditor's report to the related disclosures in the consolidated financial statements or, if such disclosures are inadequate, to modify our opinion. Our conclusions are based on the audit evidence obtained up to the date of our auditor's report. However, future events or conditions may cause the Group to cease to continue as a going concern.

Evaluate the overall presentation, structure and content of the consolidated financial statements, including the disclosures, and whether the consolidated financial statements represent the underlying transactions and events in a manner that achieves fair presentation.

Obtain sufficient appropriate audit evidence regarding the financial information of the entities or business activities within the Group to express an opinion on the consolidated financial statements. We are responsible for the direction, supervision and performance of the group audit. We remain solely responsible for our audit opinion.

We communicate with those charged with governance regarding, among other matters, the planned scope and timing of the audit and significant audit findings, including any significant deficiencies in internal control that we identify during our audit.

We also provide those charged with governance with a statement that we have complied with relevant ethical requirements regarding independence, and to communicate with them all relationships and other matters that may reasonably be thought to bear on our independence, and where applicable, actions taken to eliminate threats or safeguards applied.

From the matters communicated with those charged with governance, we determine those matters that were of most significance in the audit of the consolidated financial statements of the current period and are therefore the key audit matters. We describe these matters in our auditor's report unless law or regulation precludes public disclosure about the matter or when, in extremely rare circumstances, we determine that a matter should not be communicated in our report because the adverse consequences of doing so would reasonably be expected to outweigh the public interest benefits of such communication.

The engagement partner on the audit resulting in the independent auditor's report is Shi Chung Fai.

**Deloitte Touche Tohmatsu**  
*Certified Public Accountants*  
Hong Kong

24 March 2023

---

( ) 上記は、独立監査人の監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものです。その原本は本有価証券報告書提出会社が別途保管しております。